

もとす広域連合  
第 10 期介護保険事業計画に向けた  
調査報告書

令和8年3月  
もとす広域連合

## 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類と実施方法	1
3	回収結果	2
4	報告書の見方	3
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4
1	属性	4
2	あなたやあなたのご家族、生活状況について	8
3	からだを動かすことについて	19
4	食べることについて	32
5	毎日の生活について	42
6	就労について	72
7	地域の活動について	77
8	助け合いについて	82
9	健康について	101
10	地域包括支援センターについて	114
11	認知症について	117
12	介護保険について	127
13	ヤングケアラーについて	129
14	生活機能評価	132
III	在宅介護実態調査	149
1	ご本人の状況・主な介護者の方について（A票）	149
2	主な介護者の方の状況について（B票）	176
IV	担い手世代調査	184
1	ご自身のことについて	184
2	介護保険制度について	189
3	介護について	191
4	ヤングケアラーについて	201
5	福祉や介護の仕事について	206
6	認知症について	213
V	事業所調査結果	237
1	貴事業所について	237
2	介護人材について	248
3	サービス提供の課題について	261
4	関係機関との連携について	267
5	事業所運営上の問題について	279
VI	介護人材実態調査	283
1	事業所票（訪問系／施設・通所系）	283
2	職員票（訪問系）	293

3 介護職員数 .....	298
VII 在宅生活改善調査 .....	301
1 事業所票 .....	301
2 利用者票 .....	305
VIII 居所変更実態調査 .....	312

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、「もとす広域連合第10期介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の生活状況や健康状態、地域における活動の状況などを把握し、高齢者福祉施策の検討や、介護予防の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2 調査の種類と実施方法

### ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者	瑞穂市・本巣市・北方町に居住する要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の人
調査票配布数	4,000件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収、Web調査
調査時期	令和7年11月7日～令和7年11月28日

### ②在宅介護実態調査

調査対象者	瑞穂市・本巣市・北方町に居住する65歳以上で要介護認定を受けている高齢者及びその主な介護者である家族・親族
調査票配布数	705件
調査方法	聞き取り調査
調査時期	令和7年10月1日～令和7年12月23日

### ③担い手世代調査

調査対象者	瑞穂市・本巣市・北方町に居住する15歳（中学生を除く）から35歳までの人
調査票配布数	3,000件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収、Web調査
調査時期	令和7年12月16日～令和8年1月9日

### ④事業所調査

調査対象者	もとす広域連合管内の介護サービス提供事業者
調査票配布数	128件
調査方法	郵送による配布・回収、Web調査
調査時期	令和7年12月11日～令和8年1月9日

### ⑤介護人材実態調査

調査対象者	もとす広域連合管内のすべての施設・通所系、及び訪問系のサービス事業所
調査方法	ホームページからのダウンロード、メールなどによる回収
調査時期	令和7年12月16日～令和8年1月23日

### ⑥在宅生活改善調査

調査対象者	もとす広域連合管内のすべての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター
調査方法	ホームページからのダウンロード、メールなどによる回収
調査時期	令和7年12月16日～令和8年1月23日

### ⑦居所変更実態調査

調査対象者	もとす広域連合管内のすべての施設・居住系サービスおよび住まい
調査方法	ホームページからのダウンロード、メールなどによる回収
調査時期	令和7年12月16日～令和8年1月23日

## 3 回収結果

単位：上段/件、下段/%

調査種別	配布数	回収数			有効	無効
		郵送	Web	聞き取り		
①介護予防・日常生活圏域二エズ調査	4,000	2,297	261	-	2,557	1
	100.0%	57.4%	6.5%	-	64.0%	0.1%
②在宅介護実態調査	705	-	-	705	704	1
	-	-	-	-	-	-
③担い手世代調査	3,000	290	521	-	811	0
	100.0%	9.7%	17.4%	-	27.0%	0.0%
④事業所調査	128	66	40	-	106	0
	100.0%	51.6%	31.3%	-	82.8%	0.0%

単位：上段/件、下段/%

調査種別	配布数	回収数	有効	無効
		メール		
⑤介護人材調査				
訪問系事業所票	51	6	6	0
	100.0%	11.8%	11.8%	0.0%
訪問系職員票	—	81	81	0
施設・通所系事業所票	109	34	34	0
	100.0%	31.2%	31.2%	0.0%
⑥在宅生活改善調査				
事業所票	30	20	20	0
	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%
利用者票	—	24	20	4
⑦居所変更調査	54	20	20	0
	100.0%	37.0%	37.0%	0.0%

## 4 報告書の見方

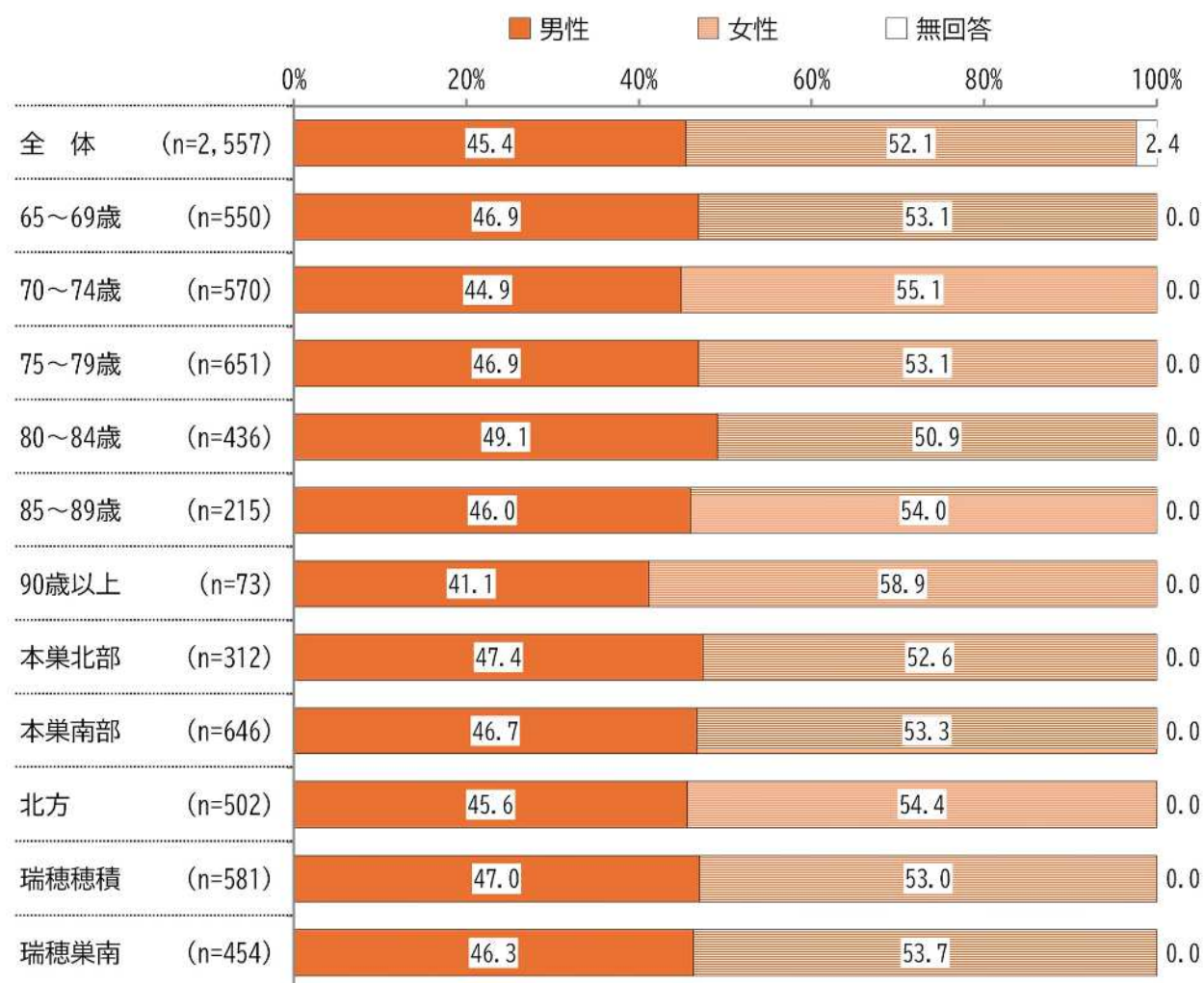
- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2) 回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3) 基数となるべき実数は、件数またはnとして掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- (4) 複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合もあります。
- (5) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

## Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 1 属性

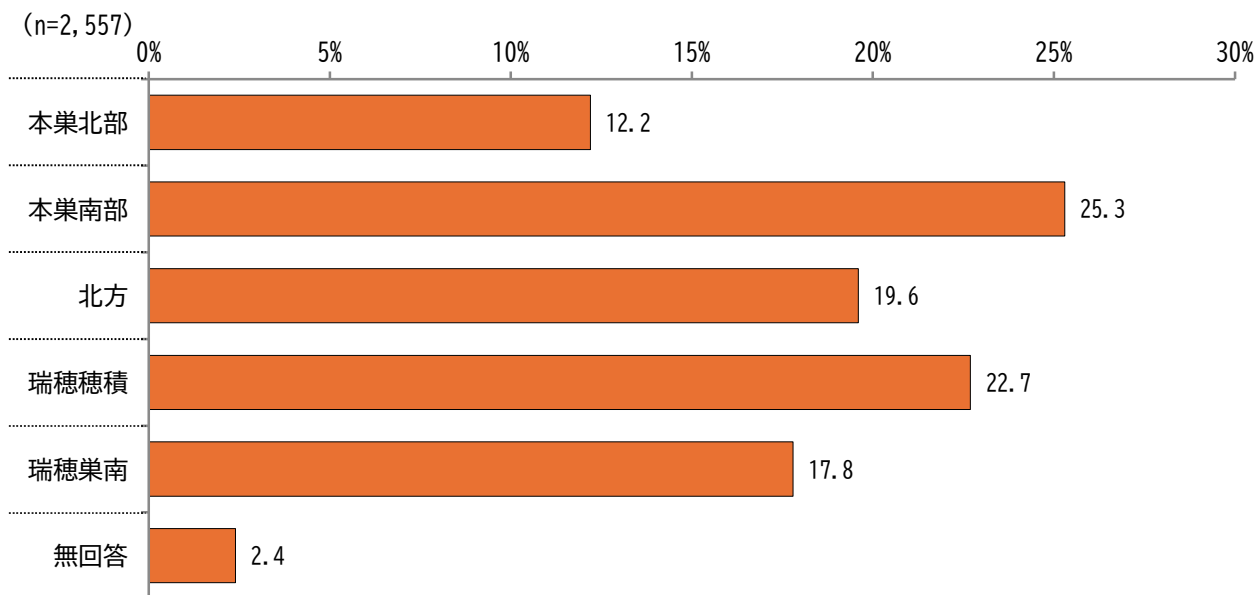
#### ① 性別

全体では、「女性」が52.1%、「男性」が45.4%となっています。



## ② 居住地区

全体では、「本巢南部」が25.3%で最も高く、次いで「瑞穂穂積」が22.7%、「北方」が19.6%となっています。



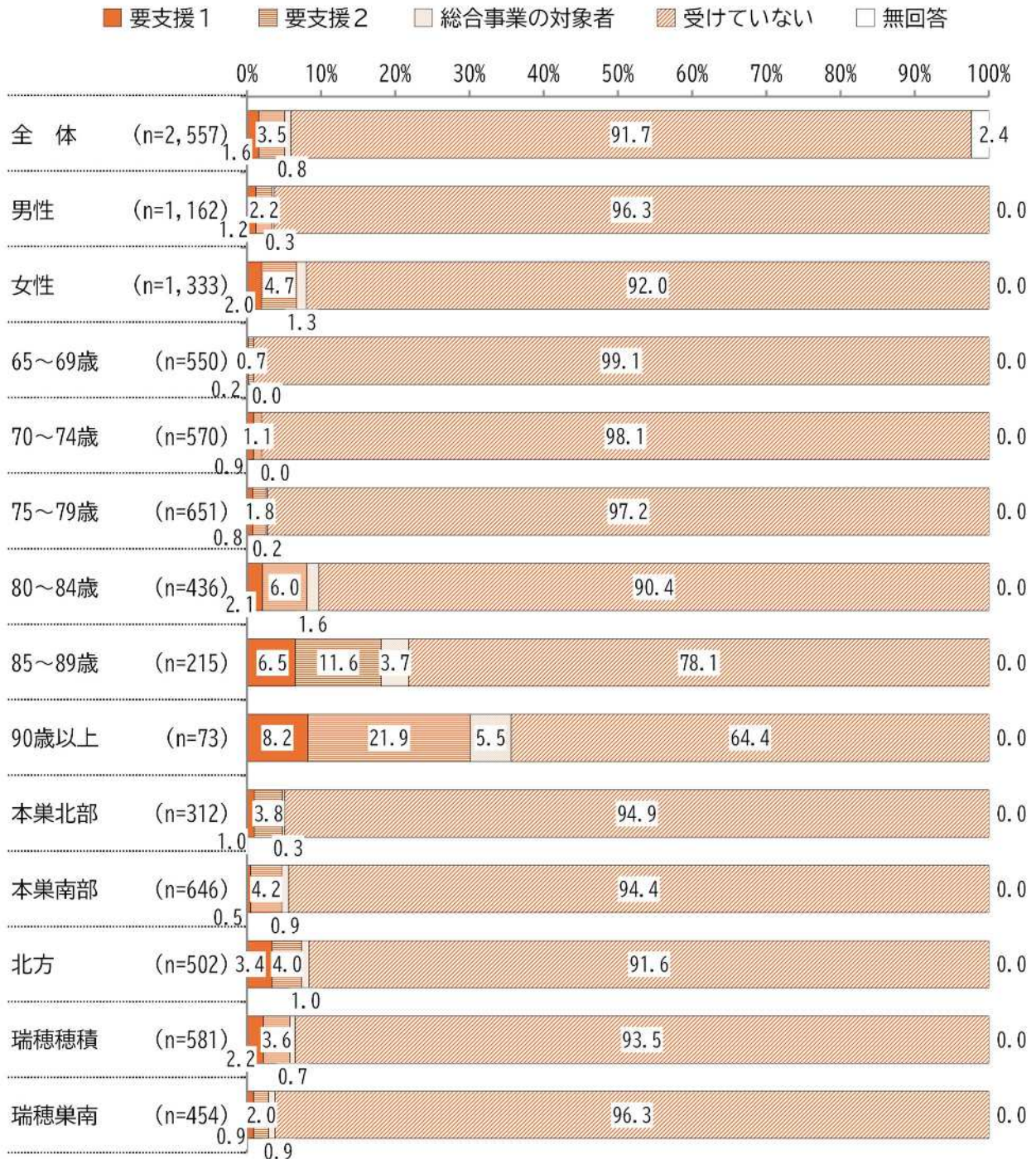
### ③ 要支援、総合事業の有無

全体では、「受けていない」が91.7%、「要支援2」が3.5%となっています。

性別で見ると、男性は「受けていない」が96.3%、「要支援2」が2.2%となっています。

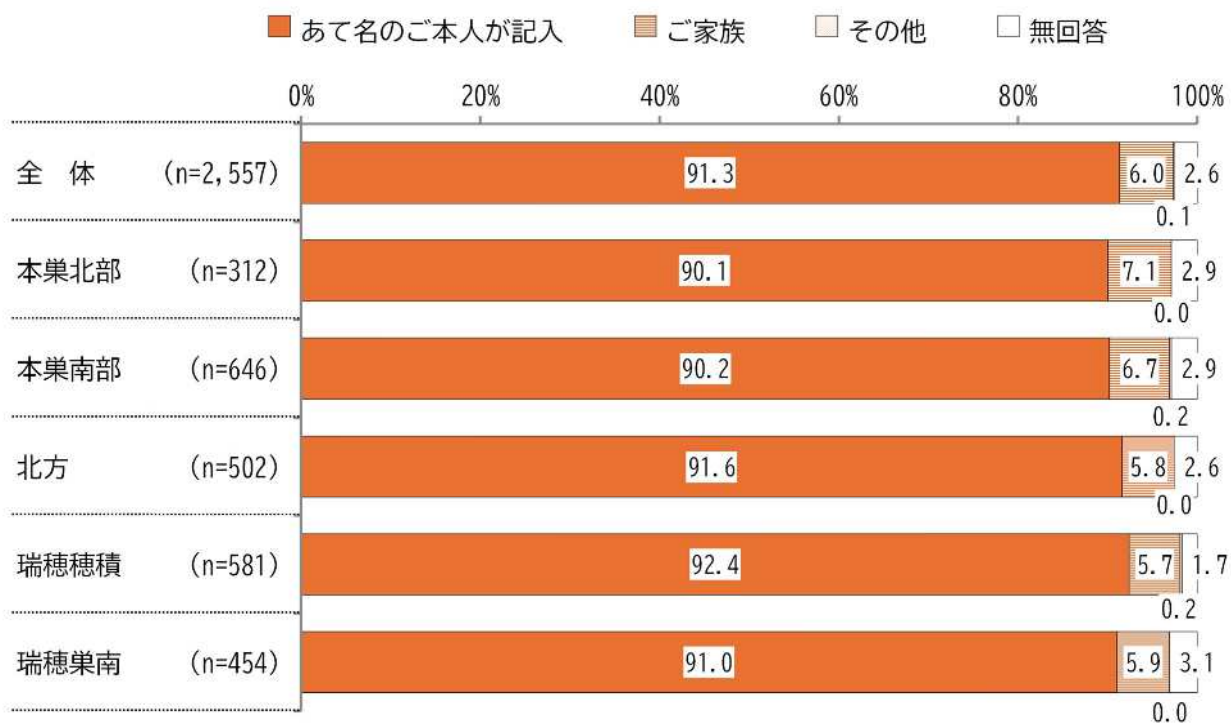
女性は「受けていない」が92.0%、「要支援2」が4.7%となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「受けていない」割合が低くなる傾向にあり、90歳以上では、「要支援2」が21.9%と高くなっています。



問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(○印は1つだけ)

全体では、「あて名のご本人が記入」が91.3%、「ご家族」が6.0%となっています。



## 2 あなたやあなたのご家族、生活状況について

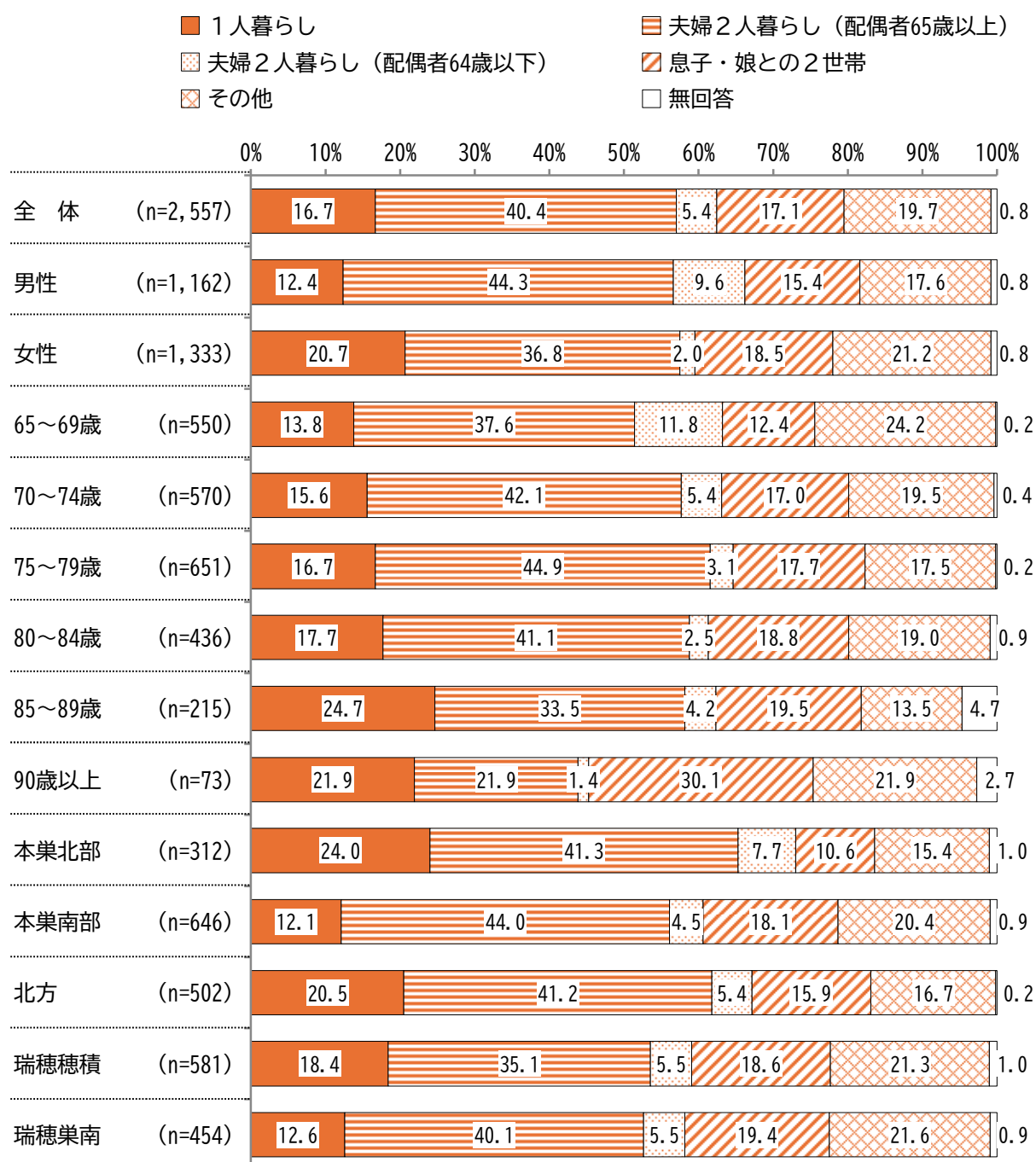
問2 あなたの家族構成を教えてください。(○印は1つだけ)

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.4%、「息子・娘との2世帯」が17.1%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も高く、次いで男性で「息子・娘との2世帯」、女性で「1人暮らし」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、65～89歳で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」、90歳以上で「息子・娘との2世帯」の割合が最も高くなっています。

地区でみると、本巣北部、北方で「1人暮らし」が2割以上高くなっています。



問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○印は1つだけ)

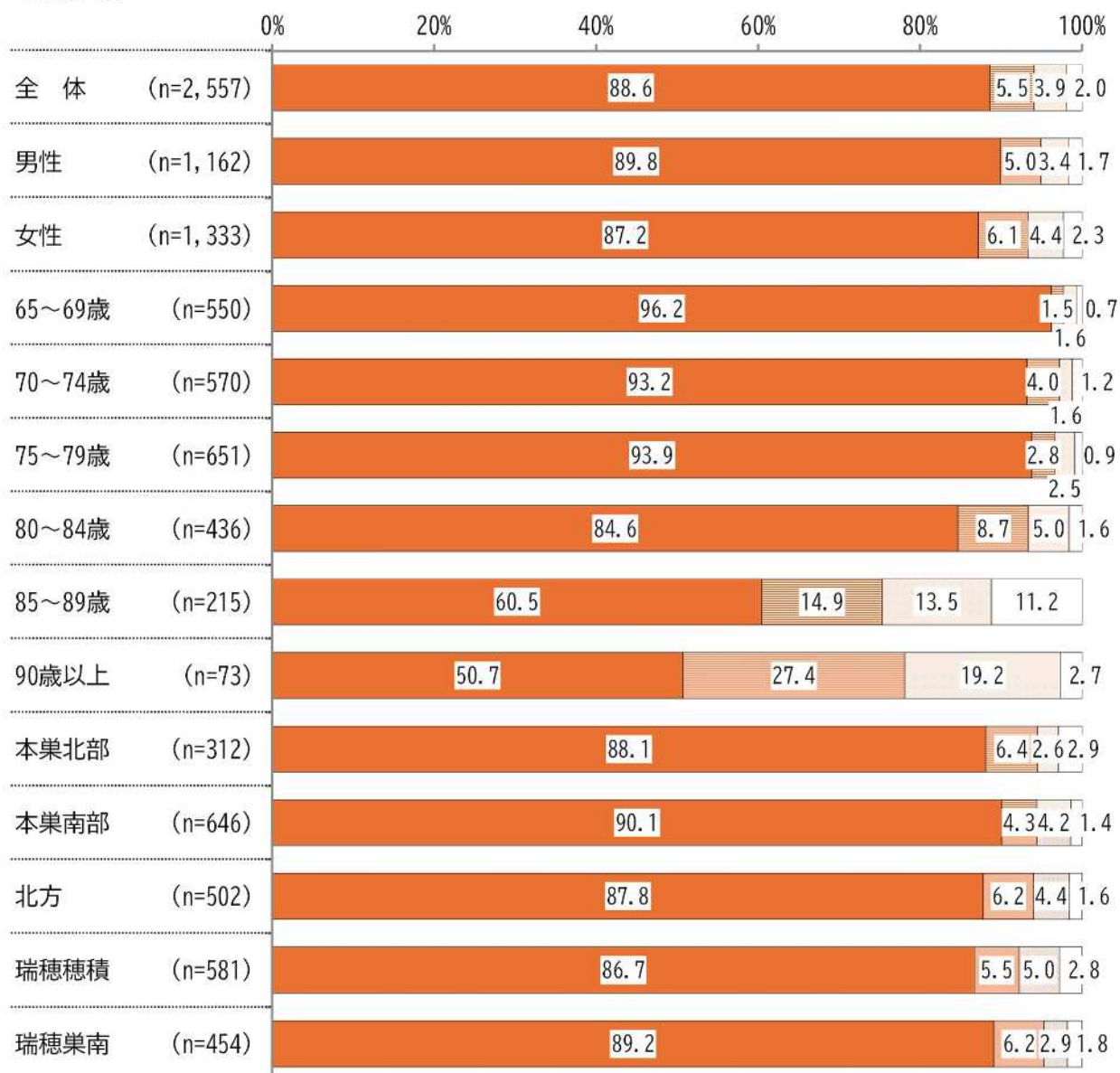
全体では、「介護・介助は必要ない」が88.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.5%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「介護・介助は必要ない」の割合が減少傾向にあり、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高くなる傾向となっています。

90歳以上では「現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずにご家族などの介護を受けている場合など)」が約2割となっています。

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている(要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



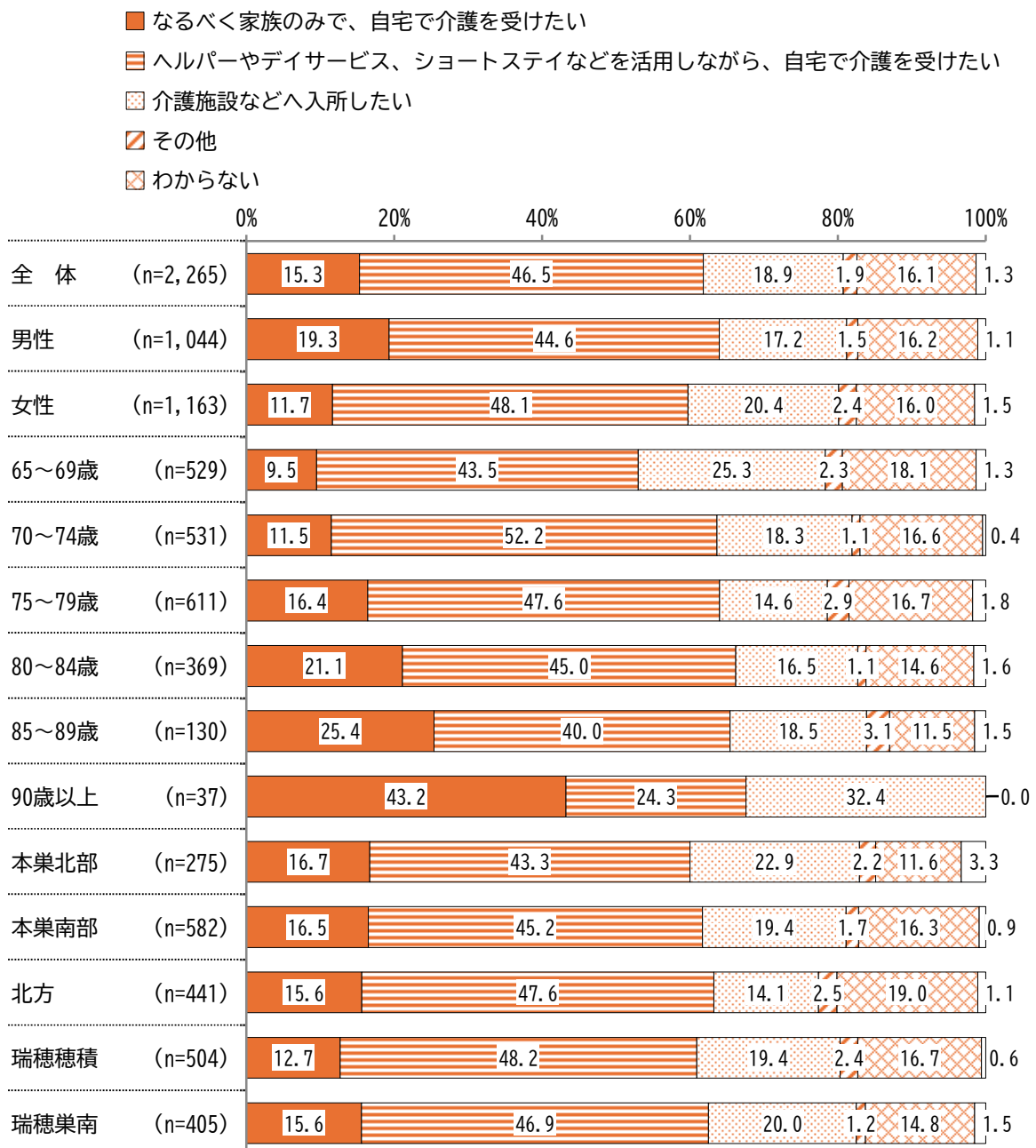
【問4は、問3で「1.介護・介助は必要ない」と選択した方のみお答えください】

問4 今後、もしあなたご自身が介護を受けることになったら、どのようにしたいと思いますか。（○印は1つだけ）

全体では、「ヘルパーやデイサービス、ショートステイなどを活用しながら、自宅で介護を受けたい」が46.5%、「介護施設などへ入所したい」が18.9%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「ヘルパーやデイサービス、ショートステイなどを活用しながら、自宅で介護を受けたい」が最も高くなっており、男性では「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」で女性よりも7.6ポイント割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」の割合が高くなる傾向にあり、90歳以上では「介護施設などへ入所したい」が3割以上と高くなっています。



【問5は、問3で「2.何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3.現在何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

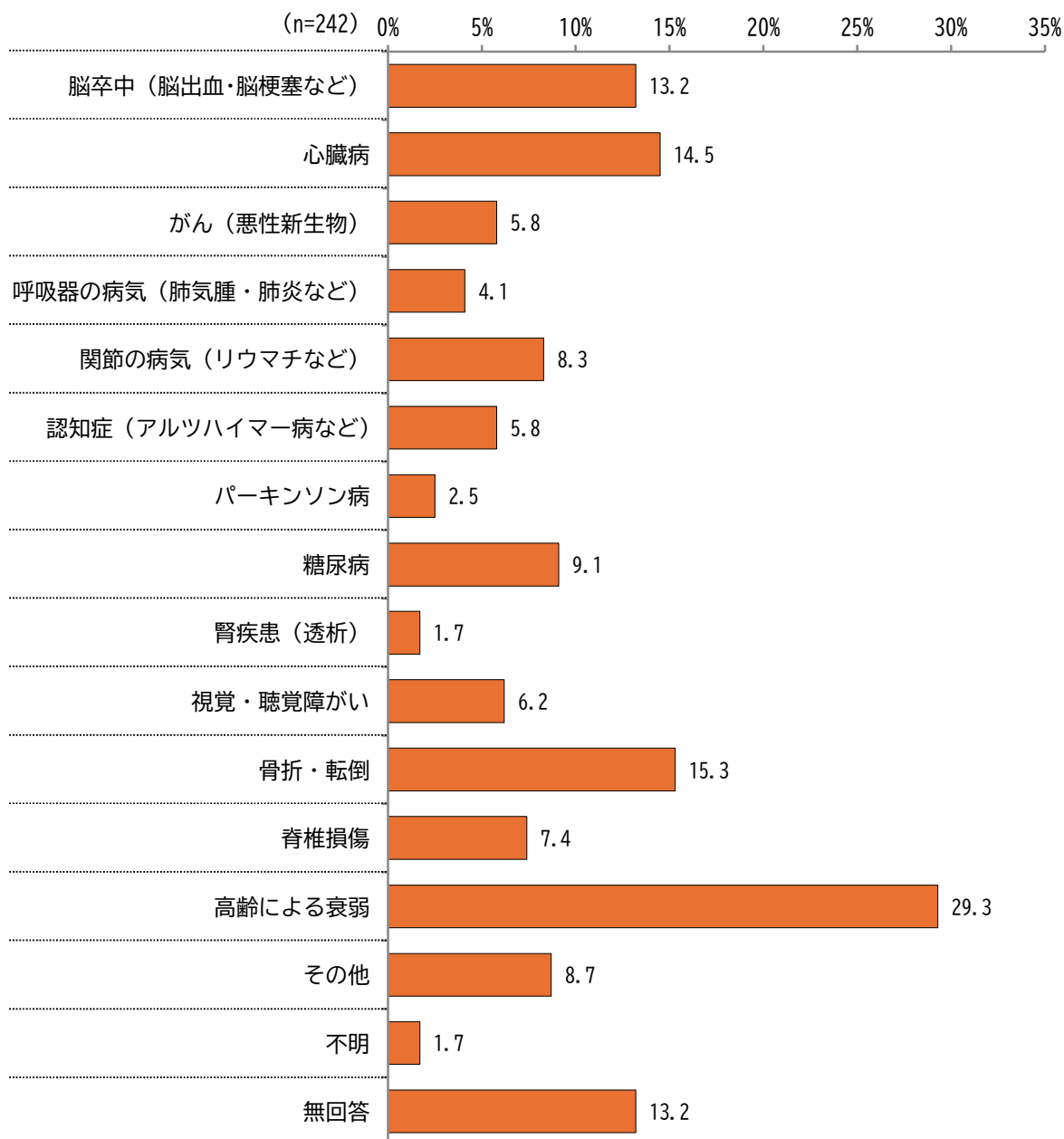
問5 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○印はいくつでも)

全体では、「高齢による衰弱」が29.3%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が15.3%、「心臓病」が14.5%となっています。

性別でみると、男性で「脳卒中(脳出血・脳梗塞など)」が女性よりも割合が10.1ポイント高く、女性で「高齢による衰弱」が14.3ポイント、「骨折・転倒」が10.8ポイント男性よりも割合が高くなっています。

年齢別でみると、80歳以上で「高齢による衰弱」の割合が最も高くなっています。

地区でみると、本巣北部、本巣南部、瑞穂穂積で「高齢による衰弱」が30%以上で最も高くなっています。



	全体	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	心臓病	がん（悪性新生物）	腫・呼吸器の病（肺炎など）	関節の病（リウマチなど）	認知症（アルツハイマー病など）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
上段：実数 下段：（％）																		
全体	242 100.0	32 13.2	35 14.5	14 5.8	10 4.1	20 8.3	14 5.8	6 2.5	22 9.1	4 1.7	15 6.2	37 15.3	18 7.4	71 29.3	21 8.7	4 1.7	32 13.2	
性別	男性	98 100.0	19 19.4	16 16.3	7 7.1	8 8.2	6 6.1	9 9.2	3 3.1	13 13.3	3 3.1	8 8.2	9 9.2	12 12.2	21 21.4	4 4.1	3 3.1	12 12.2
	女性	140 100.0	13 9.3	19 13.6	6 4.3	2 1.4	13 9.3	5 3.6	3 2.1	9 6.4	1 0.7	7 5.0	28 20.0	5 3.6	50 35.7	16 11.4	1 0.7	19 13.6
年齢	65～69歳	17 100.0	4 23.5	1 5.9	1 5.9	0 0.0	2 11.8	3 17.6	2 11.8	2 0.0	0 0.0	2 11.8	2 0.0	0 0.0	2 5.9	1 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	32 100.0	3 9.4	4 12.5	2 6.3	1 3.1	4 12.5	2 6.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1	5 15.6	3 9.4	3 9.4	2 6.3	4 12.5	2 6.3	4 12.5
	75～79歳	34 100.0	8 23.5	7 20.6	2 5.9	3 8.8	1 2.9	1 2.9	0 0.0	3 8.8	2 5.9	3 8.8	9 26.5	4 11.8	6 17.6	0 0.0	0 0.0	7 20.6
	80～84歳	60 100.0	10 16.7	6 10.0	4 6.7	1 1.7	4 6.7	3 5.0	3 5.0	8 13.3	1 1.7	8 13.3	9 15.0	4 6.7	18 30.0	3 5.0	2 3.3	8 13.3
	85～89歳	61 100.0	4 6.6	12 19.7	3 4.9	5 8.2	6 9.8	3 4.9	1 1.6	7 11.5	0 0.0	2 3.3	8 13.1	4 6.6	25 41.0	9 14.8	0 0.0	7 11.5
	90歳以上	34 100.0	3 8.8	5 14.7	1 2.9	0 0.0	2 5.9	2 5.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9	6 17.6	2 5.9	18 52.9	3 8.8	0 0.0	5 14.7
地区	本巢北部	28 100.0	3 10.7	4 14.3	1 3.6	1 3.6	3 10.7	1 3.6	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4 14.3	2 7.1	13 46.4	3 10.7	0 0.0	4 14.3
	本巢南部	55 100.0	11 20.0	7 12.7	2 3.6	3 5.5	2 3.6	4 7.3	2 3.6	4 7.3	1 1.8	3 5.5	6 10.9	3 5.5	17 30.9	3 5.5	0 0.0	11 20.0
	北方	53 100.0	4 7.5	5 9.4	3 5.7	1 1.9	5 9.4	0 0.0	0 0.0	3 5.7	1 1.9	2 3.8	9 17.0	6 11.3	10 18.9	8 15.1	1 1.9	7 13.2
	瑞穂穂積	61 100.0	9 14.8	12 19.7	2 3.3	3 4.9	7 11.5	5 8.2	1 1.6	7 11.5	0 0.0	7 11.5	10 16.4	4 6.6	23 37.7	3 4.9	2 3.3	4 6.6
	瑞穂巢南	41 100.0	5 12.2	7 17.1	5 12.2	2 4.9	2 4.9	4 9.8	1 2.4	7 17.1	2 4.9	3 7.3	8 19.5	2 4.9	8 19.5	3 7.3	1 2.4	5 12.2

【問6は、問3で「3.現在、何らかの介護を受けている」を選択した方のみお答えください】

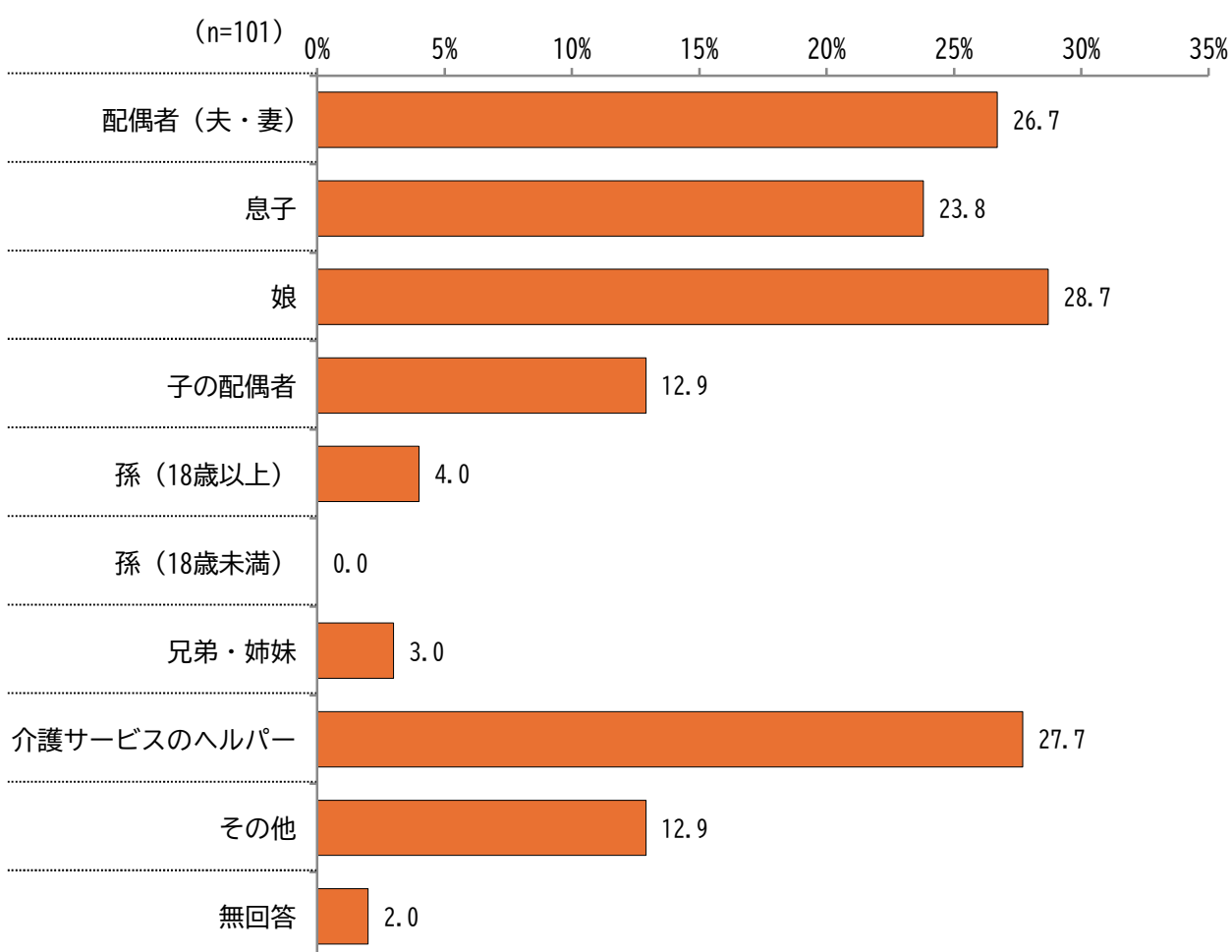
問6 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(○印はいくつでも)

全体では、「娘」が 28.7%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 27.7%、「配偶者(夫・妻)」が 26.7%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者(夫・妻)」が 40.0%、女性は「娘」が 37.3%で最も高くなっています。

年齢別で見ると、80歳以上で「息子」「娘」の割合が高くなっています。

地区で見ると、北方では「介護サービスのヘルパー」が最も高く、北方を除く地区では「配偶者(夫・妻)」や「娘」「息子」の割合が高くなっています。



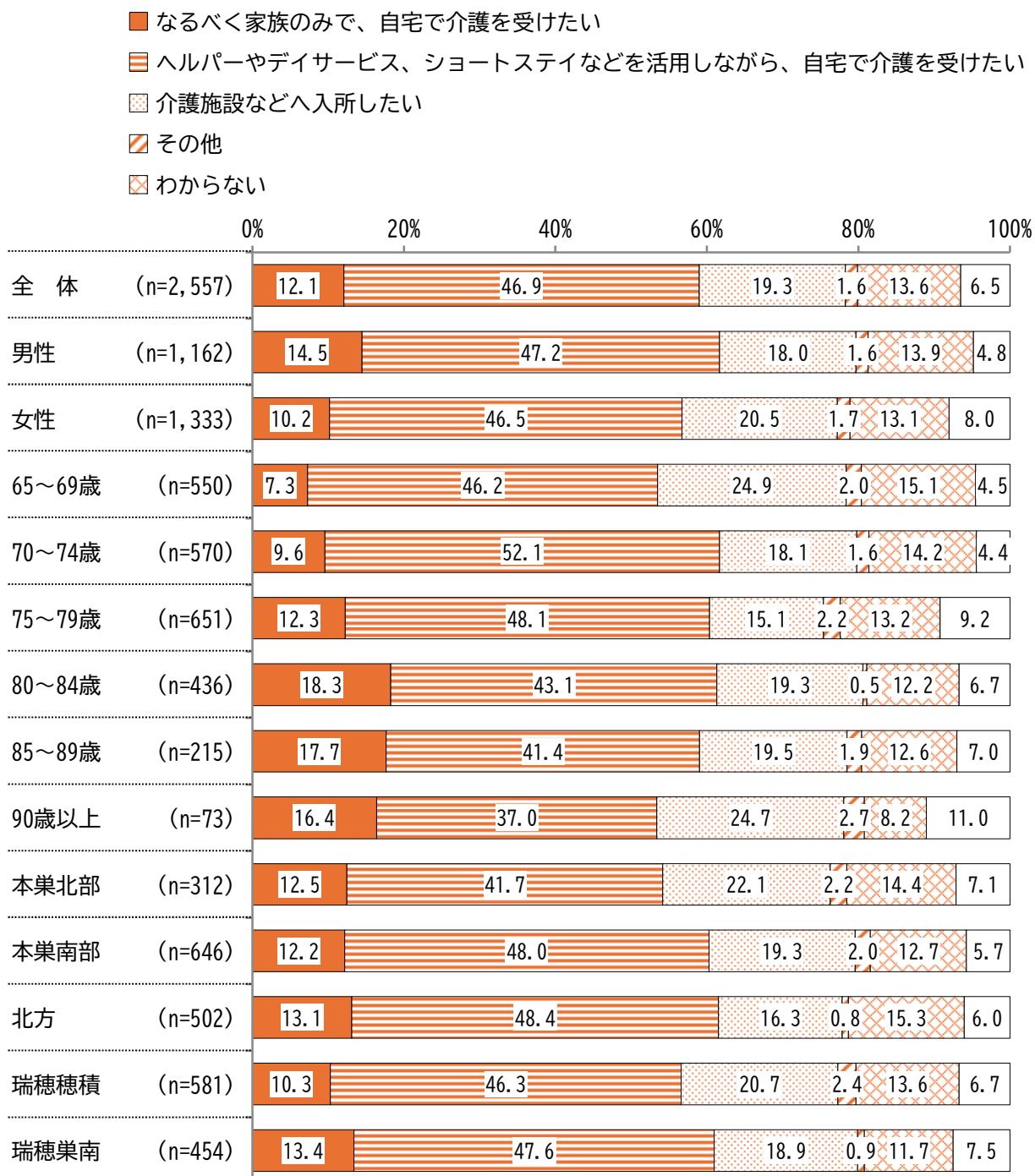
		全体	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫 (18歳以上)	孫 (18歳未満)	兄弟・ 姉妹	パ 介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル	そ の 他	無 回 答
		上段:実数	下段:(%)									
全 体		101	27	24	29	13	4	0	3	28	13	2
		100.0	26.7	23.8	28.7	12.9	4.0	0.0	3.0	27.7	12.9	2.0
性 別	男性	40	16	7	6	7	1	0	0	10	5	1
		100.0	40.0	17.5	15.0	17.5	2.5	0.0	0.0	25.0	12.5	2.5
	女性	59	10	17	22	6	3	0	2	18	8	1
		100.0	16.9	28.8	37.3	10.2	5.1	0.0	3.4	30.5	13.6	1.7
年 齢	65～69歳	9	1	1	0	0	0	0	1	4	3	0
		100.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	33.3	0.0
	70～74歳	9	5	1	2	0	0	0	0	2	0	0
		100.0	55.6	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
	75～79歳	16	8	2	3	1	0	0	0	5	0	1
		100.0	50.0	12.5	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3	0.0	6.3
	80～84歳	22	7	4	8	2	0	0	1	6	2	1
	100.0	31.8	18.2	36.4	9.1	0.0	0.0	4.5	27.3	9.1	4.5	
85～89歳	29	5	10	9	7	2	0	0	9	5	0	
	100.0	17.2	34.5	31.0	24.1	6.9	0.0	0.0	31.0	17.2	0.0	
90歳以上	14	0	6	6	3	2	0	0	2	3	0	
	100.0	0.0	42.9	42.9	21.4	14.3	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0	
地 区	本巢北部	8	1	2	3	0	0	0	1	2	1	0
		100.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	0.0
	本巢南部	27	8	10	4	7	2	0	0	7	5	2
		100.0	29.6	37.0	14.8	25.9	7.4	0.0	0.0	25.9	18.5	7.4
	北方	22	4	3	7	2	1	0	0	8	2	0
		100.0	18.2	13.6	31.8	9.1	4.5	0.0	0.0	36.4	9.1	0.0
瑞穂穂積	29	7	6	10	2	1	0	1	8	4	0	
	100.0	24.1	20.7	34.5	6.9	3.4	0.0	3.4	27.6	13.8	0.0	
瑞穂巢南	13	6	3	4	2	0	0	0	3	1	0	
	100.0	46.2	23.1	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	23.1	7.7	0.0	

問7 家族などに介護が必要となった際、どのようにしたいと思いますか。  
(○印は1つだけ)

全体では、「ヘルパーやデイサービス、ショートステイなどを活用しながら、自宅で介護を受けたい」が46.9%、「介護施設などへ入所したい」が19.3%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「ヘルパーやデイサービス、ショートステイなどを活用しながら、自宅で介護を受けたい」が最も高くなっています。

年齢別でみると、70～74歳では「ヘルパーやデイサービス、ショートステイなどを活用しながら、自宅で介護を受けたい」が52.1%と高くなっています。また、90歳以上では「介護施設などへ入所したい」が24.7%と高くなっています。



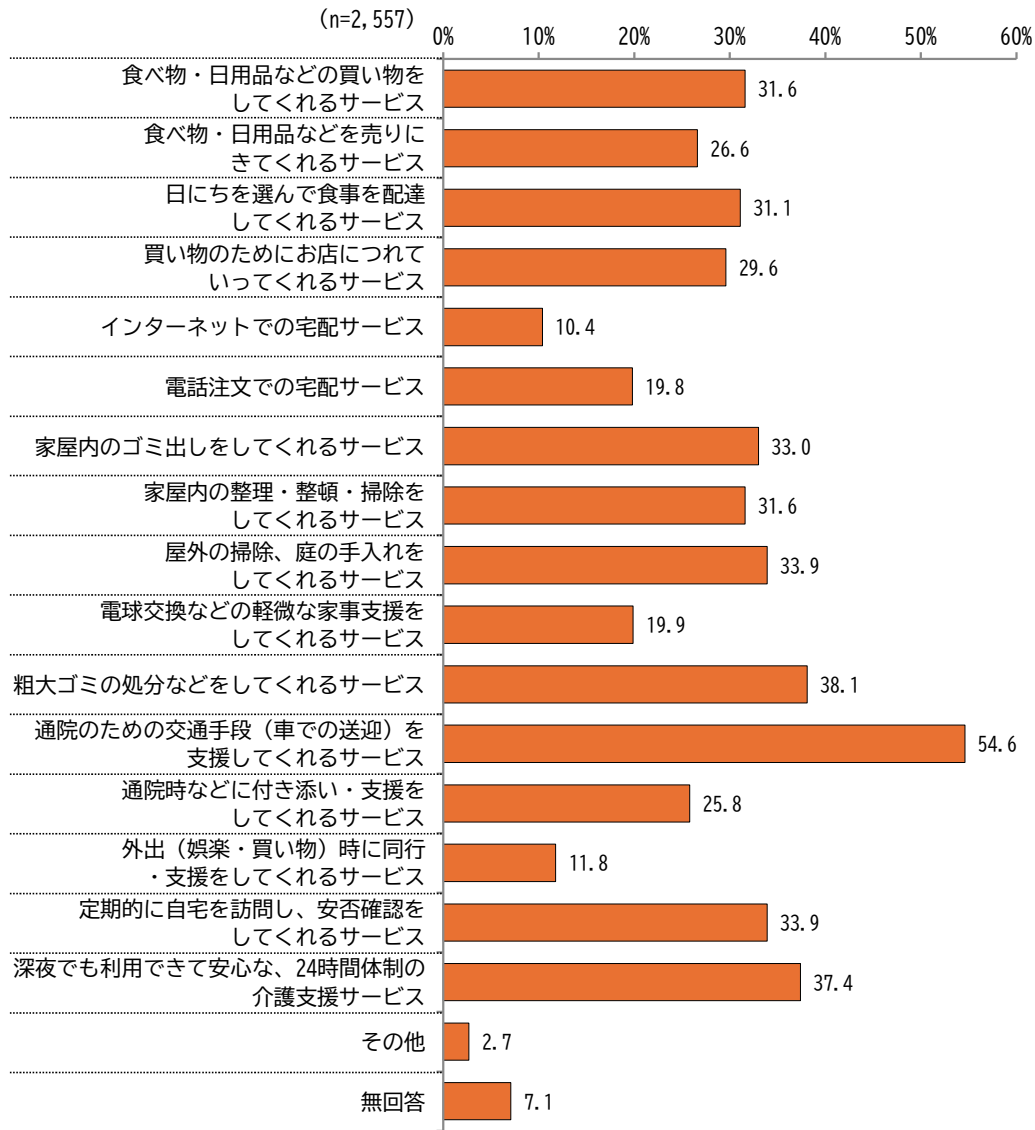
問8 介護などにおいて、どのようなサービスがあったらよいと思いますか。また、利用したいと思いますか（○印はいくつでも）

全体では、「通院のための交通手段（車での送迎）を支援してくれるサービス」が54.6%で最も高く、次いで「粗大ゴミの処分などをしてくれるサービス」が38.1%、「深夜でも利用できて安心な、24時間体制の介護支援サービス」が37.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「通院のための交通手段（車での送迎）を支援してくれるサービス」が最も高く、次いで「粗大ゴミの処分などをしてくれるサービス」となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず、「通院のための交通手段（車での送迎）を支援してくれるサービス」が最も高くなっています。また、65～74歳では「深夜でも利用できて安心な、24時間体制の介護支援サービス」、75～79歳では「家屋内のゴミ出しをしてくれるサービス」、80～84歳、90歳以上では「定期的に自宅を訪問し、安否確認をしてくれるサービス」、85～89歳では「買い物のためにお店につれていってくれるサービス」の割合が高くなっています。

地区でみると、地区にかかわらず「通院のための交通手段（車での送迎）を支援してくれるサービス」が最も高くなっています。次いで、本巢南部、北方、瑞穂穂積では「粗大ゴミの処分などをしてくれるサービス」、本巢北部では「定期的に自宅を訪問し、安否確認をしてくれるサービス」、瑞穂巢南では「深夜でも利用できて安心な、24時間体制の介護支援サービス」の割合が高くなっています。



	全体	サービス内容																	その他	無回答
		買い物サービス	食べ物・日用品の配達サービス	配達して選んでくれるサービス	買い物のためにお店につれてくれるサービス	インターネットでの宅配サービス	電話注文での宅配サービス	家内のゴミ出しサービス	掃除・整頓・家内整理サービス	屋外の掃除・庭の手入れサービス	電球交換などの軽微な家事支援サービス	粗大ゴミの処分サービス	通院のための交通手段（車での送迎）を支援するサービス	通院時などに付き添い・支援するサービス	外出（娯楽・買い物）時に同行・支援するサービス	定期的な自宅訪問・安否確認サービス	深夜でも利用できる24時間体制の介護支援サービス			
全体	2,557	809	681	795	757	265	507	843	808	867	509	974	1,397	660	303	868	957	68	182	
性別	100.0	31.6	26.6	31.1	29.6	10.4	19.8	33.0	31.6	33.9	19.9	38.1	54.6	25.8	11.8	33.9	37.4	2.7	7.1	
男性	1,162	420	266	369	290	174	251	395	392	375	191	429	625	293	127	424	416	30	83	
女性	1,333	373	400	404	453	88	240	435	400	471	311	522	741	352	170	432	517	37	95	
年齢	100.0	28.0	30.0	30.3	34.0	6.6	18.0	32.6	30.0	35.3	23.3	39.2	55.6	26.4	12.8	32.4	38.8	2.8	7.1	
65～69歳	550	191	156	207	161	121	126	204	217	212	126	263	314	173	82	190	260	18	12	
70～74歳	570	180	157	194	185	71	105	205	177	195	122	211	313	163	88	204	247	16	31	
75～79歳	651	215	174	206	192	46	137	228	203	224	133	242	377	146	60	211	208	17	51	
80～84歳	436	127	110	102	117	17	75	121	117	128	72	152	227	96	40	146	137	10	53	
85～89歳	215	56	53	49	67	5	35	57	60	60	37	54	106	47	21	77	63	5	23	
90歳以上	73	24	16	15	21	2	13	15	18	27	12	26	29	20	6	28	18	1	8	
地区	100.0	32.9	21.9	20.5	28.8	2.7	17.8	20.5	24.7	37.0	16.4	35.6	58.1	27.4	8.2	38.4	24.7	1.4	11.0	
本巣北部	312	86	116	83	100	20	43	78	88	89	50	84	160	62	29	115	95	5	24	
本巣南部	646	206	167	194	192	60	135	209	186	247	121	249	371	160	66	217	233	22	46	
北方	502	164	115	154	132	57	98	190	172	141	109	199	268	132	59	172	192	9	30	
瑞穂穂積	581	200	149	193	175	74	132	198	197	201	132	251	303	172	77	192	223	16	45	
瑞穂巣南	454	137	119	149	144	51	83	155	149	168	90	168	264	119	66	160	190	15	33	

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「ふつう」が62.8%で最も高く、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”が25.6%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”が9.4%となっています。

性別でみると、男性で“苦しい”が27.1%、女性で24.2%と男性が女性よりも2.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70～74歳で“苦しい”が約3割と高くなっています。

地区でみると、北方で“苦しい”が約3割と高くなっています。



### 3 からだを動かすことについて

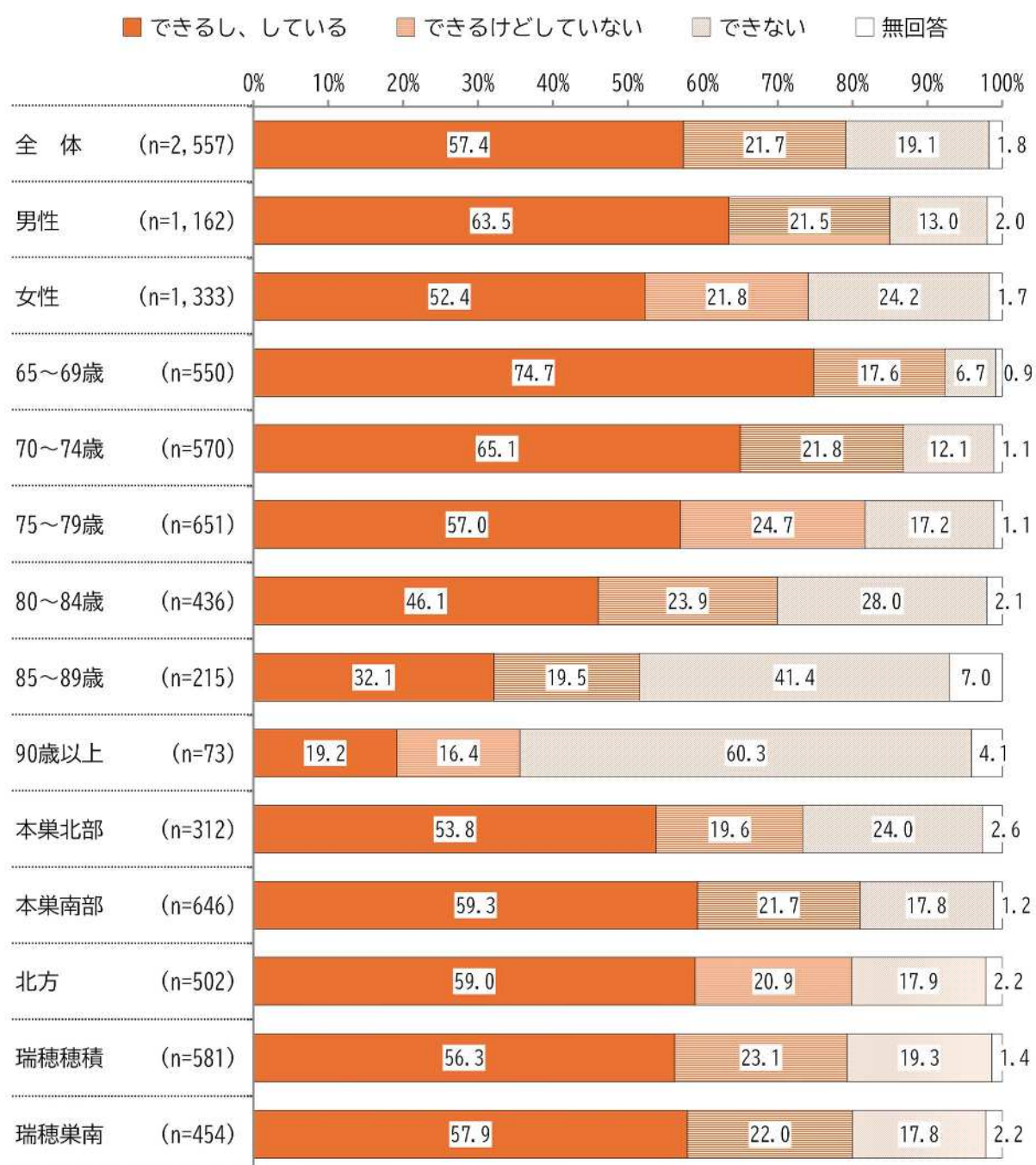
#### 問 10 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が 57.4%、「できるけどしていない」が 21.7%となっています。

性別でみると、男性は「できるし、している」が 63.5%、女性は 52.4%と女性よりも男性が 11.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、逆に「できない」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



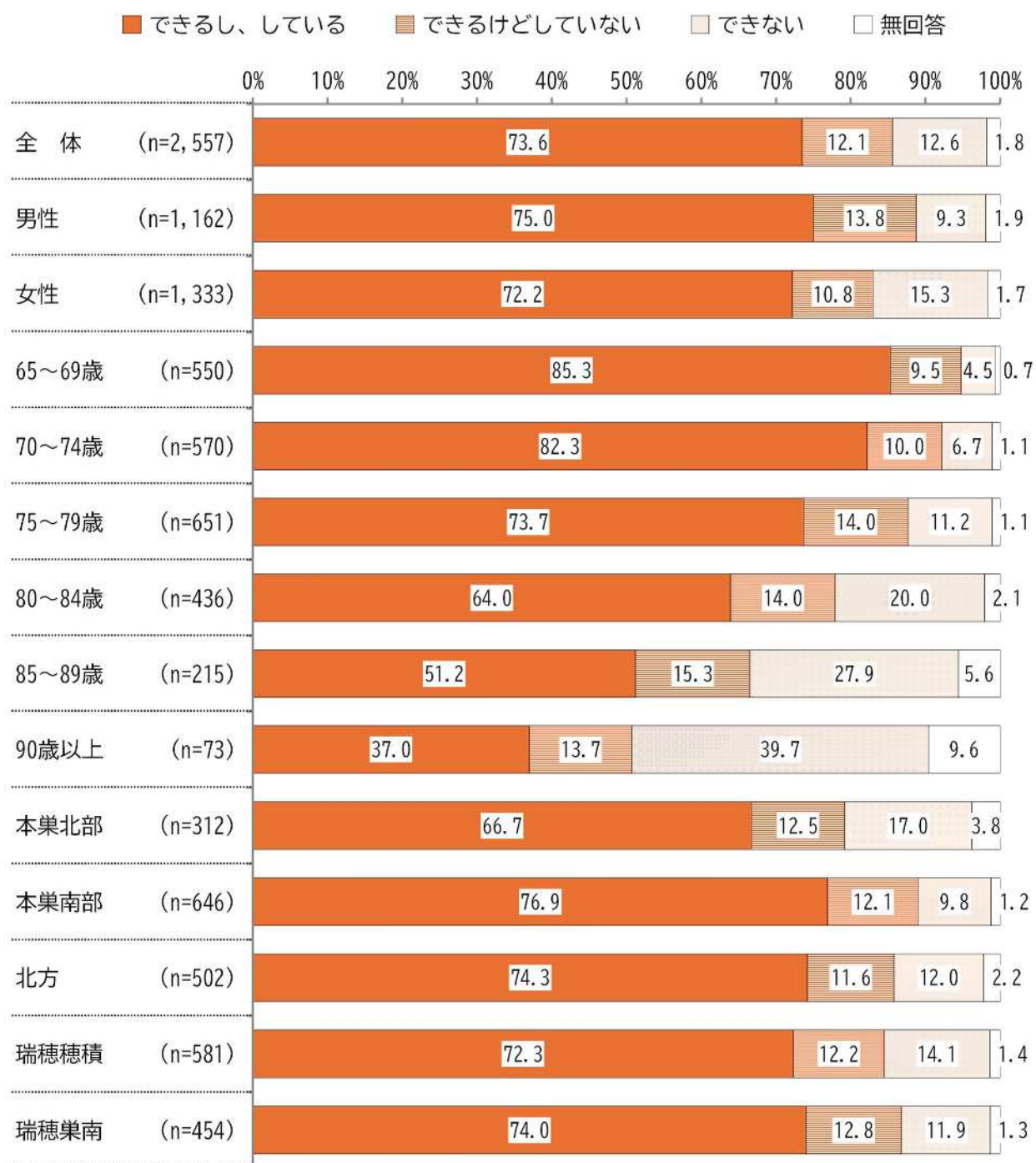
問 11 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が73.6%、「できない」が12.6%となっています。

性別でみると、男性は「できない」が9.3%、女性は15.3%と男性よりも女性が6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、逆に「できない」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部のみ「できるし、している」が7割以下となっています。



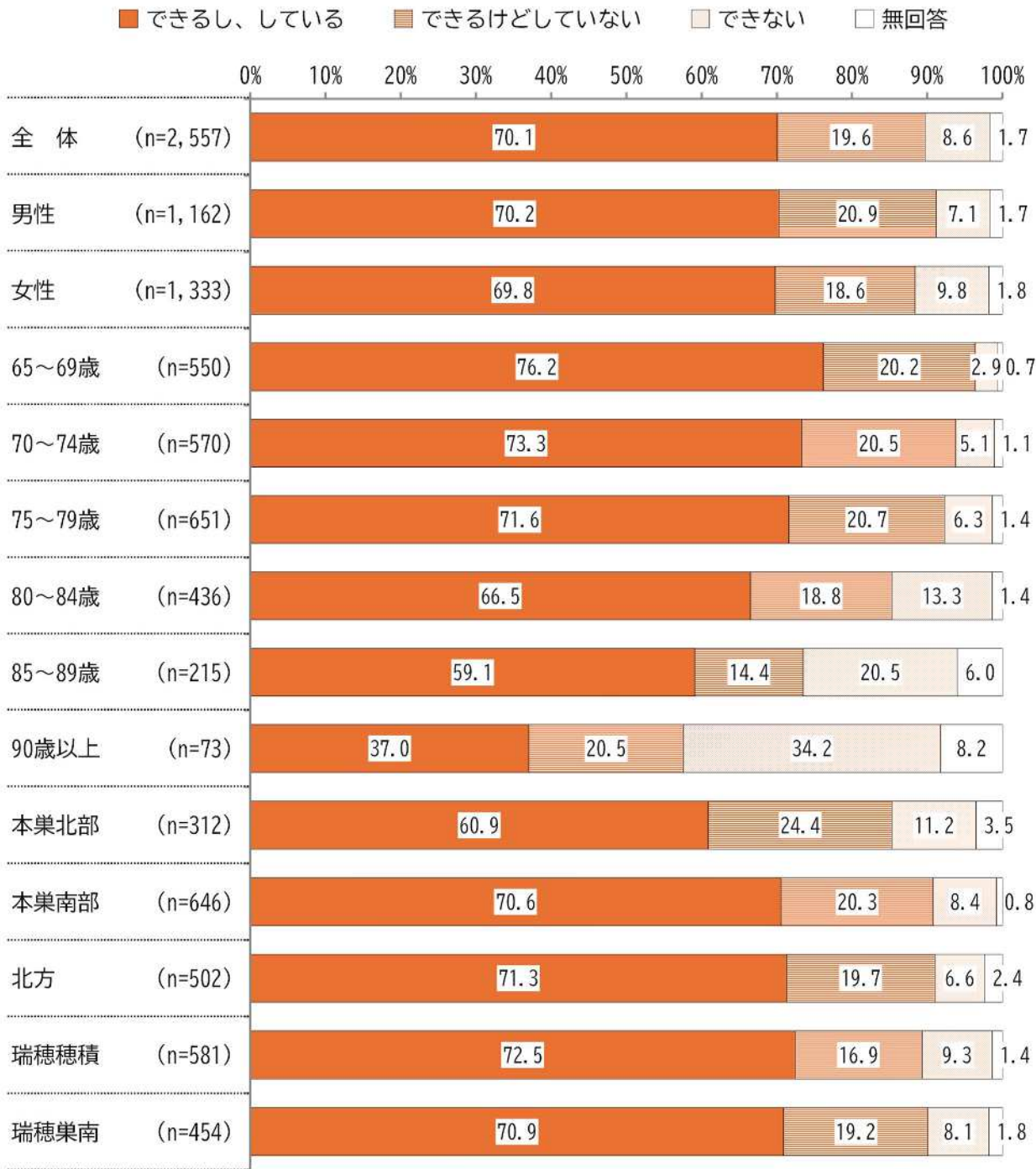
問 12 15分位続けて歩いていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が70.1%、「できるけどしていない」が19.6%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、90歳以上では「できない」が34.2%と高くなっています。

地区で見ると、本巣北部のみ「できるし、している」が6割と低くなっています。



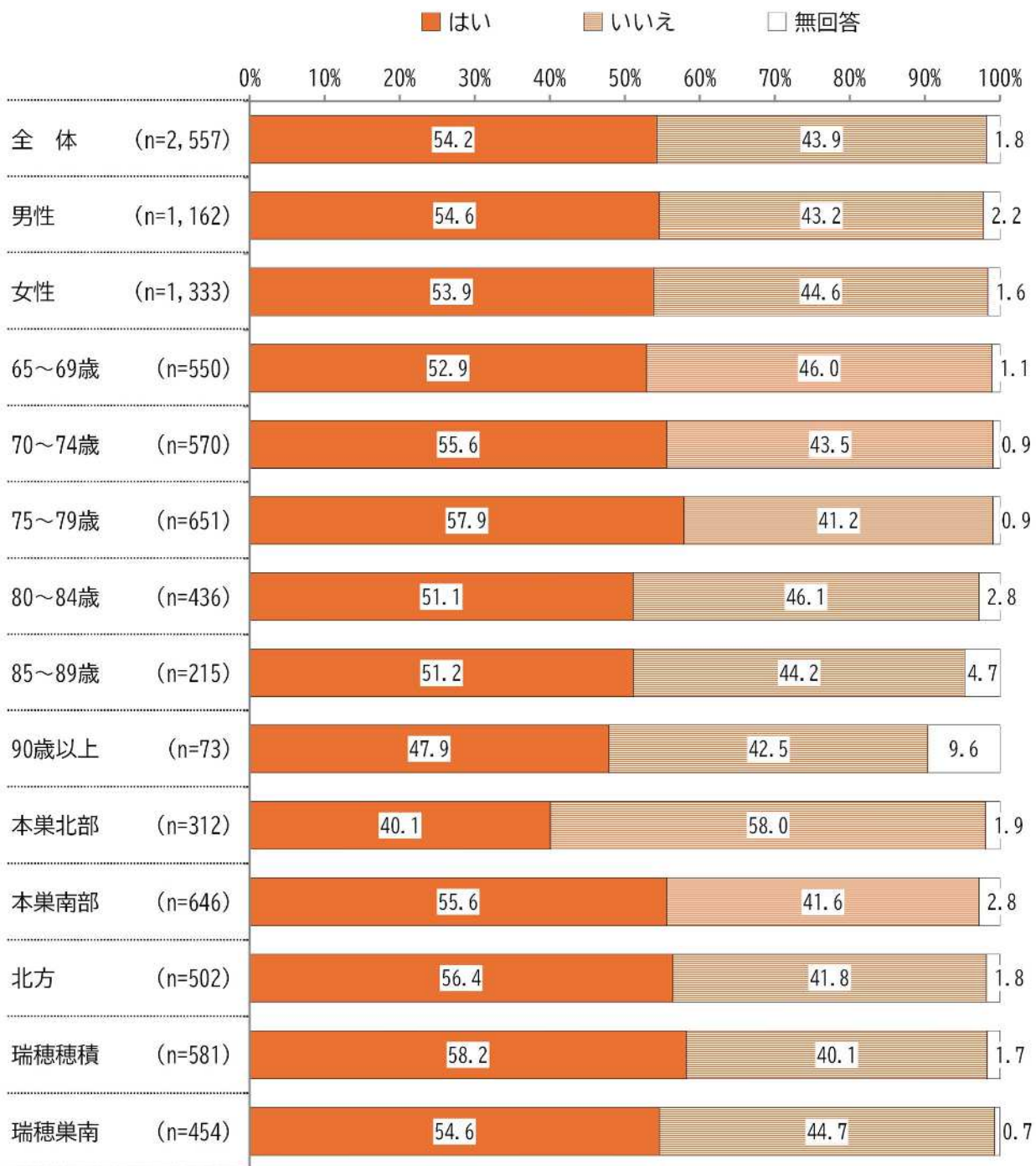
問 13 軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「はい」が54.2%、「いいえ」が43.9%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、運動をしている人(「はい」)は、75～79歳が最も高く57.9%となっています。

地区でみると、本巣北部では運動をしていない人(「いいえ」)が58.0%で最も高くなっています。



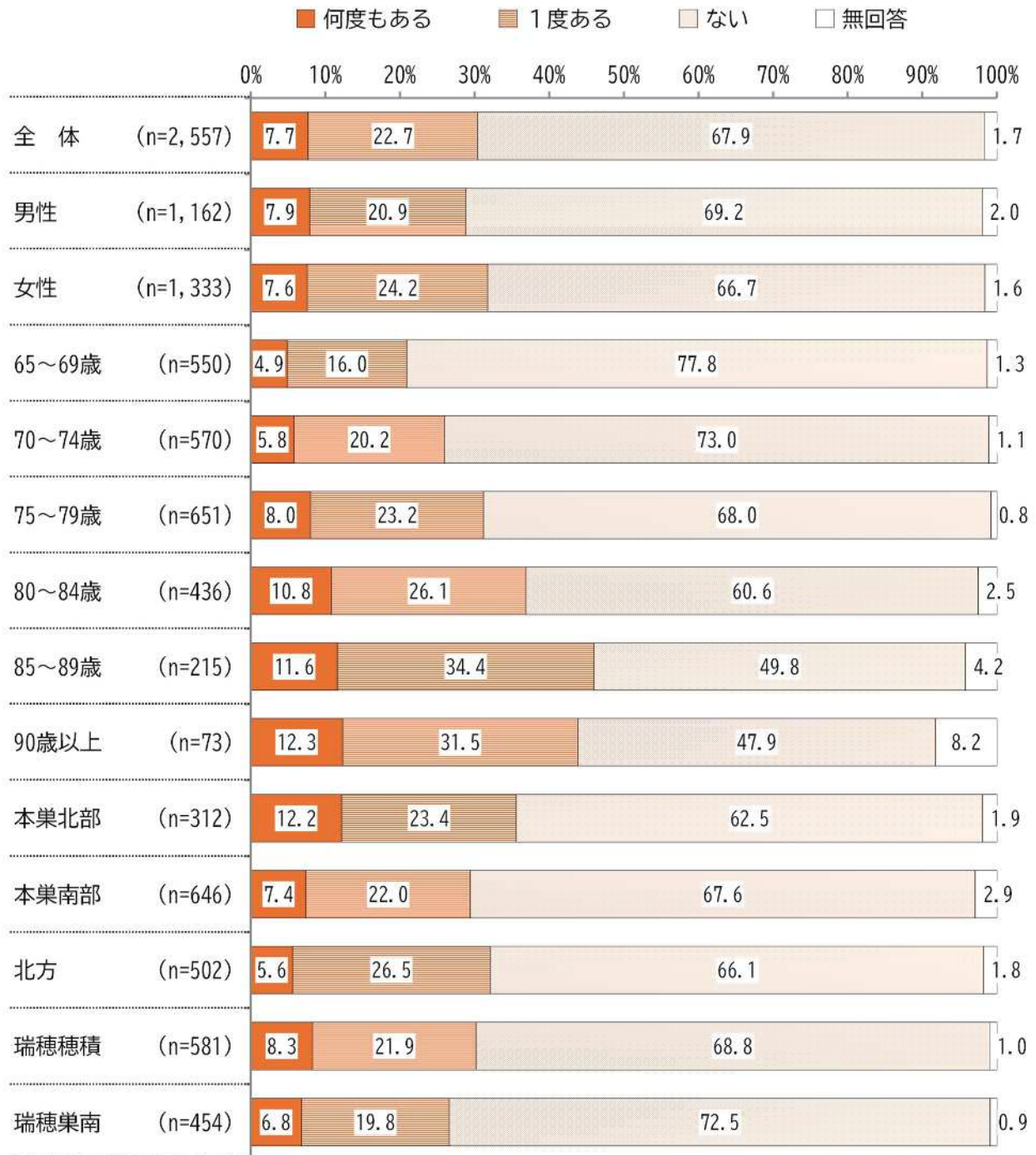
問 14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○印は1つだけ)

全体では、「ない」が67.9%、「1度ある」が22.7%となっています。

性別でみると、男性は「ない」が69.2%、「1度ある」が20.9%、女性は「ない」が66.7%、「1度ある」が24.2%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「何度もある」「1度ある」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、瑞穂巣南で「ない」が7割以上で最も高くなっています。



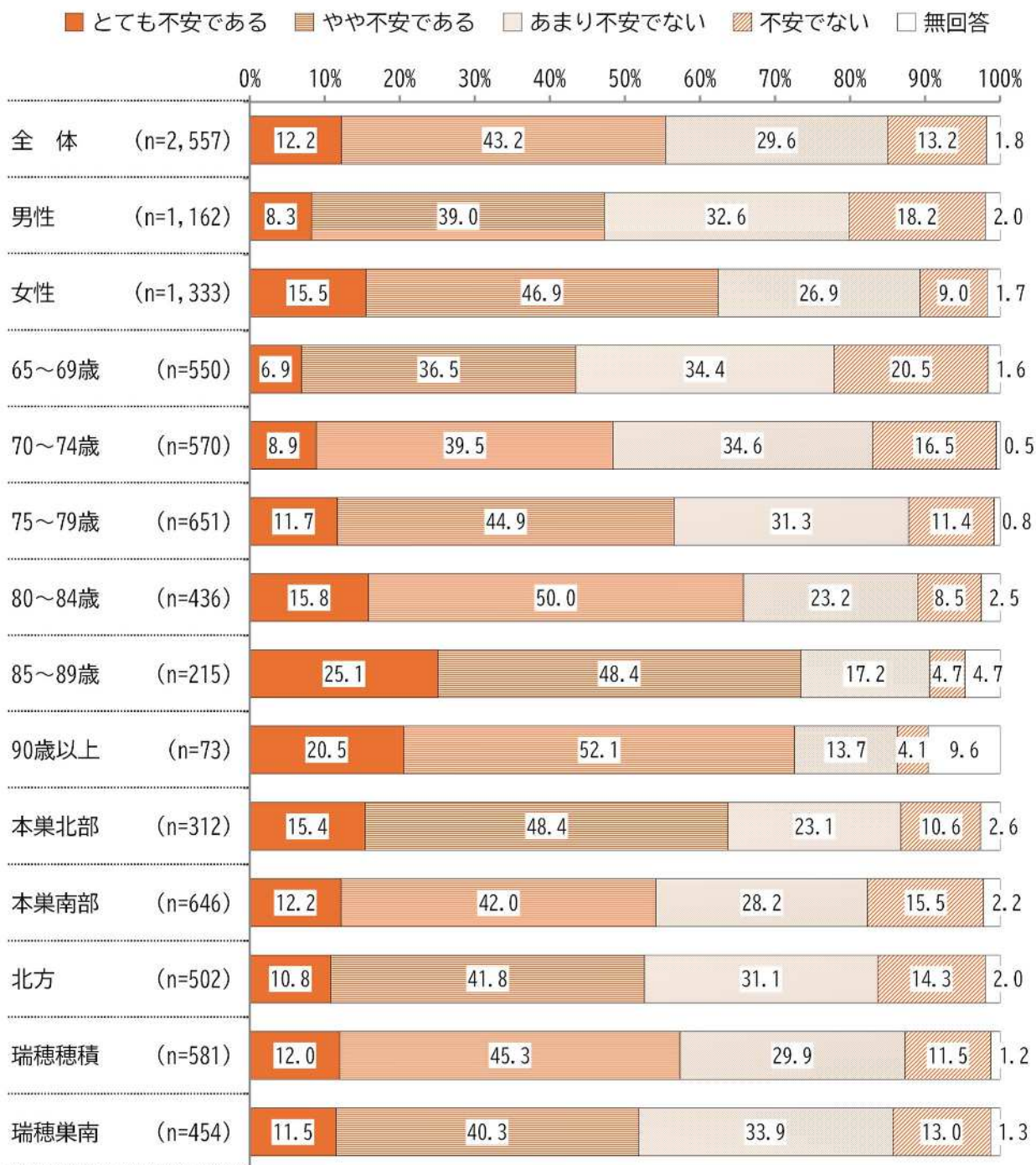
問 15 転倒に対する不安は大きいですか。(○印は1つだけ)

全体では、「やや不安である」が43.2%、「あまり不安でない」が29.6%となっており、「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”は55.4%となっています。

性別で見ると、男性は“不安である”が47.3%、女性は62.4%と男性よりも女性が15.1ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、85歳以上で“不安である”が7割以上と高くなっています。

地区で見ると、本巣北部で“不安である”が6割以上と高くなっています。



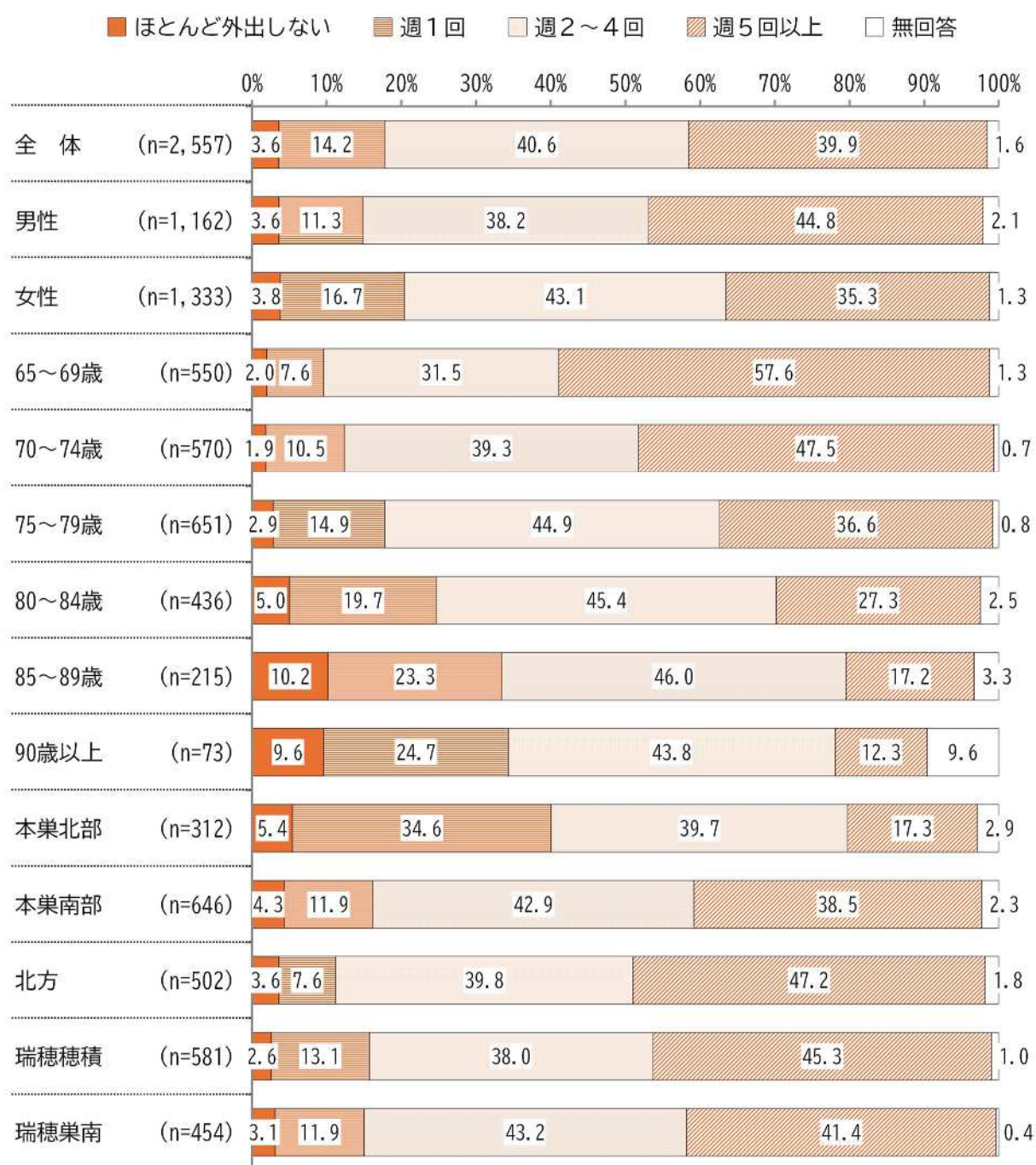
問 16 週に1回以上は外出していますか。(○印は1つだけ)

全体では、「週2～4回」が40.6%、「週5回以上」が39.9%となっています。

性別でみると、男性は「週5回以上」が44.8%、「週2～4回」が38.2%、女性は「週2～4回」が43.1%、「週5回以上」が35.3%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい外出の機会も少なくなる傾向となっており、週2回以上の外出で65～69歳は89.1%、90歳以上では56.1%とその差は33ポイントとなっています。

地区でみると、本巣北部では週2回以上の外出が57.0%と最も低く、他の地区では8割以上となっています。



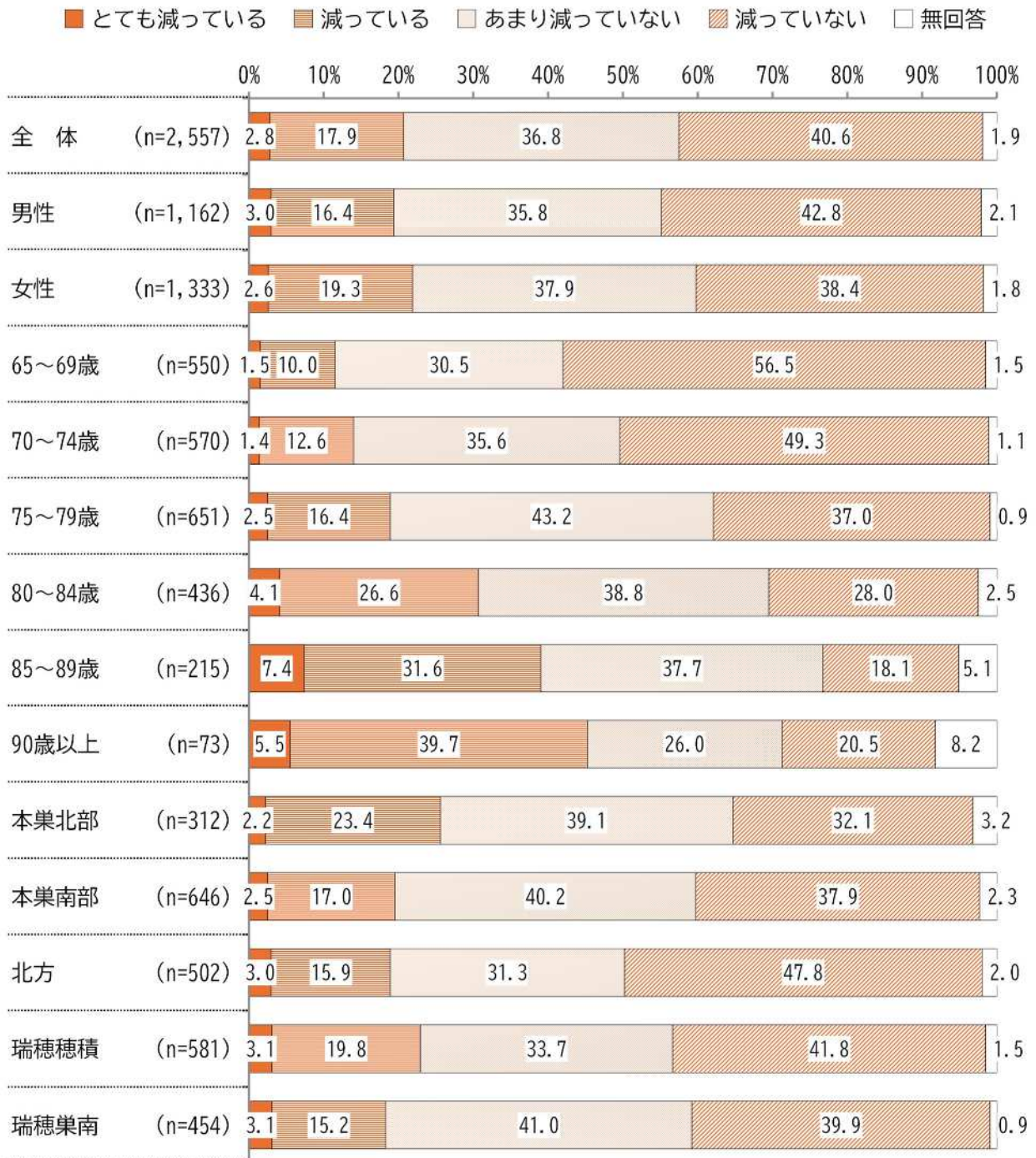
問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「減っていない」が40.6%、「あまり減っていない」が36.8%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、瑞穂巣南で「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”割合が8割以上となっています。



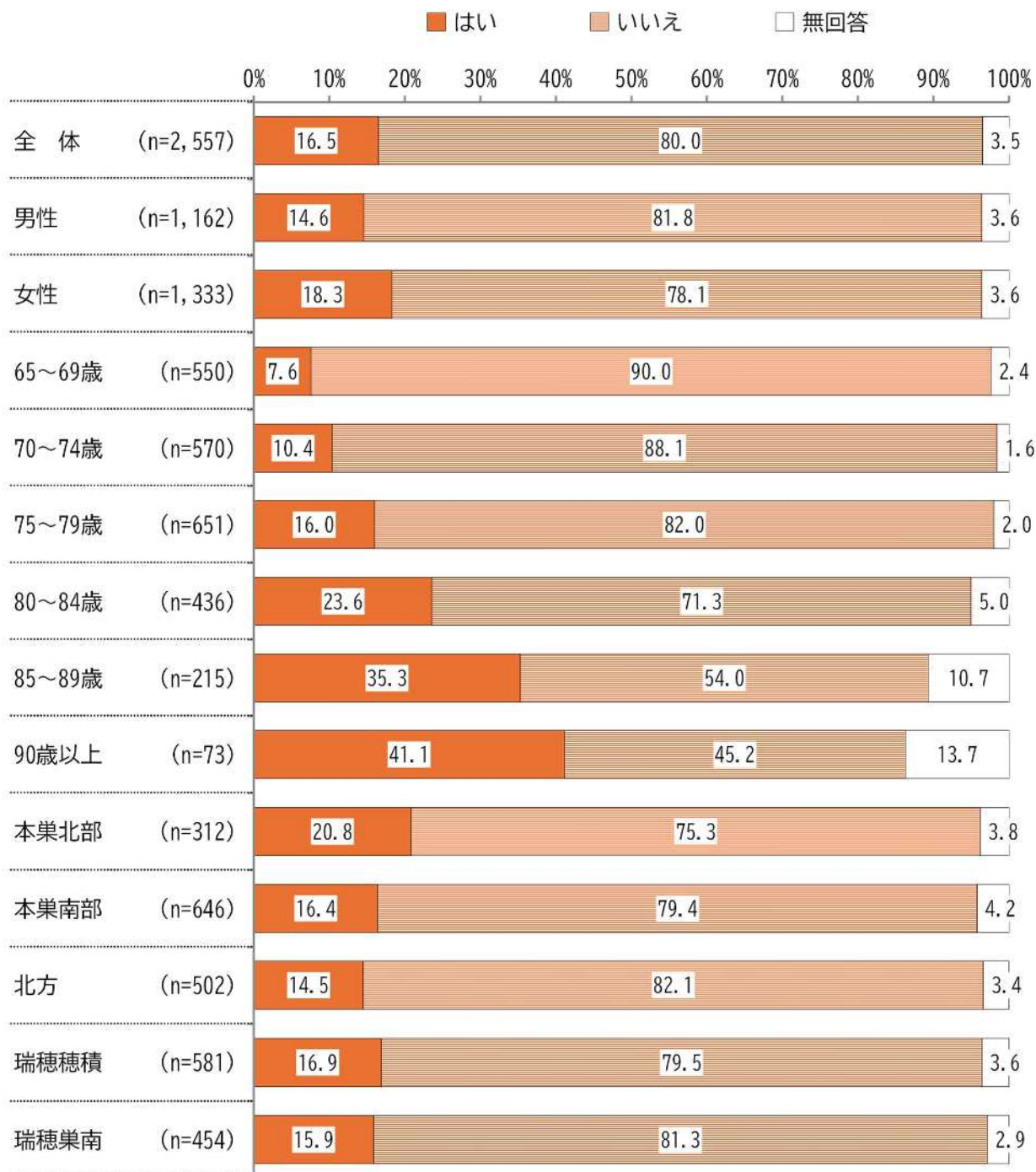
問 18 外出を控えていますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が80.0%、「はい」が16.5%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が81.8%、「はい」が14.6%、女性は「いいえ」が78.1%、「はい」が18.3%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部で「はい」が2割以上となっています。



【問 19 は、問 18 で「1.はい」(外出を控えている)を選択した方のみお答えください】

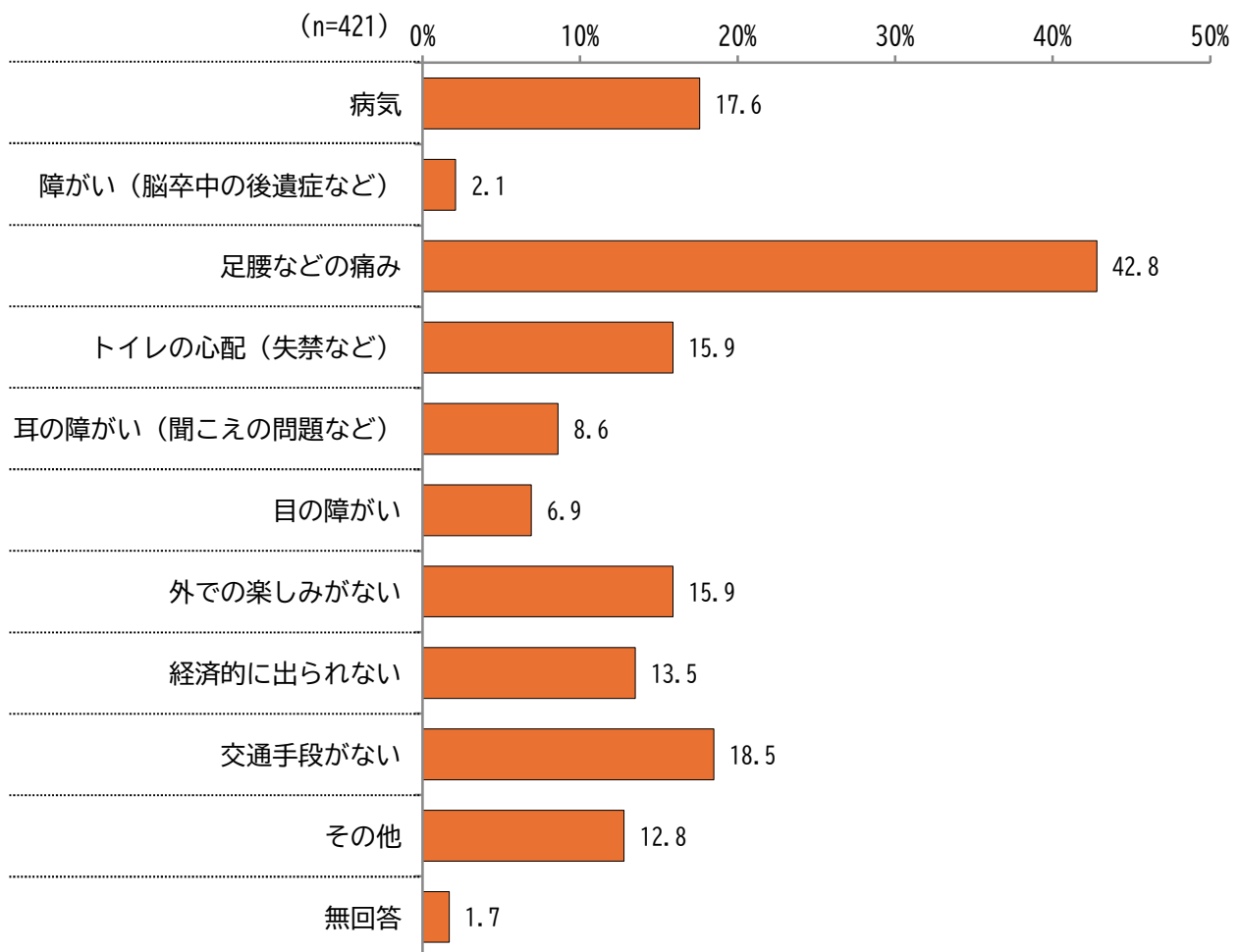
問 19 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○印はいくつでも)

全体では、「足腰などの痛み」が 42.8%で最も高く、次いで「交通手段がない」が 18.5%、「病気」が 17.6%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「足腰などの痛み」が最も高く、男性よりも女性が 8.7 ポイント高くなっています。また、「交通手段がない」では男性よりも女性が 14. ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、75 歳以上で「足腰などの痛み」が 4 割以上と高く、65～74 歳では「経済的に出られない」が約 3 割と高くなっています。

地区で見ると、地区にかかわらず「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、本巣南部、瑞穂巣南では、「交通手段がない」、北方では「外での楽しみがない」が 2 割以上となっています。



		全体	病 気	障 がい (脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	禁 ト イ レ の 心 配 (失 な ど)	え 耳 の 障 がい (聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 がい	い 外 で の 楽 し み が な い	い 経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
上段:実数 下段:(%)													
全 体		421	74	9	180	67	36	29	67	57	78	54	7
		100.0	17.6	2.1	42.8	15.9	8.6	6.9	15.9	13.5	18.5	12.8	1.7
性 別	男性	170	35	8	64	32	16	14	37	31	18	19	1
		100.0	20.6	4.7	37.6	18.8	9.4	8.2	21.8	18.2	10.6	11.2	0.6
	女性	244	36	1	113	34	20	15	30	26	60	33	5
		100.0	14.8	0.4	46.3	13.9	8.2	6.1	12.3	10.7	24.6	13.5	2.0
年 齢	65～69歳	42	12	1	8	7	0	1	7	12	5	8	0
		100.0	28.6	2.4	19.0	16.7	0.0	2.4	16.7	28.6	11.9	19.0	0.0
	70～74歳	59	10	0	17	7	2	2	16	16	5	11	0
		100.0	16.9	0.0	28.8	11.9	3.4	3.4	27.1	27.1	8.5	18.6	0.0
	75～79歳	104	20	2	45	15	7	13	22	19	18	16	1
		100.0	19.2	1.9	43.3	14.4	6.7	12.5	21.2	18.3	17.3	15.4	1.0
	80～84歳	103	13	5	48	17	10	7	11	7	18	7	3
		100.0	12.6	4.9	46.6	16.5	9.7	6.8	10.7	6.8	17.5	6.8	2.9
	85～89歳	76	10	1	40	14	12	6	8	2	22	8	2
		100.0	13.2	1.3	52.6	18.4	15.8	7.9	10.5	2.6	28.9	10.5	2.6
	90歳以上	30	6	0	19	6	5	0	3	1	10	2	0
		100.0	20.0	0.0	63.3	20.0	16.7	0.0	10.0	3.3	33.3	6.7	0.0
地 区	本巢北部	65	10	1	28	12	2	2	9	12	4	11	2
		100.0	15.4	1.5	43.1	18.5	3.1	3.1	13.8	18.5	6.2	16.9	3.1
	本巢南部	106	17	2	46	14	10	8	19	10	25	13	1
		100.0	16.0	1.9	43.4	13.2	9.4	7.5	17.9	9.4	23.6	12.3	0.9
	北方	73	15	1	28	10	5	4	16	16	14	8	0
		100.0	20.5	1.4	38.4	13.7	6.8	5.5	21.9	21.9	19.2	11.0	0.0
瑞穂穂積	98	19	3	50	18	8	10	11	12	17	11	1	
	100.0	19.4	3.1	51.0	18.4	8.2	10.2	11.2	12.2	17.3	11.2	1.0	
瑞穂巢南	72	10	2	25	12	11	5	12	7	18	9	2	
	100.0	13.9	2.8	34.7	16.7	15.3	6.9	16.7	9.7	25.0	12.5	2.8	

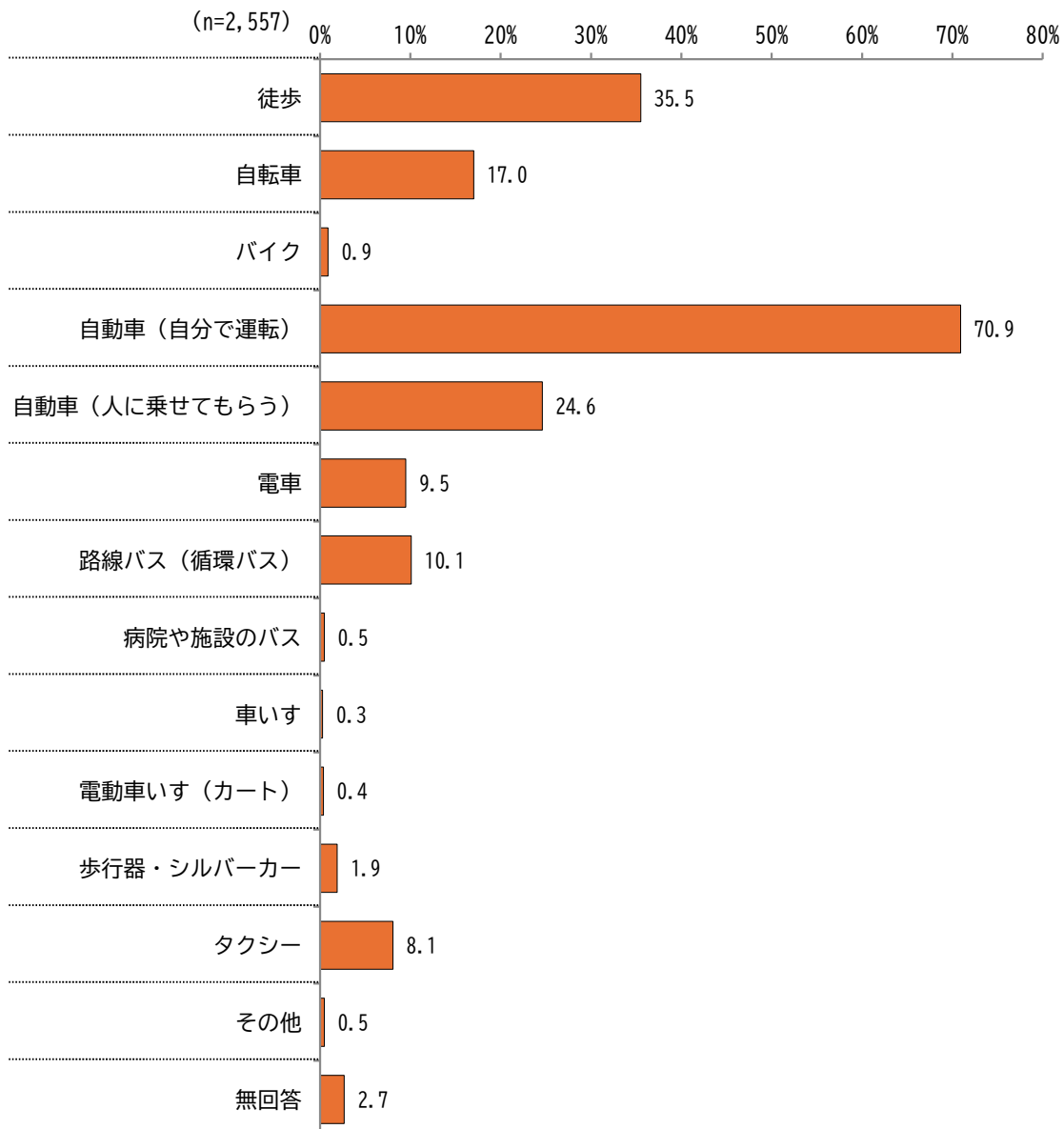
問 20 外出する際の移動手段は何ですか。(○印はいくつでも)

全体では、「自動車（自分で運転）」が 70.9%で最も高く、次いで「徒歩」が 35.5%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「自動車（自分で運転）」が最も高く、女性よりも男性が 20.4 ポイント高くなっています。また、「自動車（人に乗せてもらう）」では男性よりも女性が 20.4 ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、65～79 歳では「自動車（自分で運転）」が 7 割以上で高く、80 歳以上では「自動車（自分で運転）」が 3 割以上で高くなっています。また、「病院や施設のバス」は 3%以下でほぼ利用されていません。

地区で見ると、北方、瑞穂穂積で「徒歩」が 4 割以上と高く、北方では「路線バス（循環バス）」も 2 割と高くなっています。



		全体	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	せ ても ら う (人 に 乗 )	電 車	バ ス 路 線 バ ス (循 環 )	ス 病 院 や 施 設 の バ ス	車 い ず	電 動 車 い ず (カ ー ト )	歩 行 器 ・ カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答
		上段:実数	下段:(%)													
全 体		2,557	909	435	22	1,812	630	242	258	13	8	9	48	207	13	70
		100.0	35.5	17.0	0.9	70.9	24.6	9.5	10.1	0.5	0.3	0.4	1.9	8.1	0.5	2.7
性 別	男性	1,162	423	195	16	947	160	105	88	4	2	5	6	56	3	37
		100.0	36.4	16.8	1.4	81.5	13.8	9.0	7.6	0.3	0.2	0.4	0.5	4.8	0.3	3.2
性 別	女性	1,333	461	227	5	815	456	127	164	9	5	4	42	150	10	33
		100.0	34.6	17.0	0.4	61.1	34.2	9.5	12.3	0.7	0.4	0.3	3.2	11.3	0.8	2.5
年 齢	65～69歳	550	196	75	7	479	109	71	45	1	2	0	1	13	2	14
		100.0	35.6	13.6	1.3	87.1	19.8	12.9	8.2	0.2	0.4	0.0	0.2	2.4	0.4	2.5
	70～74歳	570	190	92	5	483	103	57	45	1	2	0	2	16	3	5
		100.0	33.3	16.1	0.9	84.7	18.1	10.0	7.9	0.2	0.4	0.0	0.4	2.8	0.5	0.9
	75～79歳	651	253	121	4	474	159	46	68	1	0	1	5	32	2	14
		100.0	38.9	18.6	0.6	72.8	24.4	7.1	10.4	0.2	0.0	0.2	0.8	4.9	0.3	2.2
	80～84歳	436	150	89	4	232	140	41	54	7	1	3	14	80	2	20
		100.0	34.4	20.4	0.9	53.2	32.1	9.4	12.4	1.6	0.2	0.7	3.2	18.3	0.5	4.6
	85～89歳	215	67	32	1	84	71	16	32	1	2	1	22	47	3	8
		100.0	31.2	14.9	0.5	39.1	33.0	7.4	14.9	0.5	0.9	0.5	10.2	21.9	1.4	3.7
	90歳以上	73	28	13	0	10	34	1	8	2	0	4	4	18	1	9
		100.0	38.4	17.8	0.0	13.7	46.6	1.4	11.0	2.7	0.0	5.5	5.5	24.7	1.4	12.3
地 区	本巣北部	312	70	18	5	219	77	21	25	4	2	2	5	19	2	16
		100.0	22.4	5.8	1.6	70.2	24.7	6.7	8.0	1.3	0.6	0.6	1.6	6.1	0.6	5.1
	本巣南部	646	210	103	2	492	155	34	42	2	2	2	11	40	5	18
		100.0	32.5	15.9	0.3	76.2	24.0	5.3	6.5	0.3	0.3	0.3	1.7	6.2	0.8	2.8
	北方	502	229	97	4	325	116	42	101	2	1	0	10	50	3	14
		100.0	45.6	19.3	0.8	64.7	23.1	8.4	20.1	0.4	0.2	0.0	2.0	10.0	0.6	2.8
瑞穂穂積	581	233	109	4	386	157	85	47	4	2	3	14	67	0	9	
	100.0	40.1	18.8	0.7	66.4	27.0	14.6	8.1	0.7	0.3	0.5	2.4	11.5	0.0	1.5	
瑞穂巣南	454	142	95	6	340	111	50	37	1	0	2	8	30	3	13	
	100.0	31.3	20.9	1.3	74.9	24.4	11.0	8.1	0.2	0.0	0.4	1.8	6.6	0.7	2.9	

## 4 食べることについて

問 21 あなたの身長、体重を記入してください。(それぞれ数字を記入)

### ① 身長

全体では、「150 以上 155cm 未満」が 19.6%で最も高く、次いで「155 以上 160cm 未満」が 17.1%、「160 以上 165cm 未満」が 17.0%となっています。

性別でみると、男性は「165 以上 170cm 未満」が 30.6%、女性は「150 以上 155cm 未満」が 32.8%で最も高くなっています。

年齢別でみると、65～69 歳では「160 以上 165cm 未満」、70～74 歳では「155 以上 160cm 未満」、75～89 歳では「150 以上 155cm 未満」、90 歳以上で「145 以上 150cm 未満」が最も高くなっています。

地区でみると、本巢北部、瑞穂穂積では「155 以上 160cm 未満」、本巢南部、北方では「150 以上 155cm 未満」、瑞穂巢南では「160 以上 165cm 未満」が最も高くなっています。

	上段:実数 下段:(%)	全 体	1 4 0 c m 未 満	1 4 5 c 以 上 未 満	1 5 0 c 以 上 未 満	1 5 5 c 以 上 未 満	1 6 0 c 以 上 未 満	1 6 5 c 以 上 未 満	1 7 0 c 以 上 未 満	1 7 5 c 以 上 未 満	1 8 0 c 以 上 未 満	無 回 答	
		2,557 100.0	31 1.2	102 4.0	277 10.8	501 19.6	436 17.1	434 17.0	376 14.7	227 8.9	71 2.8	16 0.6	86 3.4
全 体		2,557	31	102	277	501	436	434	376	227	71	16	86
		100.0	1.2	4.0	10.8	19.6	17.1	17.0	14.7	8.9	2.8	0.6	3.4
性 別	男性	1,162	0	2	5	43	117	299	356	220	69	16	35
		100.0	0.0	0.2	0.4	3.7	10.1	25.7	30.6	18.9	5.9	1.4	3.0
性 別	女性	1,333	30	98	268	437	306	126	16	1	1	0	50
		100.0	2.3	7.4	20.1	32.8	23.0	9.5	1.2	0.1	0.1	0.0	3.8
年 齢	65～69歳	550	0	8	32	92	101	109	98	65	32	7	6
		100.0	0.0	1.5	5.8	16.7	18.4	19.8	17.8	11.8	5.8	1.3	1.1
	70～74歳	570	3	13	53	107	115	96	96	56	17	4	10
		100.0	0.5	2.3	9.3	18.8	20.2	16.8	16.8	9.8	3.0	0.7	1.8
	75～79歳	651	3	19	86	139	104	98	103	68	16	3	12
		100.0	0.5	2.9	13.2	21.4	16.0	15.1	15.8	10.4	2.5	0.5	1.8
	80～84歳	436	8	31	54	92	73	84	52	20	4	1	17
		100.0	1.8	7.1	12.4	21.1	16.7	19.3	11.9	4.6	0.9	0.2	3.9
	85～89歳	215	11	22	34	42	25	29	16	10	1	1	24
		100.0	5.1	10.2	15.8	19.5	11.6	13.5	7.4	4.7	0.5	0.5	11.2
	90歳以上	73	5	7	14	8	5	9	7	2	0	0	16
		100.0	6.8	9.6	19.2	11.0	6.8	12.3	9.6	2.7	0.0	0.0	21.9
地 区	本巢北部	312	3	13	45	46	60	42	43	23	17	3	17
		100.0	1.0	4.2	14.4	14.7	19.2	13.5	13.8	7.4	5.4	1.0	5.4
	本巢南部	646	9	26	78	130	97	105	97	57	17	3	27
		100.0	1.4	4.0	12.1	20.1	15.0	16.3	15.0	8.8	2.6	0.5	4.2
	北方	502	5	16	36	121	79	87	79	45	15	4	15
		100.0	1.0	3.2	7.2	24.1	15.7	17.3	15.7	9.0	3.0	0.8	3.0
	瑞穂穂積	581	8	31	63	99	107	98	84	55	17	5	14
		100.0	1.4	5.3	10.8	17.0	18.4	16.9	14.5	9.5	2.9	0.9	2.4
	瑞穂巢南	454	5	14	51	84	80	93	69	41	4	1	12
		100.0	1.1	3.1	11.2	18.5	17.6	20.5	15.2	9.0	0.9	0.2	2.6

## ② 体重

全体では、「50kg 以上 60kg 未満」が 33.0%で最も高く、次いで「60kg 以上 70kg 未満」が 24.8%、「40kg 以上 50kg 未満」が 21.2%となっています。

性別でみると、男性は「60kg 以上 70kg 未満」が 37.3%、女性は「50kg 以上 60kg 未満」が 39.2%で最も高くなっています。

年齢別でみると、85～89 歳を除く年代では「50kg 以上 60kg 未満」が最も高く、85～89 歳では「40kg 以上 50kg 未満」が最も高くなっています。

地区でみても、大きな差はみられません。

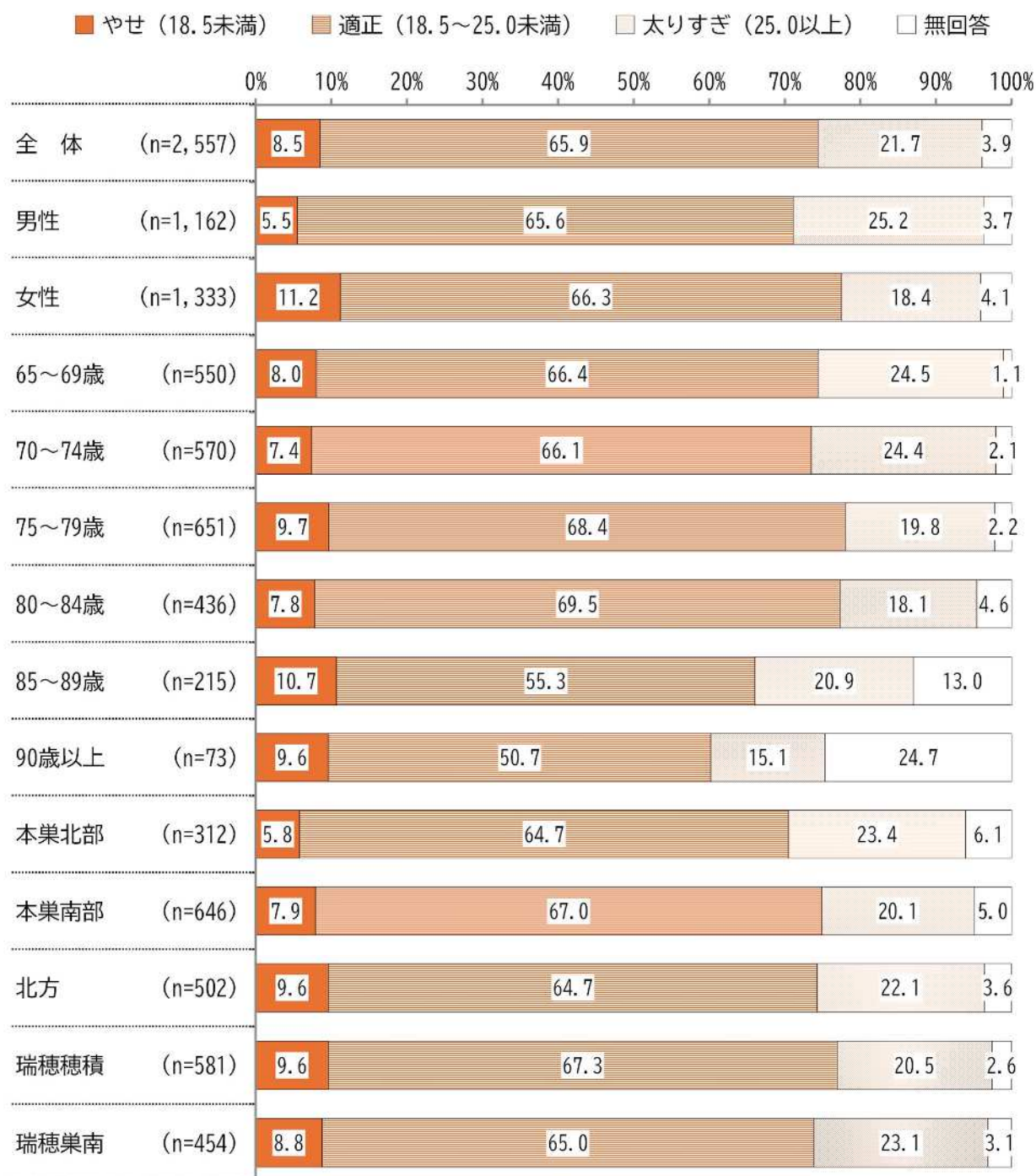
		全 体	4 0 k g 未 満	5 4 k k g 未 満 上	6 5 k k g 未 満 上	7 6 k k g 未 満 上	8 7 k k g 未 満 上	9 8 k k g 未 満 上	1 9 k g 以 上 未 満	1 0 k g	無 回 答
		上段:実数 下段:(%)									
全 体		2,557	91	543	844	635	277	69	10	2	86
		100.0	3.6	21.2	33.0	24.8	10.8	2.7	0.4	0.1	3.4
性 別	男性	1,162	1	71	298	434	246	60	9	2	41
		100.0	0.1	6.1	25.6	37.3	21.2	5.2	0.8	0.2	3.5
	女性	1,333	88	457	522	190	24	6	1	0	45
		100.0	6.6	34.3	39.2	14.3	1.8	0.5	0.1	0.0	3.4
年 齢	65～69歳	550	11	95	169	149	89	27	3	1	6
		100.0	2.0	17.3	30.7	27.1	16.2	4.9	0.5	0.2	1.1
	70～74歳	570	12	104	190	155	73	23	3	0	10
		100.0	2.1	18.2	33.3	27.2	12.8	4.0	0.5	0.0	1.8
	75～79歳	651	20	137	228	177	70	4	2	0	13
		100.0	3.1	21.0	35.0	27.2	10.8	0.6	0.3	0.0	2.0
	80～84歳	436	21	109	154	97	28	7	2	0	18
		100.0	4.8	25.0	35.3	22.2	6.4	1.6	0.5	0.0	4.1
	85～89歳	215	17	65	56	39	8	5	0	1	24
		100.0	7.9	30.2	26.0	18.1	3.7	2.3	0.0	0.5	11.2
	90歳以上	73	8	18	23	7	2	0	0	0	15
		100.0	11.0	24.7	31.5	9.6	2.7	0.0	0.0	0.0	20.5
地 区	本巢北部	312	11	55	99	85	38	8	0	1	15
		100.0	3.5	17.6	31.7	27.2	12.2	2.6	0.0	0.3	4.8
	本巢南部	646	23	147	197	172	64	12	1	0	30
		100.0	3.6	22.8	30.5	26.6	9.9	1.9	0.2	0.0	4.6
	北方	502	13	121	158	120	61	9	4	1	15
		100.0	2.6	24.1	31.5	23.9	12.2	1.8	0.8	0.2	3.0
	瑞穂穂積	581	29	113	212	127	61	22	3	0	14
		100.0	5.0	19.4	36.5	21.9	10.5	3.8	0.5	0.0	2.4
	瑞穂巢南	454	13	92	154	120	46	15	2	0	12
		100.0	2.9	20.3	33.9	26.4	10.1	3.3	0.4	0.0	2.6

### ③ BMI（3段階）

全体では、「適正（18.5～25.0未満）」が65.9%、「太りすぎ（25.0以上）」が21.7%となっています。

性別で見ると、男性は「適正（18.5～25.0未満）」が65.6%、「太りすぎ（25.0以上）」が25.2%、女性は「適正（18.5～25.0未満）」が66.3%、「太りすぎ（25.0以上）」が18.4%となっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず5～6割の人が「適正（18.5～25.0未満）」となっています。地区で見ても、大きな差はみられません。



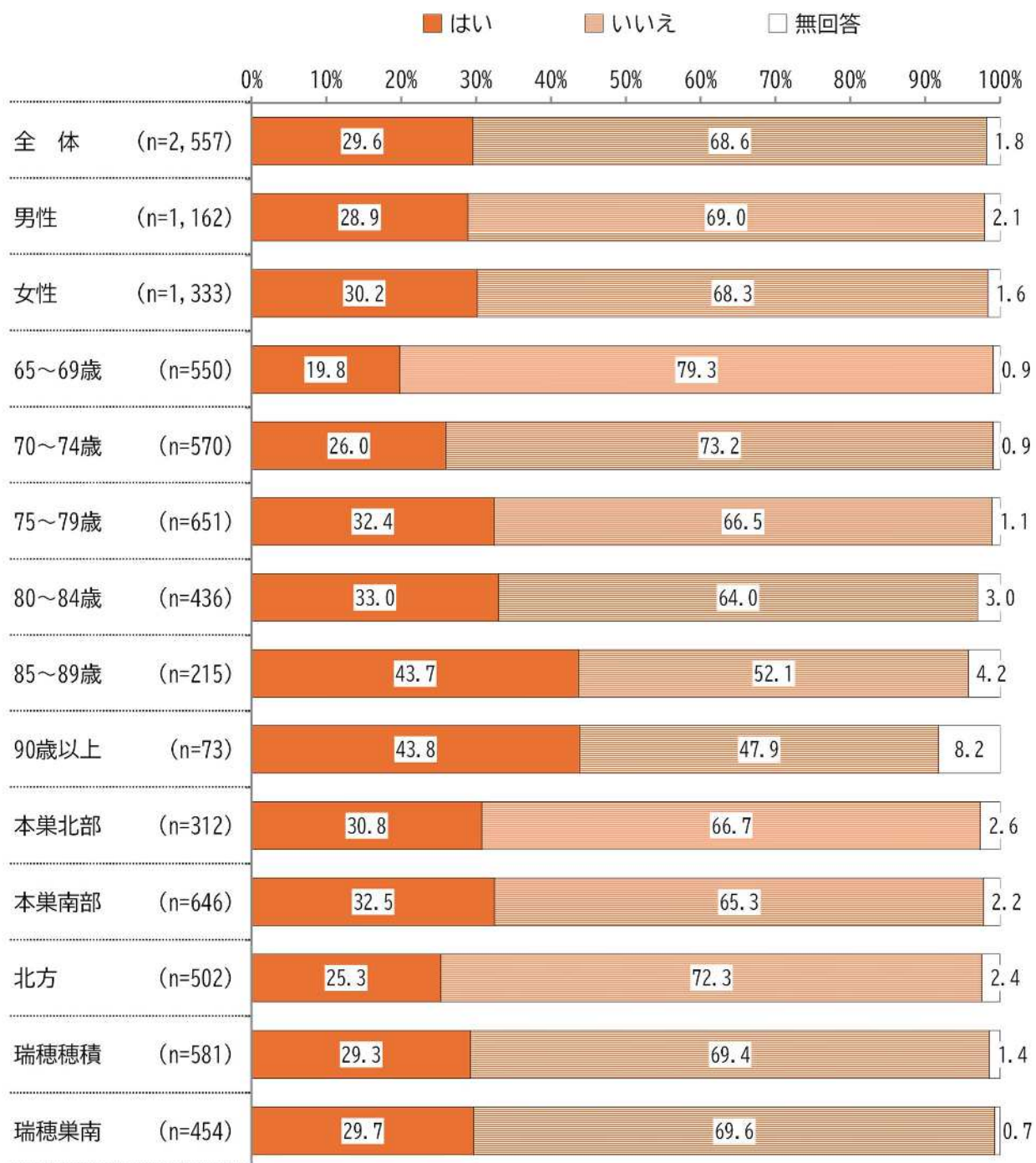
問 22 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 68.6%、「はい」が 29.6%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が 69.0%、「はい」が 28.9%、女性は「いいえ」が 68.3%、「はい」が 30.2%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部、本巣南部で「はい」が3割以上となっています。



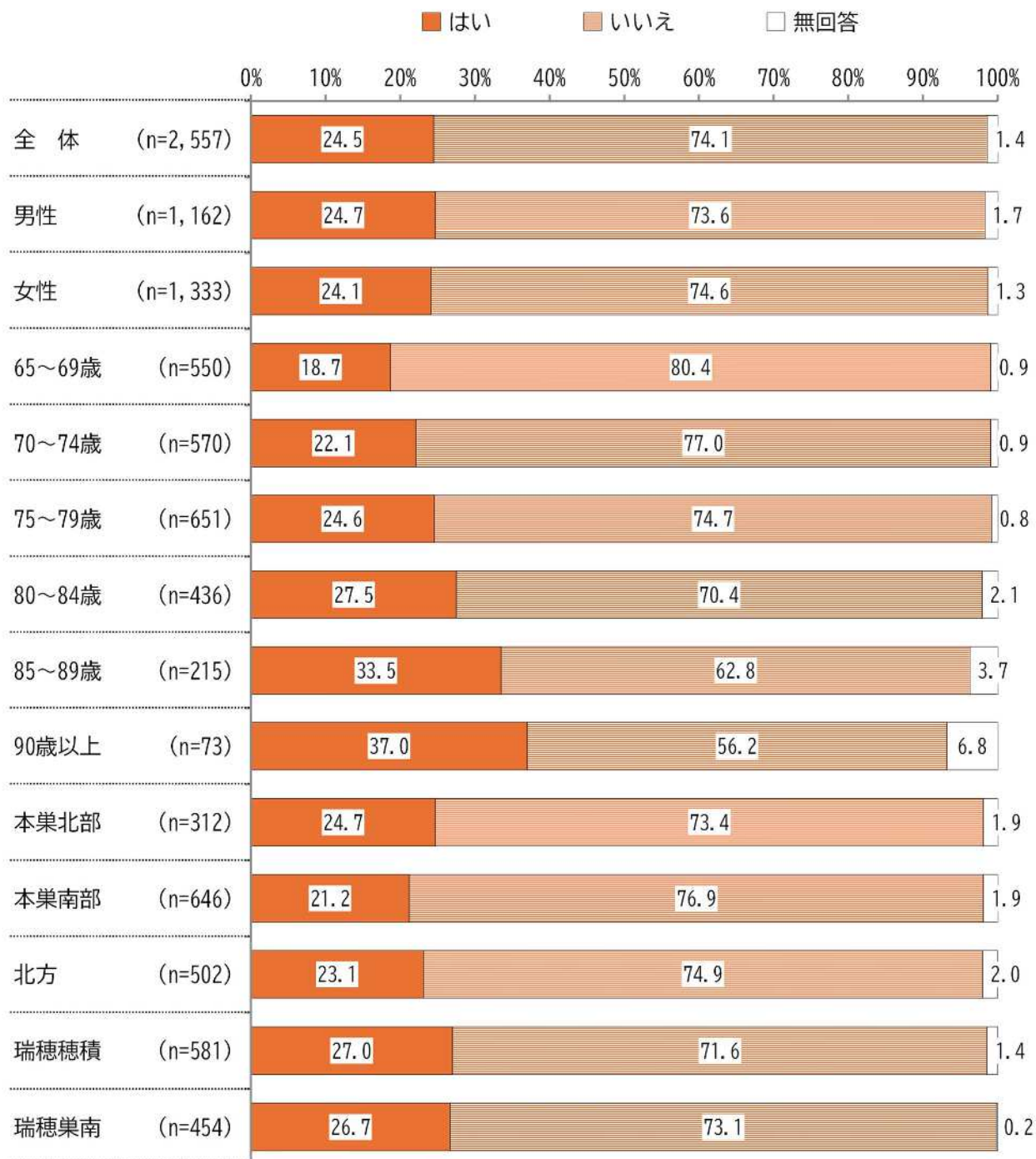
問 23 お茶や汁物などでむせることがありますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が74.1%、「はい」が24.5%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が73.6%、「はい」が24.7%、女性は「いいえ」が74.6%、「はい」が24.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。

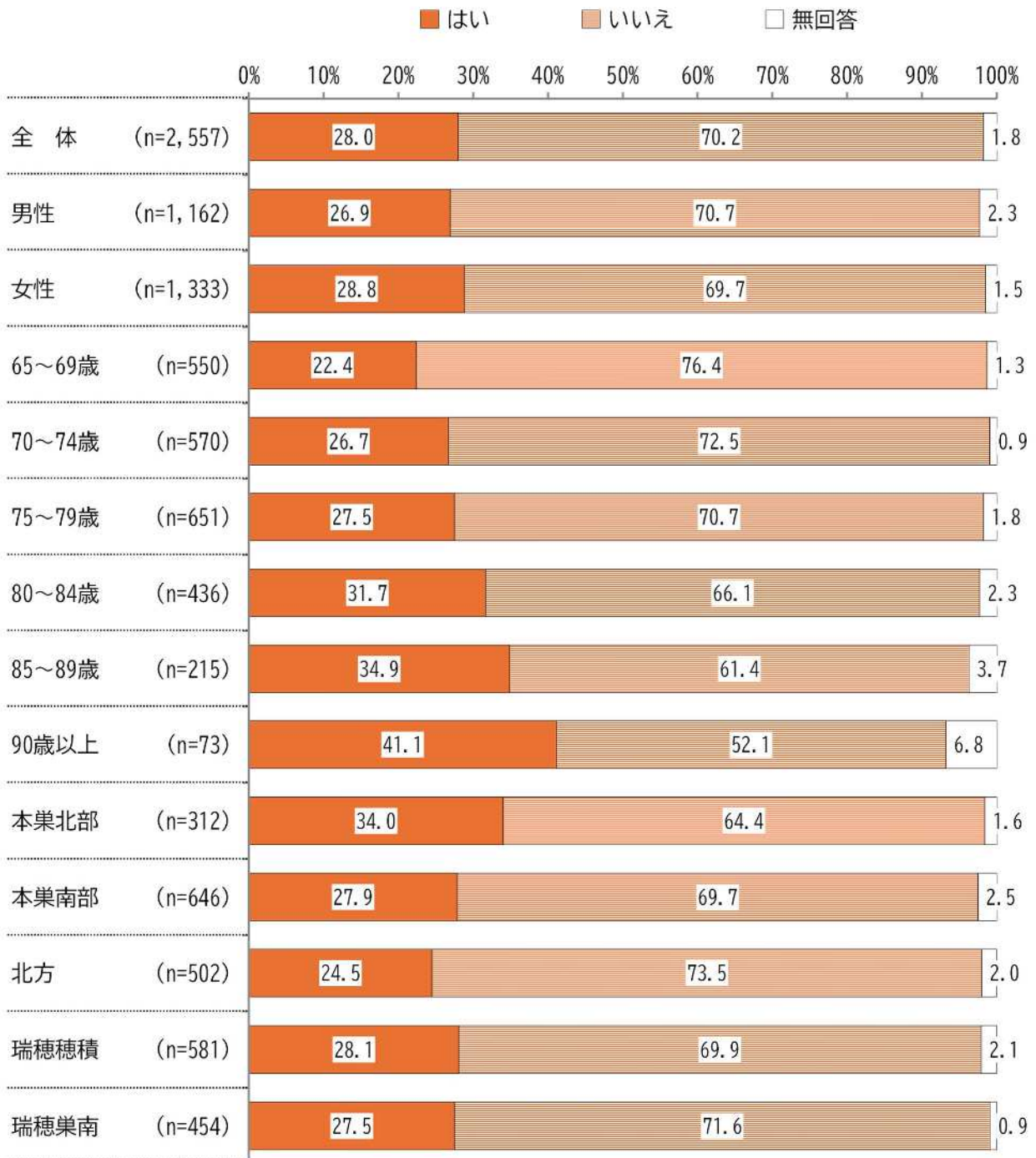


問 24 口の渇きが気になりますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が70.2%、「はい」が28.0%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が70.7%、「はい」が26.9%、女性は「いいえ」が69.7%、「はい」が28.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。  
地区でみると、本巣北部では「はい」が34.0%で3割以上となっています。



問 25 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかに○印）

全体では、「はい」が91.4%、「いいえ」が7.0%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が89.4%、「いいえ」が8.8%、女性は「はい」が92.9%、「いいえ」が5.6%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



問 26 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(○印は1つだけ)

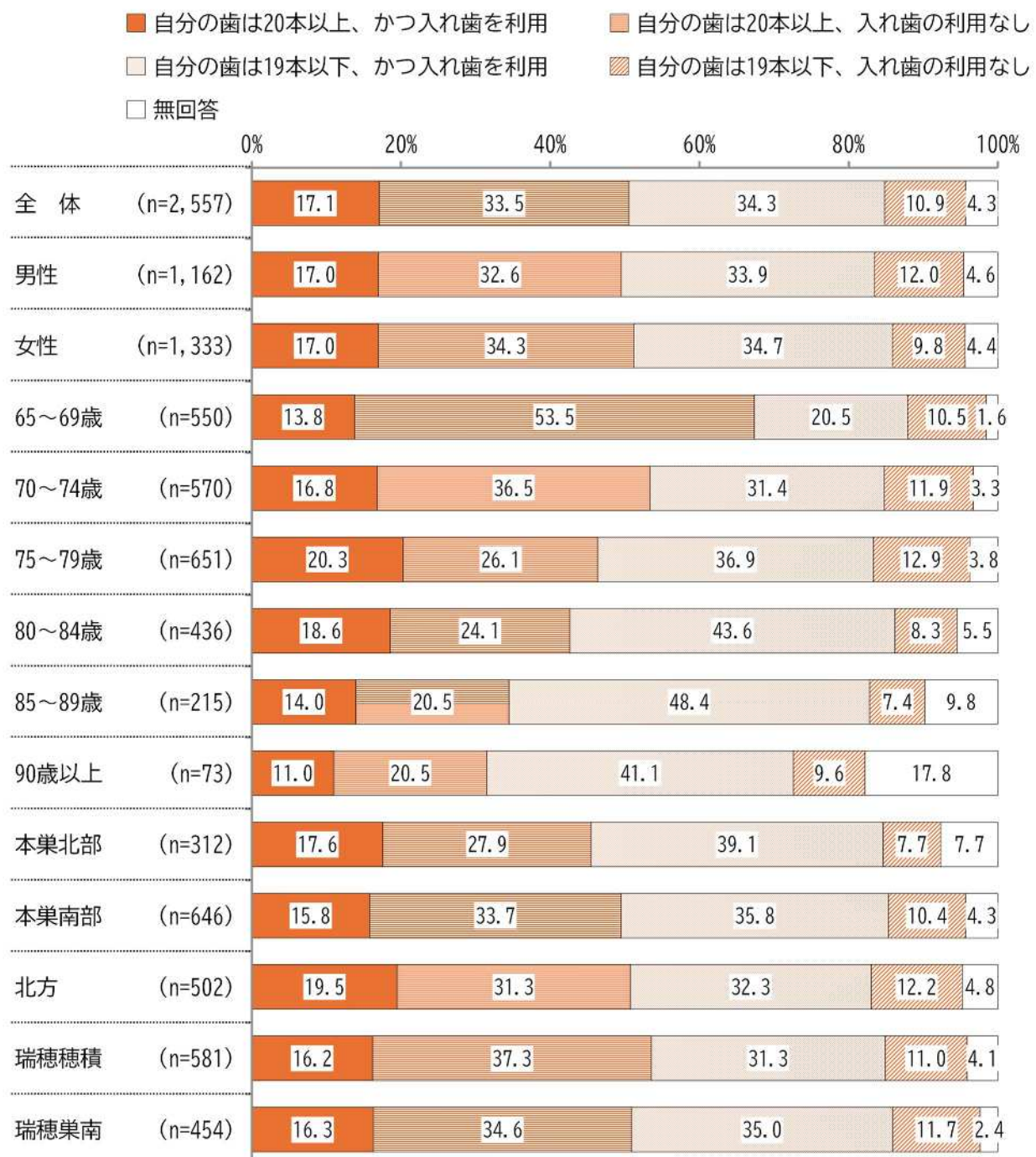
※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。

全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.3%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.5%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい自分の歯の本数は減り、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



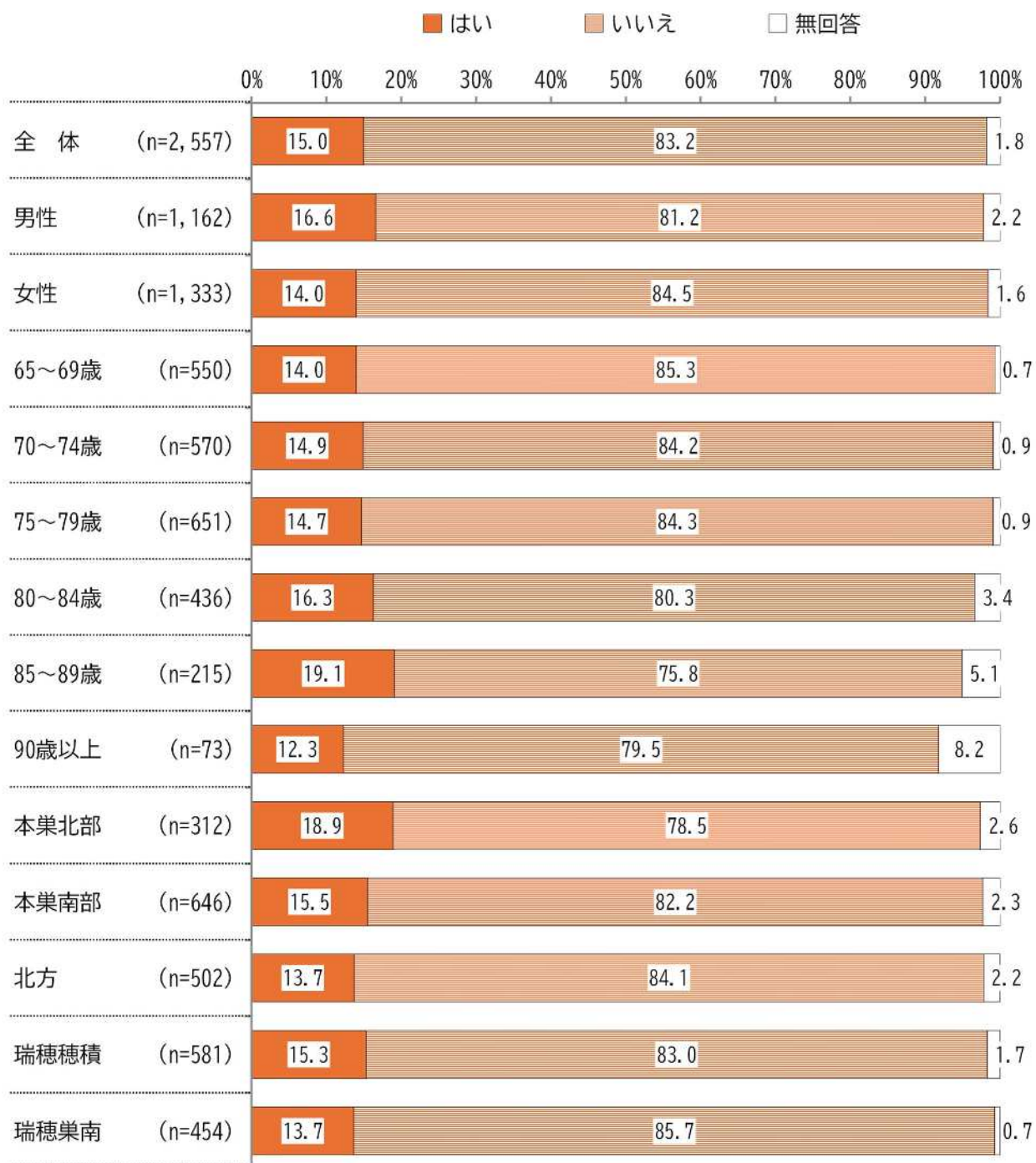
問 27 6 か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が83.2%、「はい」が15.0%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が81.2%、「はい」が16.6%、女性は「いいえ」が84.5%、「はい」が14.0%となっています。

年齢別でも、大きな差はみられません。

地区でも、大きな差はみられません。



問 28 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○印は1つだけ)

全体では、「毎日ある」が57.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」が14.3%、「年に何度かある」が9.5%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、65～89歳までは年齢が上がるにしたがい「毎日ある」の割合が低くなる傾向となっており、85～89歳では38.1%となっています。また、90歳以上で「毎日ある」が50.7%と高くなっています。

地区で見ると、地区にかかわらず「毎日ある」が最も高くなっています。また、本巣北部では「毎日ある」が49.4%で最も高くなっているものの、他の地区より1割程度低くなっています。



## 5 毎日の生活について

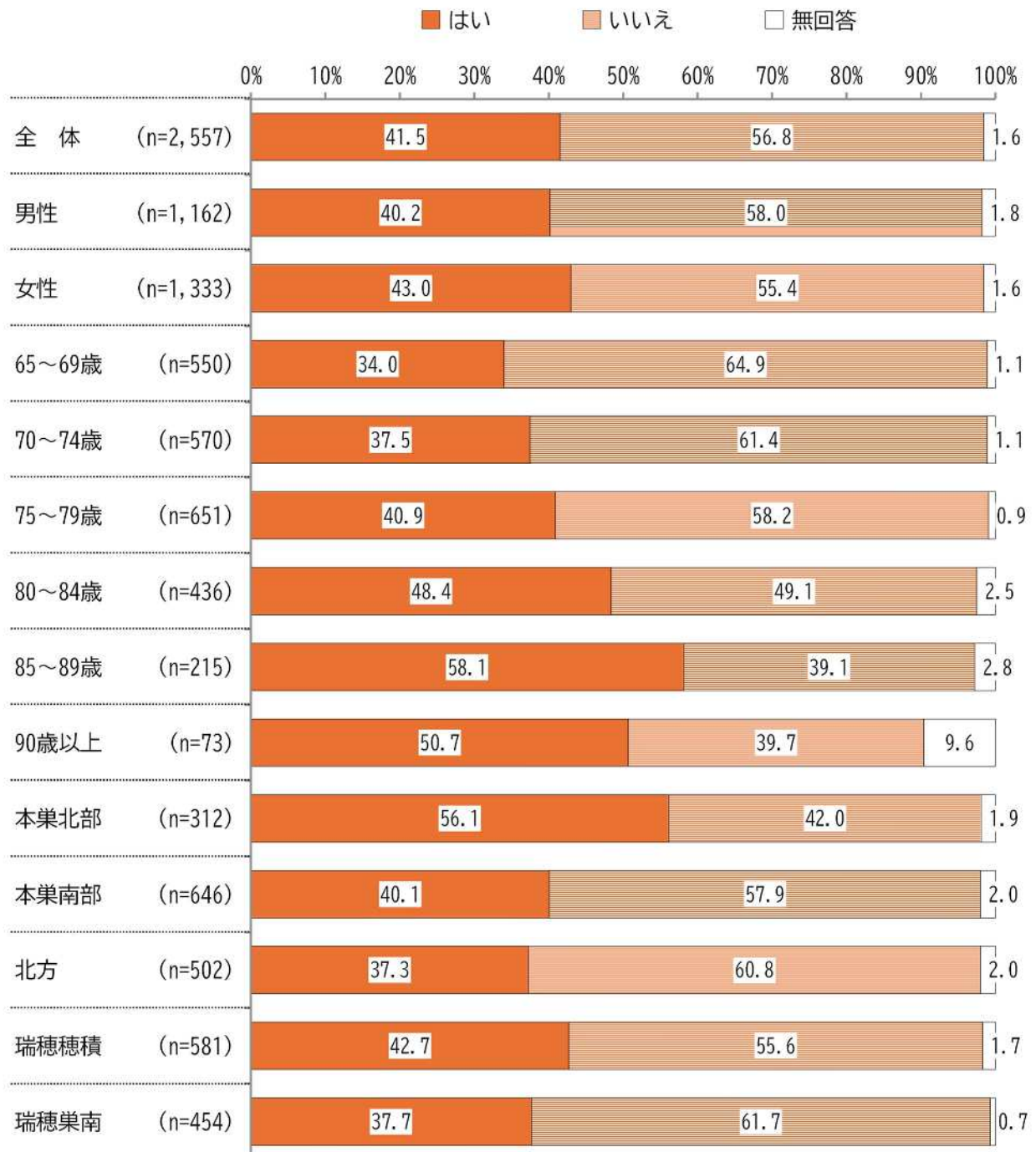
### 問 29 物忘れが多いと感じますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が56.8%、「はい」が41.5%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が58.0%、「はい」が40.2%、女性は「いいえ」が55.4%、「はい」が43.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向にあり、79歳までは「いいえ」が5割以上となっています。80歳以上では「いいえ」が5割以下と逆転しています。

地区でみると、本巣北部では「はい」が56.1%と高くなっています。



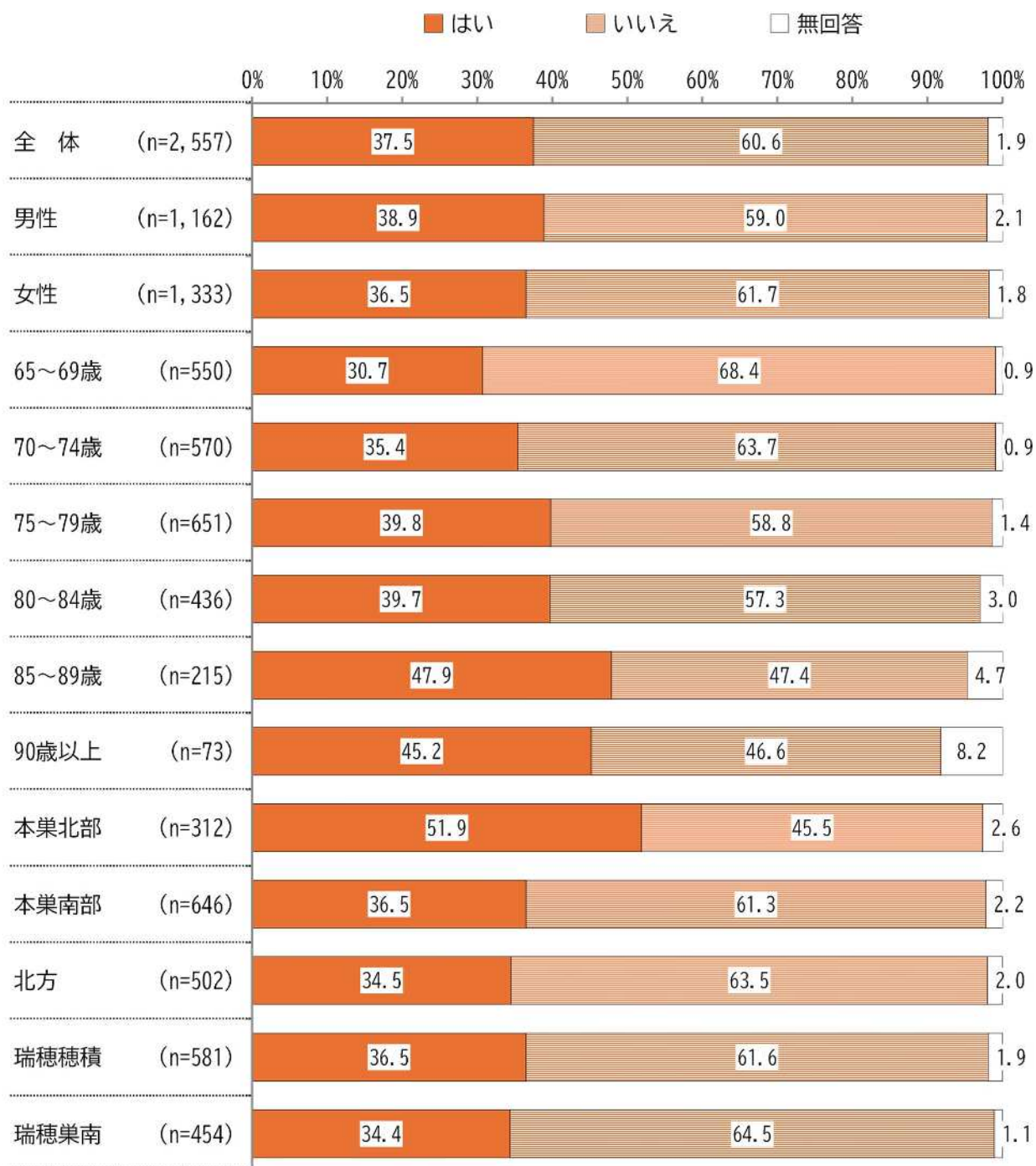
問 30 ほかに人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 60.6%、「はい」が 37.5%となっています。

性別でみると、男性は「いいえ」が 59.0%、「はい」が 38.9%、女性は「いいえ」が 61.7%、「はい」が 36.5%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部では「はい」が 51.9%と高くとなっています。



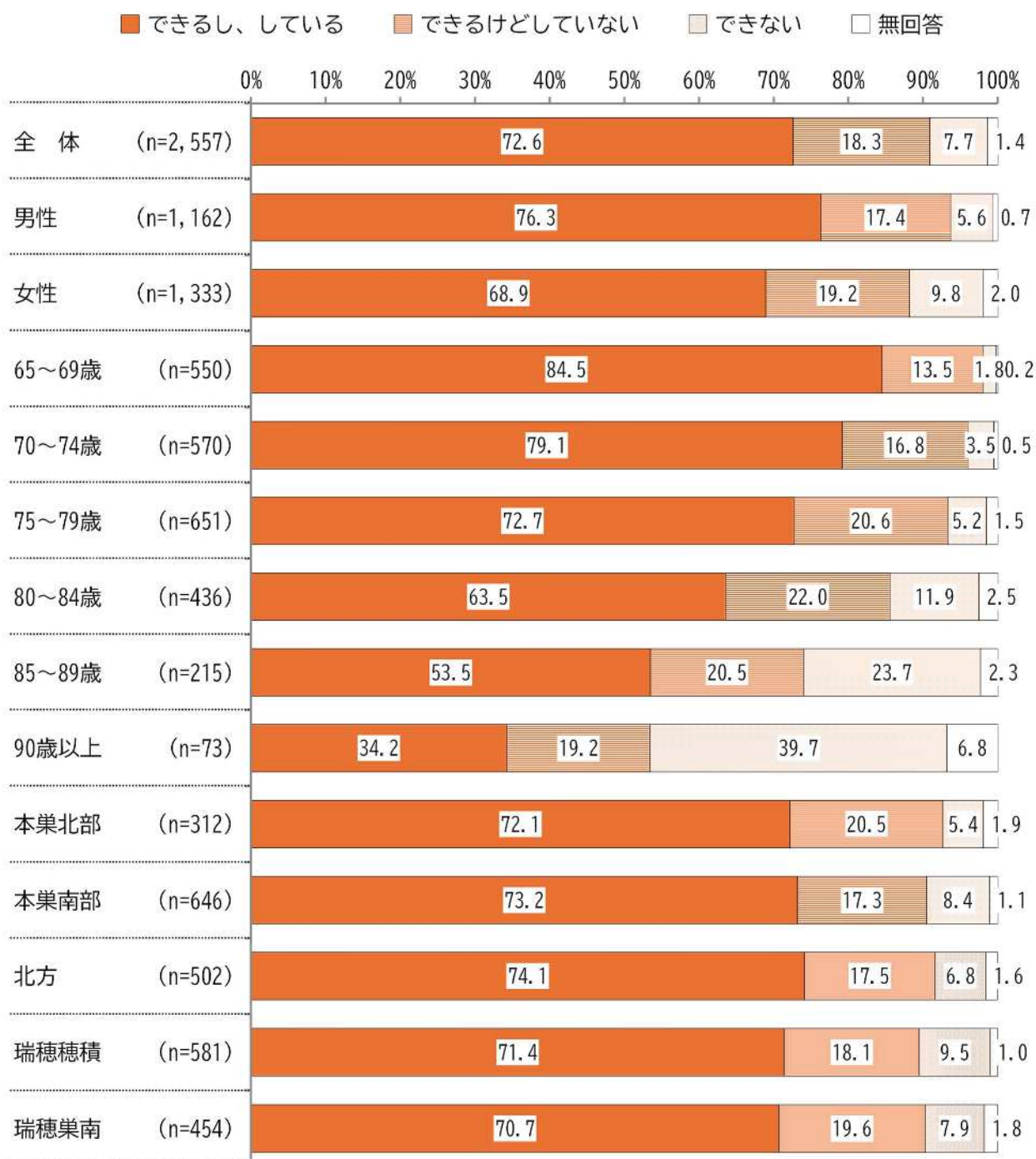
問 31 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が72.6%、「できるけどしていない」が18.3%となっています。

性別で見ると、男性は「できるし、している」が76.3%、女性は68.9%と女性よりも男性が7.4ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向にあり、80歳以上では「できない」の割合が高くなる傾向となっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



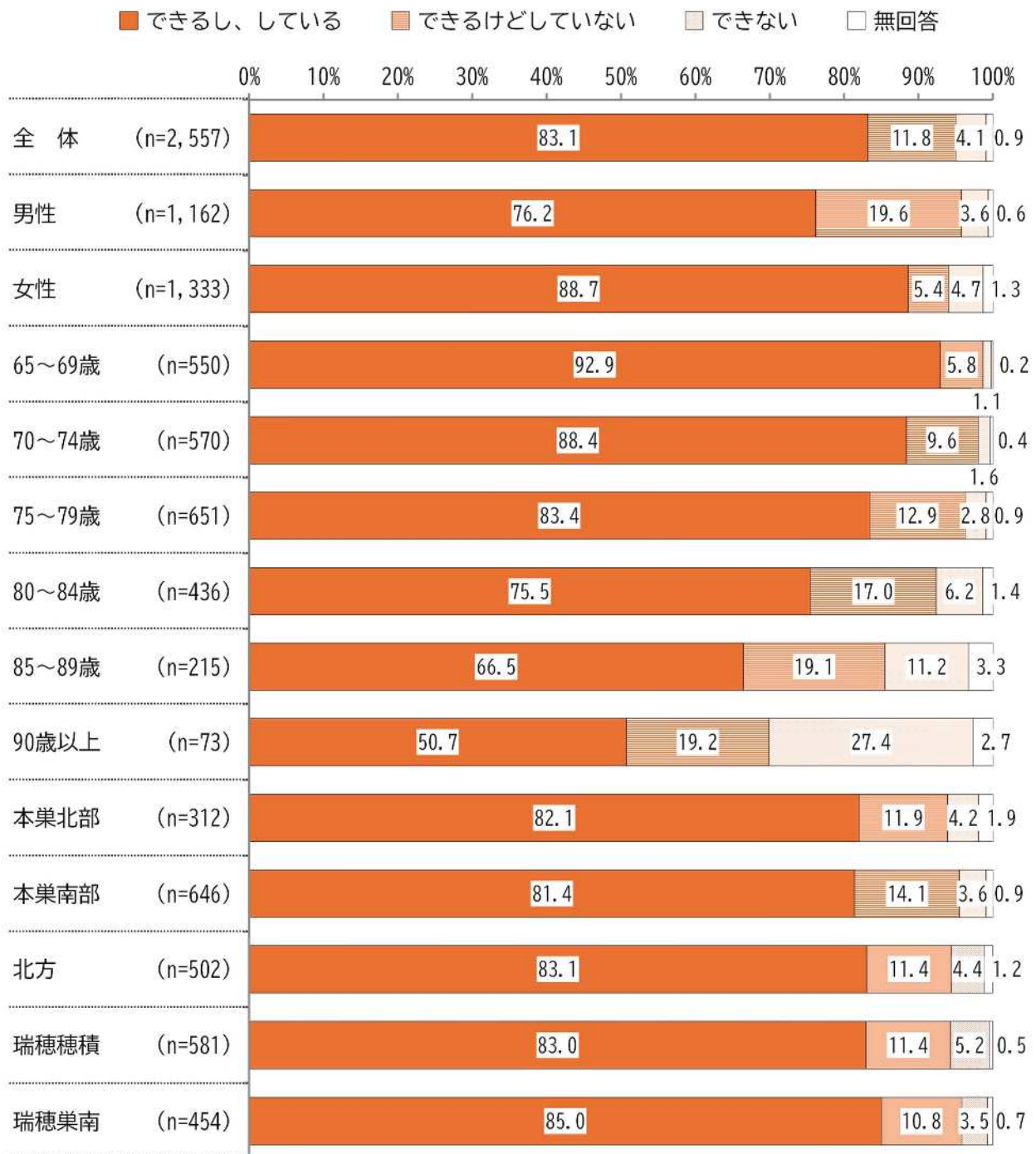
問 32 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が 83.1%、「できるけどしていない」が 11.8%となっています。

性別で見ると、男性は「できるけどしていない」が 19.6%、女性は 5.4%と女性よりも男性が 14.2ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向にあり、65～69歳の9割以上から90歳以上では5割と低くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



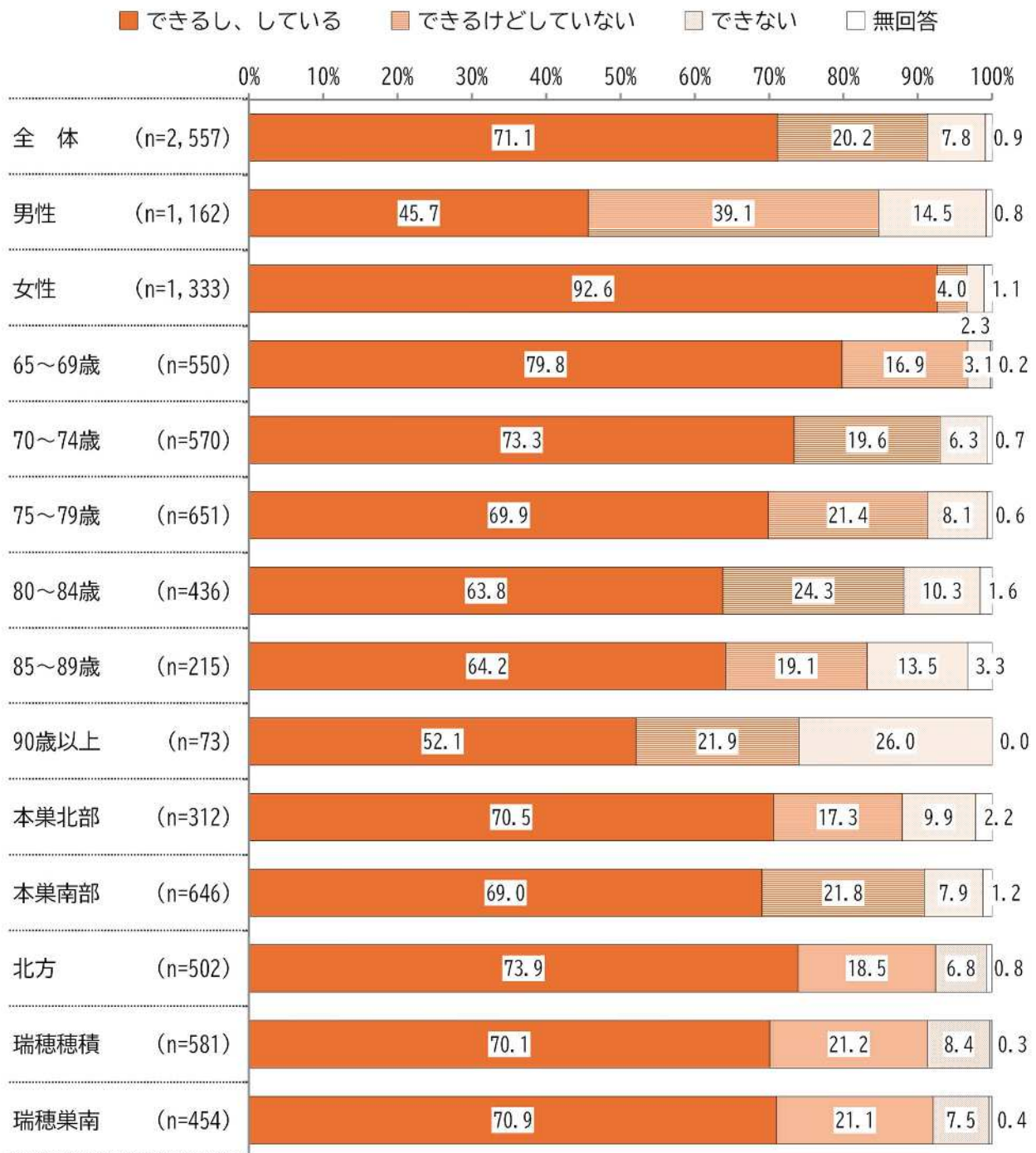
問 33 自分で食事の用意をしていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が 71.1%、「できるけどしていない」が 20.2%となっています。

性別で見ると、男性は「できるし、している」が 45.7%、女性は 92.6%と男性よりも女性が 46.9ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、90歳以上では「できない」が 26.0%と高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



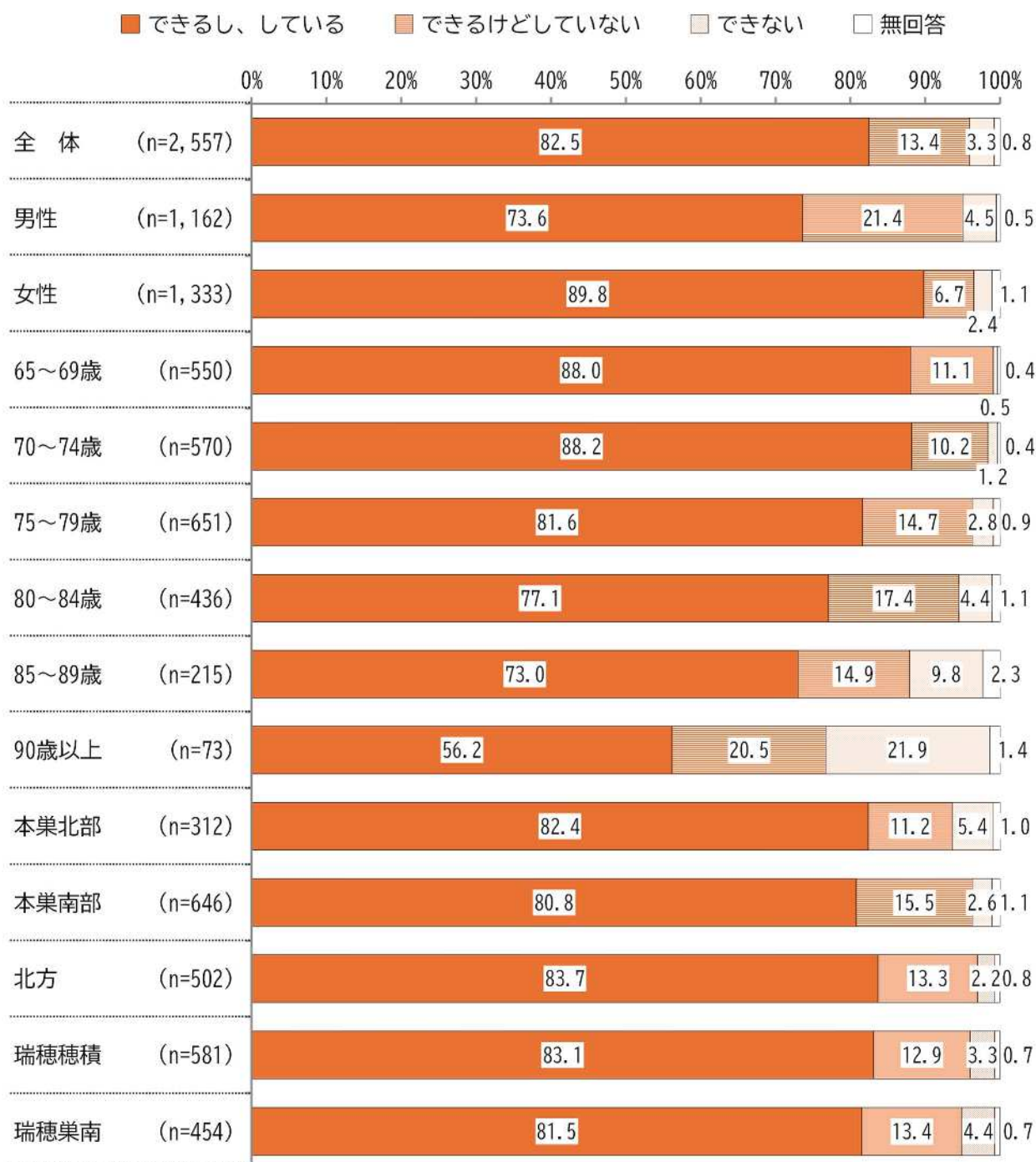
問 34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○印は1つだけ)

全体では、「できるし、している」が 82.5%、「できるけどしていない」が 13.4%となっています。

性別で見ると、男性は「できるし、している」が 73.6%、「できるけどしていない」が 21.4%、女性は「できるし、している」が 89.8%、「できるけどしていない」が 6.7%となっています。

年齢別で見ると、年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、90歳以上では「できない」が 21.9%と高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



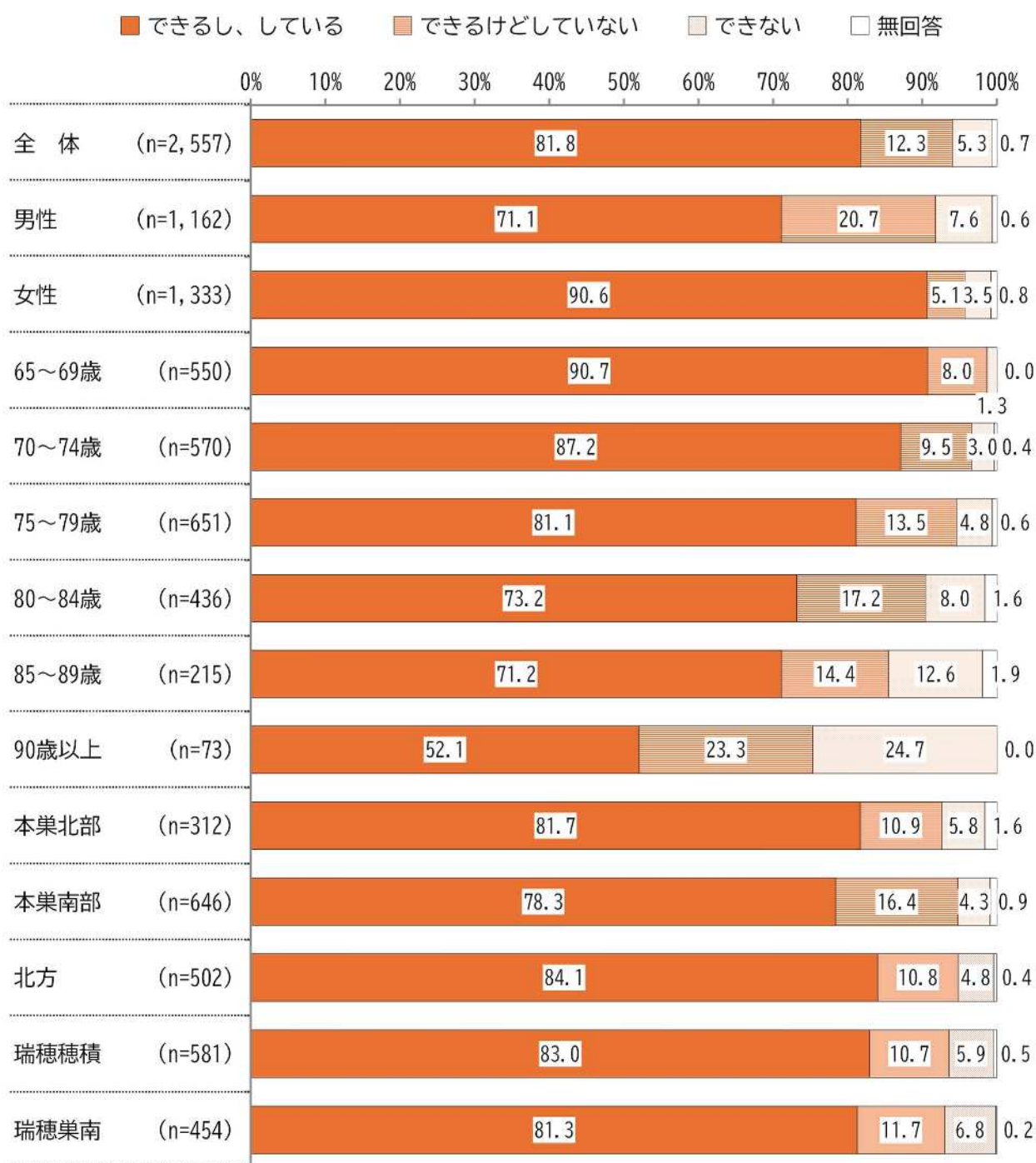
問 35 自分で預貯金（ATM など）の出し入れをしていますか。（○印は1つだけ）

全体では、「できるし、している」が 81.8%、「できるけどしていない」が 12.3%となっています。

性別で見ると、男性は「できるし、している」が 71.1%、女性は 90.6%と、男性よりも女性が 19.5 ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「できるし、している」の割合が低くなる傾向となっており、90 歳以上では「できない」が 24.7%と高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



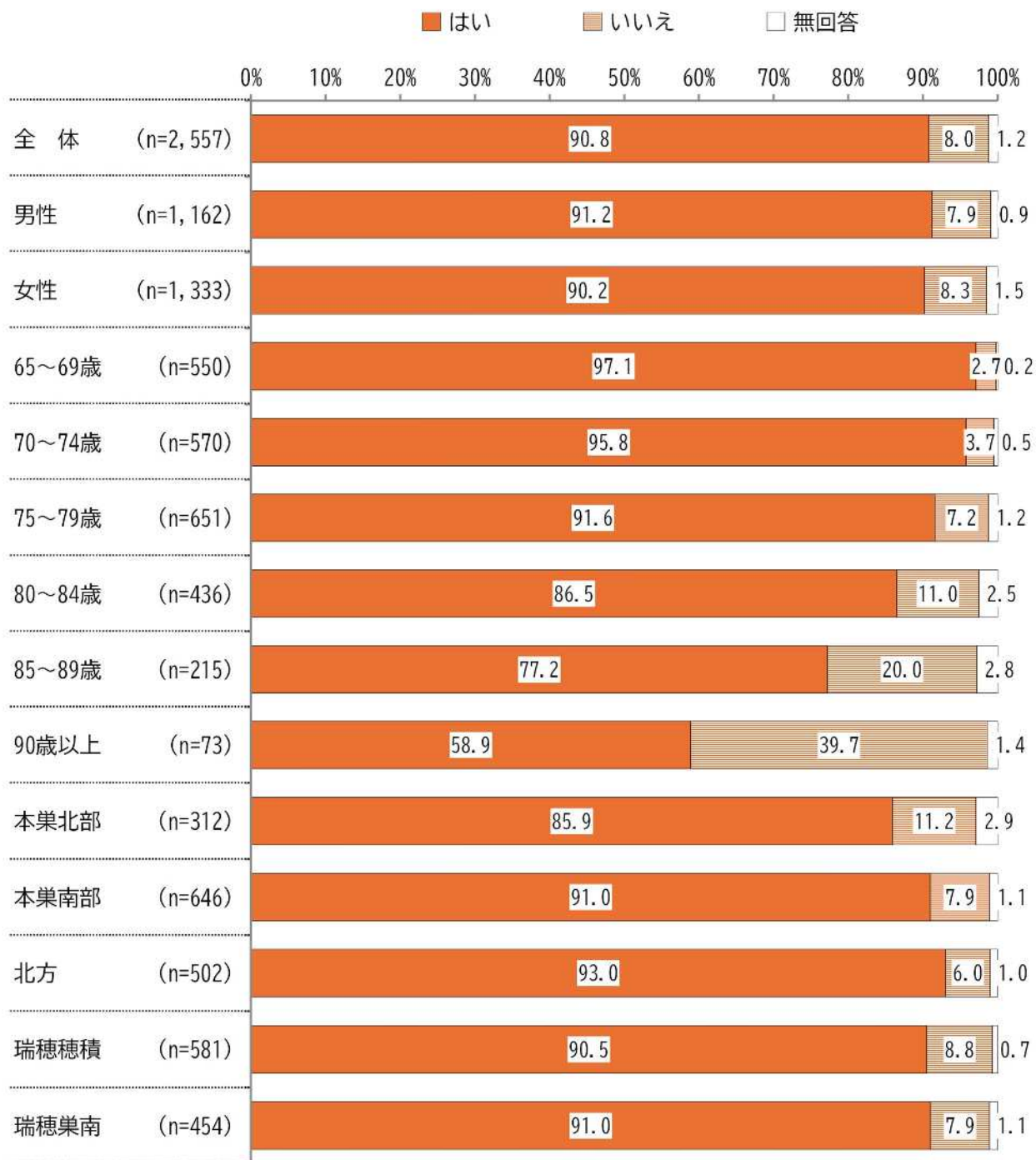
問 36 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかに○印）

全体では、「はい」が 90.8%、「いいえ」が 8.0%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



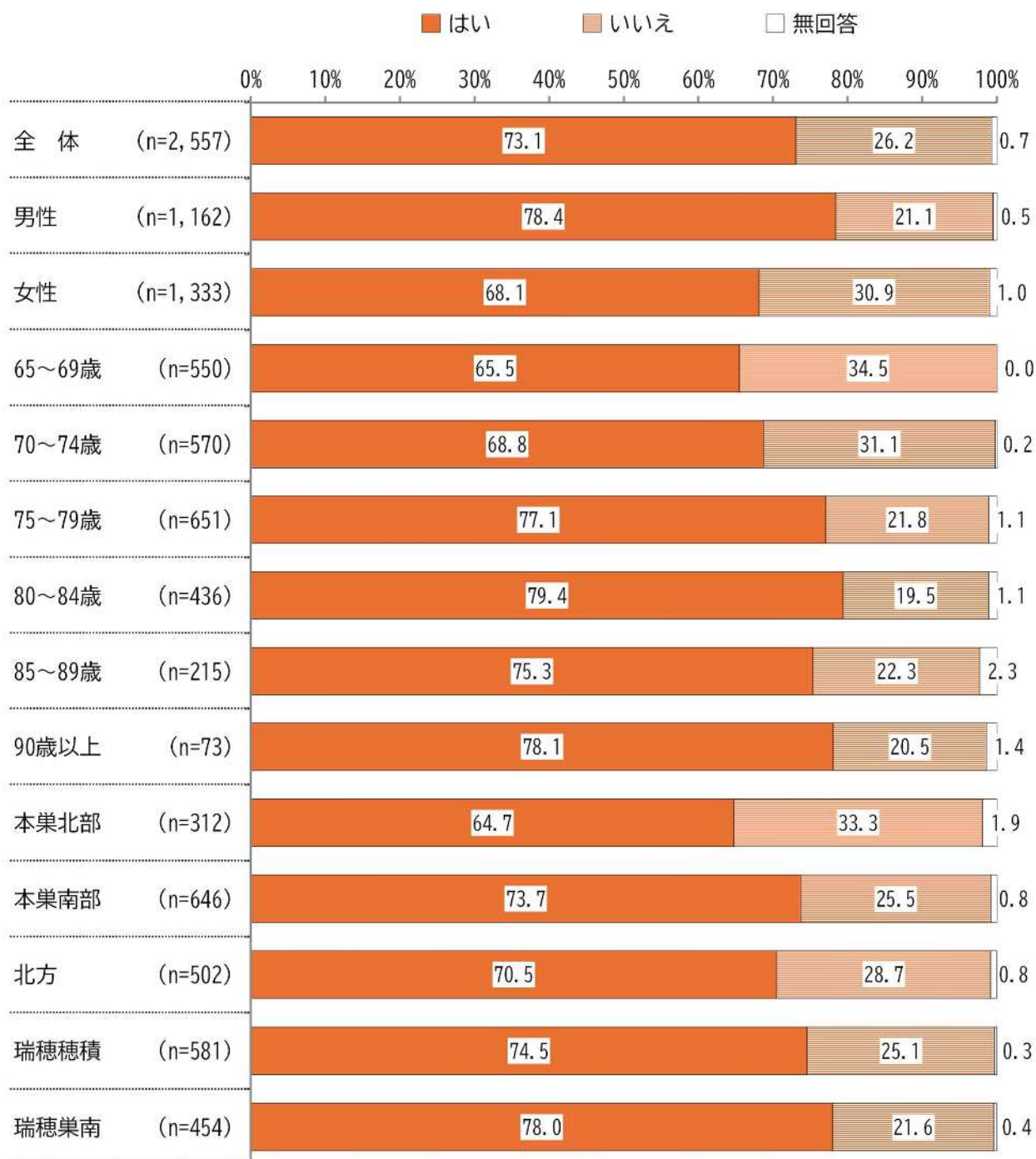
問 37 新聞を読んでいますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が73.1%、「いいえ」が26.2%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が78.4%、「いいえ」が21.1%、女性は「はい」が68.1%、「いいえ」が30.9%となっています。

年齢別でみると、75歳以上では「はい」が7割以上と高くなっています。

地区でみると、本巣北部を除く地区では7割以上と高くなっています。



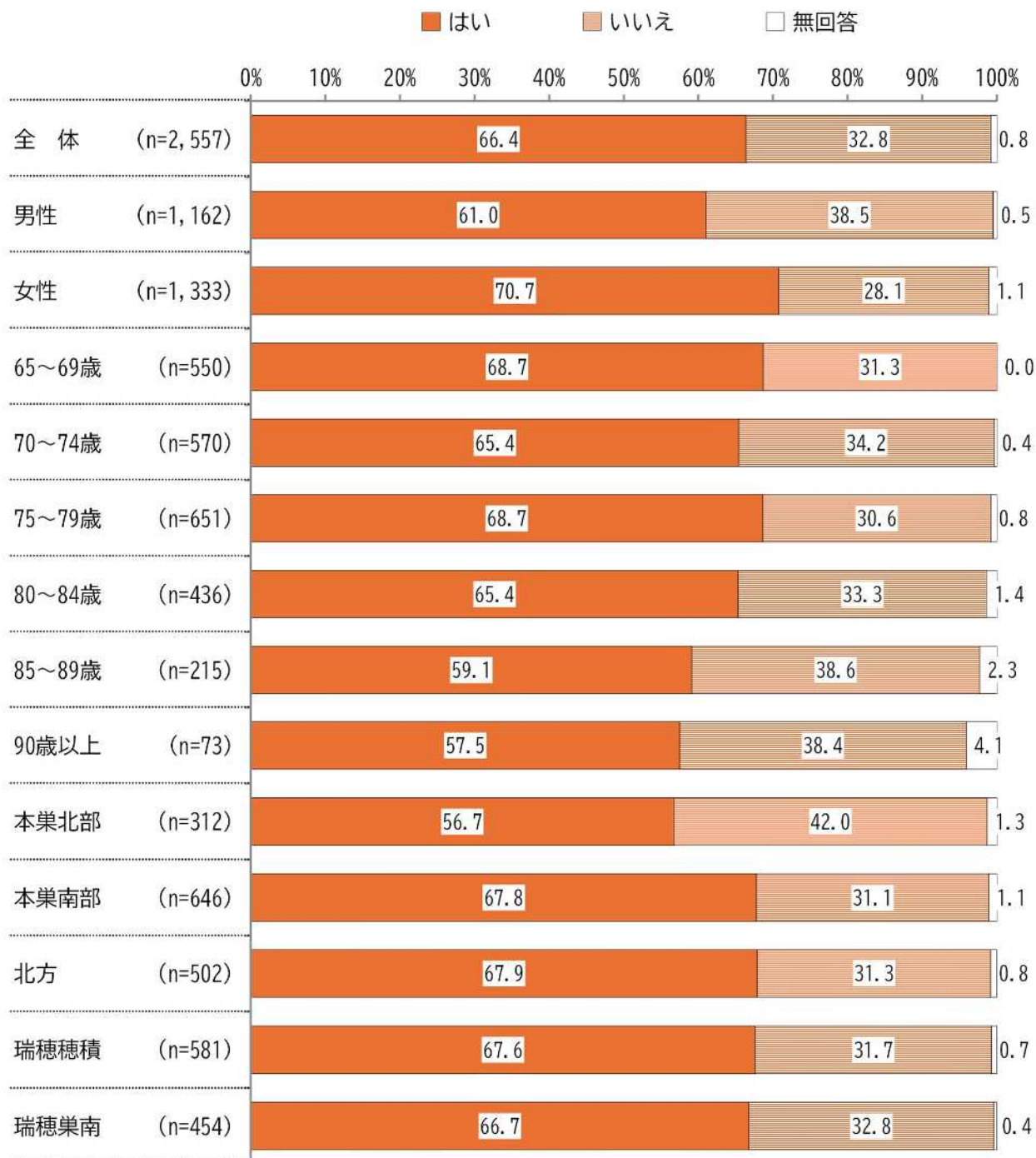
問 38 本や雑誌を読んでいますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が66.4%、「いいえ」が32.8%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が61.0%、「いいえ」が38.5%、女性は「はい」が70.7%、「いいえ」が28.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部を除く地区では6割以上と高くなっています。



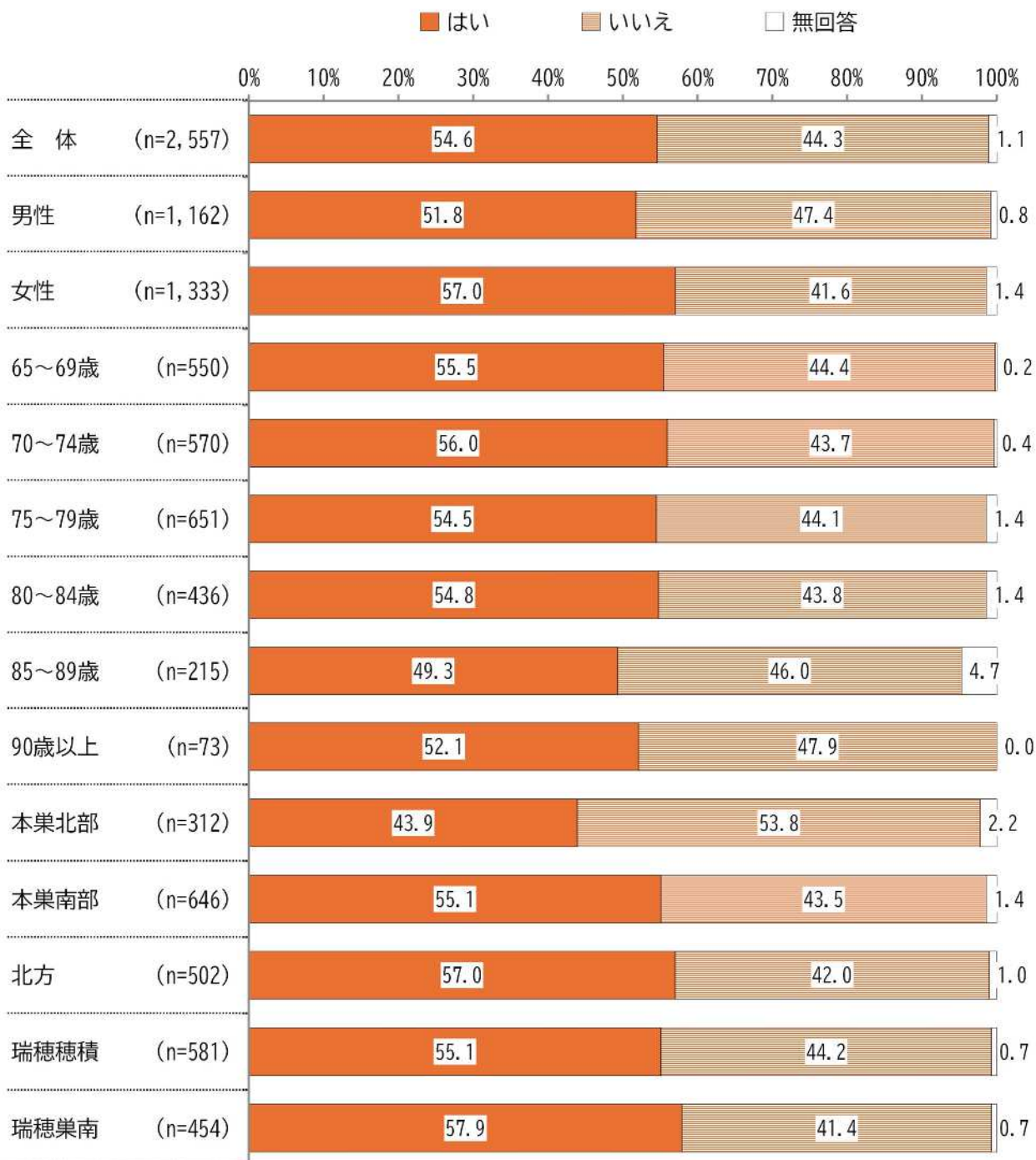
問 39 教育・教養番組を視聴していますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が 54.6%、「いいえ」が 44.3%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみても、大きな差はみられません。

地区でみると、本巣北部で「いいえ」が5割以上と高くなっています。



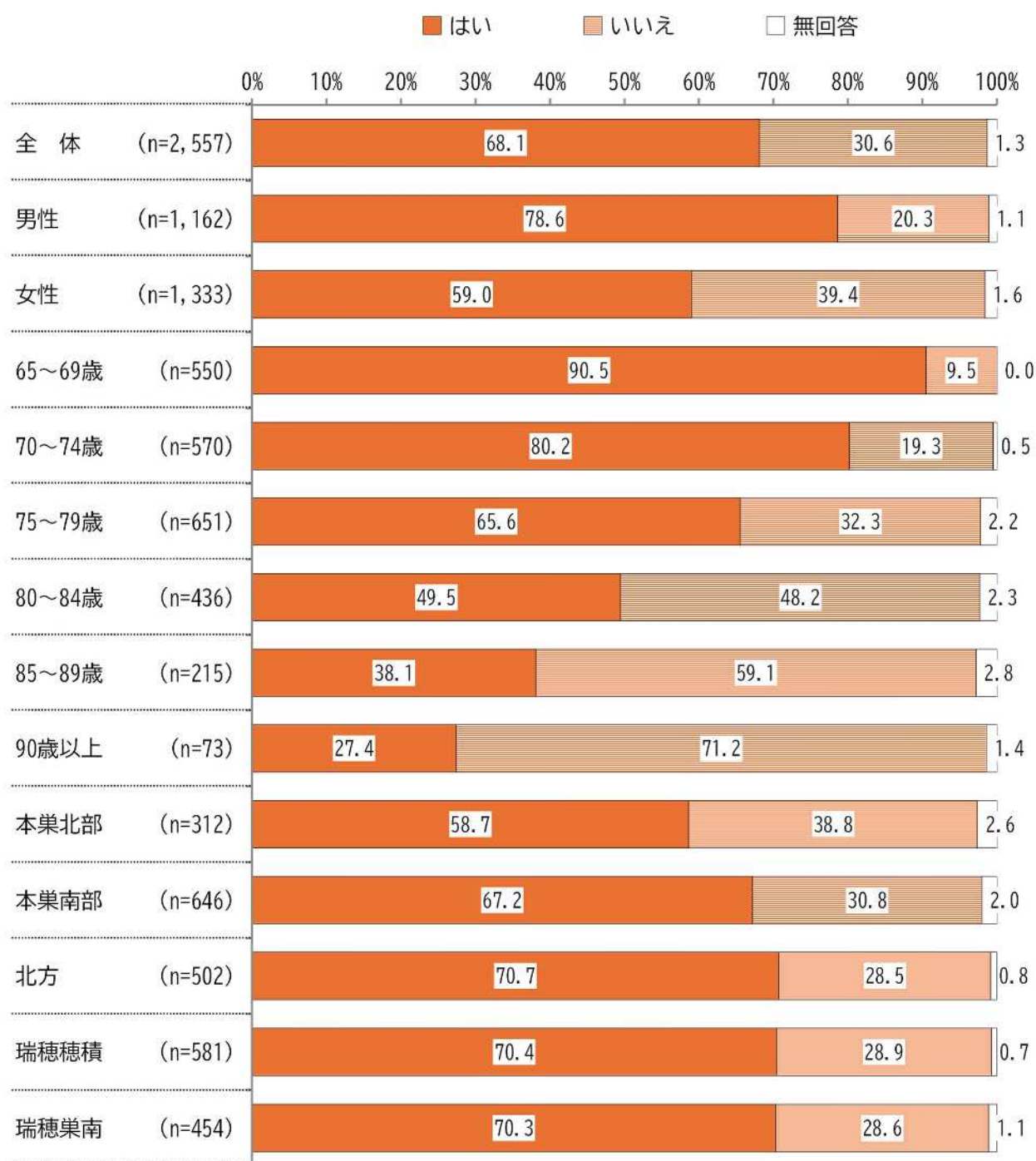
問 40 ビデオや DVD プレーヤーの操作ができますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が 68.1%、「いいえ」が 30.6%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が 78.6%、女性は 59.0%と、女性よりも男性が 19.6 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、65～69 歳では「はい」が 90.5%、70～74 歳では「はい」が 80.2%となっています。年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっており、90 歳以上では「はい」が 27.4%となっています。

地区でみると、他の地区に比べて本巣北部では「はい」の割合が 1 割程度低くなっています。



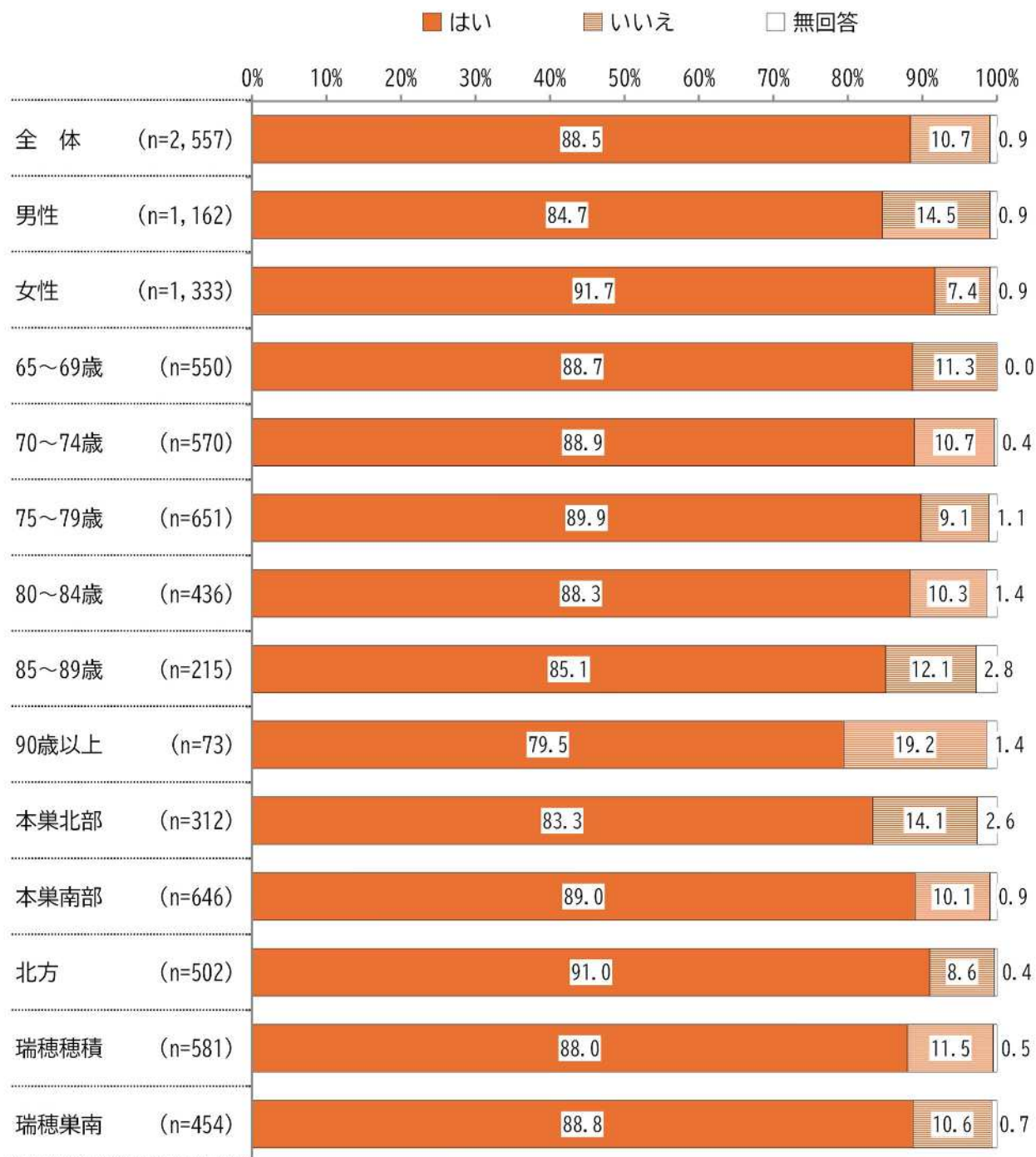
問 41 健康についての記事や番組に関心がありますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が 88.5%、「いいえ」が 10.7%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が 84.7%、女性は 91.7%と男性よりも女性が 7 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「はい」が最も高く、90 歳以上の 79.5%が最も低い割合となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



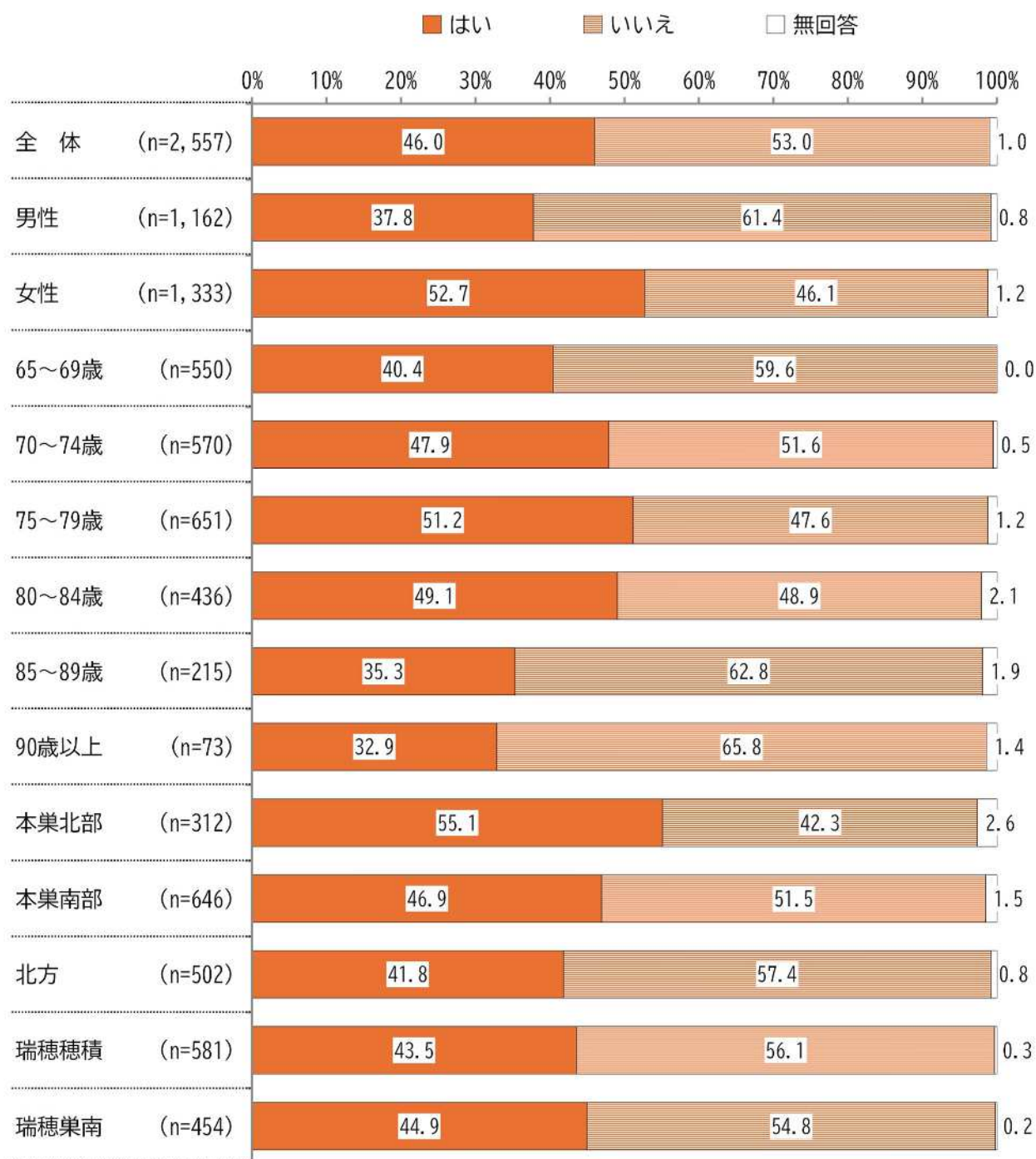
問 42 友人の家を訪ねていますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が53.0%、「はい」が46.0%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が37.8%、女性は52.7%と、男性よりも女性が14.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70～84歳では「はい」が5割前後、85歳以上では「はい」が4割以下となっています。

地区でみると、本巣北部では「はい」が55.1%と他の地区に比べて高くなっています。

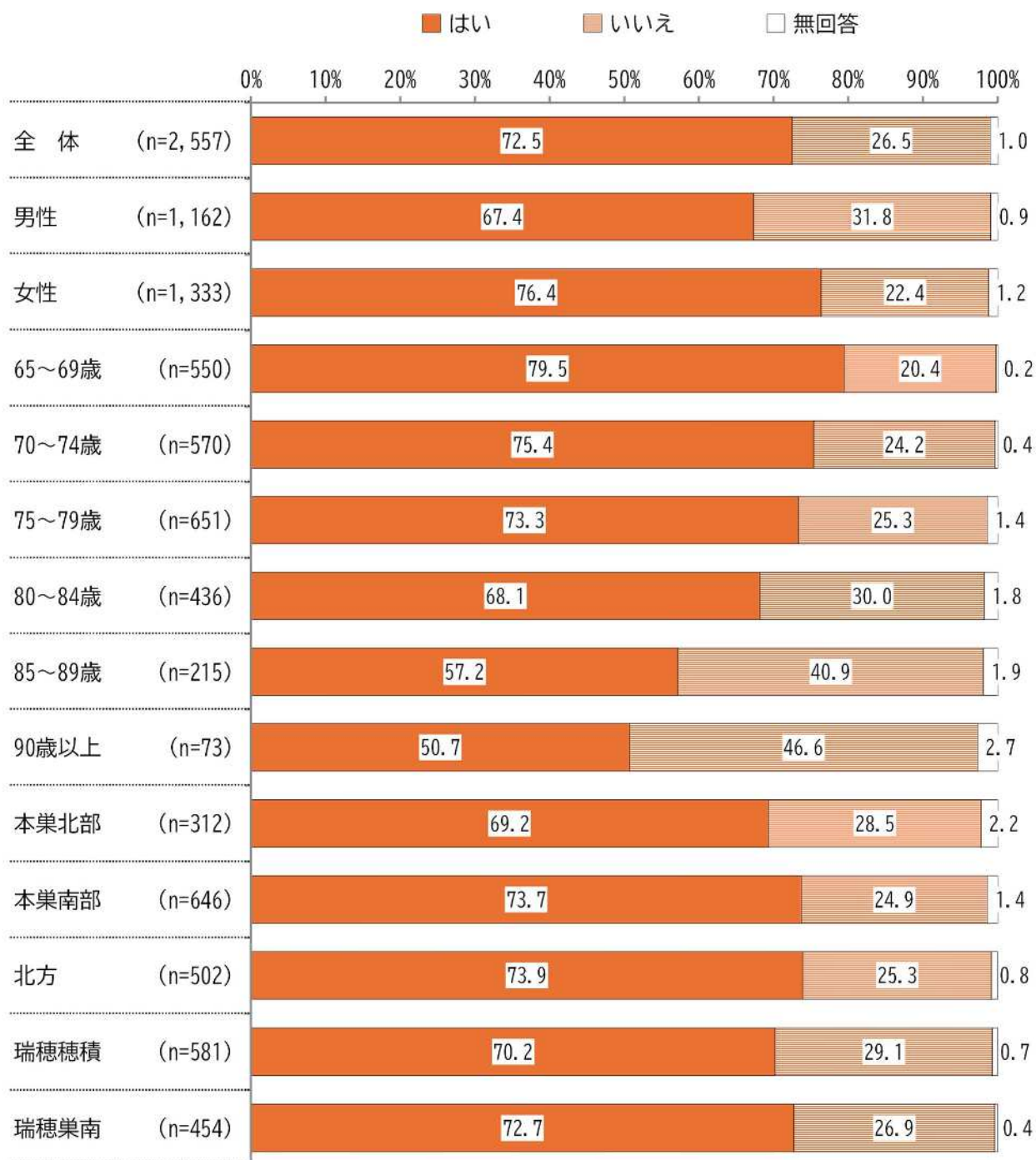


問 43 家族や友人の相談にのっていますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が72.5%、「いいえ」が26.5%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が67.4%、女性は76.4%と男性よりも女性が9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。地区でみても、大きな差はみられません。



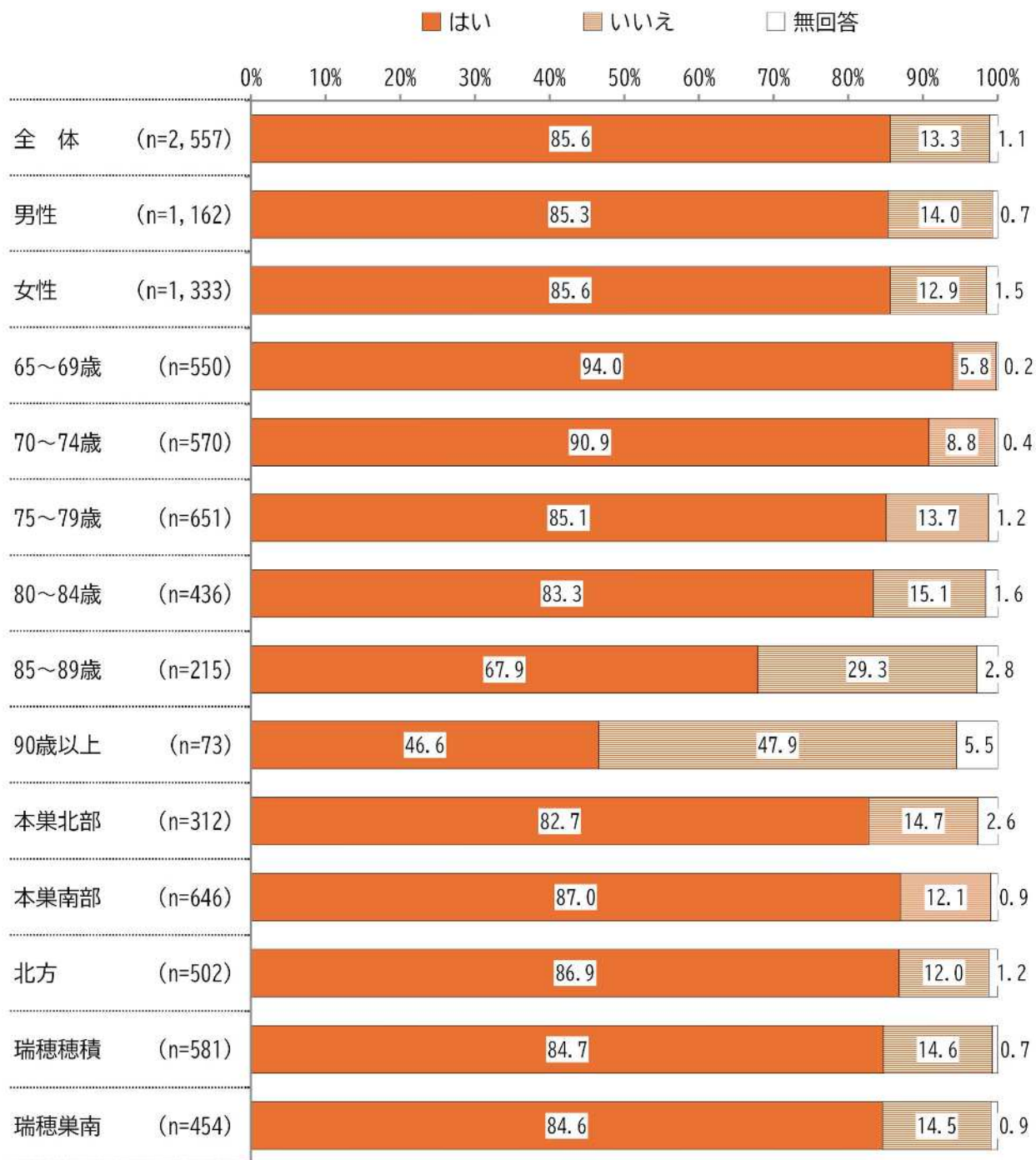
問 44 病人を見舞うことができますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が 85.6%、「いいえ」が 13.3%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



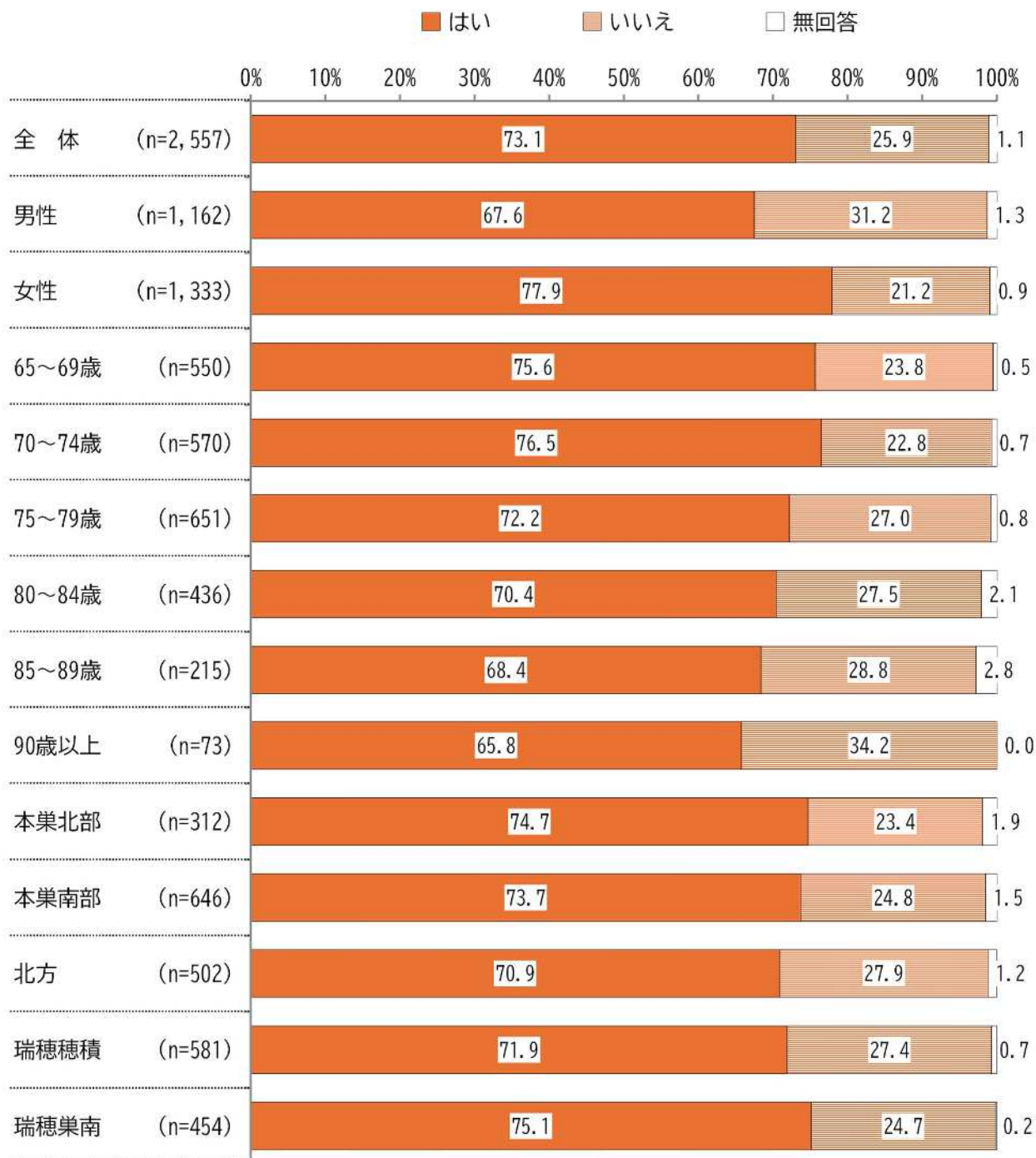
問 45 若い人に自分から話しかけることがありますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が73.1%、「いいえ」が25.9%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が67.6%、女性は77.9%と男性よりも女性が10.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



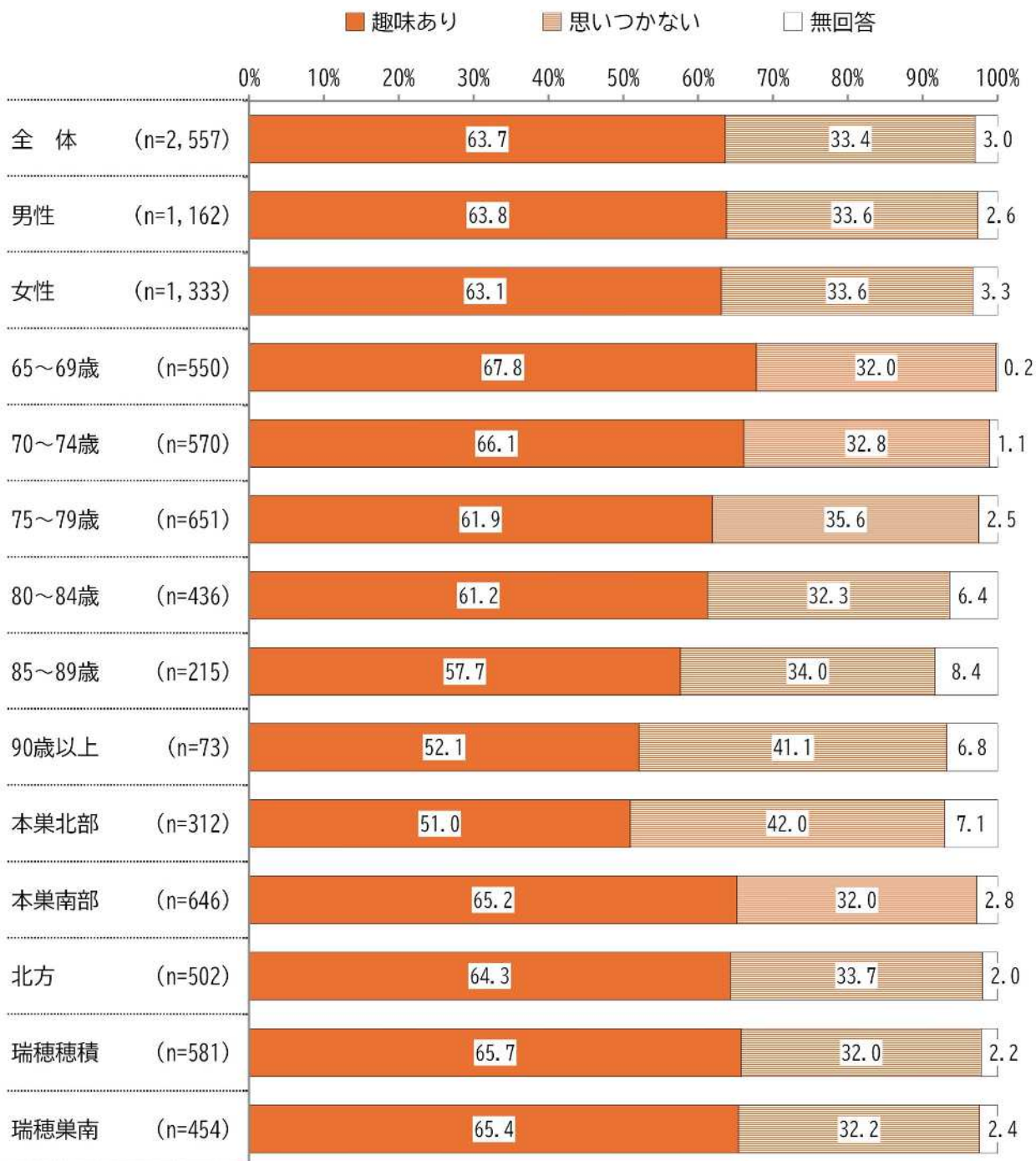
問 46 趣味はありますか。(どちらかに○印)

全体では、「趣味あり」が63.7%、「思いつかない」が33.4%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「趣味あり」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部では「趣味あり」が約5割、他の地区では6割以上となっています。



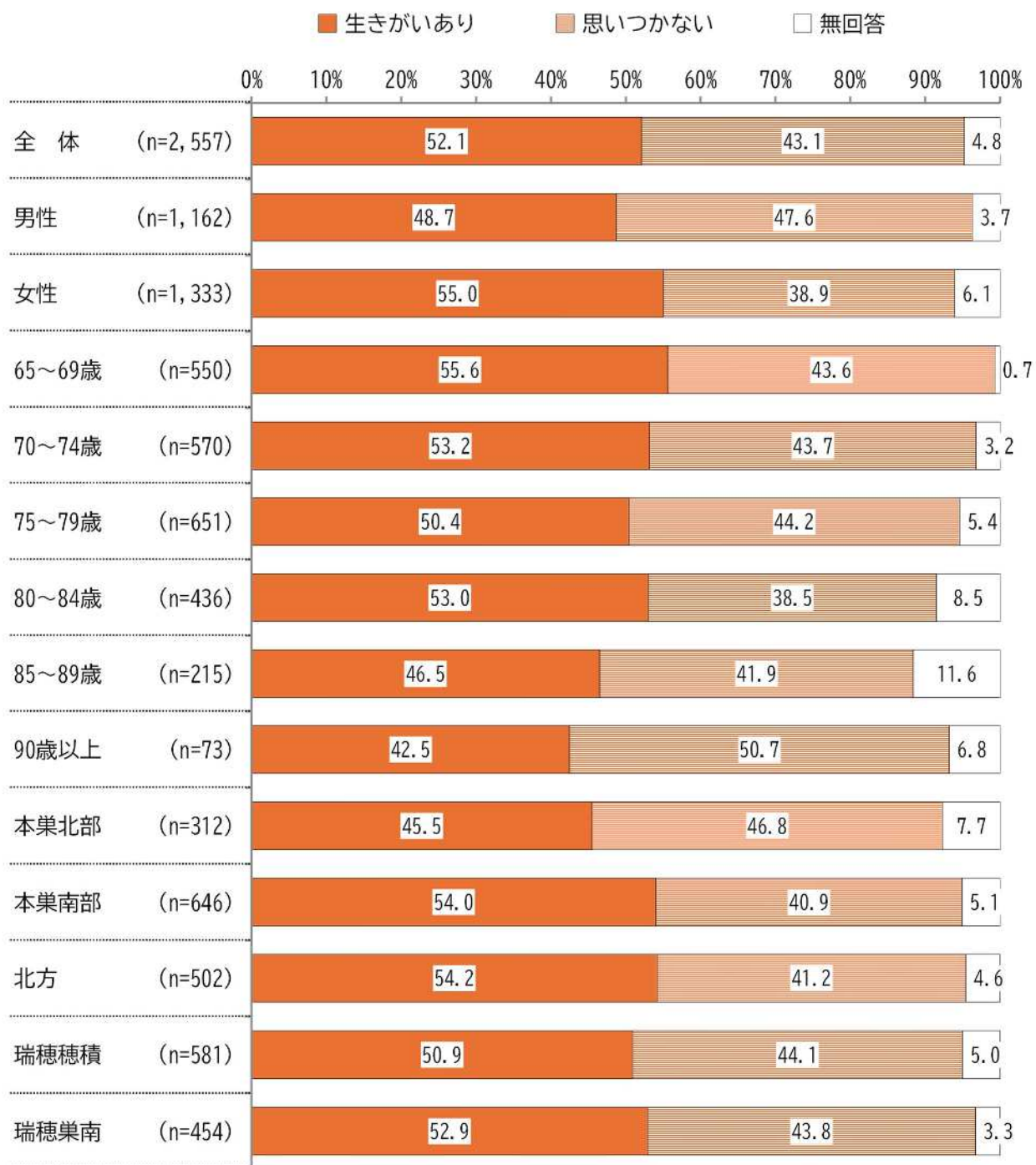
問 47 生きがいがありますか。(どちらかに○印)

全体では、「生きがいあり」が 52.1%、「思いつかない」が 43.1%となっています。

性別でみると、男性は「生きがいあり」が 48.7%、女性は 55.0%となっています。

年齢別でみると、概ね 65～84 歳では大きな差はみられません。85 歳以上では「生きがいあり」が 5 割以下となっています。

地区でみると、地区にかかわらず「思いつかない」が 4 割台となっています。



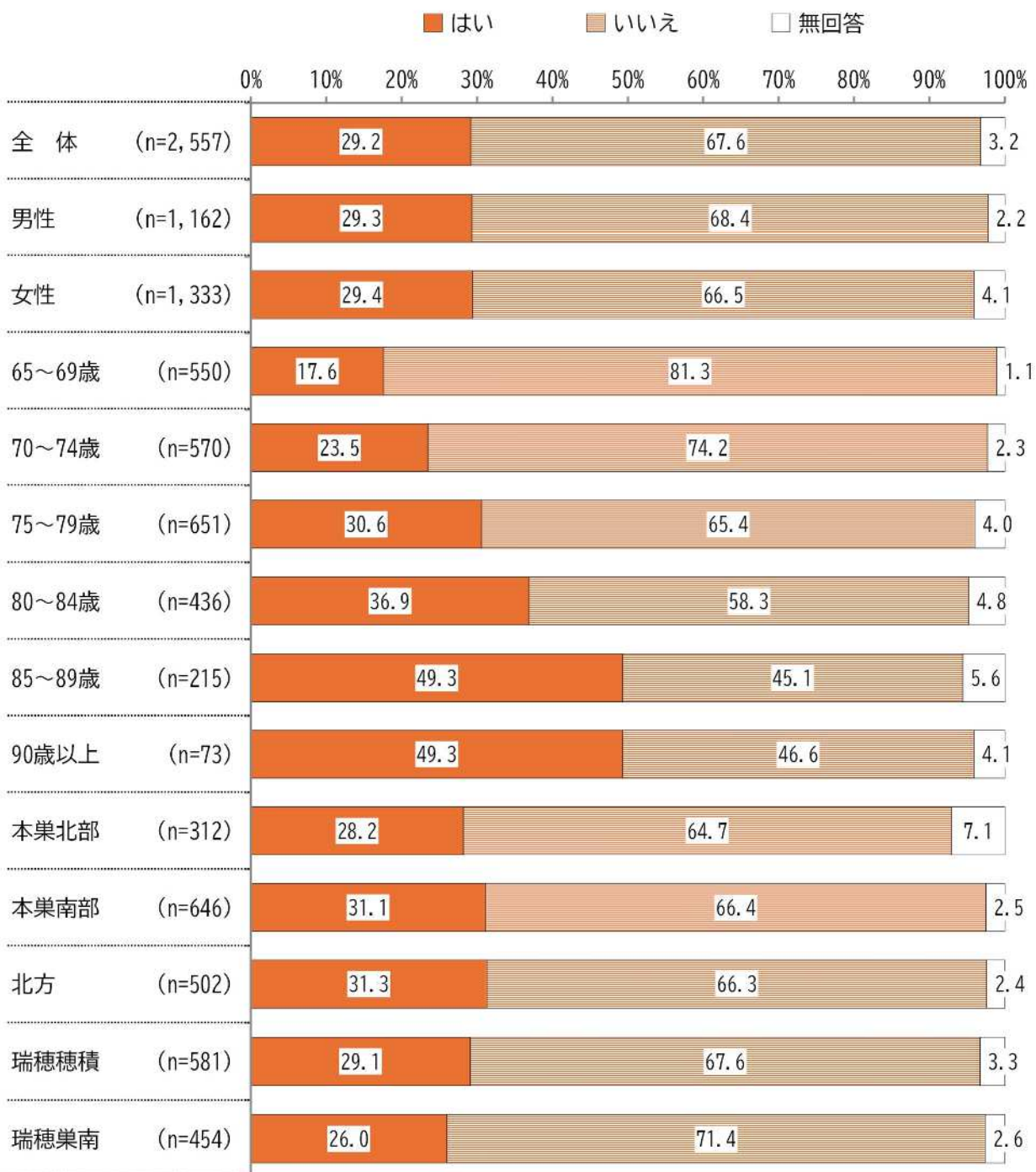
問 48 これまでやってきたことや興味のあったことの多くを最近やめてしまいましたか。  
(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 67.6%、「はい」が 29.2%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



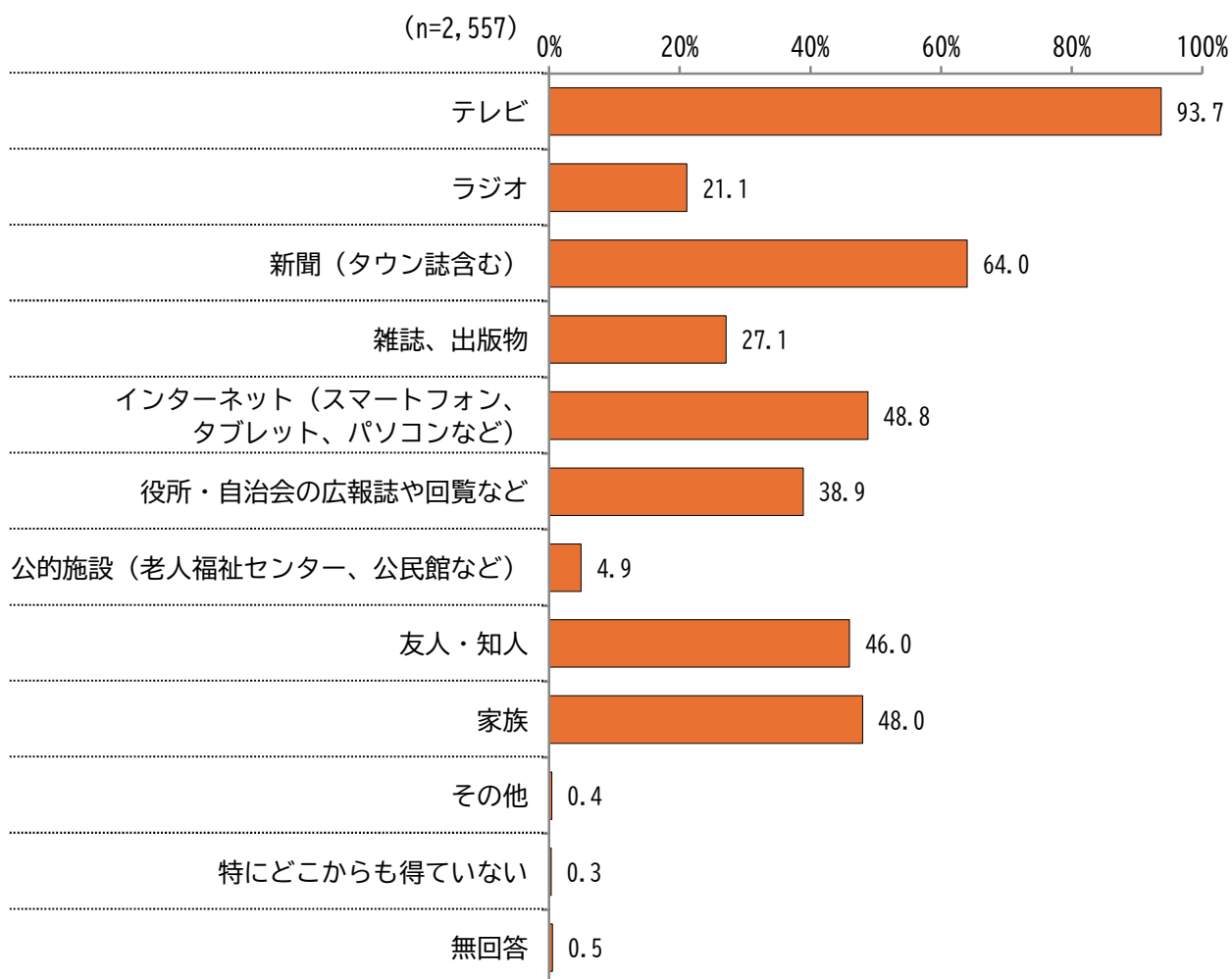
問 49 あなたはふだんどのような手段で情報を収集していますか。(○印はいくつでも)

全体では、「テレビ」が93.7%で最も高く、次いで「新聞(タウン誌含む)」が64.0%、「インターネット(スマートフォン、タブレット、パソコンなど)」が48.8%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「テレビ」が最も高く、次いで「新聞(タウン誌含む)」となっています。また、男性では「インターネット(スマートフォン、タブレット、パソコンなど)」、女性では「友人・知人」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「テレビ」が最も高くなっています。65~74歳では「インターネット(スマートフォン、タブレット、パソコンなど)」、75歳以上では「新聞(タウン誌含む)」の割合が高くなっています。

地区でみると、地区にかかわらず「テレビ」が最も高く、次いで「新聞(タウン誌含む)」となっています。また、本巢北部では「友人・知人」、本巢南部、北方、瑞穂穂積「新聞(タウン誌含む)」が5割以上となっています。



		全体	テレビ	ラジオ	新聞 (タウン誌含む)	雑誌、 出版物	インター ネット (スマー トフォン 、タブレ ット、 パソコン など)	役所・自 治会の広 報誌や 回覧など	公的施設 (老人福 祉セン ター、公 民館な ど)	友人・知 人	家族	その他	特 にど こか らも 得て いな	無 回 答
		上段:実数 下段:(%)												
全 体		2,557 100.0	2,395 93.7	539 21.1	1,637 64.0	694 27.1	1,247 48.8	995 38.9	126 4.9	1,177 46.0	1,227 48.0	10 0.4	7 0.3	14 0.5
性 別	男性	1,162 100.0	1,077 92.7	239 20.6	806 69.4	296 25.5	644 55.4	396 34.1	36 3.1	403 34.7	489 42.1	3 0.3	5 0.4	7 0.6
	女性	1,333 100.0	1,259 94.4	280 21.0	787 59.0	374 28.1	574 43.1	573 43.0	82 6.2	742 55.7	708 53.1	7 0.5	2 0.2	7 0.5
年 齢	65～69歳	550 100.0	501 91.1	112 20.4	301 54.7	133 24.2	426 77.5	168 30.5	18 3.3	245 44.5	258 46.9	2 0.4	2 0.4	1 0.2
	70～74歳	570 100.0	532 93.3	107 18.8	346 60.7	154 27.0	348 61.1	202 35.4	18 3.2	256 44.9	266 46.7	2 0.4	0 0.0	1 0.2
	75～79歳	651 100.0	627 96.3	149 22.9	447 68.7	202 31.0	275 42.2	288 44.2	35 5.4	324 49.8	315 48.4	3 0.5	0 0.0	3 0.5
	80～84歳	436 100.0	418 95.9	91 20.9	311 71.3	114 26.1	122 28.0	200 45.9	32 7.3	198 45.4	233 53.4	1 0.2	0 0.0	5 1.1
	85～89歳	215 100.0	192 89.3	43 20.0	136 63.3	52 24.2	40 18.6	89 41.4	10 4.7	102 47.4	92 42.8	0 0.0	3 1.4	3 1.4
	90歳以上	73 100.0	66 90.4	17 23.3	52 71.2	15 20.5	7 9.6	22 30.1	5 6.8	20 27.4	33 45.2	2 2.7	2 2.7	1 1.4
	地 区	本巢北部	312 100.0	283 90.7	54 17.3	163 52.2	52 16.7	112 35.9	127 40.7	7 2.2	161 51.6	139 44.6	1 0.3	2 0.6
本巢南部		646 100.0	621 96.1	153 23.7	422 65.3	181 28.0	323 50.0	268 41.5	26 4.0	278 43.0	314 48.6	3 0.5	1 0.2	3 0.5
北方		502 100.0	458 91.2	98 19.5	306 61.0	165 32.9	262 52.2	199 39.6	28 5.6	221 44.0	246 49.0	2 0.4	0 0.0	3 0.6
瑞穂穂積		581 100.0	548 94.3	123 21.2	393 67.6	155 26.7	299 51.5	207 35.6	32 5.5	267 46.0	278 47.8	2 0.3	2 0.3	1 0.2
瑞穂巢南		454 100.0	426 93.8	91 20.0	309 68.1	117 25.8	222 48.9	168 37.0	25 5.5	218 48.0	220 48.5	2 0.4	2 0.4	0 0.0

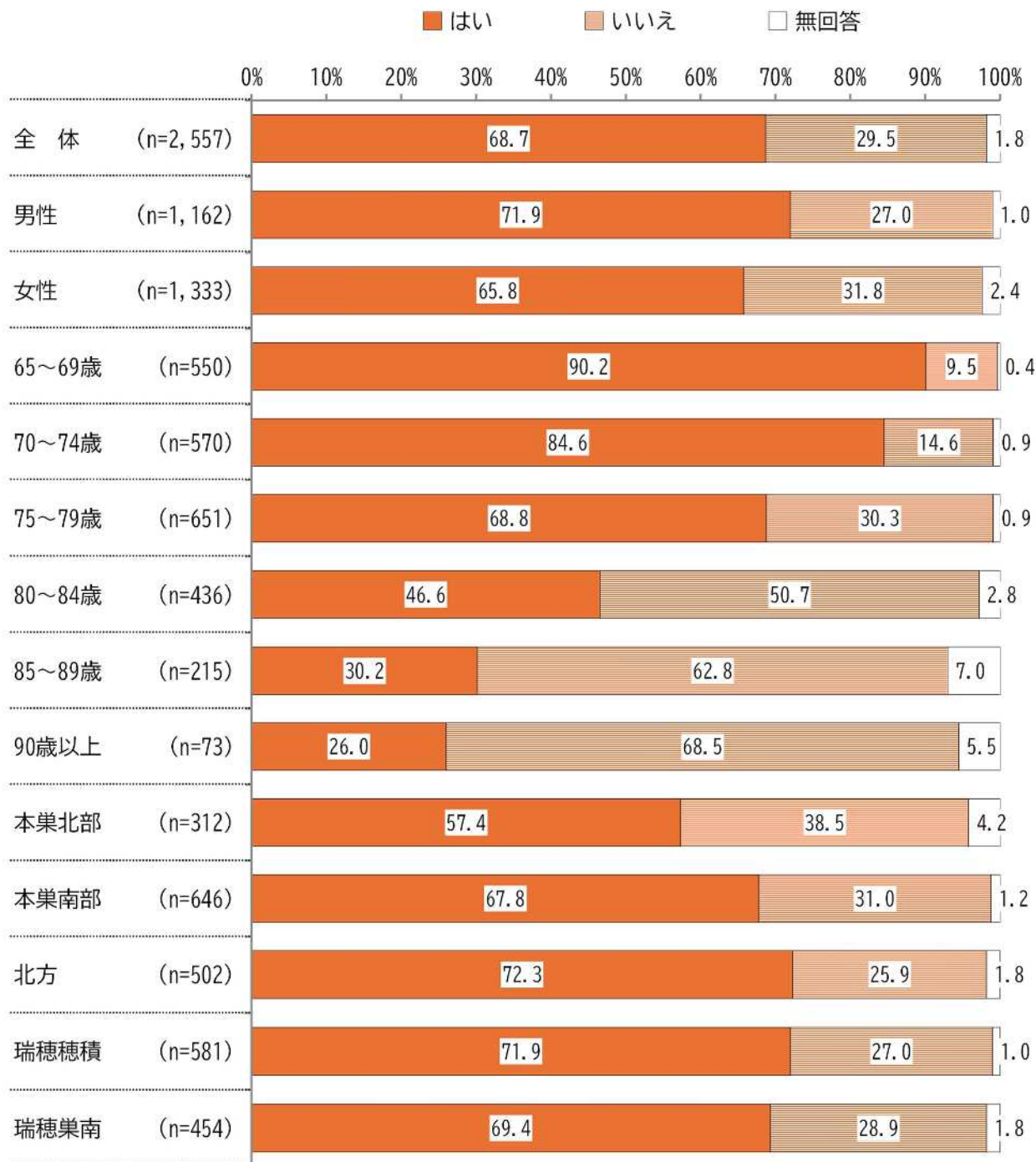
問 50 スマートフォン・ガラケー・タブレット・パソコンなどの情報通信機器を利用していますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が68.7%、「いいえ」が29.5%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区でみると、地区にかかわらず、「はい」の割合が7割前後と高くなっていますが、本巣北部では6割以下となっています。



【問 51 は、問 50 でスマートフォン・タブレット・パソコンなどの情報通信機器の利用について「1.はい」を選択した方のみお答えください】

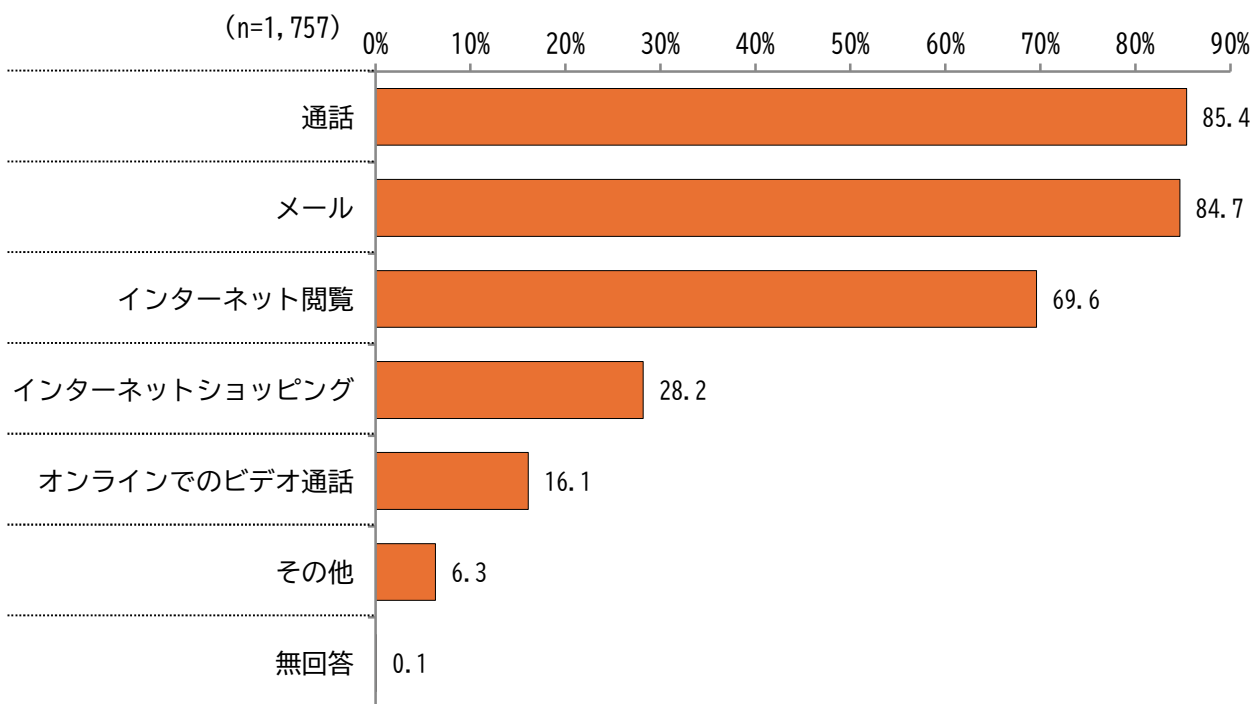
問 51 情報通信機器（スマートフォン・ガラケー・タブレット・パソコン）の利用目的について、お聞かせください。（○印はいくつでも）

全体では、「通話」が 85.4%で最も高く、次いで「メール」が 84.7%、「インターネット閲覧」が 69.6%となっています。

性別で見ると、男性は「インターネット閲覧」が 79.5%、「通話」が 79.3%、女性は「通話」が 90.9%、「メール」が 90.8%と高くなっています。

年齢別で見ると、65～69 歳、70～74 歳では「メール」、75 歳以上では「通話」が最も高くなっています。

地区で見ると、地区にかかわらず「通話」、「メール」が高くなっています。



		全体	通話	メール	閲覧 インターネット	シ ョ ン タ ー ネ ッ ト	ビ オ ン ラ イ ン で の 通 話	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)									
全体		1,757 100.0	1,500 85.4	1,488 84.7	1,222 69.6	495 28.2	282 16.1	111 6.3	2 0.1
性別	男性	836 100.0	663 79.3	652 78.0	665 79.5	280 33.5	112 13.4	55 6.6	2 0.2
	女性	877 100.0	797 90.9	796 90.8	531 60.5	208 23.7	162 18.5	52 5.9	0 0.0
年齢	65～69歳	496 100.0	414 83.5	453 91.3	420 84.7	214 43.1	105 21.2	32 6.5	1 0.2
	70～74歳	482 100.0	409 84.9	420 87.1	351 72.8	144 29.9	85 17.6	25 5.2	0 0.0
	75～79歳	448 100.0	396 88.4	370 82.6	275 61.4	90 20.1	52 11.6	25 5.6	0 0.0
	80～84歳	203 100.0	177 87.2	149 73.4	116 57.1	29 14.3	20 9.9	13 6.4	1 0.5
	85～89歳	65 100.0	50 76.9	44 67.7	24 36.9	8 12.3	8 12.3	11 16.9	0 0.0
	90歳以上	19 100.0	14 73.7	12 63.2	10 52.6	3 15.8	4 21.1	1 5.3	0 0.0
地区	本巢北部	179 100.0	155 86.6	138 77.1	107 59.8	44 24.6	24 13.4	13 7.3	1 0.6
	本巢南部	438 100.0	371 84.7	379 86.5	313 71.5	110 25.1	65 14.8	29 6.6	0 0.0
	北方	363 100.0	301 82.9	307 84.6	255 70.2	112 30.9	61 16.8	19 5.2	0 0.0
	瑞穂穂積	418 100.0	367 87.8	349 83.5	302 72.2	132 31.6	72 17.2	32 7.7	1 0.2
	瑞穂巢南	315 100.0	266 84.4	275 87.3	219 69.5	90 28.6	52 16.5	14 4.4	0 0.0

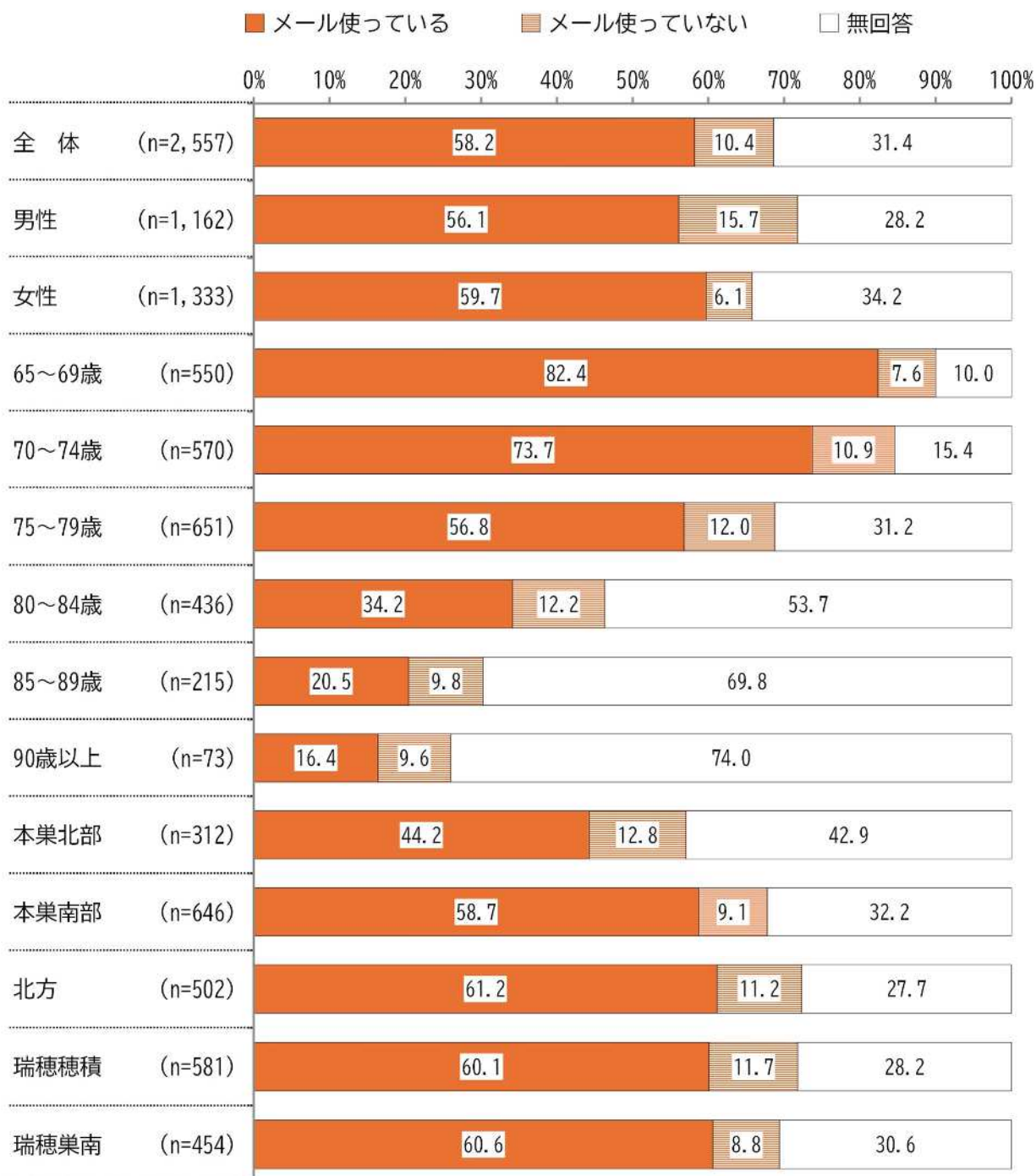
## ① メールの使用について

全体では、「メール使っている」が58.2%、「メール使っていない」が10.4%となっています。

性別でみると、男性は「メール使っている」が56.1%、女性は59.7%となっています。

年齢別でみると、65～74歳までは「メール使っている」が7割以上となっていますが、年齢が上がるにしたがい「メール使っている」割合が低くなる傾向となっており、85歳以上では2割程度となっています。

地区でみると、本巣北部を除く地区では「メール使っている」が約6割となっています。



問 52 お住まいの地域（居住されている市町）は好きですか。（どちらかに○印）

全体では、「はい」が 90.4%、「いいえ」が 7.6%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみても、大きな差はみられません。

地区でみても、大きな差はみられません。



問 53 お住まいの地域（居住されている市町）に住み続けたいですか。（どちらかに○印）

全体では、「はい」が 90.2%、「いいえ」が 7.6%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみても、大きな差はみられません。

地区でみても、大きな差はみられません。



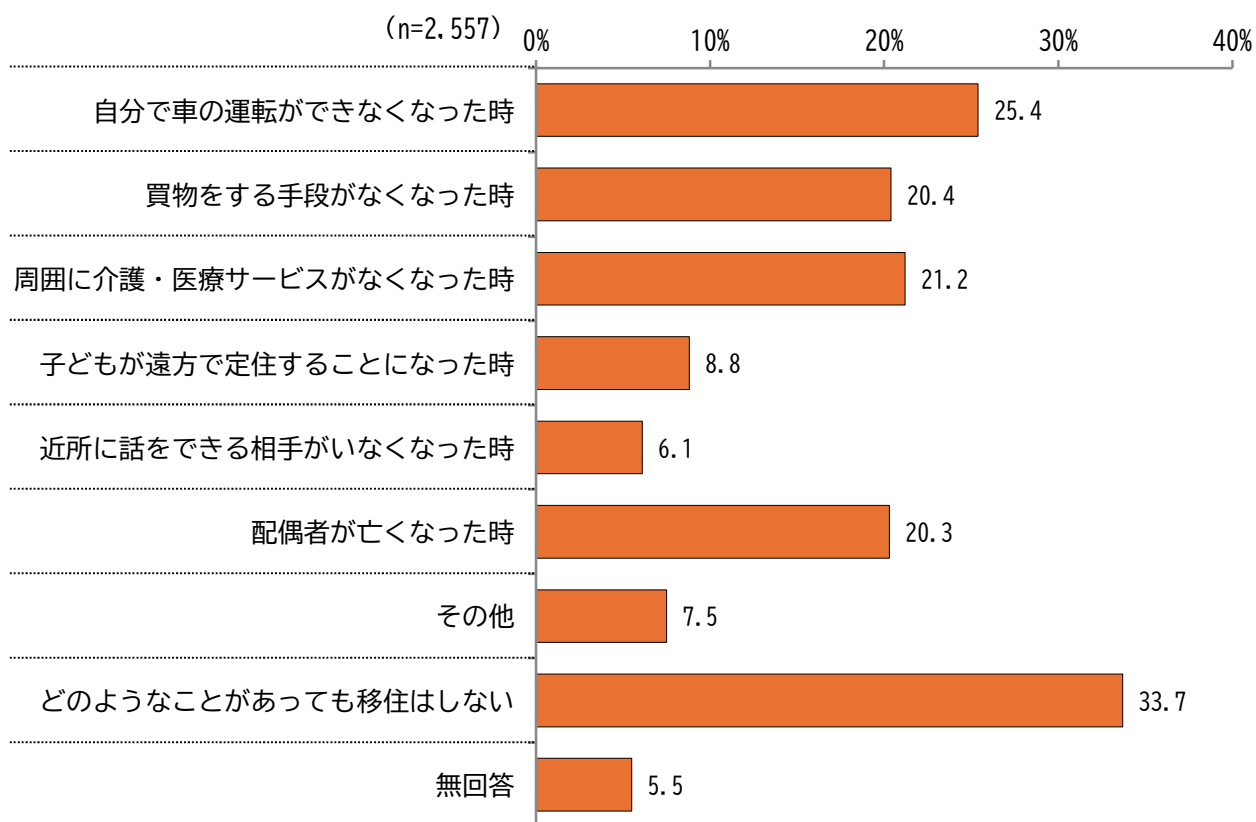
問 54 将来、他の地域に移住・移転する（せざるを得ない）ことになるとしたら、どのような事態に陥った時ですか。（○印はいくつでも）

全体では、「どのようなことがあっても移住はしない」が 33.7%で最も高く、次いで「自分で車の運転ができなくなった時」が 25.4%、「周囲に介護・医療サービスがなくなった時」が 21.2%となっています。

性別でみると、男性は「どのようなことがあっても移住はしない」が 35.6%で最も高く、次いで「自分で車の運転ができなくなった時」が 31.2%、「配偶者が亡くなった時」が 24.5%、女性は「どのようなことがあっても移住はしない」が 32.0%で最も高く、次いで「周囲に介護・医療サービスがなくなった時」が 23.6%、「自分で車の運転ができなくなった時」が 20.3%となっています。

年齢別でみると、65～69 歳では「自分で車の運転ができなくなった時」が 35.5%で最も高く、70 歳以上では「どのようなことがあっても移住はしない」が最も高くなっています。

地区でみると、本巣北部では「自分で車の運転ができなくなった時」が最も高く、本巣南部、北方、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「どのようなことがあっても移住はしない」が最も高くなっています。



		全体	たが自 時で分 できで なく車 なくの な運 つ転	が買 なく物 をす なする った手 た段	く療周 なサー ったに たビ介 たス護 が・医	な定子 った住 たすも ること に遠 方に	なる近 った相 た手所 ががに い話を なくでき	な配 った偶 た者 がが 亡く	その他	はがあ しあ ないつ ても もな 移移 住住	無 回 答
上段:実数 下段:(%)											
全体		2,557 100.0	649 25.4	522 20.4	541 21.2	226 8.8	157 6.1	519 20.3	193 7.5	862 33.7	141 5.5
性別	男性	1,162 100.0	362 31.2	252 21.7	216 18.6	96 8.3	60 5.2	285 24.5	67 5.8	414 35.6	46 4.0
	女性	1,333 100.0	270 20.3	262 19.7	315 23.6	126 9.5	95 7.1	224 16.8	122 9.2	426 32.0	90 6.8
年齢	65～69歳	550 100.0	195 35.5	139 25.3	134 24.4	55 10.0	29 5.3	117 21.3	60 10.9	145 26.4	13 2.4
	70～74歳	570 100.0	155 27.2	115 20.2	105 18.4	40 7.0	23 4.0	123 21.6	40 7.0	209 36.7	28 4.9
	75～79歳	651 100.0	149 22.9	129 19.8	136 20.9	57 8.8	40 6.1	136 20.9	47 7.2	218 33.5	38 5.8
	80～84歳	436 100.0	90 20.6	91 20.9	96 22.0	41 9.4	29 6.7	94 21.6	20 4.6	155 35.6	34 7.8
	85～89歳	215 100.0	41 19.1	34 15.8	47 21.9	20 9.3	30 14.0	31 14.4	16 7.4	81 37.7	13 6.0
	90歳以上	73 100.0	2 2.7	6 8.2	13 17.8	9 12.3	4 5.5	8 11.0	6 8.2	32 43.8	10 13.7
地区	本巢北部	312 100.0	107 34.3	83 26.6	99 31.7	27 8.7	32 10.3	73 23.4	21 6.7	82 26.3	17 5.4
	本巢南部	646 100.0	187 28.9	140 21.7	139 21.5	64 9.9	37 5.7	134 20.7	51 7.9	213 33.0	38 5.9
	北方	502 100.0	84 16.7	68 13.5	99 19.7	35 7.0	24 4.8	103 20.5	36 7.2	189 37.6	27 5.4
	瑞穂穂積	581 100.0	123 21.2	103 17.7	96 16.5	63 10.8	31 5.3	111 19.1	52 9.0	206 35.5	33 5.7
	瑞穂巢南	454 100.0	131 28.9	120 26.4	98 21.6	33 7.3	31 6.8	88 19.4	29 6.4	150 33.0	21 4.6

## 6 就労について

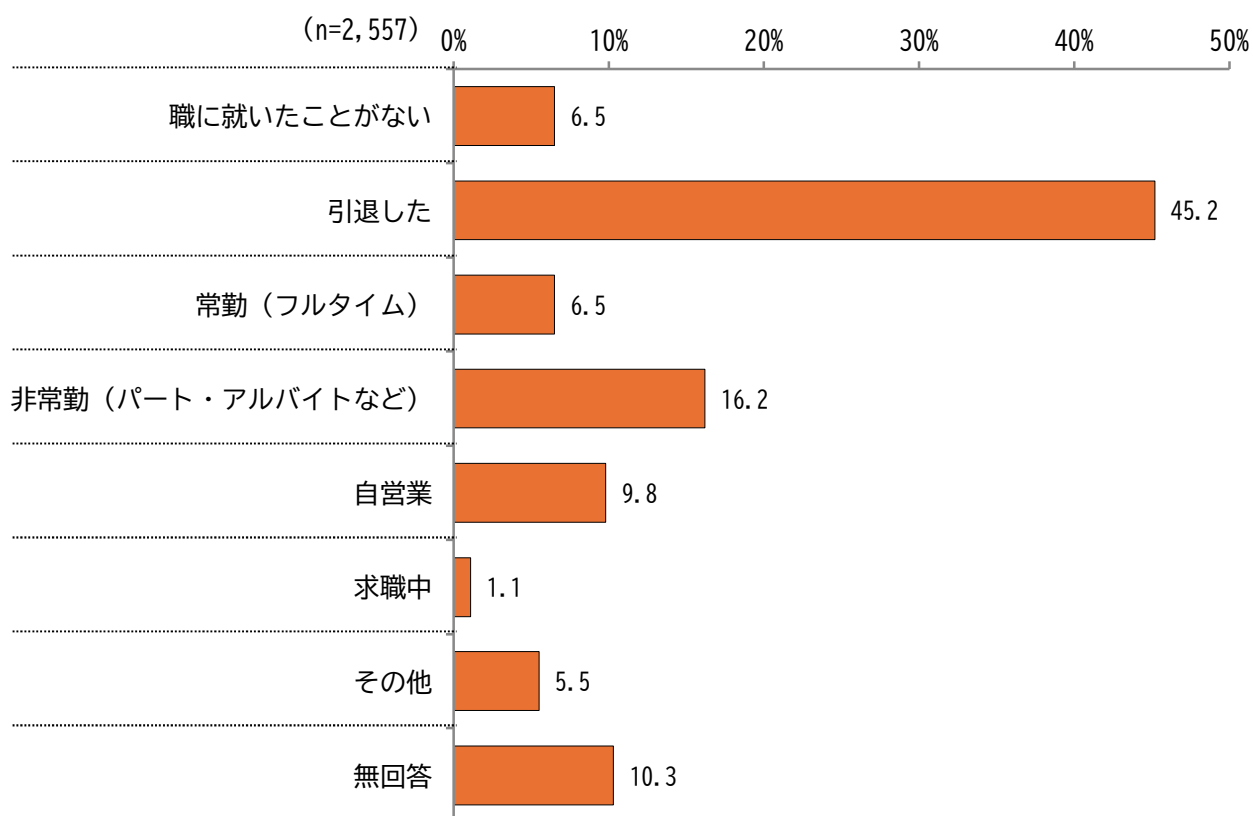
問 55 現在のあなたの就労状態をお聞かせください。(○印はいくつでも)

全体では、「引退した」が 45.2%で最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイトなど）」が 16.2%、「自営業」が 9.8%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「引退した」が最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイトなど）」となっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「引退した」が最も高くなっており、65～74 歳までは「非常勤（パート・アルバイトなど）」の割合が 2 割台となっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



		全体	職に就いたことがない	引退した	ム常勤（フルタイム）	ト非常勤（アルバイトなど）	自営業	求職中	その他	無回答	
上段:実数 下段:(%)											
全体		2,557	167	1,156	166	415	250	29	140	264	
		100.0	6.5	45.2	6.5	16.2	9.8	1.1	5.5	10.3	
性別	男性	1,162	38	577	116	169	145	16	32	87	
		100.0	3.3	49.7	10.0	14.5	12.5	1.4	2.8	7.5	
性別	女性	1,333	125	552	48	233	97	12	105	172	
		100.0	9.4	41.4	3.6	17.5	7.3	0.9	7.9	12.9	
年齢	65～69歳	550	17	188	103	150	56	14	21	14	
		100.0	3.1	34.2	18.7	27.3	10.2	2.5	3.8	2.5	
	70～74歳	570	27	247	39	147	54	7	24	29	
		100.0	4.7	43.3	6.8	25.8	9.5	1.2	4.2	5.1	
	75～79歳	651	38	359	13	77	56	4	34	77	
		100.0	5.8	55.1	2.0	11.8	8.6	0.6	5.2	11.8	
	80～84歳	436	54	212	6	19	45	2	27	73	
		100.0	12.4	48.6	1.4	4.4	10.3	0.5	6.2	16.7	
	85～89歳	215	18	93	3	9	23	1	23	48	
		100.0	8.4	43.3	1.4	4.2	10.7	0.5	10.7	22.3	
	90歳以上	73	9	30	0	0	8	0	8	18	
		100.0	12.3	41.1	0.0	0.0	11.0	0.0	11.0	24.7	
	地区	本巢北部	312	16	138	22	32	38	3	17	50
			100.0	5.1	44.2	7.1	10.3	12.2	1.0	5.4	16.0
本巢南部		646	39	288	38	103	72	6	37	74	
		100.0	6.0	44.6	5.9	15.9	11.1	0.9	5.7	11.5	
北方		502	32	221	38	94	46	6	28	42	
		100.0	6.4	44.0	7.6	18.7	9.2	1.2	5.6	8.4	
瑞穂穂積		581	44	278	39	95	38	9	33	49	
		100.0	7.6	47.8	6.7	16.4	6.5	1.5	5.7	8.4	
瑞穂巢南		454	32	204	27	78	48	4	22	44	
		100.0	7.0	44.9	5.9	17.2	10.6	0.9	4.8	9.7	

【問 56 は問 55 で「2.引退した」を選択した方のみお答えください】

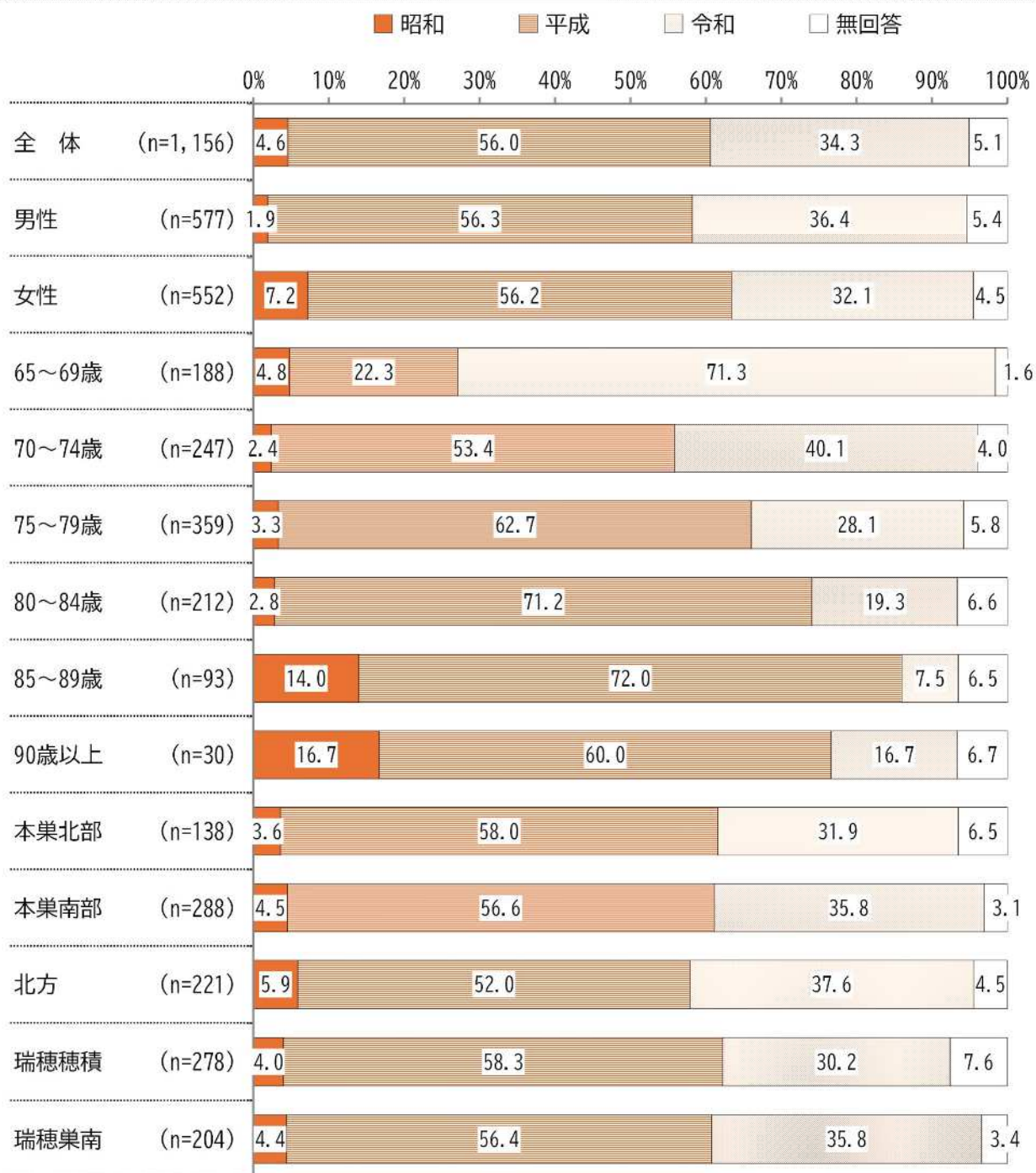
問 56 あなたはいつ引退しましたか。  
 (昭和・平成・令和から1つに○印、年を数字で記入)

全体では、「平成」が56.0%、「令和」が34.3%となっています。

性別で見ると、男性は「平成」が56.3%、「令和」が36.4%、女性は「平成」が56.2%、「令和」が32.1%となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「平成」が高くなる傾向となっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



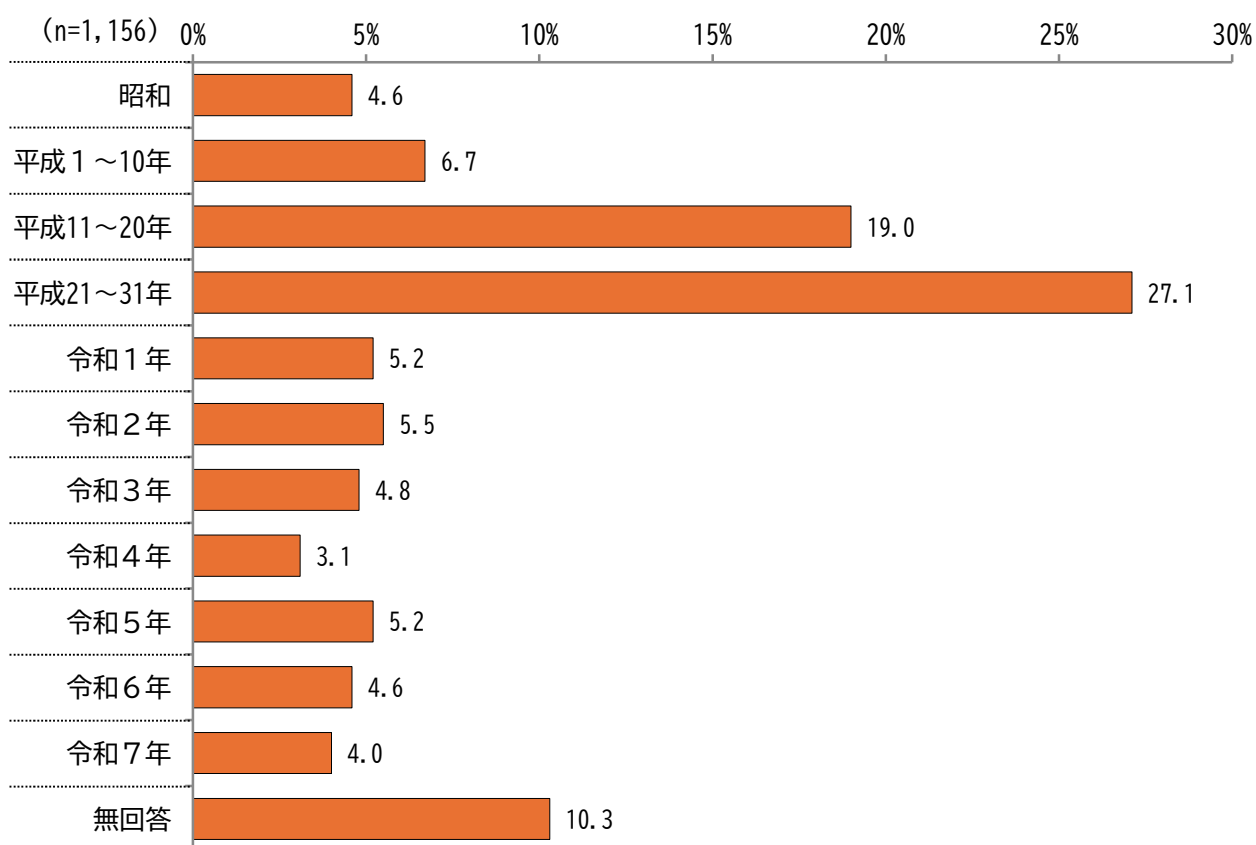
### ① 引退した年について

全体では、「平成 21～31 年」が 27.1%で最も高く、次いで「平成 11～20 年」が 19.0%、「平成 1～10 年」が 6.7%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、65～79 歳では「平成 21～31 年」、80～89 歳では「平成 11～20 年」、90 歳以上では「平成 1～10 年」が最も高くなっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



		全体	昭和	平成 1 5 1 0 年	平成 1 1 5 2 0 年	平成 2 1 5 3 1 年	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	無 回 答
		上段:実数 下段:(%)												
全 体		1,156 100.0	53 4.6	77 6.7	220 19.0	313 27.1	60 5.2	64 5.5	55 4.8	36 3.1	60 5.2	53 4.6	46 4.0	119 10.3
性 別	男性	577 100.0	11 1.9	24 4.2	118 20.5	167 28.9	31 5.4	33 5.7	29 5.0	17 2.9	27 4.7	29 5.0	28 4.9	63 10.9
	女性	552 100.0	40 7.2	51 9.2	98 17.8	140 25.4	28 5.1	30 5.4	24 4.3	19 3.4	31 5.6	23 4.2	15 2.7	53 9.6
年 齢	65～69歳	188 100.0	9 4.8	1 0.5	3 1.6	34 18.1	16 8.5	20 10.6	19 10.1	12 6.4	21 11.2	20 10.6	22 11.7	11 5.9
	70～74歳	247 100.0	6 2.4	3 1.2	24 9.7	101 40.9	16 6.5	19 7.7	14 5.7	7 2.8	12 4.9	12 4.9	12 4.9	21 8.5
	75～79歳	359 100.0	12 3.3	20 5.6	74 20.6	118 32.9	19 5.3	14 3.9	12 3.3	11 3.1	17 4.7	14 3.9	7 1.9	41 11.4
	80～84歳	212 100.0	6 2.8	22 10.4	78 36.8	41 19.3	5 2.4	8 3.8	5 2.4	5 2.4	6 2.8	5 2.4	2 0.9	29 13.7
	85～89歳	93 100.0	13 14.0	21 22.6	30 32.3	10 10.8	3 3.2	0 0.0	2 2.2	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	12 12.9
	90歳以上	30 100.0	5 16.7	8 26.7	7 23.3	3 10.0	0 0.0	2 6.7	1 3.3	0 0.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	2 6.7
地 区	本巢北部	138 100.0	5 3.6	12 8.7	27 19.6	36 26.1	8 5.8	6 4.3	5 3.6	2 1.4	12 8.7	4 2.9	6 4.3	15 10.9
	本巢南部	288 100.0	13 4.5	17 5.9	62 21.5	71 24.7	10 3.5	20 6.9	13 4.5	12 4.2	12 4.2	13 4.5	16 5.6	29 10.1
	北方	221 100.0	13 5.9	9 4.1	34 15.4	65 29.4	20 9.0	12 5.4	9 4.1	13 5.9	8 3.6	7 3.2	6 2.7	25 11.3
	瑞穂穂積	278 100.0	11 4.0	21 7.6	56 20.1	80 28.8	11 4.0	13 4.7	14 5.0	6 2.2	11 4.0	19 6.8	7 2.5	29 10.4
	瑞穂巢南	204 100.0	9 4.4	16 7.8	37 18.1	55 27.0	10 4.9	12 5.9	12 5.9	3 1.5	15 7.4	9 4.4	8 3.9	18 8.8

## 7 地域の活動について

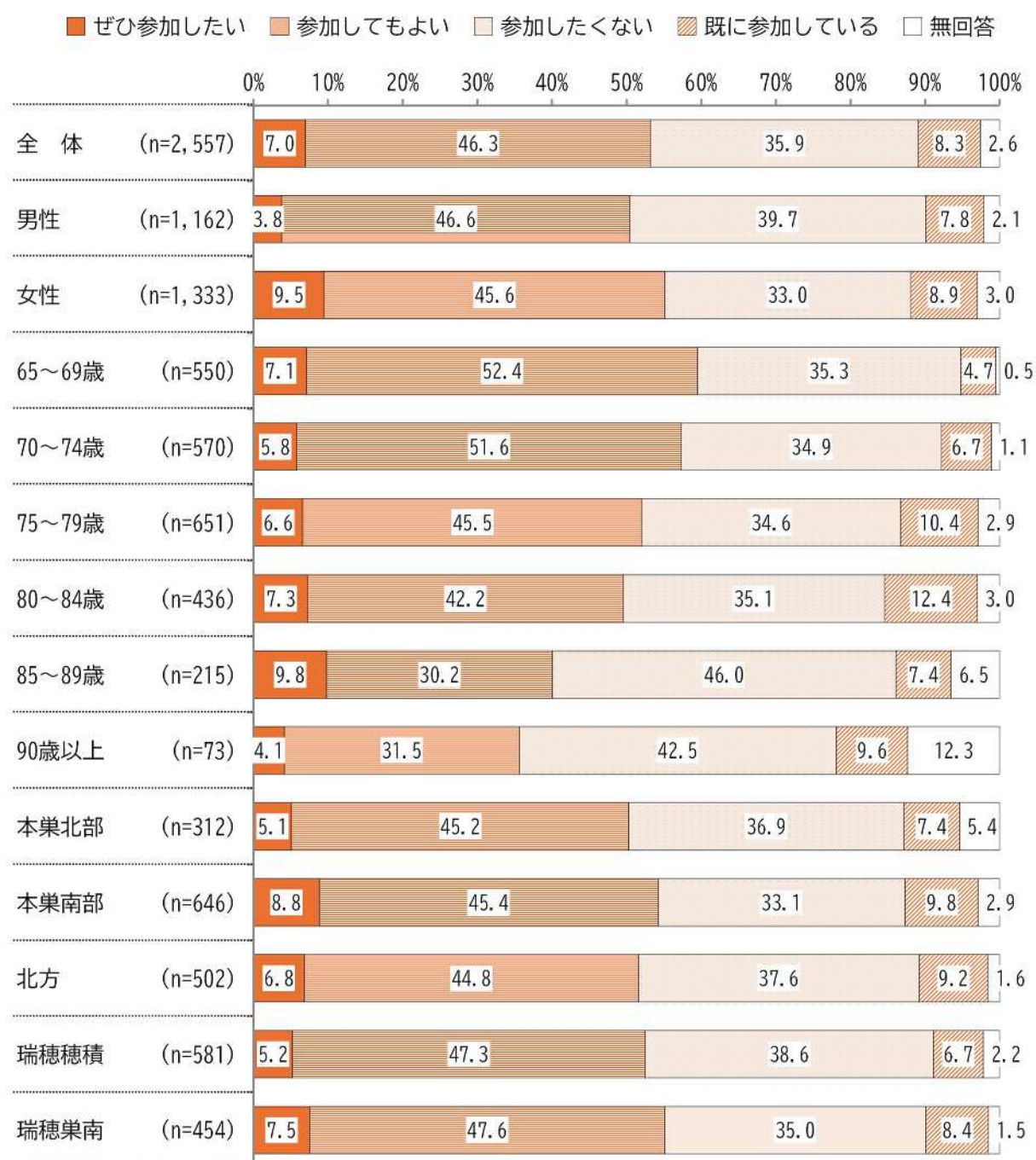
問 57 いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○印は1つだけ)

全体では、「参加してもよい」が46.3%、「参加したくない」が35.9%となっています。

性別で見ると、男性は「参加してもよい」が46.6%、「参加したくない」が39.7%、女性は「参加してもよい」が45.6%、「参加したくない」が33.0%となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「参加してもよい」の割合が低くなる傾向となっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。

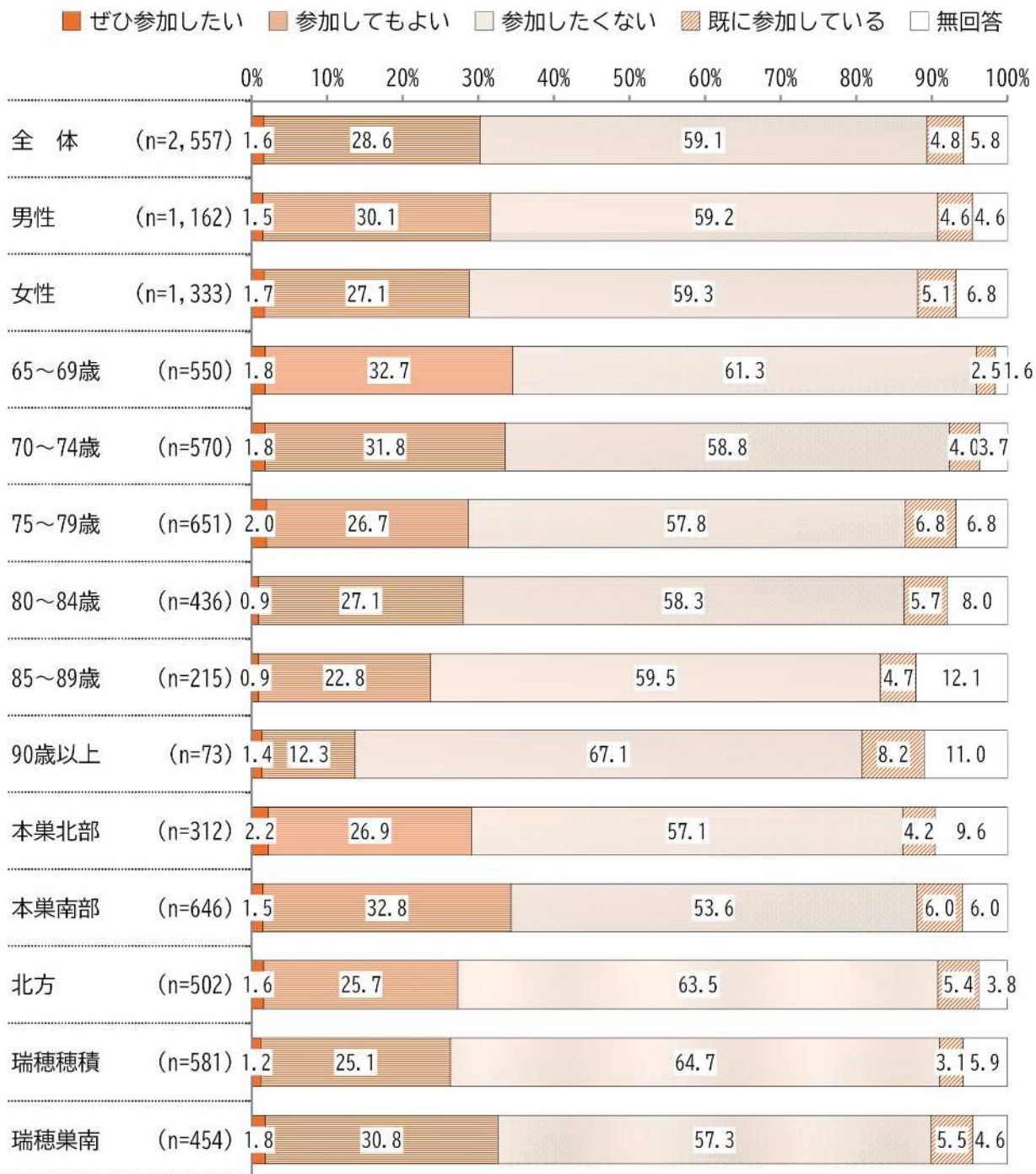


問 58 いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○印は1つだけ）

全体では、「参加したくない」が59.1%、「参加してもよい」が28.6%となっています。  
性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「参加したくない」割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巢南部、瑞穂巣南では「参加してもよい」が3割以上となっています。



問 59 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加しています。  
 ※①～⑧それぞれに回答してください（○印は1つずつ）

いずれの会・グループなどに「参加していない」割合が高くなっています。「参加していない」以外でみると、①ボランティアのグループでは、「年に数回」が5.8%、「月1～3回」が4.9%、②スポーツ関係のグループやクラブでは、「週2～3回」が5.9%、「週1回」が4.9%、③趣味関係のグループでは、「月1～3回」が9.7%、「年に数回」が4.6%、④学習・教養サークルでは、「月1～3回」が3.6%、「年に数回」が3.4%、⑤（サロンや介護予防教室など）介護予防のための通いの場では、「月1～3回」が4.1%、「年に数回」が3.3%、⑥老人クラブでは、「年に数回」が5.8%、「月1～3回」が2.9%、⑦町内会・自治会では、「年に数回」が39.3%、「月1～3回」が6.5%、⑧収入のある仕事では、「週4回以上」が12.4%、「週2～3回」が5.2%となっています。

	全 体	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
上段:実数 下段:(%)								
①ボランティアのグループ	2,557 100.0	18 0.7	25 1.0	36 1.4	126 4.9	148 5.8	1,633 63.9	571 22.3
②スポーツ関係のグループやクラブ	2,557 100.0	70 2.7	150 5.9	126 4.9	103 4.0	67 2.6	1,516 59.3	525 20.5
③趣味関係のグループ	2,557 100.0	22 0.9	68 2.7	100 3.9	248 9.7	117 4.6	1,491 58.3	511 20.0
④学習・教養サークル	2,557 100.0	1 0.0	11 0.4	32 1.3	93 3.6	88 3.4	1,749 68.4	583 22.8
⑤（サロンや介護予防教室など）介護予防のための通いの場	2,557 100.0	1 0.0	24 0.9	25 1.0	104 4.1	84 3.3	1,770 69.2	549 21.5
⑥老人クラブ	2,557 100.0	2 0.1	13 0.5	12 0.5	75 2.9	148 5.8	1,788 69.9	519 20.3
⑦町内会・自治会	2,557 100.0	8 0.3	15 0.6	15 0.6	165 6.5	1,004 39.3	878 34.3	472 18.5
⑧収入のある仕事	2,557 100.0	318 12.4	133 5.2	27 1.1	57 2.2	63 2.5	1,469 57.5	490 19.2

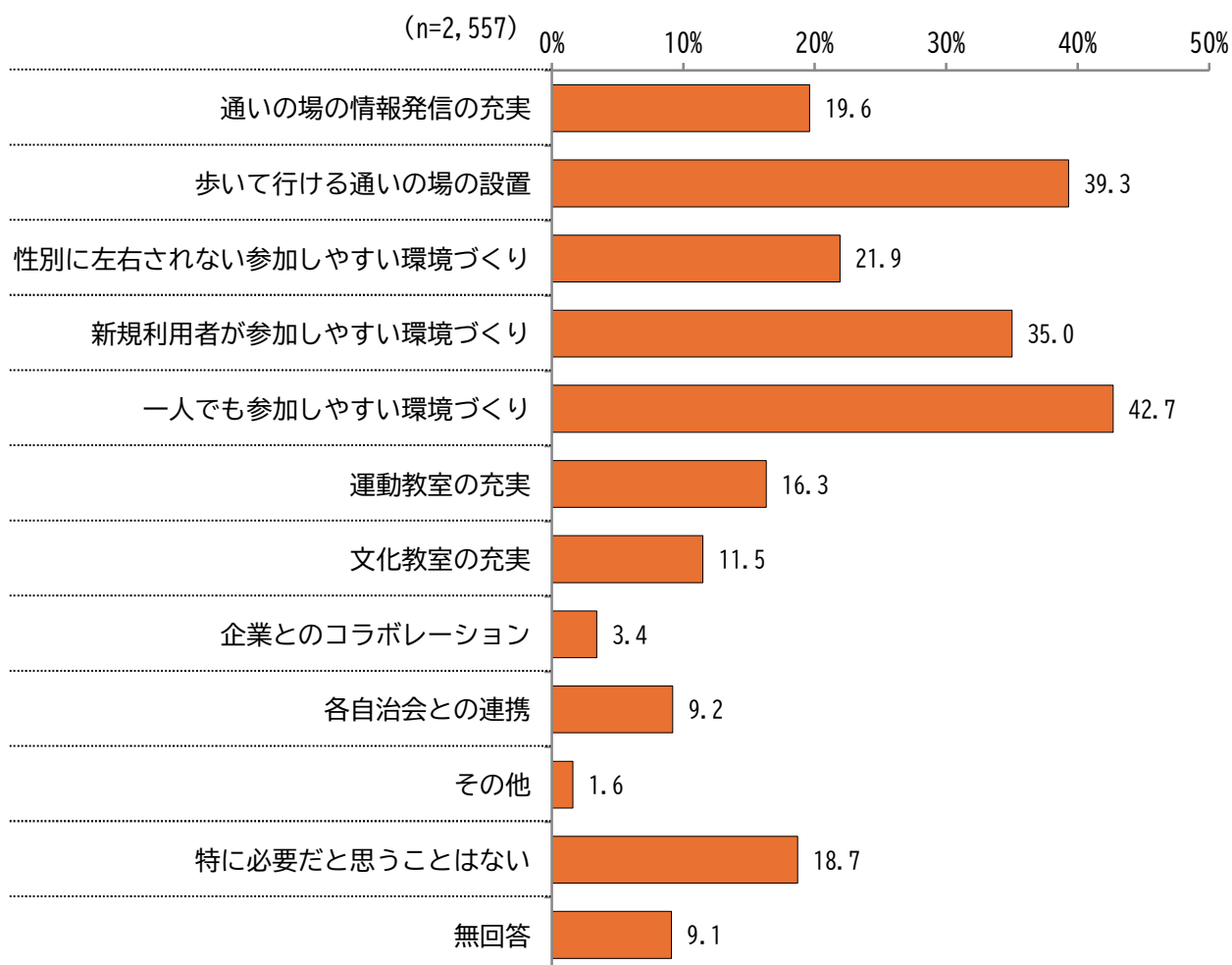
問 60 今後、通いの場（サロンなど）をより良いものにするにあたり、必要だと思われることをお聞かせください。（○印はいくつでも）

全体では、「一人でも参加しやすい環境づくり」が 42.7%で最も高く、次いで「歩いて行ける通いの場の設置」が 39.3%、「新規利用者が参加しやすい環境づくり」が 35.0%となっています。

性別でみると、男性は「一人でも参加しやすい環境づくり」、女性は「歩いて行ける通いの場の設置」、「一人でも参加しやすい環境づくり」が4割以上と高くなっています。

年齢別でみると、65～79歳では「一人でも参加しやすい環境づくり」、80歳以上では「歩いて行ける通いの場の設置」の割合が最も高くなっています。

地区でみると、地域にかかわらず「一人でも参加しやすい環境づくり」が最も高く、次いで本巣北部を除く地区で「歩いて行ける通いの場の設置」が4割前後と高くなっています。



		全体	通信の充実	歩道の設置	境づくりに	性別に左右されな	りしやすい環境が参	新規利用者が参	しやすい環境づく	一人でも参加し	運動教室の充実	文化教室の充実	企業とのコラボ	各自治会との連携	その他	特に必要だと思	無回答
上段:実数 下段:(%)																	
全体		2,557 100.0	501 19.6	1,006 39.3	559 21.9	895 35.0	1,091 42.7	416 16.3	293 11.5	86 3.4	235 9.2	41 1.6	479 18.7	232 9.1			
性別	男性	1,162 100.0	232 20.0	356 30.6	263 22.6	387 33.3	473 40.7	154 13.3	117 10.1	43 3.7	117 10.1	22 1.9	260 22.4	101 8.7			
	女性	1,333 100.0	262 19.7	625 46.9	278 20.9	483 36.2	589 44.2	248 18.6	167 12.5	40 3.0	113 8.5	19 1.4	209 15.7	126 9.5			
年齢	65～69歳	550 100.0	139 25.3	201 36.5	130 23.6	250 45.5	281 51.1	105 19.1	79 14.4	35 6.4	56 10.2	9 1.6	108 19.6	18 3.3			
	70～74歳	570 100.0	133 23.3	210 36.8	122 21.4	219 38.4	266 46.7	111 19.5	81 14.2	21 3.7	60 10.5	4 0.7	105 18.4	29 5.1			
	75～79歳	651 100.0	126 19.4	274 42.1	146 22.4	220 33.8	280 43.0	92 14.1	61 9.4	18 2.8	60 9.2	13 2.0	117 18.0	66 10.1			
	80～84歳	436 100.0	69 15.8	188 43.1	100 22.9	119 27.3	148 33.9	58 13.3	37 8.5	7 1.6	41 9.4	4 0.9	84 19.3	63 14.4			
	85～89歳	215 100.0	20 9.3	81 37.7	35 16.3	48 22.3	70 32.6	29 13.5	21 9.8	2 0.9	12 5.6	10 4.7	36 16.7	39 18.1			
	90歳以上	73 100.0	7 9.6	27 37.0	8 11.0	14 19.2	17 23.3	7 9.6	5 6.8	0 0.0	1 1.4	1 1.4	19 26.0	12 16.4			
	地区	本巣北部	312 100.0	52 16.7	84 26.9	68 21.8	81 26.0	103 33.0	26 8.3	22 7.1	4 1.3	41 13.1	3 1.0	65 20.8	52 16.7		
本巣南部		646 100.0	128 19.8	276 42.7	153 23.7	218 33.7	277 42.9	103 15.9	81 12.5	25 3.9	56 8.7	11 1.7	114 17.6	58 9.0			
北方		502 100.0	95 18.9	208 41.4	105 20.9	177 35.3	228 45.4	85 16.9	64 12.7	18 3.6	35 7.0	9 1.8	89 17.7	38 7.6			
瑞穂穂積		581 100.0	118 20.3	244 42.0	114 19.6	226 38.9	254 43.7	111 19.1	64 11.0	20 3.4	46 7.9	12 2.1	111 19.1	44 7.6			
瑞穂巣南		454 100.0	101 22.2	169 37.2	101 22.2	168 37.0	200 44.1	77 17.0	53 11.7	16 3.5	52 11.5	6 1.3	90 19.8	35 7.7			

## 8 助け合いについて

あなたとまわりの人の「助け合い」についておうかがいします

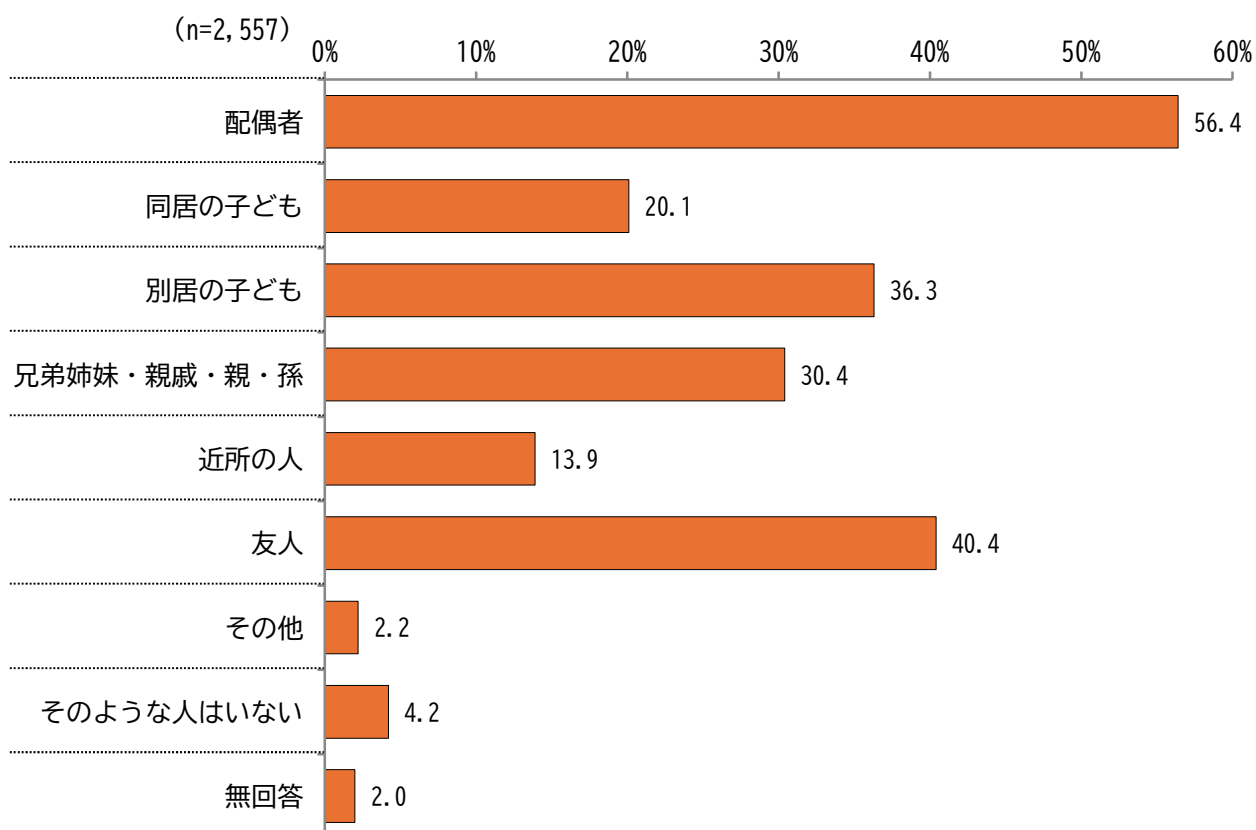
問 61 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○印はいくつでも）

全体では、「配偶者」が 56.4%で最も高く、次いで「友人」が 40.4%、「別居の子ども」が 36.3%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者」が 70.7%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 28.1%、「友人」が 27.5%、女性は「友人」が 51.8%で最も高く、次いで「配偶者」が 44.2%、「別居の子ども」が 43.9%となっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「配偶者」の割合が高く、85歳以上では「別居の子ども」の割合も高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



		全 体	配 偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	親 ・ 兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 孫	近 所 の 人	友 人	そ の 他	な い そ の よ う な 人 は い	無 回 答
上段:実数 下段:(%)											
全 体		2,557 100.0	1,442 56.4	514 20.1	929 36.3	778 30.4	355 13.9	1,033 40.4	55 2.2	108 4.2	51 2.0
性 別	男性	1,162 100.0	822 70.7	178 15.3	327 28.1	245 21.1	103 8.9	319 27.5	30 2.6	71 6.1	22 1.9
	女性	1,333 100.0	589 44.2	319 23.9	585 43.9	520 39.0	245 18.4	690 51.8	24 1.8	32 2.4	28 2.1
年 齢	65～69歳	550 100.0	344 62.5	90 16.4	204 37.1	183 33.3	60 10.9	271 49.3	22 4.0	22 4.0	5 0.9
	70～74歳	570 100.0	361 63.3	106 18.6	207 36.3	180 31.6	78 13.7	263 46.1	10 1.8	24 4.2	8 1.4
	75～79歳	651 100.0	374 57.5	126 19.4	233 35.8	213 32.7	101 15.5	262 40.2	15 2.3	21 3.2	15 2.3
	80～84歳	436 100.0	229 52.5	105 24.1	163 37.4	117 26.8	66 15.1	148 33.9	6 1.4	18 4.1	7 1.6
	85～89歳	215 100.0	79 36.7	52 24.2	79 36.7	58 27.0	37 17.2	58 27.0	0 0.0	14 6.5	11 5.1
	90歳以上	73 100.0	24 32.9	18 24.7	26 35.6	14 19.2	6 8.2	7 9.6	1 1.4	4 5.5	4 5.5
地 区	本巢北部	312 100.0	156 50.0	45 14.4	115 36.9	106 34.0	61 19.6	114 36.5	7 2.2	20 6.4	10 3.2
	本巢南部	646 100.0	386 59.8	137 21.2	246 38.1	201 31.1	107 16.6	255 39.5	14 2.2	25 3.9	12 1.9
	北方	502 100.0	277 55.2	85 16.9	174 34.7	150 29.9	55 11.0	218 43.4	9 1.8	22 4.4	10 2.0
	瑞穂穂積	581 100.0	326 56.1	123 21.2	207 35.6	161 27.7	76 13.1	241 41.5	14 2.4	16 2.8	14 2.4
	瑞穂巢南	454 100.0	266 58.6	107 23.6	170 37.4	147 32.4	49 10.8	181 39.9	10 2.2	20 4.4	4 0.9

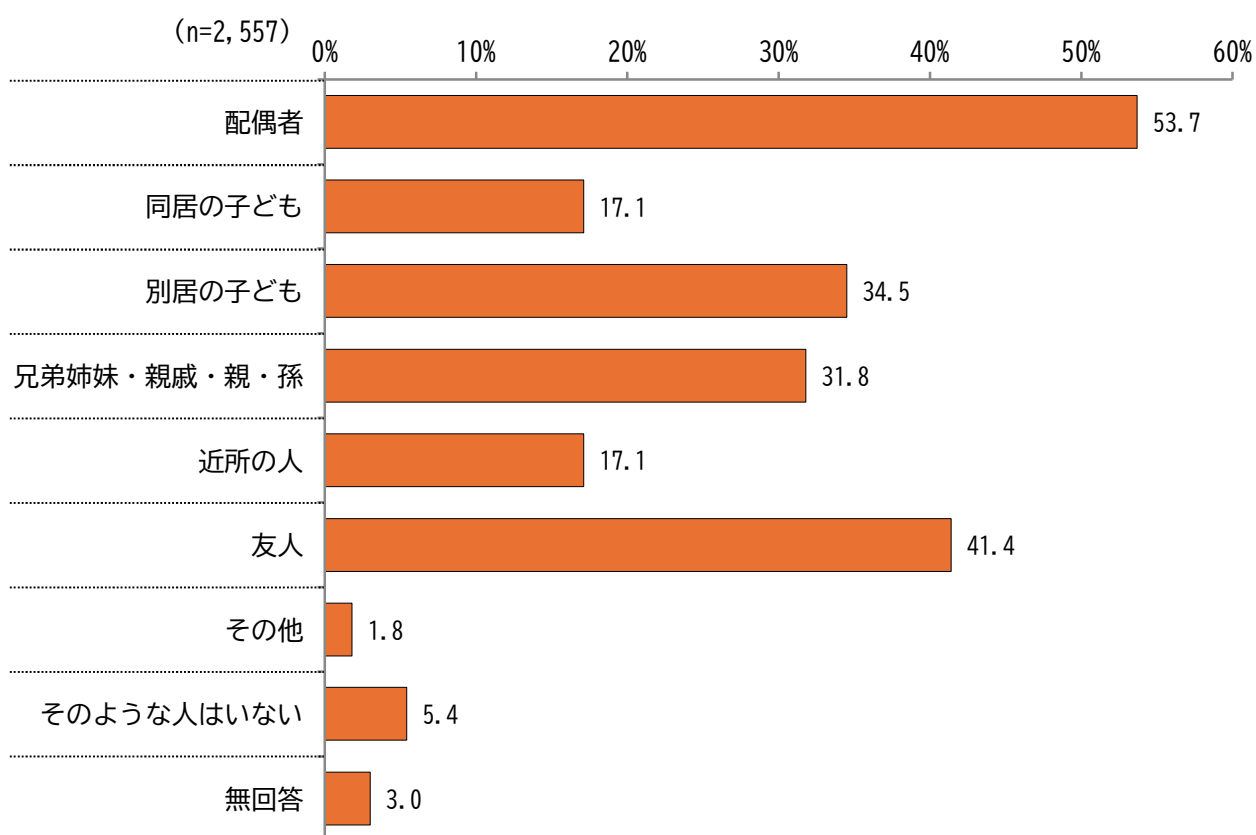
問 62 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○印はいくつでも）

全体では、「配偶者」が 53.7%で最も高く、次いで「友人」が 41.4%、「別居の子ども」が 34.5%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者」が 69.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 28.8%、「友人」が 28.7%、女性は「友人」が 52.3%で最も高く、次いで「配偶者」が 40.1%、「別居の子ども」が 39.9%となっています。

年齢別で見ると、「配偶者」が最も高くなっているものの、年齢が上がるにしたがい割合は低くなっています。また、65～79歳では「友人」が4割以上と高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



		全 体	配 偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	親 ・ 兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 孫	近 所 の 人	友 人	そ の 他	な い そ の よ う な 人 は い	無 回 答
上段:実数 下段:(%)											
全 体		2,557 100.0	1,374 53.7	436 17.1	881 34.5	812 31.8	437 17.1	1,058 41.4	45 1.8	137 5.4	76 3.0
性 別	男性	1,162 100.0	809 69.6	167 14.4	335 28.8	284 24.4	127 10.9	333 28.7	25 2.2	80 6.9	32 2.8
	女性	1,333 100.0	535 40.1	261 19.6	532 39.9	515 38.6	300 22.5	697 52.3	20 1.5	54 4.1	42 3.2
年 齢	65～69歳	550 100.0	334 60.7	91 16.5	216 39.3	190 34.5	59 10.7	269 48.9	18 3.3	21 3.8	6 1.1
	70～74歳	570 100.0	349 61.2	92 16.1	211 37.0	188 33.0	100 17.5	261 45.8	11 1.9	27 4.7	12 2.1
	75～79歳	651 100.0	357 54.8	115 17.7	219 33.6	218 33.5	131 20.1	269 41.3	6 0.9	30 4.6	19 2.9
	80～84歳	436 100.0	217 49.8	83 19.0	142 32.6	130 29.8	89 20.4	158 36.2	5 1.1	18 4.1	11 2.5
	85～89歳	215 100.0	65 30.2	39 18.1	64 29.8	65 30.2	41 19.1	65 30.2	4 1.9	20 9.3	19 8.8
	90歳以上	73 100.0	22 30.1	8 11.0	15 20.5	8 11.0	7 9.6	8 11.0	1 1.4	18 24.7	7 9.6
地 区	本巢北部	312 100.0	152 48.7	35 11.2	111 35.6	108 34.6	82 26.3	120 38.5	7 2.2	26 8.3	17 5.4
	本巢南部	646 100.0	376 58.2	124 19.2	233 36.1	209 32.4	130 20.1	260 40.2	9 1.4	33 5.1	19 2.9
	北方	502 100.0	254 50.6	74 14.7	167 33.3	153 30.5	66 13.1	215 42.8	8 1.6	26 5.2	11 2.2
	瑞穂穂積	581 100.0	308 53.0	107 18.4	194 33.4	178 30.6	91 15.7	238 41.0	12 2.1	29 5.0	19 3.3
	瑞穂巢南	454 100.0	254 55.9	88 19.4	162 35.7	151 33.3	58 12.8	197 43.4	9 2.0	20 4.4	8 1.8

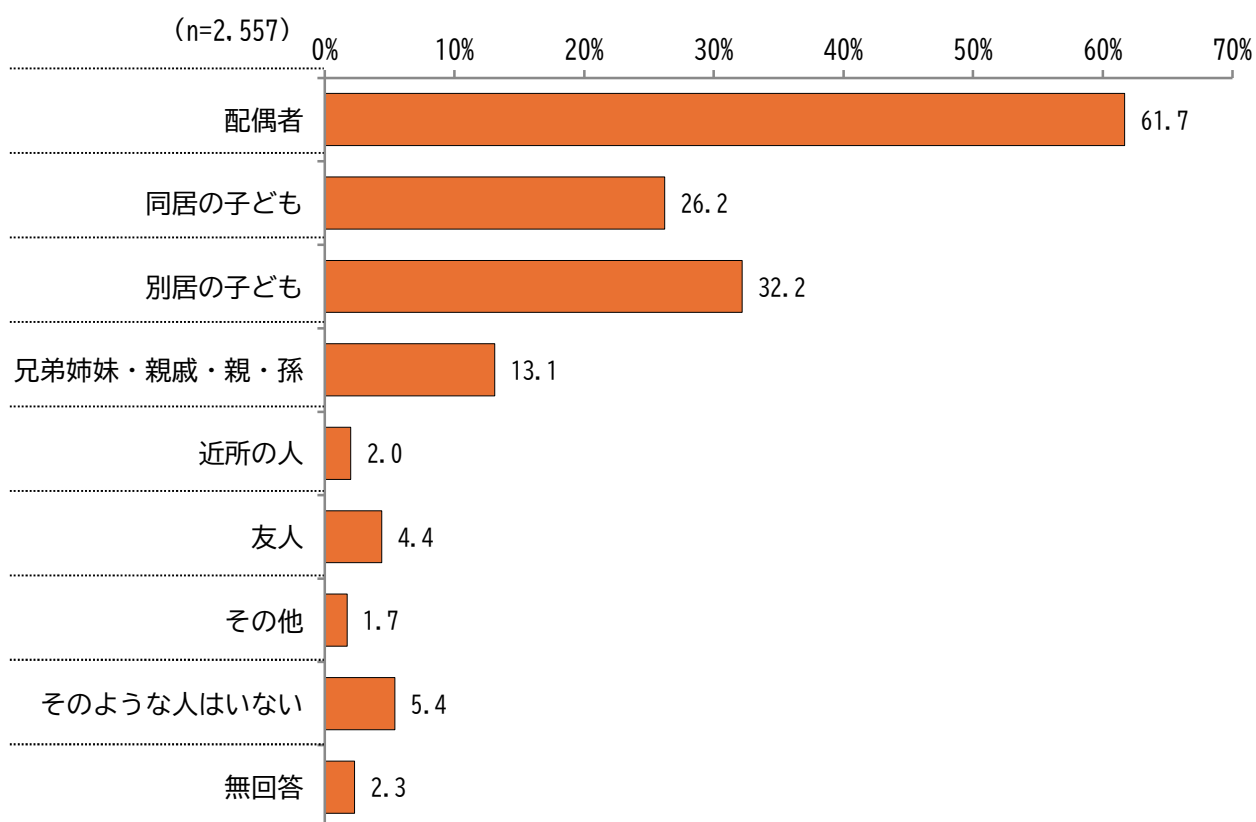
問 63 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人  
(○印はいくつでも)

全体では、「配偶者」が 61.7%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 32.2%、「同居の子ども」が 26.2%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者」が 76.9%、女性は「配偶者」が 48.4%で男性よりも女性が 28.5ポイント高くなっています。また、女性では「別居の子ども」が約4割と高くなっています。

年齢別で見ると、65～84歳では「配偶者」が最も高く、85歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近所の人	友人	その他	そのような人は いない	無回答
上段:実数 下段:(%)											
全体		2,557 100.0	1,577 61.7	671 26.2	823 32.2	334 13.1	50 2.0	112 4.4	44 1.7	139 5.4	58 2.3
性別	男性	1,162 100.0	893 76.9	233 20.1	286 24.6	119 10.2	11 0.9	22 1.9	15 1.3	71 6.1	27 2.3
	女性	1,333 100.0	645 48.4	420 31.5	522 39.2	210 15.8	39 2.9	88 6.6	29 2.2	63 4.7	30 2.3
年齢	65～69歳	550 100.0	368 66.9	114 20.7	146 26.5	65 11.8	6 1.1	29 5.3	6 1.1	39 7.1	5 0.9
	70～74歳	570 100.0	401 70.4	138 24.2	175 30.7	67 11.8	9 1.6	21 3.7	8 1.4	35 6.1	7 1.2
	75～79歳	651 100.0	417 64.1	167 25.7	205 31.5	95 14.6	18 2.8	32 4.9	12 1.8	34 5.2	17 2.6
	80～84歳	436 100.0	242 55.5	140 32.1	165 37.8	58 13.3	4 0.9	18 4.1	8 1.8	13 3.0	11 2.5
	85～89歳	215 100.0	82 38.1	67 31.2	87 40.5	38 17.7	10 4.7	10 4.7	7 3.3	8 3.7	13 6.0
	90歳以上	73 100.0	28 38.4	27 37.0	30 41.1	6 8.2	3 4.1	0 0.0	3 4.1	5 6.8	4 5.5
地区	本巣北部	312 100.0	185 59.3	55 17.6	96 30.8	55 17.6	16 5.1	19 6.1	5 1.6	20 6.4	10 3.2
	本巣南部	646 100.0	435 67.3	186 28.8	217 33.6	85 13.2	10 1.5	21 3.3	12 1.9	24 3.7	14 2.2
	北方	502 100.0	295 58.8	122 24.3	159 31.7	65 12.9	10 2.0	22 4.4	7 1.4	36 7.2	12 2.4
	瑞穂穂積	581 100.0	338 58.2	157 27.0	182 31.3	62 10.7	11 1.9	36 6.2	11 1.9	29 5.0	17 2.9
	瑞穂巣南	454 100.0	285 62.8	133 29.3	154 33.9	62 13.7	3 0.7	12 2.6	9 2.0	25 5.5	4 0.9

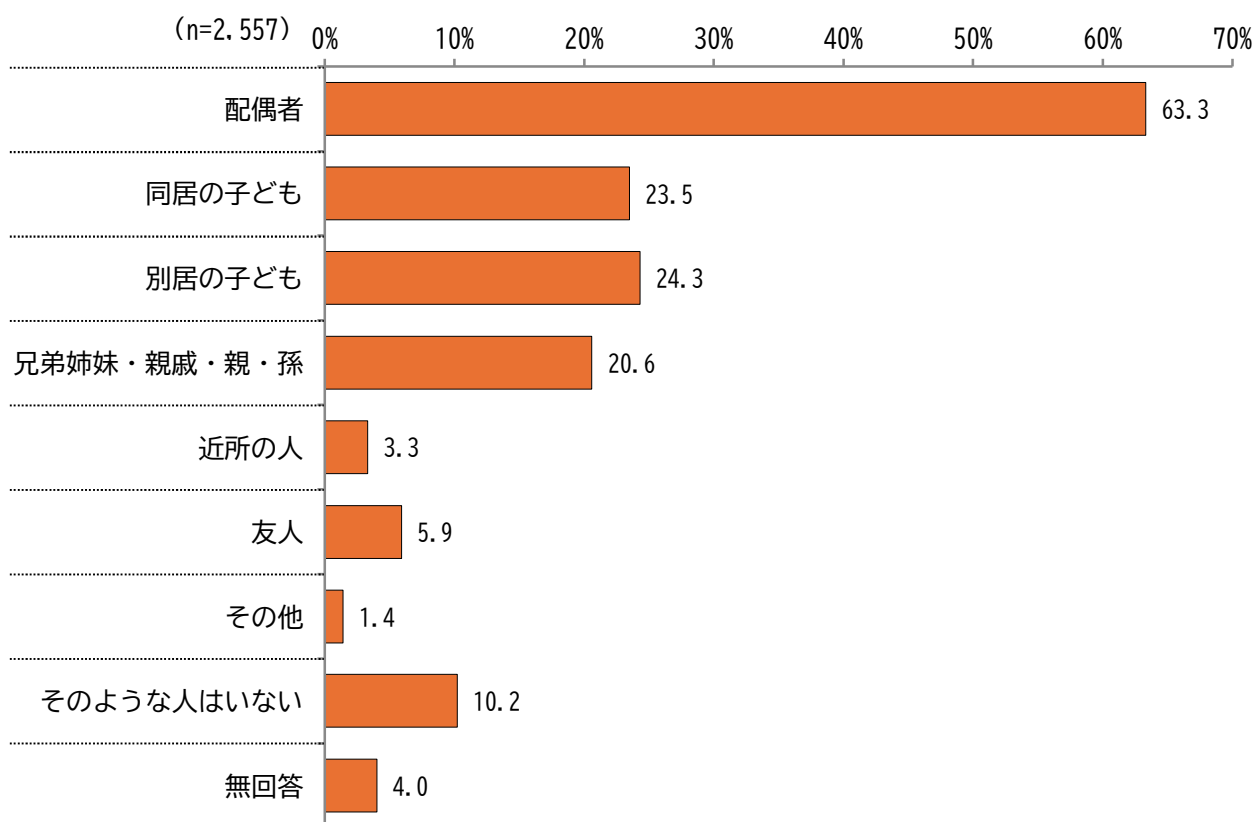
問 64 反対に、看病や世話をしあける人（○印はいくつでも）

全体では、「配偶者」が 63.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 24.3%、「同居の子ども」が 23.5%となっています。

性別で見ると、男性は「配偶者」が 74.8%、女性は「配偶者」が 53.3%で最も高く、女性よりも男性が 21.5 ポイント高くなっています。また、女性では「別居の子ども」が約3割と高くなっています。

年齢別で見ると、65～89歳では「配偶者」が最も高く、年齢が上がるにしたがい割合は低くなる傾向となっています。90歳以上では「そのような人はいない」が 39.7%で最も高くなっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



		全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚兄弟・親・孫・親	近所の人	友人	その他	そのような人は いない	無回答
上段:実数 下段:(%)											
全体		2,557 100.0	1,619 63.3	602 23.5	622 24.3	528 20.6	84 3.3	150 5.9	36 1.4	261 10.2	103 4.0
性別	男性	1,162 100.0	869 74.8	226 19.4	217 18.7	180 15.5	18 1.5	37 3.2	11 0.9	121 10.4	42 3.6
	女性	1,333 100.0	710 53.3	361 27.1	398 29.9	337 25.3	65 4.9	109 8.2	24 1.8	134 10.1	59 4.4
年齢	65～69歳	550 100.0	386 70.2	121 22.0	163 29.6	154 28.0	8 1.5	35 6.4	4 0.7	47 8.5	6 1.1
	70～74歳	570 100.0	410 71.9	140 24.6	163 28.6	128 22.5	16 2.8	34 6.0	5 0.9	41 7.2	14 2.5
	75～79歳	651 100.0	420 64.5	152 23.3	149 22.9	125 19.2	34 5.2	41 6.3	5 0.8	66 10.1	22 3.4
	80～84歳	436 100.0	253 58.0	118 27.1	99 22.7	71 16.3	15 3.4	25 5.7	7 1.6	37 8.5	23 5.3
	85～89歳	215 100.0	85 39.5	47 21.9	39 18.1	37 17.2	8 3.7	10 4.7	12 5.6	35 16.3	28 13.0
	90歳以上	73 100.0	25 34.2	9 12.3	2 2.7	2 2.7	2 2.7	1 1.4	2 2.7	29 39.7	8 11.0
地区	本巣北部	312 100.0	186 59.6	47 15.1	63 20.2	68 21.8	20 6.4	19 6.1	3 1.0	37 11.9	24 7.7
	本巣南部	646 100.0	440 68.1	160 24.8	165 25.5	145 22.4	19 2.9	29 4.5	8 1.2	60 9.3	21 3.3
	北方	502 100.0	309 61.6	107 21.3	119 23.7	100 19.9	17 3.4	35 7.0	5 1.0	44 8.8	23 4.6
	瑞穂穂積	581 100.0	351 60.4	148 25.5	142 24.4	94 16.2	16 2.8	36 6.2	12 2.1	74 12.7	25 4.3
	瑞穂巣南	454 100.0	293 64.5	125 27.5	126 27.8	110 24.2	11 2.4	27 5.9	7 1.5	40 8.8	8 1.8

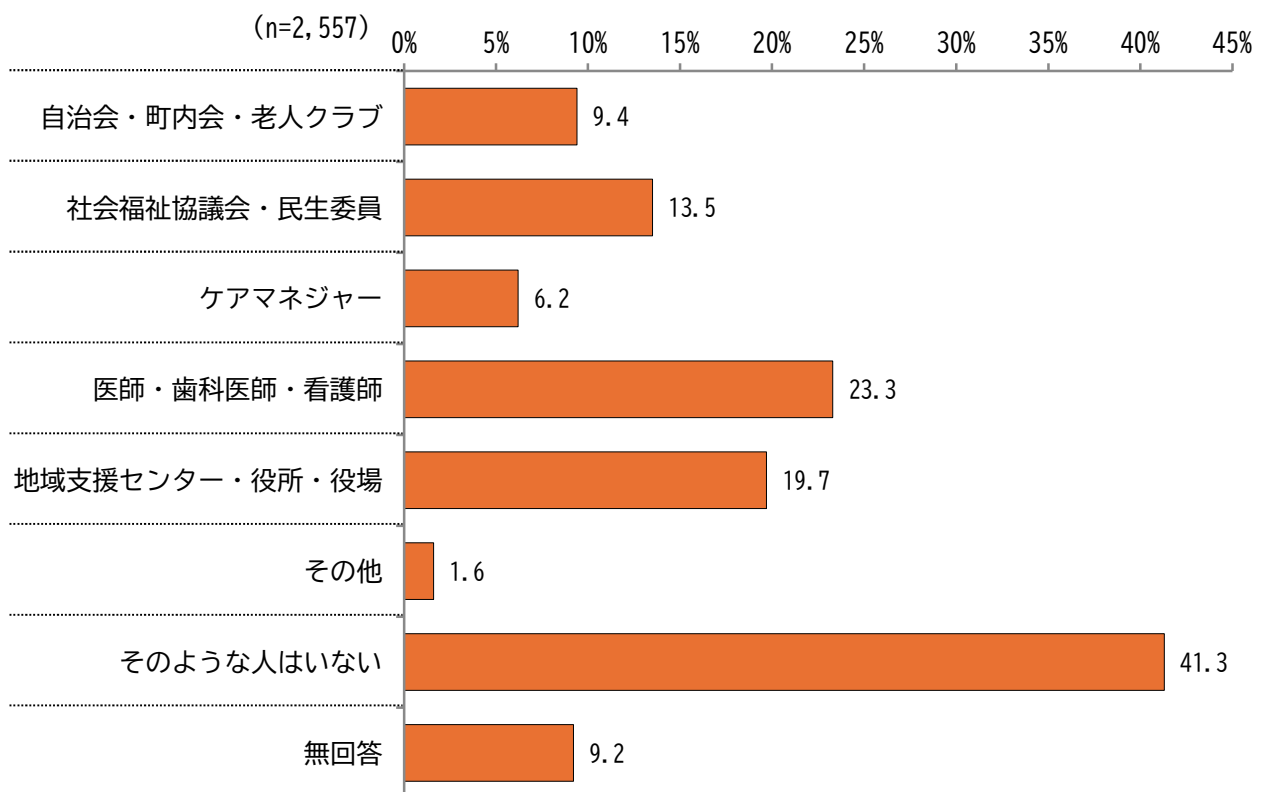
問 65 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇印はいくつでも)

全体では、「そのような人はいない」が41.3%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が23.3%、「地域支援センター・役所・役場」が19.7%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「そのような人はいない」が最も高くなっており、年齢が上がるにしたがい割合が低くなる傾向となっています。

地区で見ると、地域にかかわらず「そのような人はいない」が最も高くなっています。



		全体	自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域支援センター・役	その他	いろいろな人は	無回答
上段:実数 下段:(%)										
全体		2,557	240	345	159	595	505	41	1,057	234
		100.0	9.4	13.5	6.2	23.3	19.7	1.6	41.3	9.2
性別	男性	1,162	129	145	55	272	198	16	506	93
		100.0	11.1	12.5	4.7	23.4	17.0	1.4	43.5	8.0
	女性	1,333	106	187	102	310	291	25	526	135
		100.0	8.0	14.0	7.7	23.3	21.8	1.9	39.5	10.1
年齢	65～69歳	550	43	44	28	123	102	12	278	30
		100.0	7.8	8.0	5.1	22.4	18.5	2.2	50.5	5.5
	70～74歳	570	50	57	26	129	100	8	270	39
		100.0	8.8	10.0	4.6	22.6	17.5	1.4	47.4	6.8
	75～79歳	651	66	100	26	163	144	7	255	59
		100.0	10.1	15.4	4.0	25.0	22.1	1.1	39.2	9.1
	80～84歳	436	41	75	43	106	86	9	147	48
		100.0	9.4	17.2	9.9	24.3	19.7	2.1	33.7	11.0
	85～89歳	215	27	46	26	46	46	4	60	40
		100.0	12.6	21.4	12.1	21.4	21.4	1.9	27.9	18.6
	90歳以上	73	8	10	8	15	11	1	22	12
		100.0	11.0	13.7	11.0	20.5	15.1	1.4	30.1	16.4
地区	本巣北部	312	50	46	15	57	67	2	106	41
		100.0	16.0	14.7	4.8	18.3	21.5	0.6	34.0	13.1
	本巣南部	646	71	69	40	176	110	12	259	67
		100.0	11.0	10.7	6.2	27.2	17.0	1.9	40.1	10.4
	北方	502	37	59	38	107	115	9	214	45
		100.0	7.4	11.8	7.6	21.3	22.9	1.8	42.6	9.0
	瑞穂穂積	581	35	84	39	130	110	8	254	51
		100.0	6.0	14.5	6.7	22.4	18.9	1.4	43.7	8.8
	瑞穂巣南	454	42	74	25	112	87	10	199	24
		100.0	9.3	16.3	5.5	24.7	19.2	2.2	43.8	5.3

問 66 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○印は1つだけ)

全体では、「月に何度かある」が30.5%で最も高く、次いで「週に何度かある」が26.0%、「年に何度かある」が17.8%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「月に何度かある」が最も高く、次いで「週に何度かある」となっています。また、男性では「ほとんどない」が21.3%、女性では13.4%と女性よりも男性が7.9ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい知人と会う頻度が低くなる傾向にあり、90歳以上では「ほとんどない」が35.6%と高くなっています。

地区で見ると、本巢北部では他の地区に比べて知人と会う頻度が高い傾向にあり、「毎日ある」が1割を占めています。また「週に何度かある」でも3割以上と高くなっています。



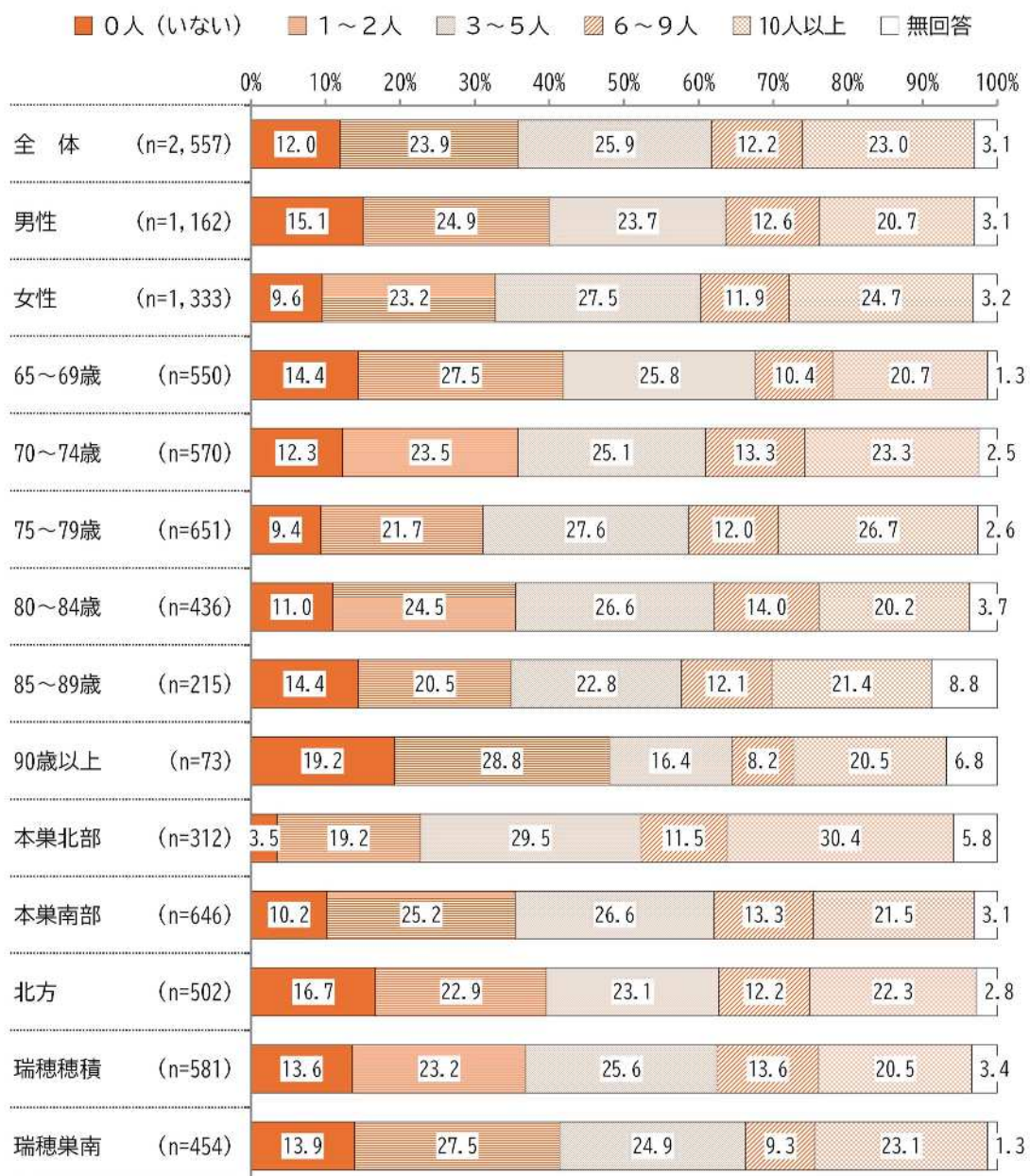
問 67 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○印は1つだけ)

全体では、「3～5人」が25.9%で最も高く、次いで「1～2人」が23.9%、「10人以上」が23.0%となっています。

性別でみると、男性は「1～2人」が24.9%で、女性は「3～5人」が27.5%で最も高くなっています。また、男性では「0人(いない)」が15.1%、女性では9.6%と女性よりも男性が5.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳では「1～2人」が27.5%、70～74歳では「3～5人」が25.1%、75～79歳では「3～5人」が27.6%、80～84歳では「3～5人」が26.6%、85～89歳では「3～5人」が、90歳以上では「1～2人」が28.8%で最も高くなっています。

地区でみると、本巣北部では「10人以上」が30.4%で最も高く、他の地区に比べて1割ほど高くなっています。



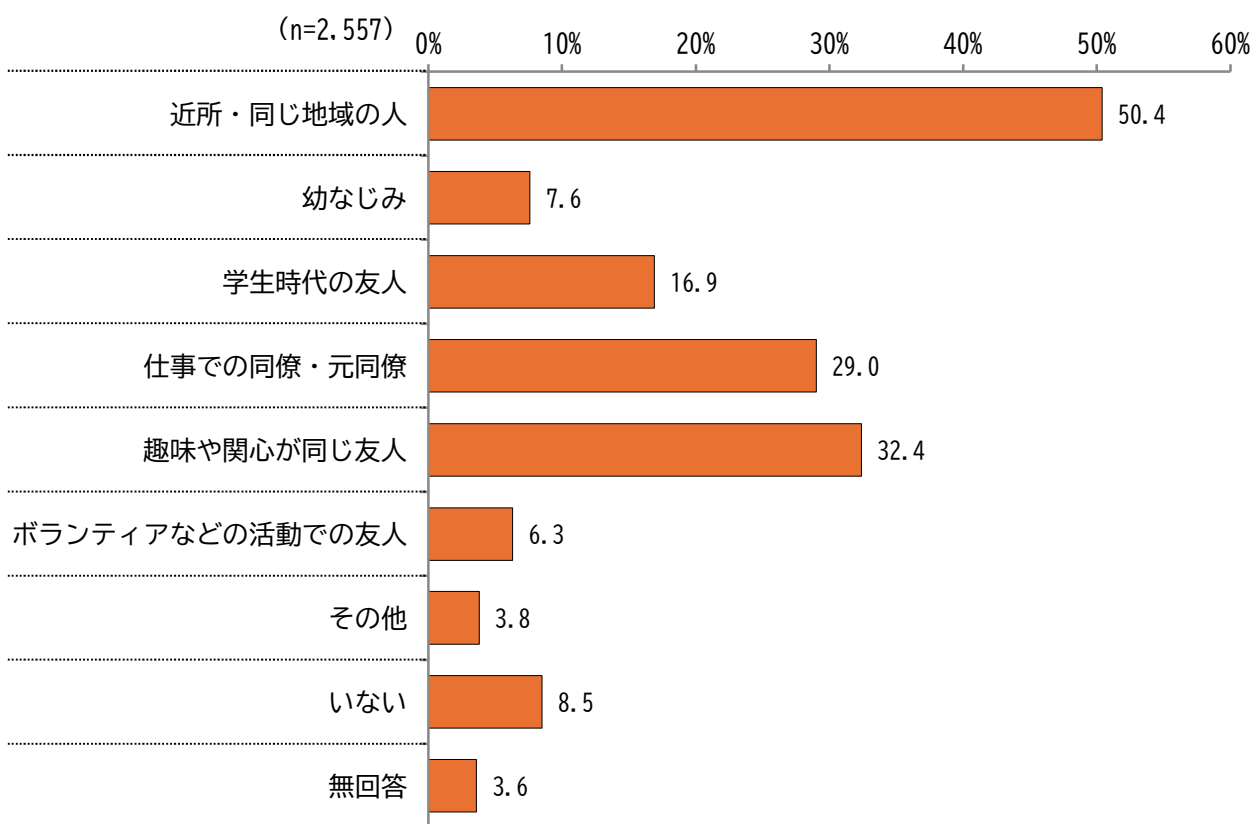
問 68 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○印はいくつでも)

全体では、「近所・同じ地域の人」が50.4%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.4%、「仕事での同僚・元同僚」が29.0%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「近所・同じ地域の人」が最も高く、男性よりも女性が15.1ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、65～69歳では「仕事での同僚・元同僚」が47.1%、70歳以上では「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。

地区で見ると、地区にかかわらず「近所・同じ地域の人」が最も高くなっており、本巣北部では73.1%と他の地区に比べて7割以上と高くなっています。



		全体	の近所・同じ地域	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	趣味や関心が同じ友人	ポランティスなどの活動での友人	その他	いない	無回答
上段:実数 下段:(%)											
全体		2,557 100.0	1,288 50.4	195 7.6	433 16.9	742 29.0	828 32.4	161 6.3	98 3.8	218 8.5	93 3.6
性別	男性	1,162 100.0	489 42.1	84 7.2	187 16.1	371 31.9	358 30.8	64 5.5	43 3.7	131 11.3	44 3.8
	女性	1,333 100.0	763 57.2	107 8.0	238 17.9	356 26.7	444 33.3	96 7.2	51 3.8	83 6.2	48 3.6
年齢	65～69歳	550 100.0	202 36.7	60 10.9	140 25.5	259 47.1	175 31.8	19 3.5	19 3.5	51 9.3	9 1.6
	70～74歳	570 100.0	263 46.1	36 6.3	99 17.4	196 34.4	183 32.1	33 5.8	25 4.4	47 8.2	19 3.3
	75～79歳	651 100.0	360 55.3	57 8.8	108 16.6	176 27.0	212 32.6	67 10.3	22 3.4	52 8.0	24 3.7
	80～84歳	436 100.0	253 58.0	25 5.7	54 12.4	69 15.8	150 34.4	30 6.9	14 3.2	34 7.8	20 4.6
	85～89歳	215 100.0	128 59.5	11 5.1	24 11.2	26 12.1	67 31.2	8 3.7	8 3.7	19 8.8	17 7.9
	90歳以上	73 100.0	46 63.0	2 2.7	0 0.0	1 1.4	15 20.5	3 4.1	6 8.2	11 15.1	3 4.1
地区	本巣北部	312 100.0	228 73.1	31 9.9	42 13.5	92 29.5	84 26.9	12 3.8	3 1.0	8 2.6	18 5.8
	本巣南部	646 100.0	358 55.4	46 7.1	93 14.4	185 28.6	211 32.7	46 7.1	27 4.2	41 6.3	25 3.9
	北方	502 100.0	188 37.5	28 5.6	80 15.9	154 30.7	162 32.3	39 7.8	18 3.6	65 12.9	20 4.0
	瑞穂穂積	581 100.0	250 43.0	47 8.1	117 20.1	160 27.5	202 34.8	32 5.5	31 5.3	58 10.0	20 3.4
	瑞穂巣南	454 100.0	228 50.2	39 8.6	93 20.5	136 30.0	143 31.5	31 6.8	15 3.3	42 9.3	9 2.0

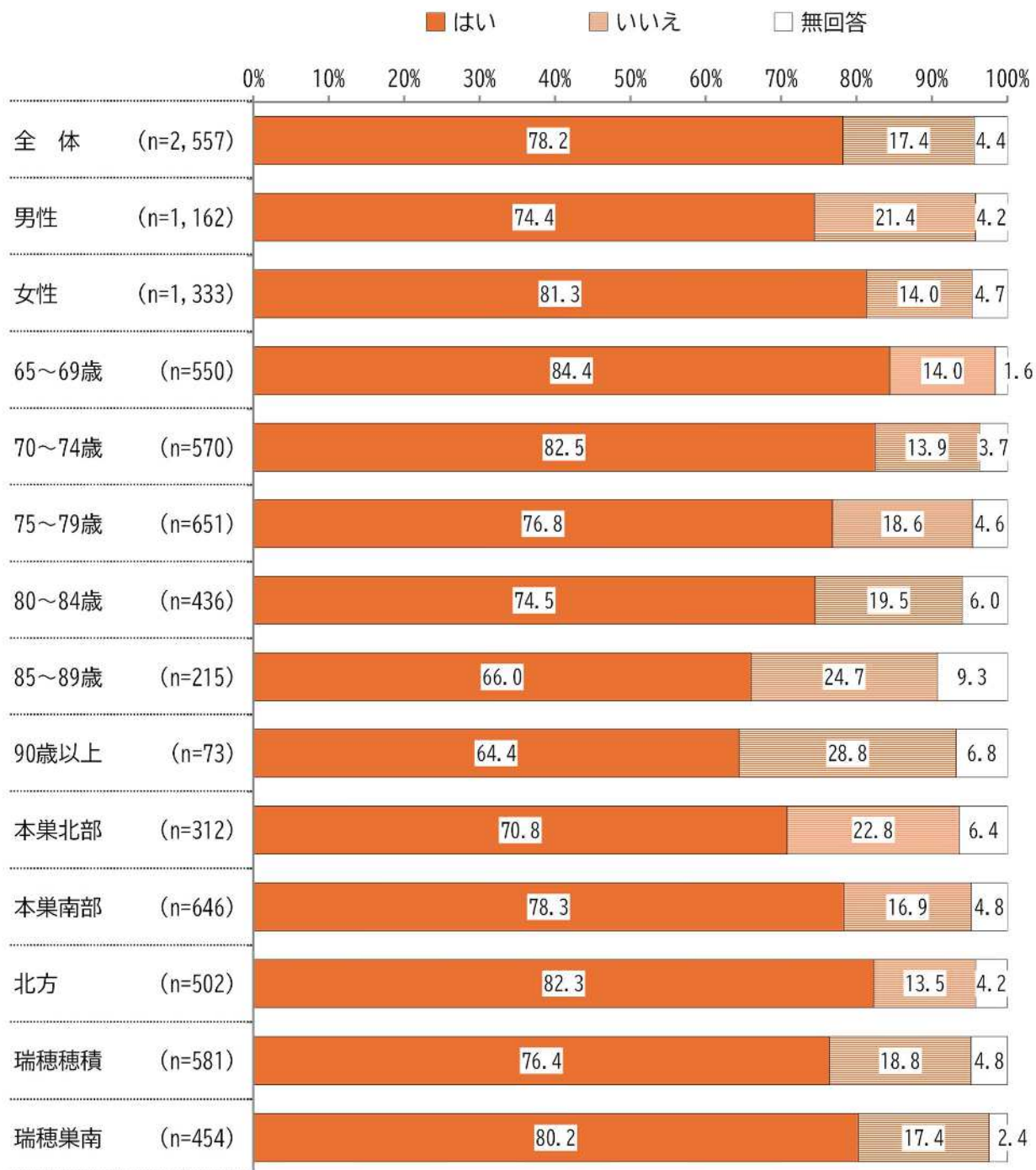
問 69 家族や友人の役に立っていると思いますか。(どちらかに○印)

全体では、「はい」が78.2%、「いいえ」が17.4%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が74.4%、「いいえ」が21.4%、女性は「はい」が81.3%、「いいえ」が14.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「いいえ」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、北方、瑞穂巣南では「はい」が8割以上となっています。



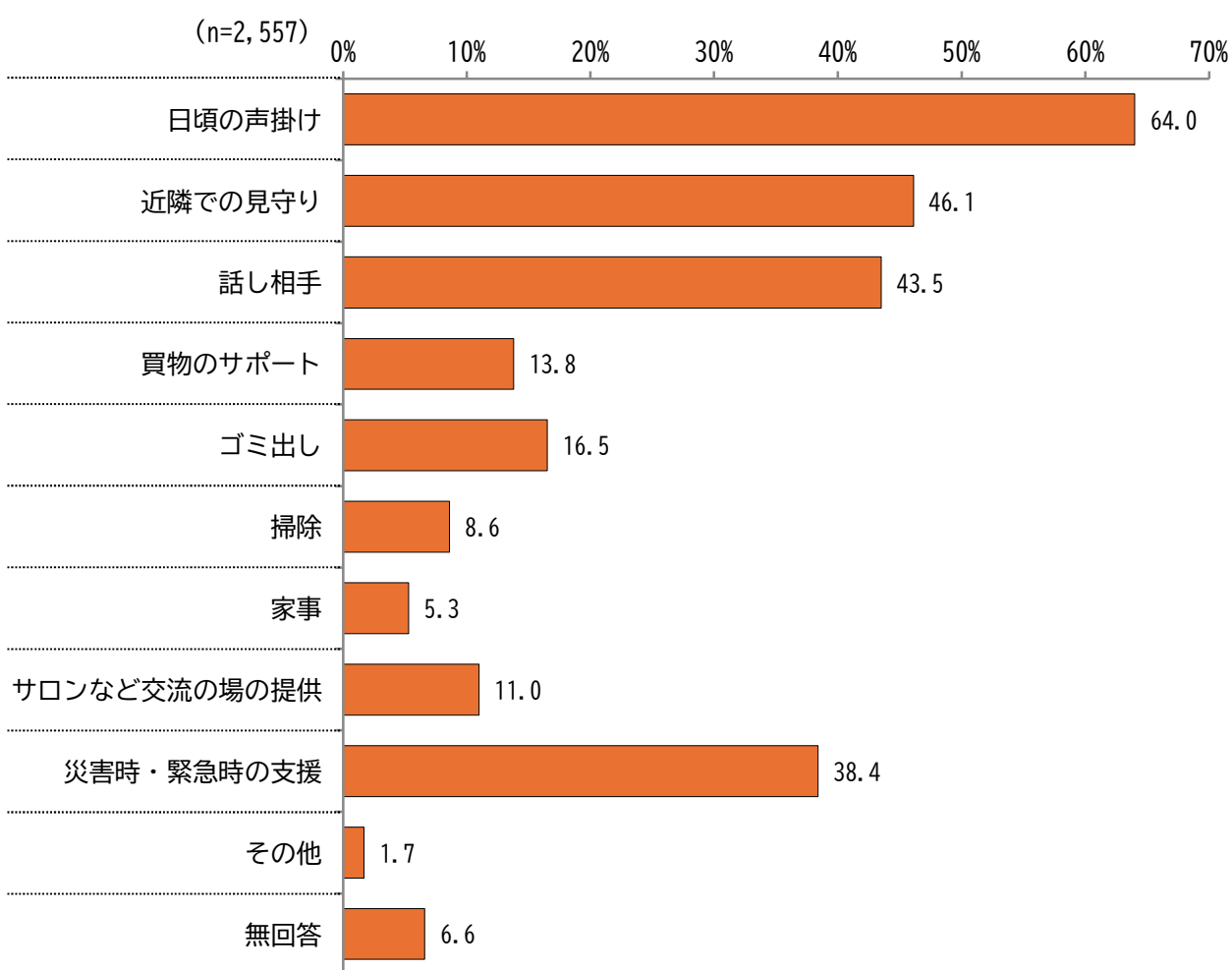
問 70 地域住民自らによる高齢者支援として考えられるものは何ですか。  
(○印はいくつでも)

全体では、「日頃の声掛け」が 64.0%で最も高く、次いで「近隣での見守り」が 46.1%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「日頃の声掛け」が最も高くなっています。次いで、男性では「近隣での見守り」、女性では「話し相手」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「日頃の声掛け」が最も高く、次いで 65～74 歳では「近隣での見守り」、75 歳以上では「話し相手」が高くなっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



		全体	日頃の声掛け	近隣での見守り	話し相手	買物のサポート	ゴミ出し	掃除	家事	サロンなど交流の提供	災害時・緊急時の支援	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)													
全体		2,557	1,637	1,180	1,112	354	421	221	135	280	981	43	170
		100.0	64.0	46.1	43.5	13.8	16.5	8.6	5.3	11.0	38.4	1.7	6.6
性別	男性	1,162	731	506	412	119	159	107	46	85	477	20	70
		100.0	62.9	43.5	35.5	10.2	13.7	9.2	4.0	7.3	41.0	1.7	6.0
	女性	1,333	867	645	673	227	253	109	86	189	486	22	96
		100.0	65.0	48.4	50.5	17.0	19.0	8.2	6.5	14.2	36.5	1.7	7.2
年齢	65～69歳	550	355	321	228	95	108	51	35	48	283	11	20
		100.0	64.5	58.4	41.5	17.3	19.6	9.3	6.4	8.7	51.5	2.0	3.6
	70～74歳	570	381	275	242	89	90	46	32	56	234	12	28
		100.0	66.8	48.2	42.5	15.6	15.8	8.1	5.6	9.8	41.1	2.1	4.9
	75～79歳	651	421	301	317	93	113	63	31	83	237	10	40
		100.0	64.7	46.2	48.7	14.3	17.4	9.7	4.8	12.7	36.4	1.5	6.1
	80～84歳	436	287	162	181	41	57	32	19	57	131	4	42
		100.0	65.8	37.2	41.5	9.4	13.1	7.3	4.4	13.1	30.0	0.9	9.6
	85～89歳	215	113	74	85	22	36	19	15	24	62	4	24
		100.0	52.6	34.4	39.5	10.2	16.7	8.8	7.0	11.2	28.8	1.9	11.2
	90歳以上	73	41	18	32	6	8	5	0	6	16	1	12
		100.0	56.2	24.7	43.8	8.2	11.0	6.8	0.0	8.2	21.9	1.4	16.4
地区	本巣北部	312	218	166	160	42	37	18	17	15	119	4	26
		100.0	69.9	53.2	51.3	13.5	11.9	5.8	5.4	4.8	38.1	1.3	8.3
	本巣南部	646	423	290	295	86	101	61	30	87	262	11	35
		100.0	65.5	44.9	45.7	13.3	15.6	9.4	4.6	13.5	40.6	1.7	5.4
	北方	502	313	224	214	69	110	49	30	39	186	9	38
		100.0	62.4	44.6	42.6	13.7	21.9	9.8	6.0	7.8	37.1	1.8	7.6
	瑞穂穂積	581	350	272	232	80	94	49	28	61	222	10	39
		100.0	60.2	46.8	39.9	13.8	16.2	8.4	4.8	10.5	38.2	1.7	6.7
	瑞穂巣南	454	294	199	184	69	70	39	27	72	174	8	28
		100.0	64.8	43.8	40.5	15.2	15.4	8.6	5.9	15.9	38.3	1.8	6.2

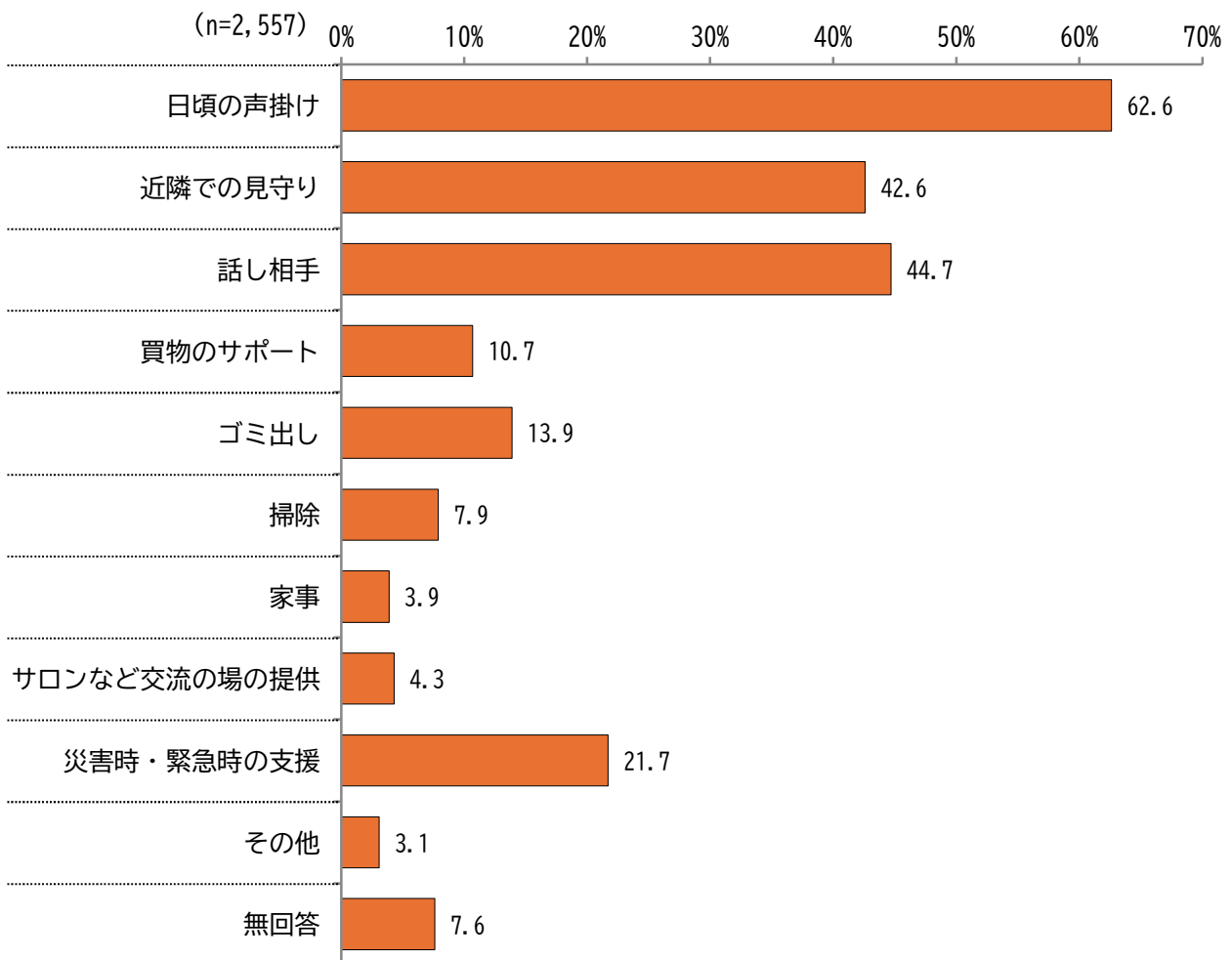
問 71 上記の高齢者支援の中で、あなたができることは何ですか。(〇印はいくつでも)

全体では、「日頃の声掛け」が 62.6%で最も高く、次いで「話し相手」が 44.7%となっています。

性別でみると、男性は「日頃の声掛け」が 61.8%で最も高く、次いで「近隣での見守り」が 42.9%、女性は「日頃の声掛け」が 63.2%で最も高く、次いで「話し相手」が 53.1%となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「日頃の声掛け」が最も高く、次いで 65～74 歳では「近隣での見守り」、75 歳以上では「話し相手」が高くなっています。

地区でみると、地区にかかわらず「日頃の声掛け」が最も高く、本巣北部では「話し相手」が 5 割以上と高くなっています。



		全体	日頃の声掛け	近隣での見守り	話し相手	買物のサポート	ゴミ出し	掃除	家事	サロンなど交流の場 の提供	災害時・緊急時の 支援	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)													
全体		2,557	1,600	1,090	1,144	273	355	201	100	110	555	79	194
		100.0	62.6	42.6	44.7	10.7	13.9	7.9	3.9	4.3	21.7	3.1	7.6
性別	男性	1,162	718	498	403	83	149	82	20	37	323	35	81
		100.0	61.8	42.9	34.7	7.1	12.8	7.1	1.7	3.2	27.8	3.0	7.0
	女性	1,333	843	562	708	184	201	117	80	72	224	43	110
		100.0	63.2	42.2	53.1	13.8	15.1	8.8	6.0	5.4	16.8	3.2	8.3
年齢	65～69歳	550	340	288	212	67	93	46	23	16	194	20	23
		100.0	61.8	52.4	38.5	12.2	16.9	8.4	4.2	2.9	35.3	3.6	4.2
	70～74歳	570	377	273	248	76	81	51	22	22	150	11	33
		100.0	66.1	47.9	43.5	13.3	14.2	8.9	3.9	3.9	26.3	1.9	5.8
	75～79歳	651	427	284	316	81	90	46	20	40	128	17	46
		100.0	65.6	43.6	48.5	12.4	13.8	7.1	3.1	6.1	19.7	2.6	7.1
	80～84歳	436	283	152	208	32	54	37	20	21	56	9	47
		100.0	64.9	34.9	47.7	7.3	12.4	8.5	4.6	4.8	12.8	2.1	10.8
	85～89歳	215	104	55	98	10	27	16	13	7	19	15	29
		100.0	48.4	25.6	45.6	4.7	12.6	7.4	6.0	3.3	8.8	7.0	13.5
	90歳以上	73	30	8	29	1	5	3	2	3	0	6	13
		100.0	41.1	11.0	39.7	1.4	6.8	4.1	2.7	4.1	0.0	8.2	17.8
地区	本巣北部	312	216	154	161	44	41	19	21	6	80	7	30
		100.0	69.2	49.4	51.6	14.1	13.1	6.1	6.7	1.9	25.6	2.2	9.6
	本巣南部	646	416	281	312	69	82	56	29	41	155	15	40
		100.0	64.4	43.5	48.3	10.7	12.7	8.7	4.5	6.3	24.0	2.3	6.2
	北方	502	298	191	210	57	86	46	15	21	103	16	44
		100.0	59.4	38.0	41.8	11.4	17.1	9.2	3.0	4.2	20.5	3.2	8.8
	瑞穂穂積	581	345	229	232	42	80	45	21	17	106	23	46
		100.0	59.4	39.4	39.9	7.2	13.8	7.7	3.6	2.9	18.2	4.0	7.9
	瑞穂巣南	454	286	205	196	55	61	33	14	24	103	17	31
		100.0	63.0	45.2	43.2	12.1	13.4	7.3	3.1	5.3	22.7	3.7	6.8

## 9 健康について

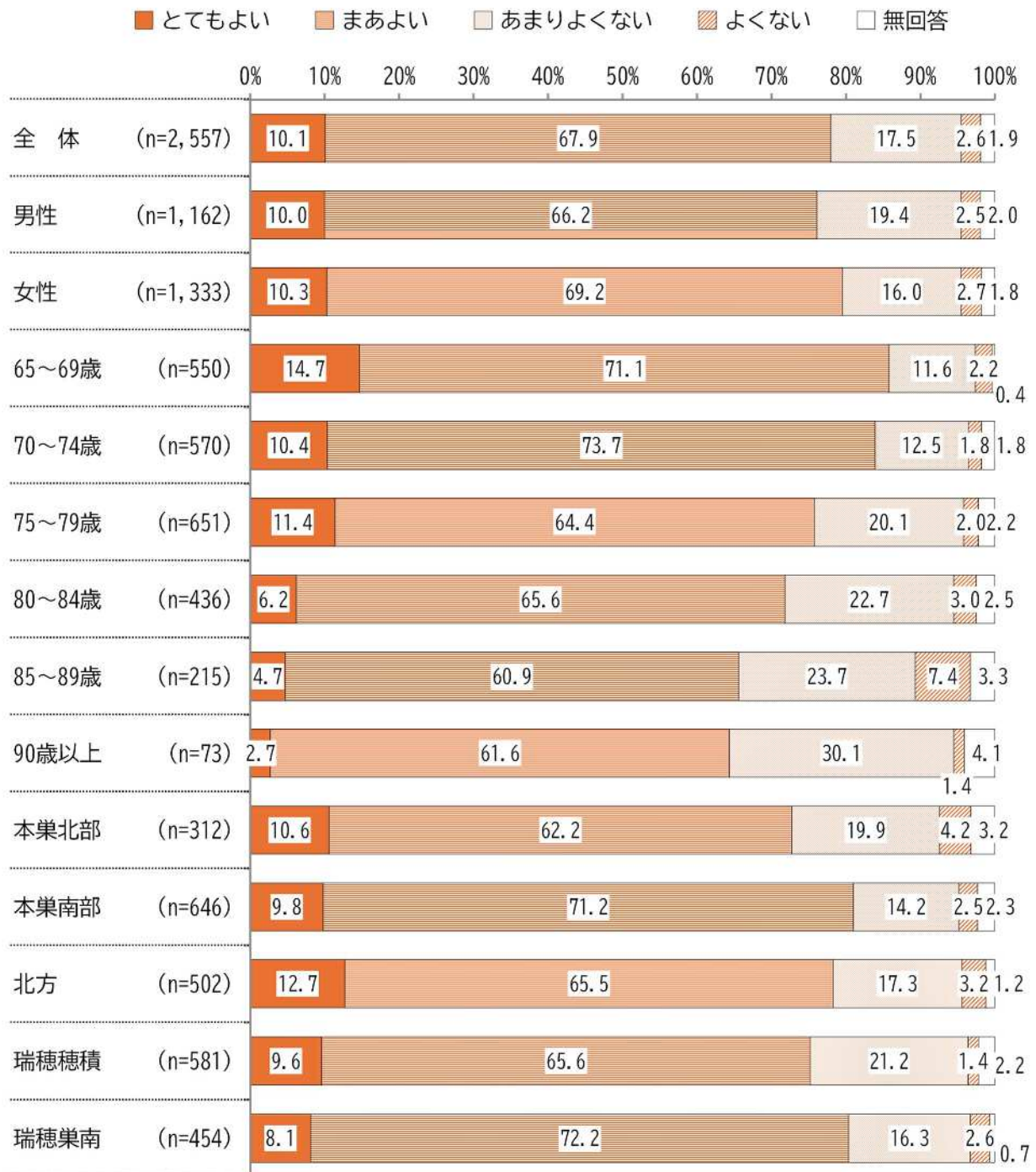
### 問 72 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○印は1つだけ)

全体では、「まあよい」が67.9%、「あまりよくない」が17.5%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「あまりよくない」の割合が高くなる傾向となっています。

地区で見ると、本巢南部、瑞穂巢南では「とてもよい」と「まあよい」をあわせた健康状態は“よい”の割合が8割以上と高くなっています。



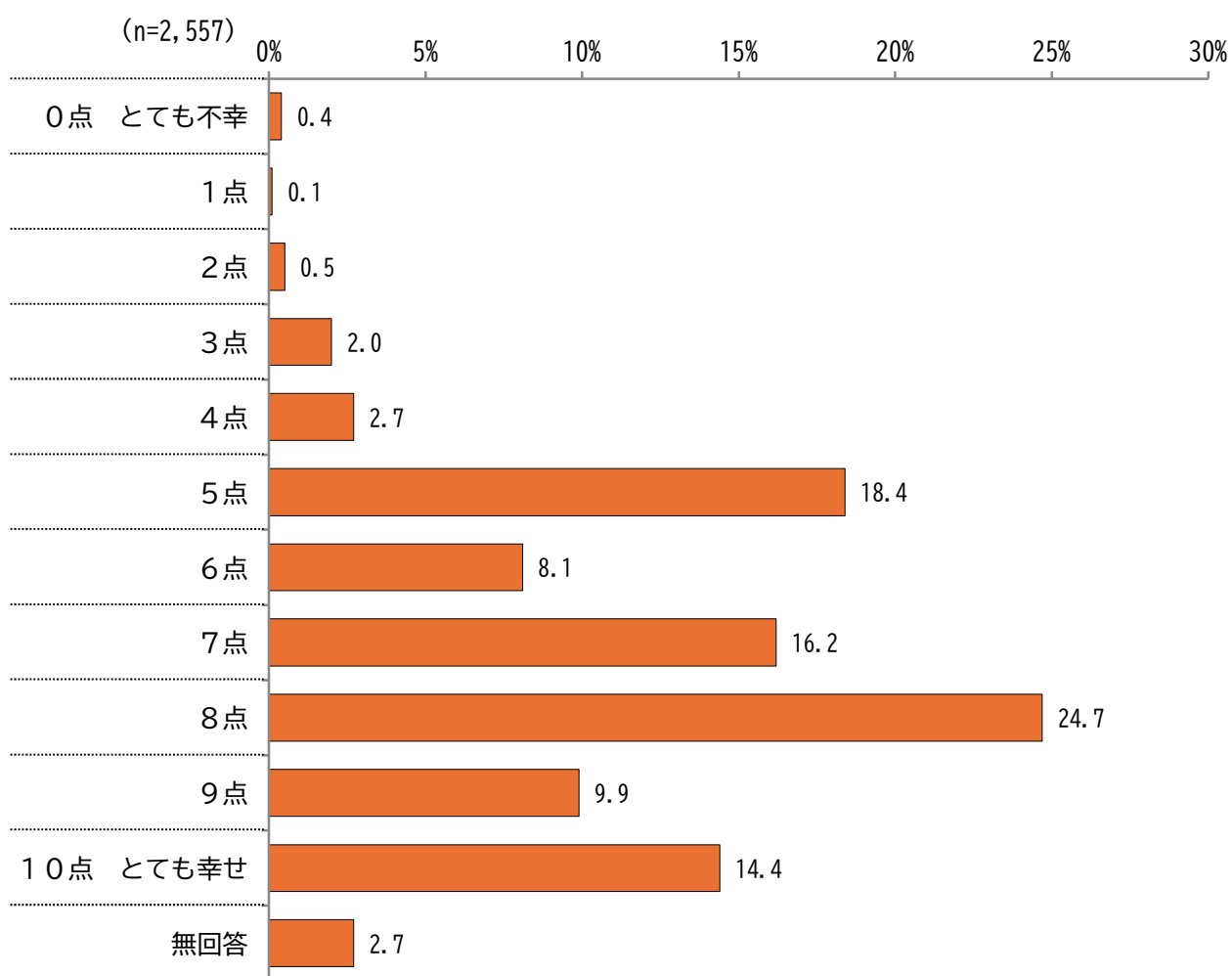
問 73 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○印は点数に1つだけ)  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

全体では、「8点」が24.7%で最も高く、次いで「5点」が18.4%、「7点」が16.2%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「8点」が最も高く、次いで「5点」、「7点」となっています。また女性では「10点 とても幸せ」が16.7%で男性よりも4.9ポイント高くなっています。

年齢別で見ても、大きな差はみられません。

地区で見ると、本巢北部では「5点」「8点」、本巢南部、北方、瑞穂穂積、瑞穂巢南では「8点」が最も高くなっています。



		全体	0点 とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	無回答
		上段:実数 下段:(%)												
全体		2,557	11	3	13	51	68	471	206	413	631	253	368	69
		100.0	0.4	0.1	0.5	2.0	2.7	18.4	8.1	16.2	24.7	9.9	14.4	2.7
性別	男性	1,162	5	1	7	30	36	238	100	195	291	93	137	29
		100.0	0.4	0.1	0.6	2.6	3.1	20.5	8.6	16.8	25.0	8.0	11.8	2.5
	女性	1,333	6	2	5	21	29	223	103	210	317	156	222	39
		100.0	0.5	0.2	0.4	1.6	2.2	16.7	7.7	15.8	23.8	11.7	16.7	2.9
年齢	65～69歳	550	4	2	6	14	10	90	45	102	137	58	79	3
		100.0	0.7	0.4	1.1	2.5	1.8	16.4	8.2	18.5	24.9	10.5	14.4	0.5
	70～74歳	570	4	1	2	10	13	100	43	100	148	57	78	14
		100.0	0.7	0.2	0.4	1.8	2.3	17.5	7.5	17.5	26.0	10.0	13.7	2.5
	75～79歳	651	1	0	2	12	20	120	58	106	161	62	89	20
		100.0	0.2	0.0	0.3	1.8	3.1	18.4	8.9	16.3	24.7	9.5	13.7	3.1
	80～84歳	436	0	0	0	7	16	93	40	60	95	41	70	14
		100.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.7	21.3	9.2	13.8	21.8	9.4	16.1	3.2
	85～89歳	215	1	0	2	5	5	42	12	27	51	21	35	14
		100.0	0.5	0.0	0.9	2.3	2.3	19.5	5.6	12.6	23.7	9.8	16.3	6.5
	90歳以上	73	1	0	0	3	1	16	5	10	16	10	8	3
		100.0	1.4	0.0	0.0	4.1	1.4	21.9	6.8	13.7	21.9	13.7	11.0	4.1
地区	本巢北部	312	4	0	1	9	2	74	17	51	74	18	50	12
		100.0	1.3	0.0	0.3	2.9	0.6	23.7	5.4	16.3	23.7	5.8	16.0	3.8
	本巢南部	646	1	0	1	14	14	106	58	104	163	81	85	19
		100.0	0.2	0.0	0.2	2.2	2.2	16.4	9.0	16.1	25.2	12.5	13.2	2.9
	北方	502	2	0	6	7	16	85	52	80	117	50	77	10
		100.0	0.4	0.0	1.2	1.4	3.2	16.9	10.4	15.9	23.3	10.0	15.3	2.0
	瑞穂穂積	581	3	0	3	15	21	110	51	96	132	47	84	19
		100.0	0.5	0.0	0.5	2.6	3.6	18.9	8.8	16.5	22.7	8.1	14.5	3.3
瑞穂巢南	454	1	3	1	6	12	86	25	74	122	53	63	8	
	100.0	0.2	0.7	0.2	1.3	2.6	18.9	5.5	16.3	26.9	11.7	13.9	1.8	

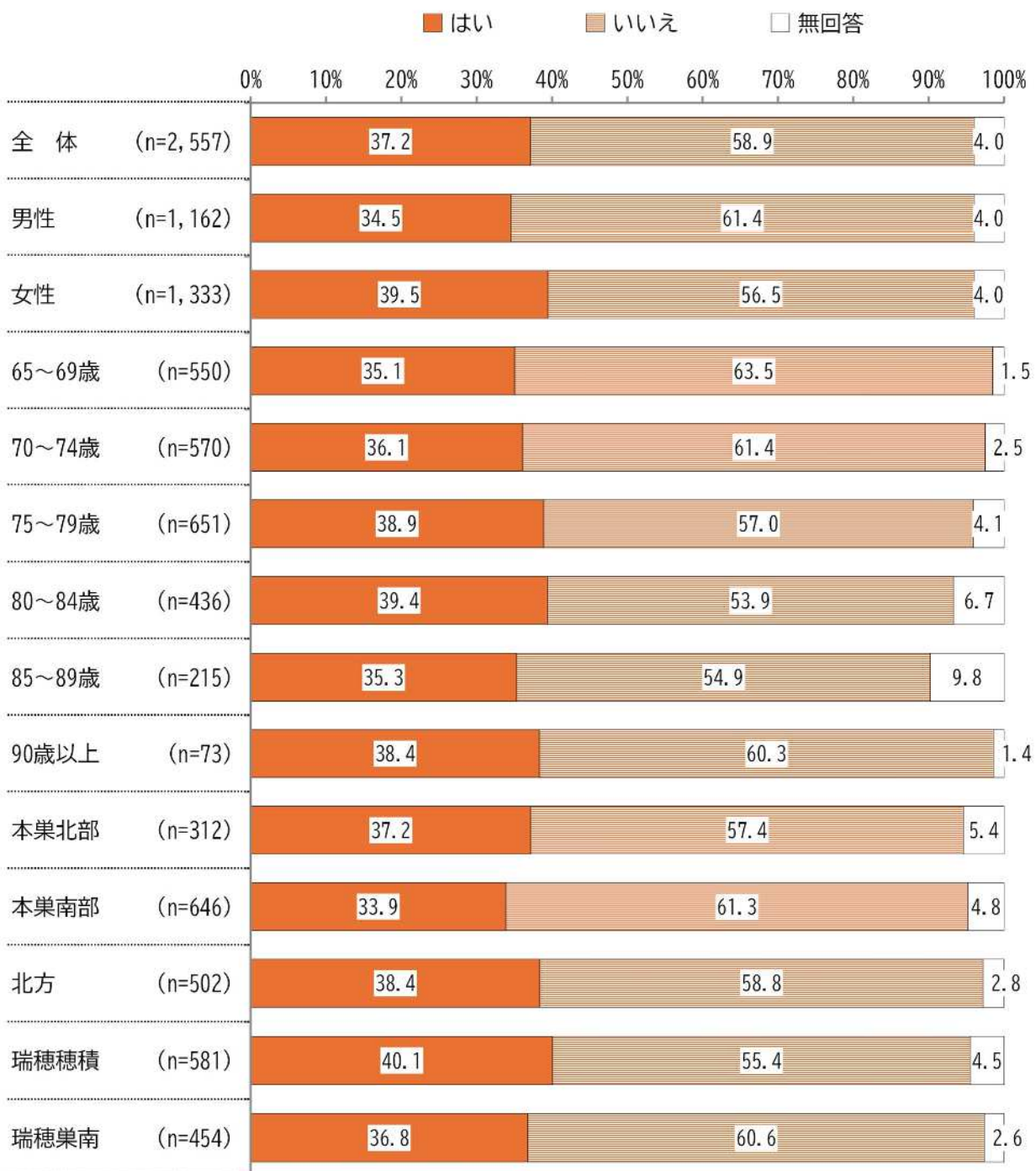
問 74 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が58.9%、「はい」が37.2%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみても、大きな差はみられません。

地区でみても、大きな差はみられません。



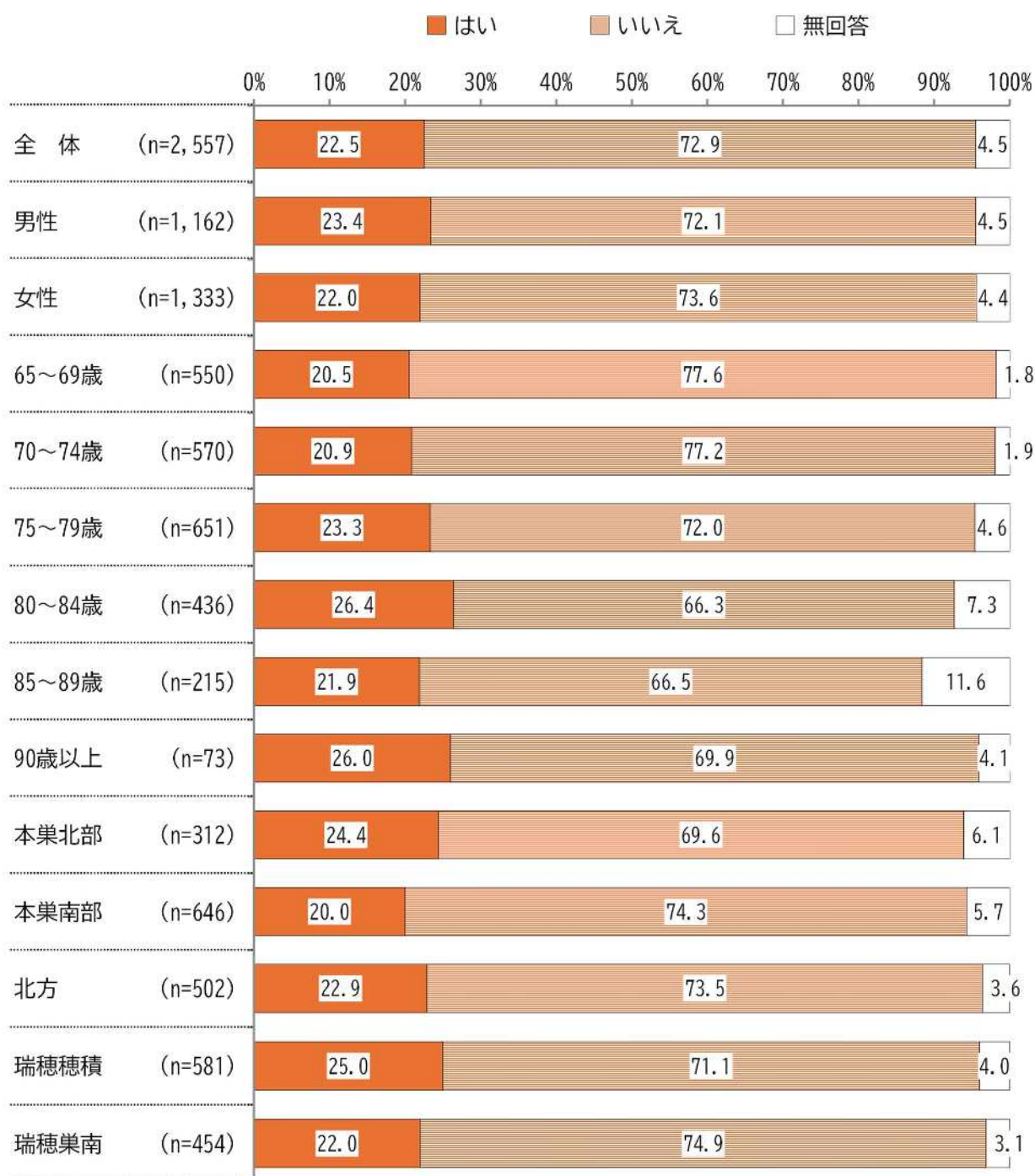
問 75 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が72.9%、「はい」が22.5%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、65～84歳では年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると瑞穂穂積で「はい」が25.0%と最も高く、本巢南部で20.0%とその差は5ポイントとなっています。

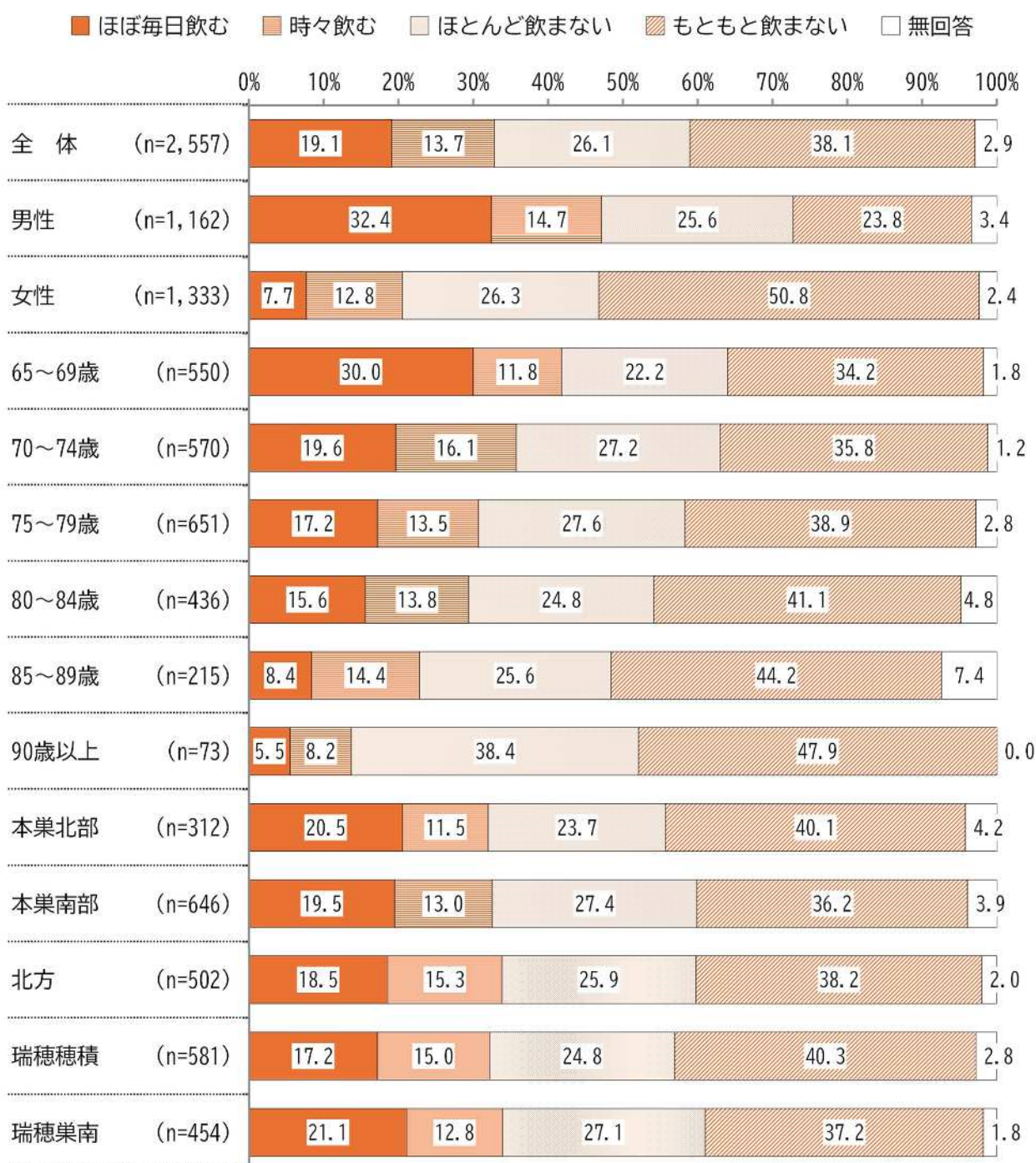


問 76 お酒を飲みますか。(○印は1つだけ)

全体では、「もともと飲まない」が38.1%、「ほとんど飲まない」が26.1%となっています。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた“お酒を飲む”は32.8%となっています。

性別でみると、男性は「ほぼ毎日飲む」が32.4%、「ほとんど飲まない」が25.6%、女性は「もともと飲まない」が50.8%、「ほとんど飲まない」が26.3%となっています。また、男性では“お酒を飲む”は47.1%、女性では20.5%と女性よりも男性の割合が26.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい“お酒を飲む”割合が低くなる傾向となっています。地区でみても、大きな差はみられません。



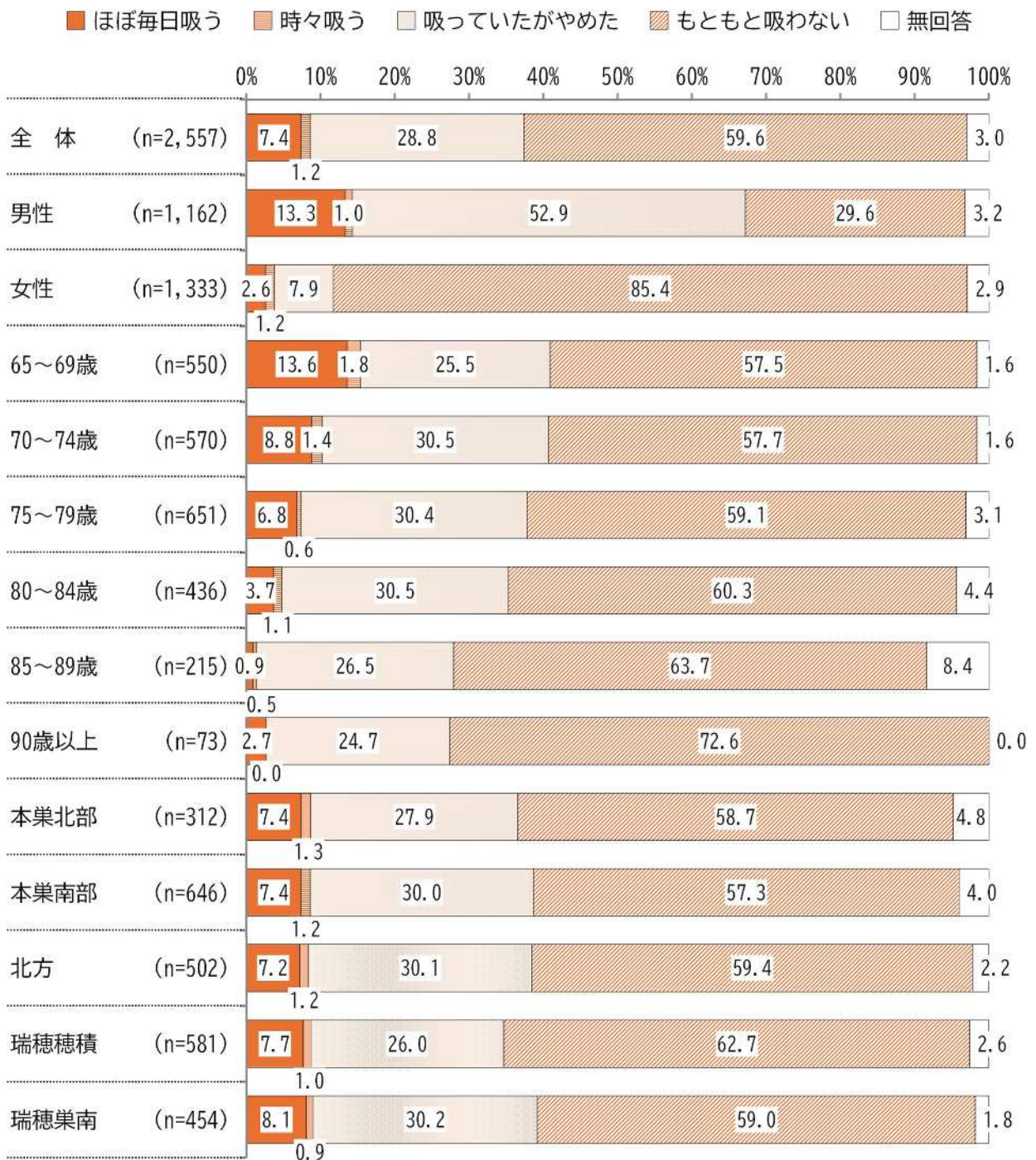
問 77 タバコを吸いますか。(○印は1つだけ)

全体では、「もともと吸わない」が59.6%、「吸っていたがやめた」が28.8%となっています。

性別でみると、男性は「吸っていたがやめた」が52.9%、「もともと吸わない」が29.6%、女性は「もともと吸わない」が85.4%、「吸っていたがやめた」が7.9%となっています。

年齢別でみると、「ほぼ毎日吸う」と「時々吸う」をあわせた“喫煙者”は65～69歳が15.4%で最も高く、次いで70～74歳が10.2%となっており、年齢が上がるにしたがい割合が低くなる傾向となっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



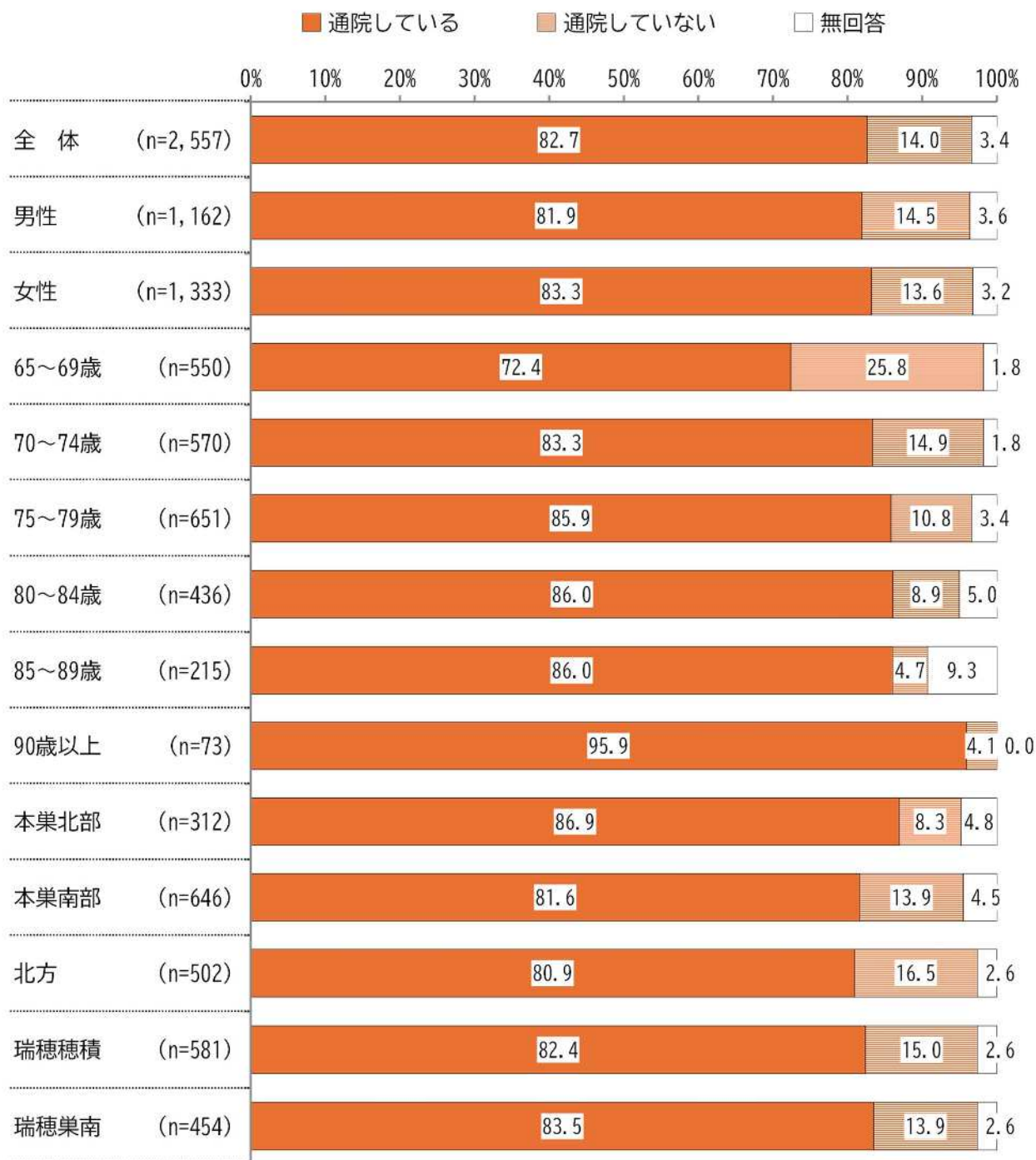
問 78 現在、定期的に病院・医院（診療所、クリニック）へ通院していますか。  
（どちらかに○印）

全体では、「通院している」が 82.7%、「通院していない」が 14.0%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「通院している」割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部では「通院していない」が1割未満と他の地区に比べて割合が低くなっています。



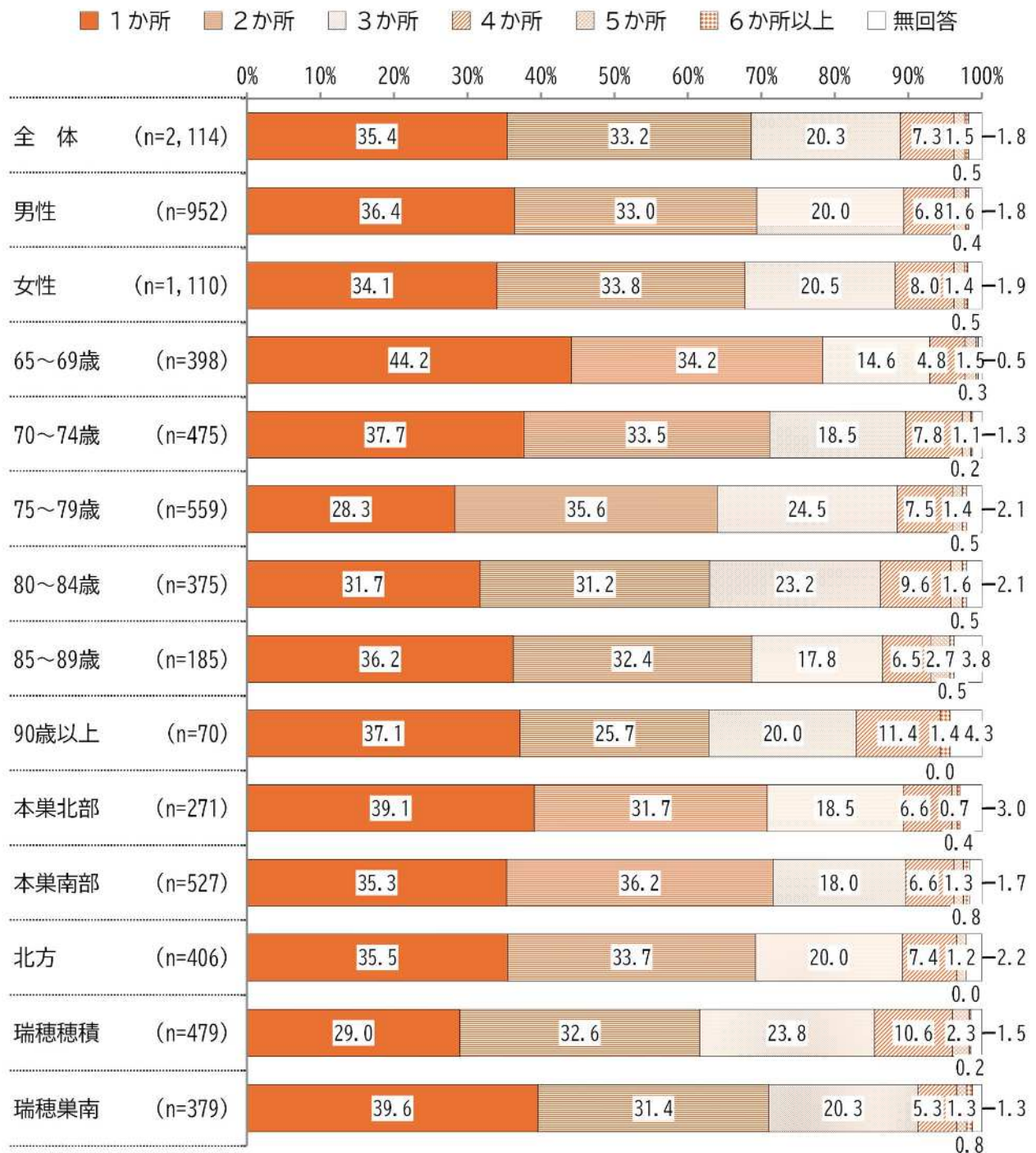
### ① 通院している件数

全体では、「1か所」が35.4%で最も高く、次いで「2か所」が33.2%、「3か所」が20.3%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、75～79歳では「2か所」が最も高く、75～79歳を除く他の年代では「1か所」が最も高くなっています。

地区でみると、瑞穂穂積を除く地区では「1か所」が3～4割となっており、瑞穂穂積では「6か所以上」が10.6%で1割以上となっています。



問 79 定期的に歯科医院で健診を受けていますか。(どちらかに○印)

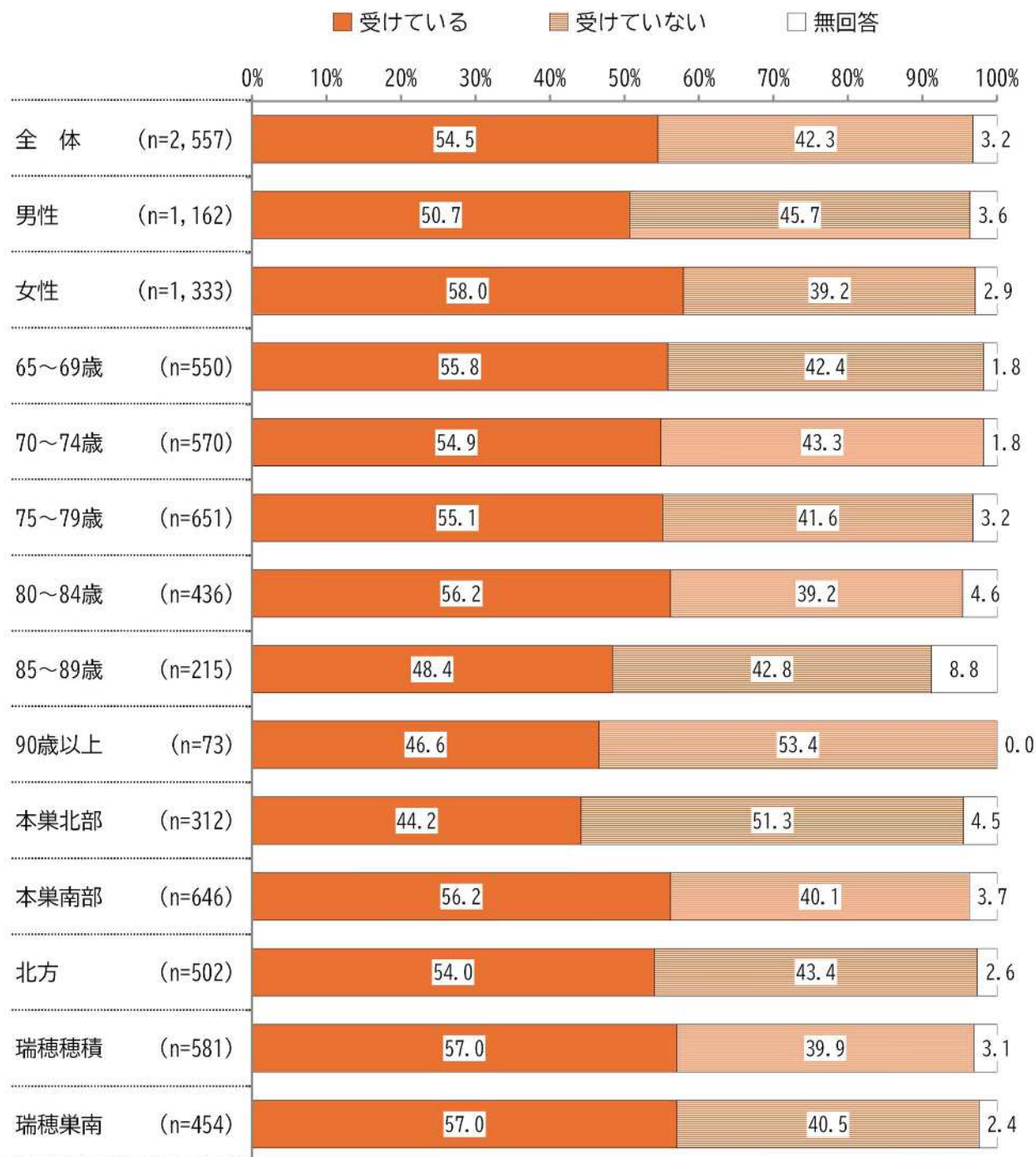
全体では、「受けている」が 54.5%、「受けていない」が 42.3%となっています。

性別でみると、男性は「受けている」が 50.7%、女性は 58.0%で男性よりも女性が 7.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、65～84 歳では大きな差はみられません。

90 歳以上では「受けていない」が 53.4%と 5 割以上と高くなっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



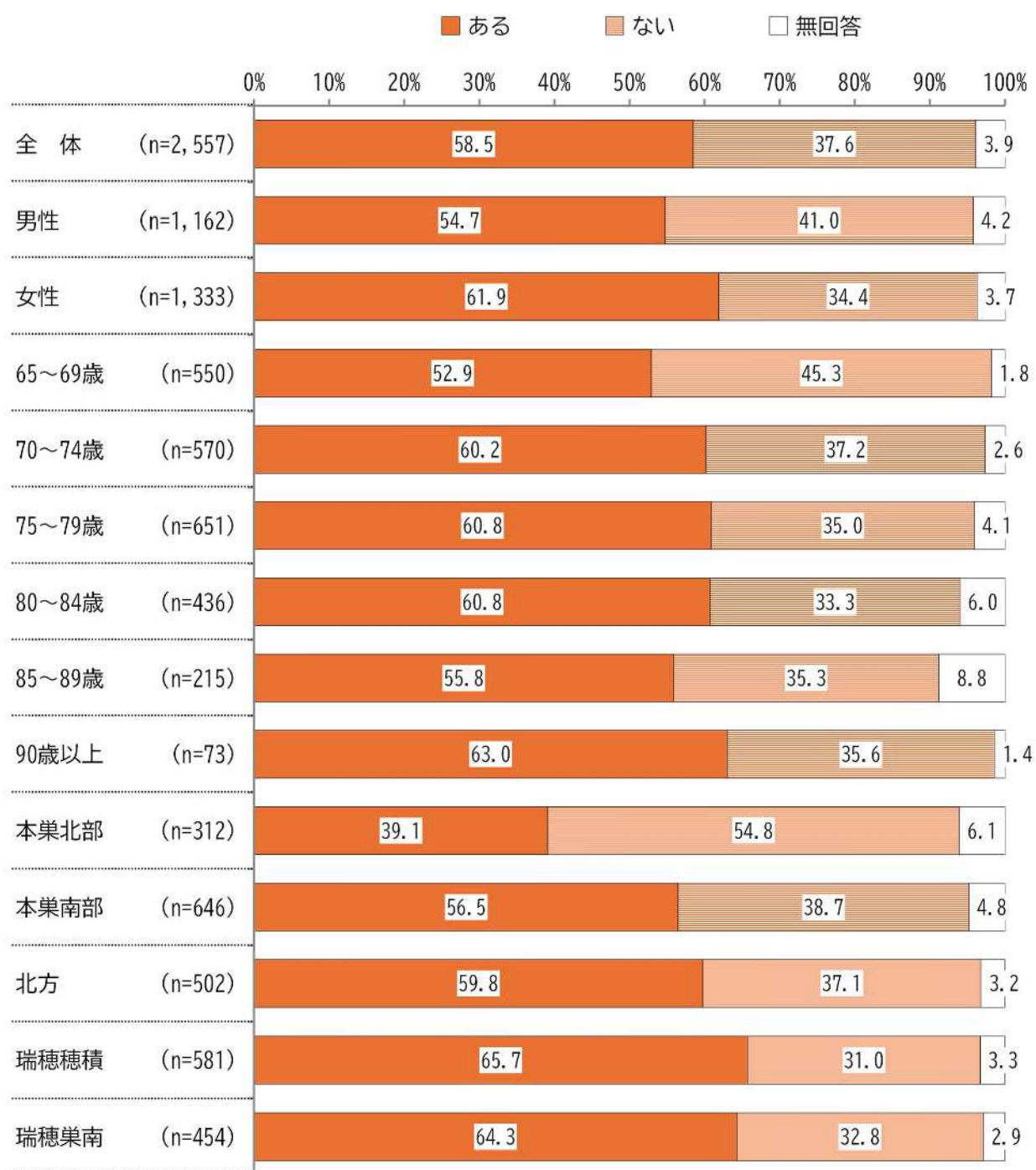
問 80 かかりつけの薬局はありますか。(どちらかに○印)

全体では、「ある」が 58.5%、「ない」が 37.6%となっています。

性別でみると、男性は「ある」が 54.7%、女性は 61.9%と男性よりも女性が 7.2 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70～74 歳、75～79 歳、80～84 歳、90 歳以上では「ある」の割合が 6 割以上となっています。

地区でみると、本巣北部では「ない」が 54.8%と、他の地区が 3 割台であるのに比べて高くなっています。



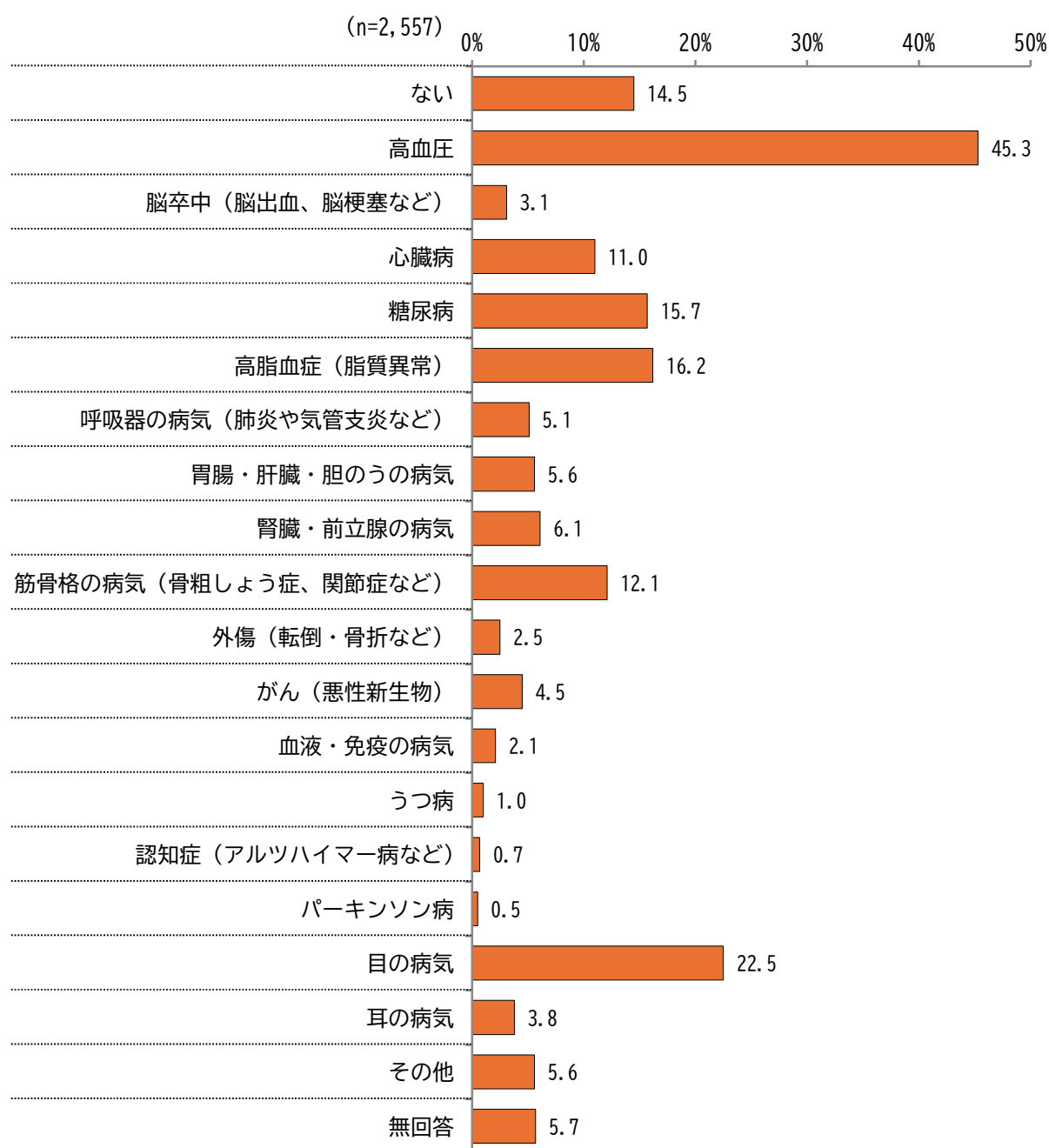
問 81 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○印はいくつでも)

全体では、「高血圧」が 45.3%で最も高く、次いで「目の病気」が 22.5%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.2%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「高血圧」が最も高く、次いで「目の病気」となっています。男性では「糖尿病」、女性では「高脂血症（脂質異常）」の割合も高くなっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「高血圧」が最も高くなっています。次いで 65～69 歳では「ない」が 24.9%、70～74 歳では「高脂血症（脂質異常）」が 20.9%、75 歳以上では「目の病気」が 2 割以上となっています。

地区でみると、地区にかかわらず「高血圧」が最も高くなっています。次いで本巣北部、本巣南部、北方、瑞穂穂積では「目の病気」、瑞穂巣南では「高脂血症（脂質異常）」が高くなっています。



	全体	ない	高血圧	脳卒中(脳梗塞など)	心臓病	糖尿病	異常高脂血症(脂質)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎など)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	症(骨粗しょう症、関節症など)	折外傷(転倒・骨折など)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病など)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)																					
全体	2,557 100.0	370 14.5	1,158 45.3	78 3.1	281 11.0	401 15.7	415 16.2	131 5.1	143 5.6	155 6.1	309 12.1	64 2.5	115 4.5	53 2.1	26 1.0	18 0.7	13 0.5	576 22.5	97 3.8	142 5.6	146 5.7
性別																					
男性	1,162 100.0	168 14.5	550 47.3	55 4.7	162 13.9	229 19.7	150 12.9	80 6.9	70 6.0	128 11.0	60 5.2	19 1.6	60 5.2	20 1.7	10 0.9	11 0.9	6 0.6	250 21.5	45 3.9	58 5.0	63 5.4
女性	1,333 100.0	195 14.6	574 43.1	22 1.7	117 8.8	164 12.3	257 19.3	50 3.8	68 5.1	23 1.7	246 18.5	44 3.3	50 3.8	31 2.3	16 1.2	7 0.5	6 0.5	318 23.9	50 3.8	80 6.0	78 5.9
年齢																					
65～69歳	550 100.0	137 24.9	189 34.4	11 2.0	28 5.1	78 14.2	103 18.7	19 3.5	30 5.5	23 4.2	47 8.5	6 1.1	22 4.0	16 2.9	12 2.2	3 0.5	3 0.5	84 15.3	12 2.2	29 5.3	22 4.0
70～74歳	570 100.0	79 13.9	249 43.7	5 0.9	55 9.6	90 15.8	119 20.9	29 5.1	37 6.5	29 5.1	59 10.4	9 1.6	35 6.1	12 2.1	6 1.1	2 0.4	2 0.4	117 20.5	12 2.1	37 6.5	33 5.8
75～79歳	651 100.0	85 13.1	312 47.9	26 4.0	92 14.1	107 16.4	103 15.8	41 6.3	28 4.3	39 6.0	89 13.7	17 2.6	29 4.5	8 1.2	5 0.8	2 0.3	3 0.5	165 25.3	29 4.5	38 5.8	33 5.1
80～84歳	436 100.0	44 10.1	221 50.7	22 5.0	50 11.5	83 19.0	56 12.8	20 4.6	27 6.2	36 8.3	61 14.0	20 4.6	14 3.2	11 2.5	3 0.7	5 1.1	3 0.7	122 28.0	24 5.5	17 3.9	26 6.0
85～89歳	215 100.0	15 7.0	111 51.6	7 3.3	36 16.7	31 14.4	21 9.8	15 7.0	13 6.0	18 8.4	36 16.7	8 3.7	7 3.3	4 1.9	0 0.0	4 1.9	2 0.9	57 26.5	11 5.1	10 4.7	23 10.7
90歳以上	73 100.0	3 4.1	42 57.5	6 8.2	18 24.7	4 5.5	5 6.8	6 8.2	3 4.1	6 8.2	14 19.2	3 4.1	3 4.1	0 0.0	0 0.0	2 2.7	0 0.0	23 31.5	7 9.6	7 9.6	4 5.5
地区																					
本巣北部	312 100.0	34 10.9	145 46.5	8 2.6	34 10.9	55 17.6	33 10.6	19 6.1	12 3.8	16 5.1	33 10.6	6 1.9	14 4.5	10 3.2	4 1.3	2 0.6	2 0.6	76 24.4	13 4.2	21 6.7	23 7.4
本巣南部	646 100.0	103 15.9	295 45.7	20 3.1	65 10.1	89 13.8	103 15.9	35 5.4	41 6.3	33 5.1	66 10.2	16 2.5	27 4.2	13 2.0	7 1.1	5 0.8	5 0.8	158 24.5	23 3.6	30 4.6	33 5.1
北方	502 100.0	83 16.5	209 41.6	14 2.8	64 12.7	72 14.3	68 13.5	26 5.2	31 6.2	32 6.4	59 11.8	9 1.8	27 5.4	10 2.0	5 1.0	1 0.2	1 0.2	111 22.1	20 4.0	37 7.4	27 5.4
瑞穂穂積	581 100.0	77 13.3	262 45.1	23 4.0	65 11.2	92 15.8	112 19.3	27 4.6	34 5.9	48 8.3	89 15.3	21 3.6	25 4.3	8 1.4	6 1.0	7 1.2	4 0.7	150 25.8	29 5.0	24 4.1	33 5.7
瑞穂巣南	454 100.0	66 14.5	213 46.9	12 2.6	51 11.2	85 18.7	91 20.0	23 5.1	20 4.4	22 4.8	59 13.0	11 2.4	17 3.7	10 2.2	4 0.9	3 0.7	1 0.2	73 16.1	10 2.2	26 5.7	25 5.5

## 10 地域包括支援センターについて

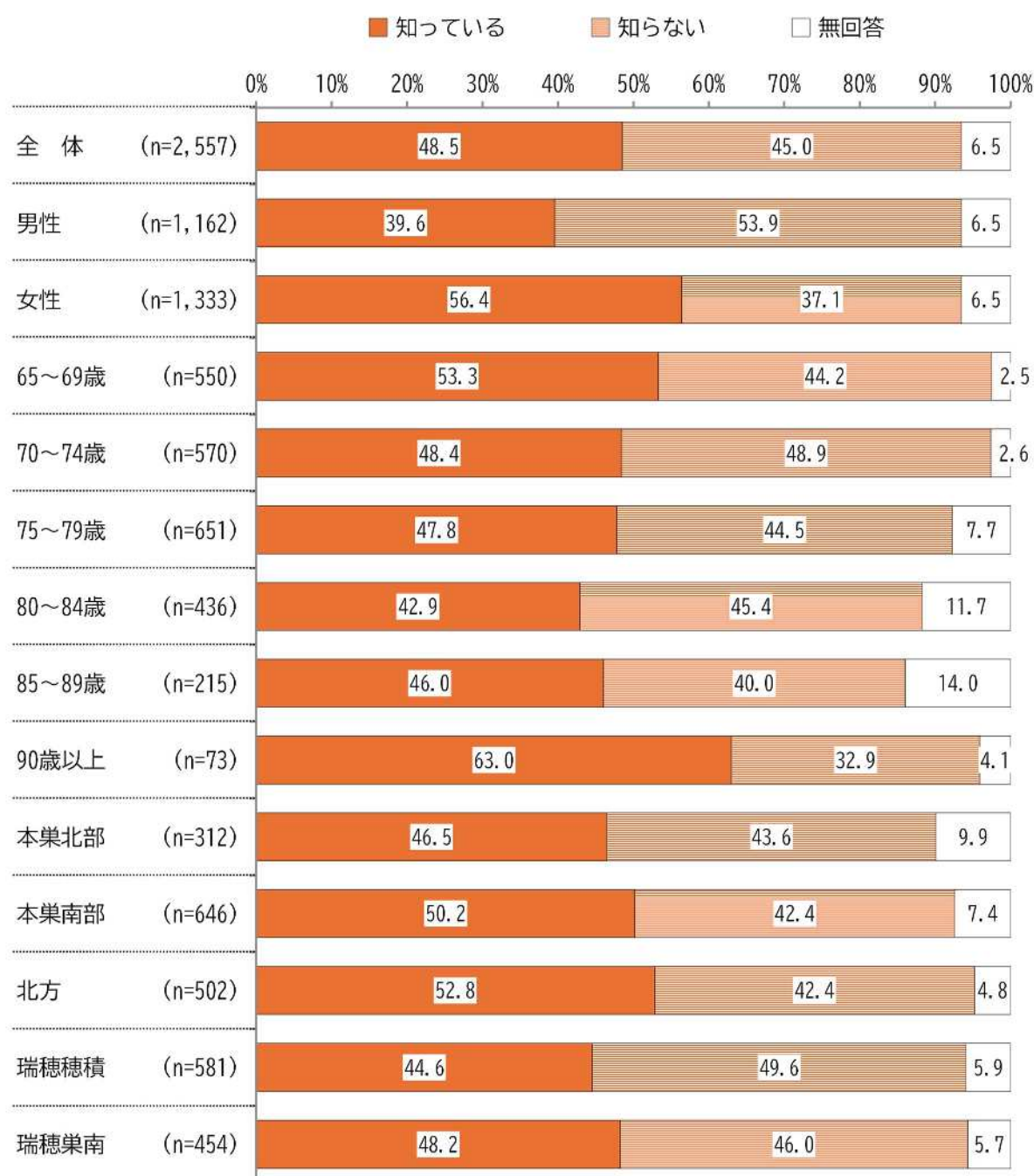
### 問 82 地域包括支援センターをご存じですか。(どちらかに○印)

全体では、「知っている」が48.5%、「知らない」が45.0%となっています。

性別でみると、男性は「知らない」が53.9%、「知っている」が39.6%、女性は「知っている」が56.4%、「知らない」が37.1%となっており、男性よりも女性の「知っている」割合が16.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、65～89歳では年齢が上がるにしたがい「知っている」割合が減少傾向となっています。90歳以上では「知っている」が63.0%と高くなっています。

地区でみても、大きな差はみられません。



【問 83 は、問 82 で「1.知っている」を選択した方のみお答えください】

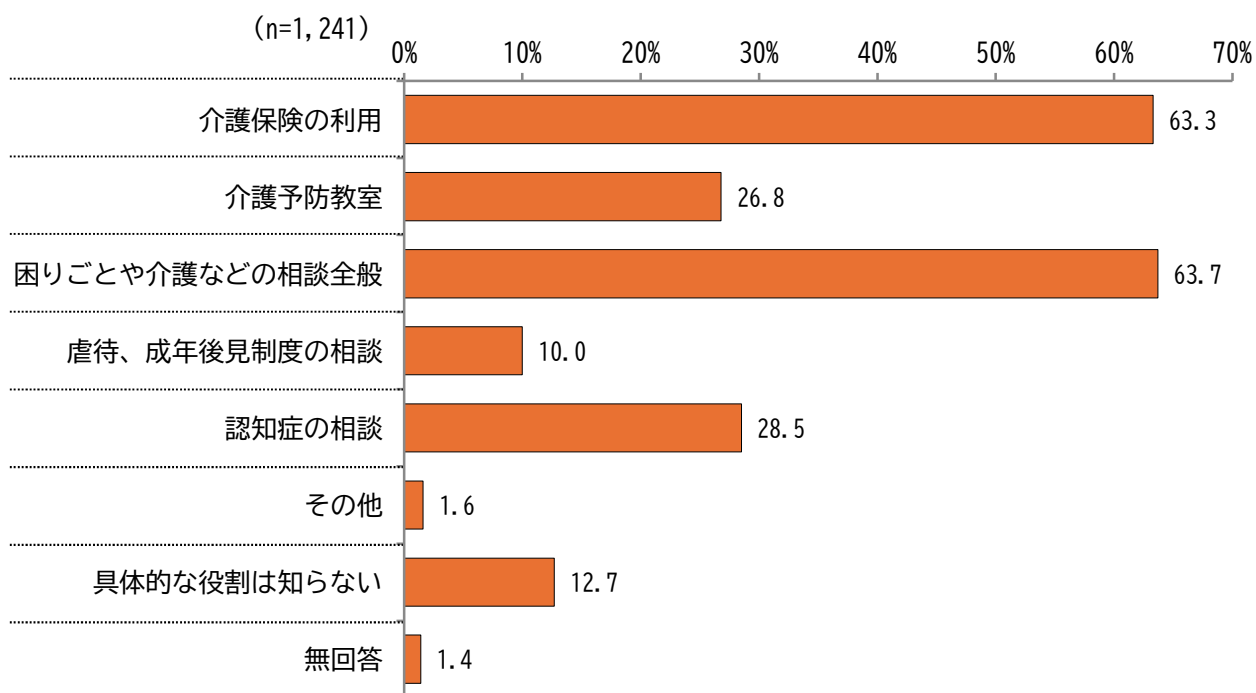
問 83 あなたが知っている地域包括支援センターの役割はどれですか。  
(○印はいくつでも)

全体では、「困りごとや介護などの相談全般」が 63.7%で最も高く、次いで「介護保険の利用」が 63.3%となっています。

性別でみると、男性は「介護保険の利用」が 60.9%で最も高く、次いで「困りごとや介護などの相談全般」が 60.0%、女性は「困りごとや介護などの相談全般」が 66.4%で最も高く、次いで「介護保険の利用」が 65.6%となっています。

年齢別でみると、65～79 歳、85～89 歳では「介護保険の利用」「困りごとや介護などの相談全般」が6割以上と高くなっています。

地区でみると、地区にかかわらず「介護保険の利用」が6割以上と高く、次いで本巣北部を除く地区で「困りごとや介護などの相談全般」が6割以上となっています。



		全体	介護保険の利用	介護予防教室	困りごとや介護などの相談全般	虐待、成年後見制度の相談	認知症の相談	その他	具体的な役割は知らない	無回答
上段:実数 下段:(%)										
全体		1,241	786	332	791	124	354	20	157	17
		100.0	63.3	26.8	63.7	10.0	28.5	1.6	12.7	1.4
性別	男性	460	280	117	276	42	122	8	61	5
		100.0	60.9	25.4	60.0	9.1	26.5	1.7	13.3	1.1
	女性	752	493	207	499	81	227	11	88	12
		100.0	65.6	27.5	66.4	10.8	30.2	1.5	11.7	1.6
年齢	65～69歳	293	203	77	203	40	104	5	33	3
		100.0	69.3	26.3	69.3	13.7	35.5	1.7	11.3	1.0
	70～74歳	276	187	68	185	37	80	3	33	2
		100.0	67.8	24.6	67.0	13.4	29.0	1.1	12.0	0.7
	75～79歳	311	193	98	204	30	98	3	38	5
		100.0	62.1	31.5	65.6	9.6	31.5	1.0	12.2	1.6
	80～84歳	187	98	52	107	9	38	6	31	2
		100.0	52.4	27.8	57.2	4.8	20.3	3.2	16.6	1.1
	85～89歳	99	65	24	55	7	20	2	8	2
		100.0	65.7	24.2	55.6	7.1	20.2	2.0	8.1	2.0
	90歳以上	46	27	5	21	0	9	0	6	3
		100.0	58.7	10.9	45.7	0.0	19.6	0.0	13.0	6.5
地区	本巢北部	145	91	45	86	15	32	4	18	4
		100.0	62.8	31.0	59.3	10.3	22.1	2.8	12.4	2.8
	本巢南部	324	197	93	214	22	92	3	44	4
		100.0	60.8	28.7	66.0	6.8	28.4	0.9	13.6	1.2
	北方	265	171	75	170	30	85	5	31	3
		100.0	64.5	28.3	64.2	11.3	32.1	1.9	11.7	1.1
	瑞穂穂積	259	176	54	162	29	72	3	34	1
		100.0	68.0	20.8	62.5	11.2	27.8	1.2	13.1	0.4
	瑞穂巢南	219	138	57	143	27	68	4	22	5
		100.0	63.0	26.0	65.3	12.3	31.1	1.8	10.0	2.3

## 11 認知症について

問 84 認知症についてどのようなイメージを持っていますか。(○印は1つだけ)

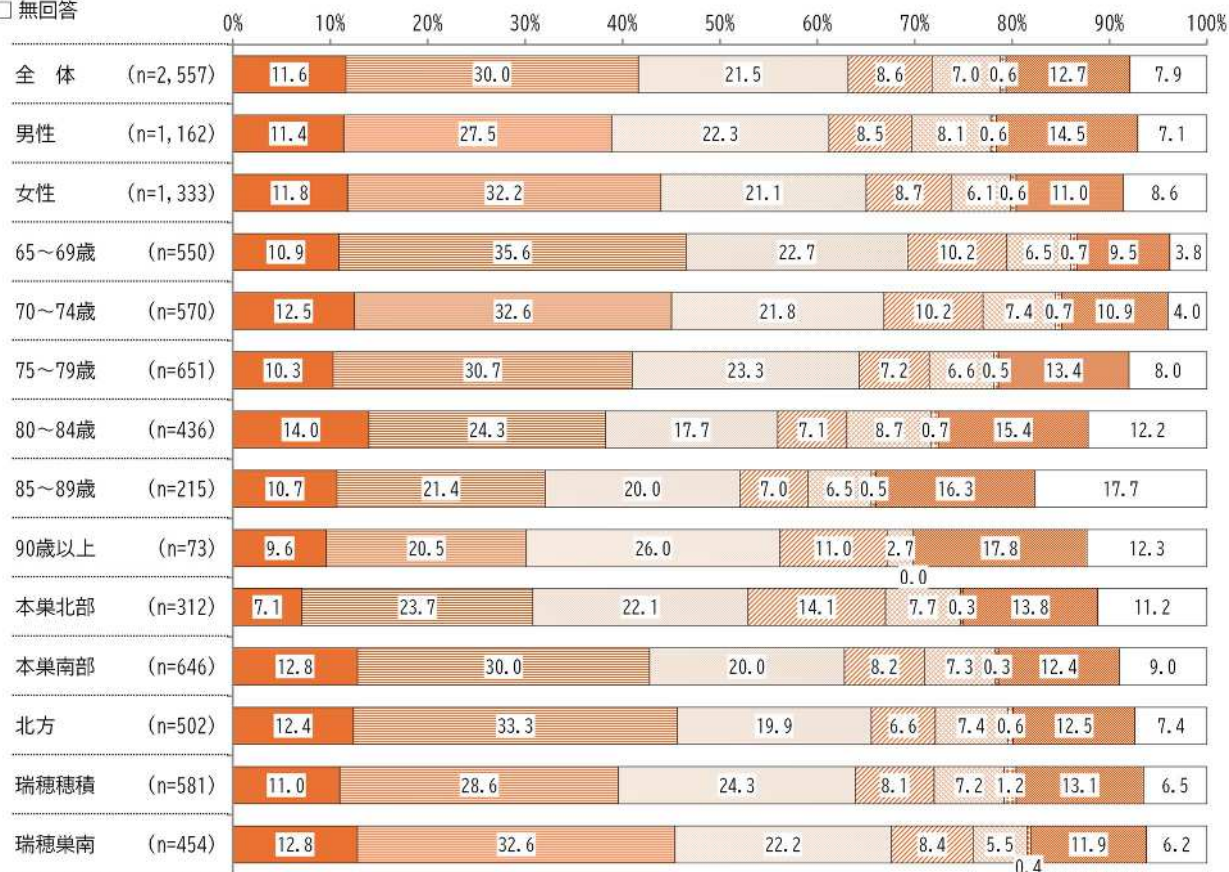
全体では、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が30.0%で最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」が21.5%、「わからない」が12.7%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともには「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」となっており、男性では「わからない」、女性では「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、自立的に生活していくことは十分に可能である」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」、「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」の割合が高くなっており、65～74歳では「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、自立的に生活していくことは十分に可能である」、75歳以上では「わからない」の割合が高くなっています。

地区で見ると、他の地区に比べて本巣北部では「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」が1割以上で高くなっています。

- 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、自立的に生活していくことは十分に可能である
- 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- 認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けるが必要になる
- ▨ 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- ▨ 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



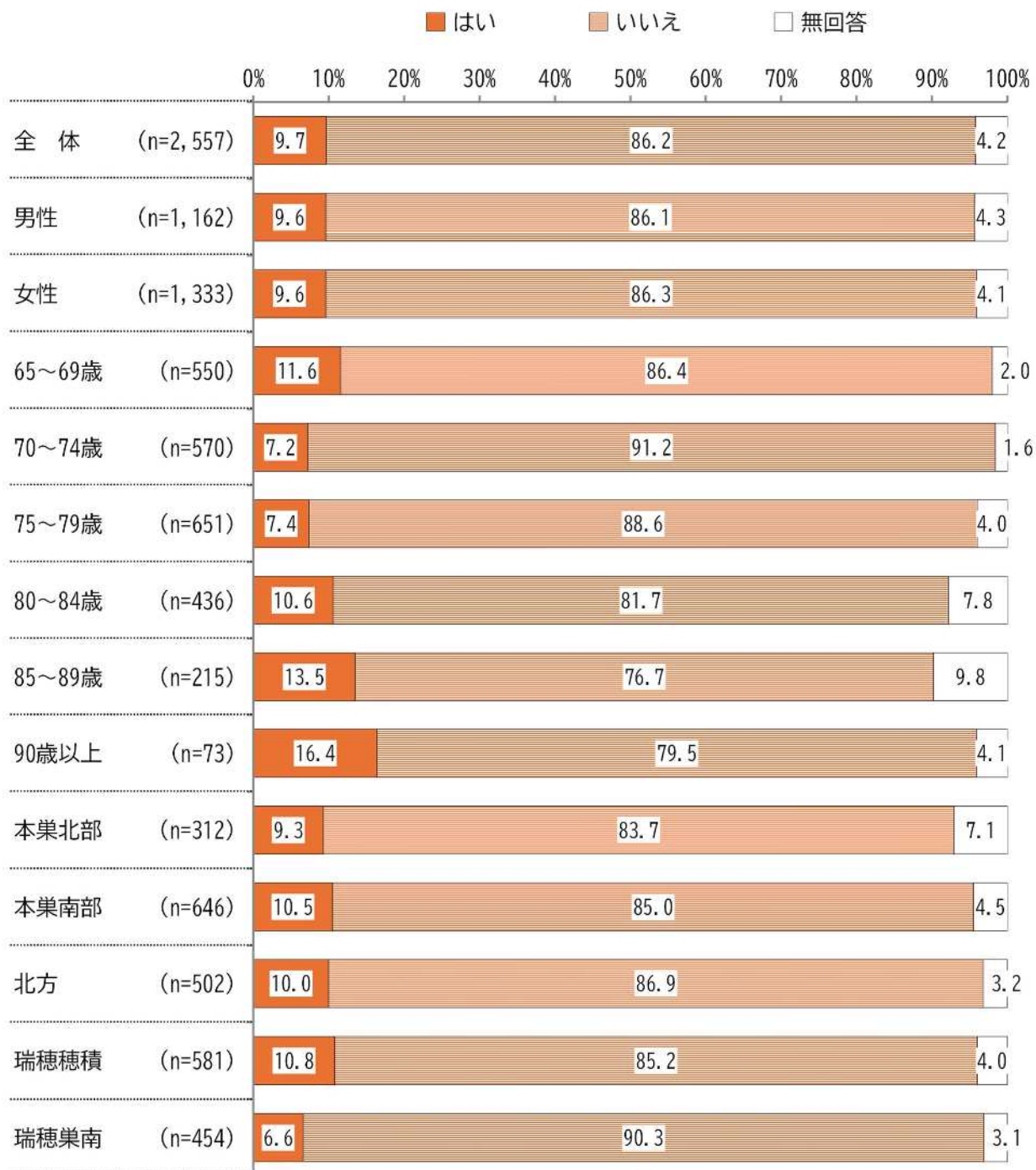
問 85 ご自身を含めて家族に認知症の症状のある人はいますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 86.2%、「はい」が 9.7%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、65～69歳で「はい」が 11.6%、70歳以上では年齢が上がるにしたがい「はい」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、瑞穂巣南では「いいえ」が 90.3%と高くなっています。



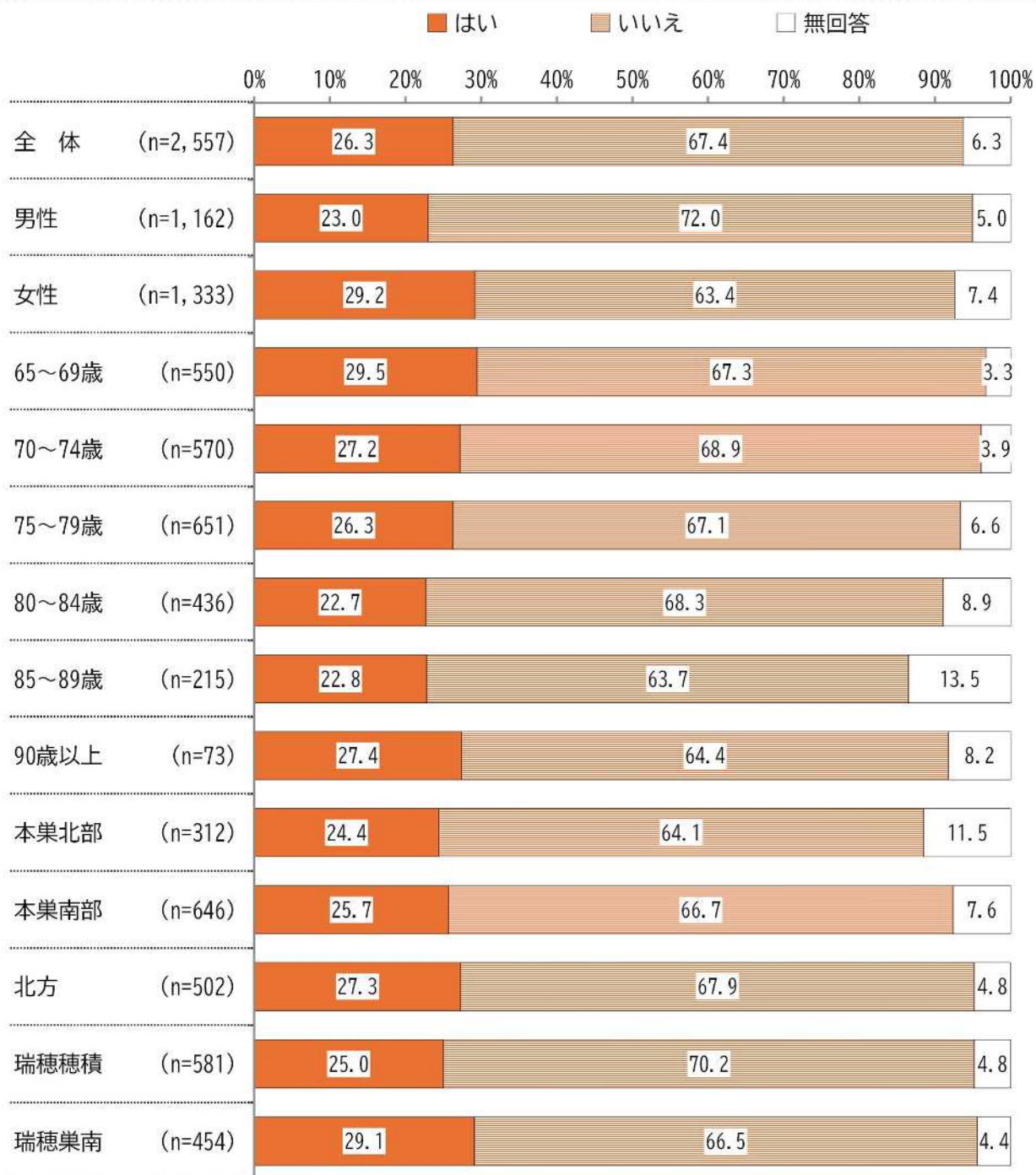
問 86 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 67.4%、「はい」が 26.3%となっています。

性別でみると、男性は「はい」が 23.0%、女性「はい」が 29.2%と男性よりも女性が 6.2 ポイント高くなっています。

年齢別でも、大きな差はみられません。

地区でも、大きな差はみられません。



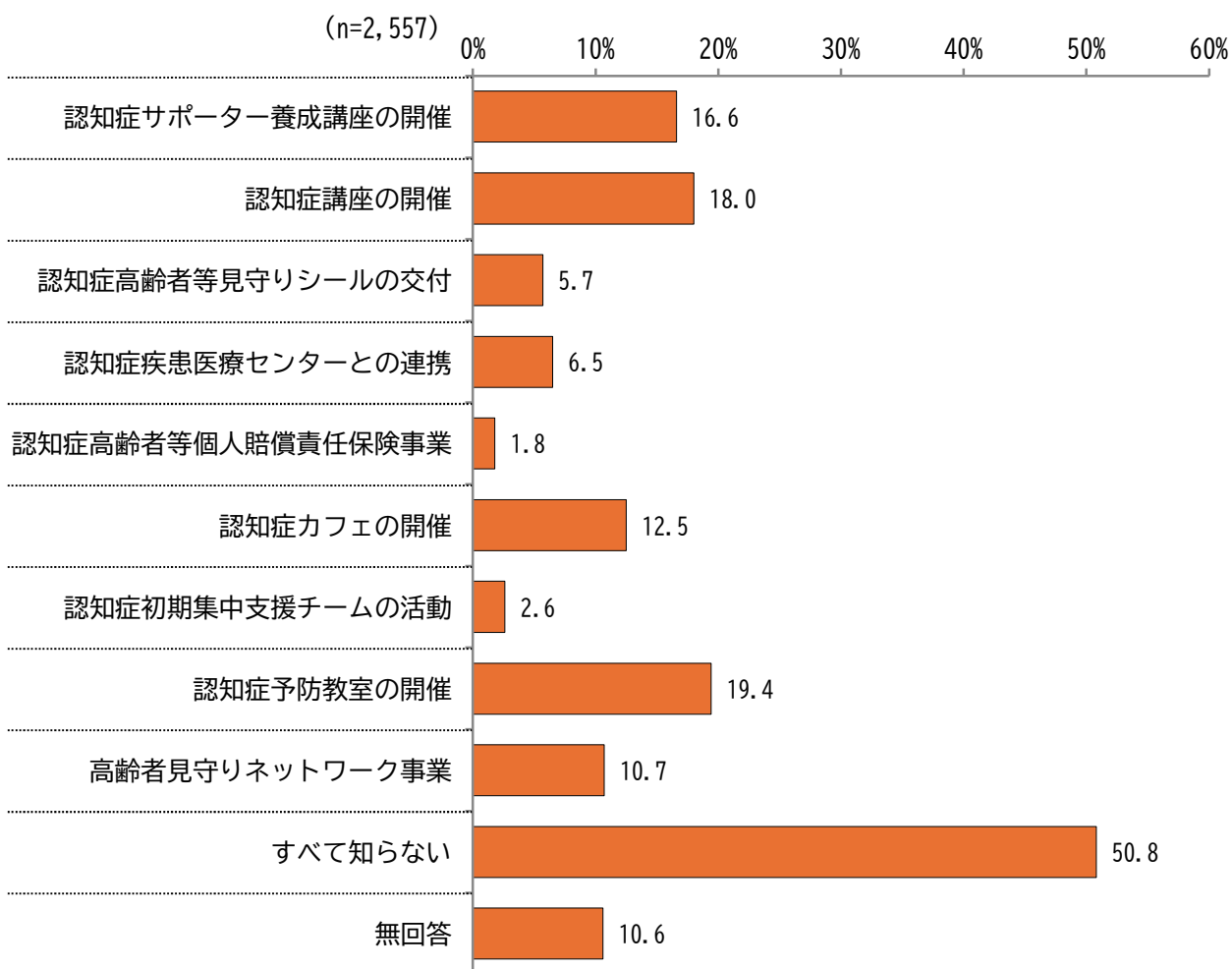
問 87 あなたが知っている行政の取り組み（未実施のものを含む）はどれですか。（○印は  
いくつでも）

全体では、「すべて知らない」が 50.8%で最も高く、次いで「認知症予防教室の開催」が 19.4%、「認知症講座の開催」が 18.0%となっています。

性別でみると、男性は「すべて知らない」が 59.1%で最も高く、次いで「認知症講座の開催」が 16.4%、「認知症サポーター養成講座の開催」が 13.8%、女性は「すべて知らない」が 43.9%で最も高く、次いで「認知症予防教室の開催」が 25.1%、「認知症講座の開催」が 19.4%となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「すべて知らない」が最も高くなっています。次いで「認知症予防教室の開催」「認知症講座の開催」「認知症サポーター養成講座の開催」などが高くなっています。

地区でみると、地区にかかわらず「すべて知らない」が最も高くなっています。次いで「認知症予防教室の開催」「認知症講座の開催」「認知症サポーター養成講座の開催」などが高くなっており、北方では「認知症カフェの開催」が他の地区に比べ2割以上と高くなっています。



		全体	認知症サポーター養成講座の開催	認知症講座の開催	認知症高齢者の見守りシールの交付	認知症疾患医療センターとの連携	認知症高齢者等個人賠償責任保険事業	認知症カフェの開催	認知症初期集中支援チームの活動	認知症予防教室の開催	高齢者見守りネットワーク事業	すべて知らない	無回答
上段:実数 下段:(%)													
全体		2,557 100.0	425 16.6	461 18.0	145 5.7	166 6.5	47 1.8	320 12.5	66 2.6	495 19.4	273 10.7	1,300 50.8	272 10.6
性別	男性	1,162 100.0	160 13.8	191 16.4	56 4.8	63 5.4	23 2.0	96 8.3	28 2.4	145 12.5	124 10.7	687 59.1	107 9.2
	女性	1,333 100.0	253 19.0	259 19.4	87 6.5	100 7.5	23 1.7	219 16.4	36 2.7	335 25.1	144 10.8	585 43.9	156 11.7
年齢	65～69歳	550 100.0	114 20.7	103 18.7	31 5.6	39 7.1	7 1.3	74 13.5	14 2.5	112 20.4	53 9.6	298 54.2	23 4.2
	70～74歳	570 100.0	115 20.2	115 20.2	35 6.1	31 5.4	16 2.8	87 15.3	11 1.9	117 20.5	77 13.5	303 53.2	28 4.9
	75～79歳	651 100.0	104 16.0	130 20.0	38 5.8	45 6.9	12 1.8	81 12.4	21 3.2	139 21.4	70 10.8	318 48.8	81 12.4
	80～84歳	436 100.0	56 12.8	69 15.8	24 5.5	34 7.8	7 1.6	47 10.8	12 2.8	68 15.6	42 9.6	205 47.0	73 16.7
	85～89歳	215 100.0	17 7.9	26 12.1	12 5.6	14 6.5	4 1.9	22 10.2	6 2.8	35 16.3	20 9.3	104 48.4	50 23.3
	90歳以上	73 100.0	7 9.6	7 9.6	3 4.1	0 0.0	0 0.0	4 5.5	0 0.0	9 12.3	6 8.2	44 60.3	8 11.0
地区	本巣北部	312 100.0	35 11.2	36 11.5	12 3.8	14 4.5	2 0.6	30 9.6	5 1.6	53 17.0	30 9.6	160 51.3	52 16.7
	本巣南部	646 100.0	108 16.7	94 14.6	41 6.3	43 6.7	12 1.9	43 6.7	20 3.1	131 20.3	52 8.0	337 52.2	75 11.6
	北方	502 100.0	68 13.5	107 21.3	33 6.6	44 8.8	10 2.0	125 24.9	14 2.8	103 20.5	60 12.0	235 46.8	50 10.0
	瑞穂穂積	581 100.0	103 17.7	119 20.5	30 5.2	30 5.2	13 2.2	69 11.9	13 2.2	105 18.1	70 12.0	316 54.4	41 7.1
	瑞穂巣南	454 100.0	99 21.8	94 20.7	27 5.9	32 7.0	9 2.0	48 10.6	12 2.6	88 19.4	56 12.3	224 49.3	45 9.9

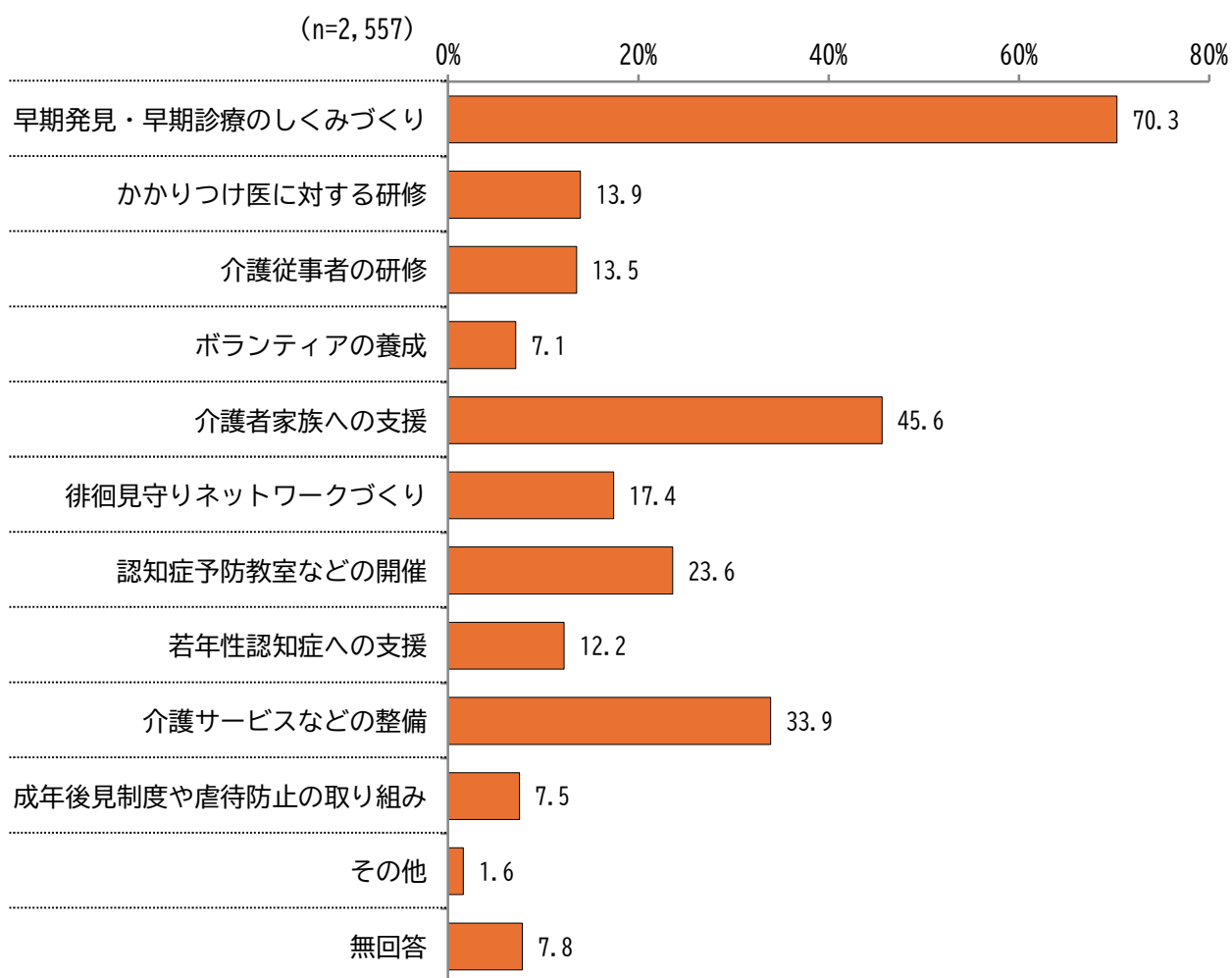
問 88 今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことを最も重点に置く必要があると思いますか。(〇印はいくつでも)

全体では、「早期発見・早期診療のしくみづくり」が70.3%で最も高く、次いで「介護者家族への支援」が45.6%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「早期発見・早期診療のしくみづくり」、「介護者家族への支援」「介護サービスなどの整備」が上位3項目となっています。

地区でも、大きな差はみられません。



		全体	療早期のし の発見く み・早期 診	すかり つけ医に 対	介 護 従 事 者 の 研 修	成 ボ ラ ン テ ィ ア の 養	援 介 護 者 家 族 へ の 支	ワ 排 徊 見 守 り ネ ッ ト	ど 認 知 症 予 防 教 室 な	支 若 年 性 認 知 症 へ の	の 介 護 サ ー ビ ス な ど	待 成 年 後 の 見 制 度 や 度	そ の 他	無 回 答
上段:実数 下段:(%)														
全	体	2,557 100.0	1,798 70.3	355 13.9	346 13.5	181 7.1	1,167 45.6	444 17.4	603 23.6	312 12.2	866 33.9	192 7.5	40 1.6	200 7.8
性 別	男性	1,162 100.0	822 70.7	168 14.5	141 12.1	81 7.0	498 42.9	174 15.0	237 20.4	116 10.0	380 32.7	74 6.4	27 2.3	76 6.5
	女性	1,333 100.0	930 69.8	179 13.4	200 15.0	99 7.4	636 47.7	255 19.1	351 26.3	189 14.2	464 34.8	111 8.3	13 1.0	120 9.0
年 齢	65～69歳	550 100.0	403 73.3	64 11.6	93 16.9	47 8.5	296 53.8	123 22.4	118 21.5	94 17.1	238 43.3	49 8.9	7 1.3	16 2.9
	70～74歳	570 100.0	420 73.7	72 12.6	77 13.5	47 8.2	267 46.8	99 17.4	142 24.9	65 11.4	212 37.2	46 8.1	10 1.8	28 4.9
	75～79歳	651 100.0	453 69.6	99 15.2	106 16.3	54 8.3	303 46.5	114 17.5	162 24.9	80 12.3	207 31.8	49 7.5	8 1.2	53 8.1
	80～84歳	436 100.0	307 70.4	72 16.5	37 8.5	19 4.4	177 40.6	64 14.7	111 25.5	44 10.1	114 26.1	32 7.3	8 1.8	44 10.1
	85～89歳	215 100.0	123 57.2	33 15.3	23 10.7	8 3.7	70 32.6	23 10.7	45 20.9	15 7.0	57 26.5	7 3.3	3 1.4	45 20.9
	90歳以上	73 100.0	46 63.0	7 9.6	5 6.8	5 6.8	21 28.8	6 8.2	10 13.7	7 9.6	16 21.9	2 2.7	4 5.5	10 13.7
地 区	本巢北部	312 100.0	207 66.3	31 9.9	39 12.5	12 3.8	114 36.5	47 15.1	51 16.3	43 13.8	100 32.1	16 5.1	5 1.6	41 13.1
	本巢南部	646 100.0	467 72.3	104 16.1	91 14.1	52 8.0	306 47.4	115 17.8	146 22.6	86 13.3	224 34.7	40 6.2	10 1.5	43 6.7
	北方	502 100.0	342 68.1	63 12.5	69 13.7	42 8.4	252 50.2	79 15.7	131 26.1	61 12.2	184 36.7	43 8.6	9 1.8	27 5.4
	瑞穂穂積	581 100.0	409 70.4	79 13.6	76 13.1	42 7.2	246 42.3	99 17.0	149 25.6	60 10.3	199 34.3	47 8.1	9 1.5	47 8.1
	瑞穂巢南	454 100.0	327 72.0	70 15.4	66 14.5	32 7.0	216 47.6	89 19.6	111 24.4	55 12.1	137 30.2	39 8.6	7 1.5	38 8.4

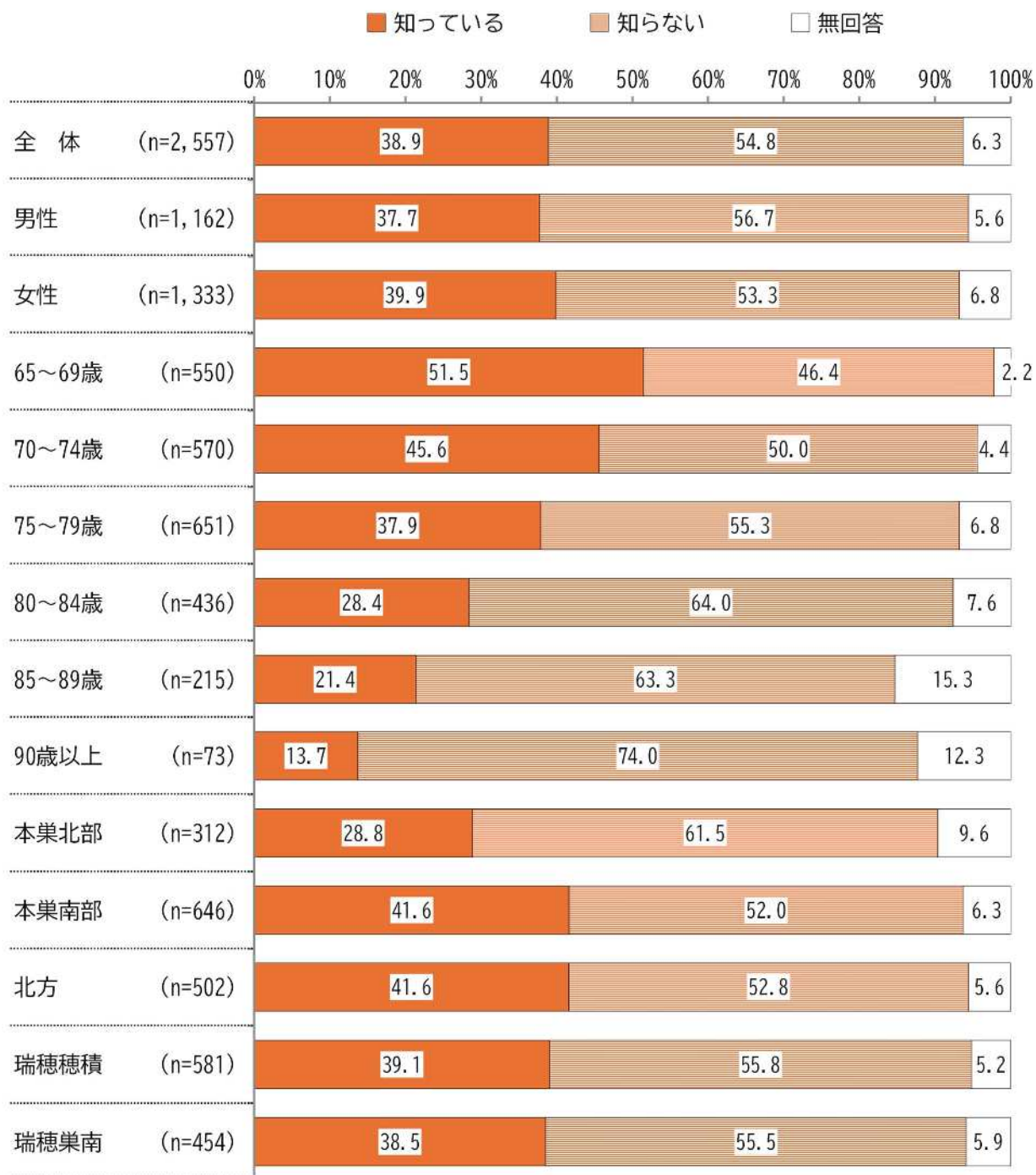
問 89 成年後見制度をご存じですか。(どちらかに○印)

全体では、「知らない」が54.8%、「知っている」が38.9%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「知っている」の割合が低くなる傾向となっており、65～69歳では5割以上が90歳以上では1割台となっています。

地区でみると、本巣北部を除く地区では「知っている」が4割前後となっており、本巣北部では3割未満となっています。



【問 90 は、問 89 で「1.知っている」を選択した方のみお答えください】

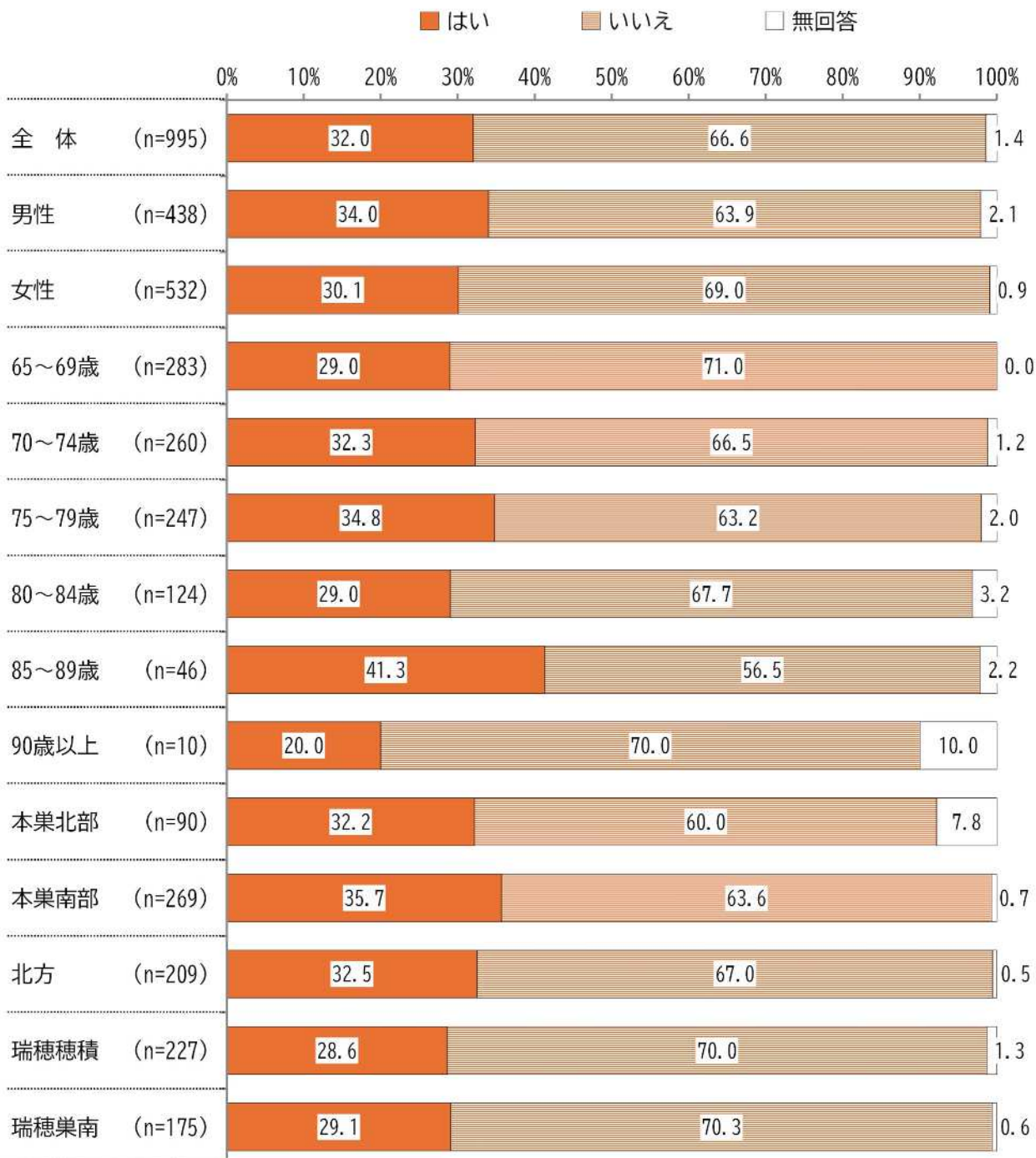
問 90 成年後見制度に関する相談窓口がどこにあるか知っていますか。(どちらかに○印)

全体では、「いいえ」が 66.6%、「はい」が 32.0%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると、85～89 歳では「はい」が 41.3%と高くなっています。

地区でも、大きな差はみられません。



## 12 介護保険について

問 91 あなたは、介護が必要になったら、どのように生活したいですか（現在、介護が必要な方は今後どのように生活したいかをお答えください）。（○印は1つだけ）

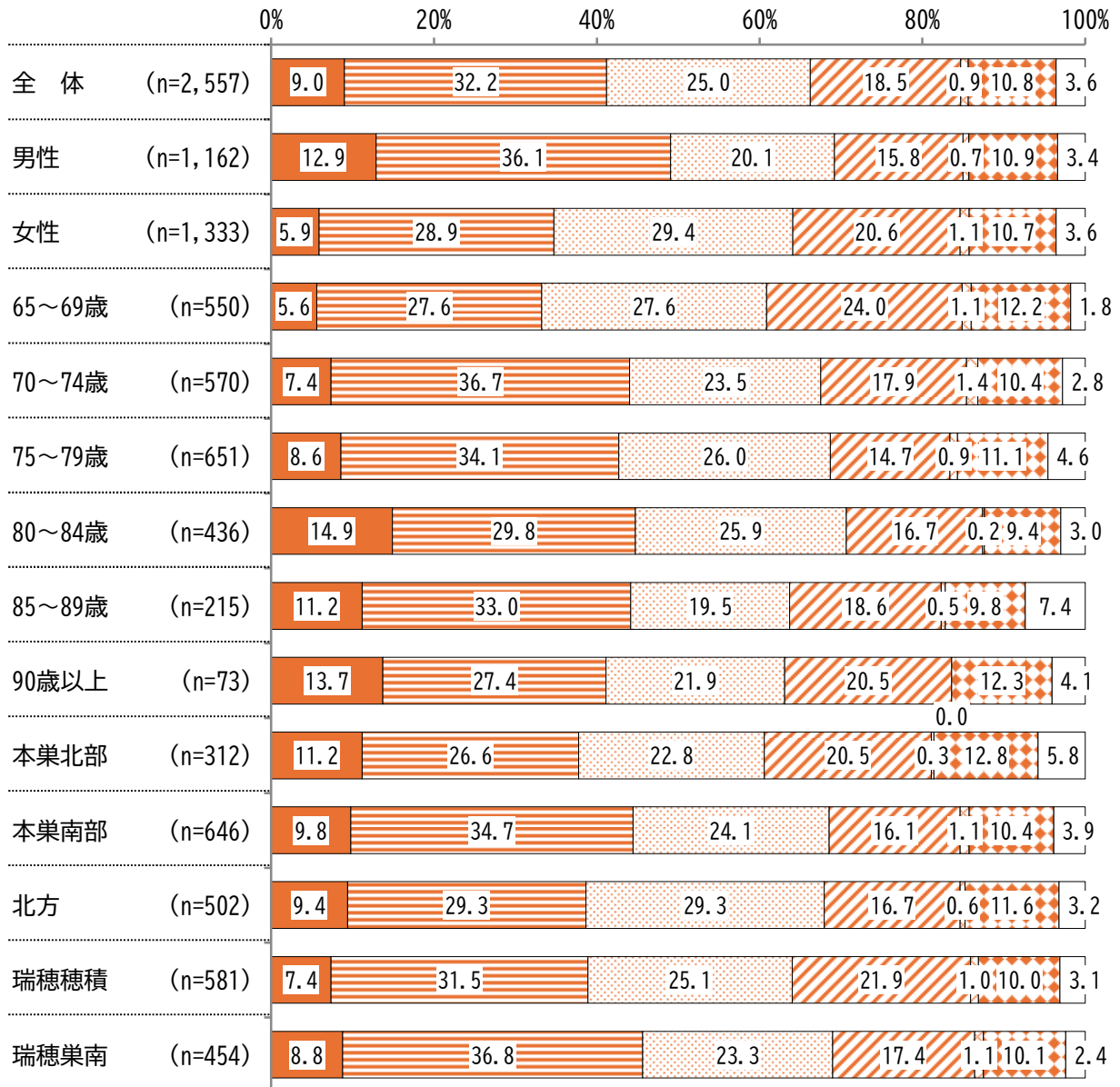
全体では、「家族の介護と介護保険などのサービスを利用しながら自宅で生活したい」が 32.2%で最も高く、次いで「介護保険などのサービスを利用して自宅で生活したい」が 25.0%、「介護施設や病院に入りたい」が 18.5%となっています。

性別でみると、男性は「家族の介護と介護保険などのサービスを利用しながら自宅で生活したい」が 36.1%で最も高く、次いで「介護保険などのサービスを利用して自宅で生活したい」が 20.1%、女性は「介護保険などのサービスを利用して自宅で生活したい」が 29.4%で最も高く、次いで「家族の介護と介護保険などのサービスを利用しながら自宅で生活したい」が 28.9%となっています。また、「家族中心に介護され、自宅で生活したい」「家族の介護と介護保険などのサービスを利用しながら自宅で生活したい」の“家族に介護されたい”割合をみると、男性は 49.0%、女性は 34.8%と女性よりも男性が 14.2 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、65～69 歳では「介護施設や病院に入りたい」が 24.0%と他の年代に比べて高くなっています。

地区でみると、本巣南部、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「家族の介護と介護保険などのサービスを利用しながら自宅で生活したい」の割合が3割以上と高くなっています。

- 家族中心に介護され、自宅で生活したい
- ▨ 家族の介護と介護保険などのサービスを利用して自宅で生活したい
- ▩ 介護保険などのサービスを利用して自宅で生活したい
- ▧ 介護施設や病院に入りたい
- ▦ その他
- ◻ わからない
- 無回答



## 13 ヤングケアラーについて

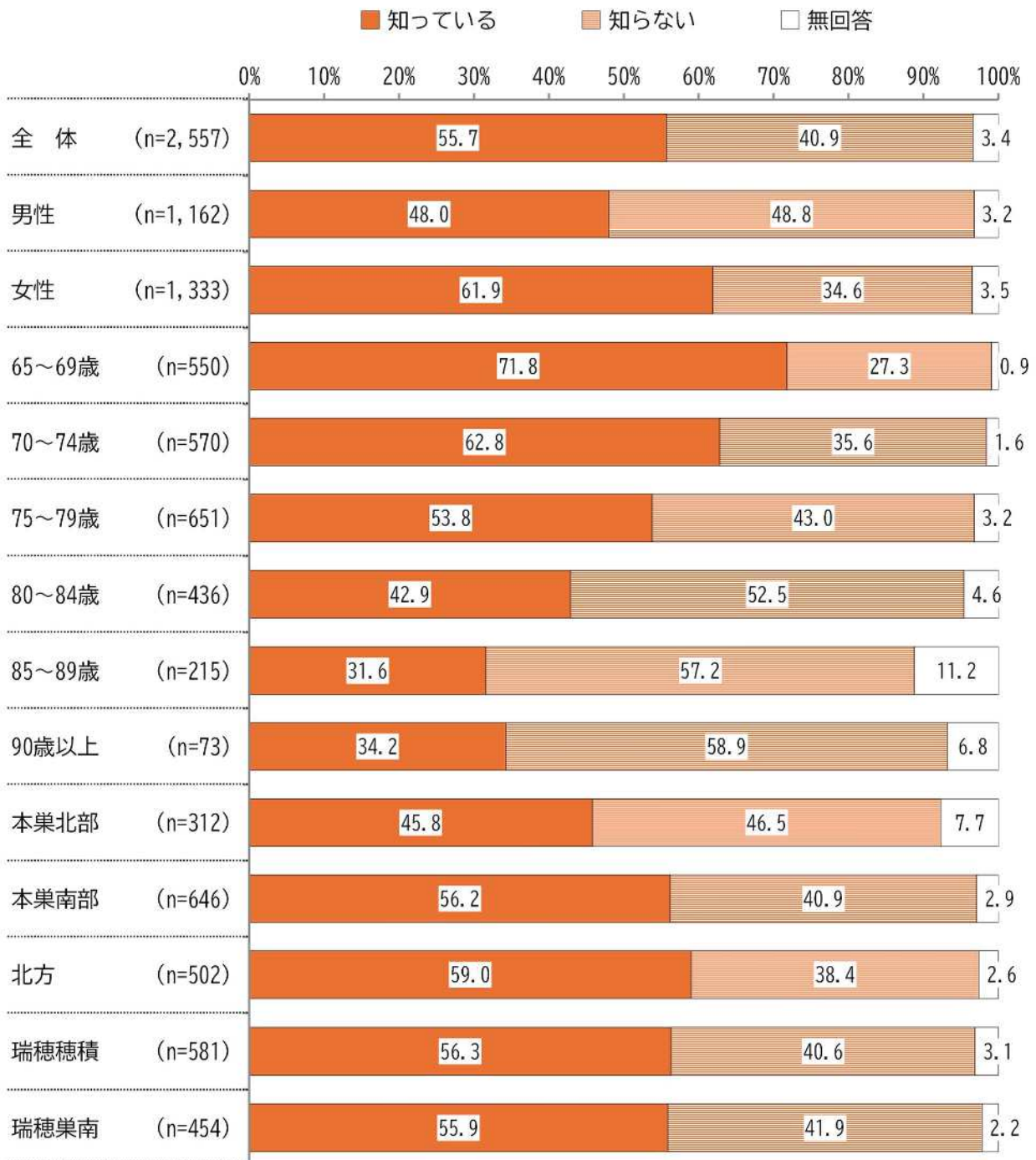
### 問 92 ヤングケアラーという言葉をご存じですか。(どちらかに○印)

全体では、「知っている」が55.7%、「知らない」が40.9%となっています。

性別でみると、男性は「知らない」が48.8%、女性は34.6%と、男性が女性よりも14.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「知らない」割合が高くなっています。

地区でみると、本巣北部を除く地区では「知っている」が5割以上となっており、本巣北部では5割未満と低くなっています。



【問 93 は、問 92 で「1.知っている」を選択した方のみお答えください】

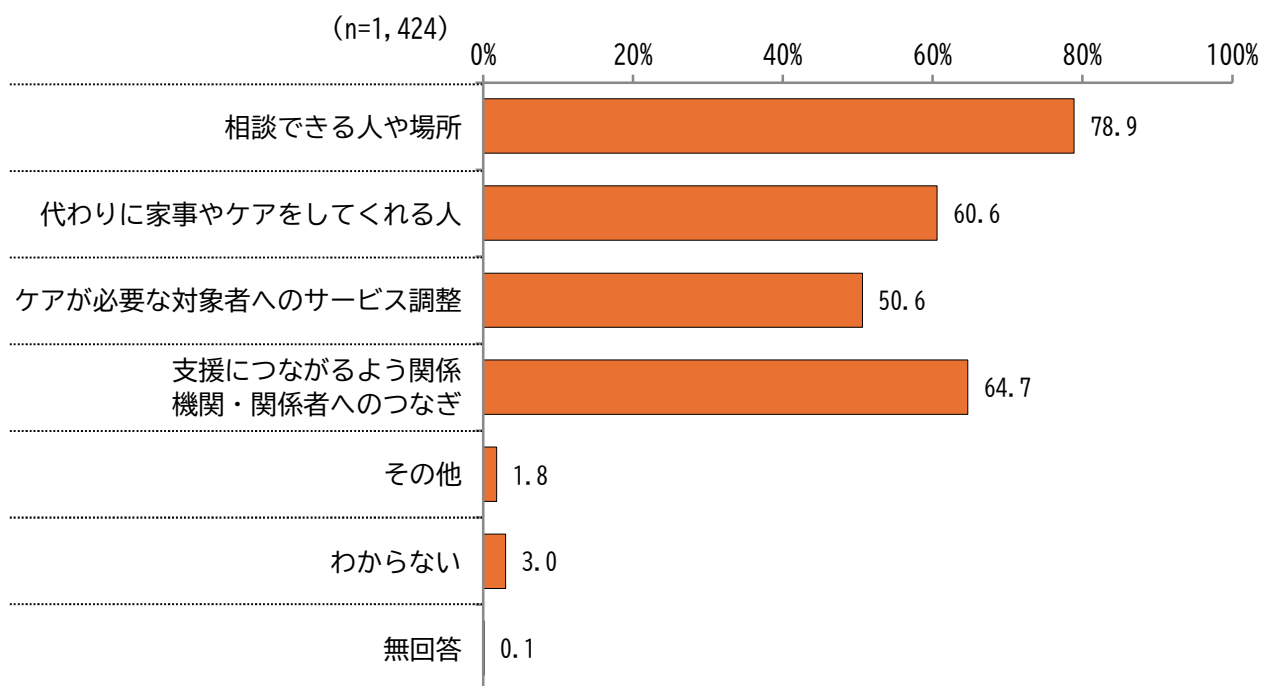
問 93 ヤングケアラーにはどのような支援が必要だと思いますか。(○印はいくつでも)

全体では、「相談できる人や場所」が 78.9%で最も高く、次いで「支援につながるよう関係機関・関係者へのつなぎ」が 64.7%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「相談できる人や場所」、「支援につながるよう関係機関・関係者へのつなぎ」、「代わりに家事やケアをしてくれる人」が上位3項目となっています。また、85～89歳では「ケアが必要な対象者へのサービス調整」も上位項目となっています。

地区でも、大きな差はみられません。



		全 体	所 相 談 で き る 人 や 場	ア 代 を わ り し て く れ る 人 や 場	整 者 ケ ア へ の サ ー ビ ス 調	者 ケ ア へ の つ な ぎ 関 係	う 関 係 機 関 ・ 関 係 よ	支 援 に つ な が る よ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
上段:実数 下段:(%)											
全 体		1,424 100.0	1,123 78.9	863 60.6	720 50.6	922 64.7	25 1.8	43 3.0	2 0.1		
性 別	男性	558 100.0	405 72.6	327 58.6	259 46.4	351 62.9	10 1.8	22 3.9	1 0.2		
	女性	825 100.0	684 82.9	506 61.3	438 53.1	546 66.2	14 1.7	21 2.5	1 0.1		
年 齢	65～69歳	395 100.0	328 83.0	239 60.5	216 54.7	256 64.8	6 1.5	14 3.5	0 0.0		
	70～74歳	358 100.0	289 80.7	230 64.2	178 49.7	251 70.1	7 2.0	10 2.8	0 0.0		
	75～79歳	350 100.0	270 77.1	207 59.1	175 50.0	224 64.0	9 2.6	7 2.0	1 0.3		
	80～84歳	187 100.0	136 72.7	104 55.6	86 46.0	110 58.8	1 0.5	7 3.7	0 0.0		
	85～89歳	68 100.0	51 75.0	37 54.4	37 54.4	43 63.2	1 1.5	4 5.9	0 0.0		
	90歳以上	25 100.0	15 60.0	16 64.0	5 20.0	13 52.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0		
地 区	本巢北部	143 100.0	114 79.7	93 65.0	72 50.3	95 66.4	1 0.7	2 1.4	0 0.0		
	本巢南部	363 100.0	271 74.7	231 63.6	189 52.1	233 64.2	6 1.7	16 4.4	0 0.0		
	北方	296 100.0	237 80.1	169 57.1	138 46.6	184 62.2	3 1.0	8 2.7	1 0.3		
	瑞穂穂積	327 100.0	246 75.2	193 59.0	173 52.9	222 67.9	8 2.4	12 3.7	1 0.3		
	瑞穂巢南	254 100.0	221 87.0	147 57.9	125 49.2	163 64.2	6 2.4	5 2.0	0 0.0		

## 14 生活機能評価

### ① 要支援リスク判定

アンケート調査の回答結果に基づき、以下の8項目について、要支援となるリスクがどの程度あるかを算出しました。判定方法及び判定結果は以下の通りです。

項目	No.	問 番号	質問事項	点数:選択肢				評価
(1) 運動器機能 の低下	1	問10	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	0:できるし、 している	0:できるけど していない	1:できない		3項目 以上
	2	問11	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	0:できるし、 している	0:できるけど していない	1:できない		
	3	問12	15分くらい続けて歩いていますか。	0:できるし、 している	0:できるけど していない	1:できない		
	4	問14	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1:何度もある	1:1度ある	0:ない		
	5	問15	転倒に対する不安は大きいですか。	1:とても不安 である	1:やや不安 である	0:あまり不 安でない	0:不安でない	
(2) 転倒リスク		問14	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1:何度もある	1:1度ある	0:ない		
(3) 閉じこもり 傾向		問16	週に1回以上は外出していますか。	1:ほとんど 外出しない	1:週1回	0:週2~4回	0:週5回以上	
(4) 低栄養状態	1	問21 BMI	BMI=体重[kg]/身長[m] <sup>2</sup>	1:18.5未満	0:18.5以上			2項目
	2	問27	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。	1:はい	0:いいえ			
(5) 咀嚼機能 の低下		問22	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1:はい	0:いいえ			
(6) 口腔機能 の低下	1	問22	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1:はい	0:いいえ			2項目 以上
	2	問23	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1:はい	0:いいえ			
	3	問24	口の渇きが気になりますか。	1:はい	0:いいえ			
(7) 認知機能 の低下		問29	物忘れが多いと感じますか	1:はい	0:いいえ			
(8) うつ傾向	1	問74	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）	1:はい	0:いいえ			1項目 以上
	2	問75	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は1つ）	1:はい	0:いいえ			

※該当する選択肢（網掛け）の評価項目数を回答された場合リスクあり

## 【要支援リスク判定】

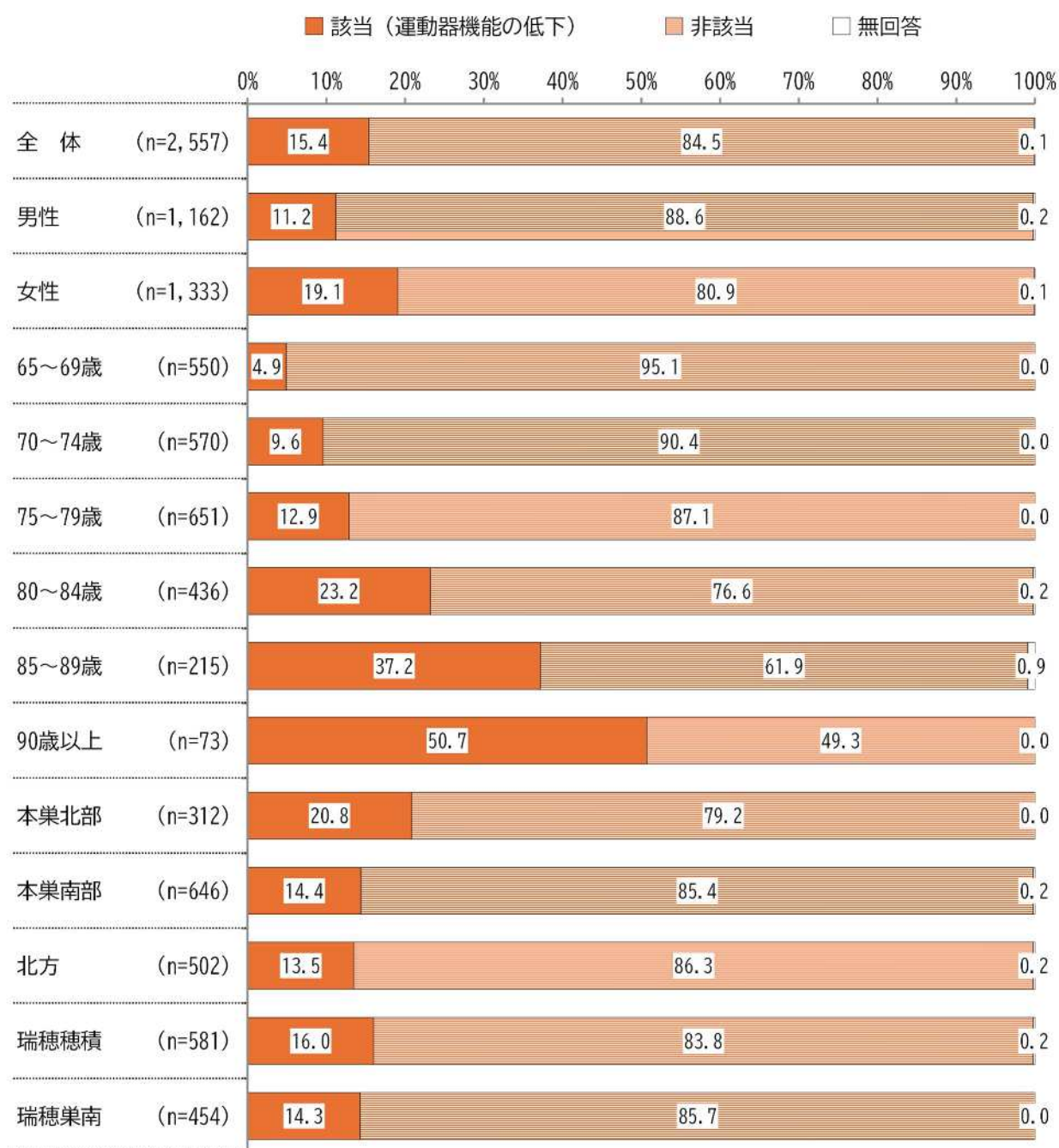
### (1) 運動器機能の低下

全体では、「非該当」が84.5%、「該当（運動器機能の低下）」が15.4%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が88.6%、「該当（運動器機能の低下）」が11.2%、女性は「非該当」が80.9%、「該当（運動器機能の低下）」が19.1%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（運動器機能の低下）」が高くなる傾向となっており、90歳以上では5割以上となっています。

地区でみると、本巣北部では「該当（運動器機能の低下）」が20.8%で2割以上となっています。



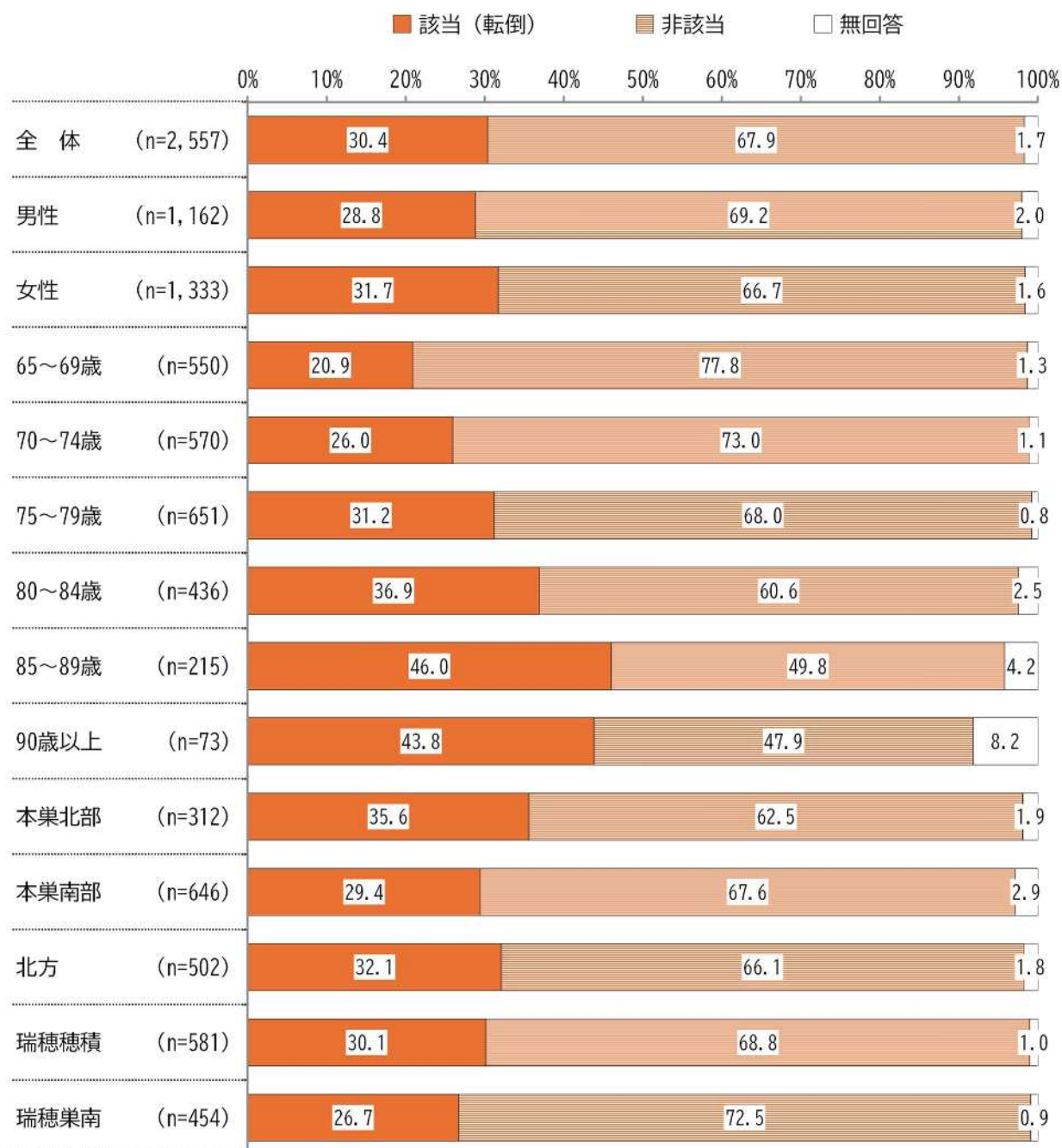
## (2) 転倒リスク

全体では、「非該当」が67.9%、「該当（転倒）」が30.4%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が69.2%、「該当（転倒）」が28.8%、女性は「非該当」が66.7%、「該当（転倒）」が31.7%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（転倒）」が高くなる傾向となっており、85歳以上では4割以上となっています。

地区でみると、本巣北部で「該当（転倒）」が35.6%、北方で32.1%となっています。



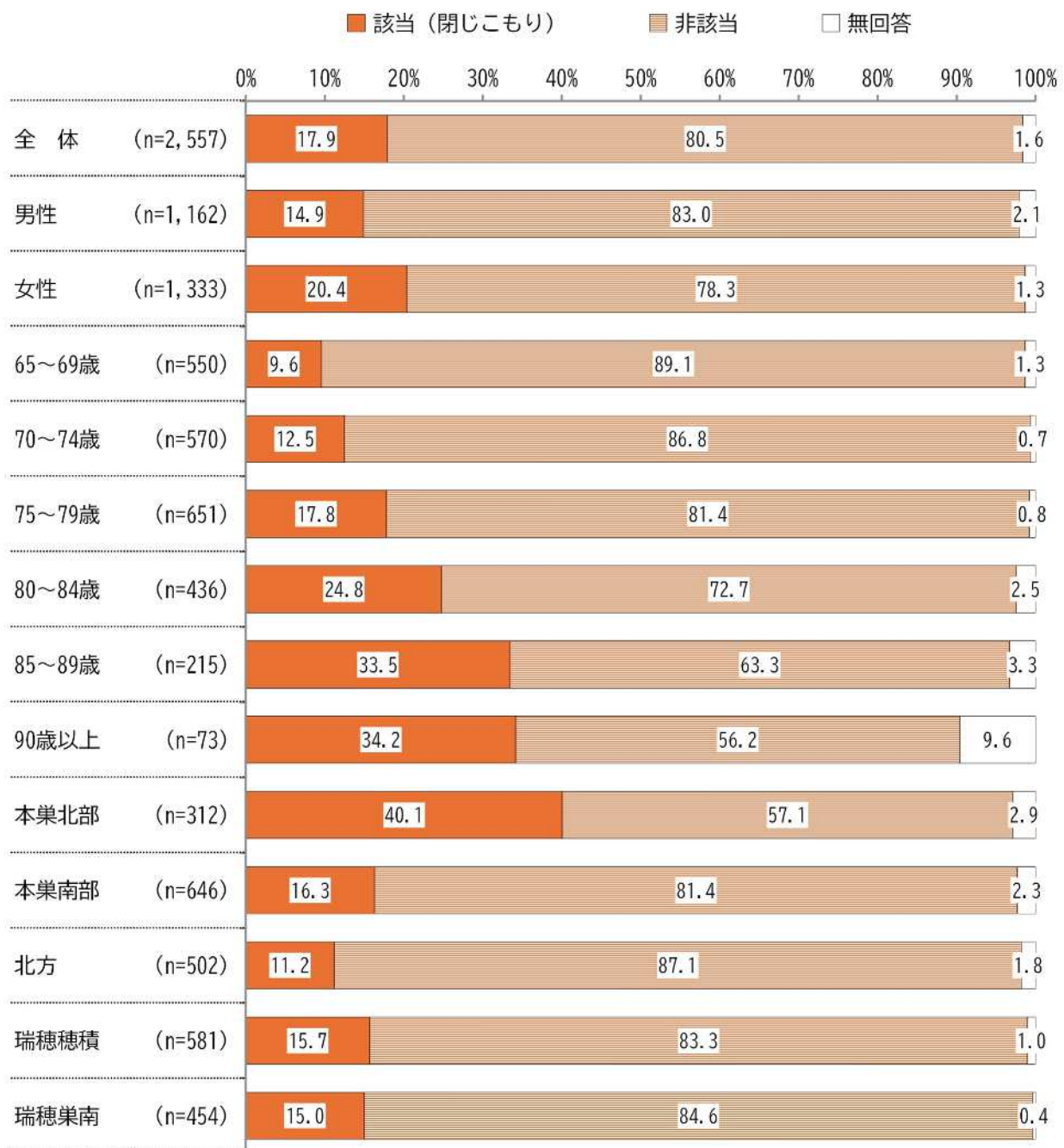
### (3) 閉じこもり傾向

全体では、「非該当」が80.5%、「該当（閉じこもり）」が17.9%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が83.0%、「該当（閉じこもり）」が14.9%、女性は「非該当」が78.3%、「該当（閉じこもり）」が20.4%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（閉じこもり）」が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部で「該当（閉じこもり）」が40.1%と他の地区に比べて高くなっています。



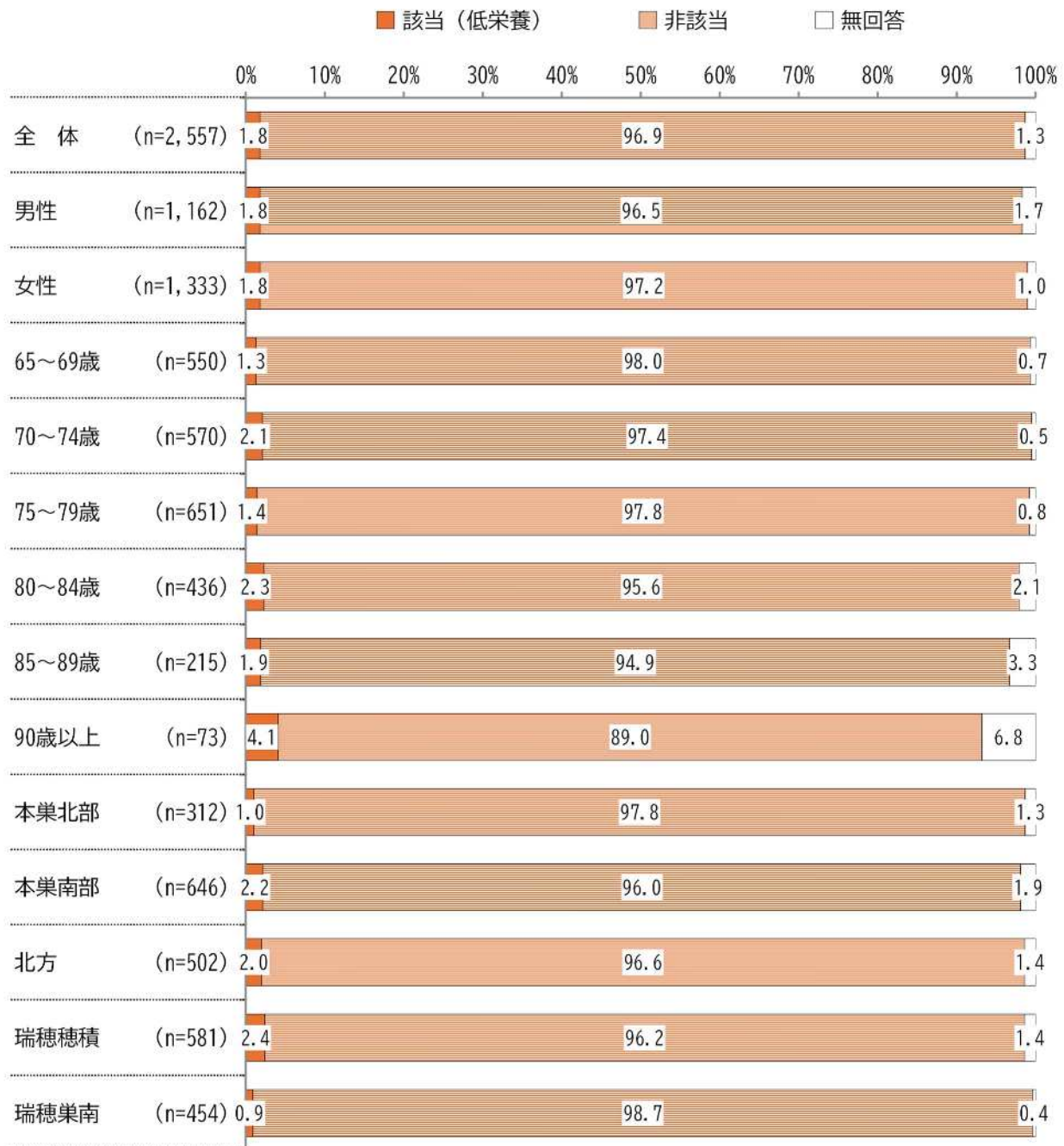
#### (4) 低栄養状態

全体では、「非該当」が96.9%、「該当（低栄養）」が1.8%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が96.5%、「該当（低栄養）」が1.8%、女性は「非該当」が97.2%、「該当（低栄養）」が1.8%となっています。

年齢別でも、大きな差はみられません。

地区でも、大きな差はみられません。



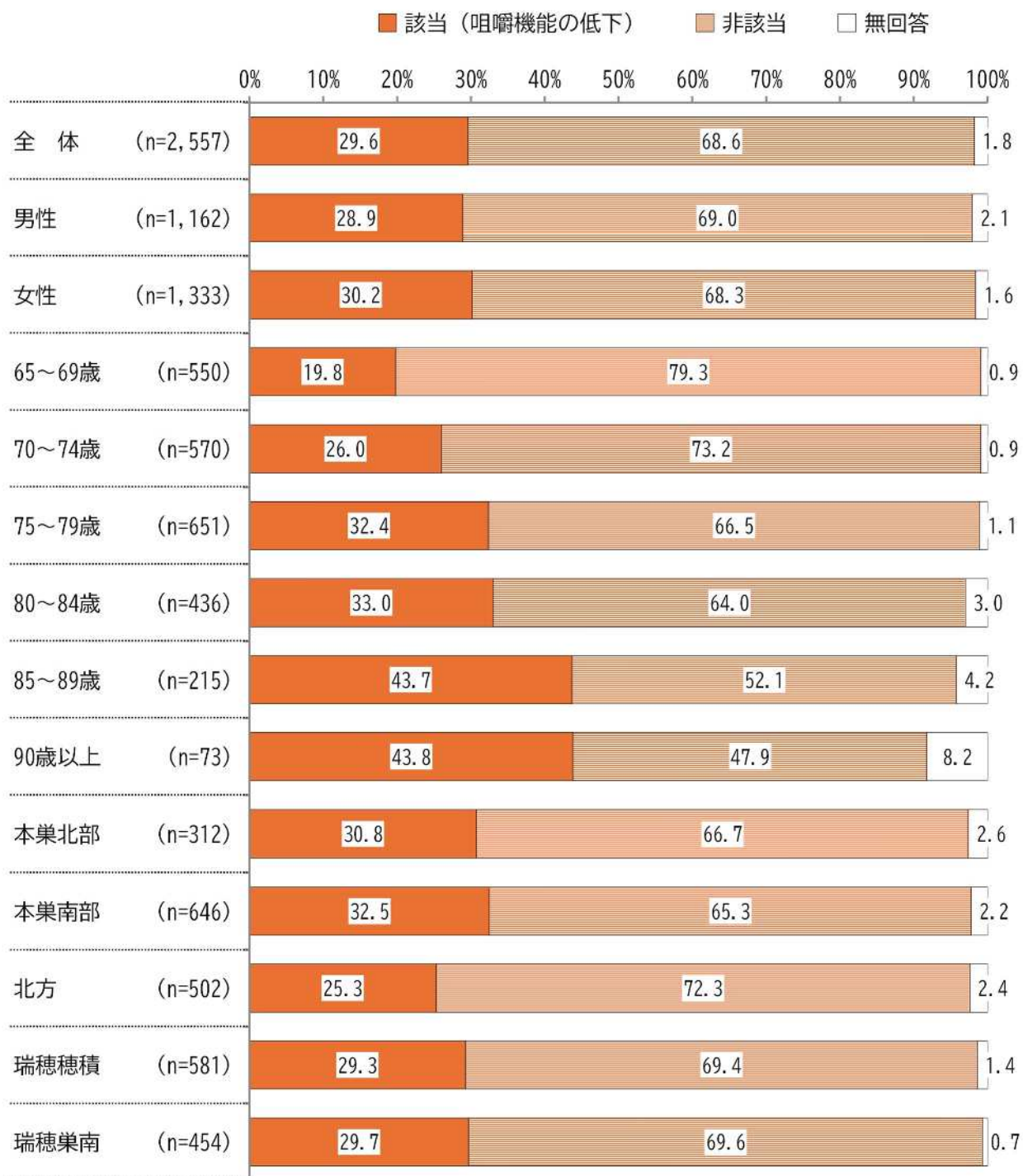
## (5) 咀嚼機能の低下

全体では、「非該当」が68.6%、「該当（咀嚼機能の低下）」が29.6%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が69.0%、「該当（咀嚼機能の低下）」が28.9%、女性は「非該当」が68.3%、「該当（咀嚼機能の低下）」が30.2%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（咀嚼機能の低下）」の割合が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部、本巣南部で「該当（咀嚼機能の低下）」が3割以上となっています。



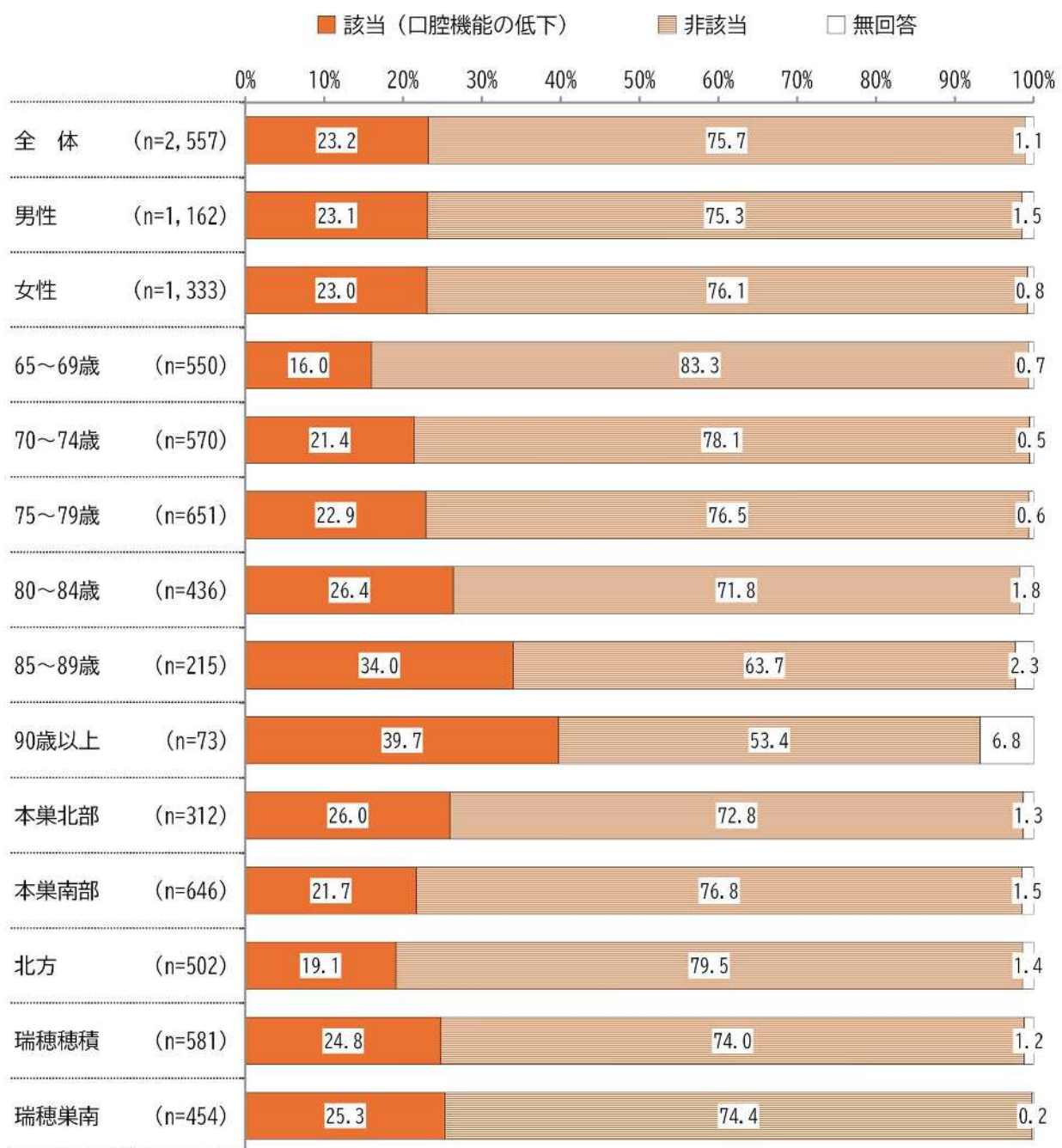
## (6) 口腔機能の低下

全体では、「非該当」が75.7%、「該当（口腔機能の低下）」が23.2%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が75.3%、「該当（口腔機能の低下）」が23.1%、女性は「非該当」が76.1%、「該当（口腔機能の低下）」が23.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（口腔機能の低下）」が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部が「該当（口腔機能の低下）」が26.0%と他の地区に比べて高くなっています。



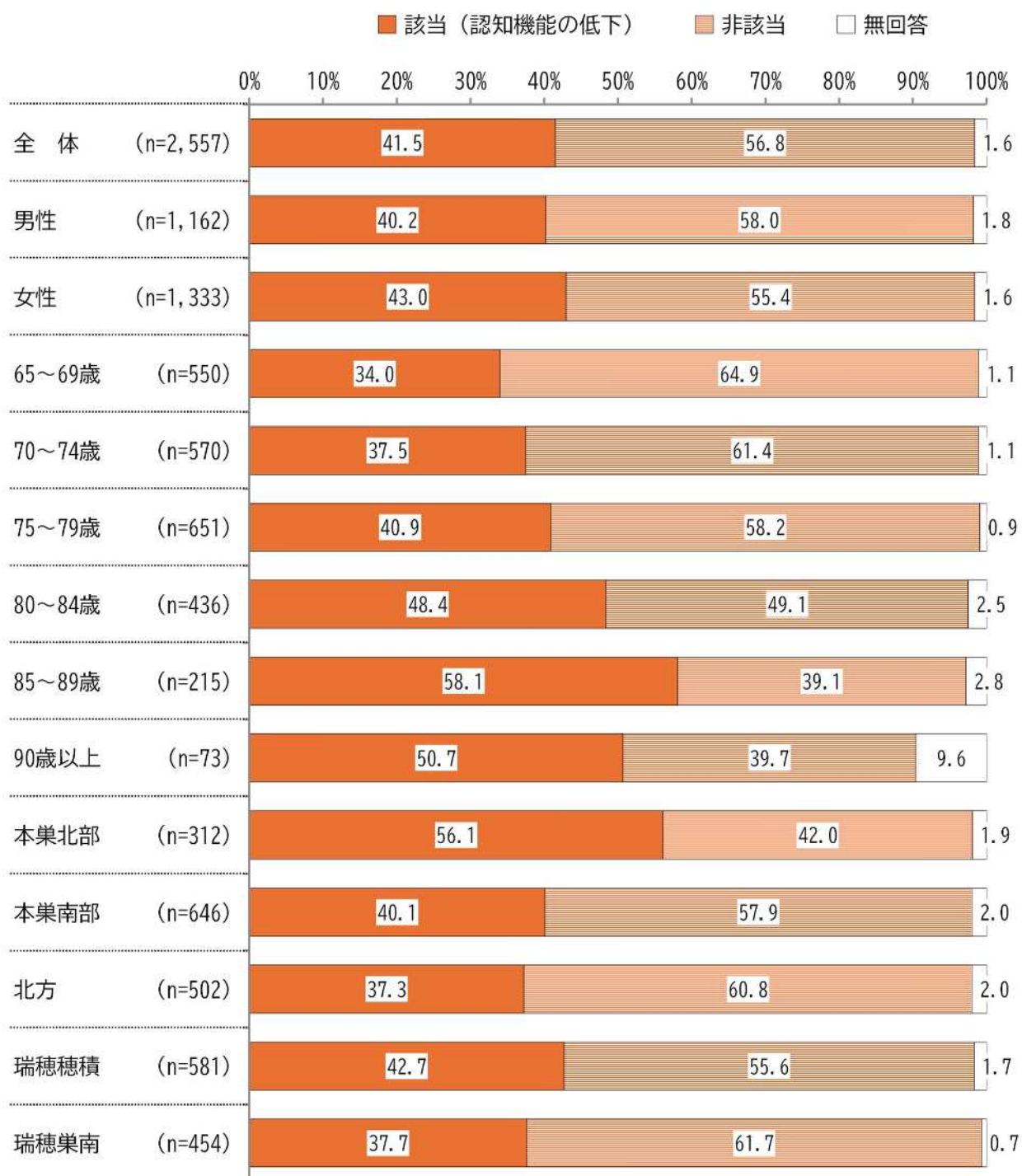
## (7) 認知機能の低下

全体では、「非該当」が56.8%、「該当（認知機能の低下）」が41.5%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が58.0%、「該当（認知機能の低下）」が40.2%、女性は「いいえ」が55.4%、「該当（認知機能の低下）」が43.0%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（認知機能の低下）」の割合が高くなる傾向にあり、79歳までは「非該当」が5割以上となっています。80歳以上では「非該当」が5割以下と逆転しています。

地区でみると、本巣北部では「該当（認知機能の低下）」が56.1%と高くなっています。



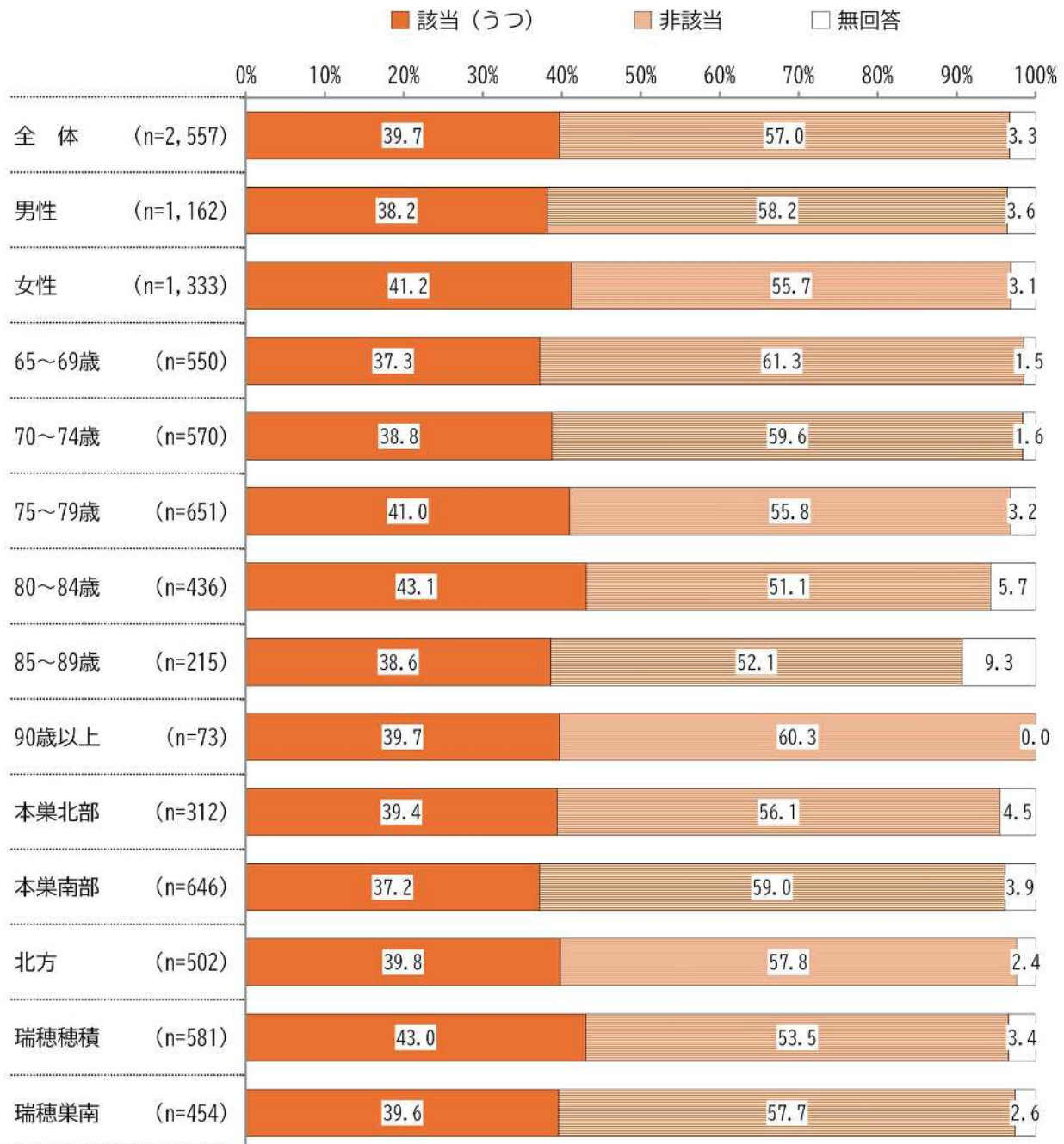
## (8) うつ傾向

全体では、「非該当」が57.0%、「該当（うつ）」が39.7%となっています。

性別でみると、男性は「非該当」が58.2%、「該当（うつ）」が38.2%と、女性は「非該当」が55.7%、「該当（うつ）」が41.2%となっています。

年齢別でも、「該当（うつ）」については大きな差はみられません。

地区でみると、瑞穂穂積では「該当（うつ）」が43.0%と若干高くなっています。



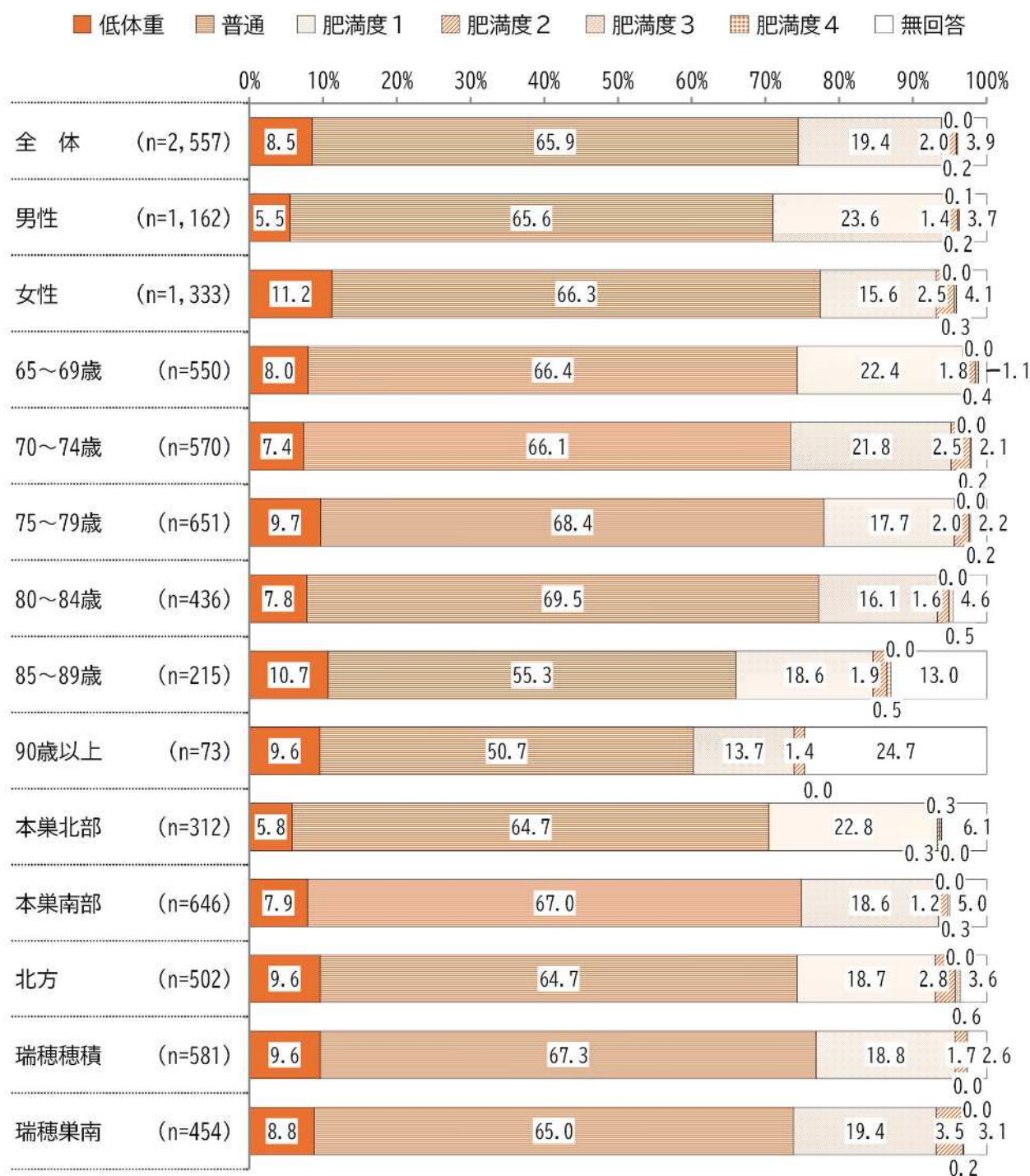
## (9) 肥満度BMI

全体では、「普通」が65.9%で最も高く、次いで「肥満度1」が19.4%、「低体重」が8.5%となっています。

性別で見ると、男性は「普通」が65.6%で最も高く、次いで「肥満度1」が23.6%、「低体重」が5.5%、女性は「普通」が66.3%で最も高く、次いで「肥満度1」が15.6%、「低体重」が11.2%となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにしたがい「普通」が低くなる傾向となっています。

地区で見ても、大きな差はみられません。



## (10) 肥満度BMI（3段階）

全体では、「適正（18.5～25.0未満）」が65.9%、「太りすぎ（25.0以上）」が21.7%となっています。

性別で見ると、男性は「適正（18.5～25.0未満）」が65.6%、「太りすぎ（25.0以上）」が25.2%、女性は「適正（18.5～25.0未満）」が66.3%、「太りすぎ（25.0以上）」が18.4%となっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず5～6割の人が「適正（18.5～25.0未満）」となっています。地区で見ても、大きな差はみられません。



## ② 老研式活動能力指標による評価

IADLの低下について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢(表の網掛け箇所)が回答された場合は1点と数え、合計が5点でIADLが「高い」、4点で「やや低い」、0～3点で「低い」と判定されます。

### 【IADL (Instrumental Activities of Daily Living: 手段的日常生活動作)】

項目	No.	問番号	質問事項	点数: 選択肢			評価	
IADL	1	問31	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。	1: できるし、している	1: できるけどしていない	0: できない	5点 高い	
	2	問32	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1: できるし、している	1: できるけどしていない	0: できない		
	3	問33	自分で食事の用意をしていますか。	1: できるし、している	1: できるけどしていない	0: できない		4点 やや低い
	4	問34	自分で請求書の支払いをしていますか。	1: できるし、している	1: できるけどしていない	0: できない		0～3点 低い
	5	問35	自分で預貯金(ATM等)の出し入れをしていますか。	1: できるし、している	1: できるけどしていない	0: できない		

知的能動性について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢(表の網掛け箇所)が回答された場合は1点と数え、合計が4点で知的能動性が「高い」、3点で「やや低い」、0～2点で「低い」と判定されます。

### 【知的能動性】

項目	No.	問番号	質問事項	点数: 選択肢			評価
知的能動性	1	問36	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1: はい	0: いいえ		4点 高い
	2	問37	新聞を読んでいますか。	1: はい	0: いいえ		3点 やや低い
	3	問38	本や雑誌を読んでいますか。	1: はい	0: いいえ		0～2点 低い
	4	問41	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1: はい	0: いいえ		

社会的役割について、以下の表の通り判定を進めました。該当する選択肢(表の網掛け箇所)が回答された場合は1点と数え、合計が4点で社会的役割が「高い」、3点で「やや低い」、0～2点で「低い」と判定されます。

### 【社会的役割】

項目	No.	問番号	質問事項	点数: 選択肢			評価
社会的役割	1	問42	友人の家を訪ねていますか。	1: はい	0: いいえ		4点 高い
	2	問43	家族や友人の相談にのっていますか。	1: はい	0: いいえ		3点 やや低い
	3	問44	病人を見舞うことができますか。	1: はい	0: いいえ		0～2点 低い
	4	問45	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1: はい	0: いいえ		

## 【老研式活動能力指標による評価】

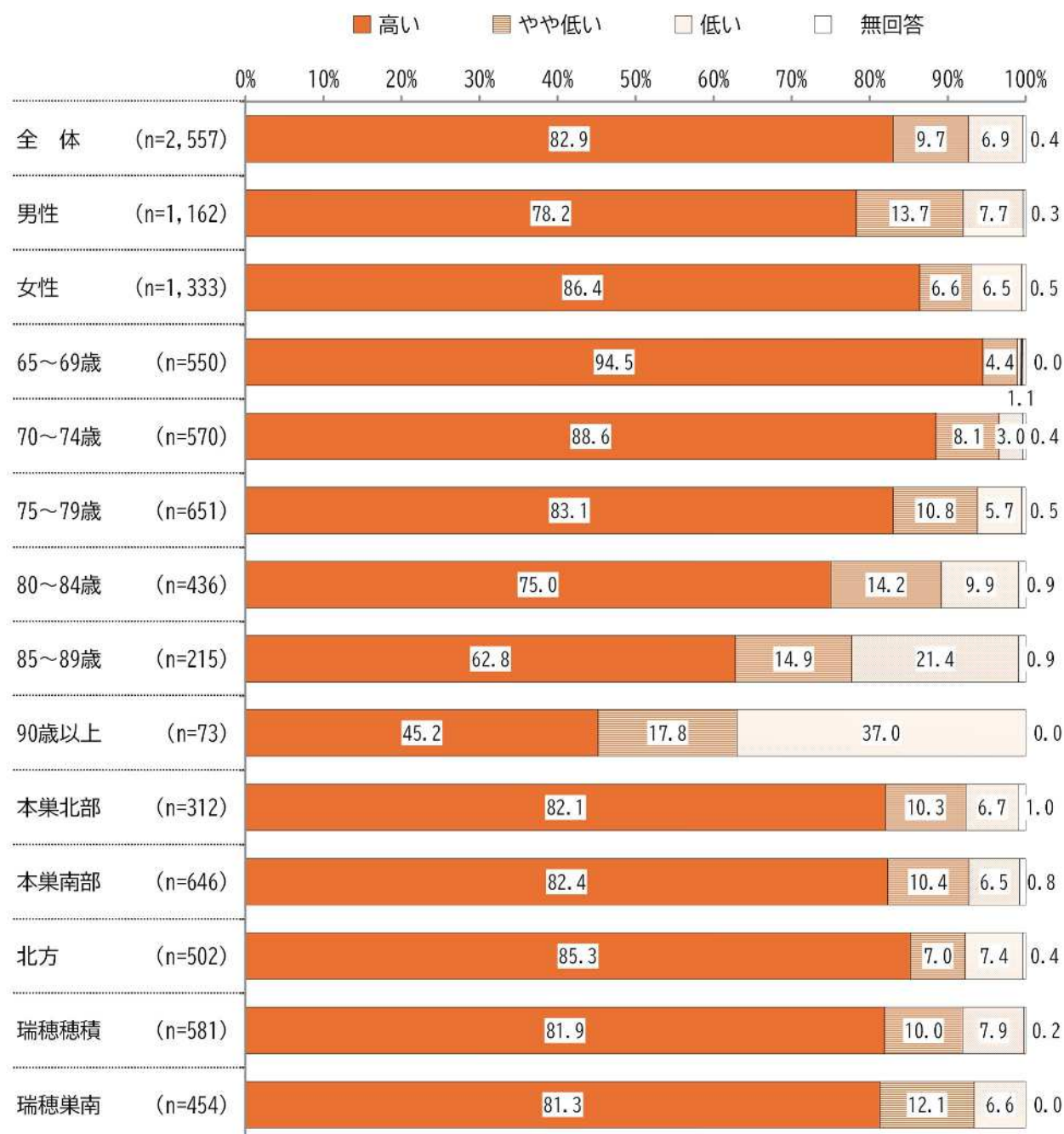
(1) 手段的自立度 (IADL) (交通機関を使っての外出、買い物、食事の準備、請求書の支払いなど)

全体では、「低い」と「やや低い」をあわせた自立度が“低い”割合は、16.6%となっています。

性別でみると、“低い”は男性が21.4%、女性は13.1%となっています。

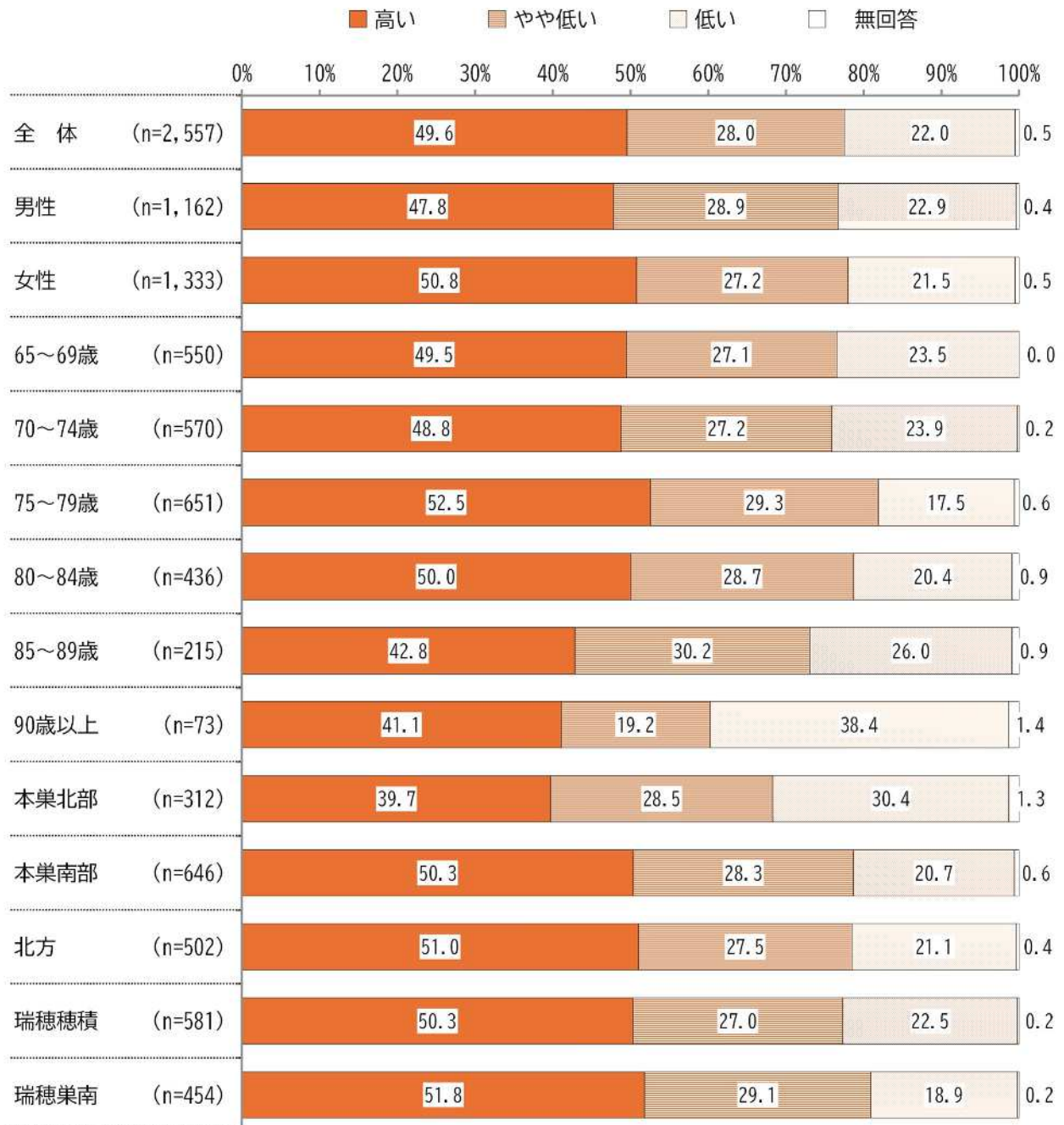
年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい“低い”割合が増加する傾向となっています。

地区では、大きな差はみられません。



(2) 知的能動性（書類を書く、新聞を読む、本・雑誌を読むなど）

全体では、「低い」と「やや低い」をあわせた自立度が“低い”割合は、50.0%となっています。  
 性別でみると、“低い”は男性が51.8%、女性は48.7%となっています。  
 年齢別でみると、“低い”は85歳以上で5割を超えています。  
 地区では、本巣北部で58.9%と他の地区に比べて高くなっています。



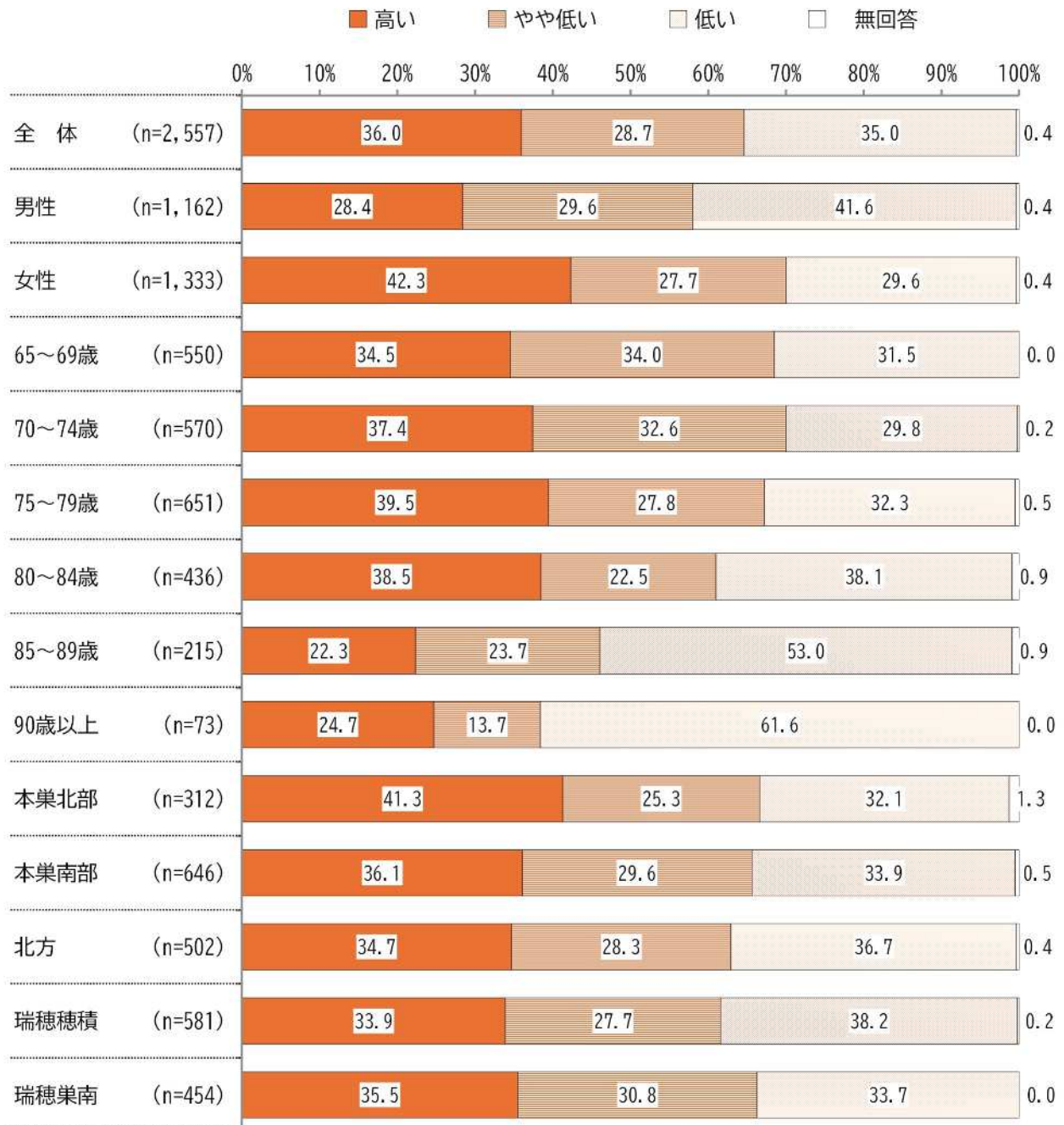
### (3) 社会的役割（友人への訪問、家族や友人からの相談、病人のお見舞いなど）

全体では、「低い」と「やや低い」をあわせた自立度が“低い”割合は、63.7%となっています。

性別でみると、“低い”は男性が71.2%、女性は57.3%となっています。

年齢別でみると、“低い”は85歳以上で7割を超えています。

地区では、大きな差はみられません。



### ③ 認知機能低下リスク

愛知県では、国立長寿医療研究センターと共同で、高齢者の認知機能低下のリスクをチェックするリスト（「コグニチェックリスト」）を作成しました。このチェックリストは、10個の設問に回答することにより、高齢者のふだんの行動が認知機能の維持にどの程度望ましい状態であるかを判定するものです。

本アンケートにおいてもこの10個の設問を配置し、各設問を「はい」「いいえ」で回答してもらい、リスクにつながる回答が10問で2つ以上あてはまる場合は「認知機能低下のリスクがある」としています。

#### 【コグニチェックリスト】

項目	No.	問番号	質問事項	点数:選択肢			評価
コグニ チェック リスト	1	問14	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1:何度もある	1:1度ある	0:ない	2項目 以上
	2	問13	軽い運動・体操や定期的な運動・スポーツをしていますか。	0:はい	1:いいえ		
	3	問27	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1:はい	0:いいえ		
	4	問39	教育・教養番組を視聴していますか。	0:はい	1:いいえ		
	5	問30	ほかに人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。	1:はい	0:いいえ		
	6	問40	ビデオやDVDプレーヤーの操作ができますか。	0:はい	1:いいえ		
	7	問50	スマートフォン・ガラケー・タブレット・パソコンなどの情報通信機器を利用していますか。	1:はい	1:いいえ		
		問51	情報通信機器(スマートフォン・ガラケー・タブレット・パソコン)の利用目的について、お聞かせください。	1:通話	2:メール	3:インターネット閲覧	
				4:インターネットショッピング	5:オンラインでのビデオ通話	6:その他	
	・携帯電話やパソコンのメールができますか 問51「いいえ」及び問50「はい」を選択し問51で「メール」を選択していない方が該当						
8	問48	これまでやってきたことや興味のあったことの多くを最近やめてしまいましたか。	1:はい	0:いいえ			
9	問35	自分で預貯金(ATM等)の出し入れをしていますか。	0:はい	1:いいえ			
10	問69	家族や友人の役に立っていると思いますか。	0:はい	1:いいえ			

※該当する選択肢（網掛け）の評価項目数を回答された場合リスクあり

## 【コグニチェックによる評価】

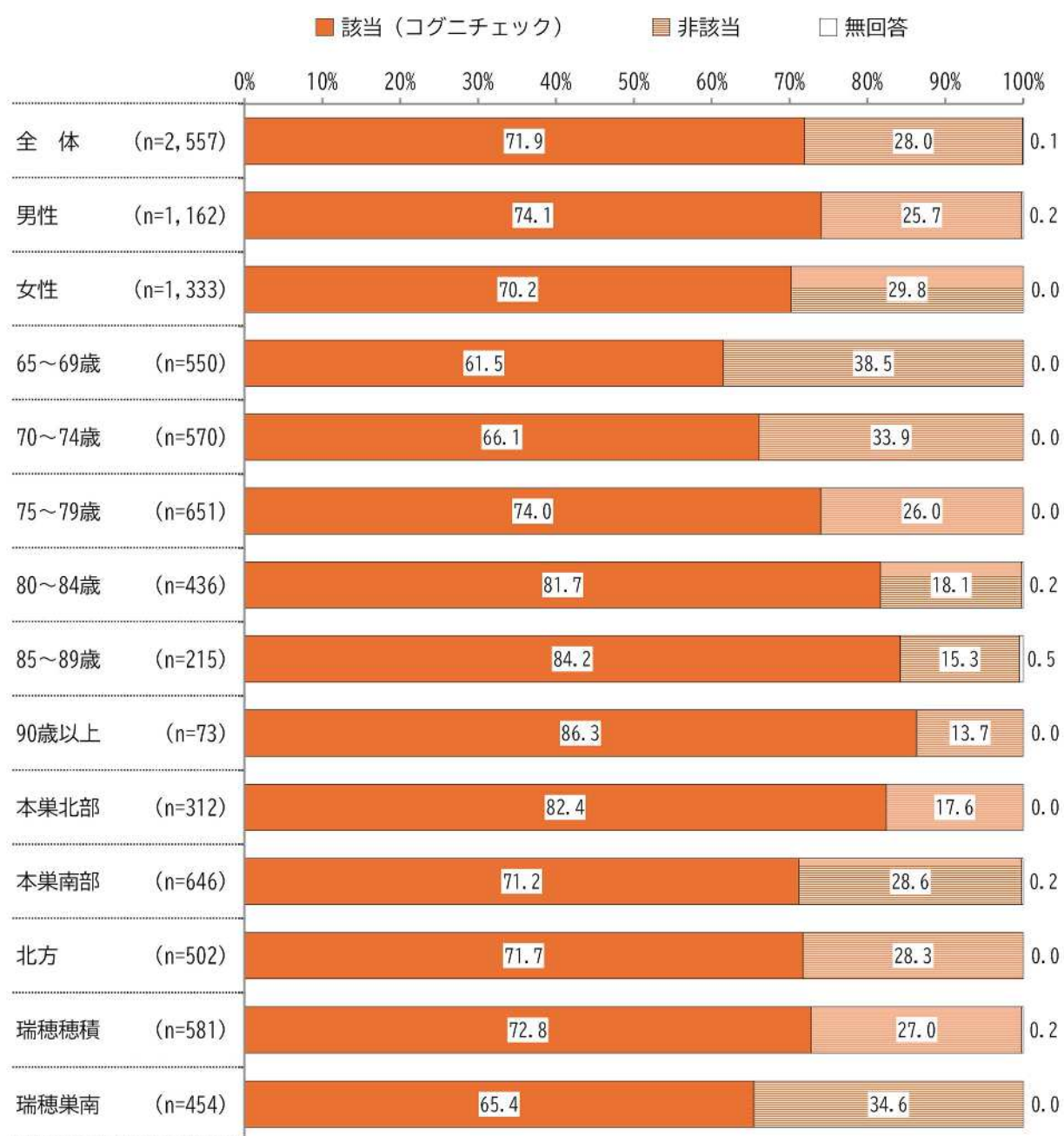
### (1) コグニチェック

全体では、「該当（コグニチェック）」が71.9%、「非該当」が28.0%となっています。

性別でみると、男性は「該当（コグニチェック）」が74.1%、「非該当」が25.7%、女性は「該当（コグニチェック）」が70.2%、「非該当」が29.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「該当（コグニチェック）」が高くなる傾向となっています。

地区でみると、本巣北部では「該当（コグニチェック）」が82.4%で8割以上と他の地区と比べて高くなっています。

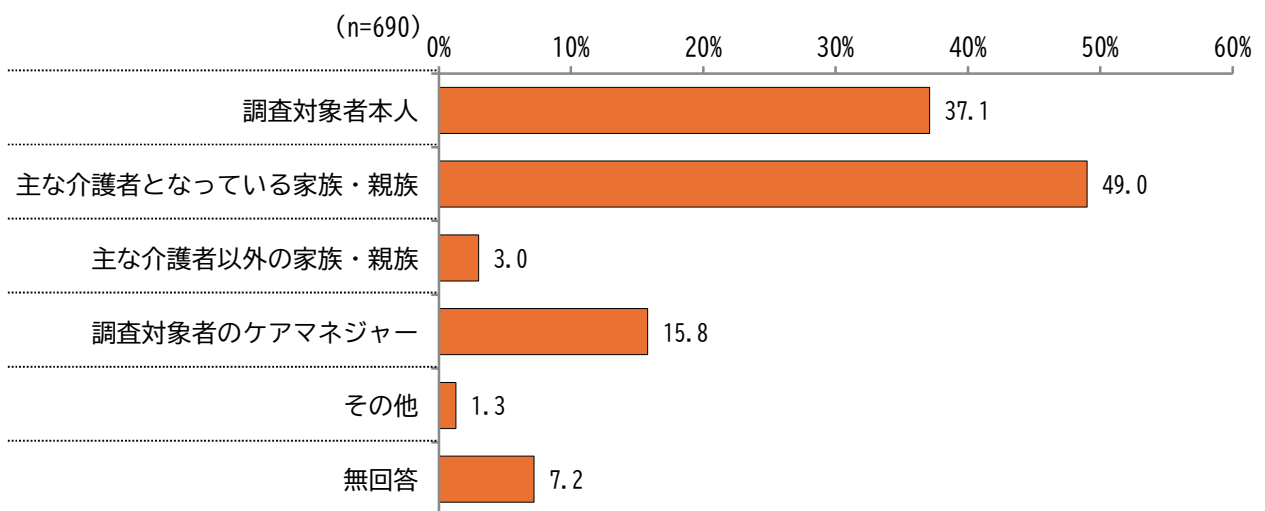


### Ⅲ 在宅介護実態調査

#### 1 ご本人の状況・主な介護者の方について（A票）

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数選択可）

全体では、「主な介護者となっている家族・親族」が49.0%、次いで「調査対象者本人」が37.1%、「調査対象者のケアマネジャー」が15.8%となっています。

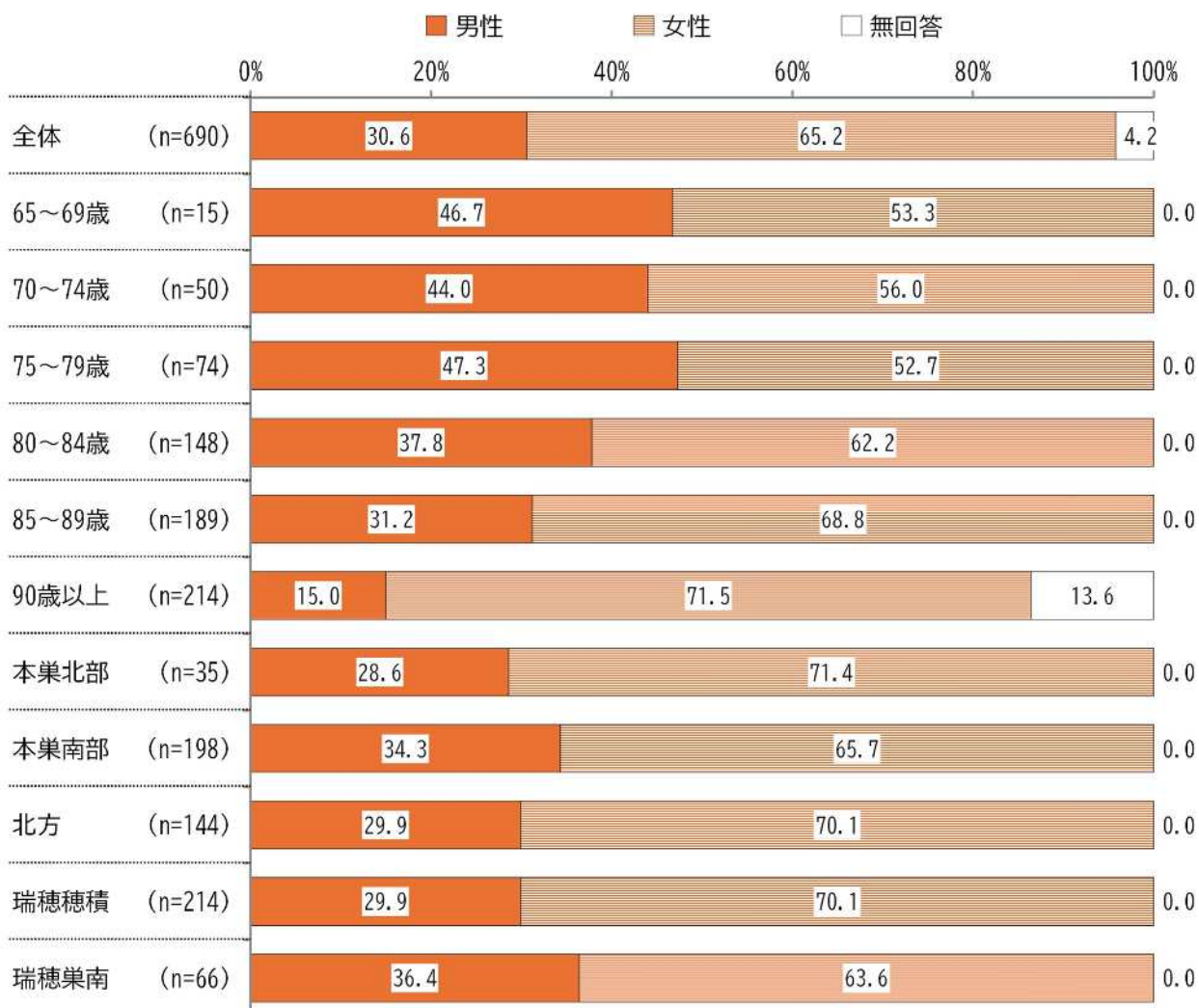


## 対象者の性別

全体では、「女性」が 65.2%、「男性」が 30.6%となっています。

年齢別で見ると、各年代で「女性」の割合が高くなっており、75歳以上年齢が上がるにしたがい増加傾向となっています。

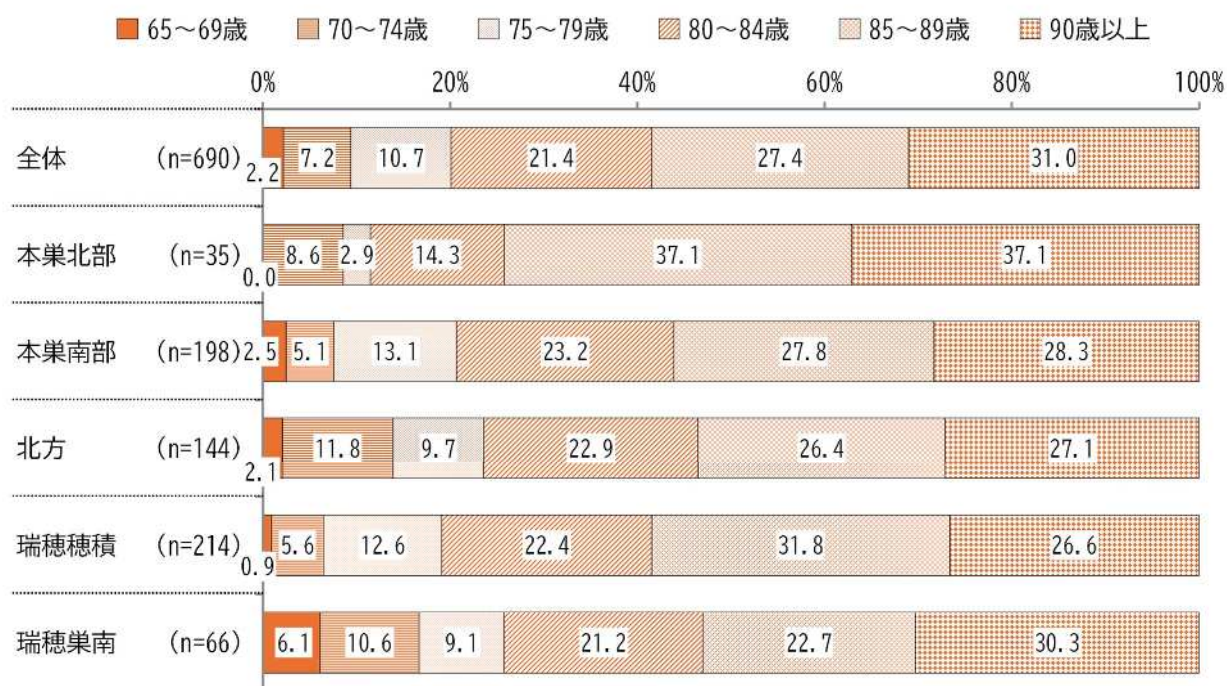
地区で見ても、大きな差はみられません。



## 対象者の年齢

全体では、「90歳以上」が31.0%で最も高く、次いで「85～89歳」が27.4%、「80～84歳」が21.4%となっています。

地区別で見ると、本巣北部では「85～89歳」「90歳以上」が37.1%で最も高くなっています。また、北方、瑞穂巣南では65～74歳が1割以上と他の地区に比べて高くなっています。



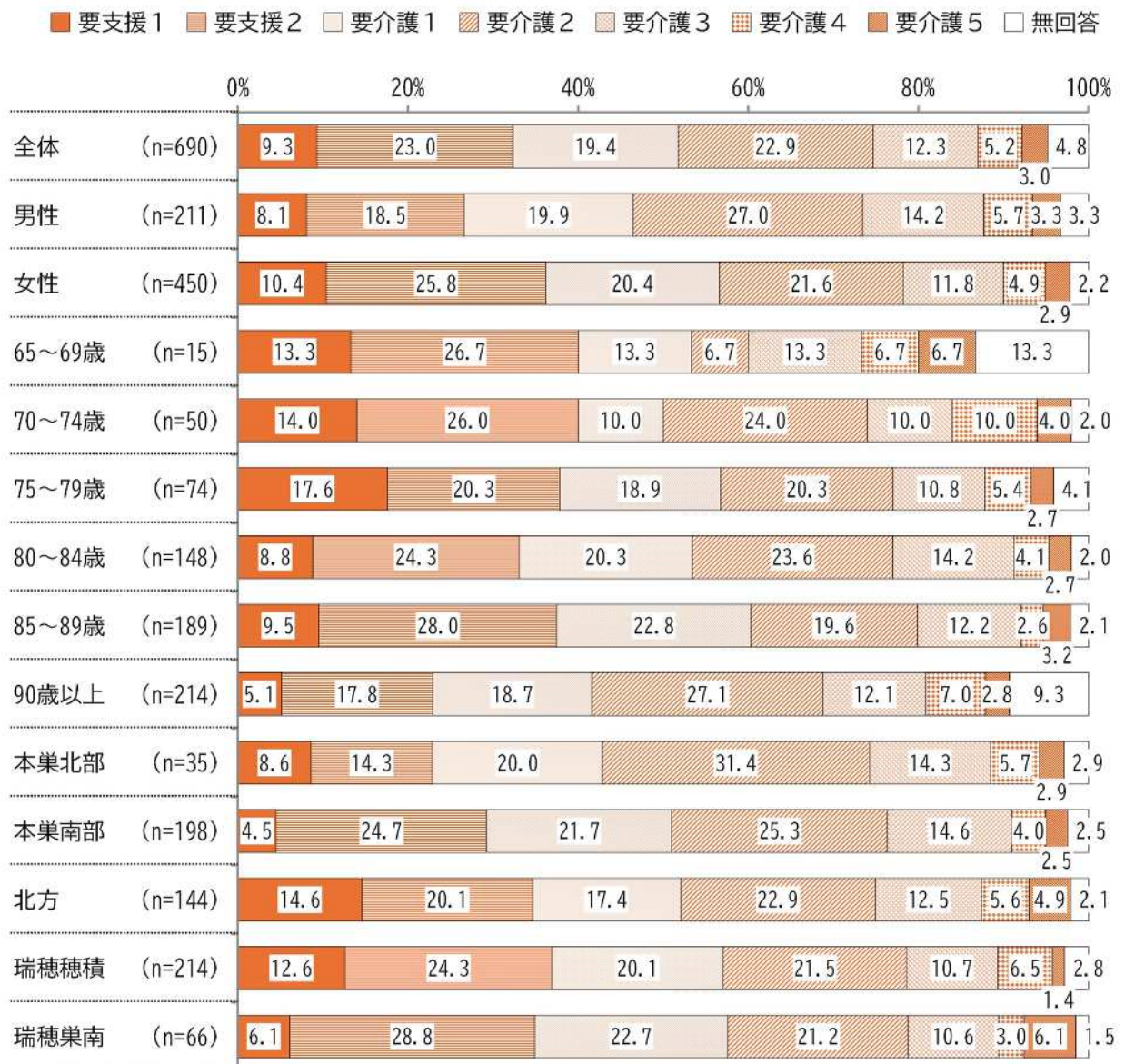
## 対象者の要介護認定

全体では、「要支援2」が23.0%で最も高く、次いで「要介護2」が22.9%、「要介護1」が19.4%となっています。

性別で見ると、男性は「要介護2」が27.0%で最も高く、次いで「要介護1」が19.9%、「要支援2」が18.5%、女性は「要支援2」が25.8%で最も高く、次いで「要介護2」が21.6%、「要介護1」が20.4%となっています。

年齢別で見ると、65～89歳では「要支援2」が最も高くなっており、「90歳以上」では「要介護2」が高くなっています。

地区別で見ると、本巢北部、本巢南部、北方では「要介護2」、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「要支援2」が最も高くなっており、本巢北部の「要介護2」、瑞穂巣南の「要支援2」は約3割となっています。

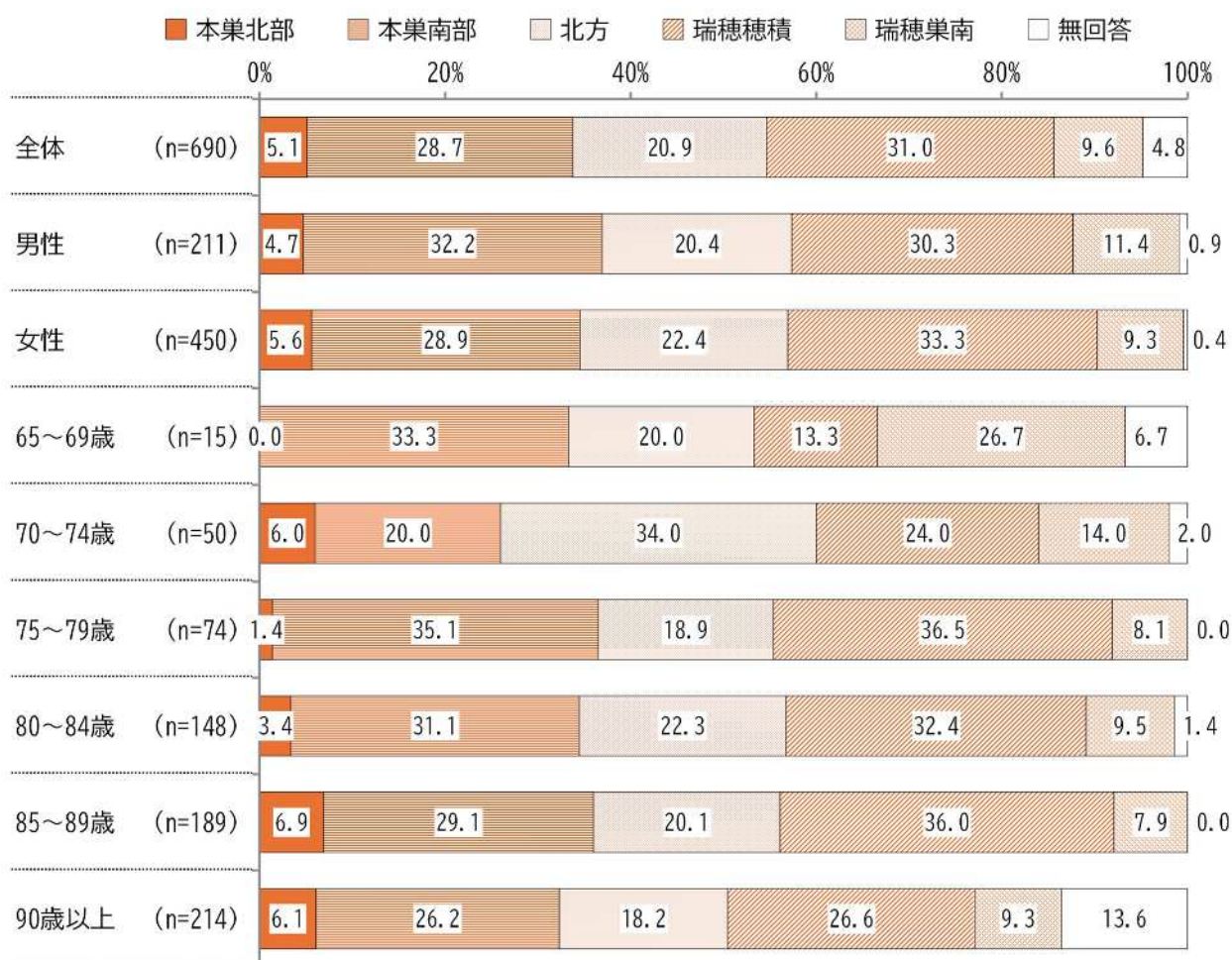


## 対象者の居住地区

全体では、「瑞穂穂積」が31.0%で最も高く、次いで「本巢南部」が28.7%、「北方」が20.9%となっています。

性別で見ると、男性は「本巢南部」が32.2%で最も高く、次いで「瑞穂穂積」が30.3%、「北方」が20.4%、女性は「瑞穂穂積」が33.3%で最も高く、次いで「本巢南部」が28.9%、「北方」が22.4%となっています。

年齢別で見ると、65～69歳では「本巢南部」、70～74歳では「北方」、75歳以上では「瑞穂穂積」が最も高くなっています。



【A票】調査員が、聞き取り等を行い記載する項目

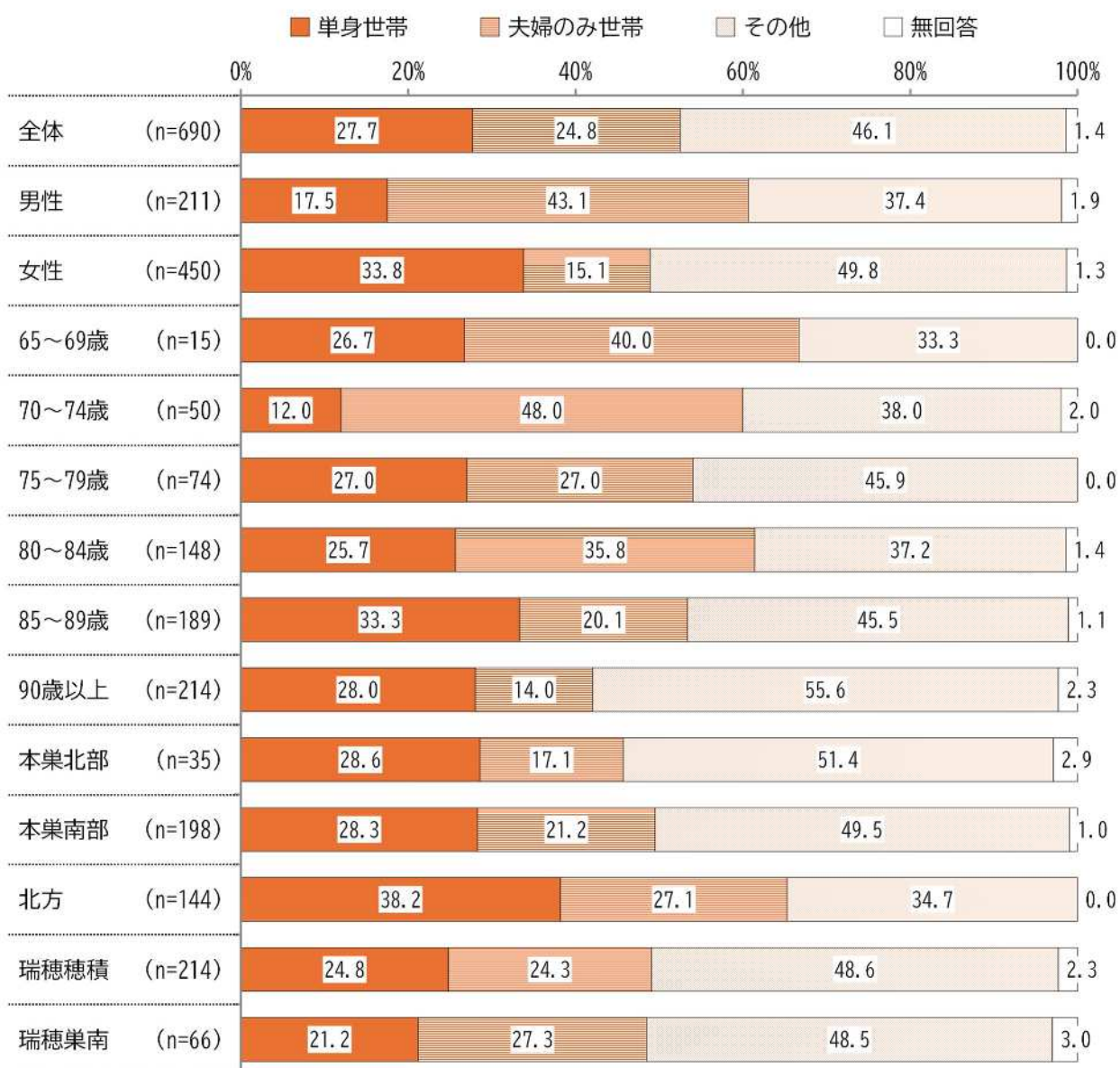
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「単身世帯」が27.7%、「夫婦のみ世帯」が24.8%となっています。

性別でみると、男性は「夫婦のみ世帯」が43.1%、「単身世帯」が17.5%、女性は「その他」が49.8%、「単身世帯」が33.8%となっています。

年齢別でみると、65～69歳、70～74歳では「夫婦のみ世帯」、75歳以上では「その他」が高くなっています。

地区別でみると、北方を除く地区では「その他」が約5割と高くなっており、北方では「単身世帯」と「その他」が3割台となっています。



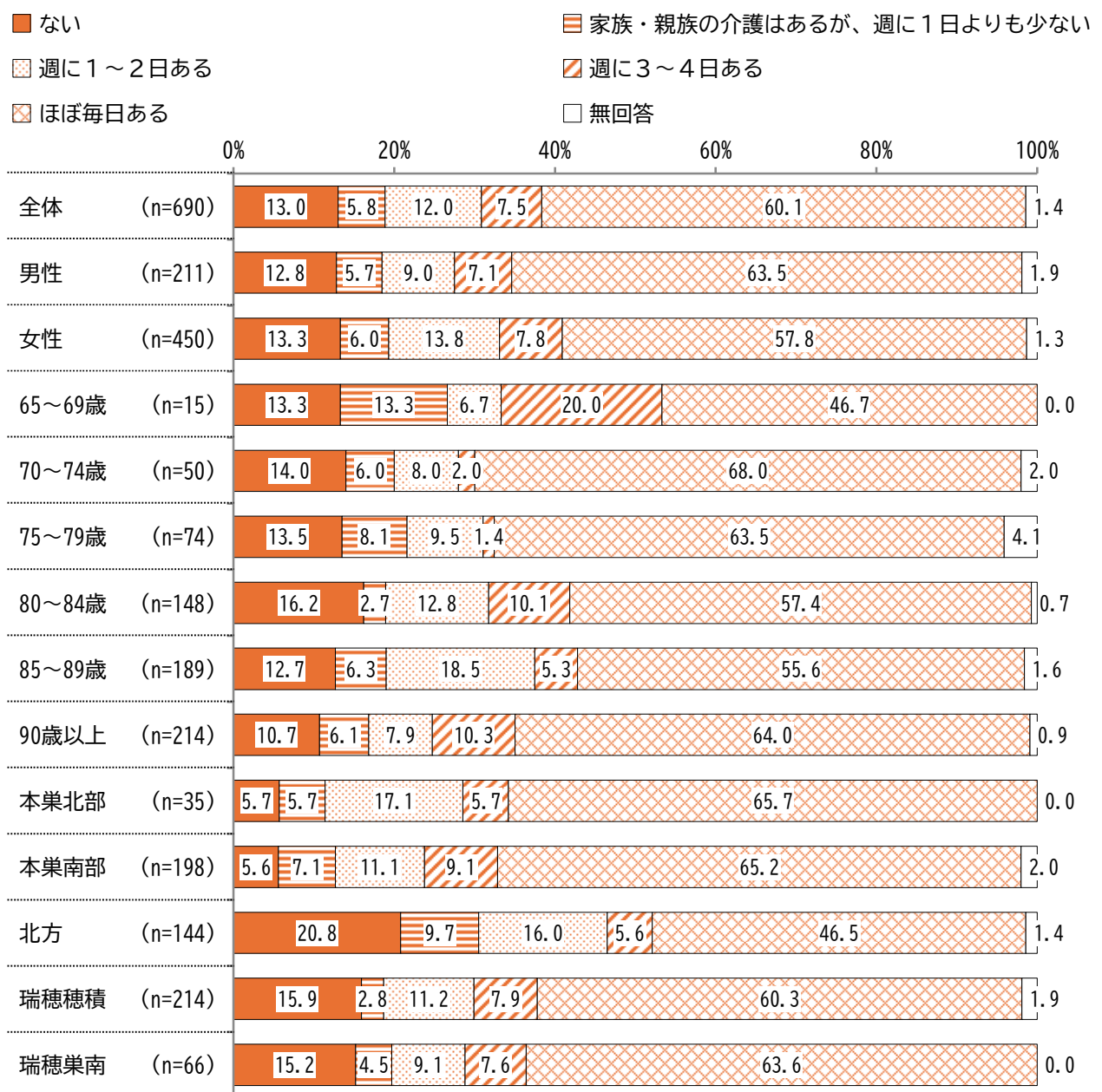
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

全体では、「ほぼ毎日ある」が60.1%で最も高く、次いで「ない」が13.0%、「週に1～2日ある」が12.0%となっています。

性別でみると、男性は「ほぼ毎日ある」が63.5%、女性は57.8%と女性よりも男性が5.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70～74歳、75～79歳、90歳以上では「ほぼ毎日ある」が6割以上と高くなっています。

地区別でみると、北方を除く地区では「ほぼ毎日ある」が6割以上と高くなっています。また、北方では「ない」が20.8%と他の地区に比べて高くなっています。



問2で「1. ない」以外を回答した方

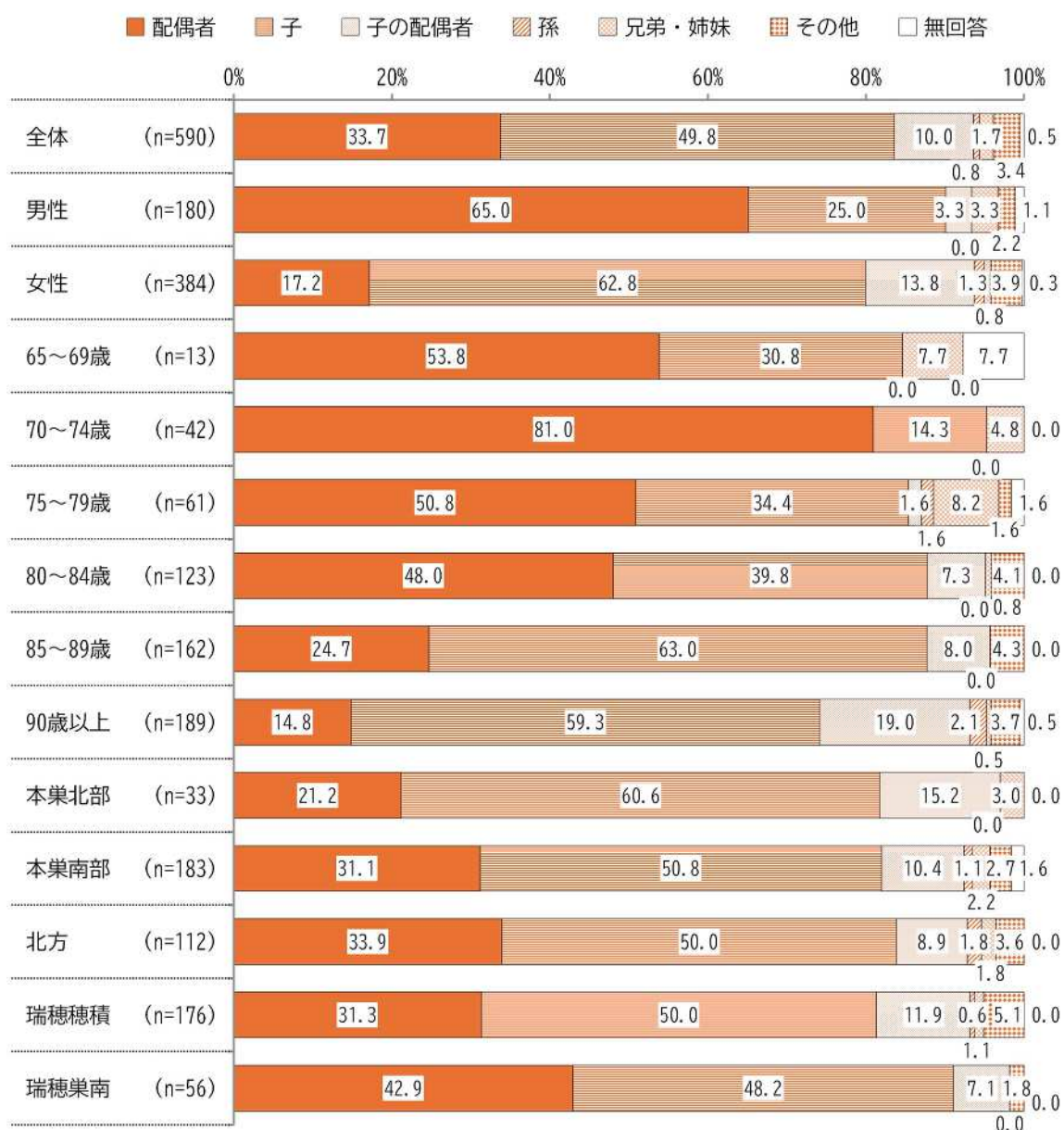
問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

全体では、「子」が49.8%で最も高く、次いで「配偶者」が33.7%、「子の配偶者」が10.0%となっています。

性別でみると、男性は「配偶者」が65.0%で最も高く、次いで「子」が25.0%、「子の配偶者」「兄弟・姉妹」が3.3%、女性は「子」が62.8%で最も高く、次いで「配偶者」が17.2%、「子の配偶者」が13.8%となっています。

年齢別でみると、65～84歳では「配偶者」が最も高く、なかでも70～74歳は81.0%と高くなっています。85歳以上では「子」が最も高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「子」が最も高くなっています。また、瑞穂楽南では「配偶者」も4割以上と高くなっています。



問2で「1. ない」以外を回答した方

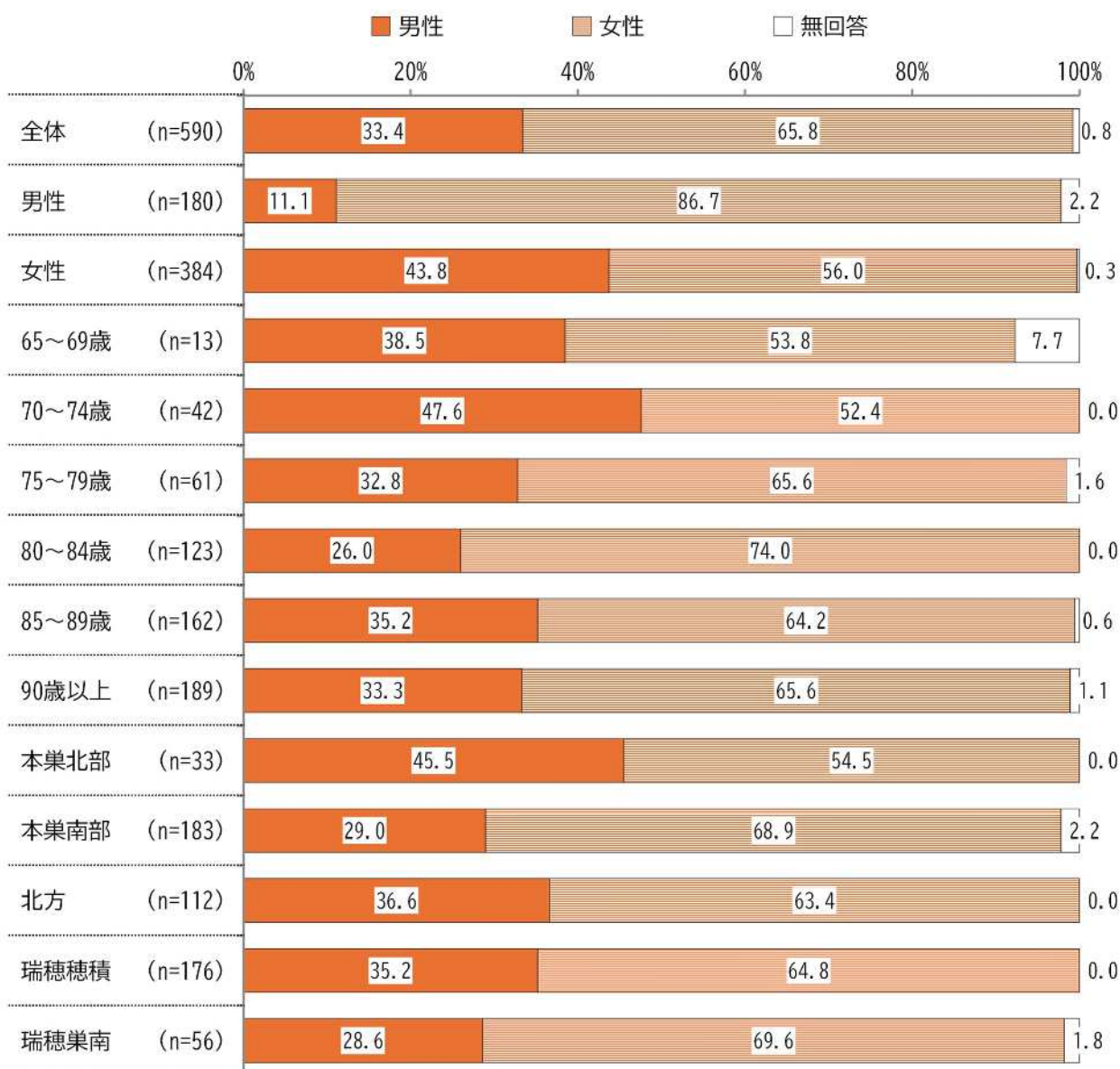
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「女性」が65.8%、「男性」が33.4%となっています。

性別で見ると、男性は「女性」が86.7%、「男性」が11.1%、女性は「女性」が56.0%、「男性」が43.8%となっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「女性」の割合が高くなっており、80～84歳では「女性」が74.0%と最も高くなっています。

地区別で見ても「女性」が高くなっています。



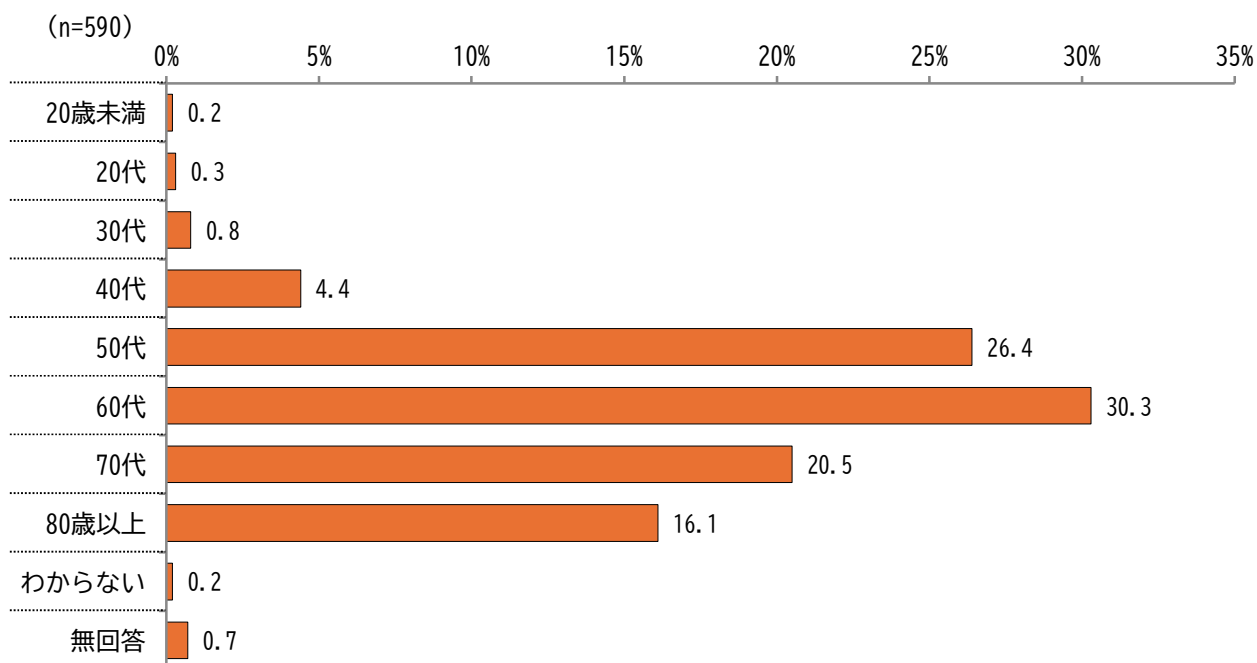
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「60代」が30.3%で最も高く、次いで「50代」が26.4%、「70代」が20.5%となっています。

性別で見ると、男性は「70代」が31.7%で最も高く、次いで「80歳以上」が28.3%、「60代」が18.3%、女性は「60代」が35.9%で最も高く、次いで「50代」が31.5%、「70代」が15.4%となっています。

年齢別で見ると、70～79歳では「70代」、80～89歳では「50代」、90歳以上では「60代」が最も高くなっています。

地区別で見ると、地区にかかわらず「60代」が最も高く、次いで瑞穂巣南を除く地区では「50代」、瑞穂巣南では「80歳以上」が高くなっています。



		全体	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
		上段:実数 下段:(%)										
全体		590 100.0	1 0.2	2 0.3	5 0.8	26 4.4	156 26.4	179 30.3	121 20.5	95 16.1	1 0.2	4 0.7
性別	男性	180 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	8 4.4	28 15.6	33 18.3	57 31.7	51 28.3	0 0.0	2 1.1
	女性	384 100.0	1 0.3	1 0.3	2 0.5	17 4.4	121 31.5	138 35.9	59 15.4	42 10.9	1 0.3	2 0.5
年齢	65～69歳	13 100.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0	5 38.5	4 30.8	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	70～74歳	42 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	4 9.5	1 2.4	7 16.7	27 64.3	2 4.8	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	61 100.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	8 13.1	16 26.2	2 3.3	24 39.3	9 14.8	0 0.0	1 1.6
	80～84歳	123 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	47 38.2	14 11.4	27 22.0	33 26.8	0 0.0	0 0.0
	85～89歳	162 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.5	60 37.0	57 35.2	1 0.6	39 24.1	1 0.6	0 0.0
	90歳以上	189 100.0	0 0.0	2 1.1	2 1.1	8 4.2	32 16.9	94 49.7	38 20.1	12 6.3	0 0.0	1 0.5
地区	本巢北部	33 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 36.4	13 39.4	3 9.1	5 15.2	0 0.0	0 0.0
	本巢南部	183 100.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	10 5.5	44 24.0	54 29.5	41 22.4	28 15.3	1 0.5	3 1.6
	北方	112 100.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	3 2.7	32 28.6	34 30.4	22 19.6	20 17.9	0 0.0	0 0.0
	瑞穂穂積	176 100.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	10 5.7	51 29.0	52 29.5	37 21.0	25 14.2	0 0.0	0 0.0
	瑞穂巢南	56 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.6	10 17.9	17 30.4	11 19.6	14 25.0	0 0.0	1 1.8

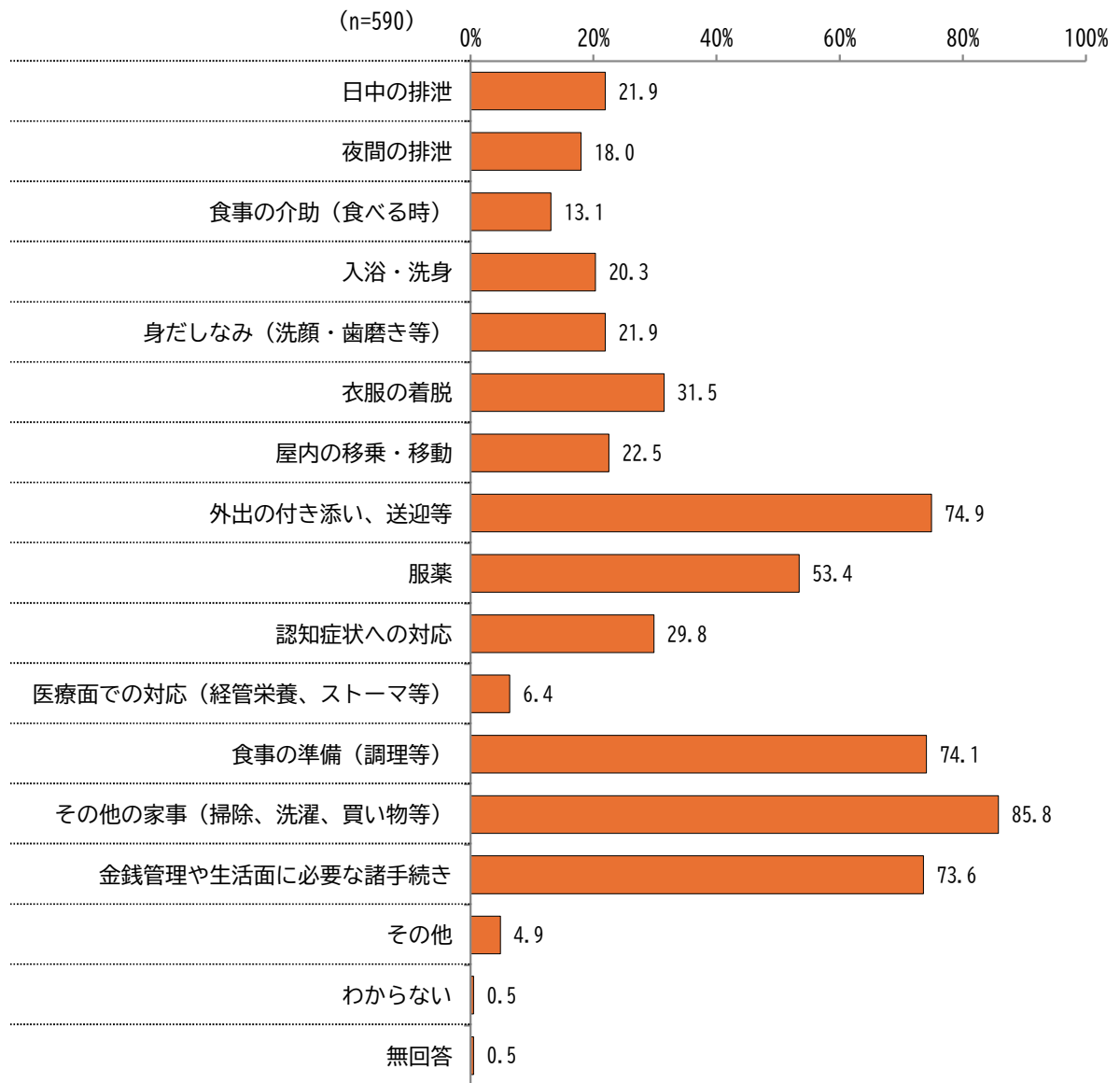
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.8%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が74.9%となっています。

性別で見ると、男性は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が88.3%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が81.7%、女性は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が76.6%となっています。

年齢別で見ると70歳以上では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高く、次いで70～74歳、85～89歳では「外出の付き添い、送迎等」、75～79歳、80～84歳では「食事の準備（調理等）」、90歳以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が高くなっています。

地区別で見ると、地区にかかわらず「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高く、次いで本巣南部、北方では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、瑞穂穂積では「外出の付き添い、送迎等」などが高くなっています。



	全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	い・外出の付き添い、送迎等	服薬	応認知症状への対応	（経管栄養、ストーマ等）	医療面での対応（食事の準備（調理等））	買除、洗濯、（掃除、家事、買い物等）	その他の家事、（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活に必要な諸手	その他	わからない	無回答
	上段:実数 下段:(%)																		
全体	590 100.0	129 21.9	106 18.0	77 13.1	120 20.3	129 21.9	186 31.5	133 22.5	442 74.9	315 53.4	176 29.8	38 6.4	437 74.1	506 85.8	434 73.6	29 4.9	3 0.5	3 0.5	
性別	男性	180 100.0	45 25.0	39 21.7	23 12.8	37 20.6	47 26.1	66 36.7	32 17.8	124 68.9	108 60.0	54 30.0	14 7.8	147 81.7	159 88.3	134 74.4	9 5.0	1 0.6	3 1.7
	女性	384 100.0	76 19.8	61 15.9	50 13.0	74 19.3	75 19.5	109 28.4	94 24.5	294 76.6	193 50.3	118 30.7	22 5.7	267 69.5	325 84.6	279 72.7	20 5.2	2 0.5	0 0.0
年齢	65～69歳	13 100.0	3 23.1	3 23.1	3 23.1	4 30.8	4 30.8	6 46.2	3 23.1	10 76.9	6 46.2	1 7.7	2 15.4	8 61.5	9 69.2	7 53.8	1 7.7	0 0.0	1 7.7
	70～74歳	42 100.0	9 21.4	8 19.0	8 19.0	14 33.3	10 23.8	18 42.9	12 28.6	34 81.0	17 40.5	4 9.5	2 4.8	33 78.6	36 85.7	28 66.7	2 4.8	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	61 100.0	14 23.0	13 21.3	7 11.5	11 18.0	16 26.2	21 34.4	15 24.6	45 73.8	39 63.9	17 27.9	2 3.3	46 75.4	50 82.0	45 73.8	2 3.3	0 0.0	2 3.3
	80～84歳	123 100.0	32 26.0	26 21.1	11 8.9	24 19.5	27 22.0	40 32.5	28 22.8	94 76.4	64 52.0	47 38.2	9 7.3	97 78.9	111 90.2	89 72.4	7 5.7	0 0.0	0 0.0
	85～89歳	162 100.0	26 16.0	24 14.8	18 11.1	29 17.9	24 14.8	35 21.6	32 19.8	116 71.6	83 51.2	52 32.1	12 7.4	101 62.3	134 82.7	112 69.1	7 4.3	0 0.0	0 0.0
	90歳以上	189 100.0	45 23.8	32 16.9	30 15.9	38 20.1	48 25.4	66 34.9	43 22.8	143 75.7	106 56.1	55 29.1	11 5.8	152 80.4	166 87.8	153 81.0	10 5.3	3 1.6	0 0.0
地区	本巢北部	33 100.0	6 18.2	7 21.2	4 12.1	12 36.4	5 15.2	8 24.2	7 21.2	25 75.8	21 63.6	7 21.2	2 6.1	25 75.8	31 93.9	24 72.7	3 9.1	0 0.0	0 0.0
	本巢南部	183 100.0	37 20.2	28 15.3	24 13.1	40 21.9	39 21.3	60 32.8	36 19.7	134 73.2	91 49.7	54 29.5	11 6.0	136 74.3	156 85.2	137 74.9	14 7.7	2 1.1	3 1.6
	北方	112 100.0	22 19.6	16 14.3	15 13.4	16 14.3	19 17.0	30 26.8	28 25.0	81 72.3	55 49.1	31 27.7	7 6.3	74 66.1	92 82.1	81 72.3	4 3.6	0 0.0	0 0.0
	瑞穂穂積	176 100.0	42 23.9	36 20.5	23 13.1	33 18.8	41 23.3	58 33.0	37 21.0	132 75.0	99 56.3	58 33.0	11 6.3	129 73.3	151 85.8	126 71.6	5 2.8	0 0.0	0 0.0
	瑞穂巢南	56 100.0	13 23.2	12 21.4	7 12.5	9 16.1	16 28.6	17 30.4	17 30.4	44 78.6	32 57.1	20 35.7	5 8.9	46 82.1	50 89.3	43 76.8	3 5.4	1 1.8	0 0.0

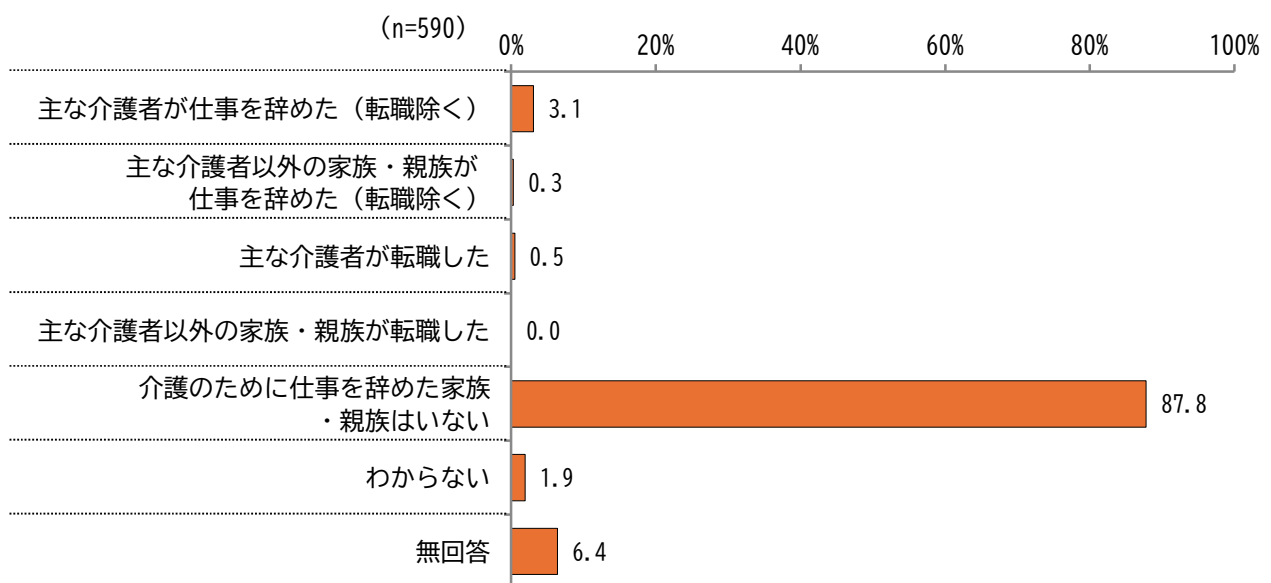
問2で「1. ない」以外を回答した方

問7 ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか  
(複数選択可)

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が87.8%で最も高くなっています。  
性別で見ると、男性、女性ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約9割と高くなっています。

年齢別で見ても、大きな差はみられません。

地区別で見ても、大きな差はみられません。



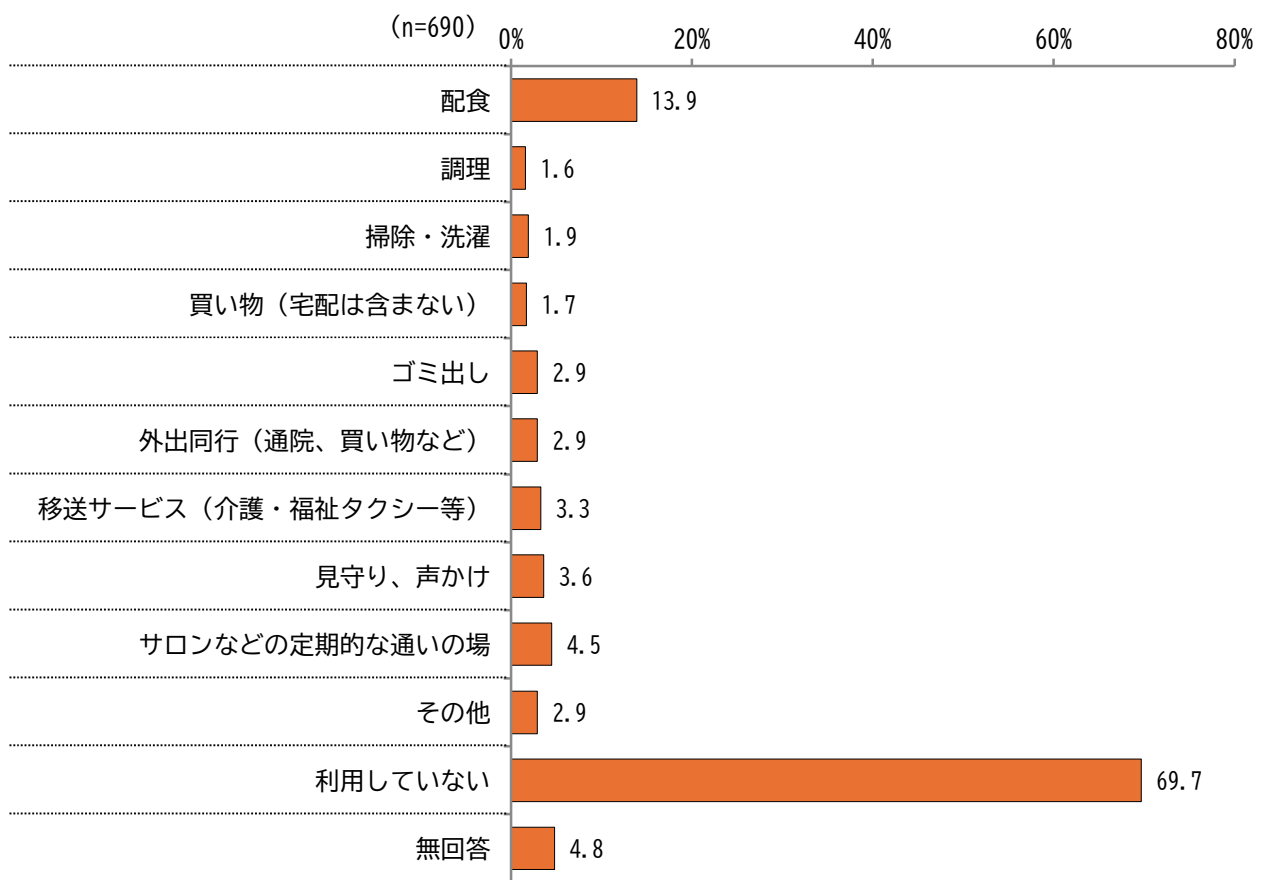
		全体	主な 介 護 者 が 仕 事 を 辞 め た （ 転 職 除 く ）	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 仕 事 を 辞 め た （ 転 職 除 く ）	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	介 護 の た め に 仕 事 を 辞 め た 家 族 ・ 親 族 は い な い	わ か ら な い	無 回 答
		上段:実数 下段:(%)							
全体		590 100.0	18 3.1	2 0.3	3 0.5	0 0.0	518 87.8	11 1.9	38 6.4
性別	男性	180 100.0	8 4.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	158 87.8	5 2.8	9 5.0
	女性	384 100.0	9 2.3	2 0.5	3 0.8	0 0.0	339 88.3	6 1.6	25 6.5
年齢	65～69歳	13 100.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 53.8	0 0.0	5 38.5
	70～74歳	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	37 88.1	3 7.1	2 4.8
	75～79歳	61 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	55 90.2	2 3.3	3 4.9
	80～84歳	123 100.0	4 3.3	1 0.8	1 0.8	0 0.0	111 90.2	4 3.3	2 1.6
	85～89歳	162 100.0	7 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	143 88.3	2 1.2	10 6.2
	90歳以上	189 100.0	6 3.2	1 0.5	1 0.5	0 0.0	165 87.3	0 0.0	16 8.5
地区	本巢北部	33 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 97.0	0 0.0	1 3.0
	本巢南部	183 100.0	6 3.3	1 0.5	2 1.1	0 0.0	159 86.9	2 1.1	13 7.1
	北方	112 100.0	4 3.6	0 0.0	1 0.9	0 0.0	103 92.0	1 0.9	3 2.7
	瑞穂穂積	176 100.0	6 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	153 86.9	7 4.0	10 5.7
	瑞穂巢南	56 100.0	1 1.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	47 83.9	1 1.8	6 10.7

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「利用していない」が 69.7%で最も高く、次いで「配食」が 13.9%となっています。性別でみると、男性、女性ともに「利用していない」が7割前後で最も高く、次いで「配食」となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「利用していない」が最も高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「利用していない」が最も高くなっており、次いで本巣北部を除く地区では「配食」が高くなっており、本巣北部では「見守り、声かけ」となっています。



		全体	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	院外、買い物など	外出(タクシー等)	移送サービス	見守り、声かけ	期サロ的な通いの場	その他	利用していない	無回答
上段:実数 下段:(%)															
全体		690 100.0	96 13.9	11 1.6	13 1.9	12 1.7	20 2.9	20 2.9	23 3.3	25 3.6	31 4.5	20 2.9	481 69.7	33 4.8	
性別	男性	211 100.0	30 14.2	6 2.8	5 2.4	8 3.8	9 4.3	6 2.8	3 1.4	7 3.3	3 1.4	7 3.3	154 73.0	10 4.7	
	女性	450 100.0	64 14.2	5 1.1	7 1.6	4 0.9	11 2.4	13 2.9	18 4.0	17 3.8	27 6.0	12 2.7	307 68.2	20 4.4	
年齢	65～69歳	15 100.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	8 53.3	2 13.3	
	70～74歳	50 100.0	6 12.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	3 6.0	39 78.0	0 0.0	
	75～79歳	74 100.0	14 18.9	1 1.4	1 1.4	2 2.7	4 5.4	5 6.8	4 5.4	4 5.4	3 4.1	4 5.4	47 63.5	3 4.1	
	80～84歳	148 100.0	18 12.2	3 2.0	6 4.1	3 2.0	3 2.0	2 1.4	4 2.7	4 2.7	8 5.4	5 3.4	106 71.6	5 3.4	
	85～89歳	189 100.0	30 15.9	4 2.1	2 1.1	5 2.6	7 3.7	6 3.2	5 2.6	9 4.8	8 4.2	0 0.0	133 70.4	10 5.3	
	90歳以上	214 100.0	26 12.1	2 0.9	3 1.4	2 0.9	5 2.3	4 1.9	9 4.2	7 3.3	11 5.1	6 2.8	148 69.2	13 6.1	
地区	本巢北部	35 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.7	3 8.6	1 2.9	0 0.0	4 11.4	2 5.7	2 5.7	25 71.4	1 2.9	
	本巢南部	198 100.0	20 10.1	2 1.0	3 1.5	4 2.0	4 2.0	5 2.5	5 2.5	4 2.0	4 2.0	5 2.5	155 78.3	7 3.5	
	北方	144 100.0	15 10.4	0 0.0	3 2.1	0 0.0	3 2.1	2 1.4	7 4.9	2 1.4	11 7.6	3 2.1	101 70.1	9 6.3	
	瑞穂穂積	214 100.0	45 21.0	7 3.3	5 2.3	6 2.8	10 4.7	10 4.7	7 3.3	13 6.1	12 5.6	7 3.3	133 62.1	9 4.2	
	瑞穂巢南	66 100.0	14 21.2	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	2 3.0	1 1.5	1 1.5	2 3.0	44 66.7	4 6.1	

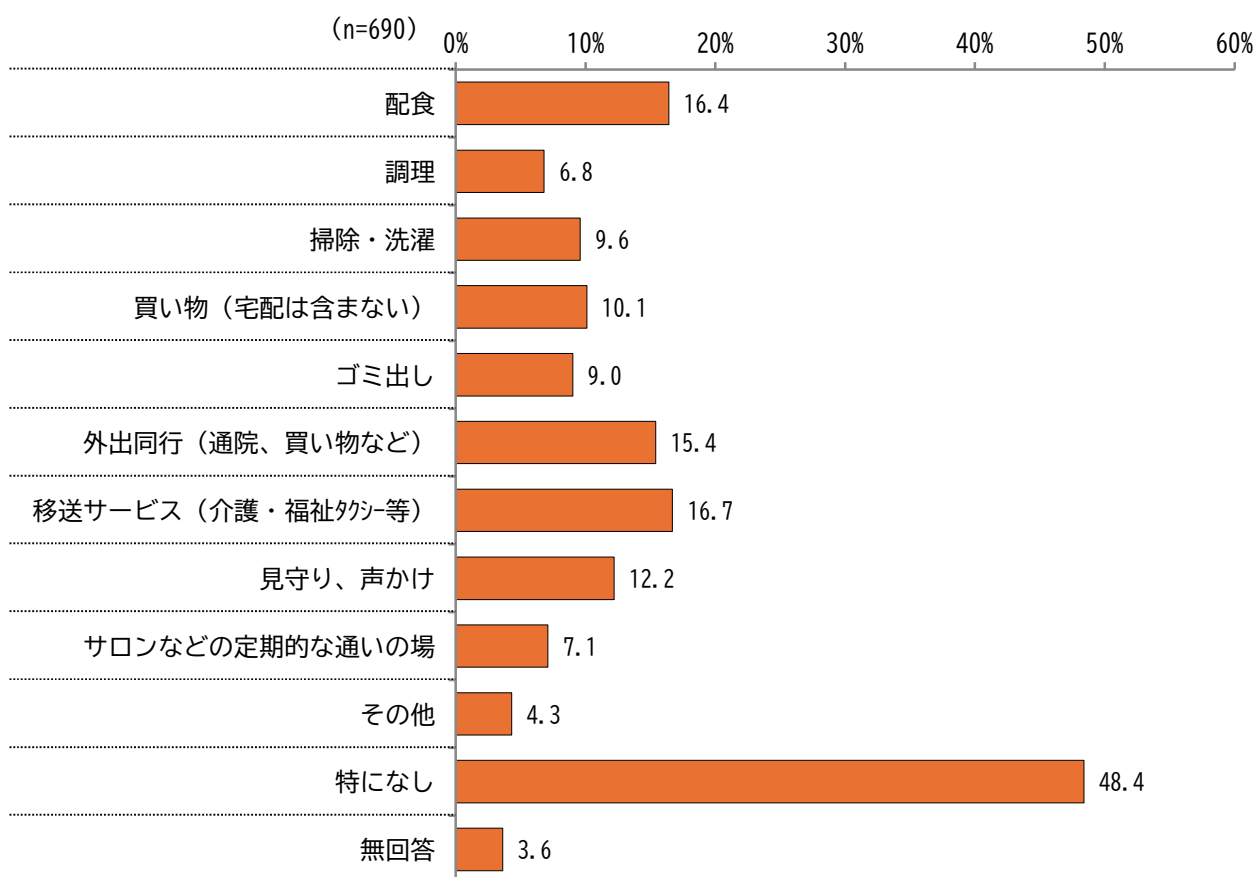
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください  
（複数選択可）

全体では、「特になし」が48.4%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.7%、「配食」が16.4%となっています。

性別でみると、男性は「特になし」が52.6%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.6%、女性は「特になし」が45.3%で最も高く、次いで「配食」が18.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.8%となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「特になし」が最も高くなっています。次いで65～69歳、75～79歳、80～84歳では「外出同行（通院、買い物など）」、70～74歳、84～89歳では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、90歳以上では「配食」が高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「特になし」が最も高く、次いで本巣北部では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「サロンなどの定期的な通いの場」、本巣南部では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.2%、「外出同行（通院、買い物など）」、北方、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「配食」などとなっています。



		全体	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出(買い物など)	院外同行(通院、買い物など)	移動サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	期サロ的な通いの場	その他	特になし	無回答
上段:実数 下段:(%)															
全体		690 100.0	113 16.4	47 6.8	66 9.6	70 10.1	62 9.0	106 15.4	115 16.7	84 12.2	49 7.1	30 4.3	334 48.4	25 3.6	
性別	男性	211 100.0	30 14.2	13 6.2	12 5.7	22 10.4	20 9.5	33 15.6	48 22.7	19 9.0	13 6.2	3 1.4	111 52.6	7 3.3	
	女性	450 100.0	82 18.2	32 7.1	54 12.0	48 10.7	41 9.1	71 15.8	65 14.4	63 14.0	36 8.0	27 6.0	204 45.3	16 3.6	
年齢	65~69歳	15 100.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	2 13.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7	1 6.7	2 13.3	0 0.0	7 46.7	0 0.0	
	70~74歳	50 100.0	9 18.0	5 10.0	6 12.0	7 14.0	6 12.0	8 16.0	10 20.0	4 8.0	4 8.0	4 8.0	19 38.0	2 4.0	
	75~79歳	74 100.0	13 17.6	3 4.1	7 9.5	8 10.8	4 5.4	14 18.9	13 17.6	10 13.5	7 9.5	1 1.4	34 45.9	2 2.7	
	80~84歳	148 100.0	16 10.8	10 6.8	10 6.8	16 10.8	9 6.1	21 14.2	17 11.5	17 11.5	8 5.4	6 4.1	84 56.8	4 2.7	
	85~89歳	189 100.0	37 19.6	15 7.9	25 13.2	18 9.5	25 13.2	31 16.4	44 23.3	28 14.8	17 9.0	7 3.7	82 43.4	9 4.8	
	90歳以上	214 100.0	37 17.3	14 6.5	17 7.9	19 8.9	16 7.5	29 13.6	30 14.0	24 11.2	11 5.1	12 5.6	108 50.5	8 3.7	
	地区	本巢北部	35 100.0	5 14.3	0 0.0	2 5.7	3 8.6	2 5.7	1 2.9	7 20.0	6 17.1	7 20.0	3 8.6	13 37.1	0 0.0
本巢南部		198 100.0	39 19.7	22 11.1	25 12.6	28 14.1	31 15.7	44 22.2	46 23.2	28 14.1	19 9.6	10 5.1	87 43.9	4 2.0	
北方		144 100.0	19 13.2	10 6.9	15 10.4	14 9.7	9 6.3	16 11.1	17 11.8	14 9.7	11 7.6	7 4.9	74 51.4	7 4.9	
瑞穂穂積		214 100.0	38 17.8	11 5.1	20 9.3	20 9.3	17 7.9	35 16.4	33 15.4	27 12.6	10 4.7	10 4.7	107 50.0	6 2.8	
瑞穂巢南		66 100.0	10 15.2	1 1.5	3 4.5	5 7.6	2 3.0	7 10.6	10 15.2	7 10.6	1 1.5	0 0.0	34 51.5	5 7.6	

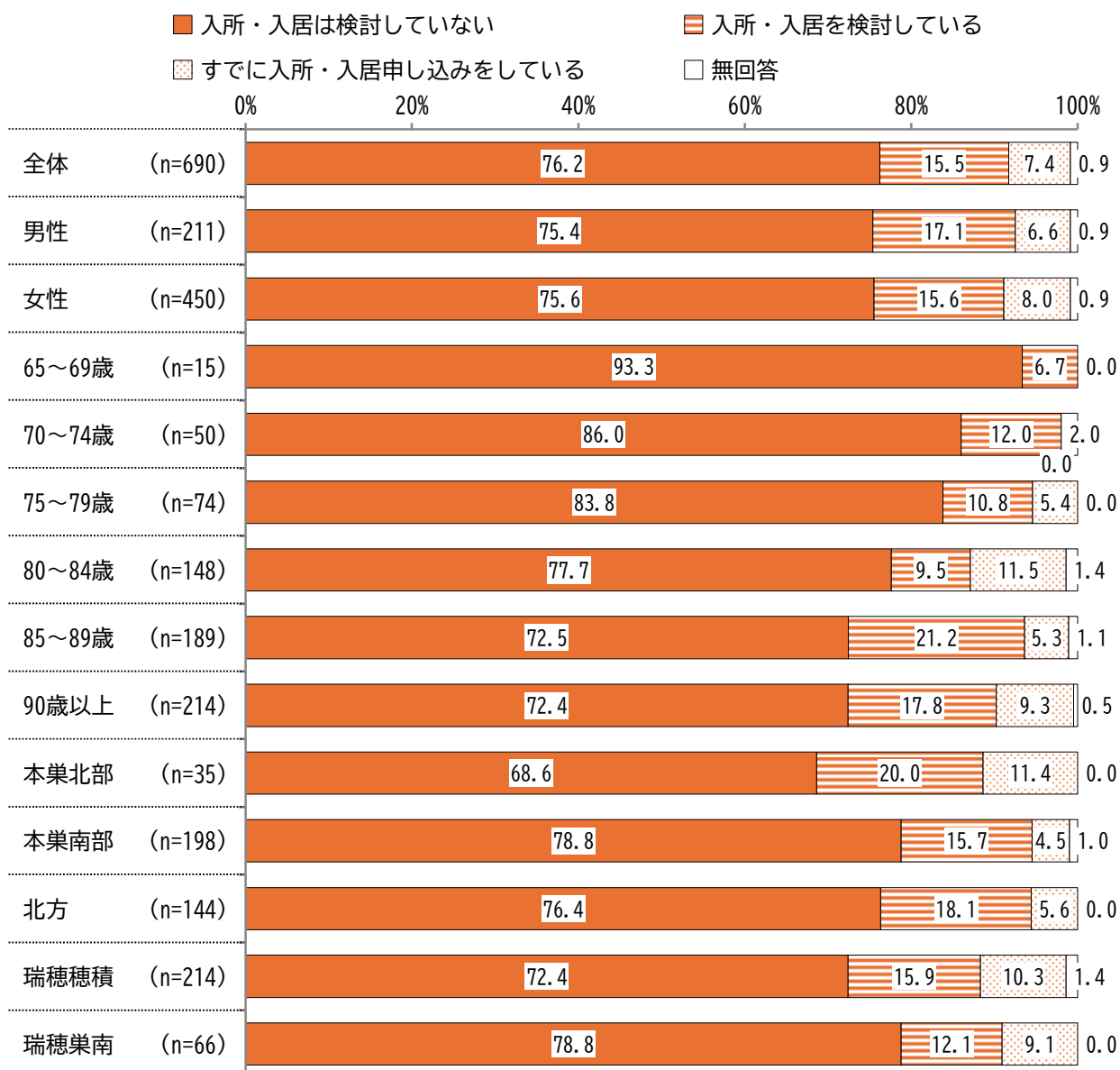
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください  
(1つを選択)

全体では、「入所・入居は検討していない」が 76.2%、「入所・入居を検討している」が 15.5%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、85～89歳で「入所・入居を検討している」が2割と高くなっています。

地区別でみると、本巢北部では「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」をあわせると3割以上となっています。



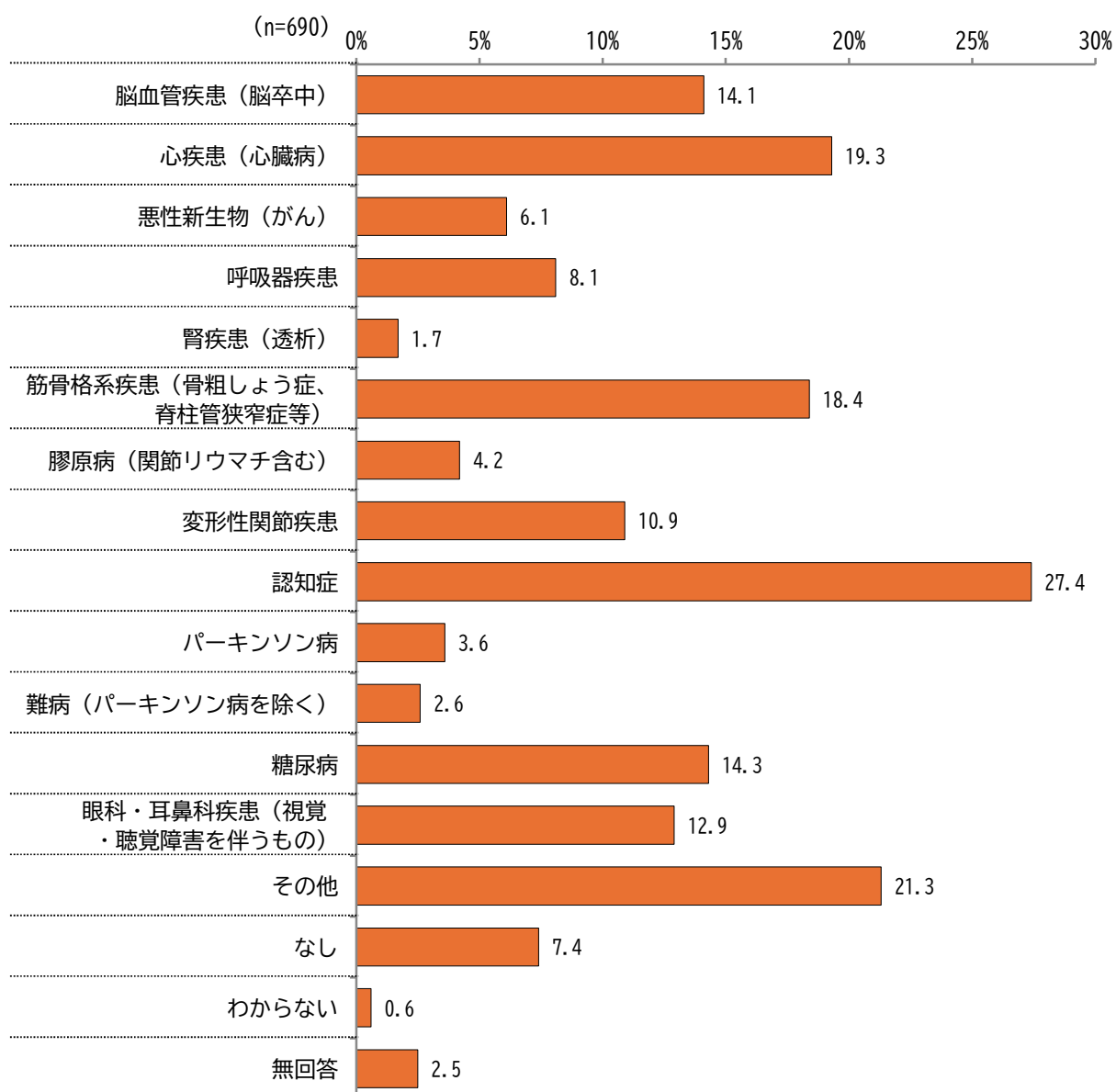
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください  
（複数選択可）

全体では、「認知症」が 27.4%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が 19.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 18.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「認知症」が最も高くなっています。次いで、男性では「心疾患（心臓病）」、「脳血管疾患（脳卒中）」、「糖尿病」、女性では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「心疾患（心臓病）」が高くなっています。

年齢別でみると、65～69 歳、70～74 歳では「脳血管疾患（脳卒中）」、75～79 歳では「糖尿病」、80～84 歳、85～89 歳では「認知症」、90 歳以上では「心疾患（心臓病）」、「認知症」が最も高くなっています。

地区別でみると、本巢北部では「心疾患（心臓病）」が最も高く、本巢南部、北方、瑞穂穂積、瑞穂巢南では「認知症」が最も高くなっています。



	全体	中 脳血管疾患 (脳卒 )	心 疾患(心臓病)	悪 性 新 生 物 (が ん)	呼 吸 器 疾 患	腎 疾 患 (透 析)	管 狭 窄 症 等 ( )	筋 骨 格 系 疾 患 ( )	変 形 性 関 節 疾 患	認 知 症	バ ー キ ン ソ ン 病	難 病 ( バ ー キ ン ソ ン 病 を 除 く )	糖 尿 病	眼 科 ・ 耳 鼻 科 疾 患 ( 視 覚 ・ 聴 覚 障 害 を 伴 う も の )	そ の 他	な し	わ か ら な い	無 回 答	
	上段:実数 下段:(%)																		
全体	690 100.0	97 14.1	133 19.3	42 6.1	56 8.1	12 1.7	127 18.4	29 4.2	75 10.9	189 27.4	25 3.6	18 2.6	99 14.3	89 12.9	147 21.3	51 7.4	4 0.6	17 2.5	
性別	男性	211 100.0	42 19.9	44 20.9	17 8.1	31 14.7	5 2.4	22 10.4	7 3.3	59 28.0	13 6.2	8 3.8	42 19.9	22 10.4	39 18.5	15 7.1	1 0.5	3 1.4	
	女性	450 100.0	45 10.0	83 18.4	21 4.7	21 4.7	6 1.3	102 22.7	21 4.7	63 14.0	126 28.0	12 2.7	7 1.6	52 11.6	64 14.2	103 22.9	35 7.8	3 0.7	13 2.9
年齢	65~69歳	15 100.0	6 40.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0	3 20.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	
	70~74歳	50 100.0	12 24.0	4 8.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	7 14.0	6 12.0	2 4.0	2 4.0	7 14.0	5 10.0	7 14.0	5 10.0	9 18.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0
	75~79歳	74 100.0	14 18.9	12 16.2	4 5.4	10 13.5	1 1.4	6 8.1	3 4.1	3 4.1	18 24.3	4 5.4	6 8.1	20 27.0	7 9.5	15 20.3	5 6.8	1 1.4	3 4.1
	80~84歳	148 100.0	26 17.6	23 15.5	9 6.1	19 12.8	6 4.1	27 18.2	5 3.4	12 8.1	46 31.1	4 2.7	3 2.0	26 17.6	12 8.1	40 27.0	5 3.4	1 0.7	4 2.7
	85~89歳	189 100.0	12 6.3	35 18.5	13 6.9	13 6.9	2 1.1	41 21.7	7 3.7	25 13.2	65 34.4	8 4.2	1 0.5	17 9.0	24 12.7	38 20.1	21 11.1	0 0.0	3 1.6
	90歳以上	214 100.0	27 12.6	57 26.6	13 6.1	13 6.1	3 1.4	44 20.6	7 3.3	31 14.5	57 26.6	0 0.0	3 1.4	26 12.1	41 19.2	41 19.2	18 8.4	1 0.5	5 2.3
地区	本巢北部	35 100.0	3 8.6	14 40.0	1 2.9	2 5.7	1 2.9	7 20.0	3 8.6	4 11.4	6 17.1	1 2.9	0 0.0	4 11.4	4 22.9	8 8.6	3 0.0	0 0.0	
	本巢南部	198 100.0	27 13.6	30 15.2	9 4.5	20 10.1	4 2.0	33 16.7	7 3.5	26 13.1	50 25.3	9 4.5	4 2.0	25 12.6	31 15.7	47 23.7	18 9.1	3 1.5	3 1.5
	北方	144 100.0	18 12.5	30 20.8	16 11.1	10 6.9	1 0.7	25 17.4	8 5.6	16 11.1	36 25.0	6 4.2	4 2.8	22 15.3	16 11.1	25 17.4	12 8.3	1 0.7	3 2.1
	瑞穂穂積	214 100.0	28 13.1	37 17.3	8 3.7	15 7.0	4 1.9	46 21.5	7 3.3	20 9.3	72 33.6	6 2.8	5 2.3	36 16.8	32 15.0	48 22.4	13 6.1	0 0.0	8 3.7
	瑞穂巢南	66 100.0	10 15.2	16 24.2	4 6.1	4 6.1	1 1.5	13 19.7	2 3.0	7 10.6	19 28.8	3 4.5	2 3.0	6 9.1	3 4.5	13 19.7	4 6.1	0 0.0	2 3.0

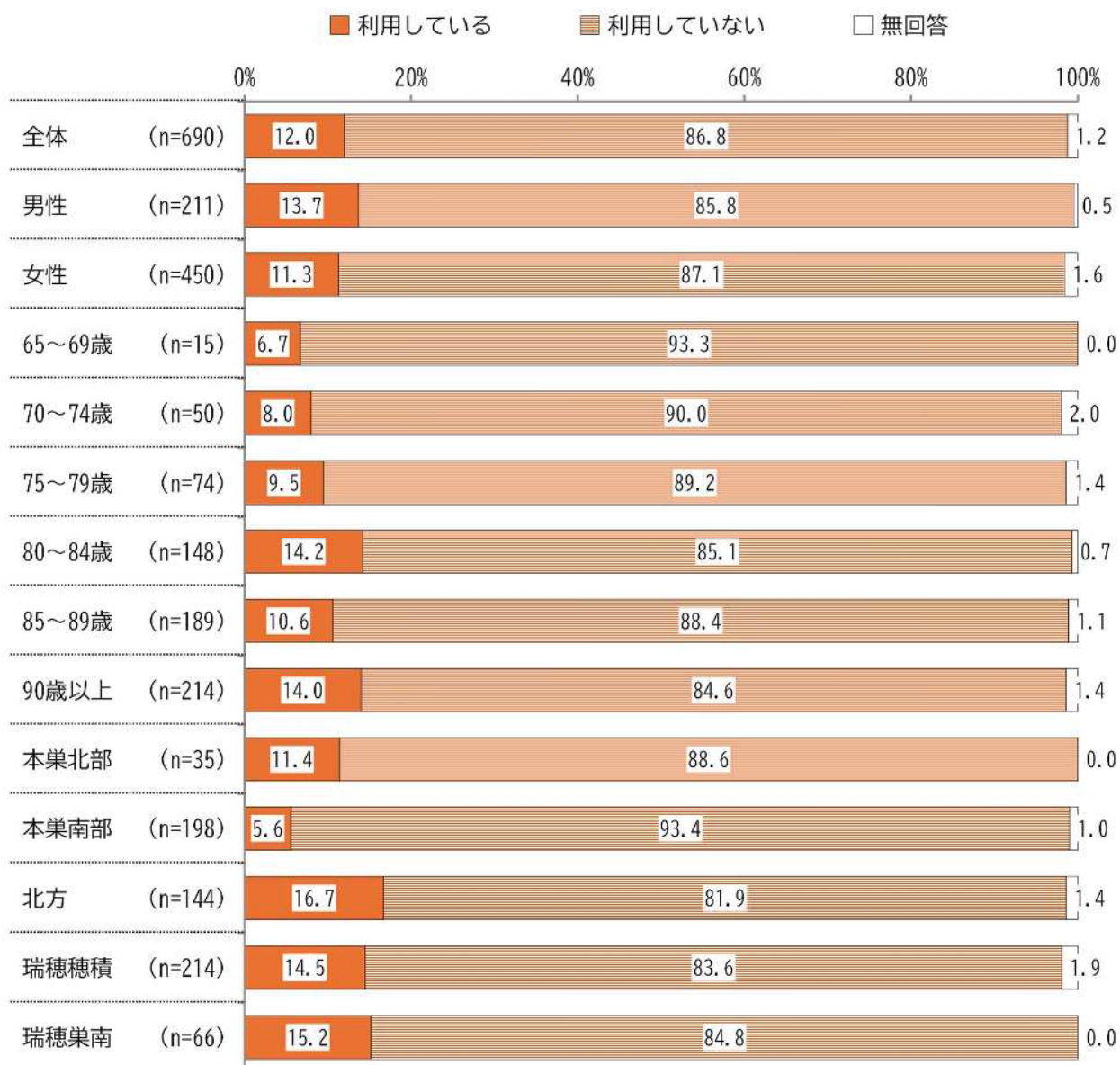
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

全体では、「利用していない」が86.8%、「利用している」が12.0%となっています。

性別でみても大きな差はみられません。

年齢別でみると、80～84歳、90歳以上で「利用している」が1割以上となっています。

地区別でみると、本巣南部で「利用していない」が93.4%で9割以上となっています。



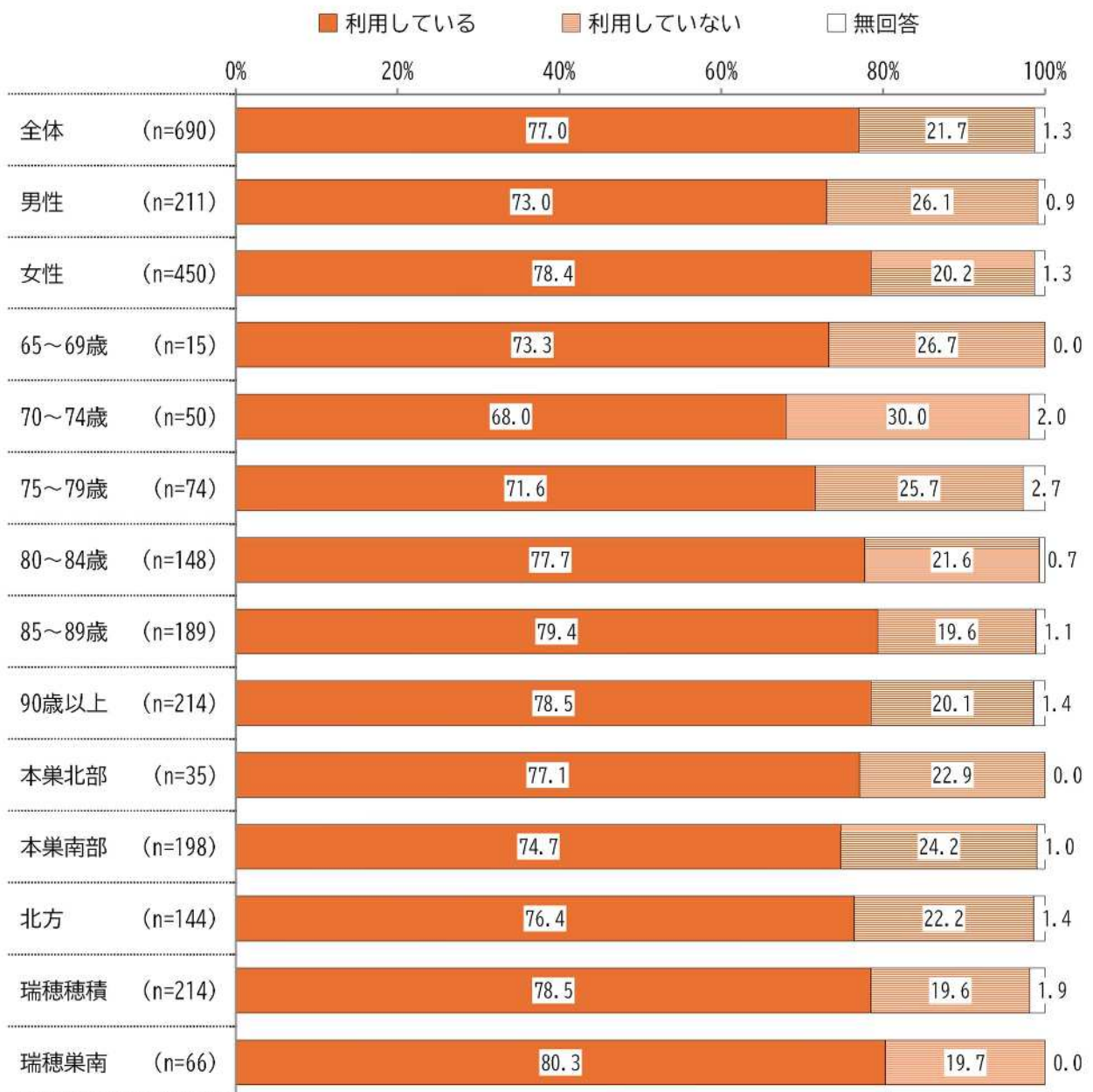
問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか (1つを選択)

全体では、「利用している」が 77.0%、「利用していない」が 21.7%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、85～89 歳、90 歳以上では「利用している」が約 8 割となっています。

地区別でみても、大きな差はみられません。



問 13 で「2. 利用していない」と回答した方

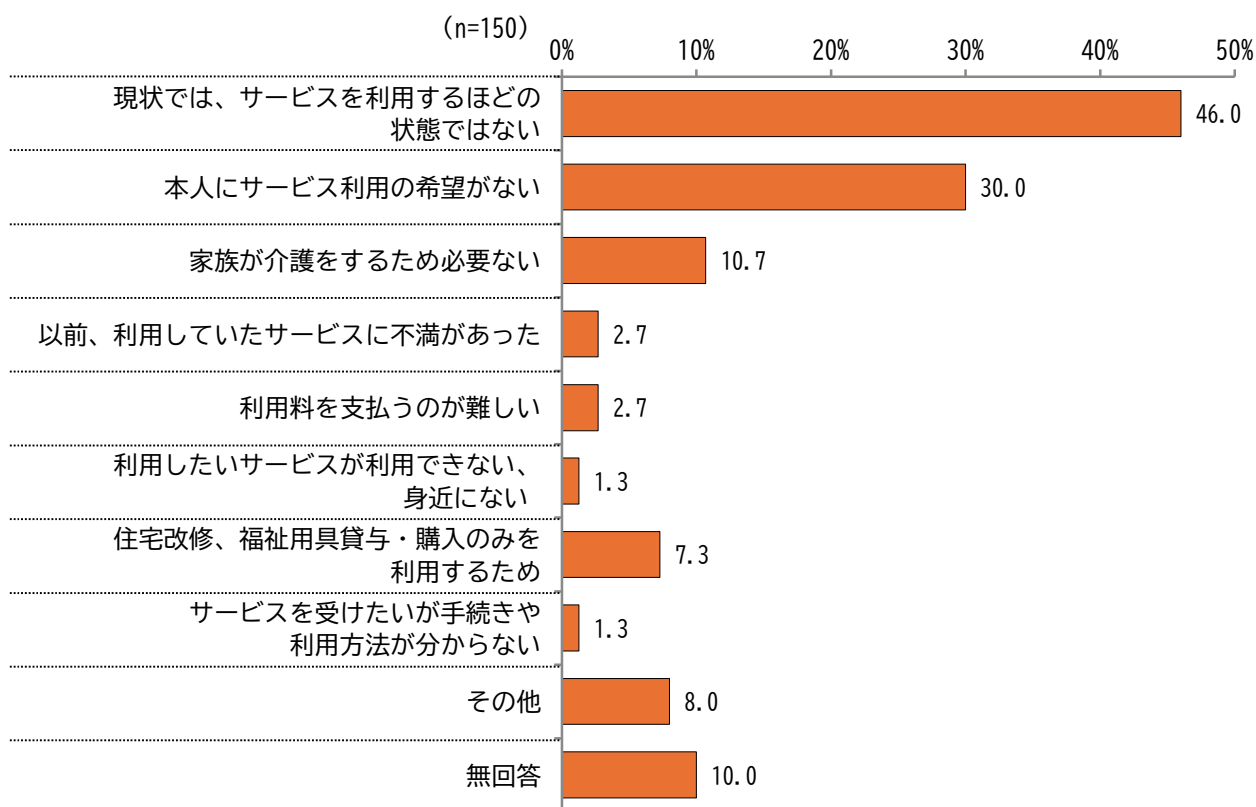
問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 46.0%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 30.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 10.7%となっています。

性別で見ると、男性では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 50.9%、女性は 42.9%で最も高く、女性よりも男性が 8ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 4～5割で最も高くなっています。また、75歳以上では「本人にサービス利用の希望がない」が 3割前後と高くなっています。

地区別で見ると、本巣北部を除く地区では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」となっています。



		全体	の ス 現 状 を 利 用 で は な い ほ ど ビ	用 本 人 の 希 望 が な い ス 利	た 家 族 が 介 護 を す る	が あ っ た ビ ス に 不 満 い	以 前 、 利 用 し て 満 い	が 利 用 料 を 支 払 う の 難 し い	ス リ 、 身 近 に で き な い	利 用 し た い サ ー ビ ス	住 宅 改 修 、 福 祉 用 具 貸 与 ・ 購 入 の た め	方 法 が 分 か ら な い	サ ー ビ ス を 受 け た	そ の 他	無 回 答
上段:実数 下段:(%)															
全体		150 100.0	69 46.0	45 30.0	16 10.7	4 2.7	4 2.7	2 1.3	11 7.3	2 1.3	12 8.0	15 10.0			
性別	男性	55 100.0	28 50.9	17 30.9	4 7.3	1 1.8	2 3.6	1 1.8	4 7.3	1 1.8	5 9.1	6 10.9			
	女性	91 100.0	39 42.9	27 29.7	12 13.2	3 3.3	2 2.2	1 1.1	7 7.7	1 1.1	7 7.7	8 8.8			
年齢	65～69歳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0			
	70～74歳	15 100.0	8 53.3	2 13.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7			
	75～79歳	19 100.0	8 42.1	6 31.6	4 21.1	1 5.3	0 0.0	1 5.3	4 21.1	0 0.0	2 10.5	0 0.0			
	80～84歳	32 100.0	13 40.6	9 28.1	2 6.3	2 6.3	1 3.1	1 3.1	2 6.3	1 3.1	2 6.3	5 15.6			
	85～89歳	37 100.0	19 51.4	11 29.7	3 8.1	0 0.0	2 5.4	0 0.0	3 8.1	0 0.0	3 8.1	4 10.8			
	90歳以上	43 100.0	19 44.2	16 37.2	4 9.3	1 2.3	1 2.3	0 0.0	2 4.7	1 2.3	2 4.7	5 11.6			
地区	本巢北部	8 100.0	1 12.5	7 87.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
	本巢南部	48 100.0	26 54.2	15 31.3	6 12.5	1 2.1	2 4.2	0 0.0	6 12.5	1 2.1	1 2.1	1 2.1			
	北方	32 100.0	17 53.1	7 21.9	3 9.4	0 0.0	1 3.1	0 0.0	1 3.1	1 3.1	2 6.3	3 9.4			
	瑞穂穂積	42 100.0	20 47.6	13 31.0	3 7.1	1 2.4	1 2.4	2 4.8	3 7.1	0 0.0	6 14.3	3 7.1			
	瑞穂巢南	13 100.0	3 23.1	2 15.4	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	5 38.5			

## 2 主な介護者の方の状況について（B票）

【B票】主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入いただく項目

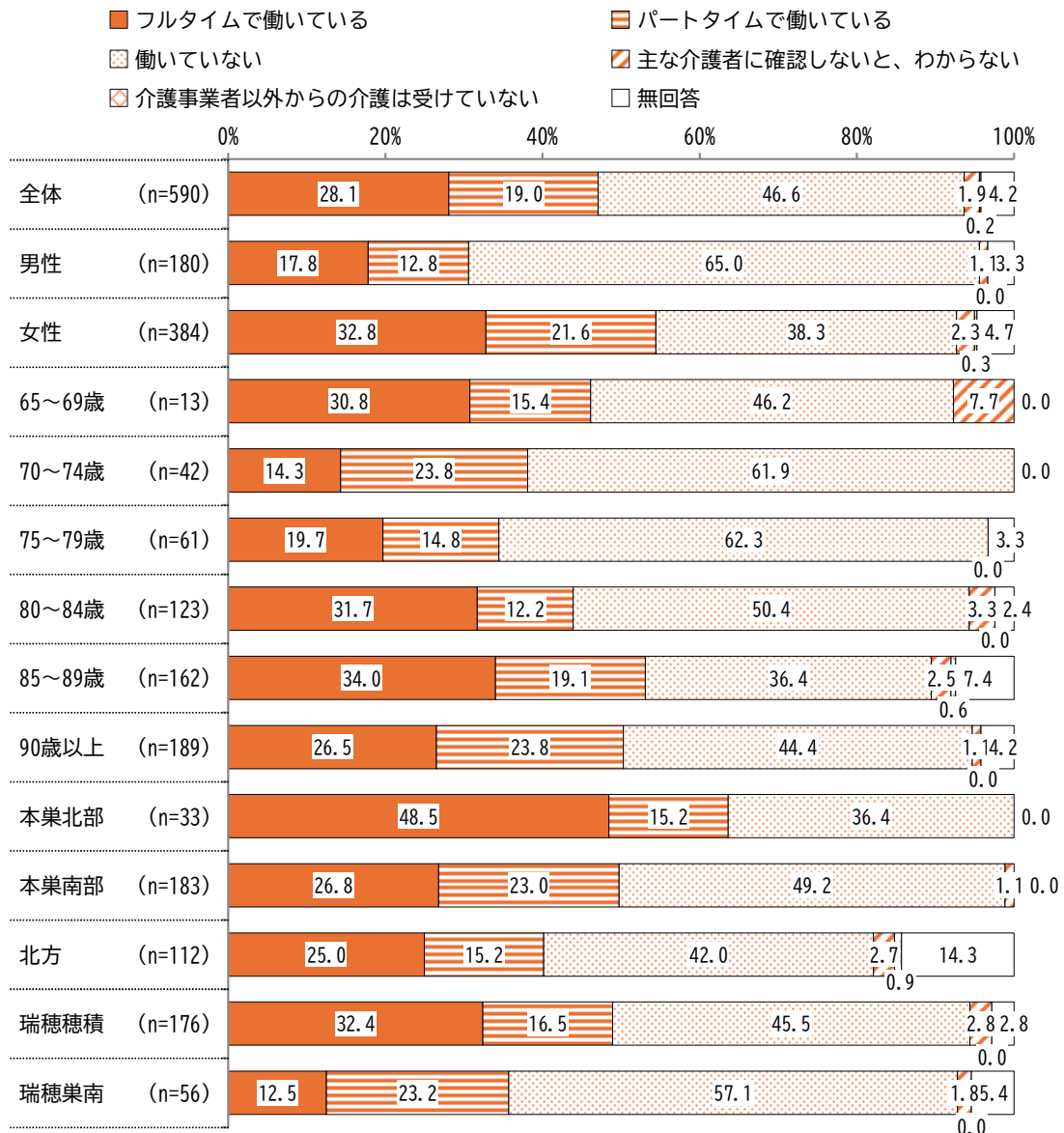
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「働いていない」が46.6%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が28.1%、「パートタイムで働いている」が19.0%となっています。

性別で見ると、「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」をあわせた“働いている”で、男性は30.6%、女性は54.4%と男性よりも女性23.8ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「働いていない」が最も高くなっています。次いで65～69歳、80～84歳、85～89歳で「フルタイムで働いている」が3割以上と高くなっています。また、85～89歳、90歳以上で“働いている”が5割以上と高くなっています。

地区別で見ると、本巣北部では「フルタイムで働いている」が48.5%で最も高くなっています。本巣南部、北方、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「働いていない」が4割以上で最も高くなっています。



問1で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方

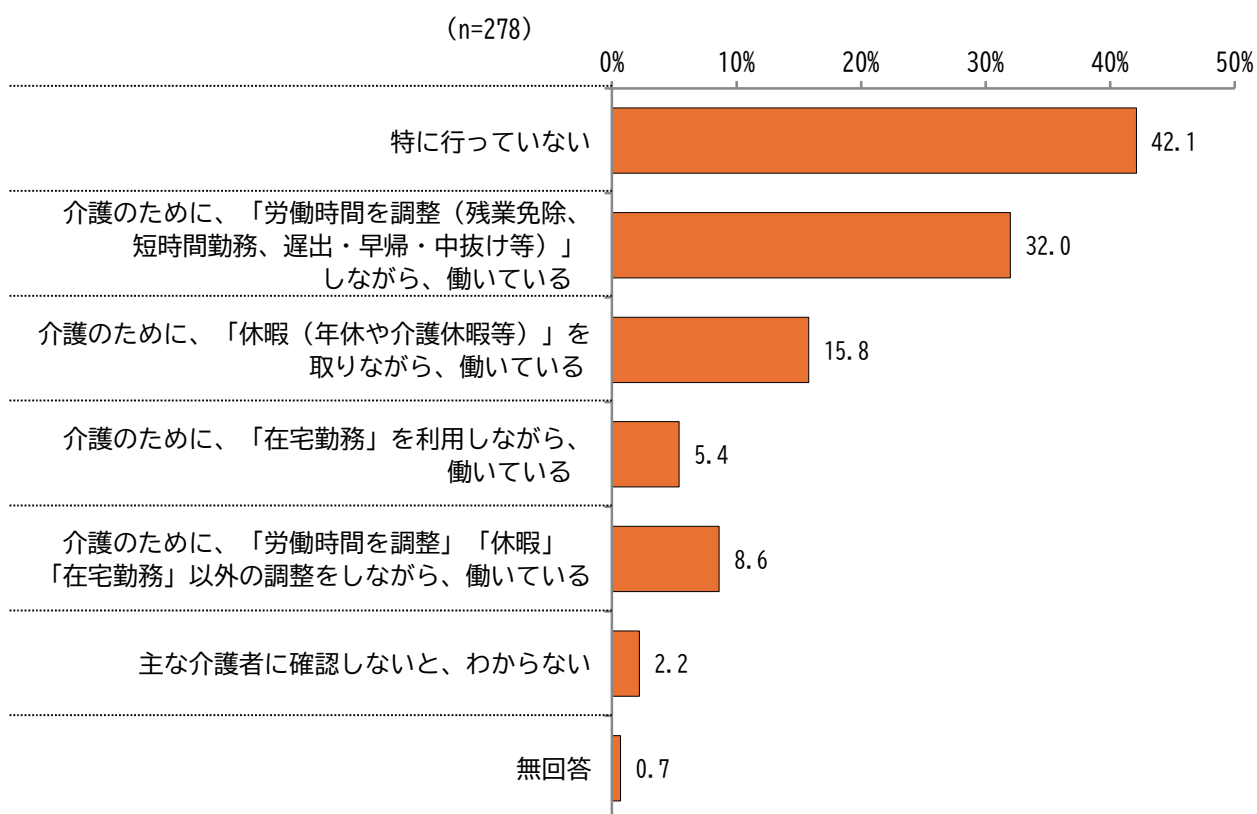
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

全体では、「特に行っていない」が42.1%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が32.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が15.8%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると、65～69歳、75～79歳では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、70～74歳、80歳以上では「特に行っていない」が最も高くなっています。

地区でみると、瑞穂巣南を除く地区では「特に行っていない」が最も高く4割以上となっています。瑞穂巣南では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.0%で最も高くなっています。



		全体	特に行っていない	ら・働いて出・働いている	整（残・業・除、短時間勤務、遅	介護のために、「労働時間を調	働いている	介護のために、「休暇（年休、	利用しながら、「在宅勤務」を	介護のために、「在宅勤務」を	の調整をしながら、「在宅勤務」以外	介護のために、「労働時間を調	からない	主な介護者に確認しないと、わ	無回答
上段:実数 下段:(%)															
全体		278 100.0	117 42.1	89 32.0	44 15.8	15 5.4	24 8.6	6 2.2	2 0.7						
性別	男性	55 100.0	21 38.2	20 36.4	11 20.0	5 9.1	2 3.6	0 0.0	1 1.8						
	女性	209 100.0	90 43.1	64 30.6	30 14.4	10 4.8	21 10.0	6 2.9	1 0.5						
年齢	65～69歳	6 100.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0						
	70～74歳	16 100.0	9 56.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3						
	75～79歳	21 100.0	4 19.0	7 33.3	5 23.8	0 0.0	3 14.3	2 9.5	0 0.0						
	80～84歳	54 100.0	20 37.0	19 35.2	8 14.8	4 7.4	6 11.1	0 0.0	0 0.0						
	85～89歳	86 100.0	40 46.5	24 27.9	15 17.4	5 5.8	6 7.0	2 2.3	1 1.2						
	90歳以上	95 100.0	43 45.3	34 35.8	14 14.7	4 4.2	7 7.4	1 1.1	0 0.0						
地区	本巣北部	21 100.0	9 42.9	4 19.0	6 28.6	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0						
	本巣南部	91 100.0	42 46.2	28 30.8	12 13.2	2 2.2	8 8.8	1 1.1	1 1.1						
	北方	45 100.0	21 46.7	15 33.3	4 8.9	2 4.4	2 4.4	3 6.7	0 0.0						
	瑞穂穂積	86 100.0	36 41.9	28 32.6	15 17.4	9 10.5	8 9.3	0 0.0	1 1.2						
	瑞穂巣南	20 100.0	3 15.0	8 40.0	4 20.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0						

問1で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方

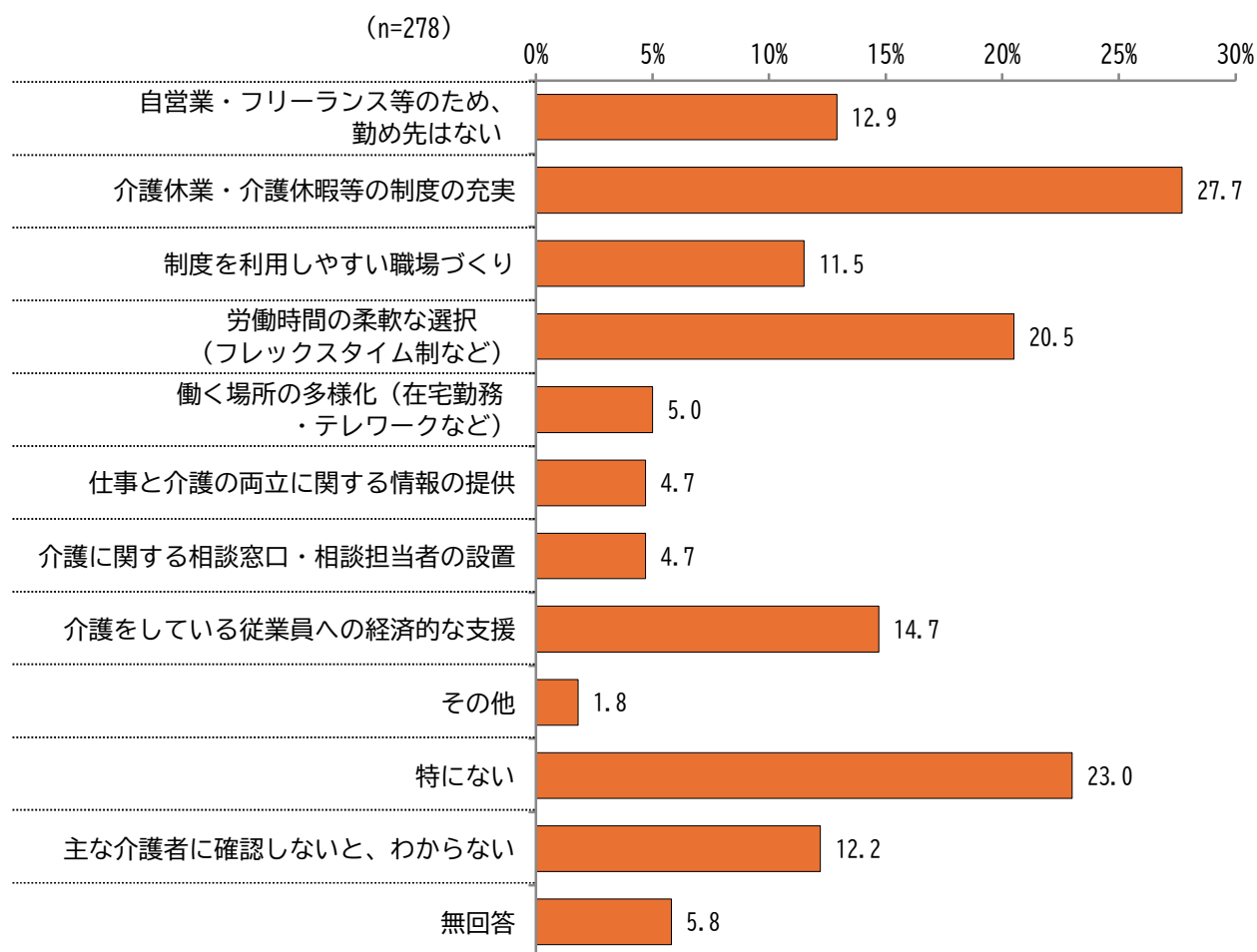
問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.7%で最も高く、次いで「特にない」が23.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が20.5%となっています。

性別でみると、男性は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が41.8%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.5%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.6%、女性は「特にない」が24.4%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が22.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が20.6%となっています。

年齢別でみると、80～84歳を除く年代では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、80～84歳では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっています。また、75～79歳、80～84歳では「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合も高くなっています。

地区でみると、本巣北部では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、本巣南部、瑞穂穂積では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、北方では「特にない」、瑞穂巣南では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「特にない」が最も高くなっています。



		全体	め先は ない	自営業・フリー ランスのため、勤 ラ	介護休業・介護休 暇の制度の充実	介護休業・介護休 暇の制度の充実	制度を利用しやす い職場づくり	労働時間の柔軟な 選択（フレックス タイム制など）	働く場所の多様化 （在宅勤務・テレ ワークなど）	仕事と介護の両立 に関する情報の提 供	介護に関する相談 窓口・相談担当者 の設置	介護をしながらの 経済的な支 援	その他	特 に ない	主な介護者に確 認 し ない	無 回 答
		上段:実数 下段:(%)														
全体		278	36	77	32	57	14	13	13	41	5	64	34	16		
		100.0	12.9	27.7	11.5	20.5	5.0	4.7	4.7	14.7	1.8	23.0	12.2	5.8		
性別	男性	55	5	23	9	14	3	4	5	13	1	8	3	5		
		100.0	9.1	41.8	16.4	25.5	5.5	7.3	9.1	23.6	1.8	14.5	5.5	9.1		
性別	女性	209	30	47	22	43	11	9	8	26	4	51	31	11		
		100.0	14.4	22.5	10.5	20.6	5.3	4.3	3.8	12.4	1.9	24.4	14.8	5.3		
年齢	65～69歳	6	1	3	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1		
		100.0	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7		
	70～74歳	16	1	5	2	4	1	0	1	2	1	4	1	1		
		100.0	6.3	31.3	12.5	25.0	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3	25.0	6.3	6.3		
	75～79歳	21	1	8	5	4	0	1	2	5	0	4	4	1		
		100.0	4.8	38.1	23.8	19.0	0.0	4.8	9.5	23.8	0.0	19.0	19.0	4.8		
	80～84歳	54	6	11	5	14	2	6	5	12	1	11	10	1		
	100.0	11.1	20.4	9.3	25.9	3.7	11.1	9.3	22.2	1.9	20.4	18.5	1.9			
年齢	85～89歳	86	10	24	8	18	7	3	1	8	1	19	13	8		
		100.0	11.6	27.9	9.3	20.9	8.1	3.5	1.2	9.3	1.2	22.1	15.1	9.3		
年齢	90歳以上	95	17	26	12	15	4	2	4	14	1	26	6	4		
		100.0	17.9	27.4	12.6	15.8	4.2	2.1	4.2	14.7	1.1	27.4	6.3	4.2		
地区	本巢北部	21	5	4	1	0	0	0	0	4	1	4	2	2		
		100.0	23.8	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0	4.8	19.0	9.5	9.5		
	本巢南部	91	12	27	10	26	2	7	8	15	4	15	10	5		
		100.0	13.2	29.7	11.0	28.6	2.2	7.7	8.8	16.5	4.4	16.5	11.0	5.5		
	北方	45	6	10	2	6	2	2	1	5	0	12	10	1		
		100.0	13.3	22.2	4.4	13.3	4.4	4.4	2.2	11.1	0.0	26.7	22.2	2.2		
地区	瑞穂穂積	86	10	23	16	19	9	3	4	12	0	22	10	6		
		100.0	11.6	26.7	18.6	22.1	10.5	3.5	4.7	14.0	0.0	25.6	11.6	7.0		
地区	瑞穂巢南	20	2	5	2	6	1	0	0	3	0	6	2	2		
		100.0	10.0	25.0	10.0	30.0	5.0	0.0	0.0	15.0	0.0	30.0	10.0	10.0		

問1で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方

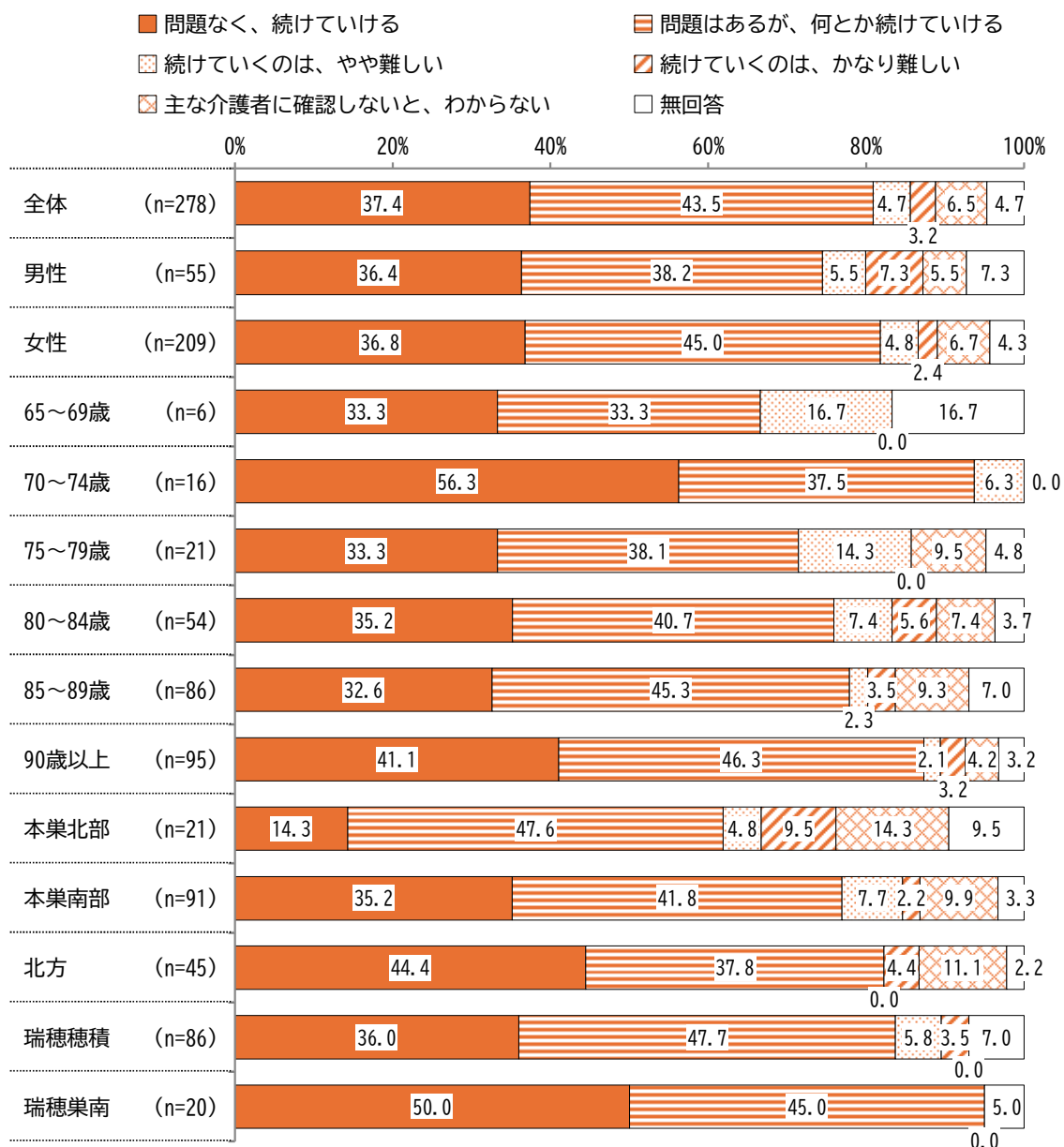
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が43.5%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が37.4%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が6.5%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっています。次いで男性では「問題なく、続けていける」が38.2%、女性は45.0%と男性よりも女性が6.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると70～74歳で「問題なく、続けていける」が56.3%で他の年代と比べて最も高くなっています。

地区でみると、瑞穂巣南で「問題なく、続けていける」が50.0%と他の年代と比べて最も高くなっています。



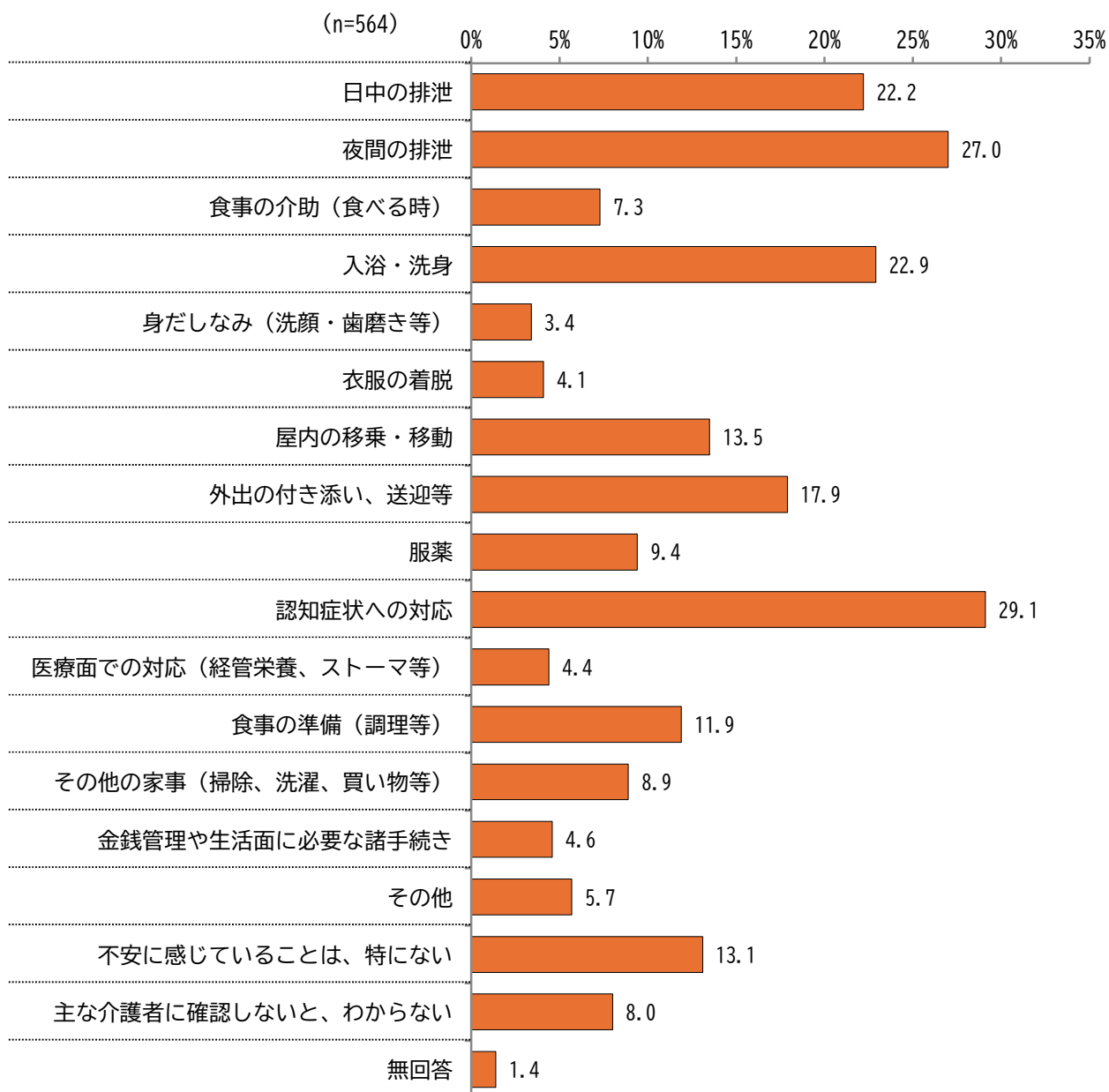
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（3つまで選択可）

全体では、「認知症状への対応」が29.1%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が27.0%、「入浴・洗身」が22.9%となっています。

性別で見ると、男性は「認知症状への対応」が28.2%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が27.6%、「入浴・洗身」が25.9%、女性は「認知症状への対応」が29.9%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が26.8%、「日中の排泄」が23.3%となっています。

年齢別で見ると、70～74歳では「入浴・洗身」、75～79歳、80～84歳、85～89歳では「認知症状への対応」、90歳以上では「夜間の排泄」が最も高くなっています。

地区で見ると、本巣北部、本巣南部、北方では「夜間の排泄」、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「認知症状への対応」が最も高くなっています。



	全体	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	栄養・ストーマ等	医療面での対応（経管）	食事の準備（調理等）	洗濯、買い物等（掃除、その他家事）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
	上段：実数 下段：（%）																			
全体	564 100.0	125 22.2	152 27.0	41 7.3	129 22.9	19 3.4	23 4.1	76 13.5	101 17.9	53 9.4	164 29.1	25 4.4	67 11.9	50 8.9	26 4.6	32 5.7	74 13.1	45 8.0	8 1.4	
性別																				
男性	174 100.0	34 19.5	48 27.6	13 7.5	45 25.9	6 3.4	9 5.2	28 16.1	38 21.8	14 8.0	49 28.2	7 4.0	20 11.5	16 9.2	9 5.2	12 6.9	25 14.4	7 4.0	2 1.1	
女性	365 100.0	85 23.3	98 26.8	27 7.4	82 22.5	13 3.6	14 3.8	46 12.6	58 15.9	38 10.4	109 29.9	16 4.4	42 11.5	30 8.2	16 4.4	18 4.9	47 12.9	37 10.1	5 1.4	
年齢																				
65～69歳	13 100.0	2 15.4	3 23.1	1 7.7	3 23.1	0 0.0	0 0.0	1 7.7	3 23.1	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	
70～74歳	42 100.0	6 14.3	6 14.3	2 4.8	14 33.3	1 2.4	3 7.1	6 14.3	8 19.0	1 2.4	8 19.0	1 2.4	6 14.3	6 14.3	1 2.4	5 11.9	9 21.4	0 0.0	1 2.4	
75～79歳	59 100.0	7 11.9	14 23.7	4 6.8	13 22.0	2 3.4	3 5.1	8 13.6	12 20.3	8 13.6	17 28.8	1 1.7	9 15.3	4 6.8	3 5.1	3 5.1	6 10.2	6 10.2	0 0.0	
80～84歳	120 100.0	24 20.0	28 23.3	4 3.3	27 22.5	2 1.7	7 5.8	13 10.8	18 15.0	13 10.8	38 31.7	4 3.3	14 11.7	12 10.0	4 3.3	8 6.7	19 15.8	13 10.8	1 0.8	
85～89歳	149 100.0	35 23.5	41 27.5	9 6.0	36 24.2	9 6.0	5 3.4	21 14.1	27 18.1	20 13.4	57 38.3	9 6.0	16 10.7	11 7.4	4 2.7	6 4.0	16 10.7	16 10.7	2 1.3	
90歳以上	181 100.0	51 28.2	60 33.1	21 11.6	36 19.9	5 2.8	5 2.8	27 14.9	33 18.2	11 6.1	43 23.8	9 5.0	21 11.6	14 7.7	12 6.6	9 5.0	23 12.7	9 5.0	4 2.2	
地区																				
本巢北部	33 100.0	7 21.2	12 36.4	3 9.1	12 36.4	3 9.1	1 3.0	6 18.2	5 15.2	3 9.1	9 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.0	1 6.1	2 6.1	3 9.1	2 6.1	
本巢南部	183 100.0	46 25.1	53 29.0	15 8.2	43 23.5	4 2.2	10 5.5	35 19.1	43 23.5	22 12.0	50 27.3	8 4.4	23 12.6	19 10.4	9 4.9	6 3.3	22 12.0	13 7.1	1 0.5	
北方	95 100.0	16 16.8	24 25.3	4 4.2	21 22.1	1 1.1	5 5.3	8 8.4	14 14.7	3 3.2	22 23.2	6 6.3	5 5.3	5 5.3	2 2.1	11 11.6	15 15.8	13 13.7	1 1.1	
瑞穂穂積	171 100.0	38 22.2	47 27.5	15 8.8	38 22.2	8 4.7	6 3.5	21 12.3	24 14.0	14 8.2	59 34.5	7 4.1	29 17.0	17 9.9	8 4.7	6 3.5	23 13.5	15 8.8	3 1.8	
瑞穂巢南	53 100.0	12 22.6	9 17.0	3 5.7	11 20.8	2 3.8	1 1.9	4 7.5	9 17.0	10 18.9	16 30.2	2 3.8	5 9.4	5 9.4	5 9.4	4 7.5	10 18.9	0 0.0	0 0.0	

## IV 担い手世代調査

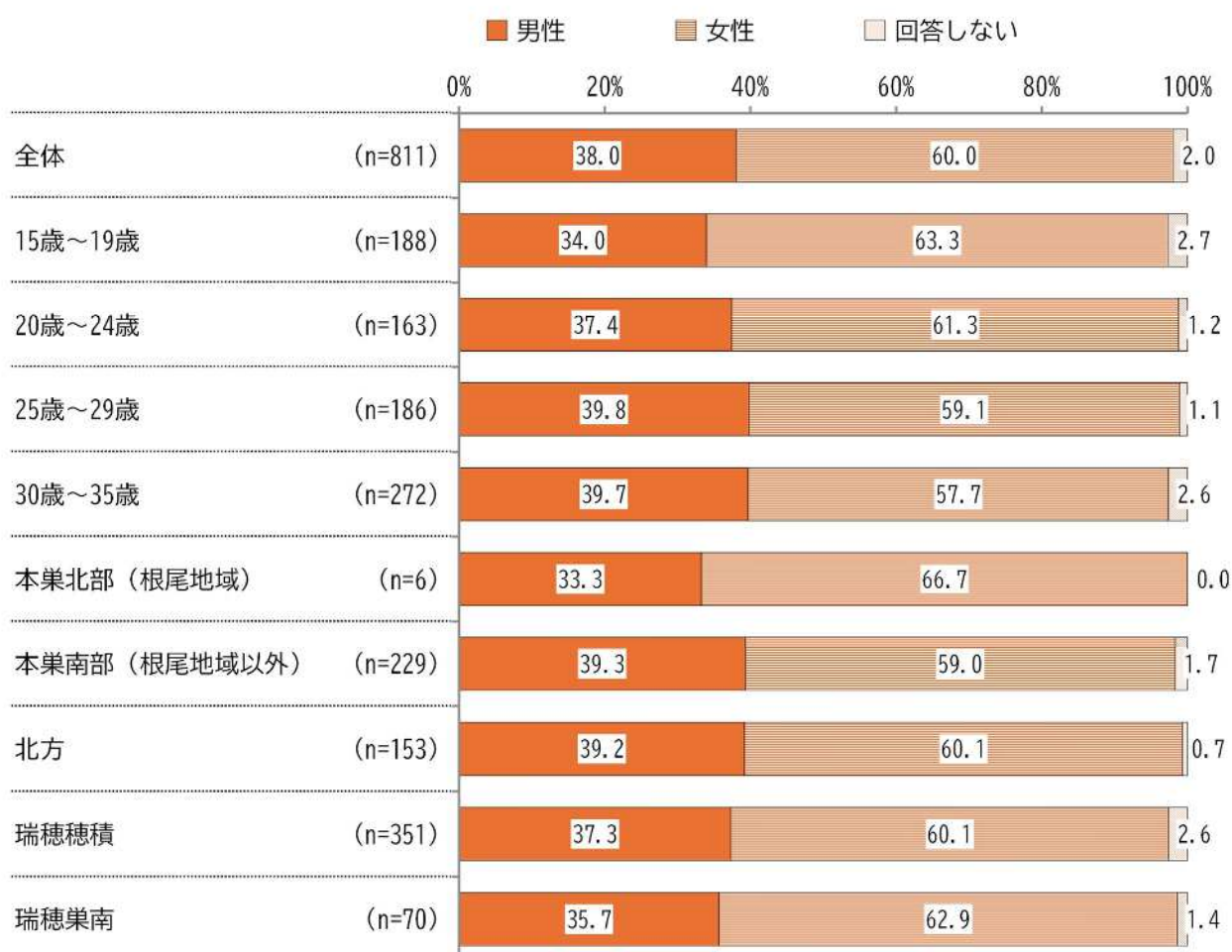
### 1 ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

全体では、「女性」が60.0%、「男性」が38.0%となっています。

年齢別で見ると、15歳～19歳では「女性」が63.3%、「男性」が34.0%、20歳～24歳では「女性」が61.3%、「男性」が37.4%、25歳～29歳では「女性」が59.1%、「男性」が39.8%、30歳～35歳では「女性」が57.7%、「男性」が39.7%となっています。

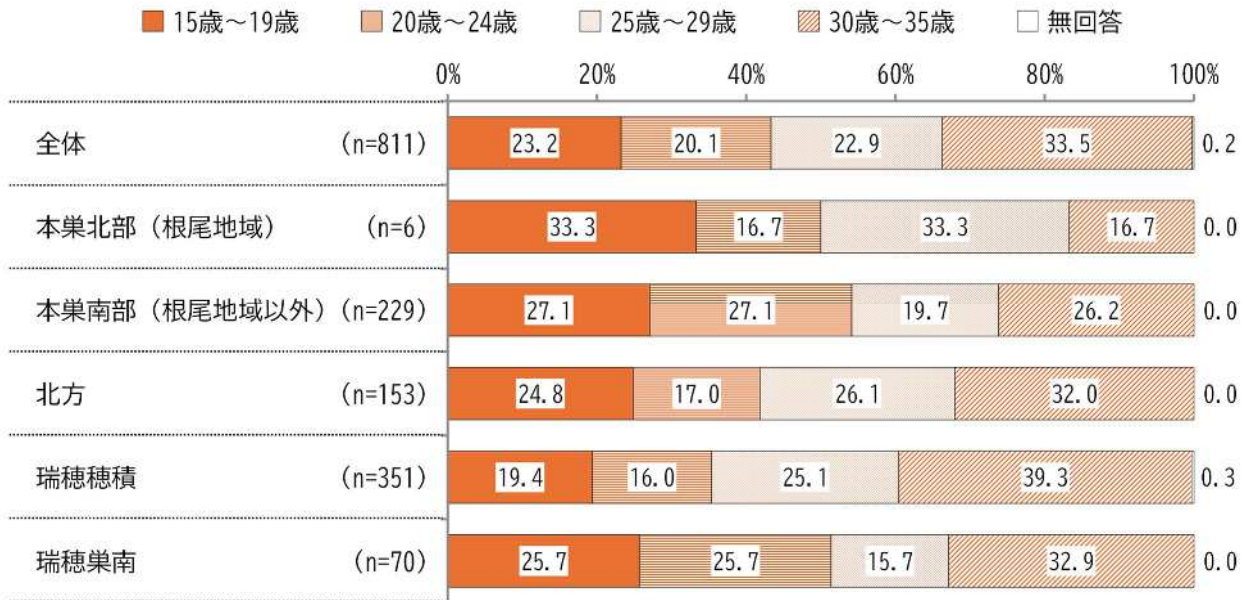
地区別で見ると、本巢北部（根尾地域）では「女性」が66.7%、「男性」が33.3%、本巢南部（根尾地域以外）では「女性」が59.0%、「男性」が39.3%、北方では「女性」が60.1%、「男性」が39.2%、瑞穂穂積では「女性」が60.1%、「男性」が37.3%、瑞穂巣南では「女性」が62.9%、「男性」が35.7%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

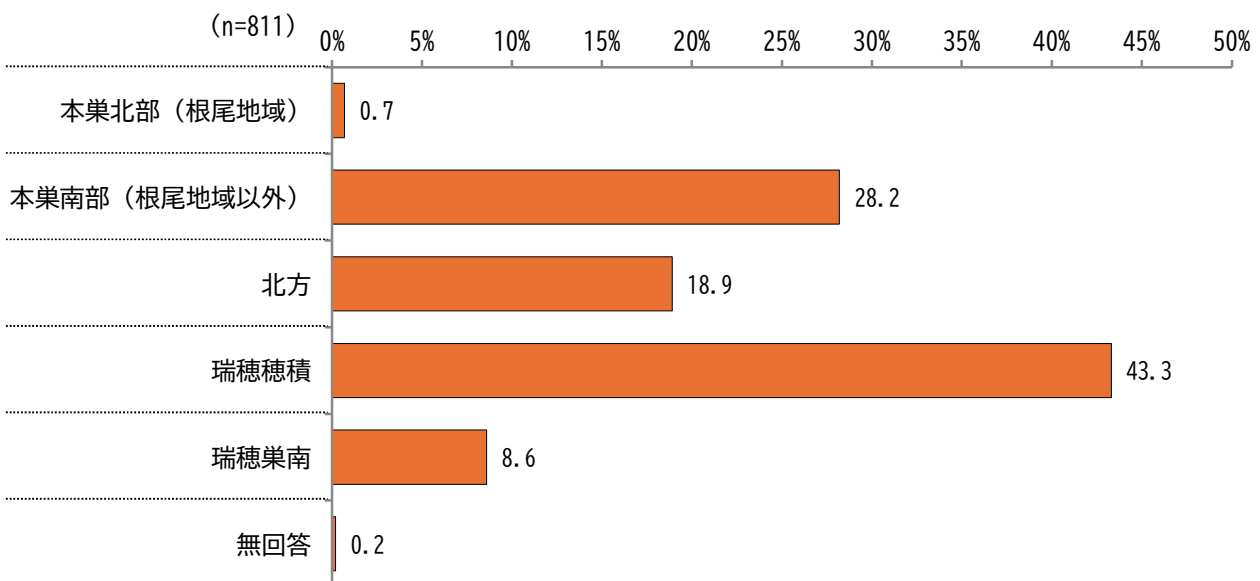
全体では、「30歳～35歳」が33.5%、「15歳～19歳」が23.2%となっています。

地区別で見ると、本巢北部（根尾地域）、本巢南部（根尾地域以外）、瑞穂巣南では24歳以下が5割以上となっており、北方、瑞穂穂積では30歳以上が5割以上となっています。



問3 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

全体では、「瑞穂穂積」が43.3%で最も高く、次いで「本巢南部（根尾地域以外）」が28.2%、「北方」が18.9%となっています。



問4 現在、あなたと一緒に住んでいる人はどなたですか。あなたから見た続柄でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

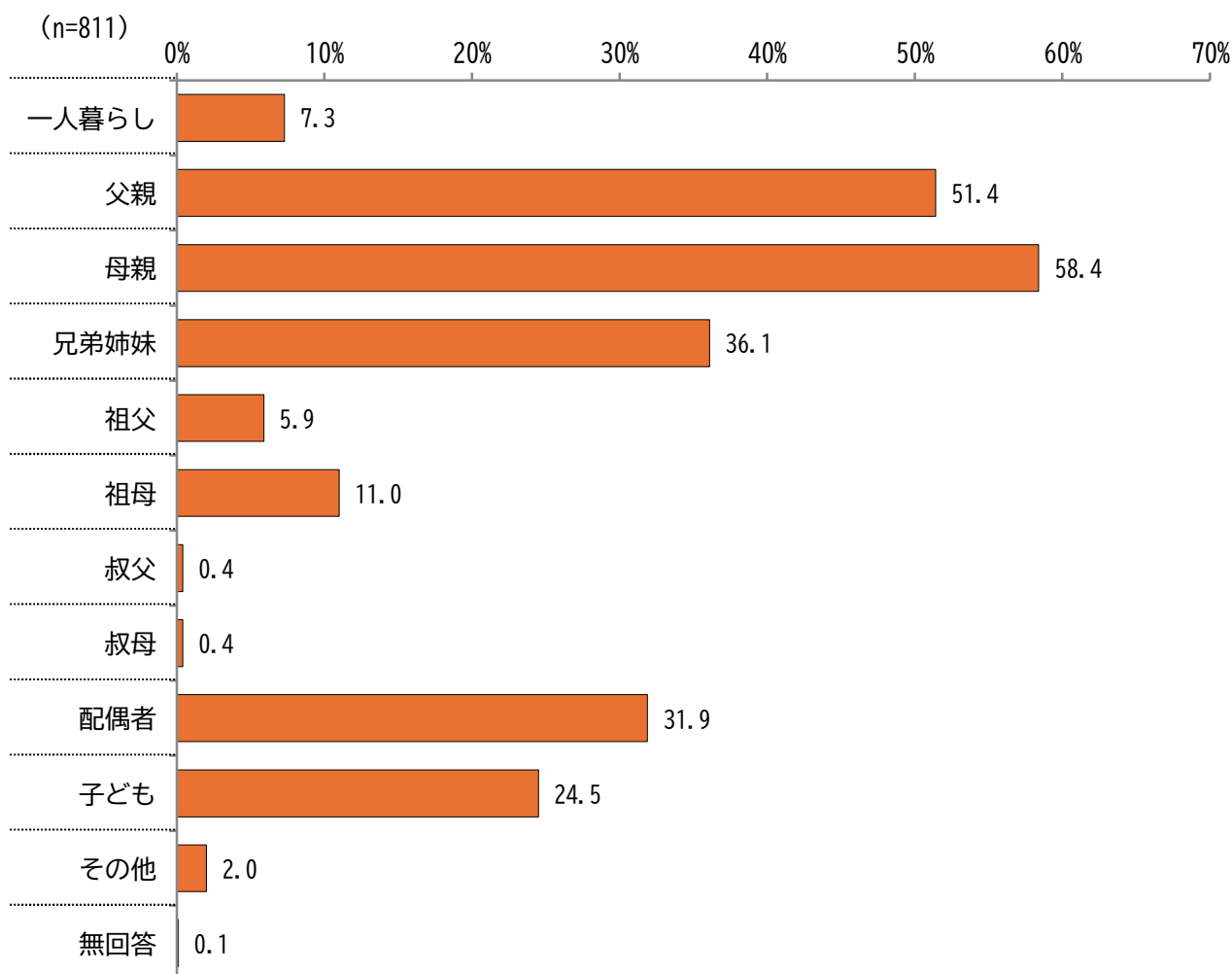
全体では、「母親」が58.4%で最も高く、次いで「父親」が51.4%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別で見ると、15歳～19歳、20歳～24歳では「母親」が最も高く、次いで「父親」「兄弟姉妹」となっています。25歳～29歳では「配偶者」が43.0%で最も高く、次いで「母親」が41.9%、「父親」が34.4%、30歳～35歳では「配偶者」が64.7%で最も高く、次いで「子ども」が56.6%となっています。

地区別で見ると、地区にかかわらず「母親」が最も高く、次いで「父親」となっています。また、瑞穂穂積を除く地区では「兄弟姉妹」の割合が高く、瑞穂穂積では「配偶者」の割合が高くなっています。

※本巣北部は、全体数が少ないため、コメントに反映しません。(以降の設定含む)



		全体	一人暮らし	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	叔父	叔母	配偶者	子ども	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)														
全体		811 100.0	59 7.3	417 51.4	474 58.4	293 36.1	48 5.9	89 11.0	3 0.4	3 0.4	259 31.9	199 24.5	16 2.0	1 0.1
性別	男性	308 100.0	31 10.1	160 51.9	175 56.8	106 34.4	14 4.5	32 10.4	1 0.3	1 0.3	93 30.2	63 20.5	5 1.6	0 0.0
		487 100.0	28 5.7	251 51.5	292 60.0	182 37.4	32 6.6	54 11.1	2 0.4	2 0.4	157 32.2	130 26.7	11 2.3	1 0.2
	16 100.0	0 0.0	6 37.5	7 43.8	5 31.3	2 12.5	3 18.8	0 0.0	0 0.0	9 56.3	6 37.5	0 0.0	0 0.0	
	回答しない													
年齢	15歳～19歳	188 100.0	6 3.2	163 86.7	177 94.1	142 75.5	20 10.6	32 17.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	2 1.1	1 0.5	0 0.0
	20歳～24歳	163 100.0	15 9.2	121 74.2	139 85.3	90 55.2	14 8.6	25 15.3	3 1.8	2 1.2	2 1.2	1 0.6	5 3.1	0 0.0
	25歳～29歳	186 100.0	20 10.8	64 34.4	78 41.9	34 18.3	8 4.3	15 8.1	0 0.0	0 0.0	80 43.0	41 22.0	5 2.7	1 0.5
	30歳～35歳	272 100.0	18 6.6	68 25.0	79 29.0	27 9.9	6 2.2	17 6.3	0 0.0	0 0.0	176 64.7	154 56.6	5 1.8	0 0.0
地区	本巢北部 (根尾地域)	6 100.0	0 0.0	4 66.7	5 83.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	本巢南部 (根尾地域以外)	229 100.0	20 8.7	154 67.2	166 72.5	106 46.3	24 10.5	46 20.1	2 0.9	0 0.0	37 16.2	36 15.7	4 1.7	0 0.0
	北方	153 100.0	11 7.2	65 42.5	85 55.6	56 36.6	6 3.9	14 9.2	1 0.7	0 0.0	53 34.6	43 28.1	1 0.7	1 0.7
	瑞穂穂積	351 100.0	26 7.4	153 43.6	175 49.9	103 29.3	12 3.4	20 5.7	0 0.0	2 0.6	142 40.5	99 28.2	11 3.1	0 0.0
	瑞穂巢南	70 100.0	2 2.9	41 58.6	43 61.4	26 37.1	5 7.1	8 11.4	0 0.0	1 1.4	24 34.3	19 27.1	0 0.0	0 0.0

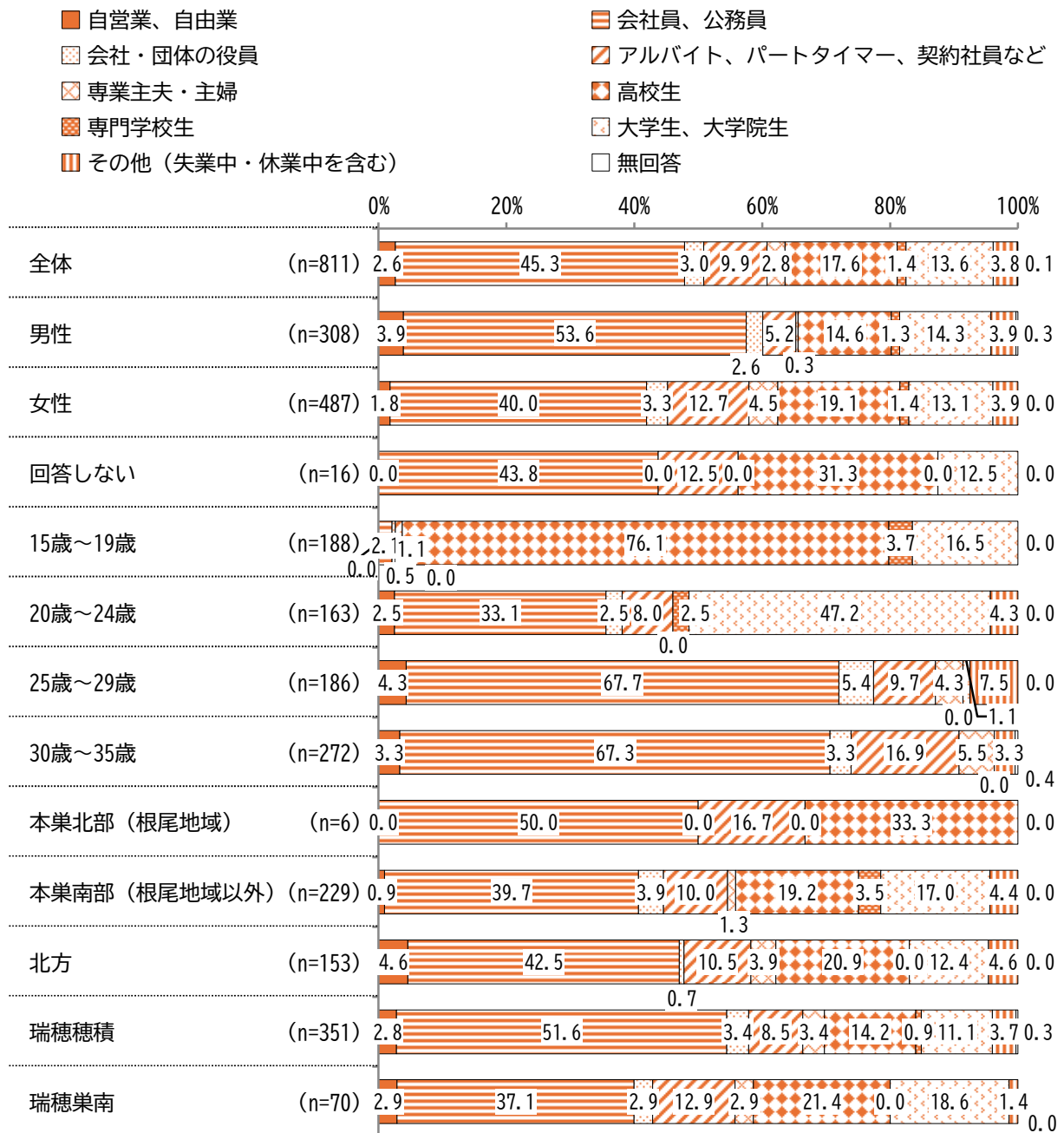
問5 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

全体では、「会社員、公務員」が45.3%で最も高く、次いで「高校生」が17.6%、「大学生、大学院生」が13.6%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、15歳～19歳では「高校生」、20歳～24歳では「大学生、大学院生」、25歳以上では「会社員、公務員」が最も高く、次いで「アルバイト、パートタイマー、契約社員など」となっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「会社員、公務員」が最も高く、次いで「高校生」となっています。



## 2 介護保険制度について

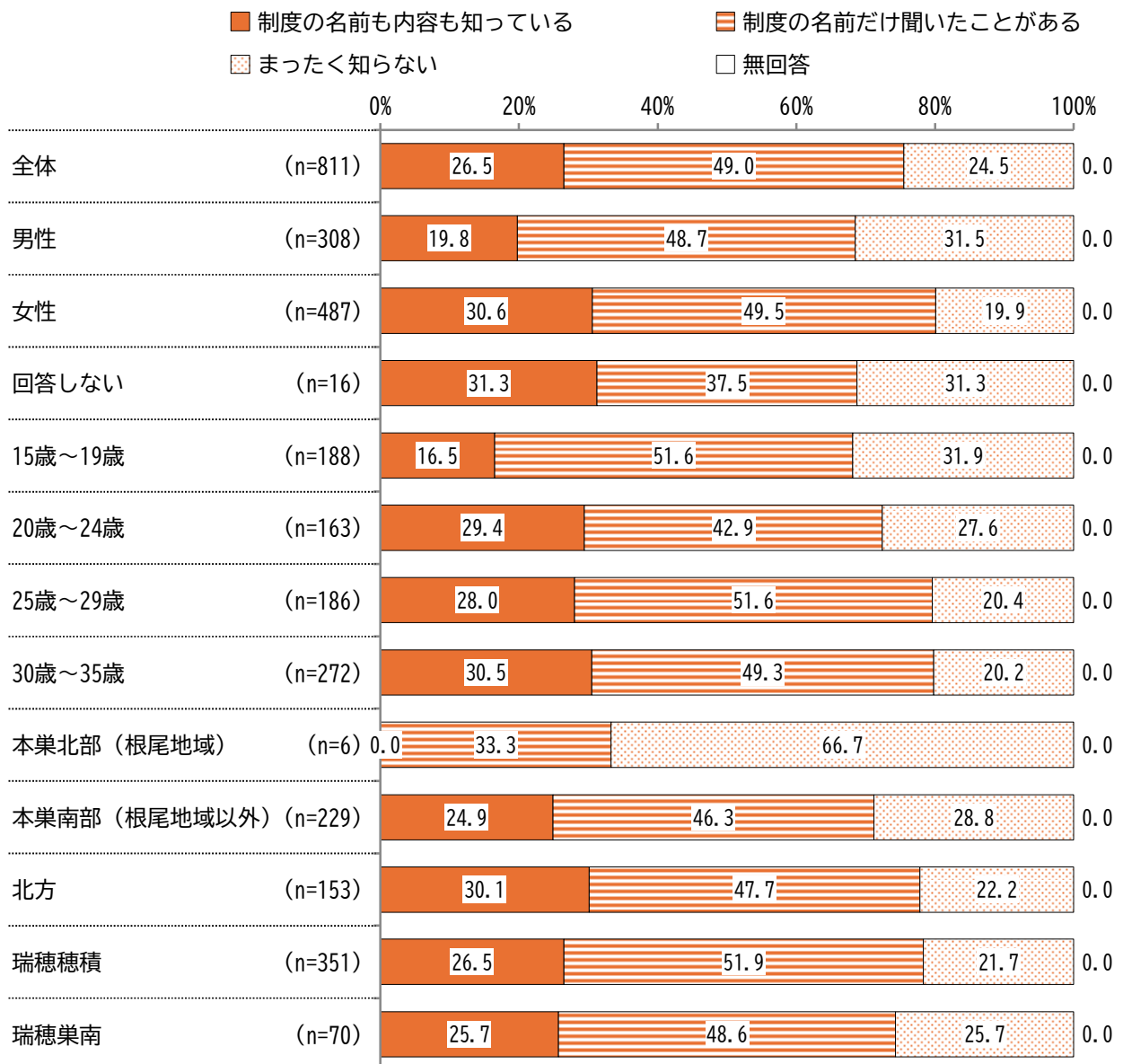
### 問6 介護保険制度について知っていますか。(1つに○)

全体では、「制度の名前だけ聞いたことがある」が49.0%、「制度の名前も内容も知っている」が26.5%となっています。

性別でみると、男性は「制度の名前も内容も知っている」が19.8%、女性は30.6%と男性よりも女性が10.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「制度の名前だけ聞いたことがある」と「制度の名前も内容も知っている」をあわせた“知っている”の割合が高くなる傾向となっています。

地区別でみても大きな差はみられません。

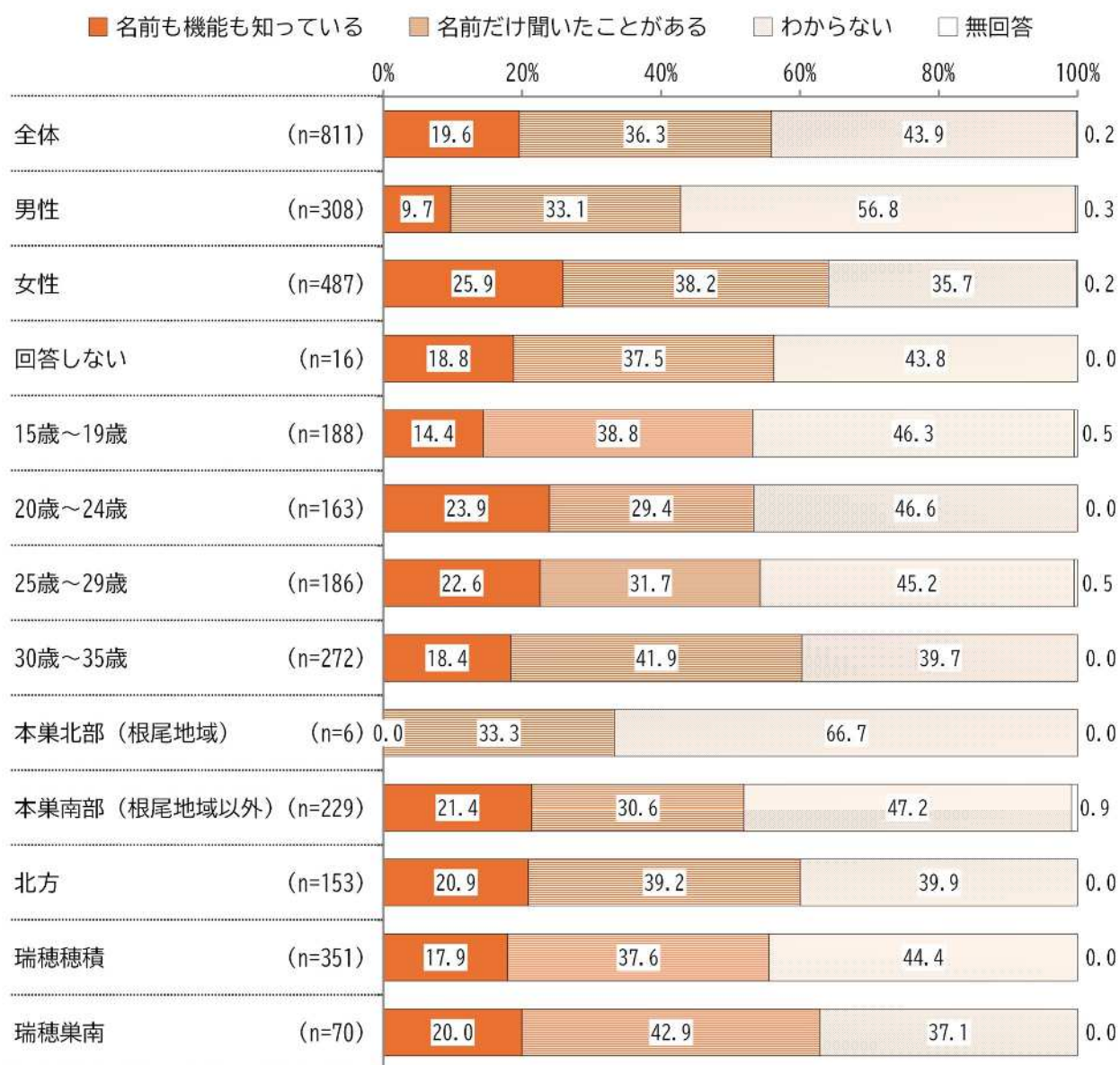


問7 地域包括支援センターについて知っていますか。(1つに○)

全体では、「わからない」が43.9%、「名前だけ聞いたことがある」が36.3%となっています。  
性別でみると、男性は「わからない」が56.8%、女性は35.7%と女性よりも男性が21.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい、「名前も機能も知っている」と「名前だけ聞いたことがある」をあわせた“知っている”の割合が高くなる傾向となっています。

地区別でみると、北方、瑞穂巣南で“知っている”割合が6割以上となっています。



### 3 介護について

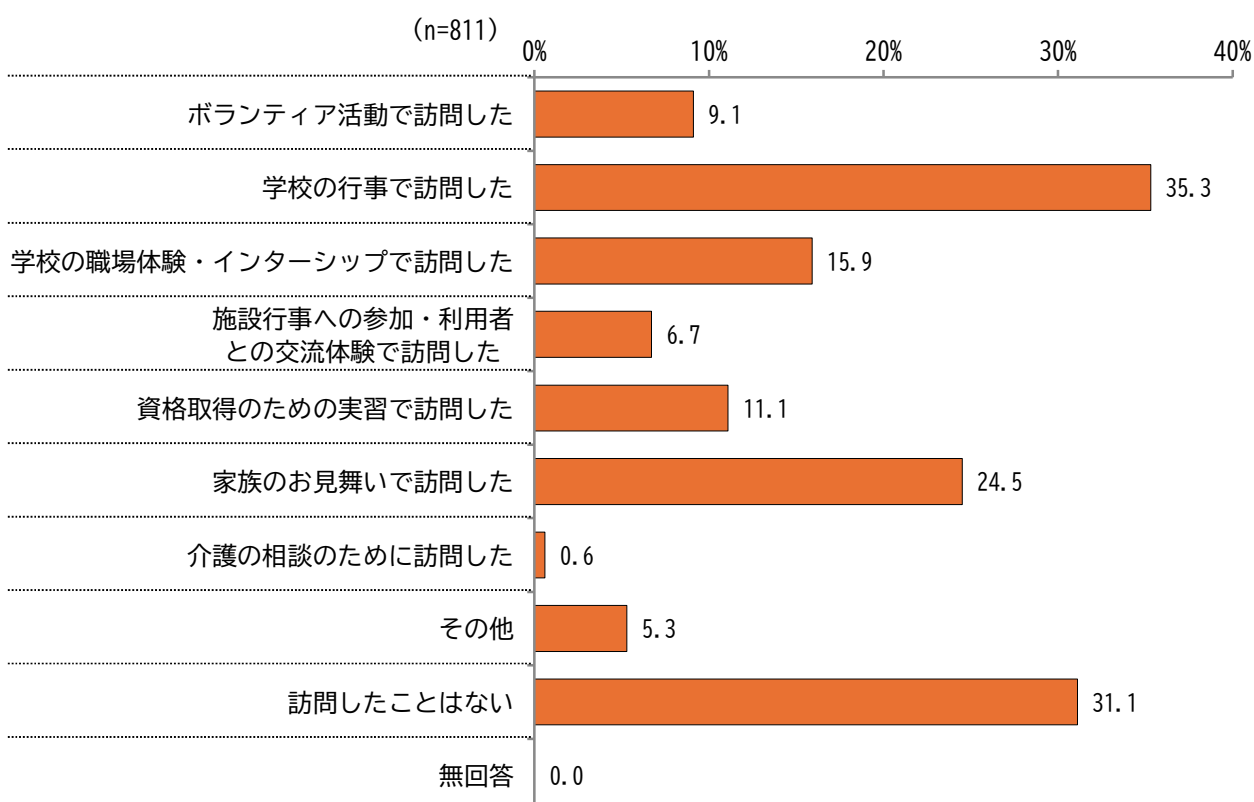
問8 あなたはこれまでに介護施設（事業所）を訪問されたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「学校の行事で訪問した」が35.3%で最も高く、次いで「訪問したことはない」が31.1%、「家族のお見舞いで訪問した」が24.5%となっています。

性別でみると、男性は「訪問したことはない」が36.0%で最も高く、女性は27.9%と女性よりも男性が8.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、15歳～19歳では「学校の行事で訪問した」が最も高く4割以上、30歳～35歳では「家族のお見舞いで訪問した」が約3割と他の年齢と比べて高くなっています。

地区別でみると、本巣南部（根尾地域以外）、北方、瑞穂穂積では「学校の行事で訪問した」が3割強で最も高く、瑞穂巣南では「訪問したことはない」が4割で最も高くなっています。



		全体	ボランティア活動 で訪問した	学校の行事で訪問 した	学校の職場体験・ インターシップで 訪問した	加体・利用者との交 流体験	施設行事への参 加	資格取得のため の訪問	家族のお見舞いで 訪問した	介護の相談のため に訪問した	その他	訪問したことはな い	無回答
		上段:実数 下段:(%)											
全体		811 100.0	74 9.1	286 35.3	129 15.9	54 6.7	90 11.1	199 24.5	5 0.6	43 5.3	252 31.1	0 0.0	
性別	男性	308 100.0	18 5.8	109 35.4	32 10.4	19 6.2	13 4.2	66 21.4	1 0.3	14 4.5	111 36.0	0 0.0	
	女性	487 100.0	53 10.9	172 35.3	93 19.1	34 7.0	75 15.4	127 26.1	4 0.8	29 6.0	136 27.9	0 0.0	
	回答しない	16 100.0	3 18.8	5 31.3	4 25.0	1 6.3	2 12.5	6 37.5	0 0.0	0 0.0	5 31.3	0 0.0	
年齢	15歳～19歳	188 100.0	14 7.4	77 41.0	25 13.3	14 7.4	5 2.7	39 20.7	1 0.5	5 2.7	62 33.0	0 0.0	
	20歳～24歳	163 100.0	10 6.1	63 38.7	31 19.0	7 4.3	21 12.9	36 22.1	0 0.0	7 4.3	45 27.6	0 0.0	
	25歳～29歳	186 100.0	22 11.8	50 26.9	28 15.1	8 4.3	29 15.6	42 22.6	0 0.0	13 7.0	67 36.0	0 0.0	
	30歳～35歳	272 100.0	28 10.3	95 34.9	45 16.5	24 8.8	35 12.9	81 29.8	3 1.1	17 6.3	78 28.7	0 0.0	
地区	本巢北部 (根尾地域)	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	
	本巢南部 (根尾地域以外)	229 100.0	23 10.0	84 36.7	34 14.8	10 4.4	26 11.4	53 23.1	2 0.9	9 3.9	66 28.8	0 0.0	
	北方	153 100.0	14 9.2	57 37.3	27 17.6	12 7.8	16 10.5	38 24.8	1 0.7	13 8.5	45 29.4	0 0.0	
	瑞穂穂積	351 100.0	32 9.1	126 35.9	55 15.7	26 7.4	37 10.5	91 25.9	0 0.0	15 4.3	110 31.3	0 0.0	
	瑞穂巢南	70 100.0	4 5.7	18 25.7	11 15.7	4 5.7	11 15.7	15 21.4	1 1.4	6 8.6	28 40.0	0 0.0	

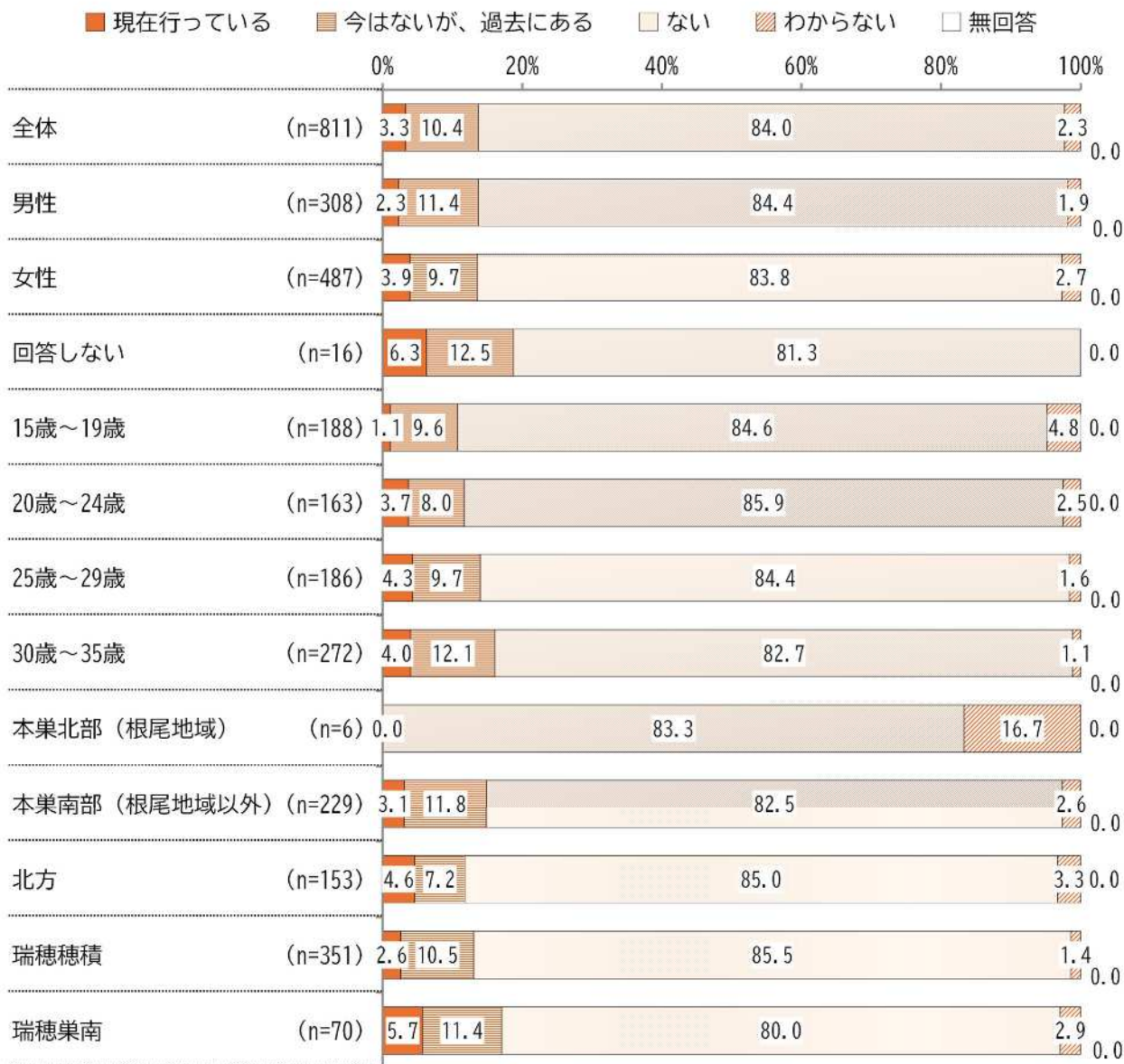
問9 身近な家族への介護経験はありますか。(1つに○)

全体では、「ない」が84.0%、「今はないが、過去にある」が10.4%となっています。

性別でみても、大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「現在行っている」と「今はないが、過去にある」をあわせた“経験がある”が高くなる傾向となっています。

地区別でみても、大きな差はみられません。



問 9 で「1 現在行っている」「2 今はないが、過去にある」と回答した方

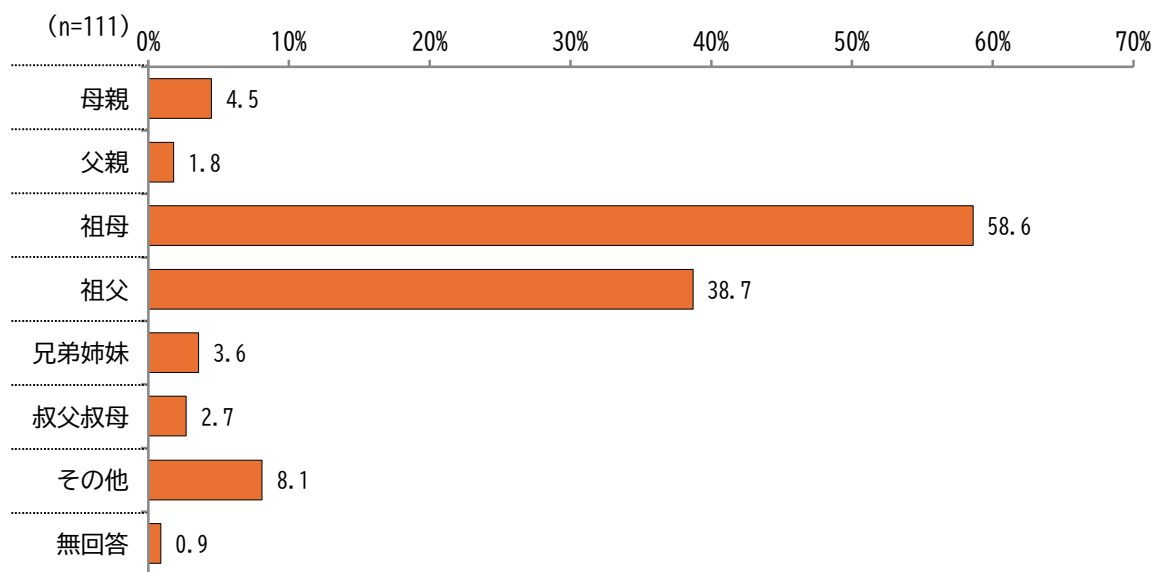
問 10 介護を必要としている（していた）人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「祖母」が 58.6% で最も高く、次いで「祖父」が 38.7%、「母親」が 4.5% となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「祖母」が最も高く、次いで「祖父」となっており、「祖父」については、男性よりも女性が 24.7 ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、年齢にかかわらず「祖母」が最も高く、次いで「祖父」となっています。

地区別で見ると、地区にかかわらず「祖母」が最も高く、次いで「祖父」となっており、本巢南部（根尾地域以外）と瑞穂穂積では割合が 6 割以上と高くなっています。



		全体	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	叔父叔母	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)										
全体		111 100.0	5 4.5	2 1.8	65 58.6	43 38.7	4 3.6	3 2.7	9 8.1	1 0.9
性別	男性	42 100.0	2 4.8	1 2.4	26 61.9	10 23.8	1 2.4	1 2.4	3 7.1	1 2.4
	女性	66 100.0	3 4.5	1 1.5	38 57.6	32 48.5	3 4.5	2 3.0	4 6.1	0 0.0
	回答しない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
年齢	15歳～19歳	20 100.0	2 10.0	1 5.0	8 40.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	6 30.0	0 0.0
	20歳～24歳	19 100.0	1 5.3	0 0.0	11 57.9	9 47.4	1 5.3	1 5.3	1 5.3	0 0.0
	25歳～29歳	26 100.0	0 0.0	0 0.0	18 69.2	13 50.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳～35歳	44 100.0	1 2.3	1 2.3	28 63.6	18 40.9	1 2.3	1 2.3	2 4.5	0 0.0
地区	本巢北部 (根尾地域)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	本巢南部 (根尾地域以外)	34 100.0	0 0.0	0 0.0	22 64.7	11 32.4	0 0.0	0 0.0	3 8.8	0 0.0
	北方	18 100.0	0 0.0	1 5.6	8 44.4	6 33.3	3 16.7	0 0.0	1 5.6	0 0.0
	瑞穂穂積	46 100.0	1 2.2	1 2.2	31 67.4	23 50.0	0 0.0	3 6.5	3 6.5	1 2.2
	瑞穂巢南	12 100.0	3 25.0	0 0.0	4 33.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0

問 11 介護は誰と一緒にいらっしゃいますか（いましたか）。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「母親」が 77.5%で最も高く、次いで「父親」が 42.3%となっています。

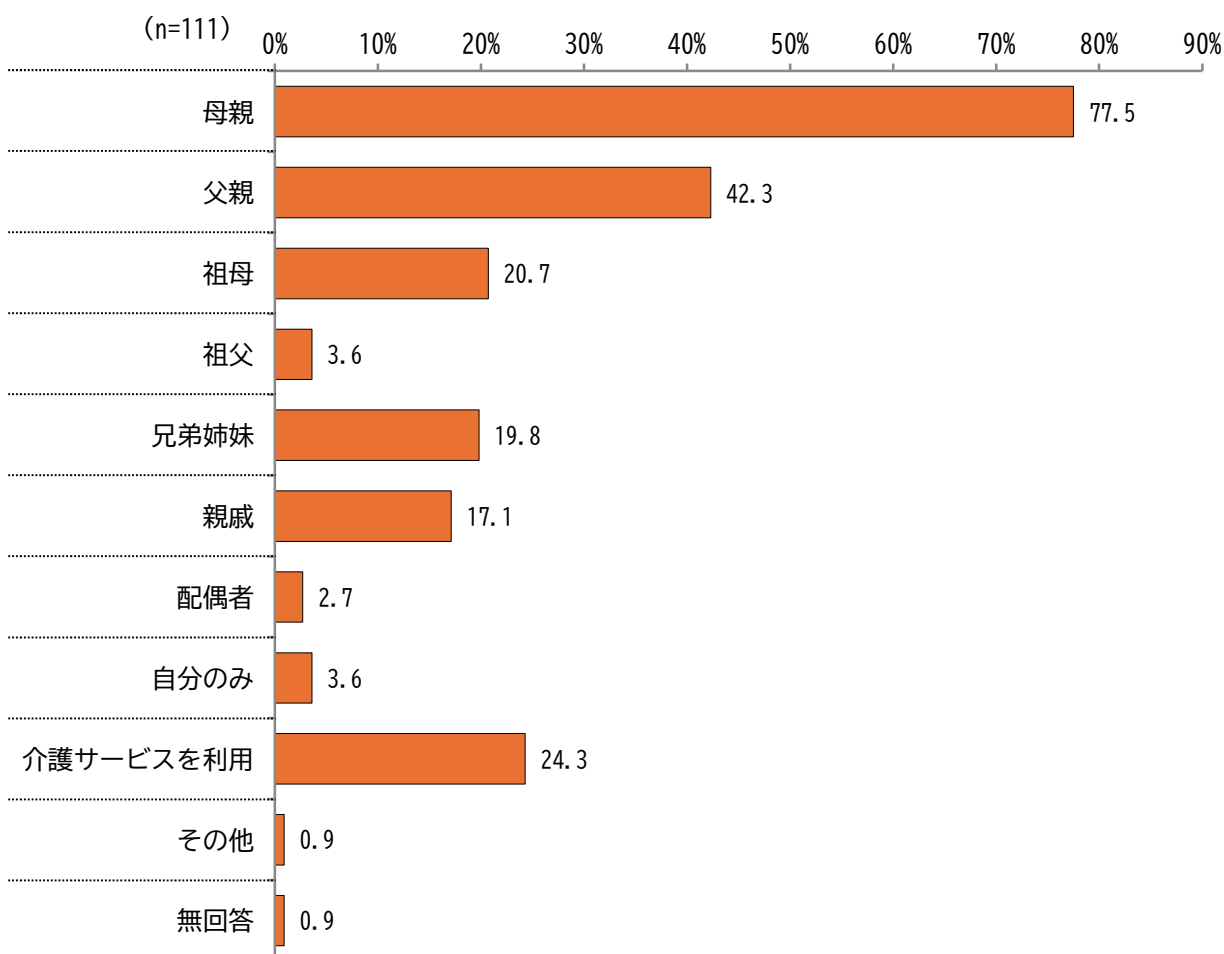
性別で見ると、男性は「母親」が 73.8%で最も高く、次いで「父親」が 52.4%となっています。

女性は「母親」が 80.3%で最も高く、次いで「父親」が 36.4%となっています。

年齢別で見ると、15 歳～19 歳では「母親」が 75.0%で最も高く、次いで「父親」「祖母」が 35.0%となっています。

20 歳～24 歳では「母親」が 84.2%で最も高く、次いで「父親」が 52.6%、25 歳～29 歳では「母親」が 73.1%で最も高く、次いで「父親」が 50.0%、30 歳～35 歳では「母親」が 79.5%で最も高く、次いで「父親」が 36.4%となっています。

地区別で見ると、本巣南部（根尾地域以外）では「母親」が 73.5%で最も高く、次いで「父親」が 44.1%、北方では「母親」が 77.8%で最も高く、次いで「祖母」が 38.9%、瑞穂穂積では「母親」が 87.0%で最も高く、次いで「父親」が 45.7%、瑞穂巣南では「母親」「父親」が 58.3%で最も高く、次いで「祖母」「兄弟姉妹」「親戚」「介護サービスを利用」が 16.7%となっています。



		全体	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	親戚	配偶者	自分のみ	介護サービスを利用	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)													
全体		111	86	47	23	4	22	19	3	4	27	1	1
		100.0	77.5	42.3	20.7	3.6	19.8	17.1	2.7	3.6	24.3	0.9	0.9
性別	男性	42	31	22	9	2	13	2	1	0	8	1	1
		100.0	73.8	52.4	21.4	4.8	31.0	4.8	2.4	0.0	19.0	2.4	2.4
	女性	66	53	24	13	2	9	16	1	4	18	0	0
		100.0	80.3	36.4	19.7	3.0	13.6	24.2	1.5	6.1	27.3	0.0	0.0
回答しない	3	2	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	
	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	
年齢	15歳～19歳	20	15	7	7	1	6	4	0	0	2	0	0
		100.0	75.0	35.0	35.0	5.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	20歳～24歳	19	16	10	5	2	2	3	0	0	4	0	0
		100.0	84.2	52.6	26.3	10.5	10.5	15.8	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0
25歳～29歳	26	19	13	5	1	4	6	1	1	9	0	1	
	100.0	73.1	50.0	19.2	3.8	15.4	23.1	3.8	3.8	34.6	0.0	3.8	
30歳～35歳	44	35	16	6	0	10	6	2	2	12	1	0	
	100.0	79.5	36.4	13.6	0.0	22.7	13.6	4.5	4.5	27.3	2.3	0.0	
地区	本巣北部 (根尾地域)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本巣南部 (根尾地域以外)	34	25	15	8	2	5	4	1	0	9	1	0
		100.0	73.5	44.1	23.5	5.9	14.7	11.8	2.9	0.0	26.5	2.9	0.0
	北方	18	14	4	7	0	5	5	1	2	3	0	0
		100.0	77.8	22.2	38.9	0.0	27.8	27.8	5.6	11.1	16.7	0.0	0.0
瑞穂穂積	46	40	21	6	2	10	8	0	1	13	0	1	
	100.0	87.0	45.7	13.0	4.3	21.7	17.4	0.0	2.2	28.3	0.0	2.2	
瑞穂巣南	12	7	7	2	0	2	2	1	0	2	0	0	
	100.0	58.3	58.3	16.7	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	

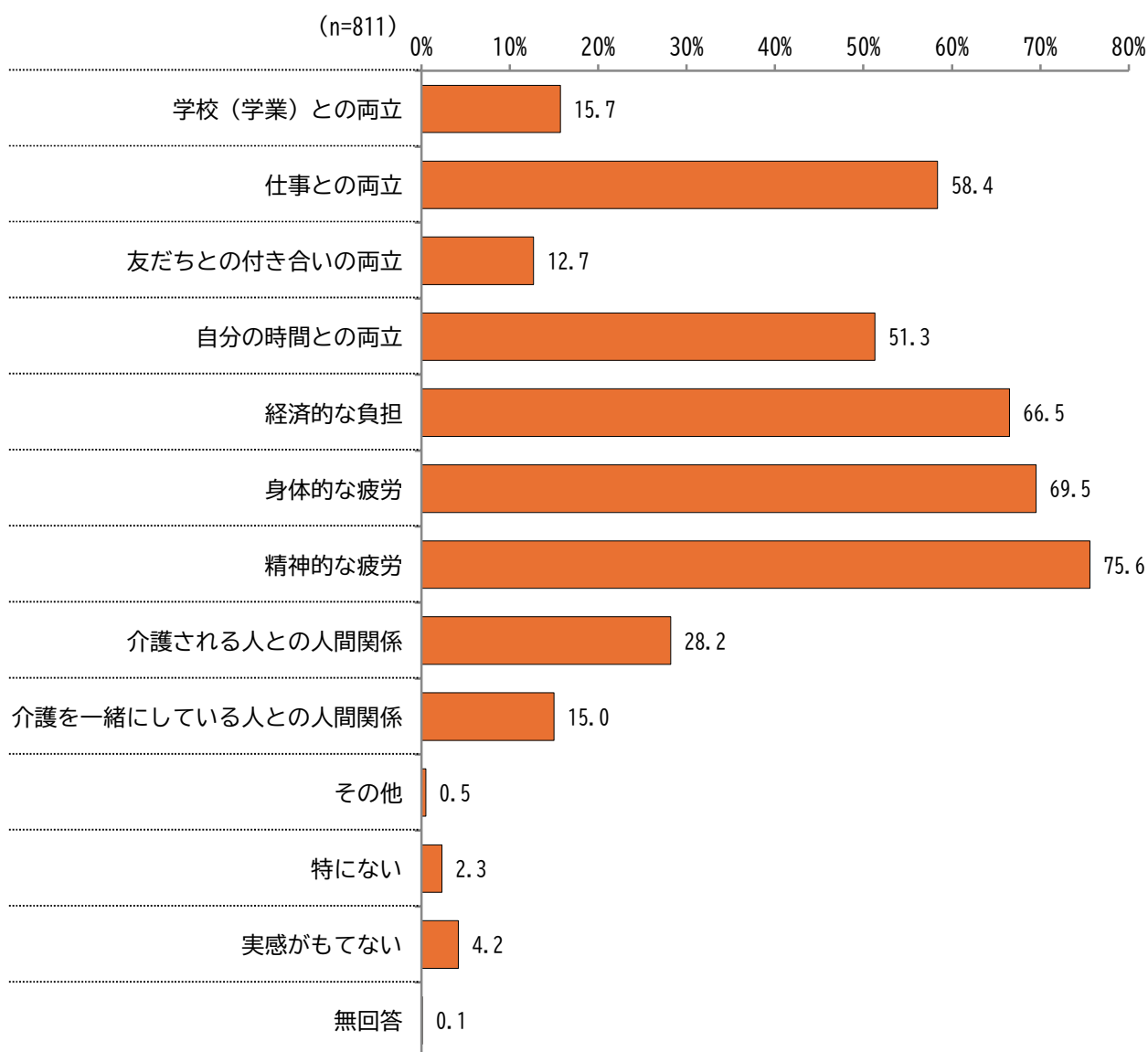
問12 介護をするうえで困ること・不安に思うことはありますか。介護の経験のない方は、介護をするを想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「精神的な疲労」が75.6%で最も高く、次いで「身体的な疲労」が69.5%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「精神的な疲労」が最も高く7割以上となっています。次いで男性は「経済的な負担」が65.3%、女性は「身体的な疲労」が72.5%となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「精神的な疲労」が最も高くなっており、15～19歳では「身体的な疲労」、「自分の時間との両立」、20歳～24歳では「経済的な負担」「身体的な疲労」、25歳～29歳では「身体的な疲労」「仕事との両立」で割合が高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「精神的な疲労」「身体的な疲労」「経済的な負担」の割合が高くなっています。



		全体	と学校 との両立 (学業)	仕事 との両立	友 だち の両 立	自 分の 時 間 と の 両 立	経 済 的 な 負 担	身 体 的 な 疲 労	精 神 的 な 疲 労	介 護 さ る 人 間 関 係 と	介 護 を 一 緒 に し て い る 人 間 関 係	そ の 他	特 に な い	実 感 が も て な い	無 回 答	
上段:実数 下段:(%)																
全体		811	127	474	103	416	539	564	613	229	122	4	19	34	1	
		100.0	15.7	58.4	12.7	51.3	66.5	69.5	75.6	28.2	15.0	0.5	2.3	4.2	0.1	
性別	男性	308	53	188	41	157	201	197	220	74	43	0	10	14	0	
		100.0	17.2	61.0	13.3	51.0	65.3	64.0	71.4	24.0	14.0	0.0	3.2	4.5	0.0	
	女性	487	70	275	60	248	324	353	379	145	74	4	9	20	1	
		100.0	14.4	56.5	12.3	50.9	66.5	72.5	77.8	29.8	15.2	0.8	1.8	4.1	0.2	
回答しない	16	4	11	2	11	14	14	14	10	5	0	0	0	0		
	100.0	25.0	68.8	12.5	68.8	87.5	87.5	87.5	62.5	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
年齢	15歳～19歳	188	86	44	35	94	93	106	131	38	10	0	5	13	0	
		100.0	45.7	23.4	18.6	50.0	49.5	56.4	69.7	20.2	5.3	0.0	2.7	6.9	0.0	
	20歳～24歳	163	27	90	30	86	115	109	127	48	25	0	7	6	0	
		100.0	16.6	55.2	18.4	52.8	70.6	66.9	77.9	29.4	15.3	0.0	4.3	3.7	0.0	
	25歳～29歳	186	6	132	14	92	125	135	138	47	29	1	5	6	1	
		100.0	3.2	71.0	7.5	49.5	67.2	72.6	74.2	25.3	15.6	0.5	2.7	3.2	0.5	
	30歳～35歳	272	7	207	24	144	205	212	216	95	58	3	2	9	0	
		100.0	2.6	76.1	8.8	52.9	75.4	77.9	79.4	34.9	21.3	1.1	0.7	3.3	0.0	
地区	本巢北部 (根尾地域)	6	2	4	1	3	3	2	4	2	1	0	0	0	0	
		100.0	33.3	66.7	16.7	50.0	50.0	33.3	66.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本巢南部 (根尾地域以外)	229	39	124	35	127	147	151	170	52	31	0	10	11	0	
		100.0	17.0	54.1	15.3	55.5	64.2	65.9	74.2	22.7	13.5	0.0	4.4	4.8	0.0	
	北方	153	25	91	22	77	101	110	120	46	31	2	3	8	0	
		100.0	16.3	59.5	14.4	50.3	66.0	71.9	78.4	30.1	20.3	1.3	2.0	5.2	0.0	
瑞穂穂積	351	47	215	36	178	238	251	264	111	51	2	5	10	0		
	100.0	13.4	61.3	10.3	50.7	67.8	71.5	75.2	31.6	14.5	0.6	1.4	2.8	0.0		
瑞穂巢南	70	13	38	8	30	48	48	53	16	7	0	1	5	1		
	100.0	18.6	54.3	11.4	42.9	68.6	68.6	75.7	22.9	10.0	0.0	1.4	7.1	1.4		

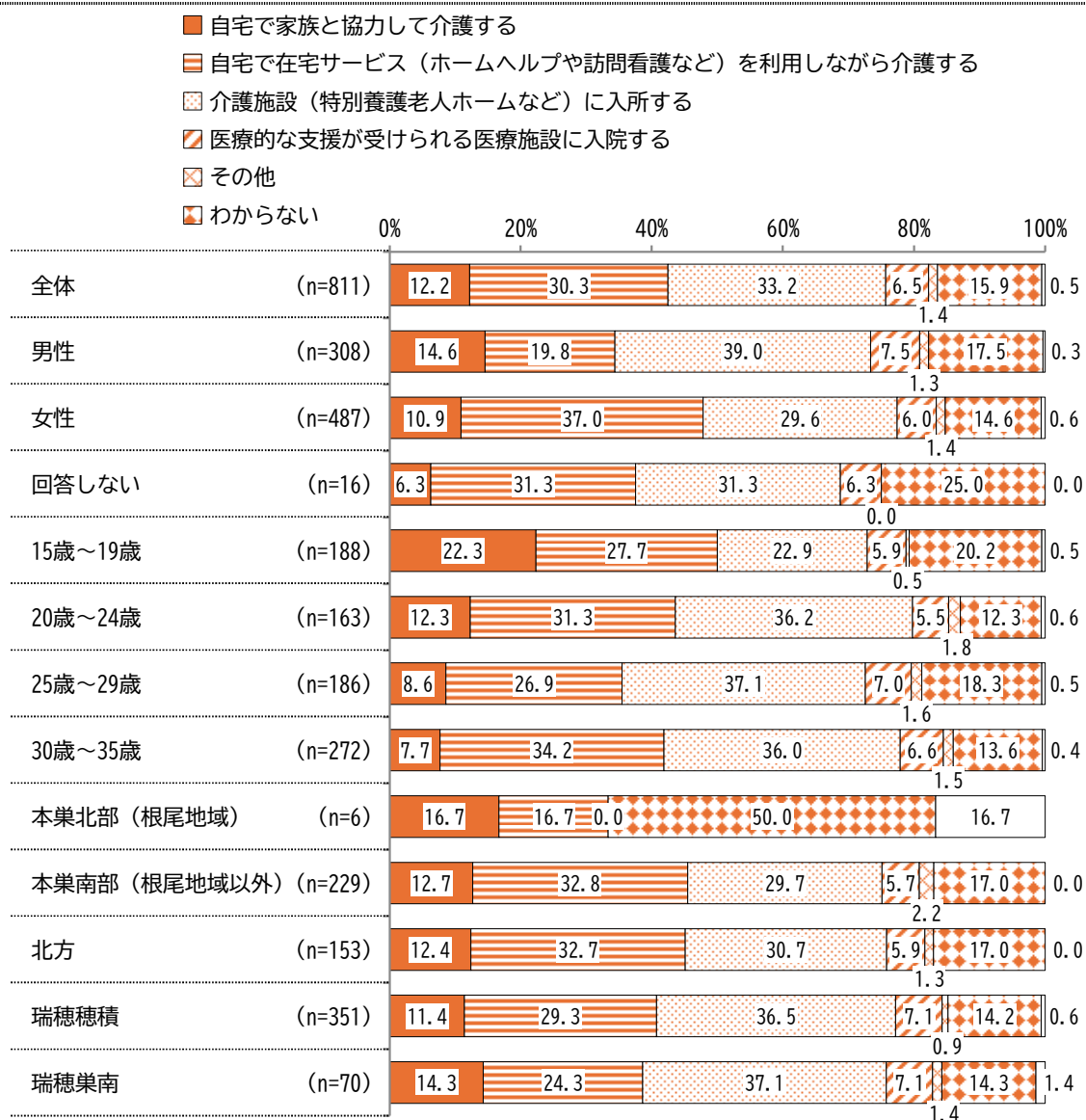
問13 あなたがこれから家族を介護するとしたら、どのように介護したいと思いますか。  
(1つに○)

全体では、「介護施設（特別養護老人ホームなど）に入所する」が33.2%で最も高く、次いで「自宅で在宅サービス（ホームヘルプや訪問看護など）を利用しながら介護する」が30.3%、「わからない」が15.9%となっています。

性別でみると、男性は「介護施設（特別養護老人ホームなど）に入所する」が最も高く、女性よりも9.4ポイント高くなっています。女性は「自宅で在宅サービス（ホームヘルプや訪問看護など）を利用しながら介護する」が37.0%で最も高く、男性よりも17.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「自宅で家族と協力して介護する」の割合が減少傾向となっており、20歳以上では「介護施設（特別養護老人ホームなど）に入所する」が3割以上と高くなっています。

地区別でみると、本巣南部（根尾地域以外）、北方では「自宅で在宅サービス（ホームヘルプや訪問看護など）を利用しながら介護する」が最も高く、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「介護施設（特別養護老人ホームなど）に入所する」が最も高くなっています。



## 4 ヤングケアラーについて

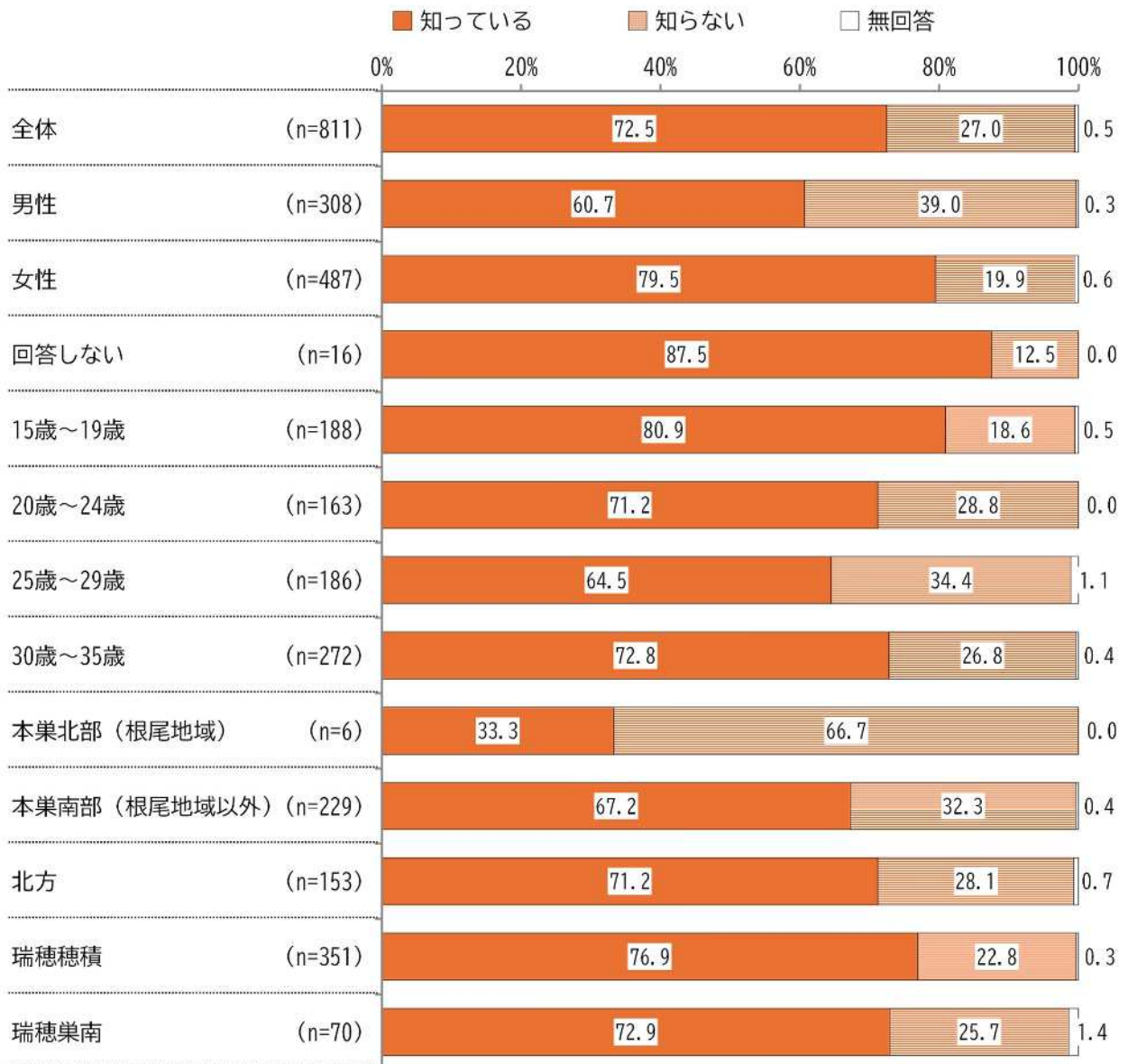
### 問 14 「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(1つに○)

全体では、「知っている」が72.5%、「知らない」が27.0%となっています。

性別でみると、男性は「知っている」が60.7%、女性は「知っている」が79.5%と、男性よりも女性が18.8ポイント高くなっています

年齢別でみると、15歳～19歳では「知っている」が80.9%と他の年代よりも高く8割以上となっており、25歳～29歳では「知っている」が64.5%で最も低い割合となっています。

地区別でも、大きな差はみられません。



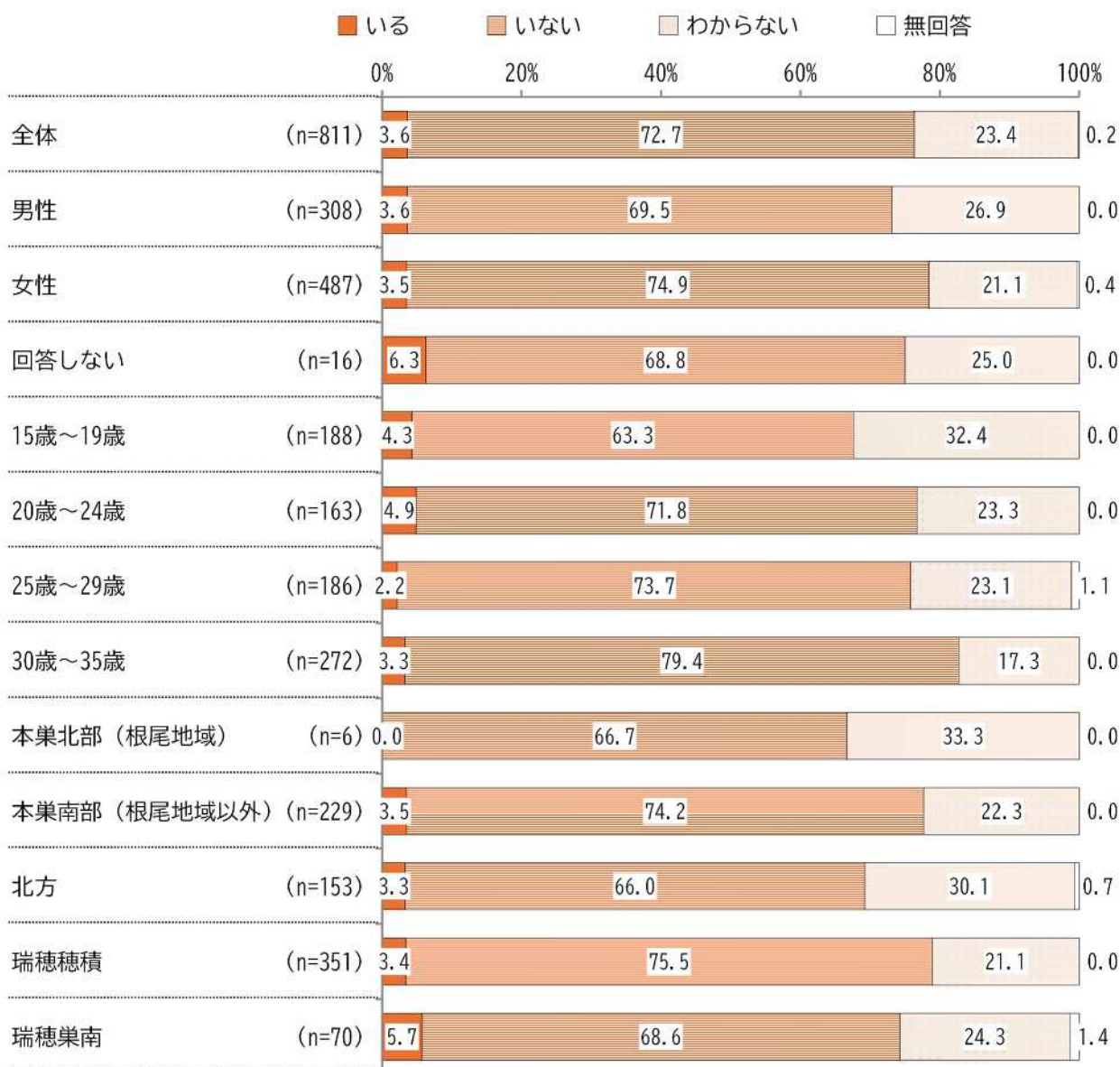
問 15 あなたの周りに「ヤングケアラー」と思われる人はいますか。(1つに○)

全体では、「いない」が72.7%、「わからない」が23.4%となっています。

性別でみると、男性は「いない」が69.5%、「わからない」が26.9%、女性は「いない」が74.9%、「わからない」が21.1%となっています。

年齢別でみると、15歳～19歳では「わからない」が32.4%と他の年代に比べて高くなっています。30歳～35歳では「いない」が79.4%で約8割と高くなっています。

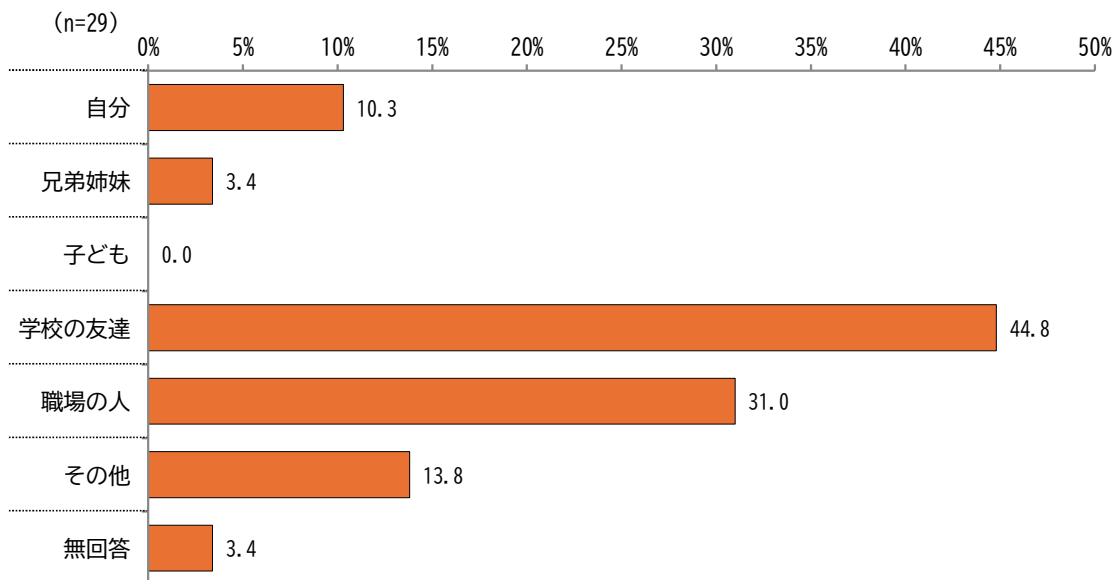
地区別でみると、本巣南部（根尾地域以外）、瑞穂穂積で「いない」が7割以上と高くなっています。



問 15 で「1 いる」と回答した方

問 16 「ヤングケアラー」と思われる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「学校の友達」が 44.8%で最も高く、次いで「職場の人」が 31.0%、「自分」が 10.3% となっています。



		全体	自分	兄弟姉妹	子ども	学校の友達	職場の人	その他	無回答
上段:実数 下段:(%)									
全体		29	3	1	0	13	9	4	1
		100.0	10.3	3.4	0.0	44.8	31.0	13.8	3.4
性別	男性	11	1	0	0	5	4	2	0
		100.0	9.1	0.0	0.0	45.5	36.4	18.2	0.0
	女性	17	1	1	0	8	5	2	1
		100.0	5.9	5.9	0.0	47.1	29.4	11.8	5.9
	回答しない	1	1	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	15歳～19歳	8	1	0	0	7	0	0	0
		100.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0
	20歳～24歳	8	2	1	0	4	1	0	0
		100.0	25.0	12.5	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0
	25歳～29歳	4	0	0	0	1	2	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	
	30歳～35歳	9	0	0	0	1	6	3	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	66.7	33.3	0.0
地区	本巣北部 (根尾地域)	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本巣南部 (根尾地域以外)	8	1	1	0	4	3	0	0
		100.0	12.5	12.5	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0
	北方	5	2	0	0	2	1	1	0
		100.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	瑞穂穂積	12	0	0	0	4	5	2	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	41.7	16.7	8.3
	瑞穂巣南	4	0	0	0	3	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0

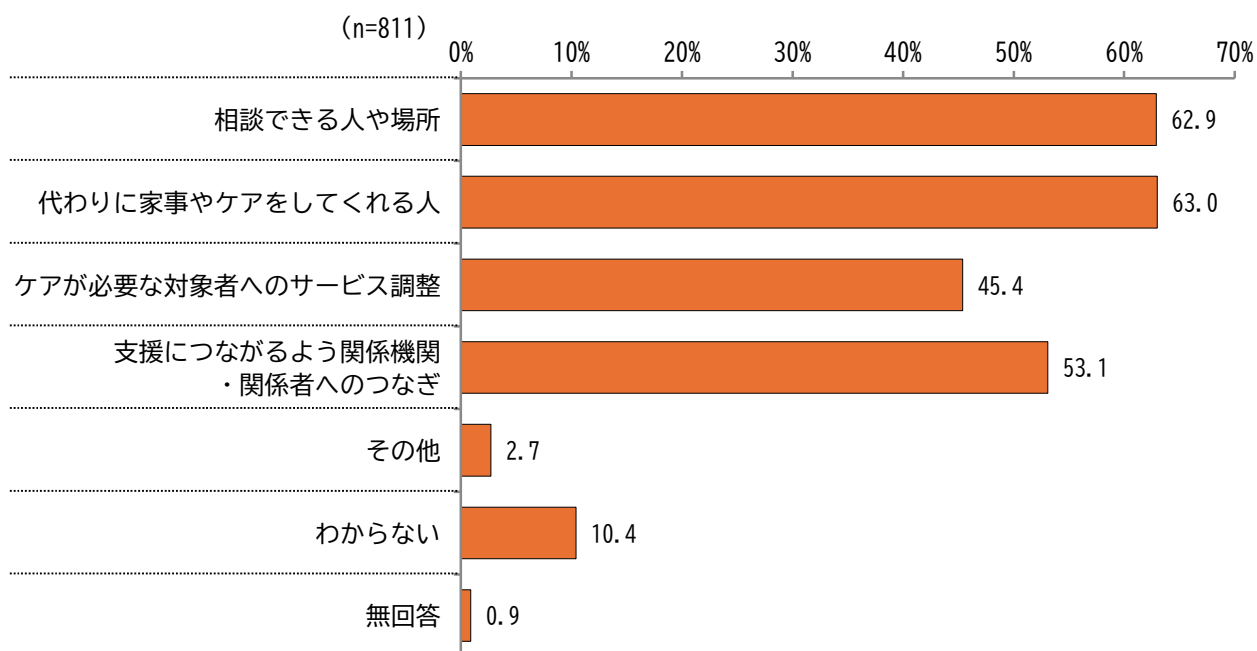
問 17 ヤングケアラーにはどのような支援が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「代わりに家事やケアをしてくれる人」が 63.0%で最も高く、次いで「相談できる人や場所」が 62.9%となっています。

性別で見ると、男性は「代わりに家事やケアをしてくれる人」が 58.8%で最も高く、次いで「相談できる人や場所」が 57.8%、女性は「相談できる人や場所」が 66.1%で最も高く、次いで「代わりに家事やケアをしてくれる人」が 65.5%となっています。

年齢別で見ると、20 歳～24 歳を除く年代では「代わりに家事やケアをしてくれる人」が 6割以上で最も高くとなっています。20 歳～24 歳では「相談できる人や場所」が 68.7%で最も高くなっています。

地区別で見ると、地区にかかわらず「相談できる人や場所」「代わりに家事やケアをしてくれる人」が 6割以上となっています。



		全体	相談 できる 人や 場所	代 わり に 家 事 や ケ ア を し て く れ る 人	ケ ア が 必 要 な 対 象 者 へ の サ ー ビ ス 調 整	関 係 機 関 ・ 関 係 者 へ の つ な ぎ	支 援 に つ な が る よ う な 機 関 ・ 機 関 者 へ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
上段:実数 下段:(%)										
全体		811 100.0	510 62.9	511 63.0	368 45.4	431 53.1	22 2.7	84 10.4	7 0.9	
性別	男性	308 100.0	178 57.8	181 58.8	117 38.0	140 45.5	5 1.6	45 14.6	3 1.0	
	女性	487 100.0	322 66.1	319 65.5	242 49.7	280 57.5	16 3.3	37 7.6	4 0.8	
	回答しない	16 100.0	10 62.5	11 68.8	9 56.3	11 68.8	1 6.3	2 12.5	0 0.0	
年齢	15歳～19歳	188 100.0	111 59.0	117 62.2	63 33.5	84 44.7	3 1.6	26 13.8	0 0.0	
	20歳～24歳	163 100.0	112 68.7	97 59.5	76 46.6	93 57.1	5 3.1	11 6.7	3 1.8	
	25歳～29歳	186 100.0	111 59.7	116 62.4	79 42.5	95 51.1	4 2.2	23 12.4	2 1.1	
	30歳～35歳	272 100.0	174 64.0	179 65.8	150 55.1	158 58.1	8 2.9	24 8.8	2 0.7	
地区	本巣北部 (根尾地域)	6 100.0	2 33.3	3 50.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	
	本巣南部 (根尾地域以外)	229 100.0	148 64.6	139 60.7	92 40.2	122 53.3	3 1.3	30 13.1	1 0.4	
	北方	153 100.0	100 65.4	104 68.0	76 49.7	82 53.6	5 3.3	16 10.5	2 1.3	
	瑞穂穂積	351 100.0	216 61.5	216 61.5	165 47.0	187 53.3	8 2.3	30 8.5	3 0.9	
	瑞穂巣南	70 100.0	42 60.0	47 67.1	31 44.3	35 50.0	5 7.1	7 10.0	1 1.4	

## 5 福祉や介護の仕事について

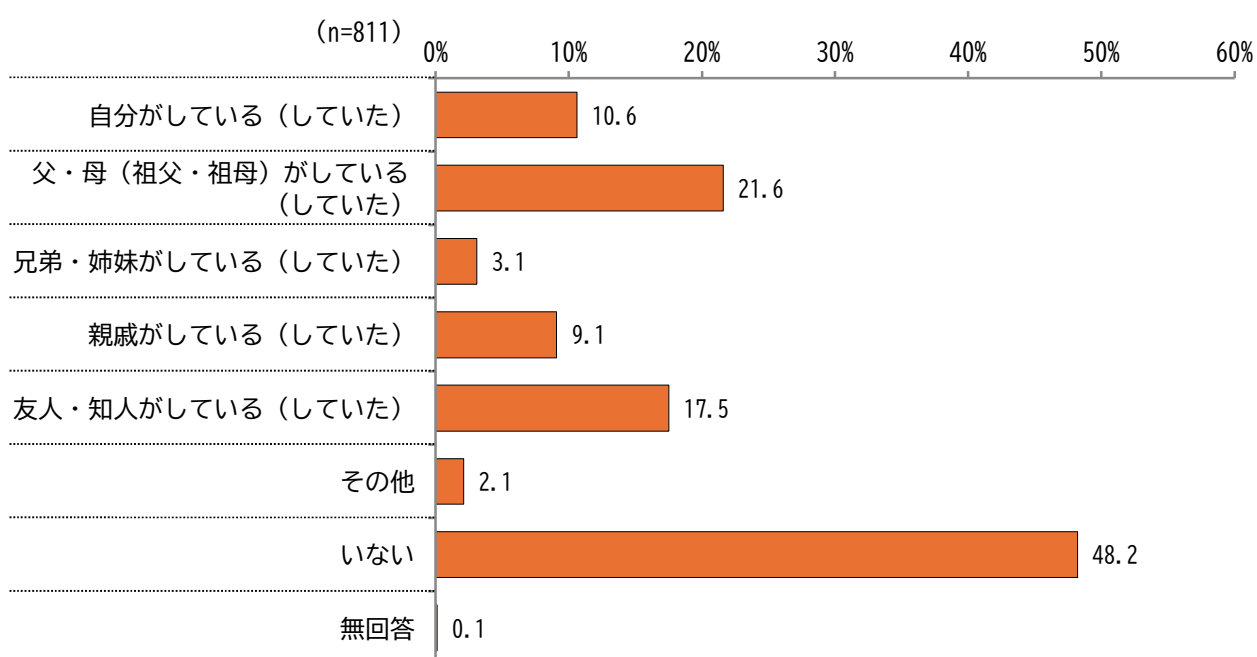
問 18 あなたの周りに福祉や介護の仕事に関わりがある方はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「いない」が48.2%で最も高く、次いで「父・母(祖父・祖母)がしている(していた)」が21.6%、「友人・知人がしている(していた)」が17.5%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「いない」が最も高く約5割となっています。次いで男性では「父・母(祖父・祖母)がしている(していた)」が26.0%、女性では「友人・知人がしている(していた)」が18.9%となっています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「いない」が最も高く、次いで、15歳～24歳では「父・母(祖父・祖母)がしている(していた)」、25歳～29歳では「友人・知人がしている(していた)」で高くなっています。

地区別でも、大きな差はみられません。



		全体	自分がしている (としている)	父・母(祖父・祖母)がしている (としている)	兄弟・姉妹がしている (としている)	親戚がしている (としている)	友人・知人がしている (としている)	その他	いない	無回答
上段: 実数 下段: (%)										
全体		811 100.0	86 10.6	175 21.6	25 3.1	74 9.1	142 17.5	17 2.1	391 48.2	1 0.1
性別	男性	308 100.0	15 4.9	80 26.0	8 2.6	21 6.8	47 15.3	7 2.3	151 49.0	0 0.0
	女性	487 100.0	70 14.4	87 17.9	17 3.5	53 10.9	92 18.9	10 2.1	234 48.0	1 0.2
	回答しない	16 100.0	1 6.3	8 50.0	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0	6 37.5	0 0.0
年齢	15歳～19歳	188 100.0	2 1.1	54 28.7	3 1.6	19 10.1	13 6.9	1 0.5	107 56.9	0 0.0
	20歳～24歳	163 100.0	16 9.8	39 23.9	4 2.5	6 3.7	30 18.4	1 0.6	84 51.5	0 0.0
	25歳～29歳	186 100.0	28 15.1	31 16.7	4 2.2	18 9.7	36 19.4	3 1.6	86 46.2	1 0.5
	30歳～35歳	272 100.0	40 14.7	50 18.4	14 5.1	31 11.4	62 22.8	12 4.4	114 41.9	0 0.0
地区	本巣北部 (根尾地域)	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	本巣南部 (根尾地域以外)	229 100.0	24 10.5	53 23.1	6 2.6	18 7.9	38 16.6	3 1.3	113 49.3	0 0.0
	北方	153 100.0	21 13.7	34 22.2	3 2.0	14 9.2	27 17.6	4 2.6	73 47.7	0 0.0
	瑞穂穂積	351 100.0	33 9.4	72 20.5	12 3.4	37 10.5	65 18.5	7 2.0	165 47.0	0 0.0
	瑞穂巣南	70 100.0	8 11.4	15 21.4	4 5.7	4 5.7	9 12.9	3 4.3	37 52.9	1 1.4

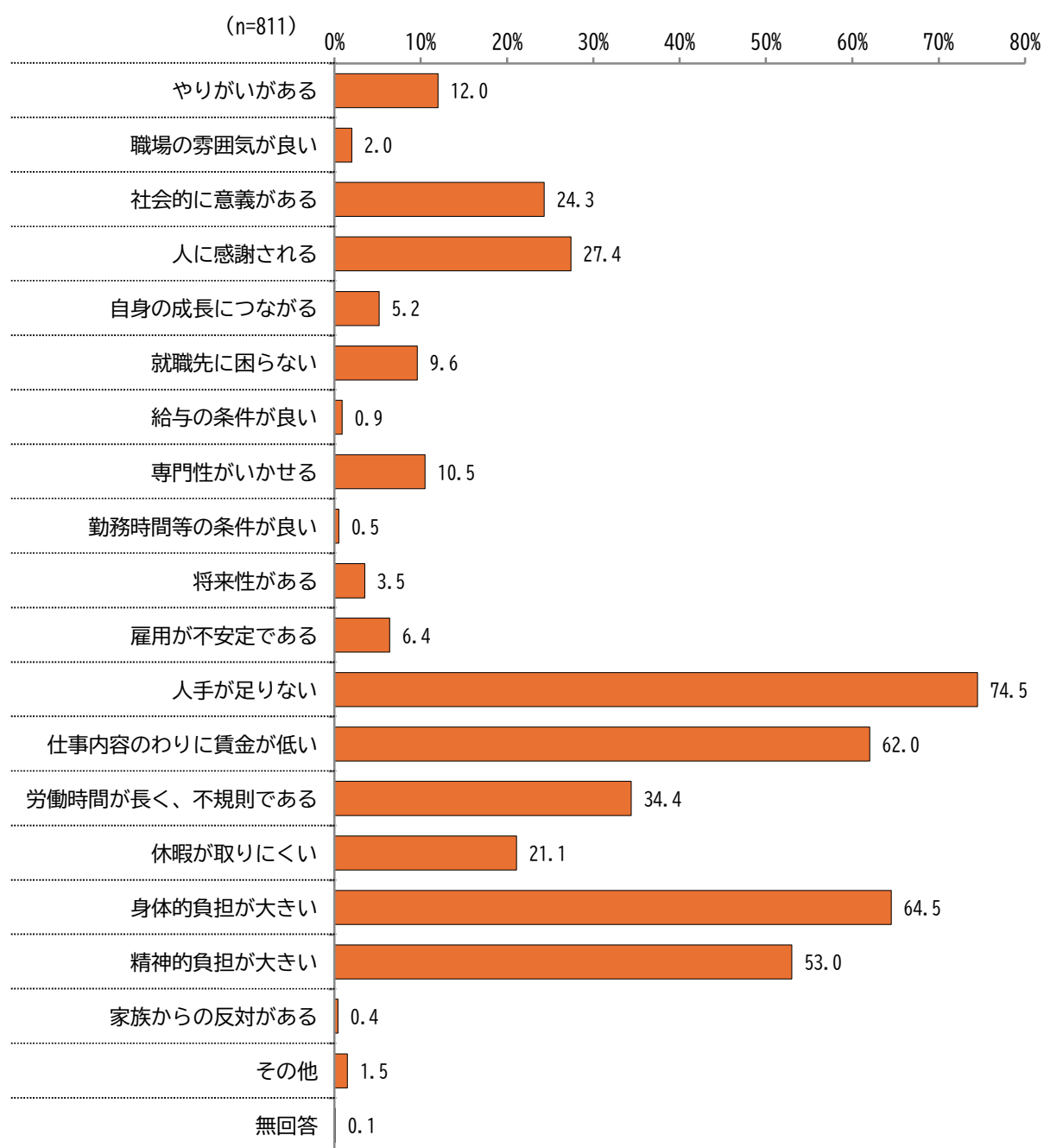
問 19 福祉や介護の仕事について、どのようなイメージ（1～19）がありますか。  
（あてはまるもの5つまでに○）

全体では、「人手が足りない」が74.5%で最も高く、次いで「身体的負担が大きい」が64.5%、「仕事の内容のわりに賃金が低い」が62.0%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると、20歳以上では「人手が足りない」が最も高く、次いで「仕事内容のわりに賃金が低い」、「身体的負担が大きい」となっています。15～19歳では「人手が足りない」「身体的負担が大きい」に次いで「精神的負担が大きい」の割合が高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「人手が足りない」が7割以上で最も高くなっています。また、瑞穂巣南では「仕事内容のわりに賃金が低い」が7割以上と高くなっています。



	全体	やりがいがある	職場の雰囲気が良い	社会的に意義がある	人に感謝される	自身の成長につながる	就職先に困らない	給与の条件が良い	専門性がいける	勤務時間等の条件が良い	将来性がある	雇用が不安定である	人手が足りない	金銭が低い	仕事内容のわりに賃金が低い	規則であるが長く、不規則である	休暇が取りにくい	身体的負担が大きい	精神的負担が大きい	家族からの反対がある	その他	無回答
	上段:実数 下段:(%)																					
全体	811 100.0	97 12.0	16 2.0	197 24.3	222 27.4	42 5.2	78 9.6	7 0.9	85 10.5	4 0.5	28 3.5	52 6.4	604 74.5	503 62.0	279 34.4	171 21.1	523 64.5	430 53.0	3 0.4	12 1.5	1 0.1	
性別	男性	308 100.0	31 10.1	7 2.3	77 25.0	93 30.2	12 3.9	26 8.4	2 0.6	21 6.8	0 0.0	11 3.6	17 5.5	225 73.1	194 63.0	109 35.4	80 26.0	189 61.4	168 54.5	0 0.0	6 1.9	0 0.0
	女性	487 100.0	64 13.1	9 1.8	117 24.0	125 25.7	30 6.2	51 10.5	5 1.0	62 12.7	4 0.8	16 3.3	34 7.0	366 75.2	300 61.6	160 32.9	85 17.5	323 66.3	252 51.7	3 0.6	5 1.0	1 0.2
	回答しない	16 100.0	2 12.5	0 0.0	3 18.8	4 25.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	1 6.3	13 81.3	9 56.3	10 62.5	6 37.5	11 68.8	10 62.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
年齢	15歳～19歳	188 100.0	28 14.9	4 2.1	55 29.3	70 37.2	14 7.4	12 6.4	2 1.1	17 9.0	2 1.1	12 6.4	19 10.1	117 62.2	77 41.0	41 21.8	35 18.6	114 60.6	111 59.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0
	20歳～24歳	163 100.0	17 10.4	3 1.8	36 22.1	45 27.6	8 4.9	12 7.4	2 1.2	21 12.9	0 0.0	2 1.2	14 8.6	134 82.2	105 64.4	59 36.2	29 17.8	103 63.2	87 53.4	0 0.0	2 1.2	0 0.0
	25歳～29歳	186 100.0	22 11.8	6 3.2	47 25.3	48 25.8	10 5.4	28 15.1	1 0.5	17 9.1	0 0.0	5 2.7	8 4.3	137 73.7	120 64.5	57 30.6	36 19.4	112 60.2	86 46.2	0 0.0	3 1.6	1 0.5
	30歳～35歳	272 100.0	30 11.0	3 1.1	58 21.3	58 21.3	10 3.7	26 9.6	2 0.7	30 11.0	2 0.7	9 3.3	11 4.0	215 79.0	200 73.5	122 44.9	70 25.7	192 70.6	144 52.9	1 0.4	7 2.6	0 0.0
地区	本県北部 (根尾地域)	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	本県南部 (根尾地域以外)	229 100.0	23 10.0	1 0.4	51 22.3	61 26.6	10 4.4	21 9.2	4 1.7	30 13.1	1 0.4	5 2.2	14 6.1	175 76.4	132 57.6	75 32.8	40 17.5	151 65.9	123 53.7	0 0.0	2 0.9	0 0.0
	北方	153 100.0	14 9.2	5 3.3	37 24.2	42 27.5	6 3.9	22 14.4	1 0.7	18 11.8	1 0.7	10 6.5	10 6.5	114 74.5	95 62.1	48 31.4	34 22.2	95 62.1	77 50.3	1 0.7	3 2.0	0 0.0
	瑞穂穂積	351 100.0	54 15.4	7 2.0	89 25.4	94 26.8	24 6.8	29 8.3	1 0.3	32 9.1	1 0.3	10 2.8	22 6.3	253 72.1	222 63.2	127 36.2	76 21.7	233 66.4	190 54.1	2 0.6	7 2.0	0 0.0
	瑞穂奥南	70 100.0	5 7.1	2 2.9	18 25.7	23 32.9	1 1.4	5 7.1	1 1.4	5 7.1	1 1.4	2 2.9	5 7.1	56 80.0	50 71.4	27 38.6	19 27.1	40 57.1	36 51.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4

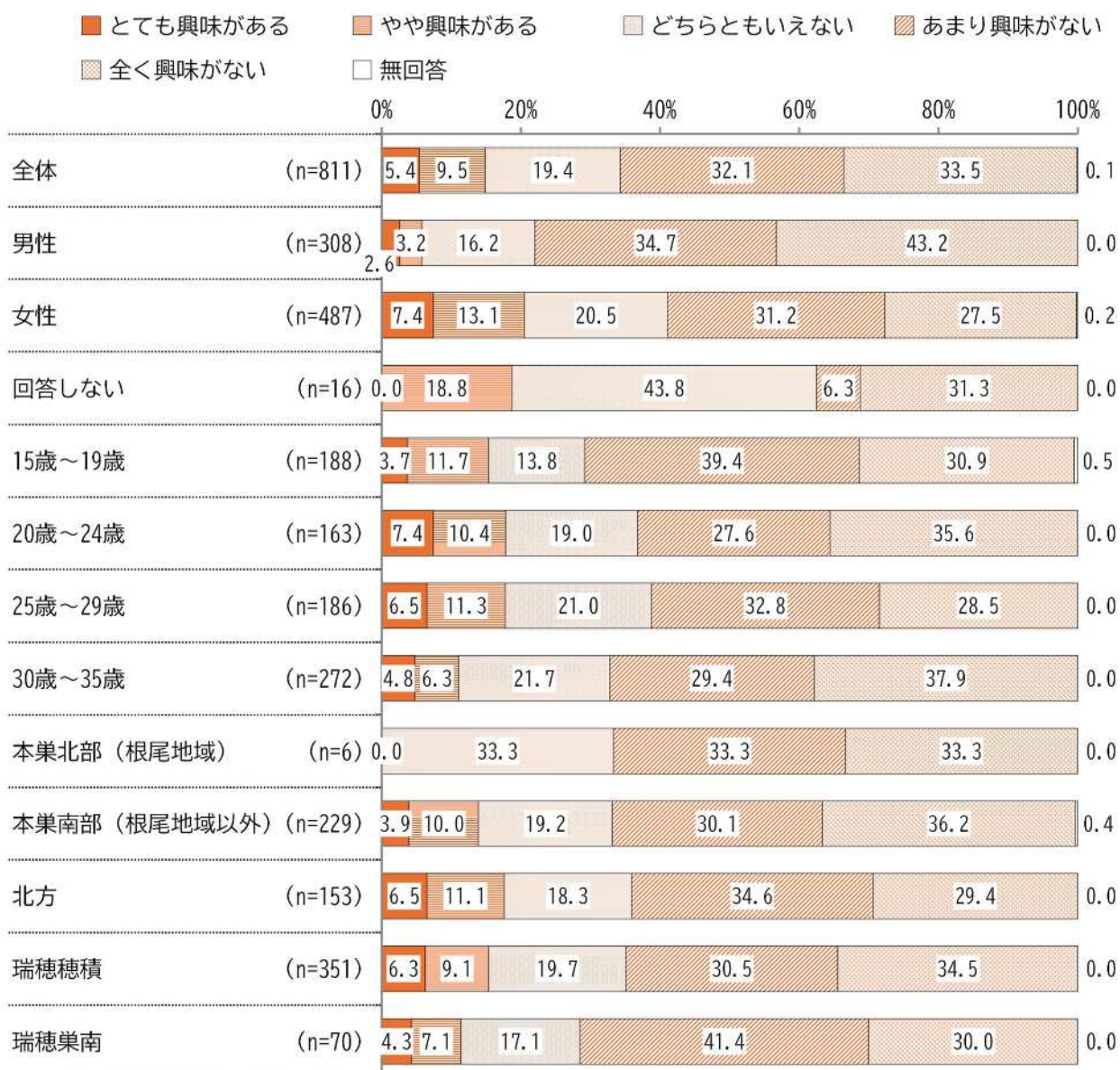
問 20 あなたは福祉や介護の仕事に興味がありますか。(1つに○)

全体では、「全く興味がない」が33.5%で最も高く、次いで「あまり興味がない」が32.1%、「どちらともいえない」が19.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「全く興味がない」が最も高く、次いで「あまり興味がない」となっています。また、「とても興味がある」と「やや興味がある」をあわせた“興味がある”で女性は20.5%と男性よりも14.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、30歳～35歳で“興味がある”の割合が11.1%と最も低くなっています。

地区別でみると、瑞穂巣南で“興味がある”の割合が11.4%と最も低くなっています。



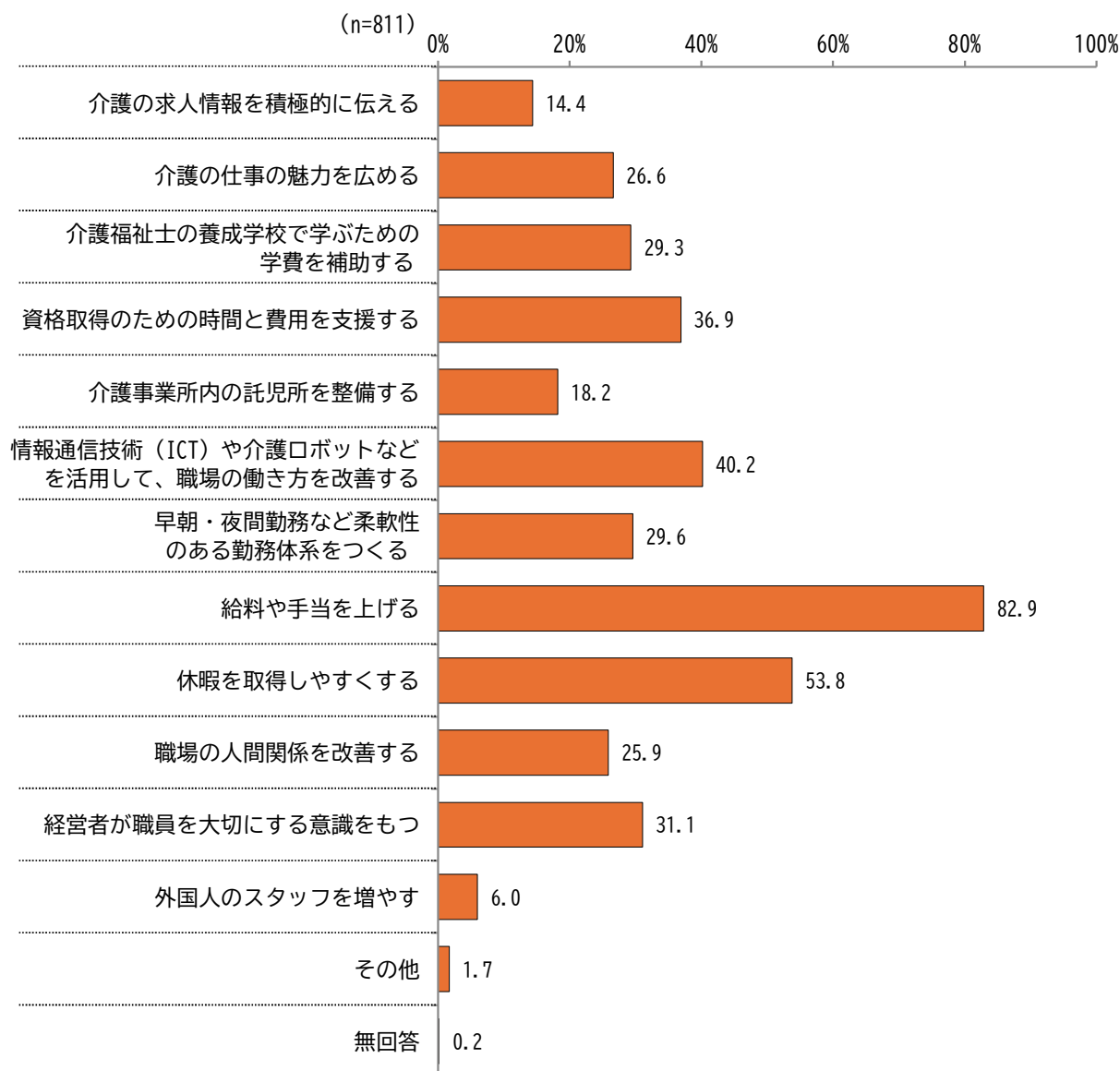
問 21 今後、不足する介護の人手を確保する上で、どのような対策が必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「給料や手当を上げる」が 82.9%で最も高く、次いで「休暇を取得しやすくする」が 53.8%となっています。

性別でも、大きな差はみられません。

年齢別でみると年齢にかかわらず「給料や手当を上げる」が最も高く、次いで「休暇を取得しやすくする」となっています。また、25歳～29歳を除く年代では「情報通信技術（ICT）や介護ロボットなどを活用して、職場の働き方を改善する」、25～29歳では「資格取得のための時間と費用を支援する」が4割以上で高くなっています。

地区別でみると、地区にかかわらず「給料や手当を上げる」が最も高く、次いで「休暇を取得しやすくする」となっています。また、本巣南部（根尾地域以外）では「資格取得のための時間と費用を支援する」、北方、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「情報通信技術（ICT）や介護ロボットなどを活用して、職場の働き方を改善する」が4割以上で高くなっています。



	全体	介護の求人情報を積極的に伝える	介護の仕事の魅力を広める	介護福祉士の養成学校で学ぶための学費を補助する	資格取得のための時間と費用を支援する	介護事業所内の託児所を整備する	職場の働き方を改善する	情報通信技術（ＩＣＴ）や介護ロボットの活用して、職場の働き方を改善する	早期・夜間勤務など柔軟性のある勤務体系をつくる	給料や手当を上げる	休暇を取得しやすくする	職場の人間関係を改善する	経営者が職員を大切にすることを意識する	外国人のスタッフを増やす	その他	無回答
	上段:実数 下段:(%)															
全体	811 100.0	117 14.4	216 26.6	238 29.3	299 36.9	148 18.2	326 40.2	240 29.6	672 82.9	436 53.8	210 25.9	252 31.1	49 6.0	14 1.7	2 0.2	
性別	男性	308 100.0	55 17.9	77 25.0	83 26.9	105 34.1	47 15.3	133 43.2	84 27.3	257 83.4	175 56.8	82 26.6	92 29.9	23 7.5	9 2.9	1 0.3
	女性	487 100.0	58 11.9	137 28.1	148 30.4	184 37.8	99 20.3	186 38.2	151 31.0	399 81.9	250 51.3	121 24.8	153 31.4	26 5.3	4 0.8	1 0.2
	回答しない	16 100.0	4 25.0	2 12.5	7 43.8	10 62.5	2 12.5	7 43.8	5 31.3	16 100.0	11 68.8	7 43.8	7 43.8	0 0.0	1 6.3	0 0.0
年齢	15歳～19歳	188 100.0	40 21.3	73 38.8	61 32.4	64 34.0	20 10.6	77 41.0	44 23.4	126 67.0	85 45.2	44 23.4	49 26.1	10 5.3	1 0.5	2 1.1
	20歳～24歳	163 100.0	26 16.0	44 27.0	49 30.1	46 28.2	27 16.6	69 42.3	54 33.1	142 87.1	86 52.8	44 27.0	41 25.2	9 5.5	4 2.5	0 0.0
	25歳～29歳	186 100.0	21 11.3	38 20.4	47 25.3	81 43.5	34 18.3	68 36.6	38 20.4	156 83.9	102 54.8	43 23.1	55 29.6	11 5.9	3 1.6	0 0.0
	30歳～35歳	272 100.0	30 11.0	61 22.4	81 29.8	107 39.3	67 24.6	110 40.4	103 37.9	247 90.8	163 59.9	79 29.0	106 39.0	18 6.6	6 2.2	0 0.0
地区	本巣北部 (根尾地域)	6 100.0	4 66.7	3 50.0	4 66.7	2 33.3	3 50.0	1 16.7	2 33.3	4 66.7	5 83.3	3 50.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	本巣南部 (根尾地域以外)	229 100.0	34 14.8	63 27.5	70 30.6	92 40.2	40 17.5	88 38.4	71 31.0	187 81.7	123 53.7	58 25.3	65 28.4	12 5.2	5 2.2	0 0.0
	北方	153 100.0	25 16.3	50 32.7	46 30.1	63 41.2	33 21.6	65 42.5	49 32.0	129 84.3	88 57.5	43 28.1	48 31.4	8 5.2	2 1.3	1 0.7
	瑞穂穂積	351 100.0	46 13.1	82 23.4	98 27.9	117 33.3	62 17.7	144 41.0	91 25.9	296 84.3	184 52.4	82 23.4	107 30.5	24 6.8	5 1.4	1 0.3
	瑞穂巣南	70 100.0	8 11.4	18 25.7	20 28.6	23 32.9	10 14.3	26 37.1	25 35.7	54 77.1	35 50.0	23 32.9	26 37.1	5 7.1	2 2.9	0 0.0

## 6 認知症について

問 22 あなたは認知症に関する、次の言葉をご存知ですか。(それぞれ1つに○)

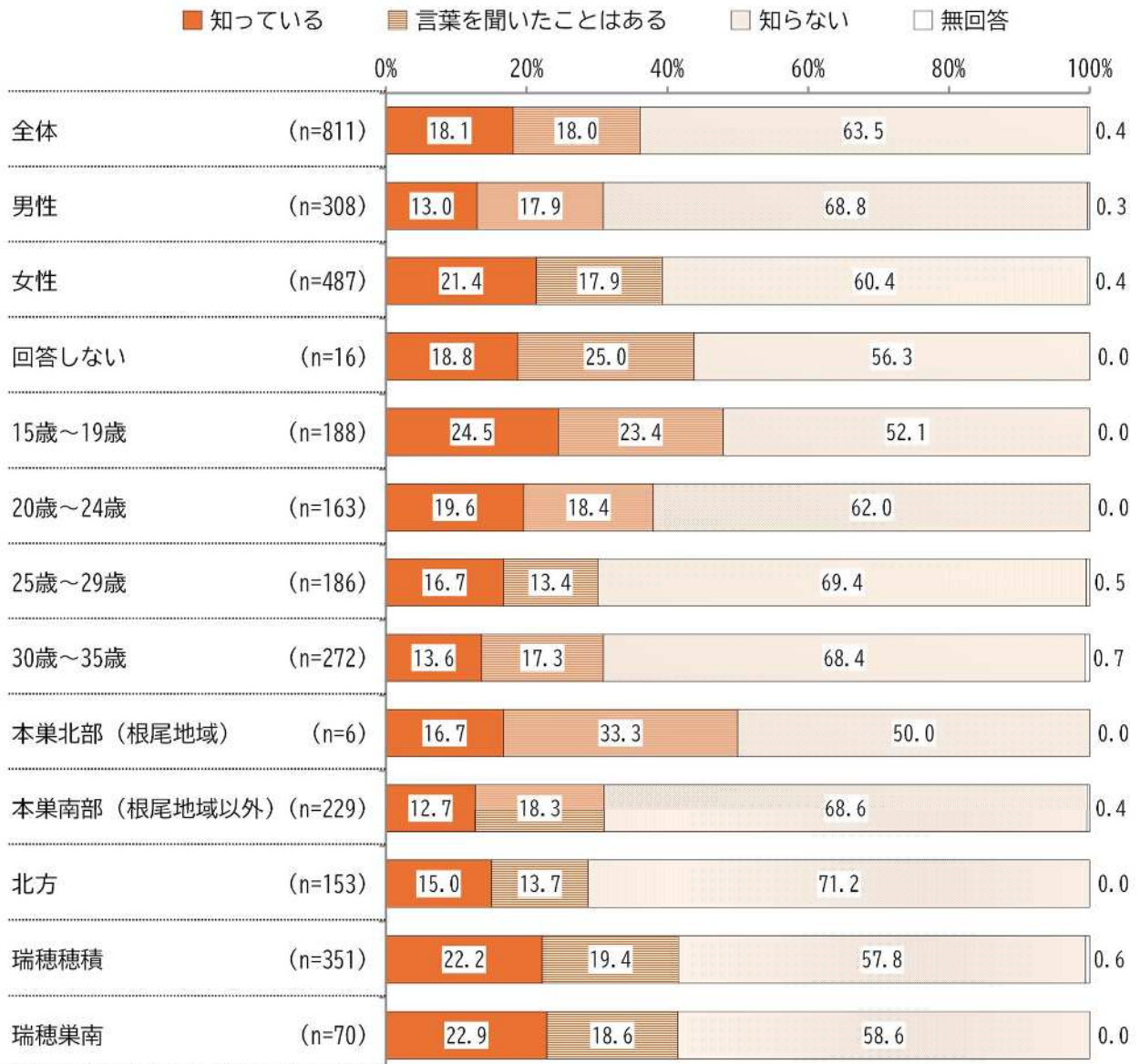
### ① 認知症サポーター

全体では、「知らない」が63.5%、「知っている」が18.1%となっています。

性別でみると、男性は「知らない」が68.8%、女性は60.4%で女性よりも男性が8.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにしたがい「知らない」割合が高くなる傾向となっています。

地区別でみると、瑞穂穂積、瑞穂巣南では「知っている」と「言葉を聞いたことがある」をあわせた“知っている”で4割以上、本巣南部（根尾地域以外）、北方で“知っている”割合は約3割となっています。

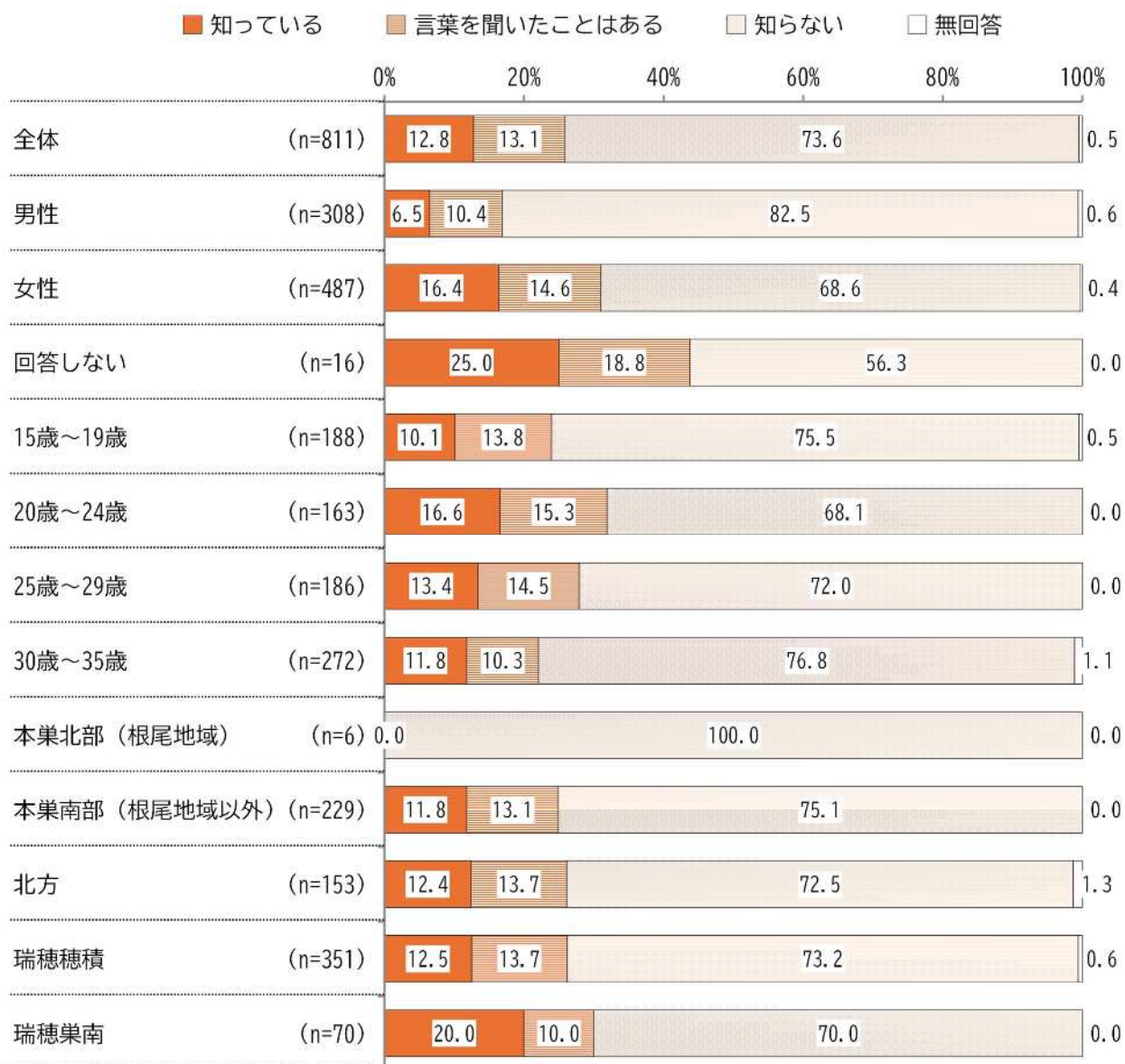


## ② 認知症カフェ（オレンジカフェ）

全体では、「知らない」が73.6%、「言葉を聞いたことはある」が13.1%となっています。

性別で見ると、「知っている」と「言葉を聞いたことがある」をあわせた“知っている”で男性が16.9%、女性が31.0%と男性よりも女性が14.1ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～24歳で“知っている”が3割以上で他の年代よりも高くなっています。地区別で見ても、大きな差はみられません。



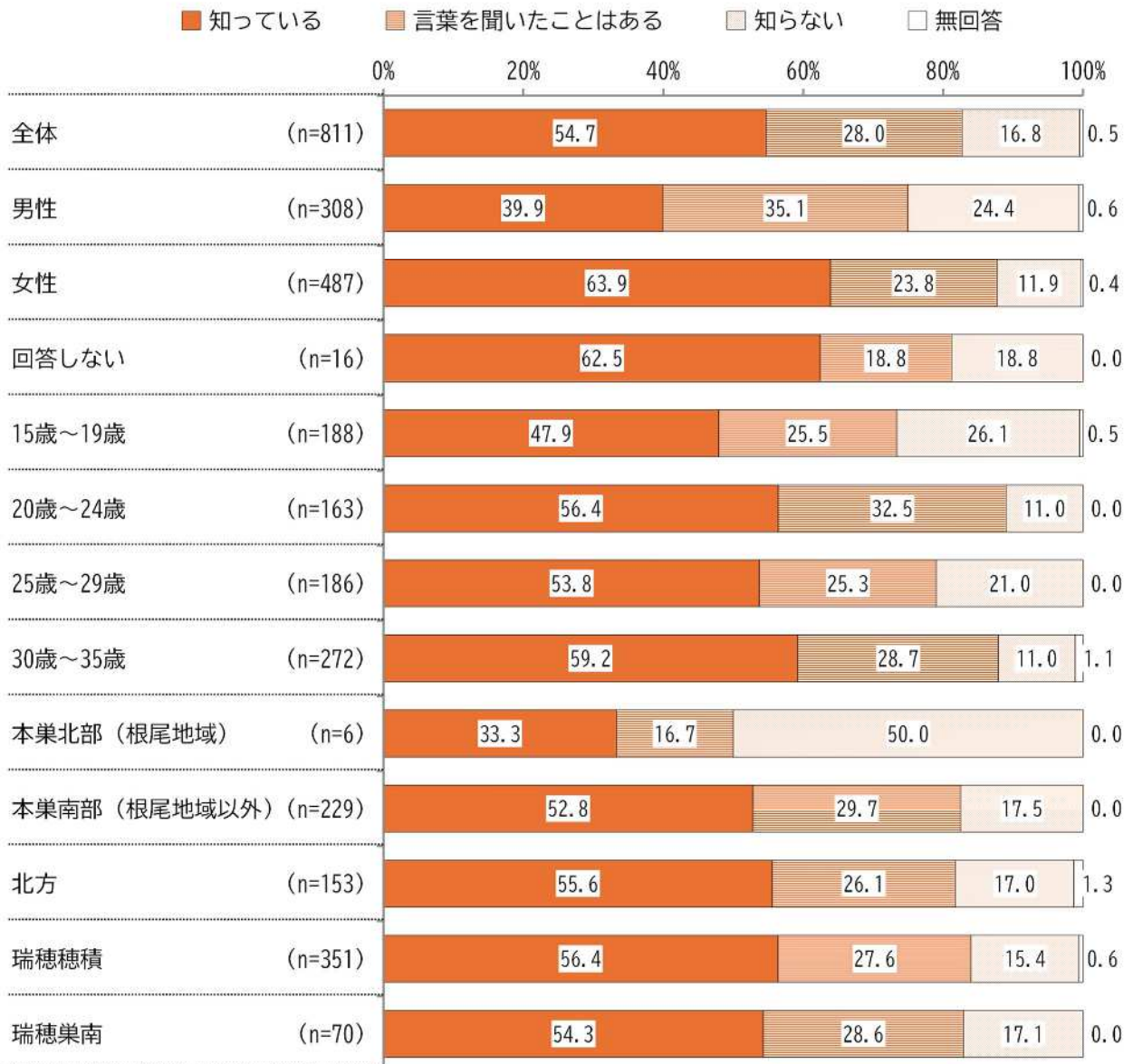
### ③ 若年性認知症

全体では、「知っている」が54.7%、「言葉を聞いたことはある」が28.0%となっています。

性別で見ると、男性は「知っている」が39.9%、女性は63.9%で男性よりも女性が24ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～24歳で「知っている」と「言葉を聞いたことはある」をあわせた“知っている”の割合が88.9%と他の年代と比べて高くなっています。

地区別で見ても、大きな差はみられません。



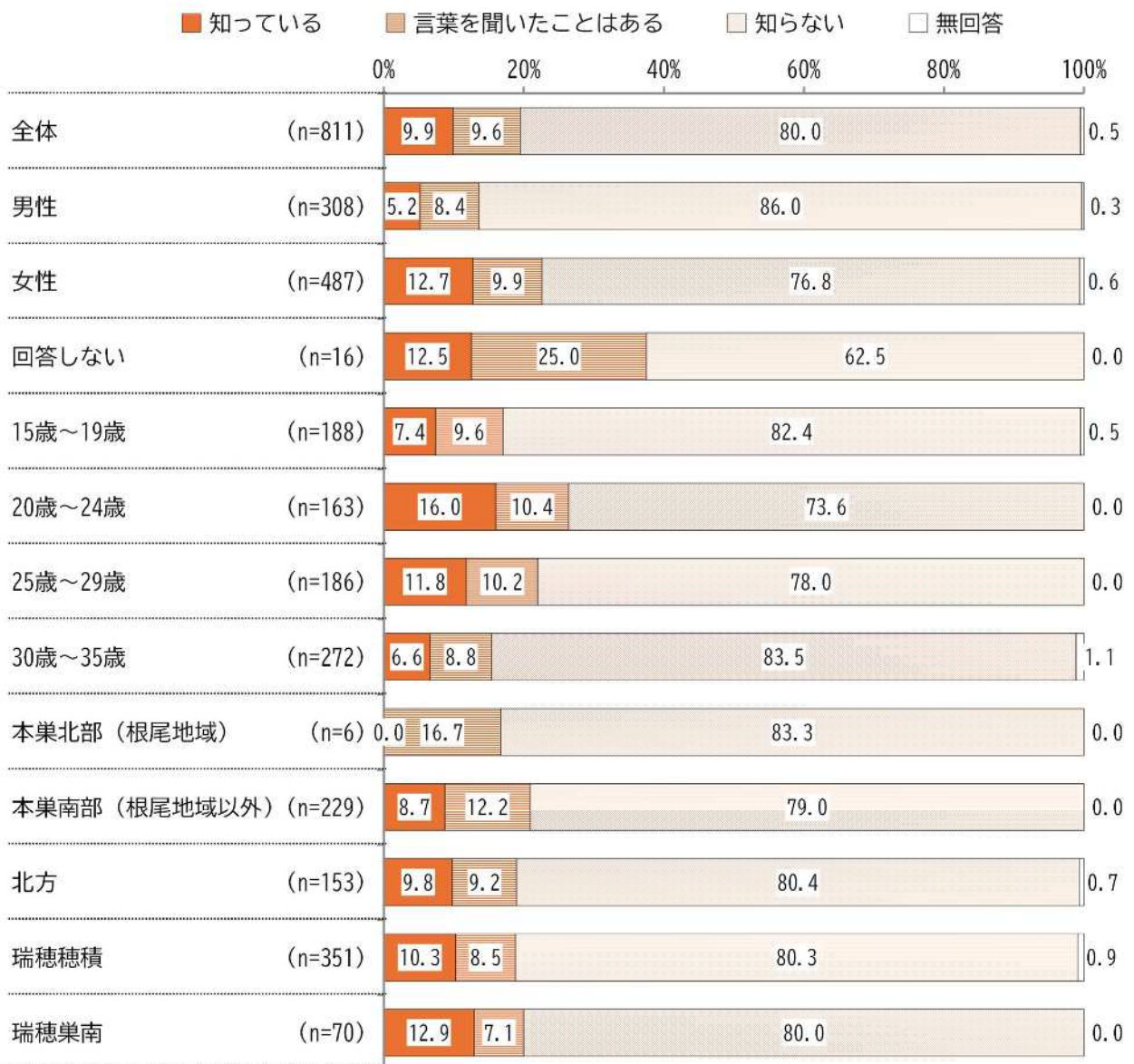
#### ④ MC I

全体では、「知らない」が80.0%、「知っている」が9.9%となっています。

性別で見ると、「知っている」と「言葉を聞いたことはある」をあわせた“知っている”の割合が男性は13.6%、女性は22.6%と男性よりも女性が9ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、20歳～29歳で“知っている”の割合が2割台となっています。

地区別で見ても、大きな差はみられません。



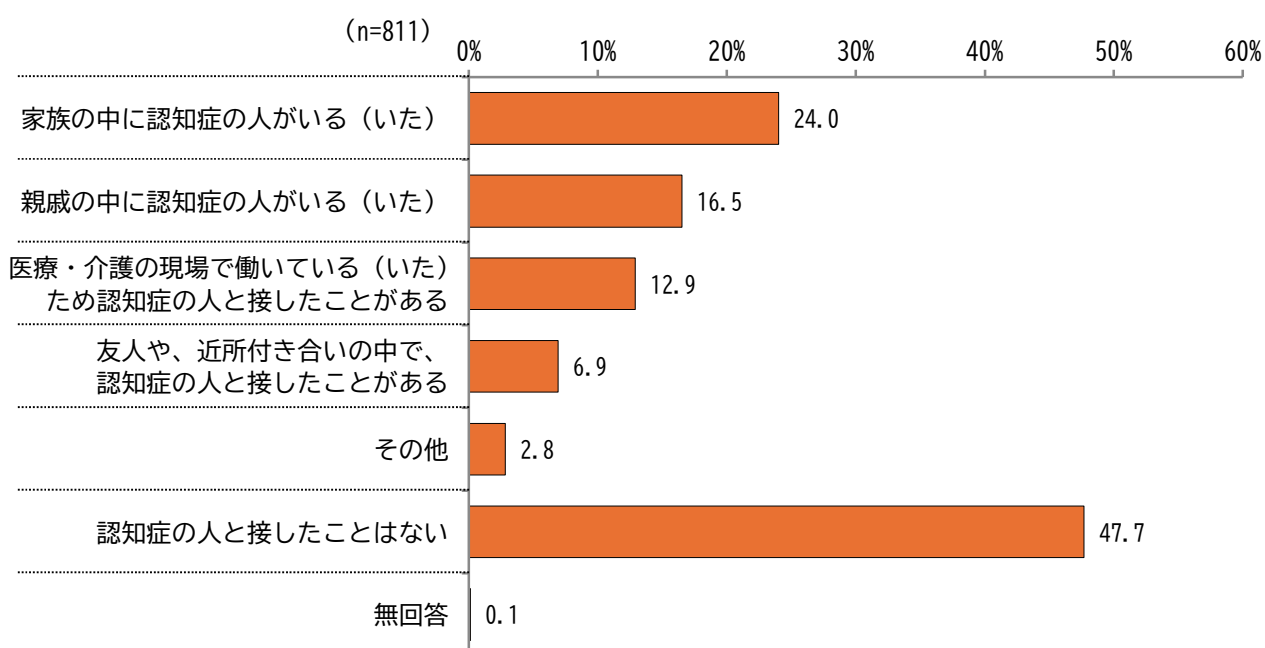
問 23 今までに認知症の人と接したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「認知症の人と接したことはない」が 47.7%で最も高く、次いで「家族の中に認知症の人がいる(いた)」が 24.0%、「親戚の中に認知症の人がいる(いた)」が 16.5%となっています。

性別で見ると、男性、女性ともに「認知症の人と接したことはない」が最も高く、女性よりも男性が 10.1 ポイント高くなっています

年齢別で見ると、15 歳～19 歳では「認知症の人と接したことはない」が 6 割以上と他の年代が 5 割未満であるのに比べて高くなっています。

地区別で見ると、本巣南部(根尾地域以外)、瑞穂巣南で「認知症の人と接したことはない」が 5 割以上と高くなっています。



		全体	家族の中に 認知症の 人がいる (いた)	親戚の中に 認知症の 人がいる (いた)	医療・介護 の現場で 働いて いる 人 と 接 し た こ と が あ る	友人や、近 所の人と接 した こ と が あ る	その他	認知症の人 と接したこ とは ない	無回答
		上段:実数 下段:(%)							
全体		811 100.0	195 24.0	134 16.5	105 12.9	56 6.9	23 2.8	387 47.7	1 0.1
性別	男性	308 100.0	64 20.8	53 17.2	17 5.5	17 5.5	6 1.9	167 54.2	1 0.3
	女性	487 100.0	125 25.7	79 16.2	87 17.9	35 7.2	16 3.3	215 44.1	0 0.0
	回答しない	16 100.0	6 37.5	2 12.5	1 6.3	4 25.0	1 6.3	5 31.3	0 0.0
年齢	15歳～19歳	188 100.0	23 12.2	28 14.9	4 2.1	9 4.8	6 3.2	124 66.0	1 0.5
	20歳～24歳	163 100.0	38 23.3	22 13.5	23 14.1	8 4.9	11 6.7	80 49.1	0 0.0
	25歳～29歳	186 100.0	52 28.0	32 17.2	28 15.1	14 7.5	1 0.5	81 43.5	0 0.0
	30歳～35歳	272 100.0	81 29.8	52 19.1	50 18.4	24 8.8	5 1.8	101 37.1	0 0.0
地区	本巢北部 (根尾地域)	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	本巢南部 (根尾地域以外)	229 100.0	59 25.8	32 14.0	23 10.0	20 8.7	5 2.2	115 50.2	0 0.0
	北方	153 100.0	34 22.2	27 17.6	28 18.3	11 7.2	5 3.3	69 45.1	0 0.0
	瑞穂穂積	351 100.0	84 23.9	61 17.4	45 12.8	21 6.0	9 2.6	162 46.2	1 0.3
	瑞穂巢南	70 100.0	15 21.4	12 17.1	9 12.9	2 2.9	4 5.7	39 55.7	0 0.0

問 24 認知症についてどのようなイメージを持っていますか。(1つに○)

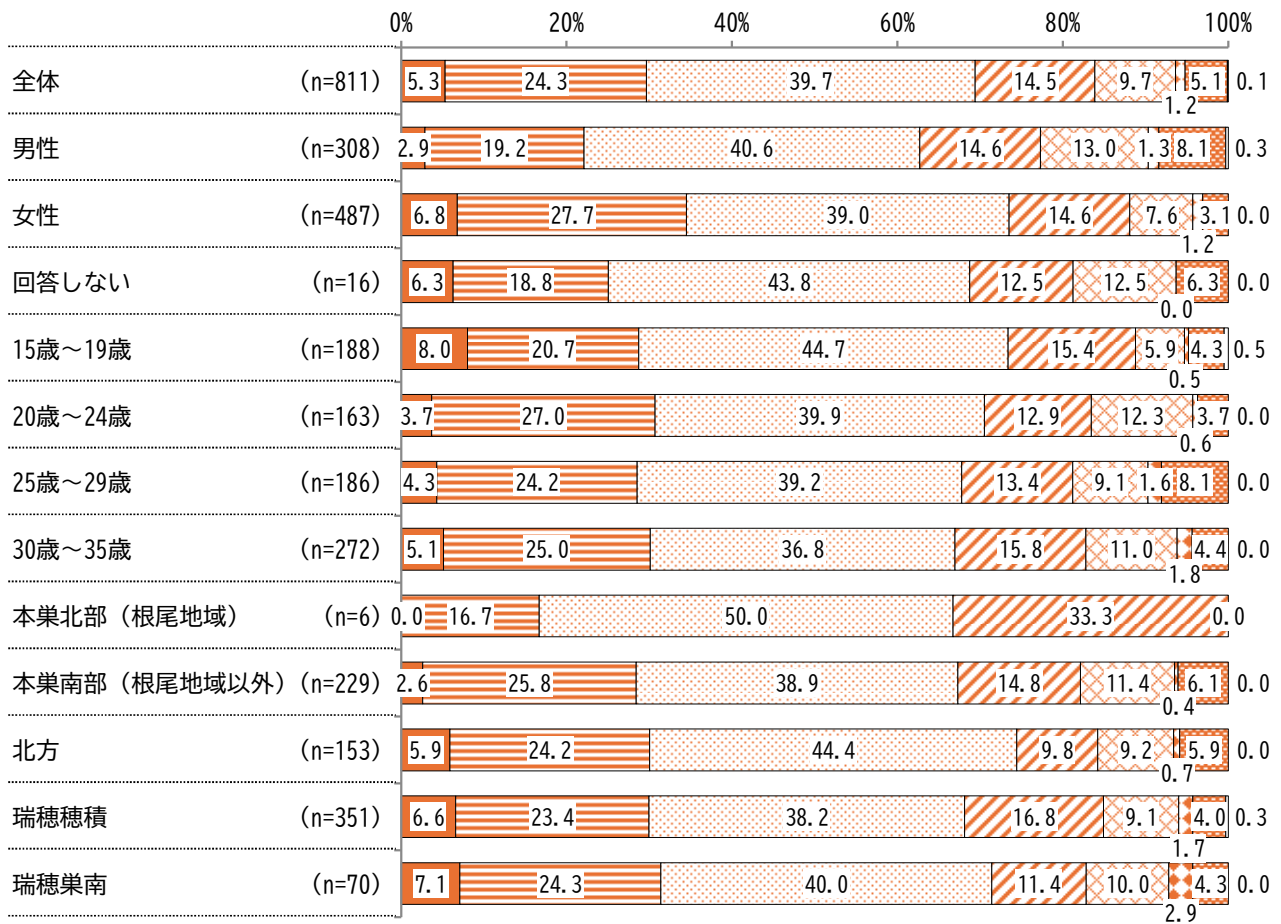
全体では、「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」が 39.7%で最も高く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 24.3%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」が 14.5%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」が最も高く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」となっています。また、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」で男性よりも女性が 8.5 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、15 歳～19 歳では「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」が 44.7%で4割以上と高くなっています。

地区別でみると、北方、瑞穂巣南で「認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」が4割以上と高くとなっています。

- 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、自立的に生活していくことは十分に可能である
- 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- 認知症になると、身の回りのことが出来なくなり介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる
- 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう
- その他
- わからない
- 無回答



問 25 現在、もとす広域連合では令和9年度から 11 年度までの介護保険事業計画を策定しています。介護保険事業についてどのようなことでも結構ですので、ご意見をお聞かせください。(自由記載)

自由記載を分類化すると、「介護に関する取組や制度について」「介護職の待遇等について」がともに 34 件、「介護等に関する意識、理解、認知について」が 33 件、「介護の費用や手続き等について」が 12 件、「本計画について」が 5 件などとなっています。

内容	件数	内容	件数
介護に関する取組や制度について	34	介護の費用や手続き等について	12
介護職の待遇等について	34	本計画について	5
介護等に関する意識、理解、認知について	33	その他	34

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護に関する取組や制度について (34)	本巣南部 (根尾地域以外)	15 歳～19 歳	女性	高校生	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、在宅介護サービスや相談体制を今後も充実させてほしいです。
	本巣南部 (根尾地域以外)	15 歳～19 歳	女性	高校生	介護施設での暴力暴言問題への対策や政策、介護施設へのイメージ改善。介護施設だけでなく、施設に行くのは難しいまたは行かせたくないという方へ向けた、支援などをするといいのではないかと思います。
	本巣南部 (根尾地域以外)	15 歳～19 歳	女性	大学生、大学院生	介護する側 (人件費の負担を抑えられる)、される側どちらにも支援できるような体制を作してほしい。
	本巣南部 (根尾地域以外)	15 歳～19 歳	男性	高校生	若者が事業の存在に気づくような取り組みが必要だと感じた
	本巣南部 (根尾地域以外)	20 歳～24 歳	女性	大学生、大学院生	ヤングケアラーに多くの支援をしてあげたり、介護している人の生活や健康に支障が出ないような支援をしてあげて欲しい
	本巣南部 (根尾地域以外)	25 歳～29 歳	女性	会社・団体の役員	コミュニケーションをとる場を希望されている方に対して、施設内や在宅でも認知症や外出範囲の制限によって人との関わりがとれる機会が少ないと感じることがあります。施設やデイへ行っていても話せる利用者が少なくコミュニケーションを取れる場所になっていないこともよくみるので何が良い取り組みがあればいいと感じます。
	本巣南部 (根尾地域以外)	25 歳～29 歳	女性	会社員、公務員	実際に介護されている方々が少しでも精神負担が軽減され「本当は側にいて介護したい、けど」というご家庭が 1 件でも少なくなる制度になるといいと思います。
本巣南部 (根尾地域以外)	25 歳～29 歳	女性	会社員、公務員	独居の方や 1 人では買い物に行けない人達の為に、バスや介護タクシーの利用ができたり、一緒に付き添ってもらえたりするような支援があるといいかなと感じます。社会のつながりや、自宅で生活していける人も増えるのではないかと思います。	

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護に関する取組や制度について (34)	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	女性	会社員、公務員	高齢者達は車社会の中、運転免許を返納しスーパーや病院、薬局やカフェ等から孤立してしまう状況。独居の家族の支援のない方は家で暮らすには不便となり施設にいくしかなくなるか、支援がなければ孤独死する現状がある。 現在介護度のついていない高齢者、要支援でとどまっている人達の健康寿命を延ばすためにも、自宅で過ごし続けられるようにバスの本数を増やす、タクシーチケットを配布をするもしくは増やす等援助を増やす等の援助があると良いのではないかと。
	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	人手を増やす取り組みを考える
	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	その他(失業中・休業中を含む)	本当に介護等の支援を必要としている方に、適切なサポートが届いてほしいと思います。
	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	会社・団体の役員	在宅で要支援程度の老人の為に交流する場を作る。運動(ストレッチ等)の後にカフェでお茶やスイーツが食べられる。
	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	会社員、公務員	介護は必要ないと言いつつ、毎日病院に通っているお年寄りの方々に対して事業を計画してください。本当に病院に行きたい時、混みすぎていて困っています。
	本巣南部 (根尾地域以外)	30歳～ 35歳	女性	会社員、公務員	介護は精神的にも経済的にも負担が大きいイメージがあり、不安を感じるため相談できる場所や支援の制度を充実していただきたいです。
	本巣南部 (根尾地域以外)	30歳～ 35歳	女性	会社員、公務員	仕事と介護を両立させるために、介護休暇をもっと柔軟に取れるようにしてほしいと思います。また、それを受け入れる職場の雰囲気が必要だと思えます。
	本巣南部 (根尾地域以外)	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務員	独居高齢者数、高齢者のみ世帯数の把握。 社会参加、地域参加ができるよう、児童の施設(放課後等デイサービス、保育園、幼稚園)等とも連携し、様々な行事を考案し、高齢者の参加しやすい場を作る。児童たちも高齢者の方も様々な経験をすることができ、児童たちの学習にも繋がり、高齢者の方の生きがい、役割につながり、認知症の予防等に繋げる。
	北方	15歳～ 19歳	男性	高校生	お金で解決するのではなく、介護する人や受け取る人にとって何が一番してもらいたいかをその人の視点にたって考えてから政策を考えてください。
	北方	15歳～ 19歳	女性	高校生	私のようにアンケートに出てきた“認知症カフェ”など知らない若者がたくさんいると思うので、介護に関することをもっと詳しく学ぶ機会があるといいと思った。 介護関係の職に就く人が少なくなっているなら、AIやロボットをもっと使って人手が多くならないようにするべきだと思った。 ニュースでお金不足でヤングケアラーになった人を見たので、本当に必要としている人に必要な分援助をする、そういった保険事業にしてほしいと思った。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護に関する取組や制度について (34)	北方	20歳～ 24歳	男性	会社員、公務員	保険料を支払っている以上、必要な時に必要な時に十分な保障をうけられない制度であってはならないと思います。若い世代も負担しているため、支払った分がきちんと保障として返ってくる制度であるべきだと感じます。
	北方	25歳～ 29歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	高齢者だけではなく、障害がある方への支援も充実してほしい。
	北方	25歳～ 29歳	女性	自営業、自由業	認知症になっても周りのサポートで一緒に暮らせる地域を作っていってほしい。お年寄りの方が集まってカフェとか開催しているのはとてもよいことだと思う。
	北方	30歳～ 35歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	介護が必要な家族がいる人が、楽になったり、何か助けになるようなものにしてほしいです。
	北方	30歳～ 35歳	女性	会社員、公務員	介護認定判定がとても厳しいからもう少し緩くしてもらおうと在宅でも手厚い支援ができて、その人が今まで生活してきた慣れた場所で少しでも長く生活ができると思うし、家族の介護負担が減ると思う。ただし、緩くするとサービス提供者の負担増加になるから、サービス提供者の育成や人材確保は必要になると思う。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	高校生	義務教育期間中に介護施設に訪れ勉強する機会を増やす。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	高校生	介護施設を利用したくても、介護度や金銭的な問題でなかなか利用できない人がいると介護福祉士の家族から聞きました。利用しなければいけない人がみんな気軽に施設を利用できる制度があるといいと思います。
	瑞穂穂積	20歳～ 24歳	女性	会社員、公務員	市で運営する施設を増やし、待機高齢者の人数を減らす。
	瑞穂穂積	20歳～ 24歳	男性	会社・団体の役員	介護保険で改修工事を考えていた親族の条件がクリアになることが困難だった。介護予防のためにも厳しすぎず困った人たちにサービスを広げて欲しい。そのために介護保険を積立していたのだから。
	瑞穂穂積	20歳～ 24歳	男性	大学生、大学院生	介護についてお金とか人手のことを考えた方が良いと思う。
瑞穂穂積	30歳～ 35歳	女性	その他(失業中・休業中を含む)	私は自閉症の娘を持つ母親です。娘の気持ちになって今回のアンケートの回答をさせて頂きました。うちには 89 歳の主人の父親がいて同居して介護しています。先日認知症の判定が出てようやく介護保険の申請に行き認定をもらい今週からデイサービスに行くようになりました。はっきりいって申請に行く体力がなかったので、うちでがんばって介護していました。障がい者と老人介護のダブルで正直きつかったです。愚痴ばかりですみません、でもお世話に疲れてしまって申請する気力がなかなかないです。もうちょっと頑張れるかなあと。私のような体力のない人を一人でも救ってもらえたらと思います。	

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護に関する取組や制度について (34)	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	自分達が介護保険を使える年齢になった時に、厳しい審査とかなく受けられるようなシステムになっているといいと思います。母親が給料からお金だけ取られているけど(知らない間に値上がりしたりして)自分がちゃんと使えるかどうか分からないかもと言っていたのが印象的だったのでそう思います。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	若者向けの啓蒙パンフレットを拝見しました。ヤングケアラーが問題と言いながら若者に介護の仕事を進めるのは仕方がないのかもしれないけどなんだか変だなという気持ちです。介護保険事業の範疇かは分かりませんが、なるべく元気で歳を取る方法、薬で抑制や予防できるならそういうところに力を入れて欲しいです。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	施設代金が高い割に入居ができないなど、マイナスなイメージが世間体である。それを払拭するような対策が必要。例えば、補助金や従業員の十分な確保。施設を住宅街や商業施設があるような市街化区域ではなく、未利用な農地などが広がっている地域を活用して、施設の増設を検討。農地法による建築の制限があるが、法改正を検討する。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	予算を充分に取り、超高齢化社会にむけ準備しておくべき
	瑞穂巣南	15歳～19歳	男性	高校生	親が数年前に病気になり、しばらく家事や運転などができない期間がありました。手術が困難なこともあって、なるべく無理のないように経過観察していますが、その時は通いのリハビリを利用しました。40歳未満だったので、介護保険は使えなかったと聞きました。介護というと、高齢者に焦点があてられているイメージですが、実際に困って頼りたいという若い人達もいます。僕の家族もそうでしたが、子どもを育てている時に支援が必要な病気になることは、本人自身が自分を責め苦しみ、周りの支援が十分でないという二重の苦しみです。高齢者がそのような病気になる何倍も、その家族にとって長く抱える大きな問題であることは経験しないと分からないことです。市のタクシー助成などもそうですが、政策は年齢で区切るのではなく、必要としている人に行ってほしいです。公共交通機関が十分でない地域でこのような支援制度がしっかりしていないと、若い人たちは安心してここに住み続ける選択はしないと思います。これはヤングケアラーなどの支援にも繋がると思います。
介護職の待遇等について (34)	本巣南部(根尾地域以外)	15歳～19歳	女性	高校生	これからもっと介護を利用する人が増えると思われるので、介護の給料を上げないと人数も増えないと思います。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	女性	その他(失業中・休業中を含む)	介護保険事業の充実には、医療の現場(施設含む)の人手不足を解消しなければだめだと思います。働く人がやりがいを感じたり続けられるように給料のUPや職場環境の改善が必要であると思います。私の職場は働きやすく楽しい職場ですが、給料UPしてくれればと思っています。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	女性	大学生、大学院生	難しいことですが介護保険事業が儲かる仕組みを作り、介護士などの待遇面をよりよくするべきだと思います。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護職の待遇等について (34)	本巣南部 (根尾地域以外)	20歳～ 24歳	男性	会社員、公務員	介護する側の給料、または手当等を充実させる必要があると考えます。
	本巣南部 (根尾地域以外)	30歳～ 35歳	女性	会社員、公務員	自分は介護の仕事ではないが、仕事柄関わる事がある。また、要介護でない祖父母でも大変なのに、今後、要介護になった場合、いずれ自分の両親のことも不安が大きい。 現状、介護の激務、低賃金では人手不足のままだし、その仕事を選ぼうという選択肢は出てこない。まずは労働者の改善をはかると、労働者の負担が減りサービスにも余裕やゆとりができる。そうでないと要介護の方を支える前に、介護の方がダメになってしまう。 自宅介護が難しい年齢の高齢者が増えていく今から、介護の労働環境を整えていくことが大切だと思う。
	本巣南部 (根尾地域以外)	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務員	保育現場や福祉関係に働いている人たちの人材確保、給料などを上げてほしいと思う。必ず必要な仕事なので！
	北方	15歳～ 19歳	女性	高校生	小規模多機能の施設のことをもっと広める。 介護福祉士の給料をまたは手当をもっと上げる
	北方	15歳～ 19歳	男性	高校生	近頃、SNSで介護施設の方の声を見かけることがあるが、かなり負担があるように思います。 人間が人間の世話をするのは大変であることはわかっているため、労働対価の充実を早急を実施する必要があると考えています。
	北方	20歳～ 24歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	介護保険事業についてよくわかりません。介護現場で働く人の給料を上げると良いと思います。
	北方	20歳～ 24歳	女性	会社員、公務員	精神的、身体的ストレスから虐待につながるリスクが高いので、しっかりとした休みと、お給料をあげてほしい
	北方	20歳～ 24歳	女性	大学生、大学院生	介護ロボットや移乗リフトなど使える機械を導入して介護者の身体的負担を減らしたり、賃金をあげてやりたいと思う人を増やしたりする必要がある
	北方	25歳～ 29歳	男性	会社員、公務員	給与の見直し。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	介護の職に従事する人たちの給与を増やして欲しい。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	給料を上げてほしい、仕事と給料が釣り合っていないと感じる。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	高校生	介護士が働きやすい職場環境を整え、労働に見合った給料を払うことが、まず行うべきことだと思う。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	専門学校生	処遇改善のお金を現場で働いている人に渡すようにしてほしい(事業所に取られるから)。 介護保険を所得の多い人からもっと取るようにしてほしい。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	大学生、大学院生	賃金を上げた方がいいと思う。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護職の待遇等について (34)	瑞穂穂積	20歳～24歳	男性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	給料を爆上げすれば人手不足改善、人間の身の回りのお世話なんて本当に大変な事。 高齢化が進んでいる中、高齢者を生かすとゆう方針がある以上その大変な仕事を真っ当してくれる人に対して、感謝、敬意、リスペクトを持ってささやかな気持ちをお給料という形でもっと表して上げて下さい。 僕には絶対に出来ない仕事なので本当にすごいと思います。頑張ってください。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	1つの施設に勤める人がもっと多ければ良いと思います。事務専門の人や来る人対応する専門など。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	会社・団体の役員	働きやすい環境作りや、医療従事者に対する賃金の値上げが必要だと思う。 訪問看護で理学療法士をしています、在宅生活で色々なサービスを必要とする中で、スタッフも最善を尽くしますがやはり身体的な疲労感は強いです。これに見合った給料が欲しいと思います。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	専業主夫・主婦	介護経験のある身としては大変助かっています。ですが介護をする人達への負担はまだ多く感じます。介護施設の賃金の低さにも心配があります。これから少しでも良くなっていくことを願います。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	専業主夫・主婦	介護の仕事は今後より必要になってくるにもかかわらず、雇用形態や福利厚生、特に給料が割に合わないと思うため、介護職で働いてみたいと思わない。また介護職での外国人雇用が増えていけば良いと思う。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	男性	会社員、公務員	介護者へのサポートを充実させてほしい。給与に限らず介護者を志す人へ、一人前になるまでサポートする体制を作してほしい
	瑞穂穂積	25歳～29歳	男性	会社員、公務員	介護を儲けられる分野にしていかなければ、コンプライアンスが厳しくなる現在において、事業者の存続や労働者から見た魅力は下がる一方だと考えます。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	介護してくれる人への待遇をよくしてあげてほしい。体力も精神面も大変だと思う。もっと介護の仕事の大変さややりがいを広めて欲しい！
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	介護職の充実に関しては、給与面の充実は必須と考えます。学生も現実的な考え方で仕事を選びます。ただ「やりがい」は介護職の強みですので、学校での職場体験やボランティア等、まずは仕事選びのきっかけとなる機会ができるといいですね（昨今先生も学生も非常に多忙なので難しいかもしれませんが、学生にとってのメリットが経験以外にあるといいですね）。 また社会に出てから介護の仕事にキャリアチェンジできるような流れもできると良いと思います。大学や専門学校での社会人の受け入れ促進や、介護施設での育成採用（経験者より低い給与だが資格取得のための支援をする等）等でしょうか。 いつもありがとうございます。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護職の待遇等について (34)	瑞穂穂積	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務員	福祉、介護で働く方へ、大切な仕事なので待遇を良くしてあげてください。
	瑞穂穂積	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務員	介護職の待遇改善は必須
	瑞穂穂積	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務員	スタッフの方が働きやすくなるように労働面の改善をしてほしいです
	瑞穂巢南	15歳～ 19歳	女性	高校生	介護を受ける人が虐待を受けてしまうという問題について、介護をする人の精神的負担を減らすことが重要だと思う。 介護保険事業について調べてみましたが、よくわからなかったのが私が思っていることを記入しました。
	瑞穂巢南	25歳～ 29歳	女性	会社員、公務員	第一に、保育、福祉、介護、医療の分野で働く人に賃金等、十分なサポートをお願いします。 福祉フェスタや学校行事を行い、介護、福祉に触れる機会を増やす。 福祉・介護の現場を体験したり、現場の実情を把握した上で事業計画を策定してください。
	瑞穂巢南	30歳～ 35歳	女性	自営業、自由業	介護の労働環境を改善していかなければ、利用者への対応も悪くなり、全体のイメージが悪くなっていくと思う。 働き手の意見を聞いて改善していくことが大事だと思う。
	瑞穂巢南	30歳～ 35歳	女性	専業主夫・主婦	若い子が介護に興味を持ち、率先してやる環境や相談できる場所があるならいいと思います。 私も介護をしていたからわかるのですが、一度、離脱したくなる時が来ることもあり、違う職につきました。年配の方が多いため、若者は相談しにくい場所ができてしまったり、無断欠席をしたりしていなくなったりした子もいました。事務所のいざこざを見たり、看護師のいざこざを見たりして来たからここで働いて歳を重ねていく自分が想像できなくなり若いから大丈夫などと思うかもしれませんが気持ちは繊細です。資格取得の手厚いサービスや資格制度での給与補償、勉強も仕事をしながらケアマネ、介護福祉士を取るメリットがなければ、老老介護の時代が来てしまいます。今の自分たちが歳を重ねた時に誰も介護がいなくなるかもしれません。 国外の子たちも、丁寧で勉強熱心で国にお金を送って家族の生活をサポートしていることも知っています。国が手厚いサービスだとしても、今いる日本人に対してのサービスがなければゆくゆくは国外の人がほとんどになり、介護する側の日本語がままならない方に介護をしてもらわないと行けない時代が来るかもしれないと思っています。介護保険事業計画も大切ですが、日本の方の現場職員の把握、年齢層を確認して若い子が興味を持てる、資格取得もしたくなり環境づくりを進めていただけたらと思います。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護職の待遇等について(34)	瑞穂東南	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	介護従事者の手当を魅力的にすることや外国人労働者や学生バイトなどを雇うなどして、労働力不足が解消されると安心できます。 私も祖母と叔父が隣地で単独生活しているので、将来介護は他人事ではないと感じています。 また、認知症など介護必要とならないように、別居であっても、高齢の家族のケアをしていきたいと思っています。
介護等に関する意識、理解、認知について(33)	本巣南部(根尾地域以外)	15歳～19歳	女性	高校生	介護についてみんながよく知り、いろんな活動をするのがいいと思いました。
	本巣南部(根尾地域以外)	15歳～19歳	女性	高校生	私たち高校生の介護に対する理解を深める。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	女性	会社員、公務員	私は、家族が介護を必要とする立場になってから初めてサービスについて調べ、インターネットで調べても情報が多すぎて分かりにくいと感じることがありました。また、周りに同じような状況の人がいない場合は、悩みを話しにくく、相談しづらいと感じることもあると思います。介護が必要になったときに、本人や家族が安心して相談でき、必要なサービスにつながりやすい仕組みがあるとよいと思います。これからも、地域で支え合い、気軽に相談できる体制づくりを続けてほしいです。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	女性	大学生、大学院生	まだ私の身の回りでは介護が身近ではなく、知らないことが多いです。介護に関する情報をより積極的に市民に知らせていただけるとありがたいと思います。今回のアンケートの機会は知っておくべき用語も説明があり良かったです。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	男性	大学生、大学院生	介護を必要とする人たち(家族も)に、どこに行けば助けてくれるのか、もっと分かりやすくしてほしい。
	本巣南部(根尾地域以外)	20歳～24歳	男性	大学生、大学院生	なかなか介護制度について若者が知る機会が少ないので、学校の授業などで知る機会を与えることが重要だと思います。 また、介護職のイメージはあまり良くないと思うので、環境の改善及びその広報をしていって欲しいです。
	本巣南部(根尾地域以外)	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	介護保険が必要な人がもっとわかりやすく使えるように説明する場をもうけるのが大切だと思います。 なかなか条件が合わなく、使えない人もいるから、本当に必要な人にも使えるようにすることが大切。
	本巣南部(根尾地域以外)	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	介護保険制度は、必要とする人が利用できていない人が多くいると思います。特に情報弱者の方への告知を強化するとういと思っています。
	本巣南部(根尾地域以外)	30歳～35歳	女性	専業主夫・主婦	介護保険等知識がない知らないことが多いのと、わからないから何を知らたら良いのかもわからないから、必要なことを知らせる何かがあればいいなと思う。
	北方	15歳～19歳	女性	高校生	内容が分かりませんが、もっと介護を知ってもらうために講座や目を引くようなパンフレットを作ると良いと思います。

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護等に関する意識、理解、認知について (33)	北方	15歳～19歳	男性	大学生、大学院生	介護がより多くの人に伝わり、介護する人も介護される人も充実した生活を過ごせるよう、頑張ってください。
	北方	20歳～24歳	女性	大学生、大学院生	介護保険について認知度が上がるような政策がまず必要だと思います。
	北方	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	若い世代はどうしても自分事と捉えづらいため“介護”を身近なものとしてとらえられる環境づくりはあると良いと思いますよ。
	北方	25歳～29歳	女性	専業主夫・主婦	介護する側の負担が重くならないように、利用しやすく、周りのフォローが受けやすいようにして欲しい。
	北方	30歳～35歳	女性	その他(失業中・休業中を含む)	介護のことは分からないので、簡単で分かりやすいといいです。
	瑞穂穂積	15歳～19歳	回答しない	高校生	制度について一般の人でも分かりやすいような工夫があるといい。(授業で習ってなんとか理解できたくらい難しいと思うから)
	瑞穂穂積	15歳～19歳	女性	高校生	介護保険事業とは違う管轄になってしまうかもしれませんが、学生と高齢者が関われる機会があると良いのかなと思いました。 若い世代は老いというものを記憶がなくなる、体が思うように動かないなどマイナスな視点をメインに考えがちなのではないかと思います。ですので、関わる機会をつくることは老いとは何か、施設ではどんなことをしているのかなどを知るきっかけになり、自分の将来について現実的に考えるヒントになるきっかけになるのではないかと思います。高齢者の方にとっては若い世代と関わることは認知機能の維持や意欲、活力の向上、社会からの孤立を防ぐことなどにつながるのではないかと思います。 これからさらなる超高齢者社会に直面すると予測され、社会はどのように変わるのかわからないなか様々は計画や対策を立ててくださりありがとうございます。高齢者や介護、介護保険など自分でも考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
	瑞穂穂積	15歳～19歳	女性	高校生	正直全く知らないのですが、SNS などから若い人でもアクセスしやすいような仕組みを作って欲しい。
	瑞穂穂積	15歳～19歳	男性	高校生	SNSを活用し、広告すると良いかもです。
	瑞穂穂積	15歳～19歳	男性	大学生、大学院生	もっとこのような感じで若者に発信していくべきだと思います
瑞穂穂積	20歳～24歳	女性	その他(失業中・休業中を含む)	介護について知らない人にも知ってほしい政策を作る	

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護等に関する意識、理解、認知について (33)	瑞穂穂積	20歳～24歳	女性	大学生、大学院生	ズレた意見でしたらすみません。仕組みを必要とする人と制度がつながるように工夫していただくと良いかと思います。私の周辺だけかもしれませんが、肉体的な介護の必要性はすぐに認識できても、認知症の介護の必要性は「家族の認知症を認めたくない」「家族や親戚の誰かが面倒を見てくれる」といった姿勢から見過ごされがちであるように感じます。本人・家族が必要だと思っていなくても実は本来介護サービスを受けたほうが良い状況にあることもあると思うので、自ら求めに行かなくても自然とサービスを受けられると良いと思いました。
	瑞穂穂積	20歳～24歳	男性	自営業、自由業	若い人たちに介護のことを理解してもらう
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	老人と若者の人数に差がありそうなので、介護が行き届くのか、負担が大きくなるのか不安。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	<p>まずは認知症本人よりも、その人をケアする周りのケアが私は1番大切なのかなと思います。</p> <p>認知症の進行度合いや状態もそれぞれですので、各家庭で認知症患者に対してどのような症状によって何が懸念されるのか、サポートをどのくらい使える経済状況なのか、具体的にどの時間で何人が介助できる家族構成なのかを知った上で、介護者が介護するために必要な知識を伝えること、現実的にどのようなトラブルが起き、どういった問題があるのかを認識してもらうことに努めるのが基盤になると思います。</p> <p>正直サポート事業はお金がないと成り立たない事業ですし、国からの支援も無料でできるのは相談までで、お金がないと実際のサポートはできず…。</p> <p>コロナの時のように、具合が悪くて病院へ行っても発熱外来がないところはせっかくきたのに門前払いとなってしまつてとても悲しいやら、やるせないやらという気持ちになった経験が多くの人があるんじゃないでしょうか。それと似たように、相談しに行っても結局は自分がやらなきゃ、と追い詰められる人は少なくないのかなと思います。</p> <p>なので、足を運ばなくても気軽にすぐ電話相談ができたり、職員の方が自宅などに訪問して話を聞いてくれたりするだけでも、「気軽に相談して良いんだ」という気持ちになって救われる人はいるのではないかと思います。</p> <p>また、制度はあっても親切に教えてくれる機会というものが日本はなかなかないので、具体的な金策に絡んだ利用できる制度をピックアップして紹介してくれると、そもそもの知る機会ができるので、抱え込まなくて済むのではないかなと思います。</p> <p>すでに行っていることばかりだとおもいますが、私はケアしてくれる人をケアすることが環境が整っていく1番の近道だと思いました。</p> <p>介護事業は大変だと思いますが、手を取り合って支え合えれば良いなと思っています。頑張ってください。</p>

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護等に関する意識、理解、認知について (33)	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	介護が必要な方やご家族にとって、介護保険制度はとても重要な仕組みである一方で、制度や手続きが分かりにくいと感じる場面もあります。より分かりやすい説明や情報提供があると利用しやすくなるのではないかと思います。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	男性	会社員、公務員	WEBやSNSなどの媒体を使用して計画や事業の内容を積極的に発信してほしい
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社・団体の役員	当事者でないとし身に感じられない為、関心を持ってもらう工夫。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	まだ先のことと見ないふりをしていましたが、様々な選択肢から、利用者に寄り添った最善策と一緒に考えてくれる環境があると、心強いです。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	特に自分事として捉えたことがありませんが、地域全体での連携が必要かと思います。今後の方針や計画など、自分事として考えるきっかけがあるといいかと思います。
	瑞穂巣南	15歳～19歳	男性	高校生	魅力をもっと伝える
	瑞穂巣南	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	最近、母方のおばあちゃんが実家に住むことになりました。認知症でもない（検診済み）、身のまわりのことは自分でできているが、それでも母は色々大変そうだと感じる（仕事を調整したり、火のものの注意をしたり、散歩に行くおばあちゃんがきちんと帰れるよう整えたり）。また父は一緒に住むことに納得はしているが、あまり良くは思っていないところがあるよう（性格的に）。今後のことを考えると、孫の私も不安（私は実家を出て妊娠中）。50、60代の世代に（父、母のような）事業のメリットを伝えてほしい。
瑞穂巣南	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	介護施設に入居や利用をするために何年も順番待ちが必要と聞いたことがある。これは待機児童以上に深刻だと思う。 子育てはもちろん大変だが、40年くらい先に自分がもし介護が必要になった場合、金銭的にも精神的にも自分の子どもたち（の家族）に負担をかけたくない。 そのために老後のための貯蓄が必要なのはわかるが、今の生活や子どもたちの学費等でそれ以上の余力がない。 年金もあてにできないのに、寿命だけが伸びていき、晩年生きていることが辛くなるんじゃないかという不安さえある。 極論を言ってしまうえば、いわゆる安楽死を認めてほしい。	
介護の費用や手続き等について (12)	本巣南部（根尾地域以外）	15歳～19歳	女性	高校生	介護している人の負担を少しでも減らすようにしたほうが良いと思う。 結局お金がないと心の余裕もうまらなくて介護している人が病んでしまうと思うから補助金や商品券などを配ったほうが良いと思う
	本巣南部（根尾地域以外）	25歳～29歳	男性	会社員、公務員	介護＝お金がかかる？

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
介護の費用や手続き等について (12)	北方	25歳～29歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	私は建設業に努めていることもあり、介護に必要なバリアフリーに協力していきたいです。何か補助金(?)の様なものがあれば、お客様のためになるので積極的に利用したいです。
	北方	25歳～29歳	女性	会社員、公務員	○介護認定の基準の見直し ※実際の状況と介護度が見合っていない場合が多々見られる為 ○国立の特養などの比較的経済力が低い人でも入れる施設の増加 ○特養に入る特列入所の基準の見直し ※日中独居の老人が一人歩きをする、夜間の深夜徘徊をするなどの家族が面倒を見切れないなどの場合も当てはまるようにできたら良いと存じます。
	北方	30歳～35歳	女性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	将来、自分たちも老いて介護が必要になるかもしれませんが。介護保険事業があってもいいと思います。介護事業で介護が必要で助かる方々がいたら良い制度だと思いますが、私たち若者も物価高な割に給与は上がらないと苦勞もしていますので、どのくらい負担(40歳以上の方々が払う保険料)になるのかも気になる所です。
	北方	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	補助金を増額
	北方	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	認定調査から結果が出るのに時間がかかり結果が出るまでサービスが使いにくい状況があり、困る場合がある
	北方	30歳～35歳	男性	自営業、自由業	財源でやらずに国債でまかなって事業してください。一度税金を徴収して事業しても経済は回せませんので。
	瑞穂穂積	25歳～29歳	女性	専業主夫・主婦	介護が必要になった人に、病院などと連携して、自動でその制度が受けられるようにすると、その家族も手続きなどの面倒ごとから解放されると思います。
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	会社員、公務員	施設サービスを受けるための金銭的補助 自宅での介護は難しいので積極的に施設を利用できる人が増えるようにしてほしい
	瑞穂穂積	30歳～35歳	女性	自営業、自由業	ケアマネありきのサービス提供、調整役のケアマネがサービス提供の主体者になる事に疑問。必要のないサービス(ヘルパーやショート利用を)すすめてくる。困った時に真摯に耳を傾けてサービス提供と調整をしてほしい。
	瑞穂巢南	25歳～29歳	女性	自営業、自由業	税金は大切に使ってほしい

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
本計画について (5)	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	会社・団体の 役員	先に述べたように外国人スタッフを増やすなどという選択項目を用意する組織にろくなことなどできないと思っています。言い過ぎで、すみません。疲れているのです。普通に意見を述べるなら、余計なこととして事態を悪化させてはいけないくらいです。介護保険事業計画の内容は、知らないのですが、恐らく、ろくな計画でないし無意味なら、まだ増して事態の悪化にしか繋がらないだろうと思ってしまいました。適当に言っているだけで、とくに考えて意見していないので無視してください。すみませんでした。年末年始に、マイナスな言葉を使ってしまってすみません。その事業が上手くいくよう祈るくらいしかできません。ただ言えるのは外国人スタッフを増やすのだけは、してはいけないと思います。(しつこくてすみません)。外国人を嫌っているわけではなく、その選択肢は間違っていると思っています。
	北方	15歳～ 19歳	男性	高校生	言い方が悪く抽象的になりますが、ありきたりな制度や考え方などにとらわれすぎない事が大切だと感じます。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	大学生、大学院生	高齢化社会に役立つ計画だと思う。
	瑞穂穂積	20歳～ 24歳	女性	大学生、大学院生	地域の意見をしっかり反映した事業を行ってもらうことに期待します
	瑞穂穂積	30歳～ 35歳	女性	その他(失業中・休業中を含む)	とても良い計画だと思います。
その他 (34)	本巣南部 (根尾地域以外)	15歳～ 19歳	女性	高校生	少子高齢化が進んでいるので不安。
	本巣南部 (根尾地域以外)	15歳～ 19歳	女性	高校生	まだわからない。
	本巣南部 (根尾地域以外)	20歳～ 24歳	女性	会社員、公務員	実際の介護の現場を見るのが一番だと思います。
	本巣南部 (根尾地域以外)	20歳～ 24歳	女性	会社員、公務員	封筒を開けたら、中に入っている用紙全てに汚れがついていた。これは使い回しですか？あまりにも汚すぎて驚きました。配布物とするにはこの汚さはどうなのでしょう？用紙も少しぐちゃっとしているし、ありえない汚さです。返信用の封筒でさえ汚れている。どういう管理体制ですか？
	本巣南部 (根尾地域以外)	20歳～ 24歳	女性	大学生、大学院生	介護をもっと受けやすい社会づくりが大切だと思う
	本巣南部 (根尾地域以外)	20歳～ 24歳	男性	アルバイト、パートタイマー、契約社員など	負担費用とサービスの充実性は営利団体との差別化が必要だと思う
	本巣南部 (根尾地域以外)	25歳～ 29歳	男性	その他(失業中・休業中を含む)	何をする事業が分からないのでコメントできない

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
その他 (34)	本巣南部 (根尾地 域以外)	25 歳～ 29 歳	男性	会社員、公務員	<p>前回、外国人スタッフを増やすに激しく反対して、とくに対策など言わなかったので（申し訳ありませんでした。攻撃的な言葉になり過ぎました。）個人的に調べたりして個人的な対策を考えてきたというほどではないのですが軽く考えて来たので述べたいと思います。介護の現場、もとす広域連合の計画等を少し見て DX の導入がタブレット端末だけだったので、そこを調べて来ましたので、そこから実現可能かは別として可能性を広げるべく少し調べてしました。無意味かもしれませんが、すみません。</p> <p>介護の現場で“メジャー”な既製 DX ツール（2025 年時点）</p> <p>以下は、全国の介護施設で導入が進んでいる主要カテゴリと代表例</p> <p>1. 介護記録システム（クラウド型）：最も普及している DX ツール。記録・申し送り・加算チェック・請求などを一元化。 CAREKARTE（ケアカルテ）／ワイズマン（介護支援ソフト）／ほのぼの NEXT／カイポケ（記録＋経営支援） ※記録時間の削減・転記ミス防止・加算管理が大きな効果。</p> <p>2. 見守りセンサー（IoT）：夜間巡回の削減や転倒リスクの早期発見に使われる。 パラマウントベッド：眠り SCAN／フランスベッド：見守りシステム／バイタル自動取得センサー（心拍・呼吸） ※夜勤負担の軽減・事故防止に直結。</p> <p>3. 介護ロボット（移乗・歩行・排泄）：人手不足の現場で導入が進む。 HAL（移乗支援）／リショーン Plus（ベッド→車椅子一体型）／自動排泄処理装置（パナソニックなど） ※腰痛予防・移乗介助の省力化が大きい。</p> <p>4. AI・業務支援ツール：AI が記録を解析したり、シフトを最適化したりする。 AI 申し送り生成／AI ケアプラン支援／AI シフト作成ツール ※判断補助・情報共有の質向上に役立つ。</p> <p>5. 施設運営・経営支援ツール：介護事業所の経営を支えるクラウドサービス カイポケ（経営・請求・勤怠）／free 人事労務（勤怠・給与） ※バックオフィスの負担軽減。</p> <p>上記のツールの選定に重要な現場の困りごとを言語化する際の注意点を以下に述べる。</p> <p>1. 事実ベースで書く ×「記録が大変」／○「記録に 1 日合計 90 分かかっている」／○「夜勤の巡回が 1 回 7 分、1 晩で 8 回」</p> <p>2. 感情ではなく“作業”で書く ×「忙しい」／○「紙の転記が 1 日 30 回」／○「加算チェックに毎月 6 時間」</p> <p>3. “人にしかできない部分”と“機械で代替できる部分”を分ける 人にしかできない：観察、判断、コミュニケーション／機械で代替できる：記録、集計、見守り、通知、転記</p> <p>以上、これまで述べてきたのは、現場の困りごとを明らかにして適切な DX 既製ツールを選定し、導入して DX を成功させることで、もとす広域連合が解決しようとしている介護の問題を日本人のみで対応可能にする方法として、あくまで可能性として述べました。</p>

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
その他 (34)	本巢南部 (根尾地 域以外)	30歳～ 35歳	女性	アルバイト、 パートタイ マー、契約社 員など	介護保険は 20 歳を過ぎたら払うようにすればよい と思います。
	本巢南部 (根尾地 域以外)	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務 員	介護という厳しい職場で働きたいと思う、若い世代 はいるのかと不安になる。 私達もいつかは、介護される側になる。変わる必要 があると感じる。
	北方	15歳～ 19歳	女性	高校生	特になし
	北方	15歳～ 19歳	男性	高校生	こどもから高齢者まで平和に暮らせるような町にし たい
	北方	25歳～ 29歳	女性	自営業、自由 業	頑張ってください
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	回 答 し ない	高校生	頑張ってください。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	おじいさん、おばあさんが税金をあまり使わないよ うにするといいと思う。 病院に通わなくてもいいように健康的な身体づく りを目指す。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	歳を取っても、孤立せず、生きやすい環境が身近に あるといいなと思います。 暮らしやすい瑞穂市になると嬉しいです。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	もとず広域連合について何も知らない
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	高校生	特にありません。
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	女性	専門学校生	よくわかりません
	瑞穂穂積	15歳～ 19歳	男性	高校生	頑張ってください
	瑞穂穂積	20歳～ 24歳	男性	アルバイト、 パートタイ マー、契約社 員など	聞いたことがないため、よく分からない。
	瑞穂穂積	25歳～ 29歳	女性	その他(失業 中・休業中を 含む)	介護受ける人がそもそも減りますように。 いつまでも健康に
	瑞穂穂積	25歳～ 29歳	女性	会社・団体の 役員	がんばってください。
	瑞穂穂積	25歳～ 29歳	女性	会社員、公務 員	ペットの介護も入るよう進めてほしい。
	瑞穂穂積	25歳～ 29歳	女性	会社員、公務 員	未来の日本には必ず必要とされる職業だと思いま す。私は他の分野で頑張ります。介護に関わる人が 増えることを願っています。
	瑞穂穂積	30歳～ 35歳	女性	アルバイト、 パートタイ マー、契約社 員など	みんなが自分時間を充実させ気持ち良く介護など人 のために動ける世の中になると良い。(やらないと ではなく、やりたいと思える様に)
瑞穂穂積	30歳～ 35歳	男性	会社員、公務 員	出生数は激減しているなかで、現状の社会保険制度 は破綻する。短期的な目線ではなく、長期的な目線 でやる。厚労省は薬害エイズ事件、ハンセン病もそ うだが、問題しかおこしていない。解体せよ。	

内容	居住地	年齢	性別	職業	自由回答
その他 (34)	瑞穂穂積	—	男性	その他(失業中・休業中を含む)	作業療法の世界を広げ、世を明るくする。
	瑞穂巢南	15歳～19歳	女性	高校生	安楽死法案を通すとよい。
	瑞穂巢南	15歳～19歳	男性	大学生、大学院生	自宅療養の場合簡単に治療を行える機械の工夫が必要だと思った。 それをセットする複雑さをできるだけなくしていけると時間の使い方も変わっていきそうだと思います。 頑張ってください。
	瑞穂巢南	20歳～24歳	男性	大学生、大学院生	自分のまわりにそういう人がいないので、実際にそうなった場合に何をどうしたら良いか分からない。
	瑞穂巢南	30歳～35歳	回答しない	会社員、公務員	全く知らない、介護保険事業計画とは何
	瑞穂巢南	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	頑張ってください。
	瑞穂巢南	30歳～35歳	男性	会社員、公務員	特にありません

## V 事業所調査結果

### 1 貴事業所について

問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(〇は1つ)

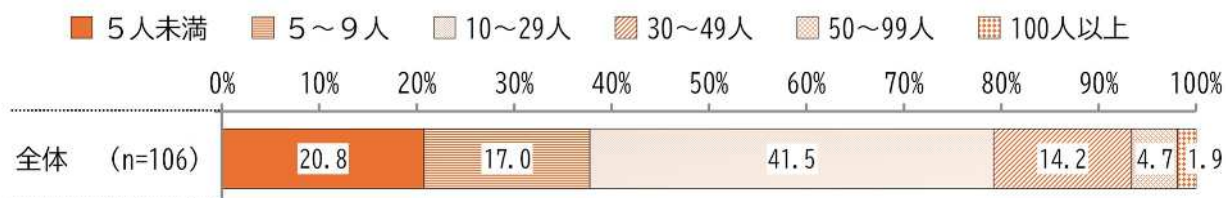
全体では、「営利法人（株式会社、有限会社等）」が39.6%、次いで「社会福祉法人」が33.0%、「医療法人」が15.1%となっています。



問2 貴事業所の従業員は何人ですか。(〇は1つ)

全体では、「10～29人」が41.5%で最も高く、次いで「5人未満」が20.8%、「5～9人」が17.0%となっています。

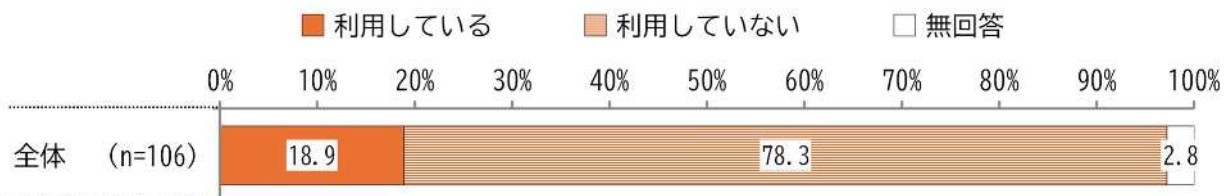
法人格でみると、社会福祉法人では「10～29人」が45.7%、医療法人では「5人未満」「10～29人」「30～49人」が25.0%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「10～29人」が38.1%、その他では「10～29人」が66.7%で最も高くなっています。



	全体	従業員数						
		5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100人以上	
全体	106	22	18	44	15	5	2	
	100.0	20.8	17.0	41.5	14.2	4.7	1.9	
法人格	社会福祉法人	35	3	8	16	4	4	0
		100.0	8.6	22.9	45.7	11.4	11.4	0.0
	医療法人	16	4	2	4	4	0	2
		100.0	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5
営利法人（株式会社、有限会社等）	42	13	6	16	7	0	0	
	100.0	31.0	14.3	38.1	16.7	0.0	0.0	
その他	12	2	1	8	0	1	0	
	100.0	16.7	8.3	66.7	0.0	8.3	0.0	

問3 スタッフ確保のために人材派遣サービスを利用していますか。(○は1つ)

全体では、「利用していない」が78.3%、「利用している」が18.9%となっています。  
 法人格でみると、各法人ともに「利用していない」が7割以上と高くなっています。  
 従業員数でみると、5人未満では「利用していない」が100.0%となっています。  
 従業員が5人以上で人材派遣サービスを「利用している」となっています。



		全体	利用している	利用していない	無回答
		上段: 実数			
		下段: (%)			
全体		106	20	83	3
		100.0	18.9	78.3	2.8
法人格	社会福祉法人	35	9	25	1
		100.0	25.7	71.4	2.9
	医療法人	16	4	12	0
		100.0	25.0	75.0	0.0
営利法人(株式会社、有限会社等)		42	7	34	1
		100.0	16.7	81.0	2.4
その他		12	0	11	1
		100.0	0.0	91.7	8.3
従業員数	5人未満	22	0	22	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	5~9人	18	3	15	0
		100.0	16.7	83.3	0.0
	10~29人	44	11	30	3
		100.0	25.0	68.2	6.8
30~49人		15	3	12	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
50~99人		5	1	4	0
		100.0	20.0	80.0	0.0
100人以上		2	2	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0

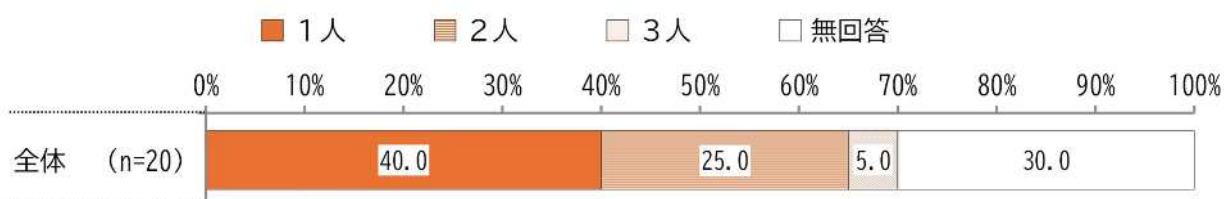
問3で「1. 利用している」を回答した方

① 【人材派遣の人数】

全体では、「1人」が40.0%、「2人」が25.0%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「1人」が44.4%、「2人」が22.2%、医療法人では「1人」が50.0%、「2人」が25.0%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「1人」「2人」が28.6%、「3人」が14.3%となっています。

従業員数でみると、5～9人では「1人」が33.3%、10～29人では「1人」「2人」が27.3%、「3人」が9.1%、30～49人では「1人」が66.7%、「2人」が33.3%、50～99人では「1人」が100.0%、100人以上では「1人」「2人」が50.0%となっています。



		全体	1人	2人	3人	無回答
		上段:実数				
		下段:(%)				
全体		20	8	5	1	6
		100.0	40.0	25.0	5.0	30.0
法人格	社会福祉法人	9	4	2	0	3
		100.0	44.4	22.2	0.0	33.3
	医療法人	4	2	1	0	1
		100.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	営利法人(株式会社、有限会社等)	7	2	2	1	2
	100.0	28.6	28.6	14.3	28.6	
	その他	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
従業員数	5人未満	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5～9人	3	1	0	0	2
		100.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	10～29人	11	3	3	1	4
		100.0	27.3	27.3	9.1	36.4
	30～49人	3	2	1	0	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
50～99人	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
100人以上	2	1	1	0	0	
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	

問3-1 人材派遣会社への支払いは負担になっていますか。(○は1つ)

全体では、「負担になっている」が60.0%、「少し負担になっている」が35.0%となっています。法人格でみると、社会福祉法人では「負担になっている」、医療法人では「負担になっている」「少し負担になっている」、営利法人（株式会社、有限会社等）では「負担になっている」となっています。

従業員数でみると、5～9人では「負担になっている」が100.0%となっています。

10～29人では「負担になっている」が63.6%、30～49人では「少し負担になっている」が66.7%、50～99人では「負担になっている」が100.0%、100人以上では「少し負担になっている」が100.0%となっています。



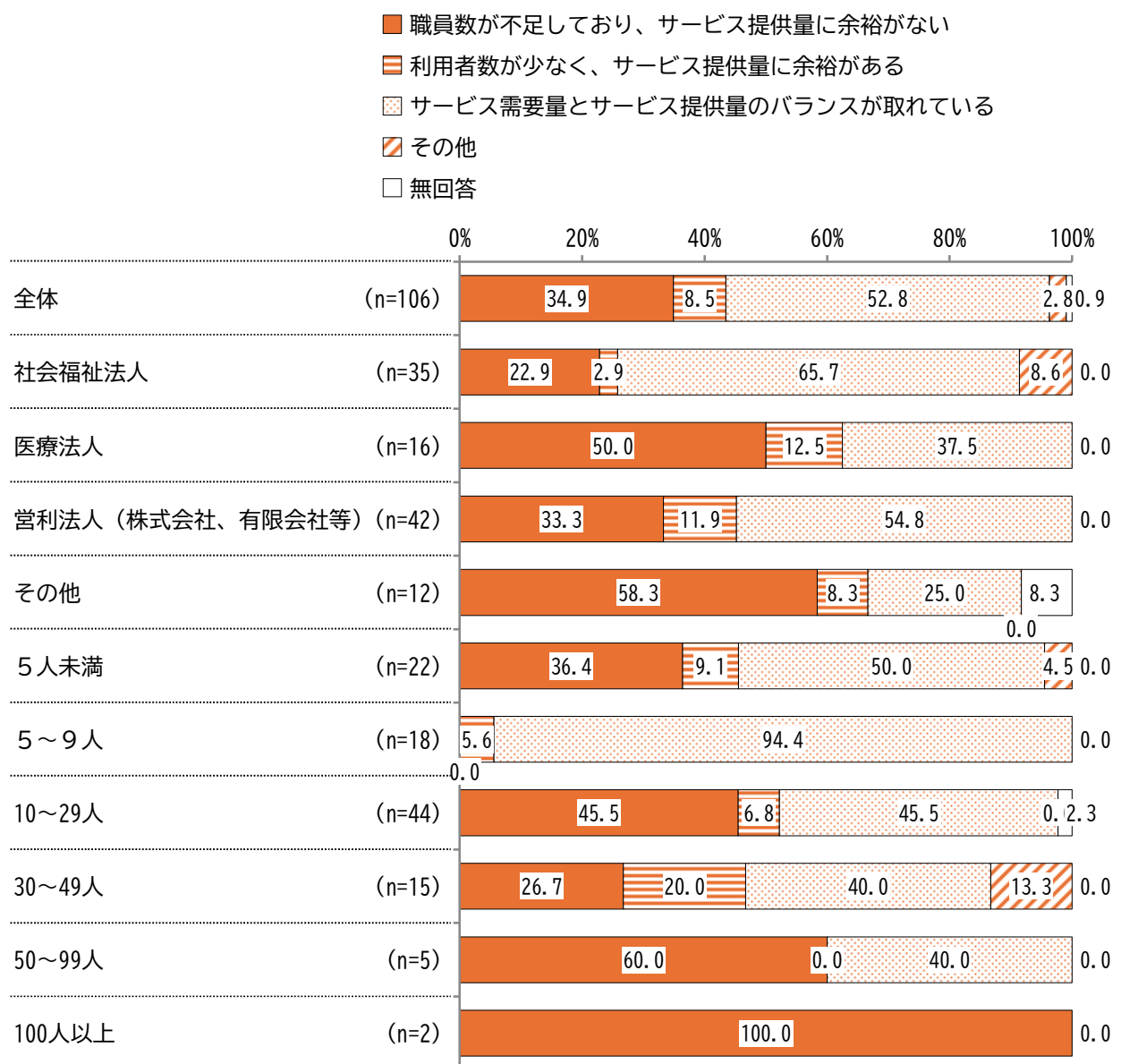
		全体	い負担 る に な っ て	な少 っし て負 い担 るに	い負 担に なっ て
		上段: 実数 下段: (%)			
全体		20 100.0	12 60.0	7 35.0	1 5.0
法人格	社会福祉法人	9 100.0	5 55.6	4 44.4	0 0.0
	医療法人	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	営利法人(株式会社、有限会社等)	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
従業員数	5人未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5～9人	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	10～29人	11 100.0	7 63.6	3 27.3	1 9.1
	30～49人	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	50～99人	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	100人以上	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

問4 現在、貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。(○は1つ)

全体では、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が52.8%、「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」が34.9%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が65.7%、医療法人では「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」が50.0%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が54.8%、その他では「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」が58.3%となっています。

従業員数でみると、5～9人で「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が94.4%、10～29人で「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」で45.5%と高くなっています。

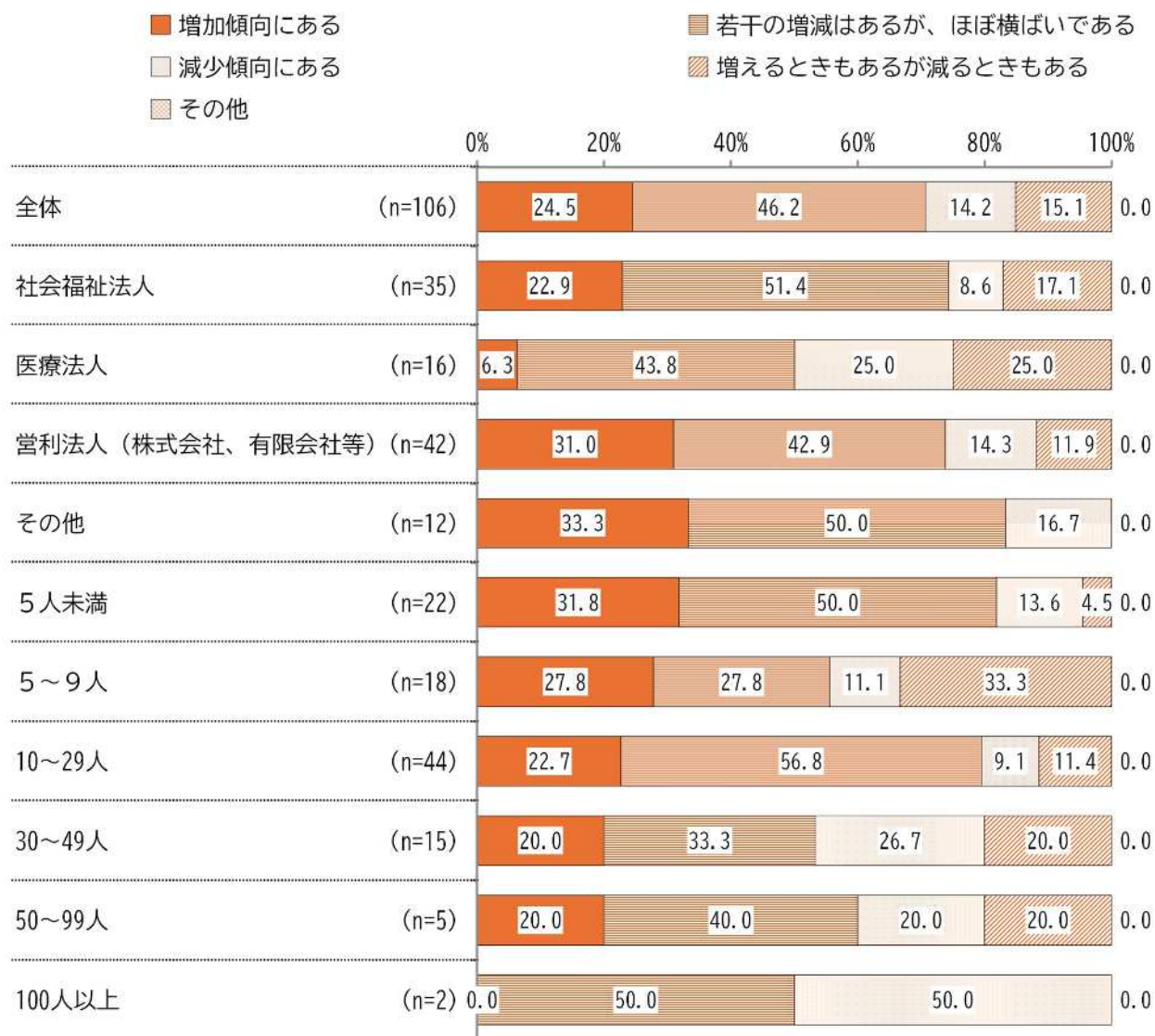


問5 貴事業所のここ1年間の利用者数の状況についてお答えください。(〇は1つ)

全体では、「若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである」が46.2%、「増加傾向にある」が24.5%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「若干の増減はあるが、ほぼ横ばいである」が4割以上となっています。

従業員数でみると、従業員数が増加するにしたいが「増加傾向にある」が減少傾向となっています。

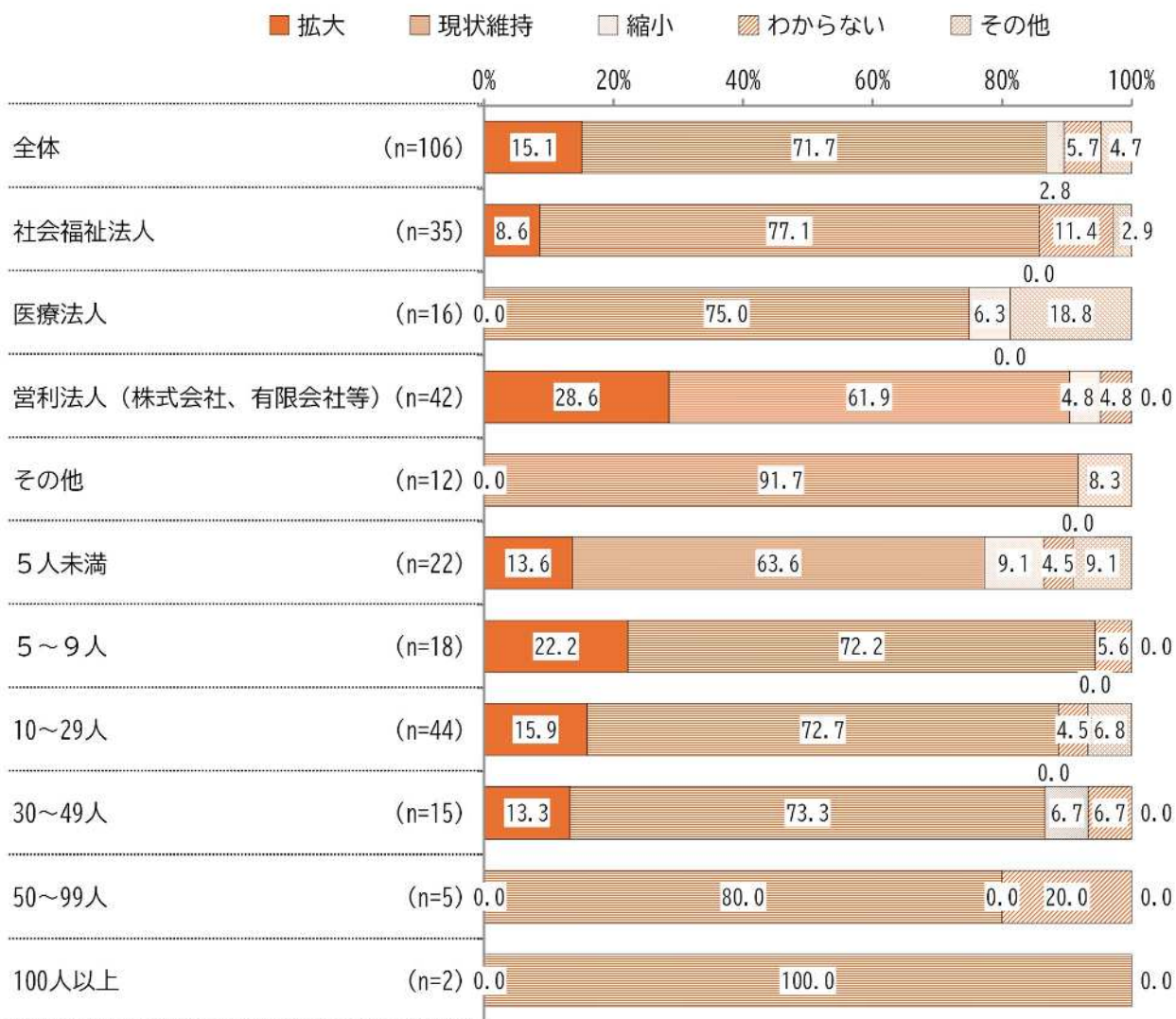


問6 貴事業所では、令和8年度以降の介護保険サービスの提供をどのようにお考えですか。(〇は1つ)

全体では、「現状維持」が71.7%、「拡大」が15.1%となっています。

法人格でみると、営利法人（株式会社、有限会社等）で「拡大」が28.6%他の法人に比べて高くなっています。

従業員数でみると、従業員数が増加するにしたい「拡大」が減少傾向となっています。

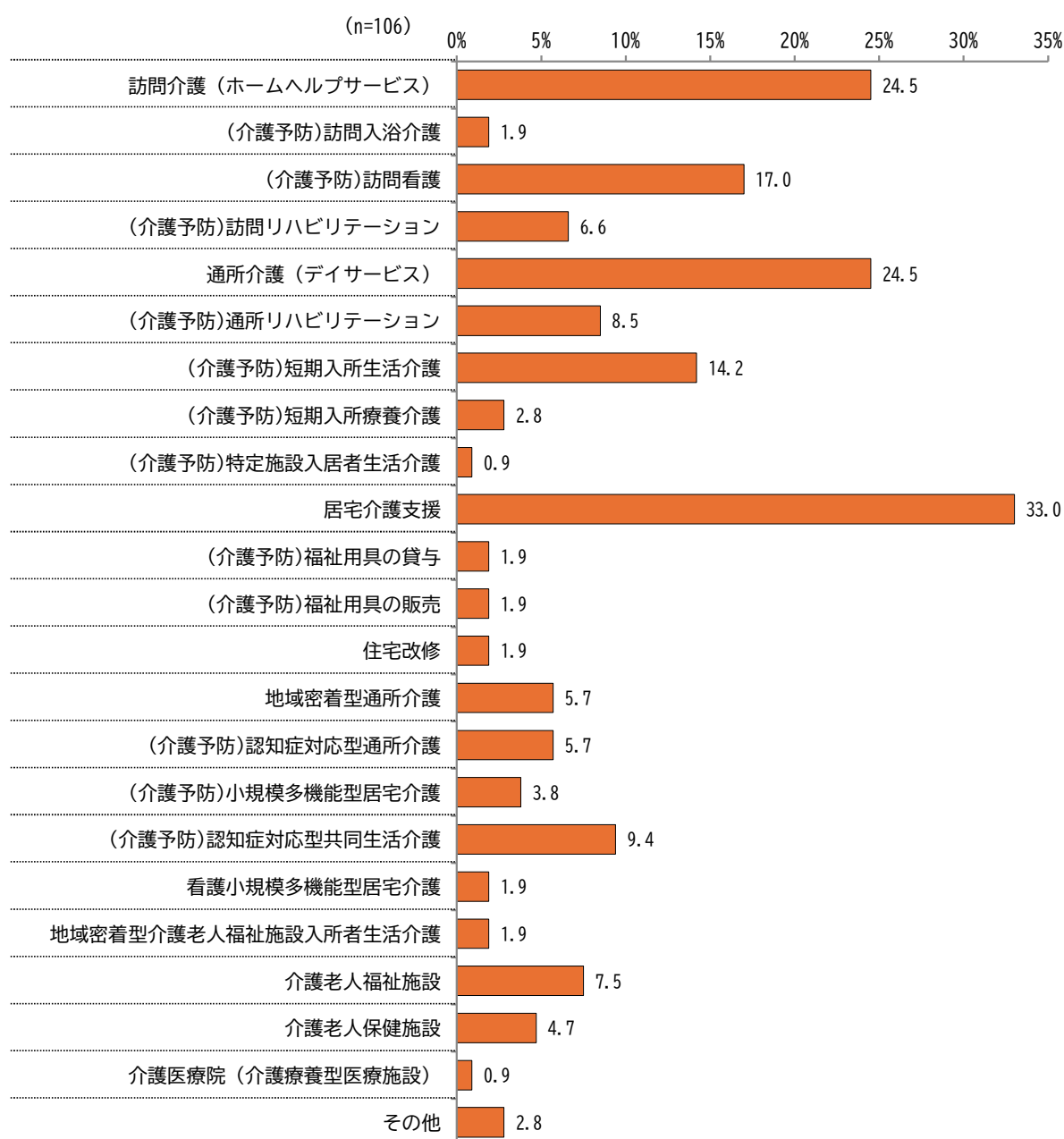


問7 貴事業所における介護サービスの現在の実施状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

全体では、「居宅介護支援」が 33.0%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「通所介護（デイサービス）」が 24.5%、「（介護予防）訪問看護」が 17.0%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人、医療法人では「居宅介護支援」、営利法人（株式会社、有限会社等）、営利法人（株式会社、有限会社等）では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「居宅介護支援」その他では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「通所介護（デイサービス）」が最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「居宅介護支援」、5～9人では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「（介護予防）訪問看護」、10～29人では「通所介護（デイサービス）」、30～49人では「通所介護（デイサービス）」「居宅介護支援」などが高くなっています。



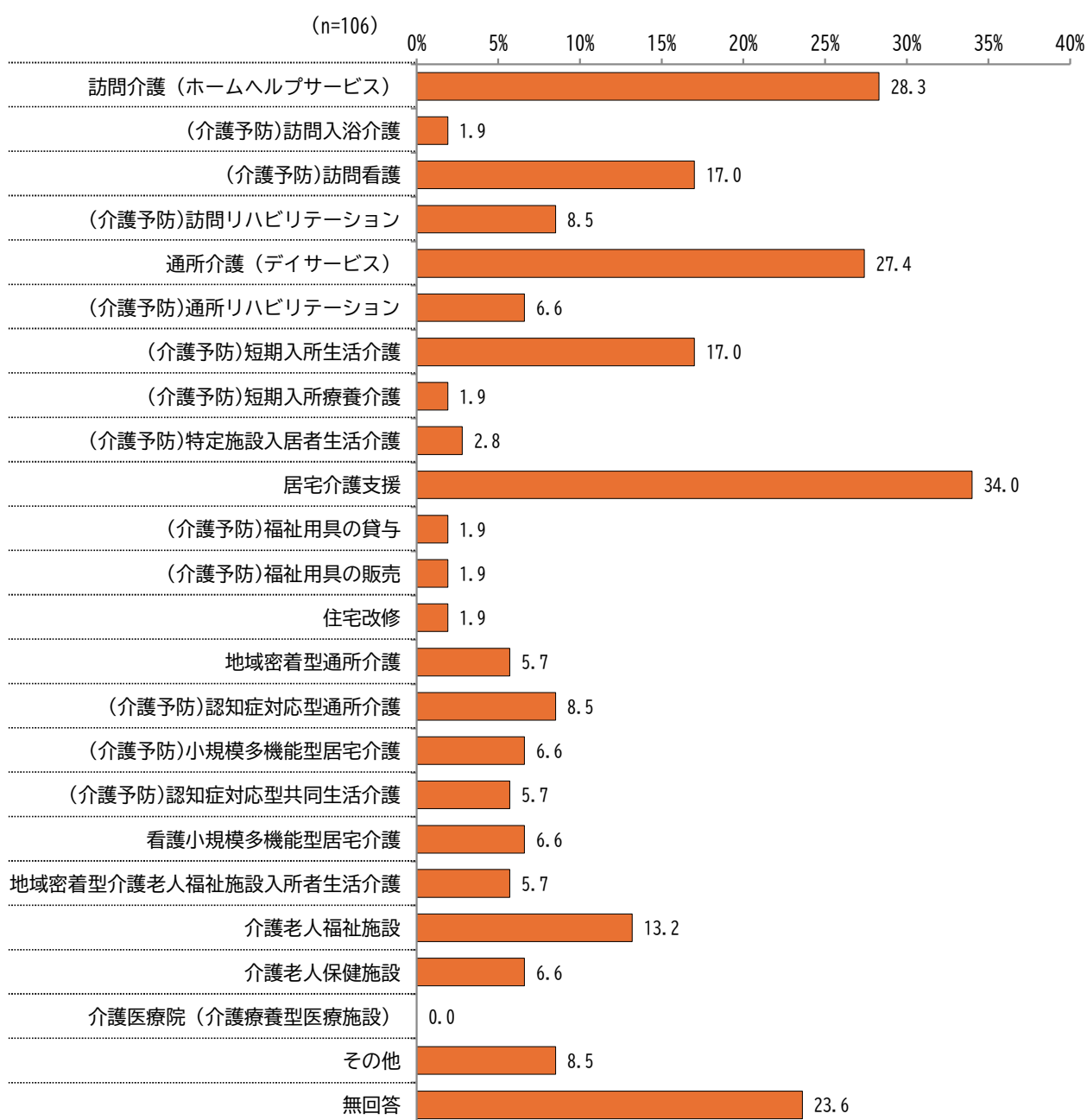
	全体	訪問介護（ホームヘルプサービス）	介護（介護予防～訪問入浴）	（介護予防～訪問看護）	（介護予防～訪問リハビリテーション）	通所介護（デイサービス）	（介護予防～通所リハビリテーション）	生活介護	（介護予防～短期入所療養介護）	入居者生活介護	居宅介護支援	の（介護予防～福祉用具の貸与）	の（介護予防～福祉用具の販売）	住宅改修	地域密着型通所介護	応型通所介護～認知症対応型共同生活介護	機能型居宅介護	宅介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院（介護療養型医療施設）	その他		
全体	106 100.0	26 24.5	2 1.9	18 17.0	7 6.6	26 24.5	9 8.5	15 14.2	3 2.8	1 0.9	35 33.0	2 1.9	2 1.9	2 1.9	6 5.7	6 5.7	4 3.8	10 9.4	2 1.9	2 1.9	8 7.5	5 4.7	1 0.9	3 2.8	
法人格	社会福祉法人	35 100.0	5 14.3	0 0.0	2 5.7	2 5.7	6 17.1	1 2.9	7 20.0	0 0.0	0 0.0	8 22.9	0 0.0	0 0.0	2 5.7	3 8.6	3 8.6	6 17.1	2 5.7	1 2.9	5 14.3	1 2.9	0 0.0	0 0.0	
	医療法人	16 100.0	2 12.5	1 6.3	4 25.0	4 25.0	5 31.3	7 43.8	2 12.5	2 12.5	0 0.0	9 56.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 18.8	1 6.3	1 6.3	
	営利法人（株式会社、有限会社等）	42 100.0	14 33.3	0 0.0	9 21.4	0 0.0	10 23.8	0 0.0	3 7.1	0 0.0	1 2.4	14 33.3	1 2.4	1 2.4	1 2.4	3 7.1	0 0.0	1 2.4	4 9.5	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	12 100.0	5 41.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	5 41.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7
	5人未満	22 100.0	3 13.6	0 0.0	3 13.6	0 0.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	16 72.7	1 4.5	1 4.5	1 4.5	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5～9人	18 100.0	7 38.9	1 5.6	7 38.9	3 16.7	4 22.2	2 11.1	2 11.1	1 5.6	0 0.0	5 27.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0	2 11.1	0 0.0	0 0.0	
10～29人	44 100.0	10 22.7	1 2.3	2 4.5	1 2.3	14 31.8	2 4.5	3 6.8	1 2.3	0 0.0	5 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.5	3 6.8	3 6.8	7 15.9	1 2.3	2 4.5	1 2.3	1 2.3	1 2.3	2 4.5	
30～49人	15 100.0	4 26.7	0 0.0	5 33.3	2 13.3	6 40.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0	1 6.7	6 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
50～99人	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
100人以上	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	

問8 貴法人等における介護サービスの今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

全体では、「居宅介護支援」が34.0%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が28.3%、「通所介護（デイサービス）」が27.4%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「居宅介護支援」、医療法人では「通所介護（デイサービス）」、営利法人（株式会社、有限会社等）では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、その他では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「居宅介護支援」が最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「居宅介護支援」、5～9人、10～29人では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、30～49人では「通所介護（デイサービス）」などが高くなっています。



	全体	訪問介護（ホームヘルプサービス）	介護（介護予防）訪問入浴	（介護予防）訪問看護	（介護予防）訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	（介護予防）通所リハビリテーション	生活介護（短期入所）	療養介護（短期入所）	（介護予防）特定施設入居者生活介護	居宅介護支援	の貸与	の販売	住宅改修	地域密着型通所介護	応型通所介護	機能型居宅介護	（介護予防）小規模多機能型居宅介護	（介護予防）認知症対応型共同生活介護	宅介護	地域密着型介護老人福祉施設	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	型医療施設（介護療養型医療施設）	その他	無回答
全体	106	30	2	18	9	29	7	18	2	3	36	2	2	2	6	9	7	6	7	6	14	7	0	9	25	
	100.0	28.3	1.9	17.0	8.5	27.4	6.6	17.0	1.9	2.8	34.0	1.9	1.9	1.9	5.7	8.5	6.6	5.7	6.6	13.2	6.6	0.0	8.5	23.6		
法人格	35	9	0	4	4	11	4	13	1	2	14	0	0	0	2	6	6	4	7	5	12	4	0	2	11	
	100.0	25.7	0.0	11.4	11.4	31.4	11.4	37.1	2.9	5.7	40.0	0.0	0.0	0.0	5.7	17.1	17.1	11.4	20.0	14.3	34.3	11.4	0.0	5.7	31.4	
医療法人	16	1	1	2	2	5	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	100.0	6.3	6.3	12.5	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	31.3
営利法人（株式会社、有限会社等）	42	14	0	8	2	9	0	3	0	1	12	1	1	1	3	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	5
	100.0	33.3	0.0	19.0	4.8	21.4	0.0	7.1	0.0	2.4	28.6	2.4	2.4	2.4	7.1	2.4	2.4	4.8	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9
その他	12	5	1	3	1	4	2	2	1	0	5	1	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	3	0	2	4
	100.0	41.7	8.3	25.0	8.3	33.3	16.7	16.7	8.3	0.0	41.7	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	0.0	16.7	33.3
従業員数	22	3	0	3	2	3	0	2	0	0	12	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
	100.0	13.6	0.0	13.6	9.1	13.6	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	4.5	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	13.6
5～9人	18	8	1	4	2	5	2	3	1	0	6	1	1	1	1	3	2	1	2	0	2	2	0	0	0	6
	100.0	44.4	5.6	22.2	11.1	27.8	11.1	16.7	5.6	0.0	33.3	5.6	5.6	5.6	5.6	16.7	11.1	5.6	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3
10～29人	44	1	6	3	13	4	7	1	2	12	0	0	0	0	3	5	5	5	5	3	5	5	0	4	12	
	100.0	31.8	2.3	13.6	6.8	29.5	9.1	15.9	2.3	4.5	27.3	0.0	0.0	0.0	6.8	11.4	11.4	11.4	11.4	6.8	11.4	11.4	0.0	9.1	27.3	
30～49人	15	5	0	5	2	7	1	4	0	1	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	0	0	2	1
	100.0	33.3	0.0	33.3	13.3	46.7	6.7	26.7	0.0	6.7	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	26.7	0.0	0.0	13.3	6.7
50～99人	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
100人以上	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

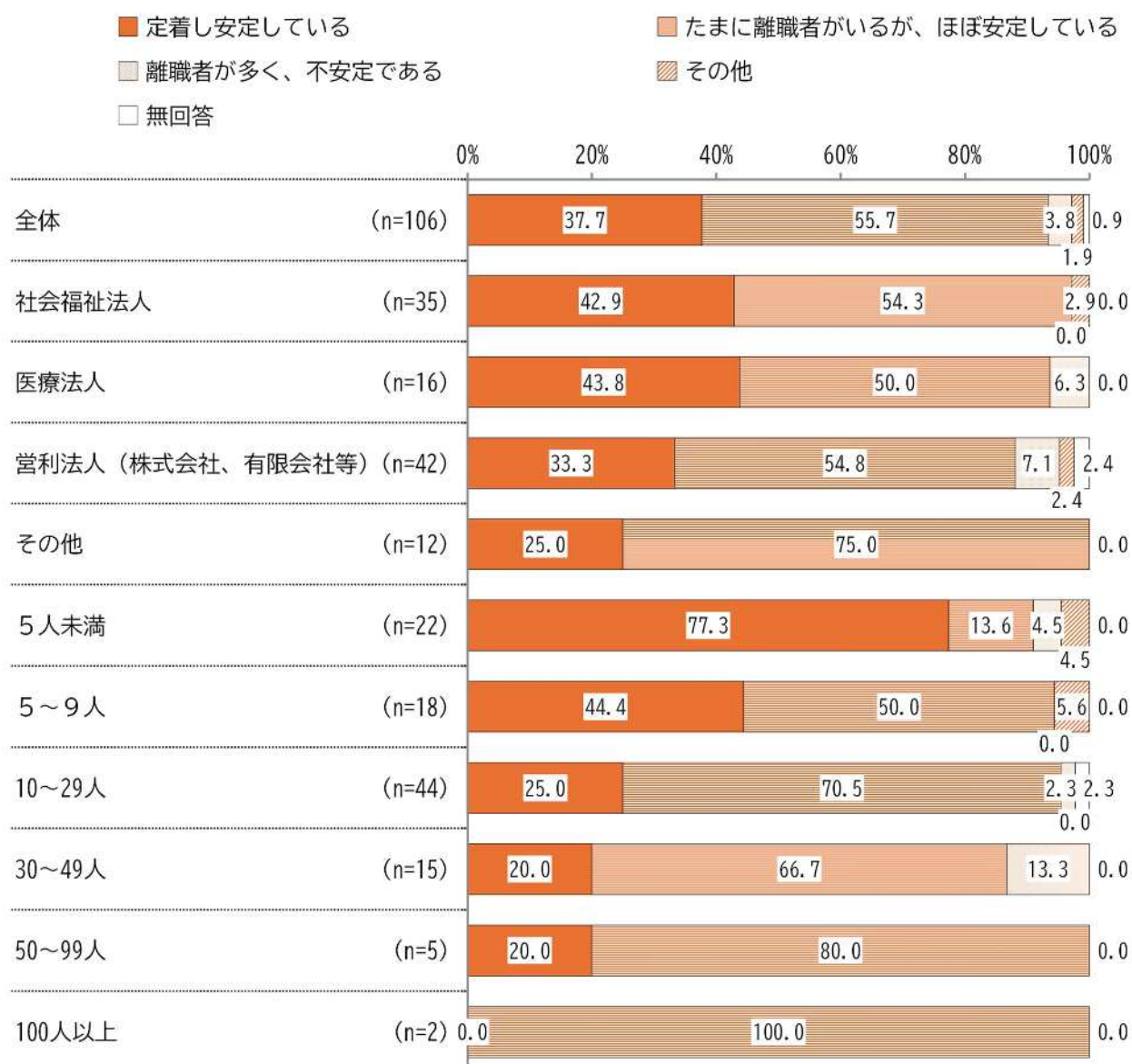
## 2 介護人材について

問9 貴事業所では、職員の定着についておおむねどのような状況ですか。(〇は1つ)

全体では、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が55.7%、「定着し安定している」が37.7%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が5割以上となっています。

従業員数でみると、従業員数が増加にしたがい「定着し安定している」が減少傾向となっています。

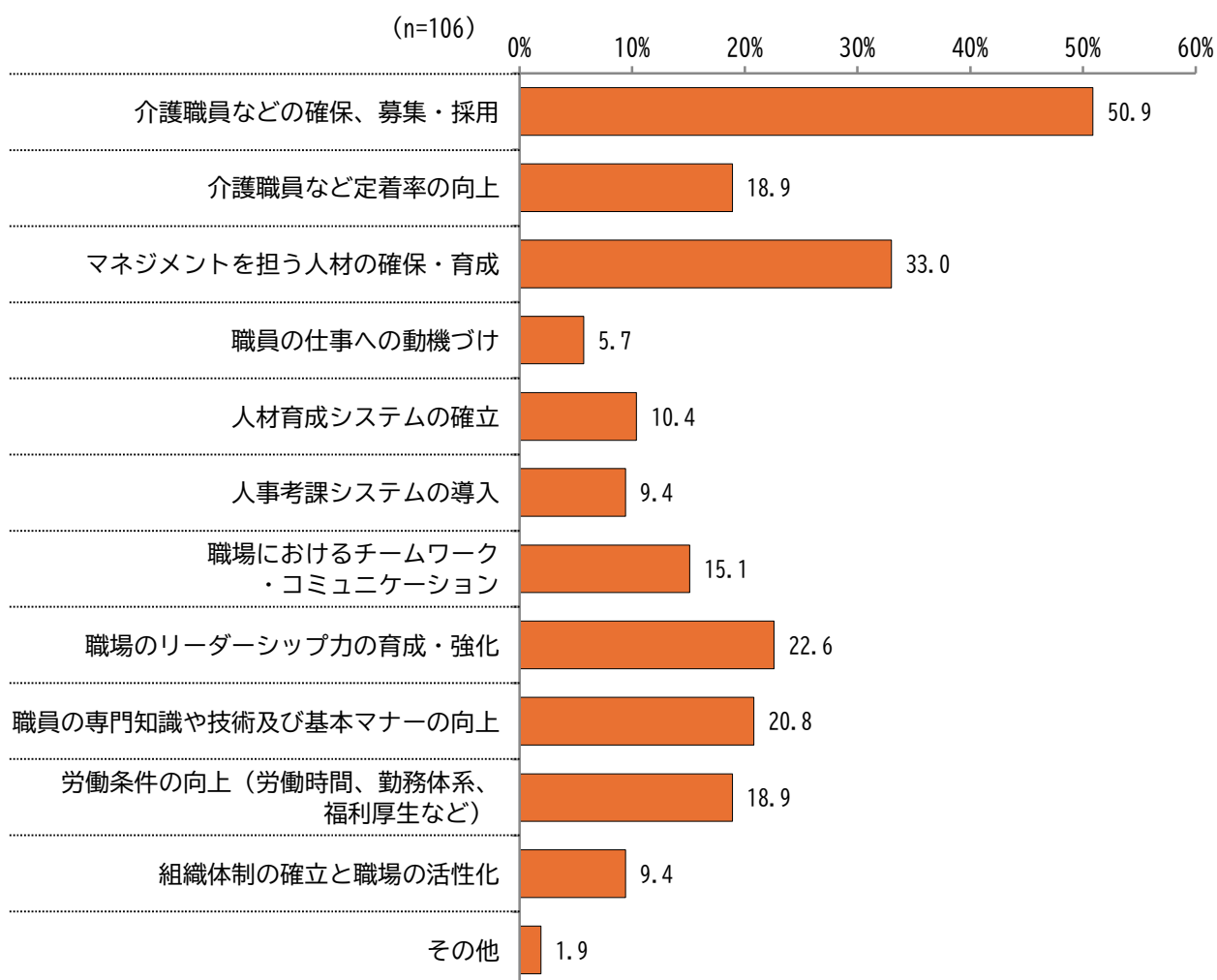


問10 貴事業所では、人材マネジメント上どのような問題を抱えていますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「介護職員などの確保、募集・採用」が50.9%で最も高く、次いで「マネジメントを担う人材の確保・育成」が33.0%、「職場のリーダーシップ力の育成・強化」が22.6%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「介護職員などの確保、募集・採用」が最も高くなっています。次いで社会福祉法人では「マネジメントを担う人材の確保・育成」、医療法人では「介護職員など定着率の向上」、営利法人（株式会社、有限会社等）では「労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）」が高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「介護職員などの確保、募集・採用」「労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）」、5～9人では「マネジメントを担う人材の確保・育成」、10～29人、30～49人、100人以上では「介護職員などの確保、募集・採用」、50～99人では「職場のリーダーシップ力の育成・強化」が最も高くなっています。



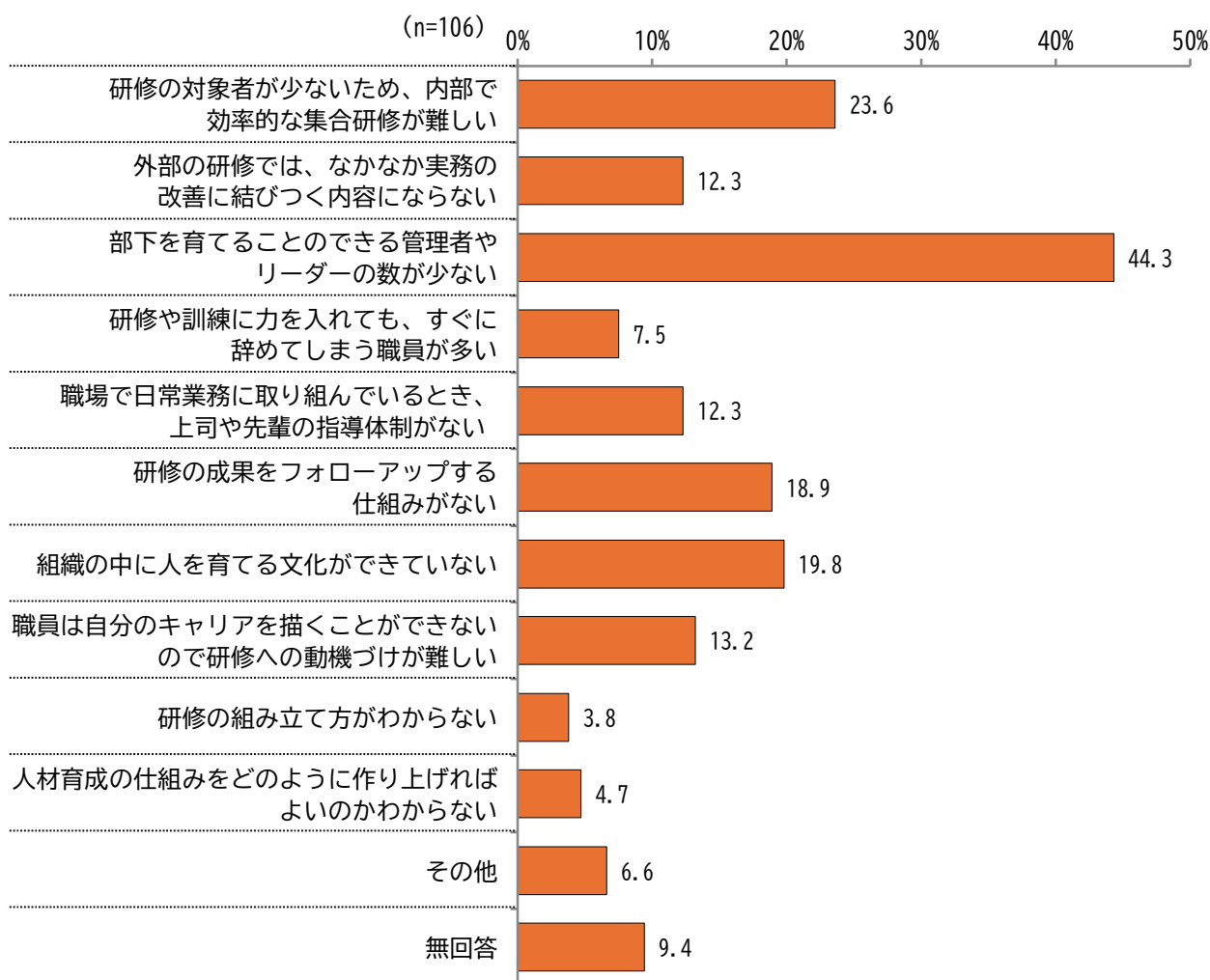
	全体	介護職員などの確保、募集・採用	介護職員など定着率の向上	マネジメントを担う人材の確保・育成	職員の仕事への動機づけ	人材育成システムの確立	人事考課システムの導入	職場におけるチームワーク・コミュニケーション	職場のリーダーシップの育成・強化	職員の専門知識や技術の基本マナーの向上	労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）	組織体制の確立と職場の活性化	その他	
全体	106	54	20	35	6	11	10	16	24	22	20	10	2	
	100.0	50.9	18.9	33.0	5.7	10.4	9.4	15.1	22.6	20.8	18.9	9.4	1.9	
法人格	社会福祉法人	35	19	4	17	1	4	4	16	8	3	3	0	
		100.0	54.3	11.4	48.6	2.9	11.4	11.4	45.7	22.9	8.6	8.6	0.0	
	医療法人	16	10	5	4	3	0	1	0	3	0	1	1	
		100.0	62.5	31.3	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	21	10	10	1	7	4	8	4	10	12	5	1
	100.0	50.0	23.8	23.8	2.4	16.7	9.5	19.0	9.5	23.8	28.6	11.9	2.4	
その他	12	4	1	3	1	0	1	4	1	4	3	1	0	
	100.0	33.3	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	33.3	8.3	33.3	25.0	8.3	0.0	
従業員数	5人未満	22	7	2	4	0	1	1	3	2	3	7	2	1
		100.0	31.8	9.1	18.2	0.0	4.5	4.5	13.6	9.1	13.6	31.8	9.1	4.5
	5～9人	18	9	4	10	0	3	3	3	2	4	2	1	0
		100.0	50.0	22.2	55.6	0.0	16.7	16.7	16.7	11.1	22.2	11.1	5.6	0.0
	10～29人	44	25	10	14	3	5	2	9	13	14	8	5	0
		100.0	56.8	22.7	31.8	6.8	11.4	4.5	20.5	29.5	31.8	18.2	11.4	0.0
	30～49人	15	9	3	4	3	2	4	0	4	0	2	1	0
	100.0	60.0	20.0	26.7	20.0	13.3	26.7	0.0	26.7	0.0	13.3	6.7	0.0	
50～99人	5	2	1	2	0	0	0	1	3	1	1	1	0	
	100.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	
100人以上	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

問 11 貴事業所では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。  
(○は3つまで)

全体では、「部下を育てることのできる管理者やリーダーの数が少ない」が 44.3%で最も高く、次いで「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」が 23.6%、「組織の中に人を育てる文化ができていない」が 19.8%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「部下を育てることのできる管理者やリーダーの数が少ない」が最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」、5～9人では「外部の研修では、なかなか実務の改善に結びつく内容にならない」、10人以上では「部下を育てることのできる管理者やリーダーの数が少ない」が最も高くなっています。



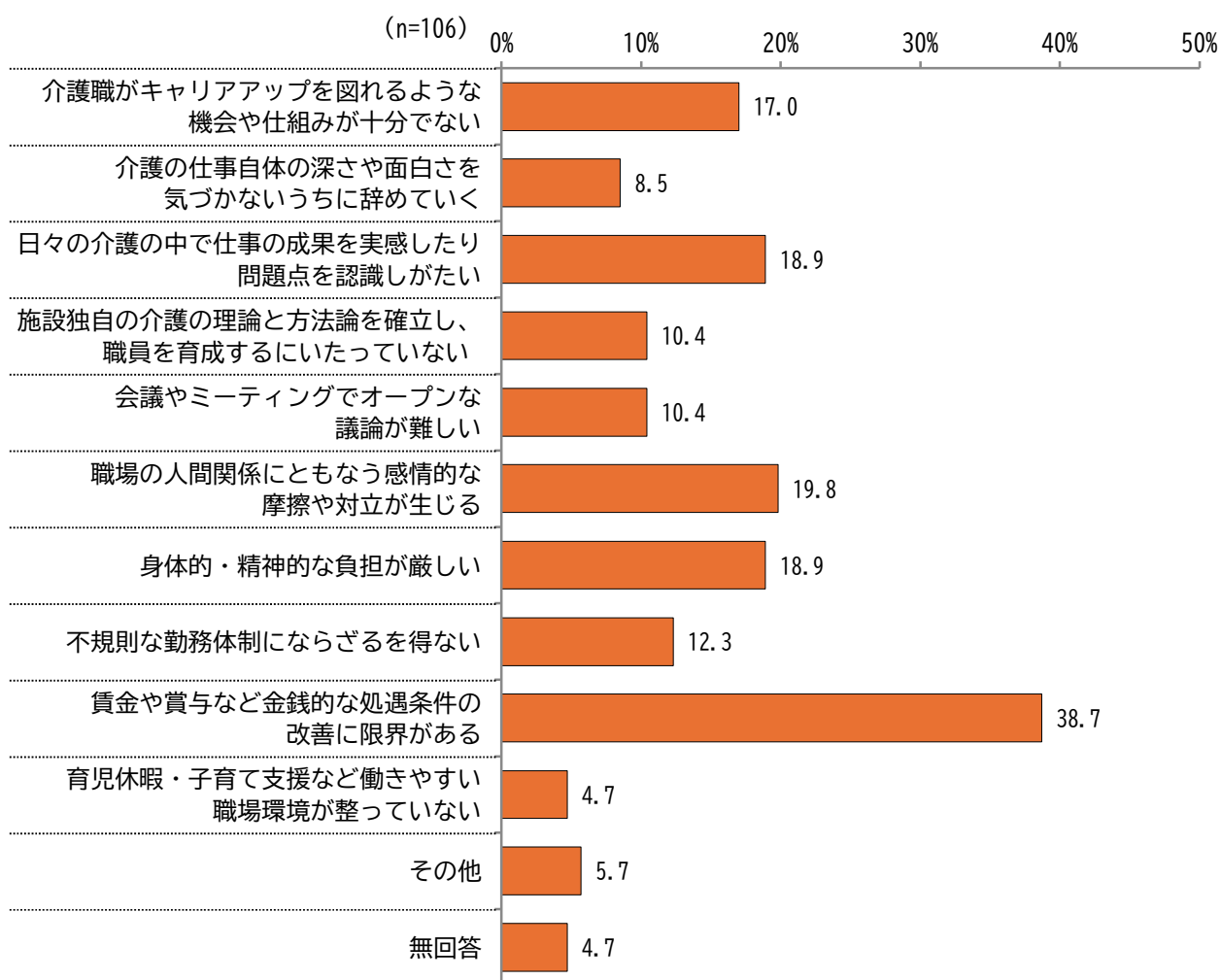
	全体	研修の 修め、内 部で効 率の集 合研	研修の 対象が 少ない な	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ	外部の 実務の 改善に 結び つ
全体	106	25	13	47	8	13	20	21	14	4	5	7	10	
	100.0	23.6	12.3	44.3	7.5	12.3	18.9	19.8	13.2	3.8	4.7	6.6	9.4	
法人格	社会福祉法人	35	6	5	16	0	5	8	5	6	3	3	6	
		100.0	17.1	14.3	45.7	0.0	14.3	22.9	14.3	17.1	8.6	8.6	17.1	
	医療法人	16	3	3	8	3	1	3	5	0	1	1	1	
		100.0	18.8	18.8	50.0	18.8	6.3	18.8	31.3	0.0	6.3	6.3	6.3	
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	12	3	18	5	3	6	6	6	4	1	3	2
	100.0	28.6	7.1	42.9	11.9	7.1	14.3	14.3	14.3	9.5	2.4	7.1	4.8	
その他	12	3	2	5	0	4	3	5	2	0	0	0	1	
	100.0	25.0	16.7	41.7	0.0	33.3	25.0	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	
従業員数	5人未満	22	9	2	4	0	0	1	3	1	2	1	2	3
		100.0	40.9	9.1	18.2	0.0	0.0	4.5	13.6	4.5	9.1	4.5	9.1	13.6
	5～9人	18	4	6	5	2	1	3	0	1	1	1	3	
		100.0	22.2	33.3	27.8	11.1	5.6	16.7	0.0	5.6	5.6	5.6	16.7	
	10～29人	44	9	4	24	3	7	11	14	11	1	2	3	2
		100.0	20.5	9.1	54.5	6.8	15.9	25.0	31.8	25.0	2.3	4.5	6.8	4.5
	30～49人	15	3	1	9	2	1	4	3	1	0	0	1	1
	100.0	20.0	6.7	60.0	13.3	6.7	26.7	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	
50～99人	5	0	0	3	0	3	1	0	0	0	1	0	1	
	100.0	0.0	0.0	60.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	
100人以上	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 12 貴事業所では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が 38.7%で最も高く、次いで「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」が 19.8%、「日々の介護の中で仕事の成果を実感したり問題点を認識しがたい」「身体的・精神的な負担が厳しい」が 18.9%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人、営利法人（株式会社、有限会社等）では「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」、医療法人では「介護職がキャリアアップを図れるような機会や仕組みが十分でない」、その他では「身体的・精神的な負担が厳しい」が最も高くなっています。

従業員数でみると、従業員数にかかわらず「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が最も高くなっています。



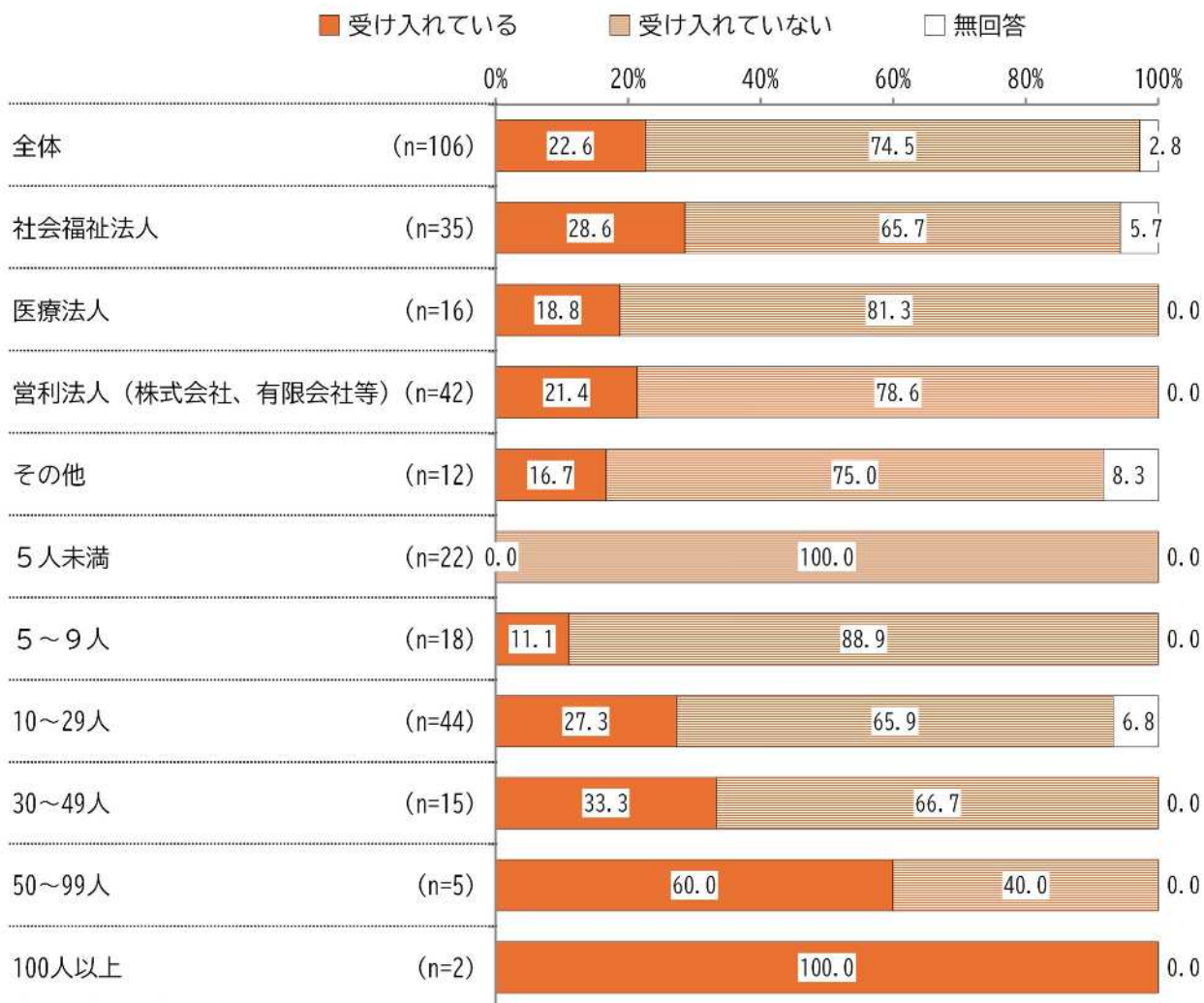
	全体	が 十分 でない	介 護 職 が キ ャ リ ア ア ツ プ を め て い く	介 護 の 仕 事 自 体 の 深 さ や 面 白 さ を 気 づ か な い う ち に 辞 め て い く	識 が 実 感 し た り 問 題 点 を 認 識 し た い	日 々 の 介 護 中 で 仕 事 の 成 果 を 実 感 し た り 問 題 点 を 認 識 し た い	法 論 を 確 立 し 、 職 員 を 育 成 す る に い た っ て い な い	施 設 自 ら の 介 護 の 理 論 と 方 法 論 を 確 立 し 、 職 員 を 育 成 す る に い た っ て い な い	会 議 や ミ ー テ ィ ン グ で オ ー プ ン な 議 論 が 難 し い	職 場 の 人 間 関 係 に と も な う 感 情 的 な 摩 擦 や 対 立 が 生 じ る	身 体 的 ・ 精 神 的 な 負 担 が 厳 し い	不 規 則 な 勤 務 体 制 に な ら ざ る を 得 な い	賃 金 や 賞 与 な ど 金 銭 的 な 処 遇 条 件 の 改 善 に 限 界 が あ る	育 児 休 暇 ・ 子 育 て 支 援 な ど 働 き や す い 職 場 環 境 が 整 っ て い な い	そ の 他	無 回 答
全体	106 100.0	18 17.0	9 8.5	20 18.9	11 10.4	11 10.4	21 19.8	20 18.9	13 12.3	41 38.7	5 4.7	6 5.7	5 4.7			
法人格	社会福祉法人	35 100.0	4 11.4	4 11.4	9 25.7	2 5.7	5 14.3	4 11.4	5 14.3	8 22.9	18 51.4	0 0.0	1 2.9	1 2.9		
	医療法人	16 100.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3	3 18.8	0 0.0	5 31.3	1 6.3	0 0.0	5 31.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3		
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42 100.0	6 14.3	3 7.1	7 16.7	3 7.1	5 11.9	10 23.8	8 19.0	4 9.5	14 33.3	2 4.8	3 7.1	3 7.1		
	その他	12 100.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	6 50.0	1 8.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0		
従業員数	5人未満	22 100.0	2 9.1	3 13.6	3 13.6	0 0.0	1 4.5	1 4.5	4 18.2	2 9.1	9 40.9	1 4.5	2 9.1	1 4.5		
	5～9人	18 100.0	4 22.2	2 11.1	4 22.2	1 5.6	2 11.1	3 16.7	2 11.1	1 5.6	7 38.9	1 5.6	0 0.0	1 5.6		
	10～29人	44 100.0	11 25.0	2 4.5	8 18.2	7 15.9	6 13.6	14 31.8	9 20.5	9 20.5	15 34.1	3 6.8	1 2.3	1 2.3		
	30～49人	15 100.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	4 26.7	1 6.7	7 46.7	0 0.0	2 13.3	2 13.3		
	50～99人	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0		
	100人以上	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		

問 13 貴事業所では、現在、外国人介護人材を受け入れていますか。(○は1つ)

全体では、「受け入れている」が 22.6%、「受け入っていない」が 74.5%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「受け入れている」が 28.6%、医療法人では 18.8%、営利法人（株式会社、有限会社等）では 21.4%、その他では 16.7%となっています。

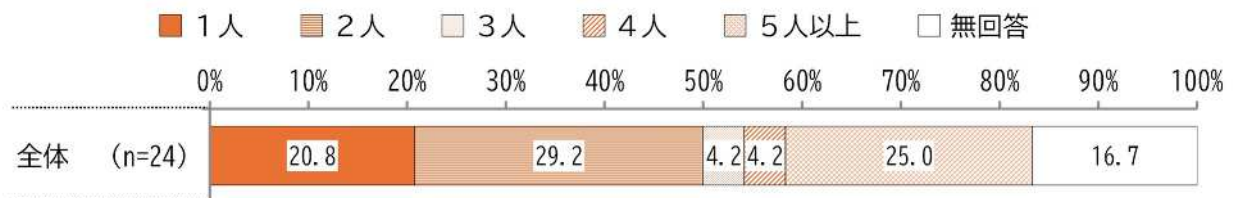
従業員数でみると、従業員数が増加するにしたがい「受け入れている」が高くなる傾向となっています。



問 13 で「1.受け入れている」と回答した方

現在の外国人の受け入れ人数

全体では、「2人」が29.2%で最も高く、次いで「5人以上」が25.0%、「1人」が20.8%となっています。

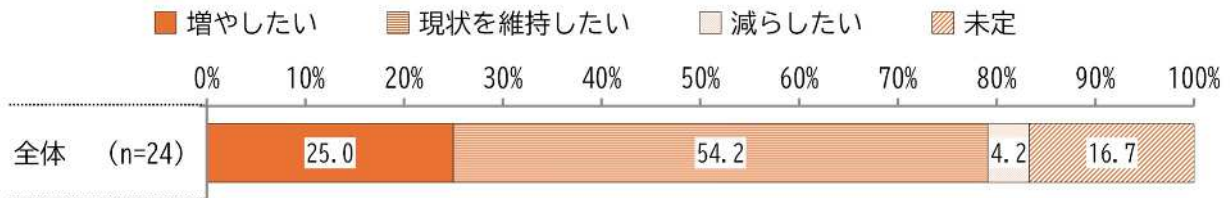


		全体	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
		上段:実数	下段:(%)					
全体		24	5	7	1	1	6	4
		100.0	20.8	29.2	4.2	4.2	25.0	16.7
法人格	社会福祉法人	10	2	1	0	1	4	2
		100.0	20.0	10.0	0.0	10.0	40.0	20.0
	医療法人	3	0	1	0	0	1	1
		100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
営利法人(株式会社、有限会社等)		9	3	4	1	0	1	0
		100.0	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0
その他		2	0	1	0	0	0	1
		100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
従業員数	5人未満	0	0					
		0.0	0.0					
	5~9人	2	1	0	0	0	0	1
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	10~29人	12	3	4	0	1	2	2
		100.0	25.0	33.3	0.0	8.3	16.7	16.7
30~49人	5	1	2	1	0	1	0	
	100.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	
50~99人	3	0	1	0	0	2	0	
	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	
100人以上	2	0	0	0	0	1	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

問 13 で「1.受け入れている」と回答した方

問 13-1 今後の3年間の受け入れの方針はどれですか。(○は1つ)

全体では、「現状を維持したい」が 54.2%、「増やしたい」が 25.0%となっています。



	全体	増 や し た い	現 状 を 維 持 し た い	減 ら し た い	未 定	
						上段:実数 下段:(%)
全体	24 100.0	6 25.0	13 54.2	1 4.2	4 16.7	
法人格	社会福祉法人	10 100.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0	2 20.0
	医療法人	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	営利法人(株式会社、有限会社等)	9 100.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1
	その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
従業員数	5人未満	0 0.0	0 0.0			
	5~9人	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	10~29人	12 100.0	2 16.7	7 58.3	1 8.3	2 16.7
	30~49人	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
	50~99人	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
	100人以上	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0

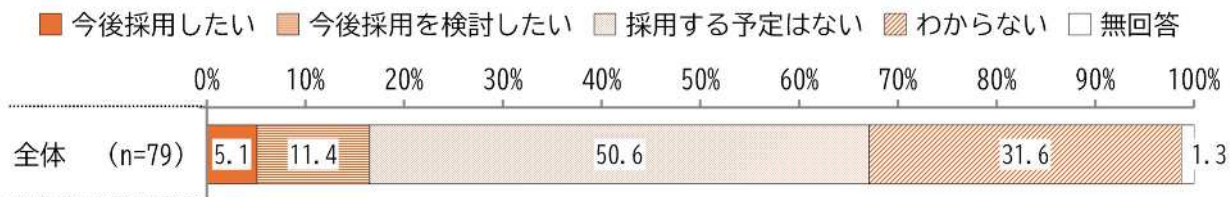
<外国人介護人材を受け入れていない事業所にお聞きします。>

問 13-2 今後の受け入れについての方針はどれですか。(○は1つ)

全体では、「採用する予定はない」が50.6%、「わからない」が31.6%となっています。

法人格でみると、その他を除く各法人ともに「採用する予定はない」が最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「採用する予定はない」が81.8%、「わからない」が18.2%となっています。



		上段:実数 下段:(%)	全 体	今 後 採 用 し た い	し 今 た 後 採 用 を 検 討	な 採 用 す る 予 定 は な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		79 100.0	79	4 5.1	9 11.4	40 50.6	25 31.6	1 1.3
法人 格	社会福祉法人	23 100.0	23	2 8.7	3 13.0	10 43.5	8 34.8	0 0.0
	医療法人	13 100.0	13	0 0.0	1 7.7	8 61.5	3 23.1	1 7.7
	営利法人(株式会社、有限会社等)	33 100.0	33	2 6.1	3 9.1	19 57.6	9 27.3	0 0.0
	その他	9 100.0	9	0 0.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0
従 業 員 数	5人未満	22 100.0	22	0 0.0	0 0.0	18 81.8	4 18.2	0 0.0
	5~9人	16 100.0	16	0 0.0	0 0.0	9 56.3	7 43.8	0 0.0
	10~29人	29 100.0	29	4 13.8	4 13.8	10 34.5	11 37.9	0 0.0
	30~49人	10 100.0	10	0 0.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0
	50~99人	2 100.0	2	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	100人以上	0 0.0	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

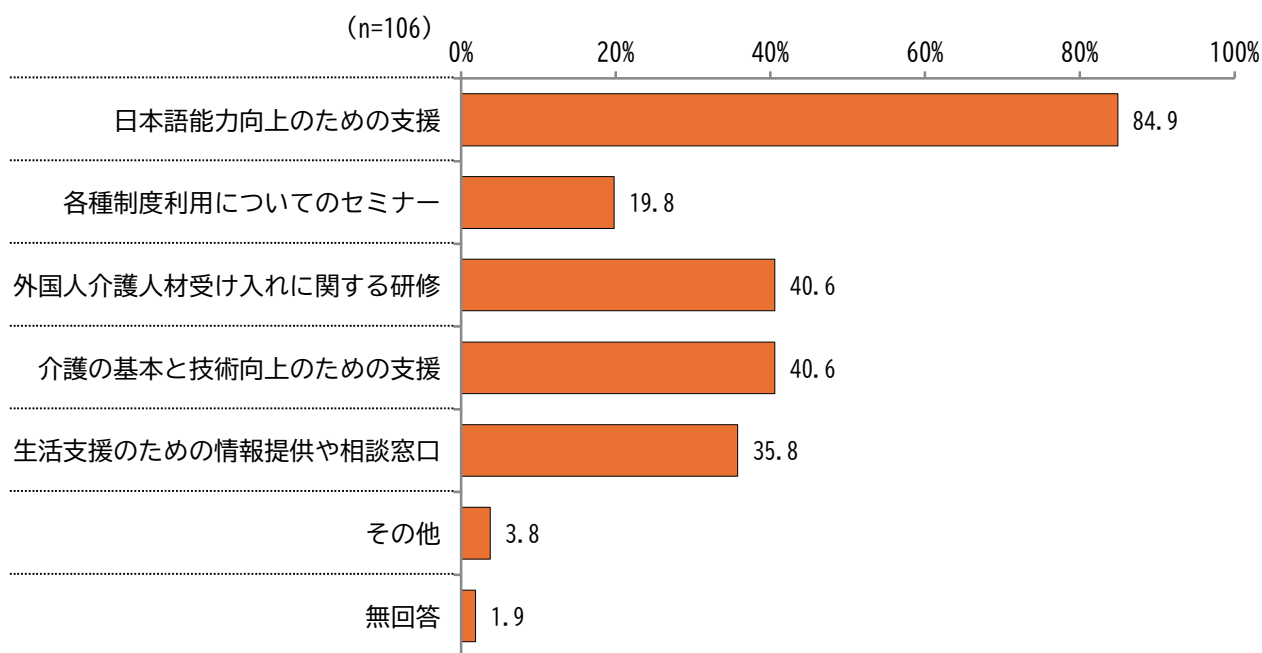
<すべての事業所にお聞きします。>

問14 外国人介護人材を雇用するにあたって、どのような支援が必要になると思いますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「日本語能力向上のための支援」が84.9%で最も高く、次いで「外国人介護人材受け入れに関する研修」「介護の基本と技術向上のための支援」が40.6%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「日本語能力向上のための支援」が最も高くなっています。次いで社会福祉法人では「生活支援のための情報提供や相談窓口」、医療法人、その他では「外国人介護人材受け入れに関する研修」、営利法人（株式会社、有限会社等）では「介護の基本と技術向上のための支援」が高くなっています。

従業員数でみると、従業員数にかかわらず「日本語能力向上のための支援」が最も高くなっています。次いで「外国人介護人材受け入れに関する研修」「介護の基本と技術向上のための支援」などが高くなっています。



		全体	日本語能力向上のため の支援	各種制度利用について のセミナー	外国人介護人材受け 入れに関する研修	介護の基本と技術向上 のための支援	生活支援のための情報 提供や相談窓口	その他	無回答
全体		106	90	21	43	43	38	4	2
		100.0	84.9	19.8	40.6	40.6	35.8	3.8	1.9
法人格	社会福祉法人	35	34	9	9	14	24	1	0
		100.0	97.1	25.7	25.7	40.0	68.6	2.9	0.0
	医療法人	16	14	3	10	4	5	0	1
		100.0	87.5	18.8	62.5	25.0	31.3	0.0	6.3
営利法人(株式会社、有限会社等)	42	32	6	18	19	3	3	1	
	100.0	76.2	14.3	42.9	45.2	7.1	7.1	2.4	
その他	12	9	3	6	5	5	0	0	
	100.0	75.0	25.0	50.0	41.7	41.7	0.0	0.0	
従業員数	5人未満	22	18	2	7	5	6	2	1
		100.0	81.8	9.1	31.8	22.7	27.3	9.1	4.5
	5～9人	18	15	4	6	8	6	1	0
		100.0	83.3	22.2	33.3	44.4	33.3	5.6	0.0
	10～29人	44	38	11	22	22	17	1	0
		100.0	86.4	25.0	50.0	50.0	38.6	2.3	0.0
	30～49人	15	12	3	8	4	5	0	1
	100.0	80.0	20.0	53.3	26.7	33.3	0.0	6.7	
50～99人	5	5	1	0	2	3	0	0	
	100.0	100.0	20.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	
100人以上	2	2	0	0	2	1	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	

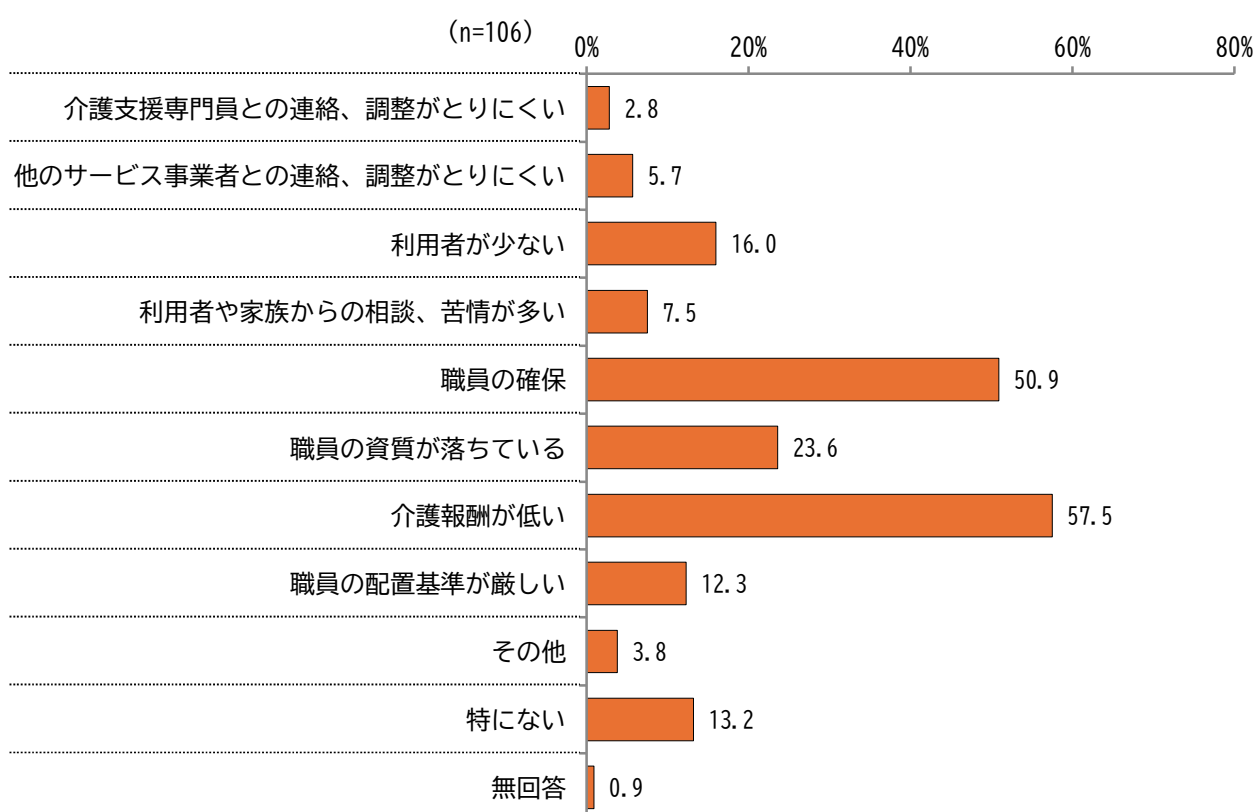
### 3 サービス提供の課題について

問 15 介護保険に関わる事業者として、問題点として感じていることは何ですか。  
(〇は3つまで)

全体では、「介護報酬が低い」が57.5%で最も高く、次いで「職員の確保」が50.9%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「介護報酬が低い」が最も高く、医療法人、営利法人（株式会社、有限会社等）では「職員の確保」も同率で高くなっています。

従業員数でみると、従業員数にかかわらず「介護報酬が低い」「職員の確保」で高くなっています。



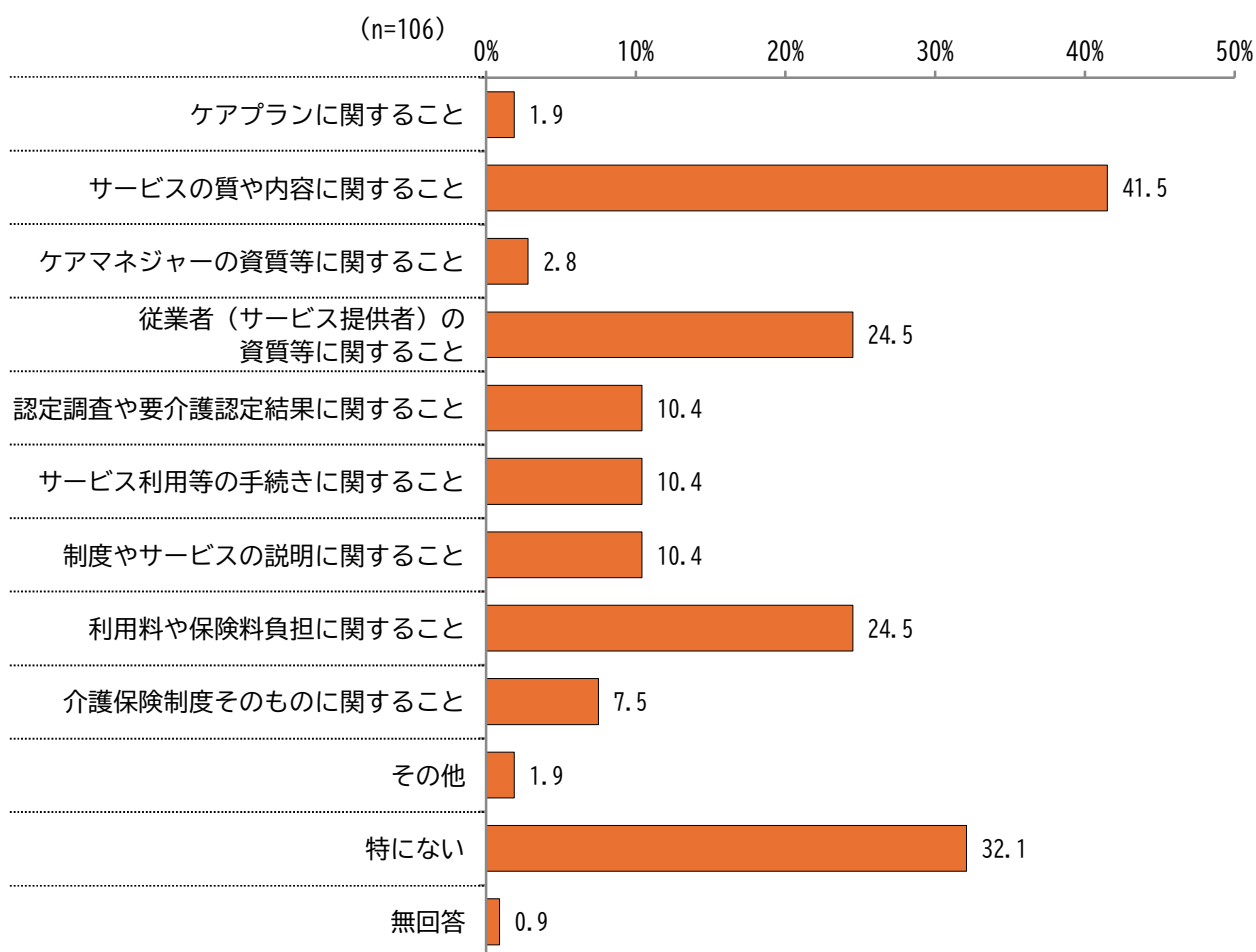
	全体	く 連 い 絡 、 調 整 が と り に	介 護 支 援 専 門 員 と の	り と の く 連 い 絡 、 調 整 が と	他 の サ ー ビ ス 事 業 者	利 用 者 が 少 な い	相 談 、 苦 情 が 多 い	利 用 者 や 家 族 か ら の	職 員 の 確 保	職 員 の 資 質 が 落 ち て い る	介 護 報 酬 が 低 い	し 職 員 の 配 置 基 準 が 厳	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	106	3	6	17	8	54	25	61	13	4	14	1			
	100.0	2.8	5.7	16.0	7.5	50.9	23.6	57.5	12.3	3.8	13.2	0.9			
法人格	社会福祉法人	35	0	2	5	5	13	9	18	3	0	8	1		
		100.0	0.0	5.7	14.3	14.3	37.1	25.7	51.4	8.6	0.0	22.9	2.9		
	医療法人	16	2	1	5	2	10	4	10	1	3	1	0		
		100.0	12.5	6.3	31.3	12.5	62.5	25.0	62.5	6.3	18.8	6.3	0.0		
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	1	2	6	0	25	9	25	8	1	3	0		
	100.0	2.4	4.8	14.3	0.0	59.5	21.4	59.5	19.0	2.4	7.1	0.0			
その他	12	0	1	1	1	6	3	8	1	0	1	0			
	100.0	0.0	8.3	8.3	8.3	50.0	25.0	66.7	8.3	0.0	8.3	0.0			
従業員数	5人未満	22	0	0	3	2	9	3	13	2	1	4	0		
		100.0	0.0	0.0	13.6	9.1	40.9	13.6	59.1	9.1	4.5	18.2	0.0		
	5～9人	18	0	1	3	1	9	1	9	2	0	5	0		
		100.0	0.0	5.6	16.7	5.6	50.0	5.6	50.0	11.1	0.0	27.8	0.0		
	10～29人	44	1	2	6	4	25	15	25	8	1	4	0		
		100.0	2.3	4.5	13.6	9.1	56.8	34.1	56.8	18.2	2.3	9.1	0.0		
	30～49人	15	2	2	4	1	7	4	9	1	2	1	0		
	100.0	13.3	13.3	26.7	6.7	46.7	26.7	60.0	6.7	13.3	6.7	0.0			
50～99人	5	0	1	0	0	2	1	3	0	0	0	1			
	100.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0			
100人以上	2	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	0			
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

問 16 貴事業所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。(〇は5つまで)

全体では、「サービスの質や内容に関すること」が41.5%で最も高く、次いで「特にない」が32.1%、「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」「利用料や保険料負担に関すること」が24.5%となっています。

法人格でみると、医療法人を除いた法人で「サービスの質や内容に関すること」が最も高く、医療法人では「特にない」が最も高くなっています。営利法人（株式会社、有限会社等）では「特にない」も「サービスの質や内容に関すること」と同率で高くなっています。

従業員数でみると、5人未満、5～9人、10～29人、30～49人、50～99人では「サービスの質や内容に関すること」が最も高くなっています。



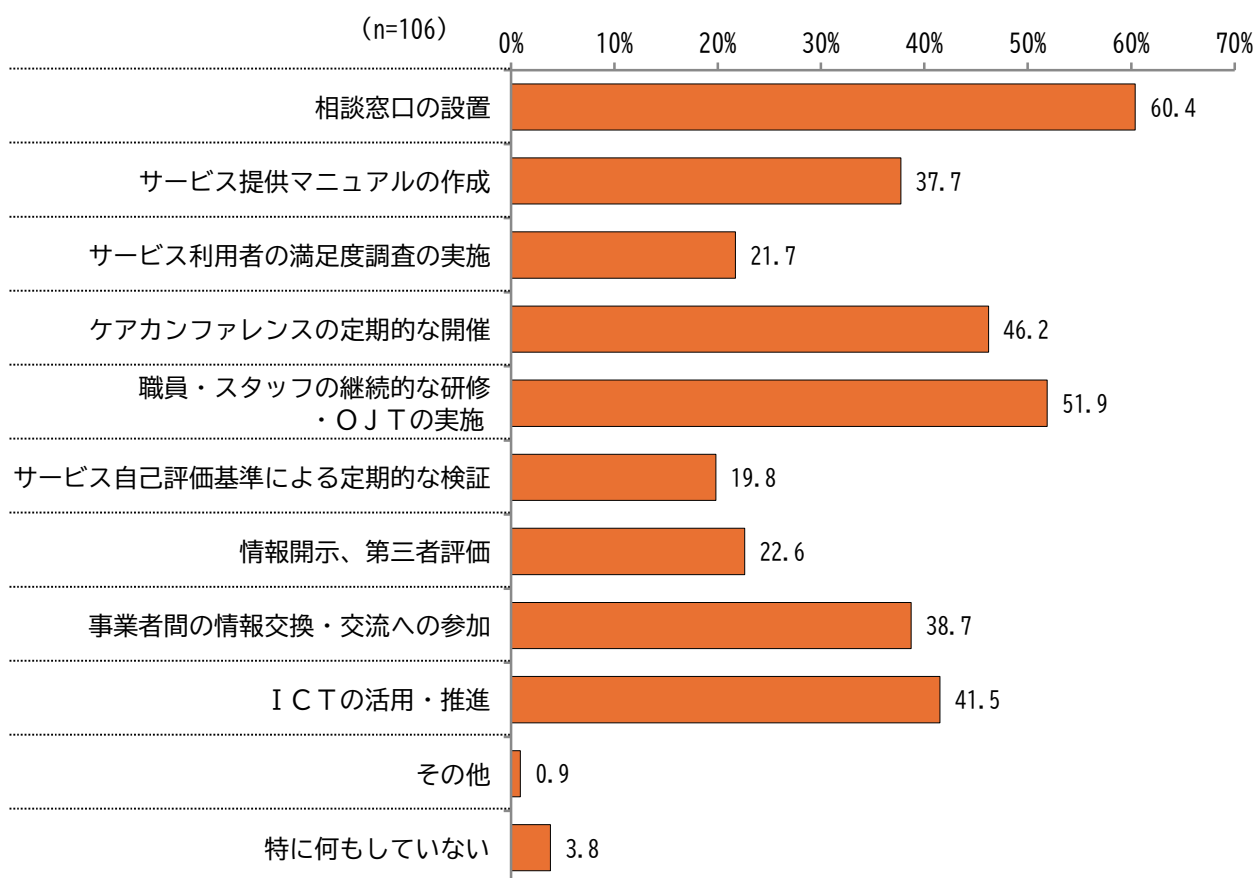
	全体	ケアプランに関する こと	サービスの質や内容 に関すること	ケアマネジャーの資 質等に関すること	事業者（サービス提 供者）の資質等に関 すること	認定調査や要介護認 定結果に関すること	サービス利用等の手 続きに関すること	制度やサービスの説 明に関すること	利用料や保険料負担 に関すること	介護保険制度そのも のに関すること	その他	特 に な い	無 回 答	
全体	106 100.0	2 1.9	44 41.5	3 2.8	26 24.5	11 10.4	11 10.4	11 10.4	26 24.5	8 7.5	2 1.9	34 32.1	1 0.9	
法人格	社会福祉法人	35 100.0	1 2.9	16 45.7	2 5.7	8 22.9	4 11.4	5 14.3	2 5.7	9 25.7	1 2.9	2 5.7	11 31.4	0 0.0
	医療法人	16 100.0	0 0.0	5 31.3	0 0.0	5 31.3	3 18.8	2 12.5	2 31.3	5 6.3	1 0.0	0 0.0	6 37.5	0 0.0
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42 100.0	1 2.4	15 35.7	1 2.4	7 16.7	4 9.5	3 7.1	5 11.9	10 23.8	5 11.9	0 0.0	15 35.7	1 2.4
	その他	12 100.0	0 0.0	7 58.3	0 0.0	5 41.7	0 0.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	従業員数	5人未満	22 100.0	0 0.0	9 40.9	0 0.0	4 18.2	5 22.7	3 13.6	3 13.6	6 27.3	3 13.6	0 0.0	6 27.3
5～9人	18 100.0	0 0.0	7 38.9	0 0.0	5 27.8	3 16.7	3 16.7	2 11.1	5 27.8	1 5.6	1 5.6	6 33.3	0 0.0	
10～29人	44 100.0	2 4.5	17 38.6	3 6.8	14 31.8	3 6.8	5 11.4	5 11.4	10 22.7	3 6.8	0 0.0	13 29.5	1 2.3	
30～49人	15 100.0	0 0.0	8 53.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	1 6.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0	6 40.0	0 0.0	
50～99人	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	
100人以上	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	

問 17 貴事業所では、サービスの資質向上のために、どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「相談窓口の設置」が 60.4%で最も高く、次いで「職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施」が 51.9%、「ケアカンファレンスの定期的な開催」が 46.2%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人、営利法人（株式会社、有限会社等）では「相談窓口の設置」、医療法人では「ケアカンファレンスの定期的な開催」「職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施」が最も高くなっています。

従業員数でみると、従業員数にかかわらず「相談窓口の設置」「ケアカンファレンスの定期的な開催」「職員・スタッフの継続的な研修・OJTの実施」などが高くなっています。



	全体	相談窓口の設置	サービス提供マニユアルの作成	満足度調査の実施	サービスの定期的な開催	J T の実 施	職員の定期的な研修・O	基準による定期的な検証	サービス自己評価	情報開示、第三者評価	事業者間の情報交換・交流への参加	I C T の活用・推進	その他	特に何もしていない
全体	106	64	40	23	49	55	21	24	41	44	1	4		
	100.0	60.4	37.7	21.7	46.2	51.9	19.8	22.6	38.7	41.5	0.9	3.8		
法人格	社会福祉法人	35	30	18	7	19	23	11	15	20	20	0	0	
		100.0	85.7	51.4	20.0	54.3	65.7	31.4	42.9	57.1	57.1	0.0	0.0	
	医療法人	16	7	4	3	8	8	3	4	5	6	0	0	
		100.0	43.8	25.0	18.8	50.0	50.0	18.8	25.0	31.3	37.5	0.0	0.0	
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	20	16	12	17	16	6	4	14	12	1	4	
	100.0	47.6	38.1	28.6	40.5	38.1	14.3	9.5	33.3	28.6	2.4	9.5		
その他	12	6	1	1	4	7	1	1	1	5	0	0		
	100.0	50.0	8.3	8.3	33.3	58.3	8.3	8.3	8.3	41.7	0.0	0.0		
従業員数	5人未満	22	12	5	1	7	7	3	1	7	1	0	2	
		100.0	54.5	22.7	4.5	31.8	31.8	13.6	4.5	31.8	4.5	0.0	9.1	
	5～9人	18	11	7	4	9	12	4	3	8	9	0	0	
		100.0	61.1	38.9	22.2	50.0	66.7	22.2	16.7	44.4	50.0	0.0	0.0	
	10～29人	44	25	18	12	21	23	11	15	17	20	1	1	
		100.0	56.8	40.9	27.3	47.7	52.3	25.0	34.1	38.6	45.5	2.3	2.3	
	30～49人	15	11	7	5	7	10	2	2	7	9	0	1	
	100.0	73.3	46.7	33.3	46.7	66.7	13.3	13.3	46.7	60.0	0.0	6.7		
50～99人	5	4	3	1	4	3	1	2	2	3	0	0		
	100.0	80.0	60.0	20.0	80.0	60.0	20.0	40.0	40.0	60.0	0.0	0.0		
100人以上	2	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0		
	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0		

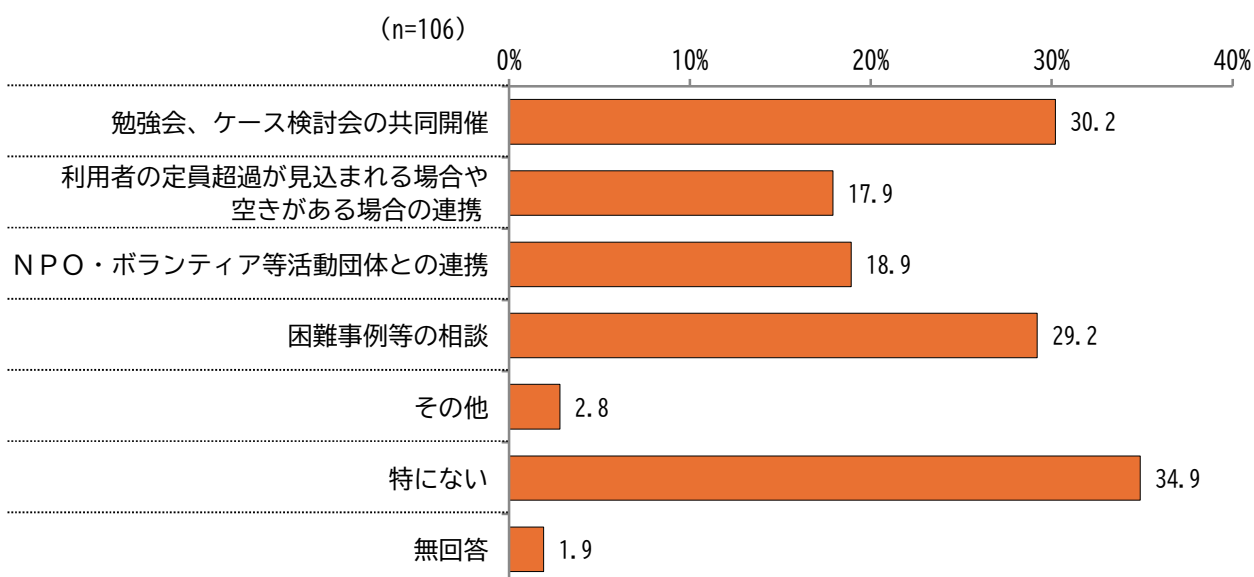
## 4 関係機関との連携について

問 18 他法人等との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。  
(〇はいくつでも)

全体では、「特にない」が34.9%で最も高く、次いで「勉強会、ケース検討会の共同開催」が30.2%、「困難事例等の相談」が29.2%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「勉強会、ケース検討会の共同開催」、医療法人では「困難事例等の相談」「特にない」、営利法人（株式会社、有限会社等）では「特にない」が最も高くなっています。

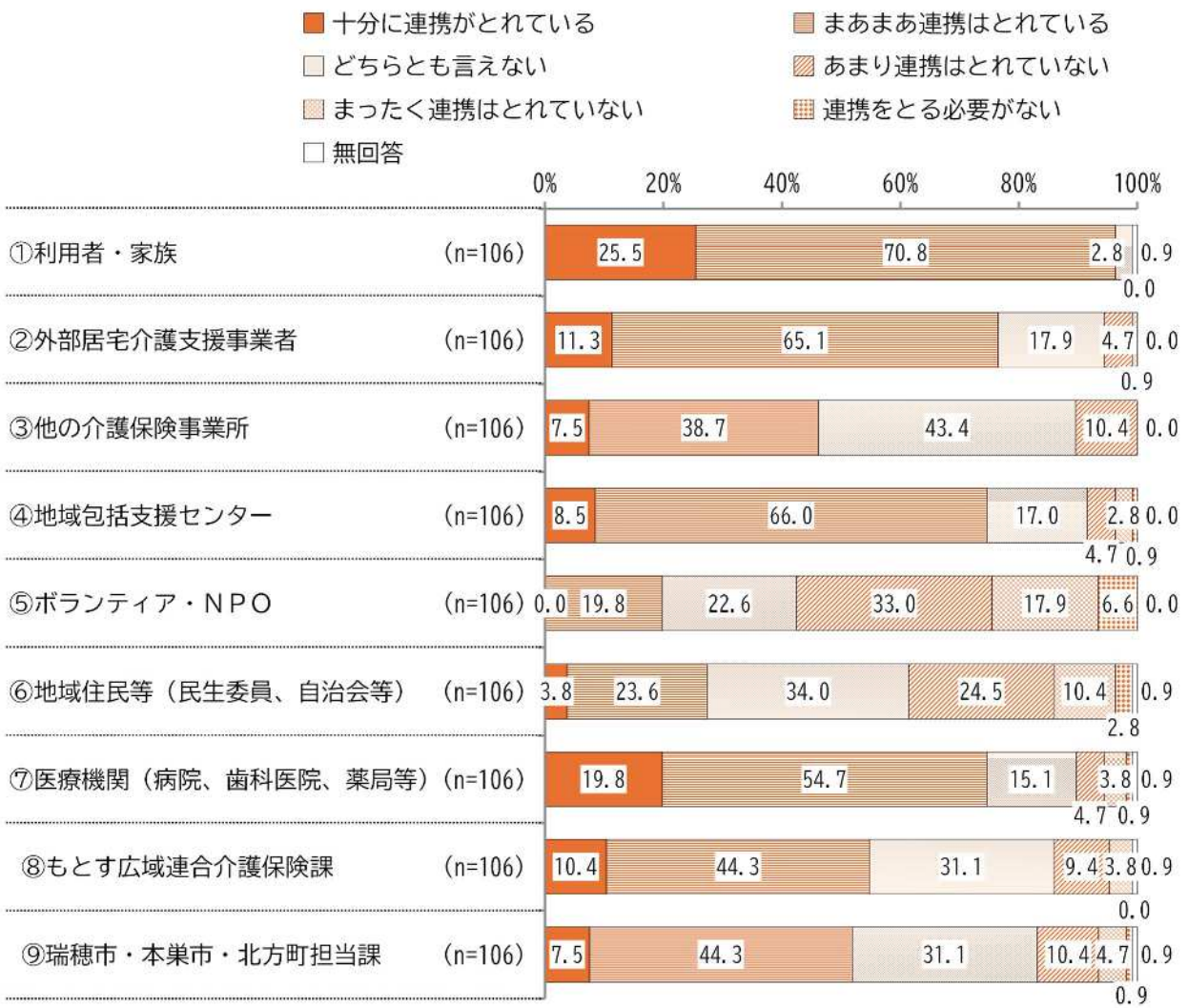
従業員数でみると、5人未満では「困難事例等の相談」、5～9人、30～49人では「勉強会、ケース検討会の共同開催」、10～29人では「特にない」最も高くなっています。



		全体	勉強会、ケース検討会の共同開催	利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携	NPO・ボランティア等活動団体との連携	困難事例等の相談	その他	特にない	無回答
全体		106	32	19	20	31	3	37	2
		100.0	30.2	17.9	18.9	29.2	2.8	34.9	1.9
法人格	社会福祉法人	35	13	6	11	12	1	7	1
		100.0	37.1	17.1	31.4	34.3	2.9	20.0	2.9
	医療法人	16	6	2	1	7	1	7	0
		100.0	37.5	12.5	6.3	43.8	6.3	43.8	0.0
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	11	10	5	10	1	17	0
		100.0	26.2	23.8	11.9	23.8	2.4	40.5	0.0
	その他	12	2	1	3	2	0	5	1
		100.0	16.7	8.3	25.0	16.7	0.0	41.7	8.3
従業員数	5人未満	22	8	4	4	12	0	6	0
		100.0	36.4	18.2	18.2	54.5	0.0	27.3	0.0
	5～9人	18	8	5	5	6	0	5	0
		100.0	44.4	27.8	27.8	33.3	0.0	27.8	0.0
	10～29人	44	8	7	7	6	1	21	2
		100.0	18.2	15.9	15.9	13.6	2.3	47.7	4.5
	30～49人	15	7	3	2	5	1	3	0
		100.0	46.7	20.0	13.3	33.3	6.7	20.0	0.0
	50～99人	5	1	0	2	2	1	0	0
		100.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	100人以上	2	0	0	0	0	0	2	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 19 普段から、以下にあげる人たちとの連携がとれていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”でみると、『①利用者・家族』が96.3%で最も高く、次いで『②外部居宅介護支援事業者』が76.4%、『④地域包括支援センター』『⑦医療機関（病院、歯科医院、薬局等）』が74.5%となっています。

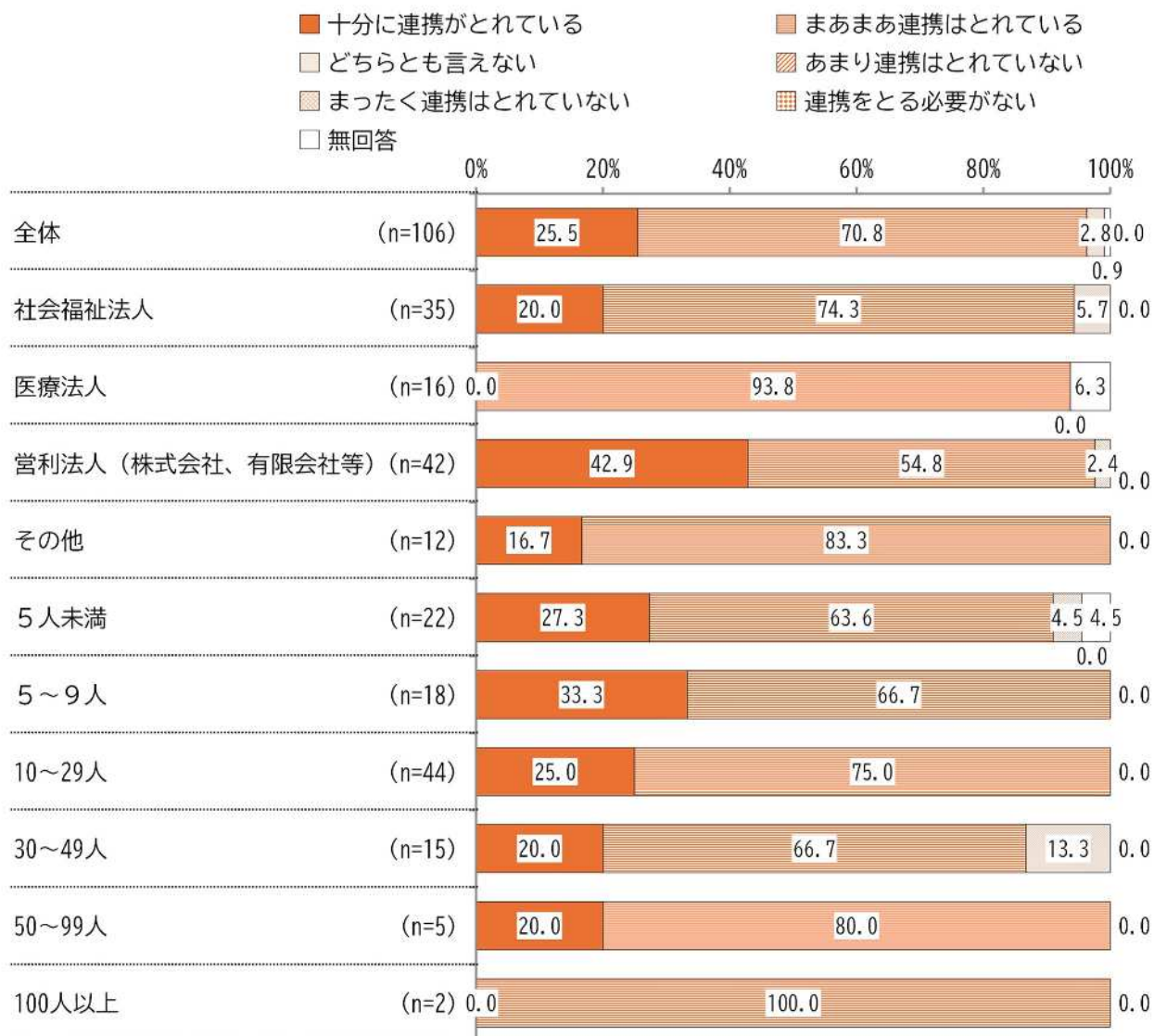


## ① 利用者・家族

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が96.3%となっています。

法人格でみても、大きな差はなく9割以上となっています。

従業員数でみても、大きな差はなく9割以上となっています。

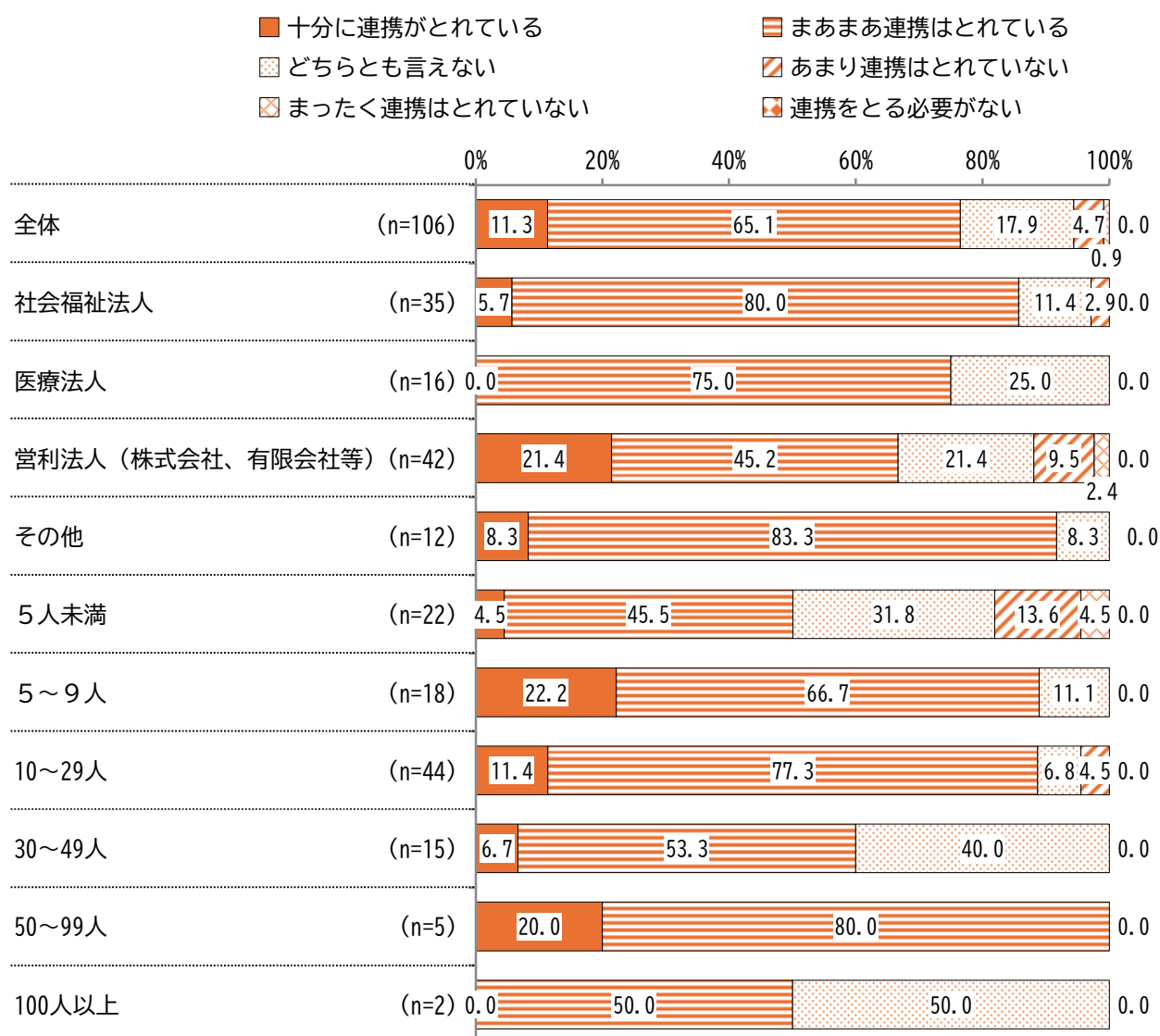


## ② 外部居宅介護支援事業者

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が76.4%となっています。

法人格でみると、営利法人（株式会社、有限会社等）では「十分に連携がとれている」が21.4%と他の法人に比べて1割強高くなっています。

従業員数でみると、5～9人、50～99人で「十分に連携がとれている」が2割以上となっています。

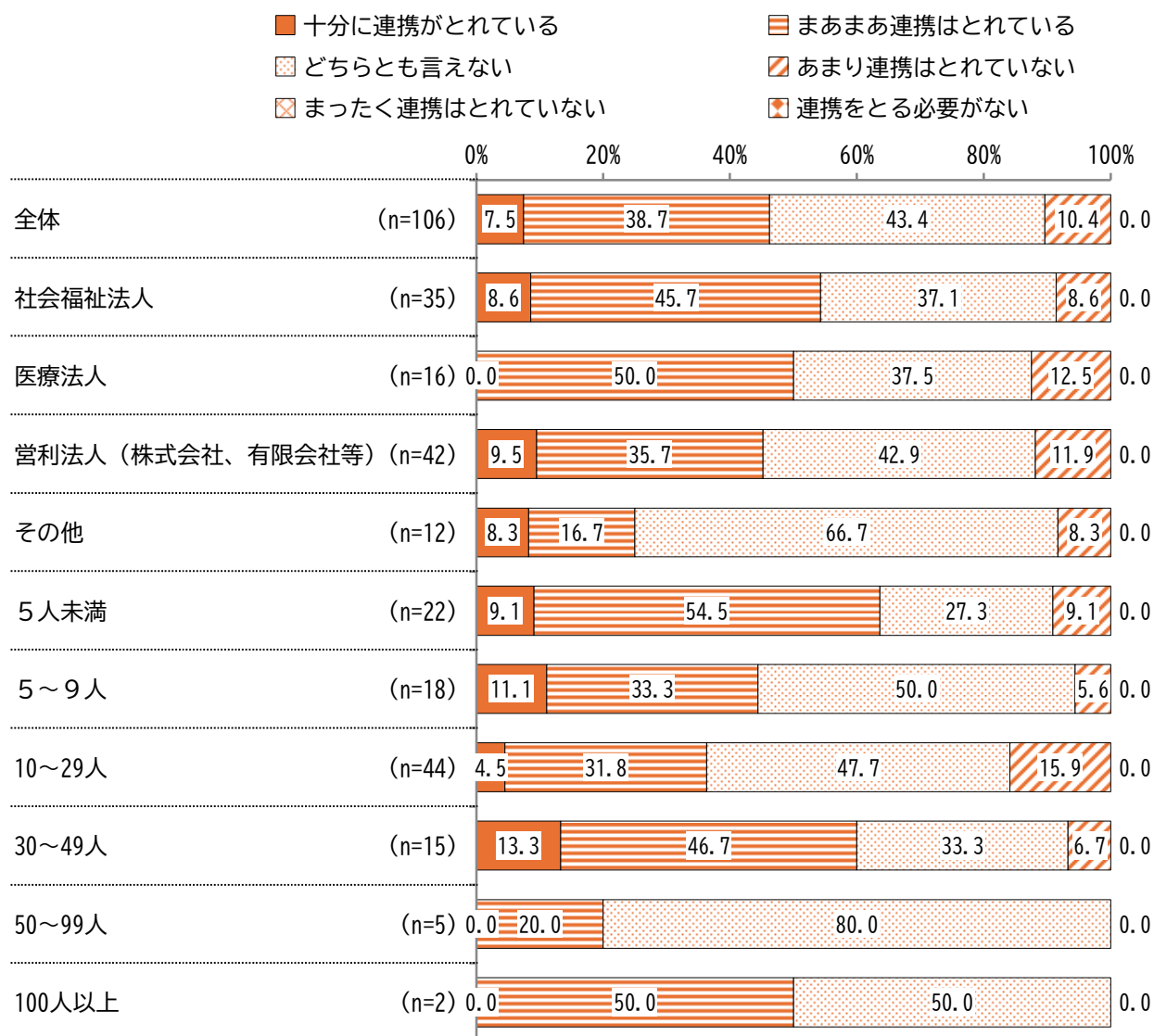


### ③ 他の介護保険事業所

全体では、「どちらとも言えない」が43.4%で最も高く、次いで「まあまあ連携はとれている」が38.7%、「あまり連携はとれていない」が10.4%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人、医療法人では「まあまあ連携はとれている」、営利法人（株式会社、有限会社等）、その他では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満、30～49人では「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が6割以上となっています。また、5～9人、10～29人、50～99人では「どちらとも言えない」が最も高くなっています。



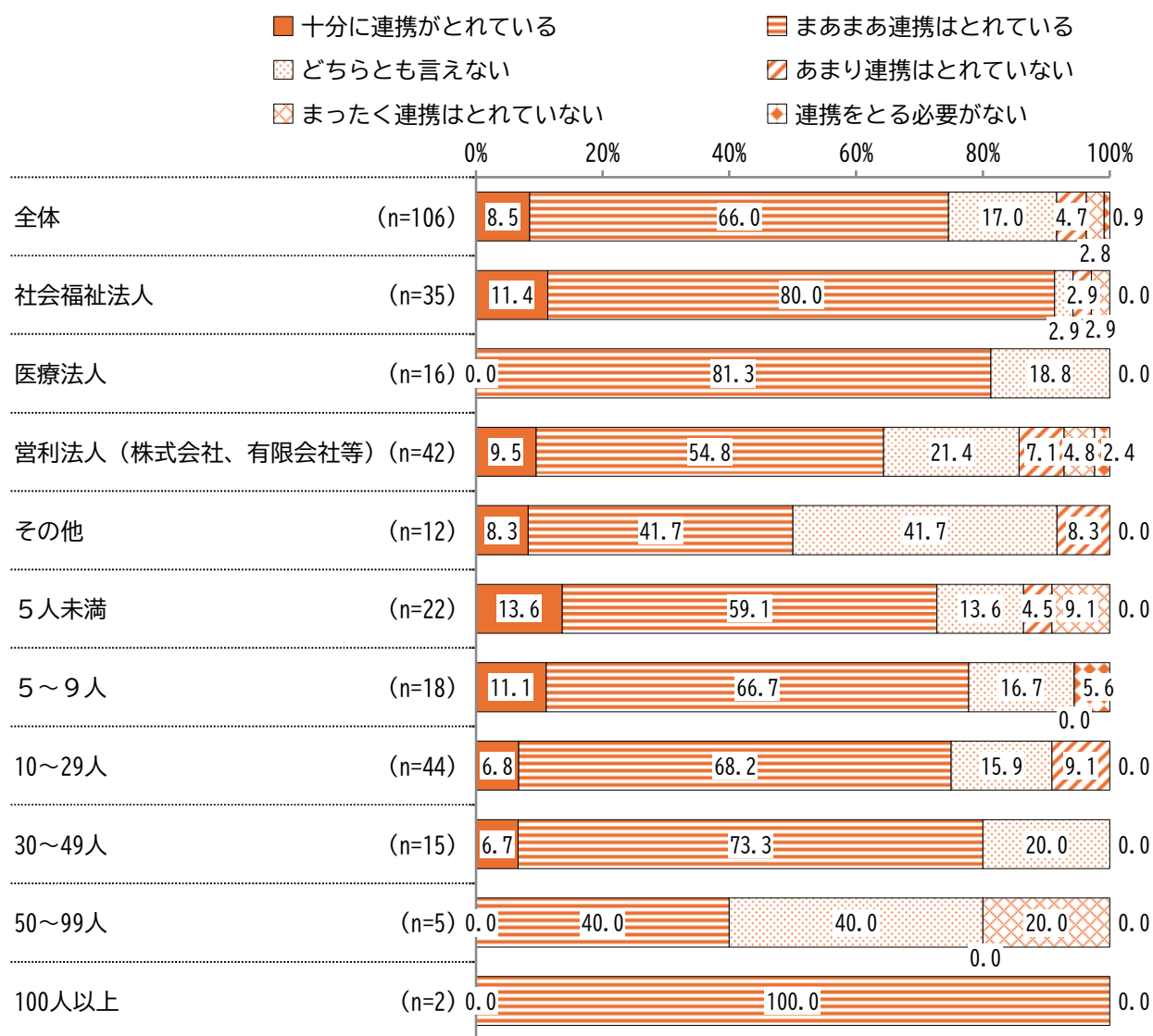
#### ④ 地域包括支援センター

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が74.5%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人、医療法人では“連携はとれている”が8割以上となっています。

従業員数でみると、5人未満では「まあまあ連携はとれている」が59.1%で最も高く、次いで「十分に連携がとれている」「どちらとも言えない」が13.6%、「まったく連携はとれていない」が9.1%となっています。

5人未満、5～9人、10～29人、30～49人では「まあまあ連携はとれている」が7割以上となっています。

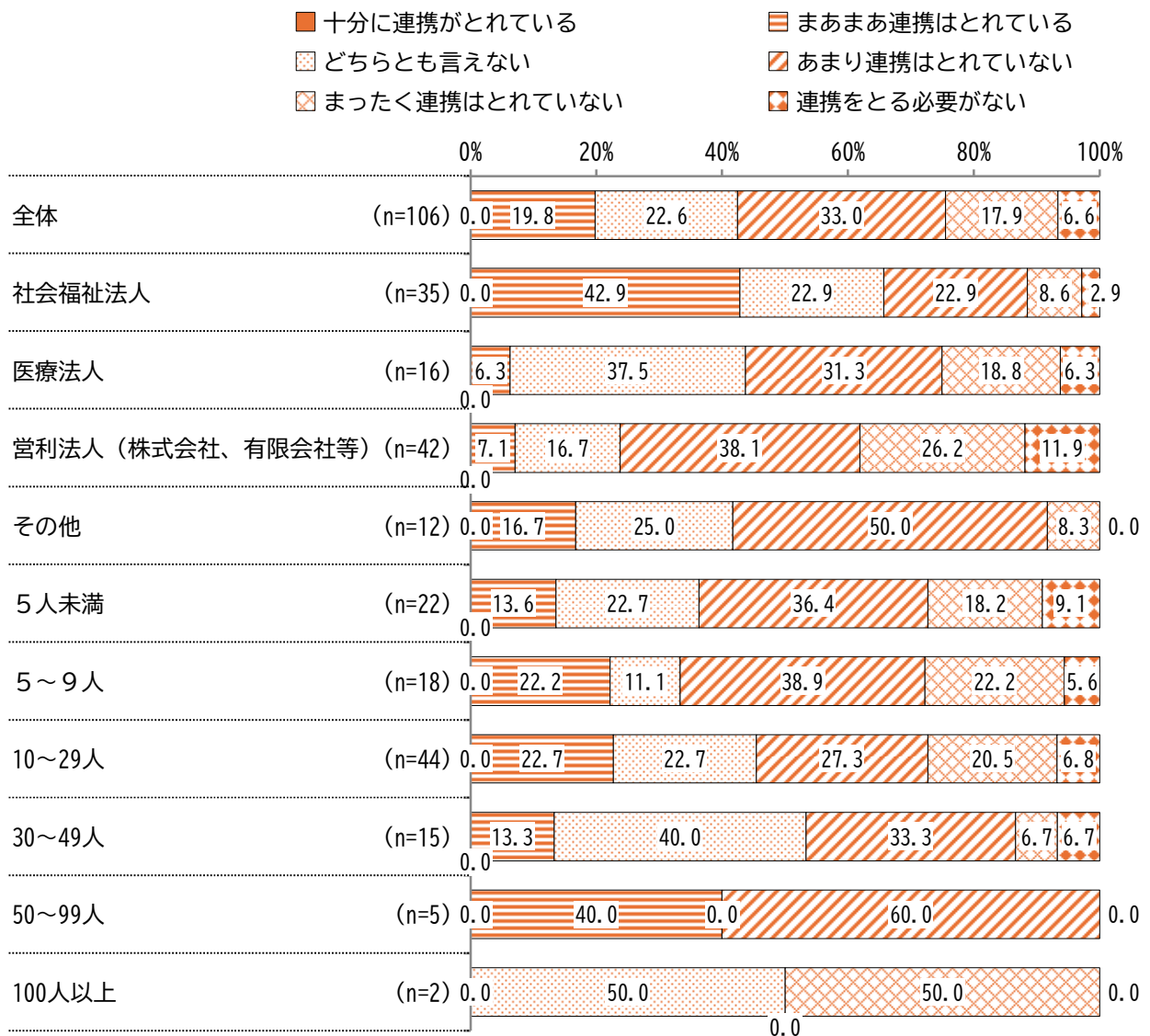


## ⑤ ボランティア・NPO

全体では、「あまり連携はとれていない」と「まったく連携はとれていない」をあわせた“連携はとれていない”が50.9%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が42.9%となっていますが、他の法人では“連携はとれていない”が5割以上となっています。

従業員数でみると、従業員数にかかわらず“連携はとれていない”が“連携はとれている”よりも高くなっています。

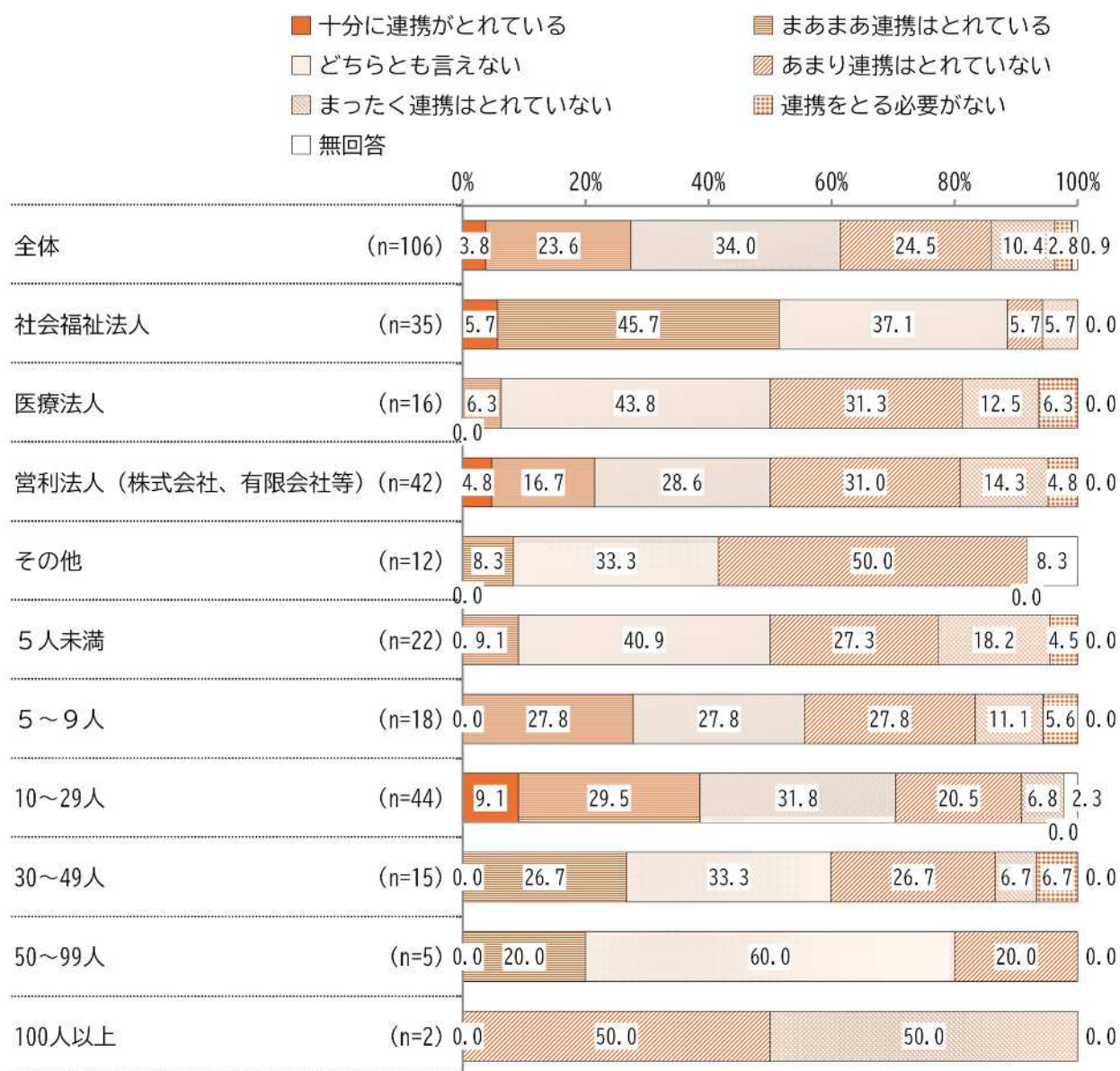


## ⑥ 地域住民等（民生委員、自治会等）

全体では、「どちらとも言えない」が34.0%で最も高く、次いで「あまり連携はとれていない」が24.5%、「まあまあ連携はとれている」が23.6%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が51.4%となっていますが、他の法人では“連携はとれていない”が“連携はとれている”よりも高くなっています。

従業員数でみると、10～29人では“連携はとれている”が“連携はとれていない”よりも高く、10～29人以外の従業員数では“連携はとれていない”が“連携はとれている”を上回っています。

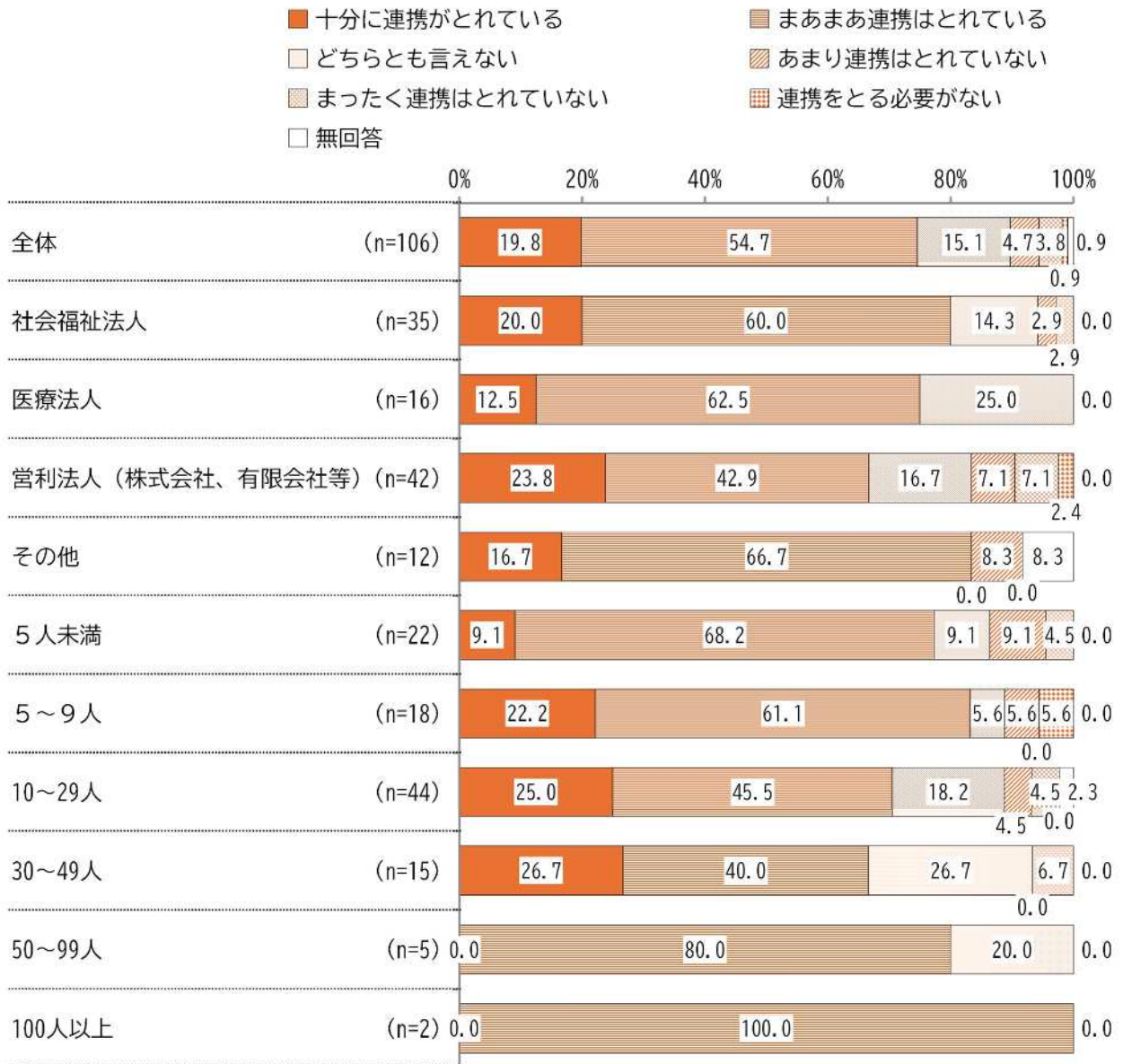


⑦ 医療機関（病院、歯科医院、薬局等）

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が74.5%となっています。

法人格でみても、各法人ともに“連携はとれている”が6割以上となっています。

従業員数でみても、従業員数にかかわらず“連携はとれている”が6割以上となっています。

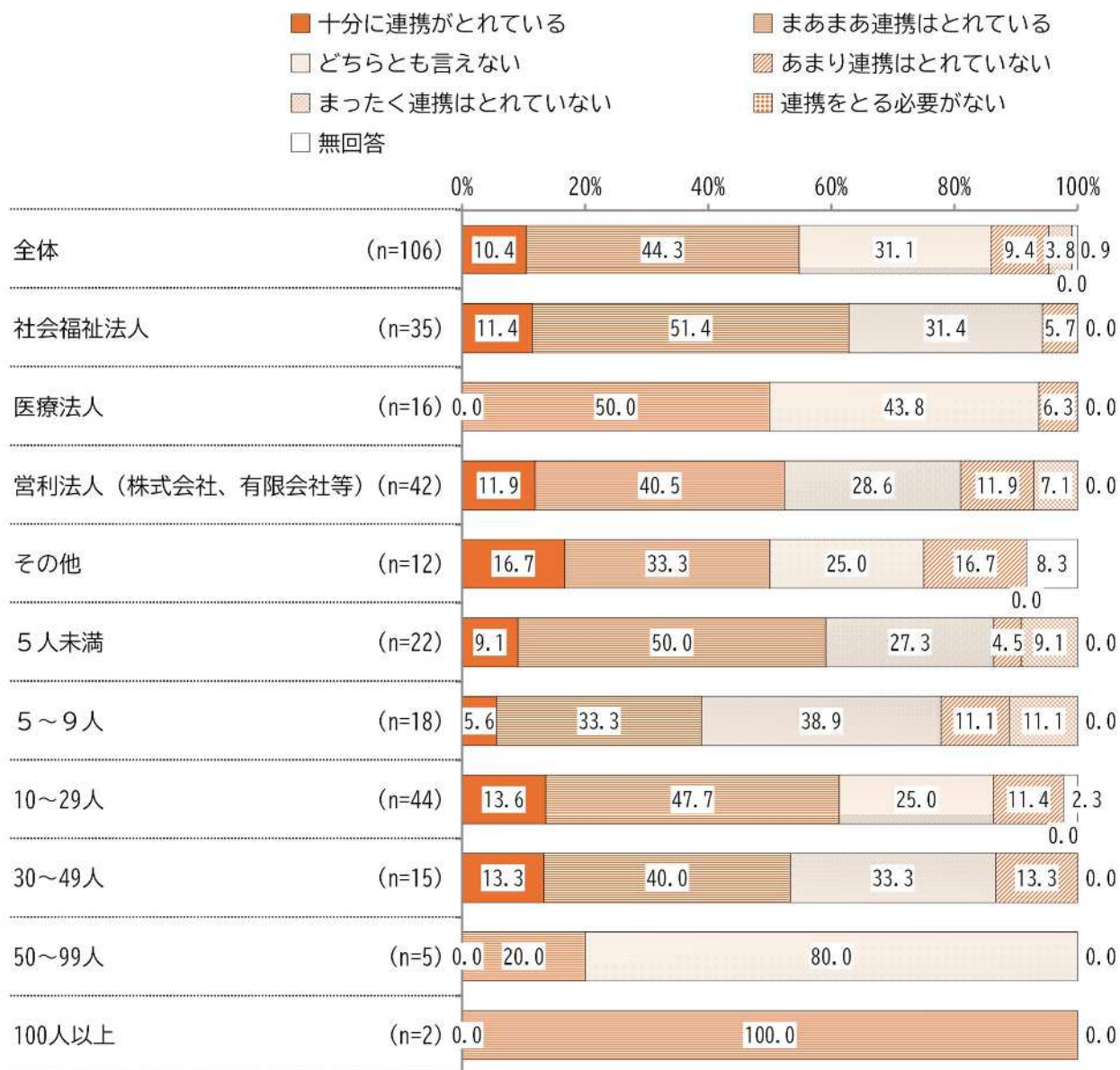


## ⑧ もとす広域連合介護保険課

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が54.7%となっています。

法人格でみると、各法人ともに“連携はとれている”が5割以上となっています。

従業員数でみると、5人未満、10～29人、30～49人では“連携はとれている”が5割以上となっています。

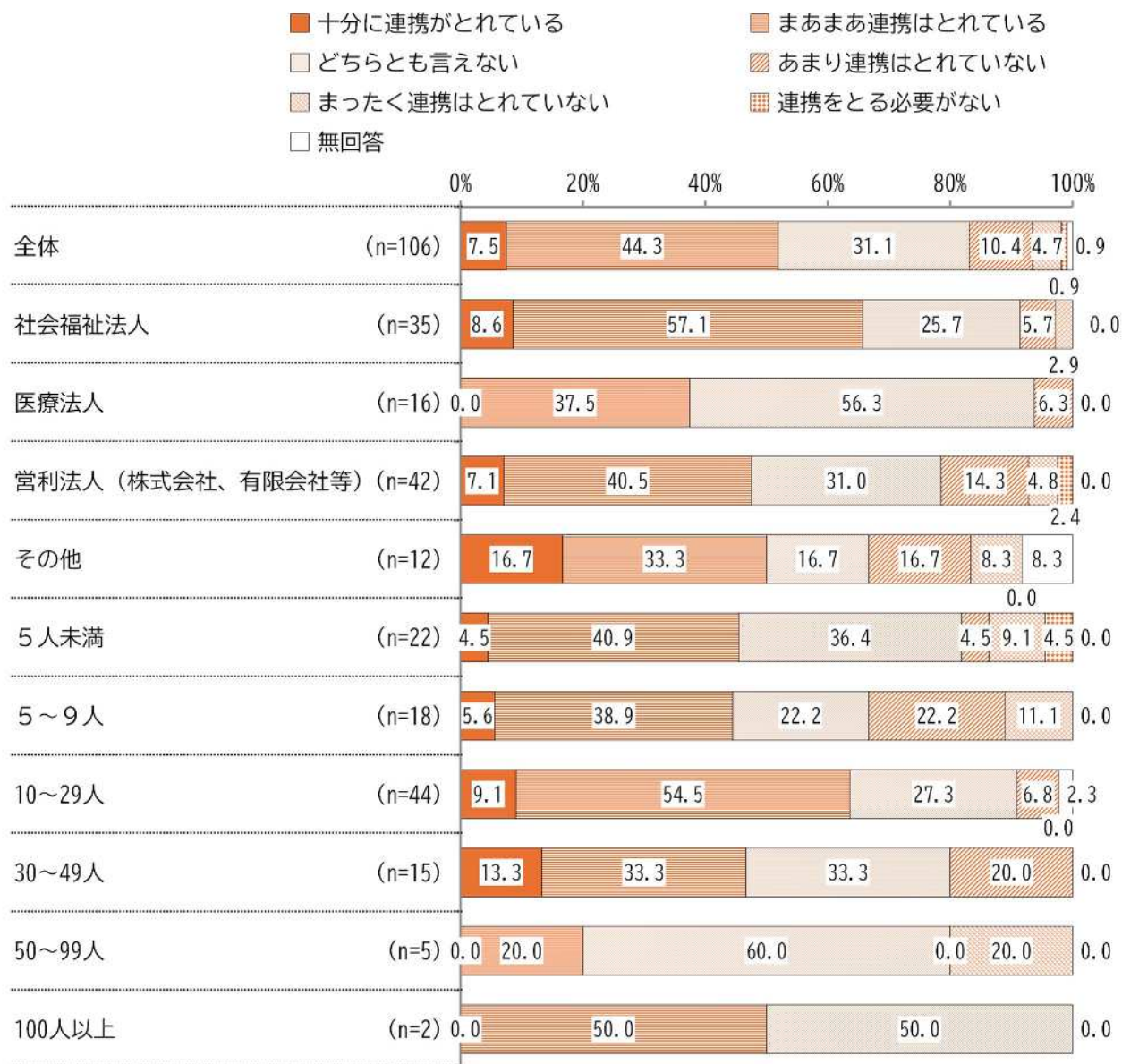


## ⑨ 瑞穂市・本巣市・北方町担当課

全体では、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」をあわせた“連携はとれている”が51.8%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「まあまあ連携はとれている」が57.1%、医療法人では「どちらとも言えない」が56.3%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「まあまあ連携はとれている」が40.5%、その他では「まあまあ連携はとれている」が33.3%で最も高くなっています。

従業員数でみると、10～29人で“連携はとれている”が63.6%と高くなっています。



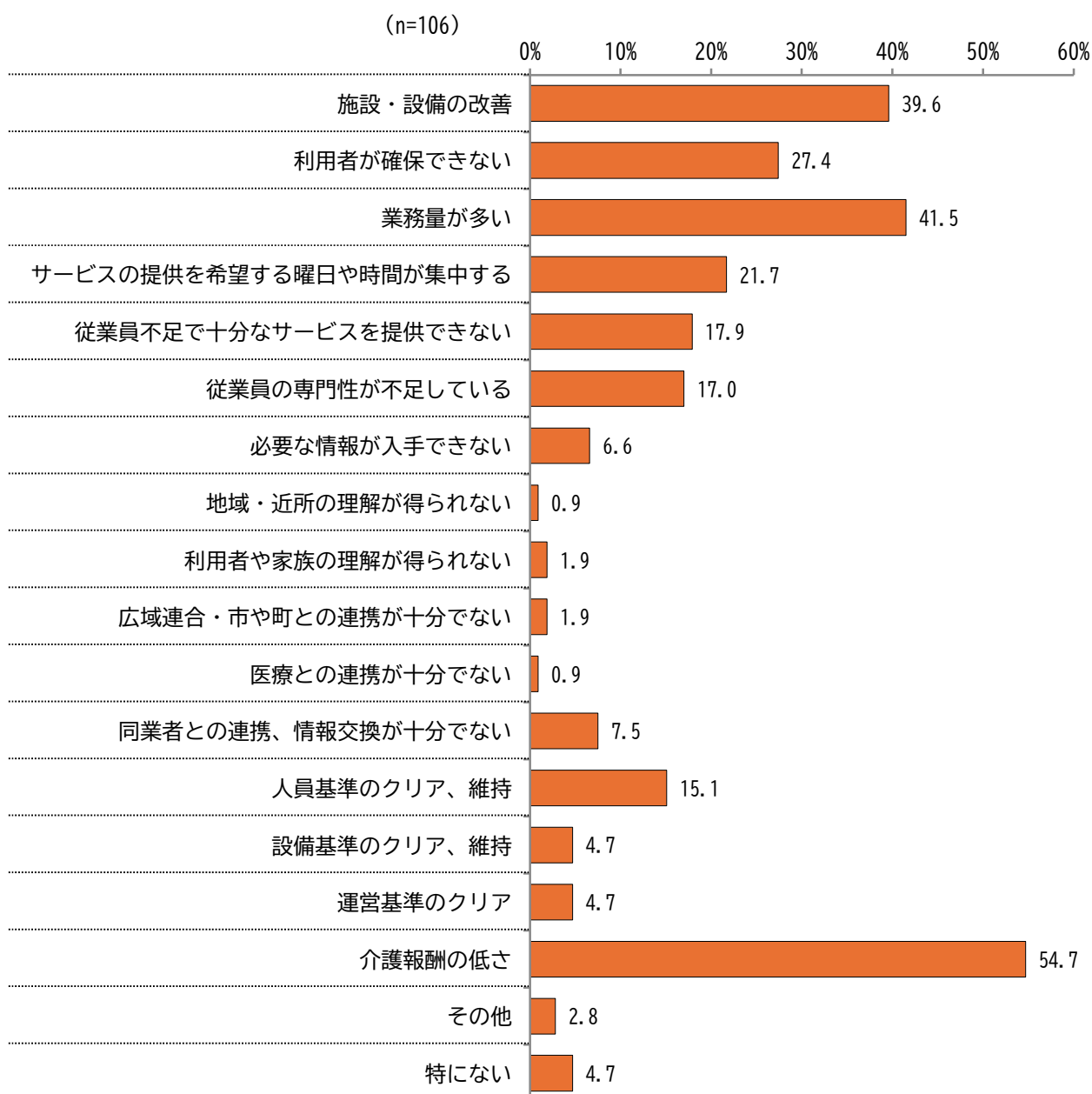
## 5 事業所運営上の問題について

問 20 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「介護報酬の低さ」が 54.7%で最も高く、次いで「業務量が多い」が 41.5%、「施設・設備の改善」が 39.6%となっています。

法人格でみると、社会福祉法人では「施設・設備の改善」が 60.0%、医療法人では「介護報酬の低さ」が 68.8%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「介護報酬の低さ」が 52.4%で最も高くなっています。

従業員数でみると、5人未満では「業務量が多い」が 59.1%、5～9人では「介護報酬の低さ」が 44.4%、10～29人では「施設・設備の改善」が 54.5%、30～49人では「介護報酬の低さ」が 66.7%で最も高くなっています。



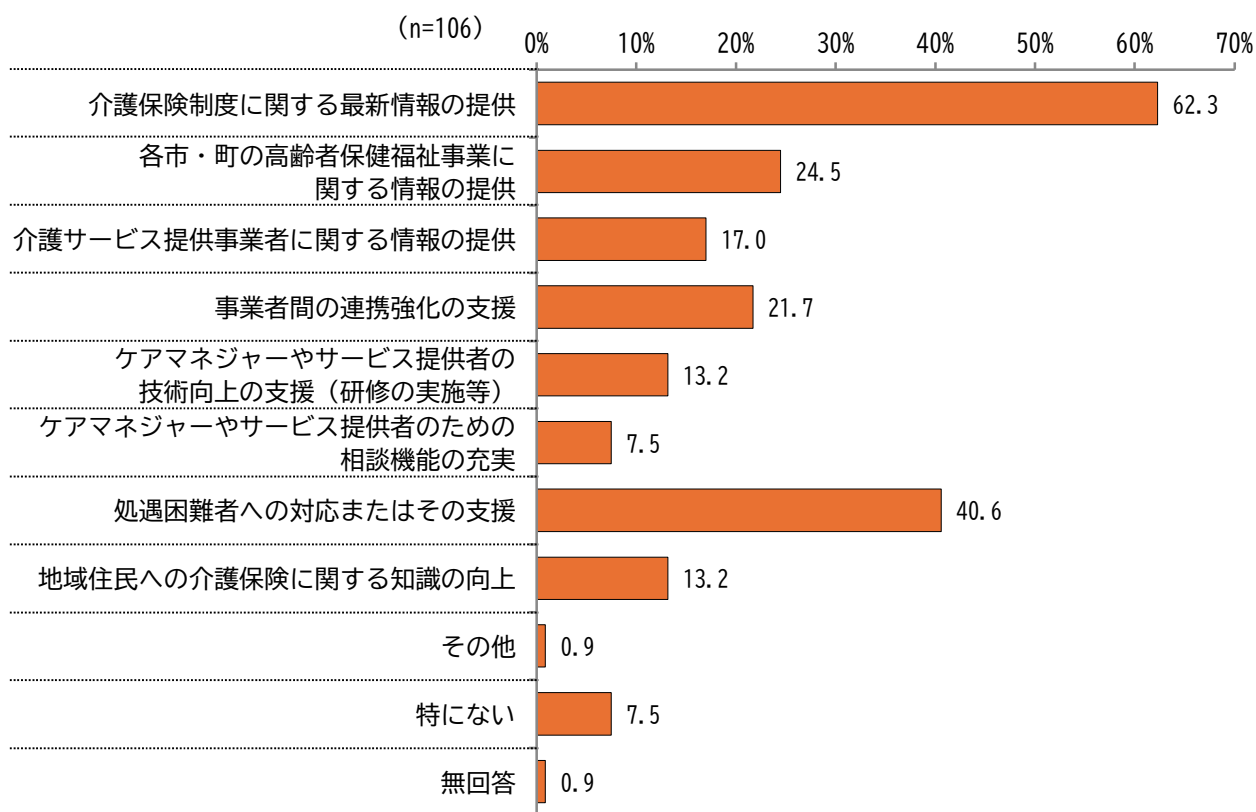


問 21 介護保険サービス事業を行う上で、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「介護保険制度に関する最新情報の提供」が 62.3%で最も高く、次いで「処遇困難者への対応またはその支援」が 40.6%となっています。

法人格でみると、各法人ともに「介護保険制度に関する最新情報の提供」が最も高くなっています。また、医療法人では「各市・町の高齢者保健福祉事業に関する情報の提供」が 43.8%、営利法人（株式会社、有限会社等）では「事業者間の連携強化の支援」「処遇困難者への対応またはその支援」が 28.6%、その他では「処遇困難者への対応またはその支援」なども高くなっています。

従業員数でも、「介護保険制度に関する最新情報の提供」が最も高く、「処遇困難者への対応またはその支援」も高くなっています。また、10～29人では「事業者間の連携強化の支援」も 36.4%と高くなっています。



	全体	介護保険制度に関する最新情報提供	供社事業・町の高齢者保健の提供	各事業・町の高齢者保健の提供	介護サービス提供事業者に提供する情報の提供	事業者間の連携強化の支援	ケアマネジャーやサービスの提供者の技術向上の支援（研修の実施等）	ケアマネジャーやサービスの提供者のための相談機能の充実	ケアマネジャーやサービスの提供者のための相談機能の充実	処遇困難者への対応またはその支援	地域住民への介護保険に関する知識の向上	その他	特になし	無回答
全体	106	66	26	18	23	14	8	43	14	1	8	1		
	100.0	62.3	24.5	17.0	21.7	13.2	7.5	40.6	13.2	0.9	7.5	0.9		
法人格	社会福祉法人	35	26	7	6	3	3	2	21	8	0	1	0	
		100.0	74.3	20.0	17.1	8.6	8.6	5.7	60.0	22.9	0.0	2.9	0.0	
	医療法人	16	13	7	2	4	3	1	4	0	0	0	1	
		100.0	81.3	43.8	12.5	25.0	18.8	6.3	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3	
	営利法人(株式会社、有限会社等)	42	21	8	8	12	5	3	12	4	1	6	0	
	100.0	50.0	19.0	19.0	28.6	11.9	7.1	28.6	9.5	2.4	14.3	0.0		
その他	12	5	3	2	4	3	2	5	2	0	1	0		
	100.0	41.7	25.0	16.7	33.3	25.0	16.7	41.7	16.7	0.0	8.3	0.0		
従業員数	5人未満	22	14	4	1	1	2	4	11	0	0	4	0	
		100.0	63.6	18.2	4.5	4.5	9.1	18.2	50.0	0.0	0.0	18.2	0.0	
	5～9人	18	14	4	3	2	2	1	8	6	0	0	0	
		100.0	77.8	22.2	16.7	11.1	11.1	5.6	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0	
	10～29人	44	26	10	10	16	7	3	14	7	0	3	0	
		100.0	59.1	22.7	22.7	36.4	15.9	6.8	31.8	15.9	0.0	6.8	0.0	
	30～49人	15	7	5	3	4	1	0	6	1	1	1	0	
	100.0	46.7	33.3	20.0	26.7	6.7	0.0	40.0	6.7	6.7	6.7	0.0		
50～99人	5	4	2	1	0	1	0	4	0	0	0	0		
	100.0	80.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
100人以上	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		

◎ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

#### 自由意見

他の事業所のケアマネさんとの交流の機会がない。以前あったケアマネ協議会のように、同じ地域で働くケアマネジャー同志で情報交換や交流の機会があればよい。

当業界は他業界に比べて生産性の低い業界と思います。サービス提供事業者としての要望は報告事項等の届出を極力効率化してもらい、経営の改善に対して支援をお願いしたいと思います。

いつも大変お世話になっております。これからもよろしくお願い致します。

いつも運営協議会に参加して頂き感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。

時代の流れですが、様々な場面でオンライン化が進んでおり、高齢者が困惑することも増えている。デジタルとアナログのバランスが大切と思います。相談援助の質が低下しないよう努めたいものです。

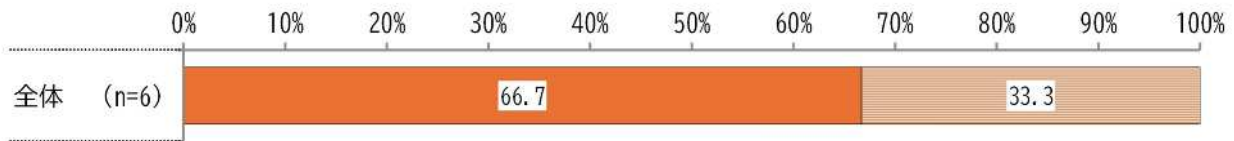
## VI 介護人材実態調査

### 1 事業所票（訪問系／施設・通所系）

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

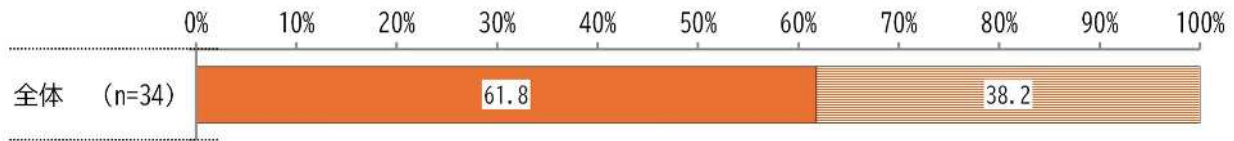
#### 【訪問系】

- 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



#### 【施設・通所系】

- 施設・居住系サービス
- 通所系サービス

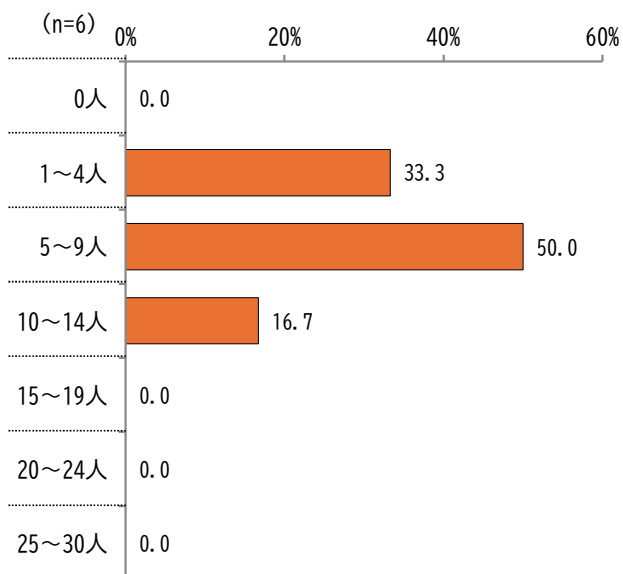


貴事業所(問1で○をつけたサービス種別の事業所)に所属する介護職員について、お伺いします。

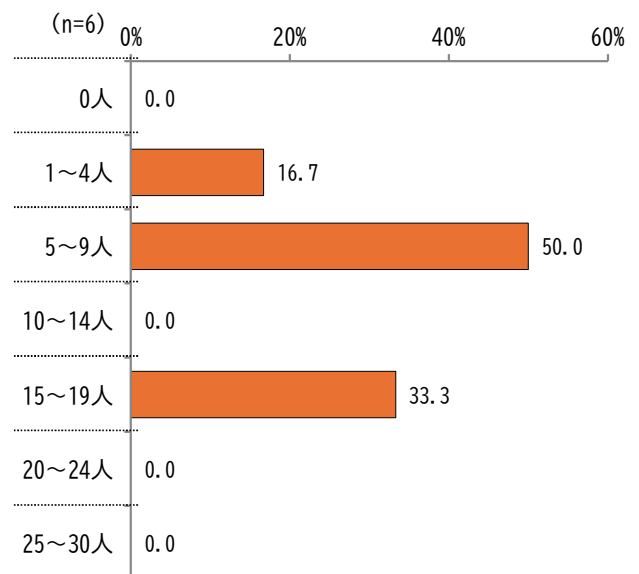
問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

#### 【訪問系】

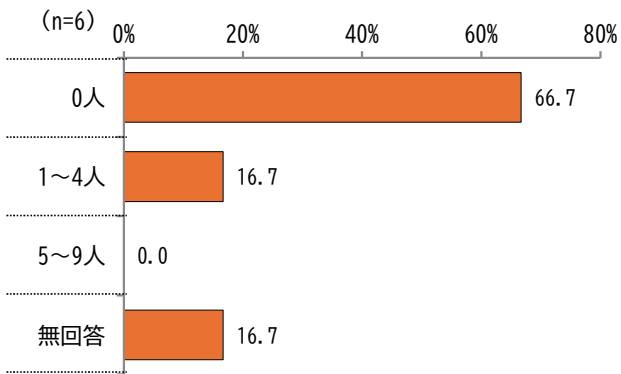
##### 常勤職員



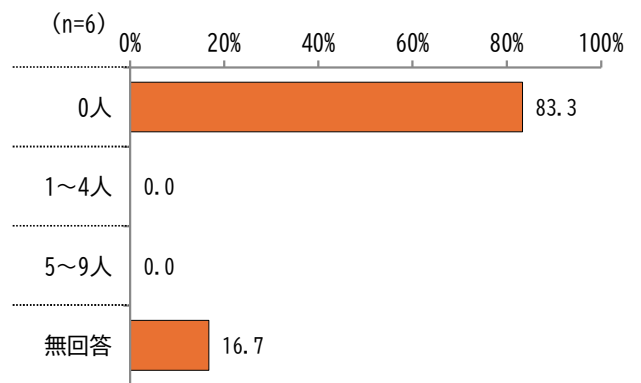
##### 非常勤職員



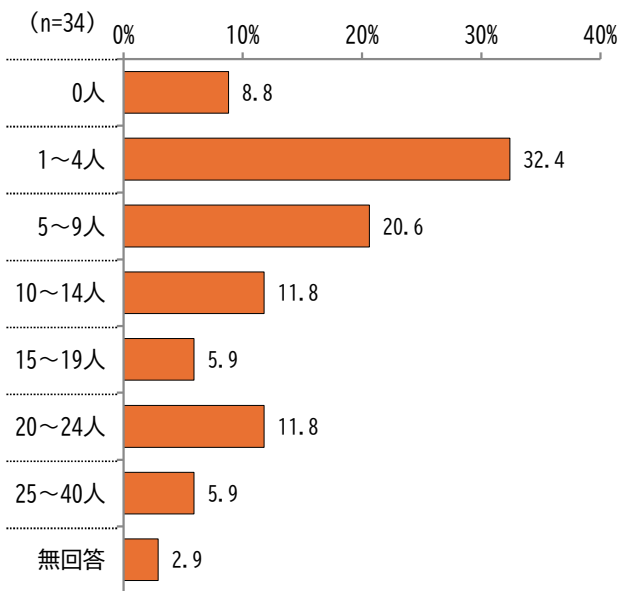
外国人職員



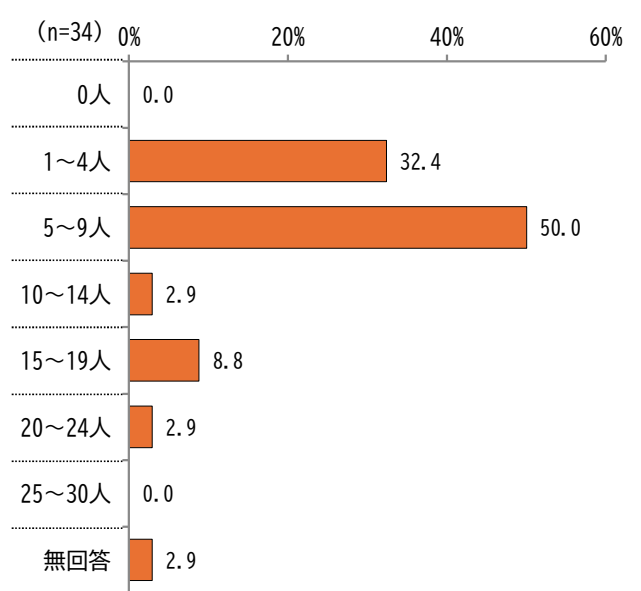
派遣職員



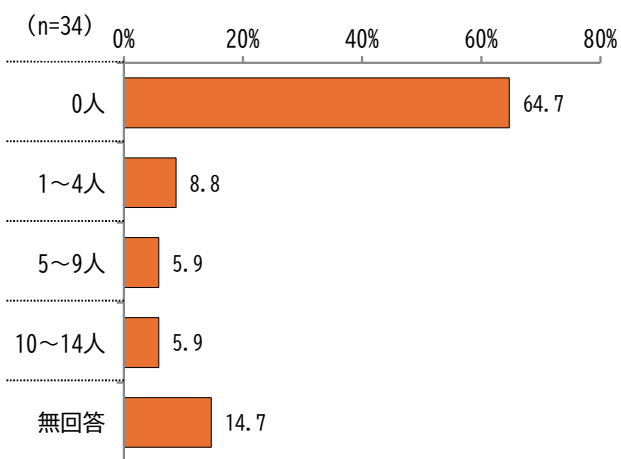
【施設・通所系】  
常勤職員



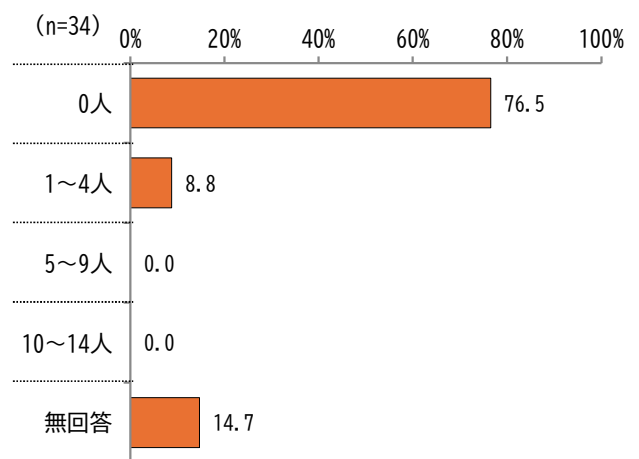
非常勤職員



外国人職員



派遣職員



問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つ選択)

【訪問系】



【施設・通所系】



令和7年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

問2-3 過去1年間(令和6年10月1日~令和7年9月30日)の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。(数値を記入)

採用者数

		回答事業者数(件)	採用者合計(人)	採用者の人数別割合 (%)			
				0人	1~4人	5~9人	無回答
常勤職員	訪問系	6	2	66.7	33.3	0.0	0.0
	施設系	20	25	35.0	60.0	0.0	5.0
	通所系	12	0	91.7	0.0	0.0	8.3
非常勤職員	訪問系	6	8	33.3	66.7	0.0	0.0
	施設系	20	22	25.0	65.0	5.0	5.0
	通所系	12	8	33.3	58.3	0.0	8.3

離職者数

		回答事業者数 (件)	採用者合計 (人)	離職者の人数別割合 (%)			
				0 人	1 ～ 4 人	5 ～ 9 人	無 回 答
常勤職員	訪問系	6	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	施設系	20	12	55.0	40.0	0.0	5.0
	通所系	12	3	83.3	16.7	0.0	0.0
非常勤職員	訪問系	6	13	33.3	50.0	16.7	0.0
	施設系	20	23	35.0	60.0	0.0	5.0
	通所系	12	7	66.7	33.3	0.0	0.0

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。(自由記述)

※いただいたご意見を集約し、一部抜粋して掲載しています。文意を変えない程度に表現を修正している場合があります。

【訪問系】

訪問系の自由記述は以下の5件となっています。

自由回答
派遣、紹介を利用した求人活動を増やすことが増えた。
事業所の特性上、送迎や訪問など車を運転する機会が多いため、運転技術になかったり、運転自体が好きではなかったりする人には難しい環境である。そのため、介護技術はあっても送迎があるから小多機で働くことを敬遠される方もみえる。送迎専用のドライバーを検討しても訪問→送迎の流れで行っているためそれも難しい状況である。
介護職は募集をかけても応募が少ない印象がある。 給与の差もしくは全体的に応募者が少ないため、採用まで至らないケースが多い。
若年者の応募が少ない。経験者が少ない。
介護職としての訪問介護を理解している人が少ない。知っていてもイメージが良くないと感じる。現在の初任者研修は現場実習がないので(昔のヘルパー2級は現場実習有)イメージがつかないのか、施設や通所への就職希望は多いが訪問介護はハードルが高くなっている。 1対1のケアであるため、個別ケアの良さを感じる時がない。かえって一人で訪問することの怖さがあり就職を希望する方が少ない。研修段階で実習があるとよい。

【施設・通所系】

施設・通所系の自由記述は「求人について」が18件、「人材の見直し」が4件、「職員の高齢化」が2件、「コミュニケーション」が1件となっています。

内容	自由回答	件数
求人について	募集をしても応募が直ぐに来ない。	5
	派遣、紹介を利用した求人活動をする場面増えている。	5
	賃金・賞与など金銭的な条件が転職に繋がる。	4
	求人に対する応募者数が少なく、また採用に至るまでが難しい	2
	離職者は2年以上いないが、今後、離職する職員がいるかもしれない、求人を出した時に新たに応募があるか不透明である。	1
	必要時に募集して採用する事が出来ない。	1
	採用に関しては応募が少なく難しい。地域の人材不足そのものが課題と感じる。	1
	現在種々の無料・有料求人情報及び手段があるが、そのどれもが有効な方法で無い場合がほとんどである	1
	求人を出してもなかなか、応募がない状態が継続しているため、新規採用に至っていない。	1
	介護職員が必要な時に募集し、採用する事が出来ない。	1
面接日程の調整で手間取ること多く、せっかく調整しても面接に来ないこともある。	1	
人材の見直し	人材派遣や外国人採用ができるか見当が必要である。また、職員の高齢化も進んでいるため、若手の採用を行うなどの職員の循環が必要となる。	4

内容	自由回答	件数
職員の 高齢化	現在は良い職員に恵まれており問題ないが、職員の平均年齢が高く今後年齢的に一気に退職してしまうのではないかと不安がある。	1
	現在のところは、定着して70代の高齢の職員も働いてもらっています。	1
その他	人材定着に関しては職員の交流や教育支援の場があると良いと思う。	1

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

※いただいたご意見を集約し、一部抜粋して掲載しています。文意を変えない程度に表現を修正している場合があります。

【訪問系】

訪問系の自由記述は以下の4件となっています。

自由回答
介護福祉士を目指す外国人材の為の居住支援。
一次的なものではなく継続的な補助金を出していただきたい。 ケアマネジャーも現実的に不足しているが、ケアマネジャーへの手当がないため人が集まらないのでこちら補助金が出るとよい。
人材紹介
人材確保は苦戦している。紹介も利用するが繋がらない。その前に訪問介護事業所の連携、情報を共有することや今後ますます高齢者が増え人材が不足する。協力して何かができること、解決できることがあるかもしれない。訪問介護事業所の連携会議などを希望する。

【施設・通所系】

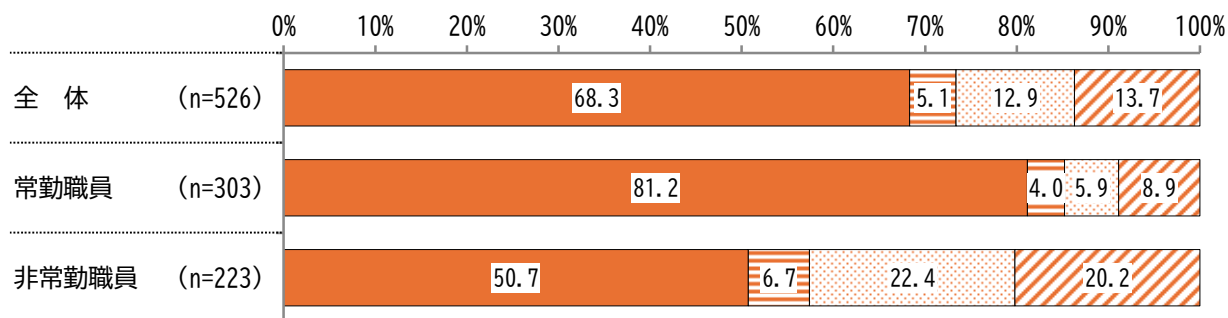
施設・通所系の自由記述は「人材紹介」が5件、「地域の人材確保」が4件、「希望する人とのマッチング」が4件、「外国人支援」が2件などとなっています。

内容	自由回答	件数
人材紹介サポート	介護に興味がある方を紹介していただけるような、サポートがあればありがたいです。	5
地域の 人材確保	地域住民と事業所のマッチングをするなど、紹介・派遣会社を介さず人材確保ができるようサポートがあればと思います。	4
希望する 人とのマ ッチング	職員を採用するにあたり、受け身の採用方法しかないため、介護保険事業所と採用を希望する職種の人(介護・看護)や介護現場でボランティアしたい人とのマッチングができるサービスがあると人材確保が行いやすくなると思います。	4
外国人 支援	介護福祉士を目指す外国人の為の居住支援。	2
その他	有償人材確保のガイドラインを法制化し、それに従い有償無償の現在蔓延っている高コスト人材紹介会社が正当な価格で人材紹介を出来る様に整備・監視して貰いたい	1
	職場体験をすすめていただけるとよいです。	1
わから ない	市町村が人材確保に関してどんなサポートしてくださるのかイメージがわからないため、分かりません。	1
	分かりません。	1
特になし	特になし	2

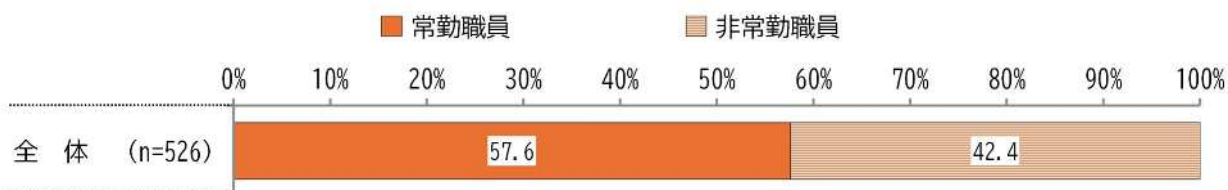
問5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

(1)資格の取得、研修の修了の状況（1つに○）

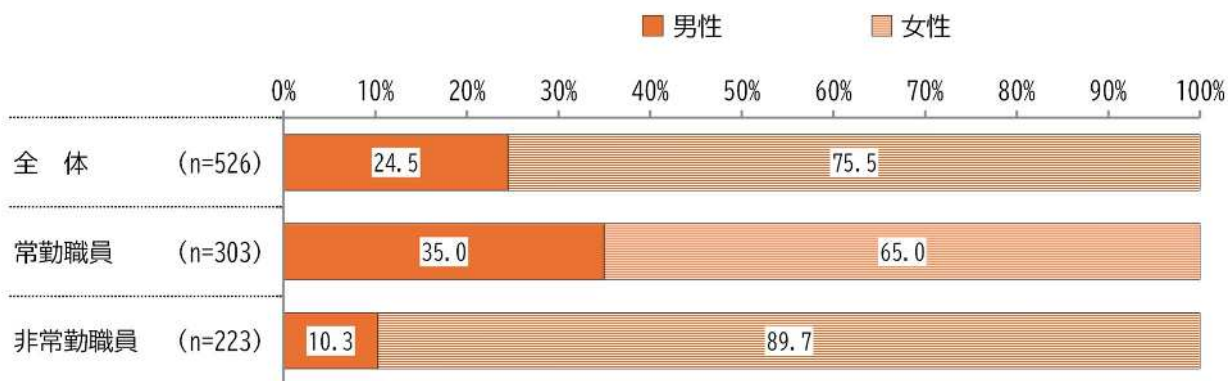
- 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
- ▨ 介護福祉士実務者研修修了 または（旧）介護職員基礎研修修了 または（旧）ヘルパー1級
- ▩ 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
- ▧ 上記のいずれも該当しない



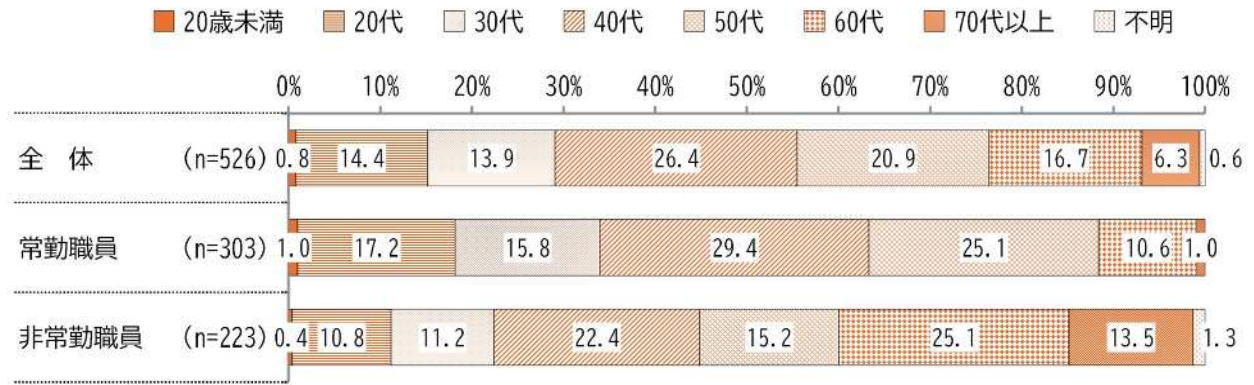
(2)雇用形態（1つに○）



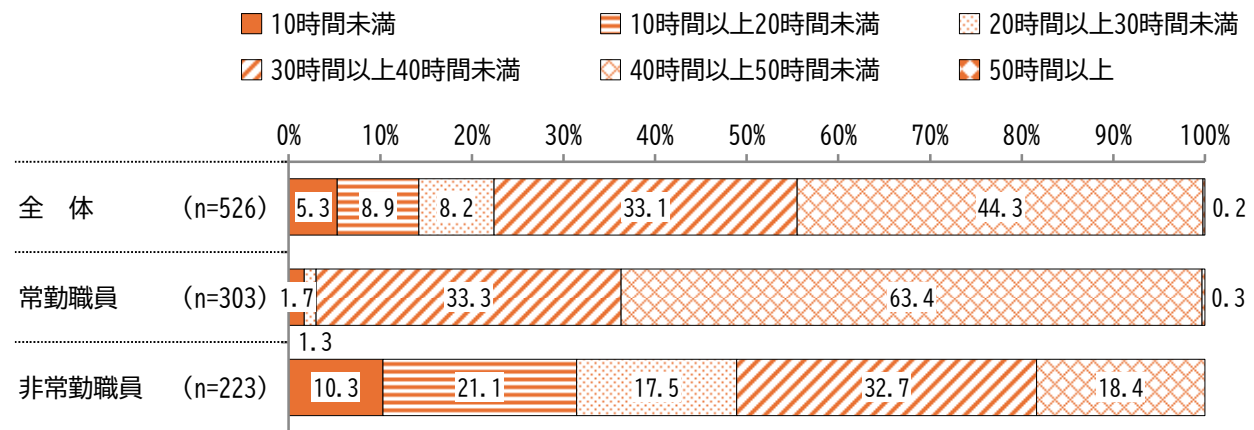
(3)性別（1つに○）



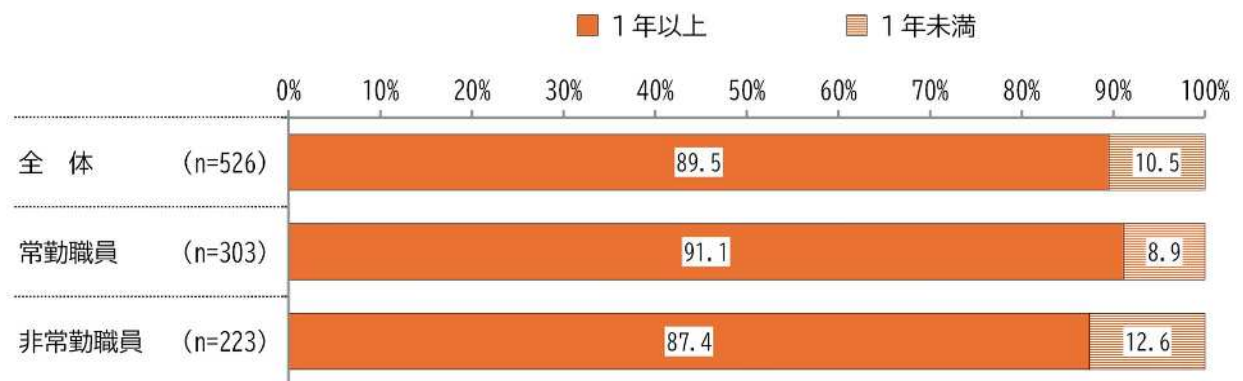
(4)年齢（1つに○）



(5)過去1週間の勤務時間（数値を記入）



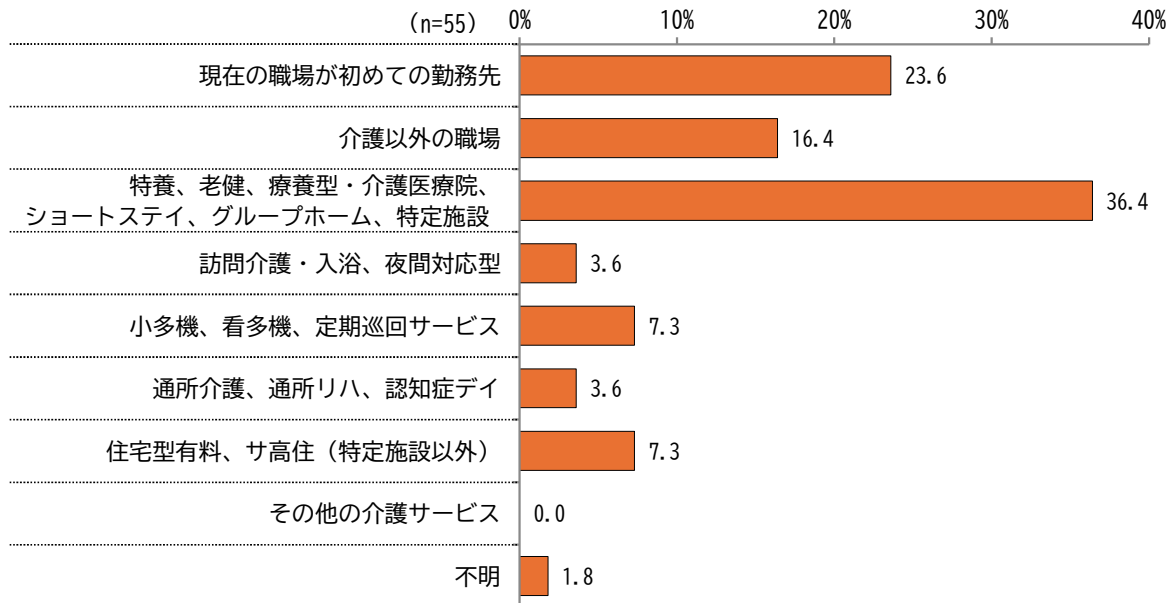
(6)現在の施設等での勤務年数（1つに○）



(6)で「1年未満」と回答した方

(7)現在の施設等に勤務する直前の職場（1つに○）

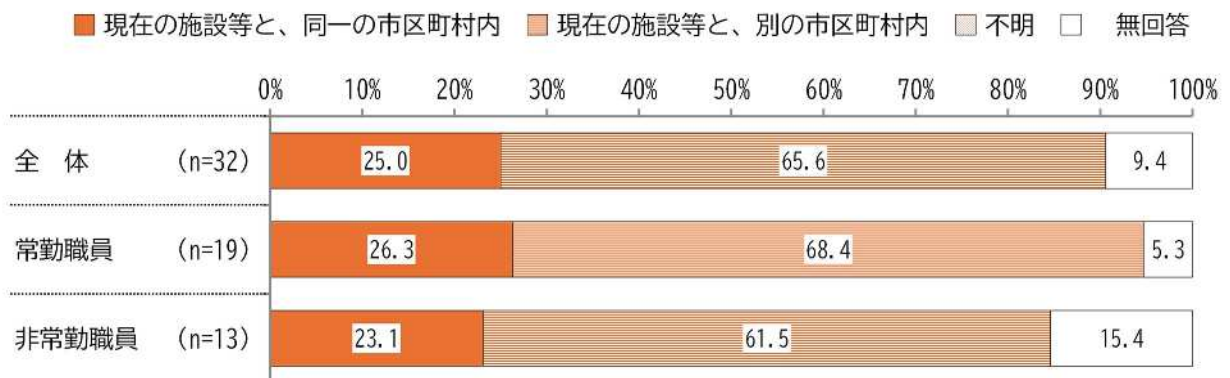
※地域密着型を含む



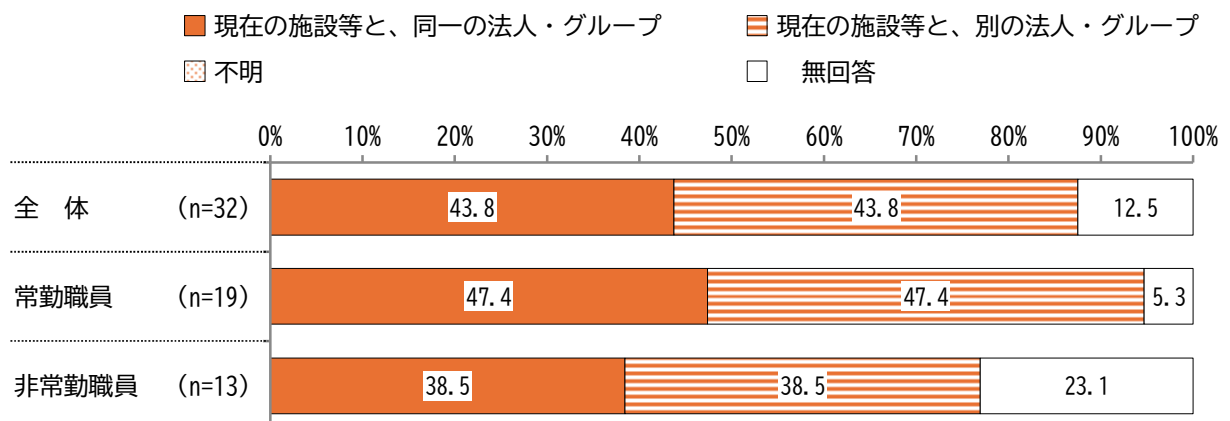
(7)で「特養～サ高住(特定施設以外)、その他の介護サービス」と回答した方

(8)直前の職場について（1つに○）

① 市区町村



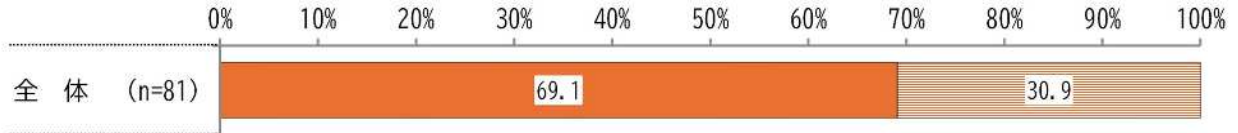
② 法人グループ



## 2 職員票（訪問系）

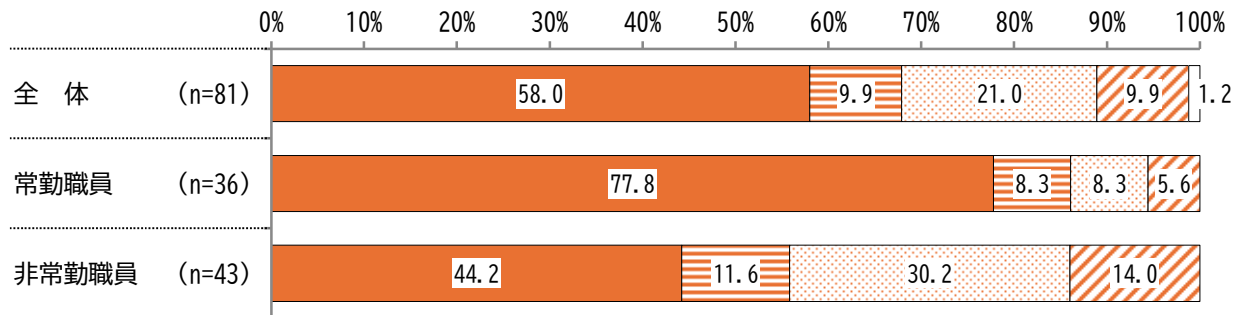
問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

- 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



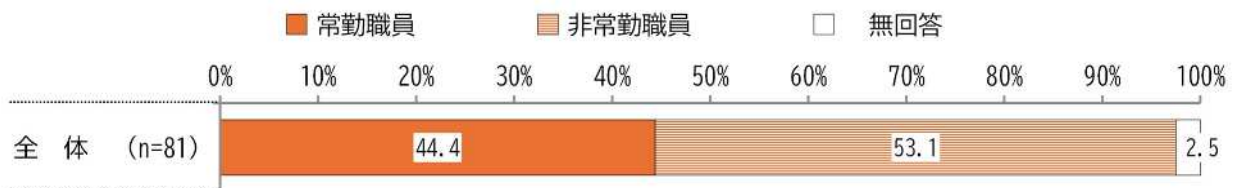
問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

- 介護福祉士（認定介護福祉士を含む）
- 介護福祉士実務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
- 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
- 「介護福祉士」～「介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級」のいずれにも該当しない
- 無回答

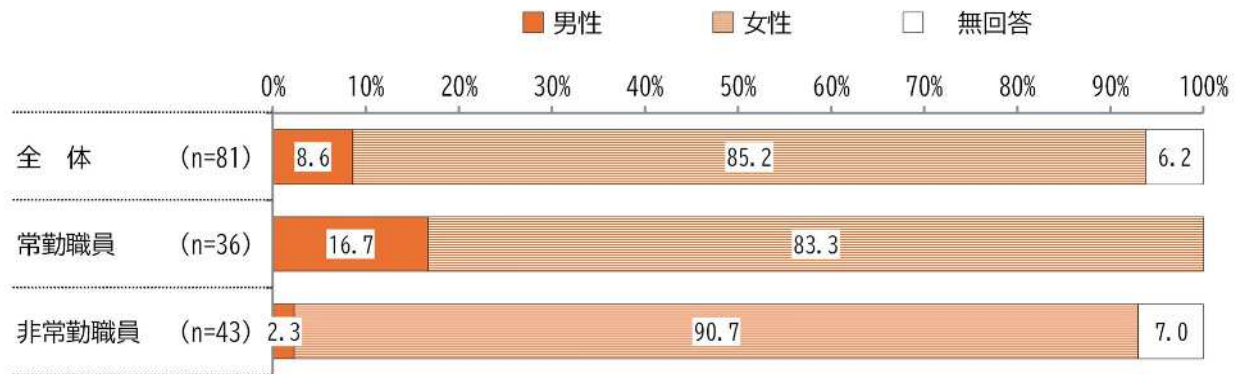


問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

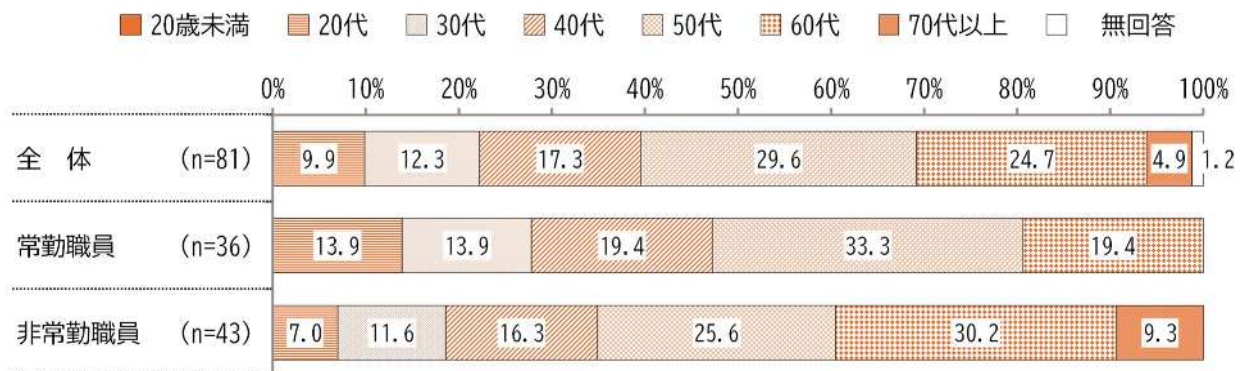
1) 雇用形態（1つに○）



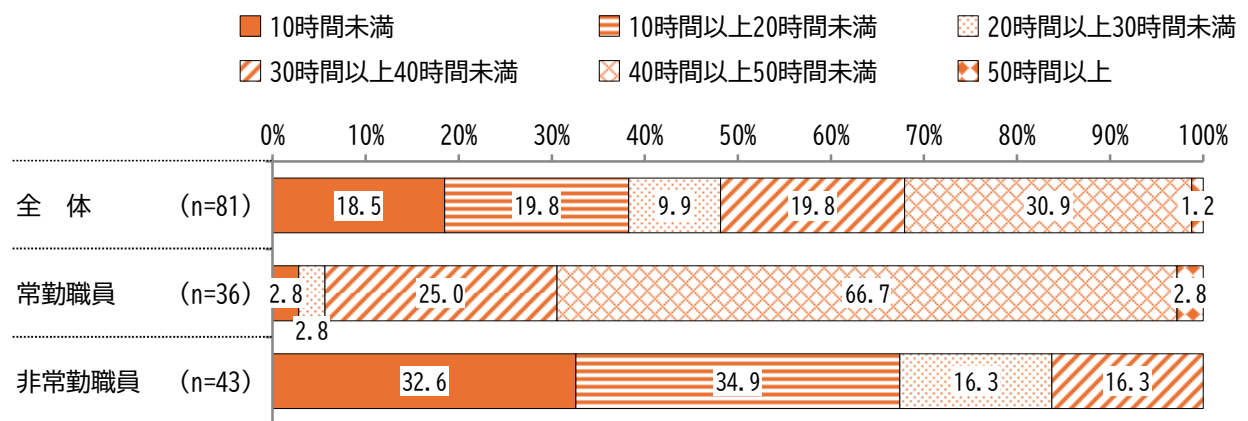
## 2) 性別 (1つに○)



## 3) 年齢 (1つに○)



## 4) 過去1週間の勤務時間 (数値を記入) ※問1で回答した勤務先における時間

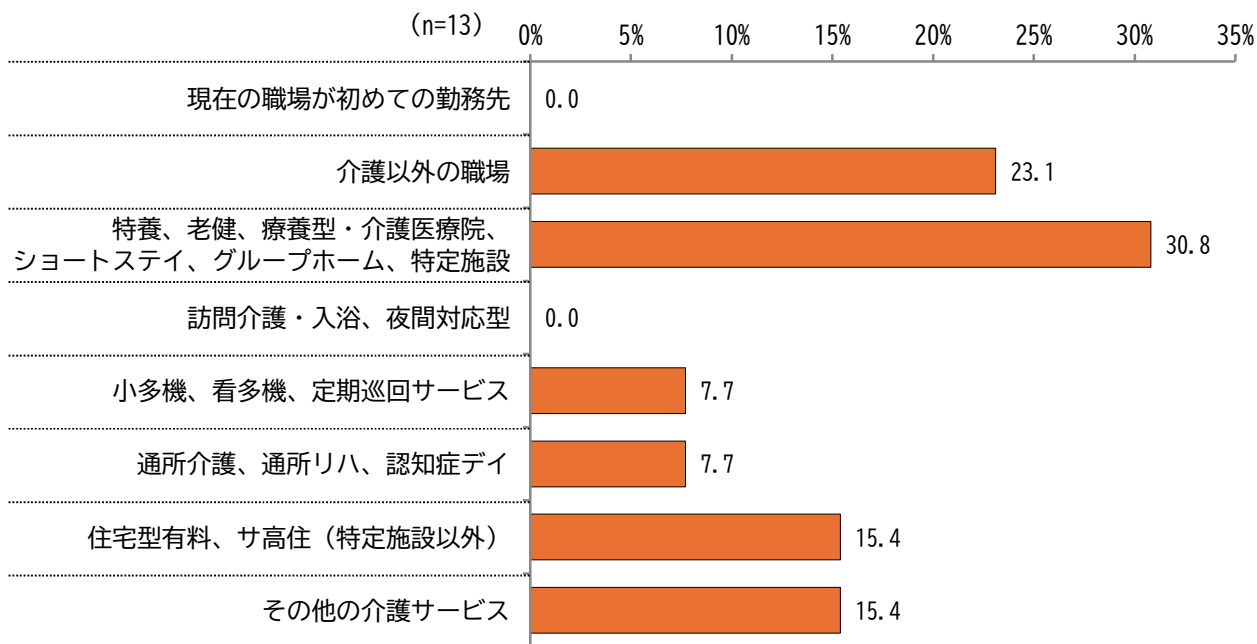


## 5) 現在の事業所での勤務年数 (1つに○)



問3の5)で「1年未満」と回答された方

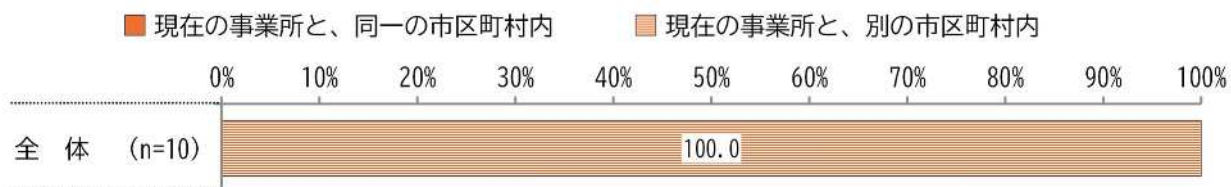
問4 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。



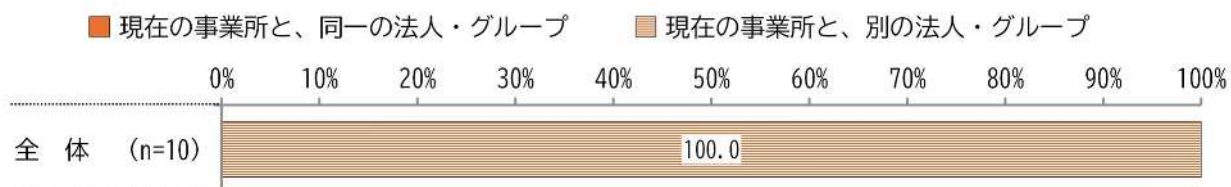
問4で「3.」～「8.」と回答された方

問5 ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）

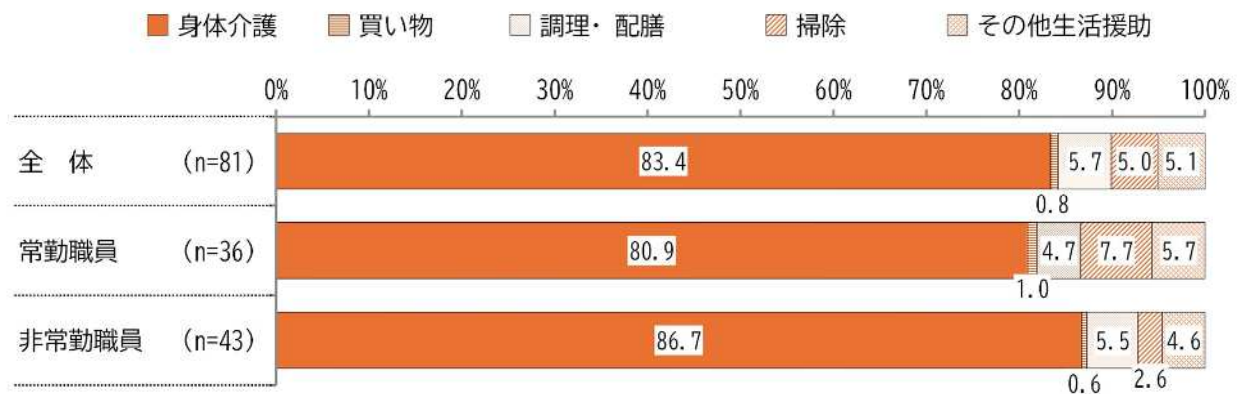


2) 法人（1つに○）

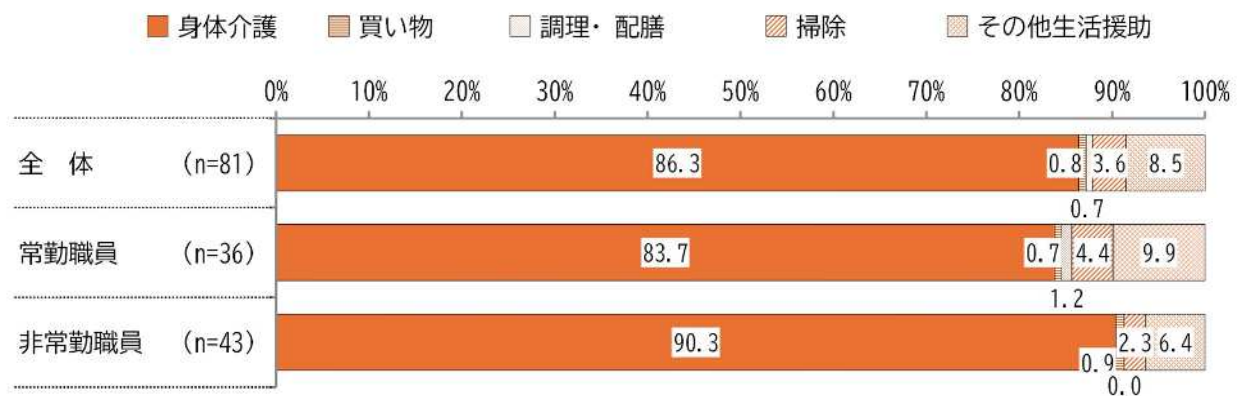


問3「4）過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

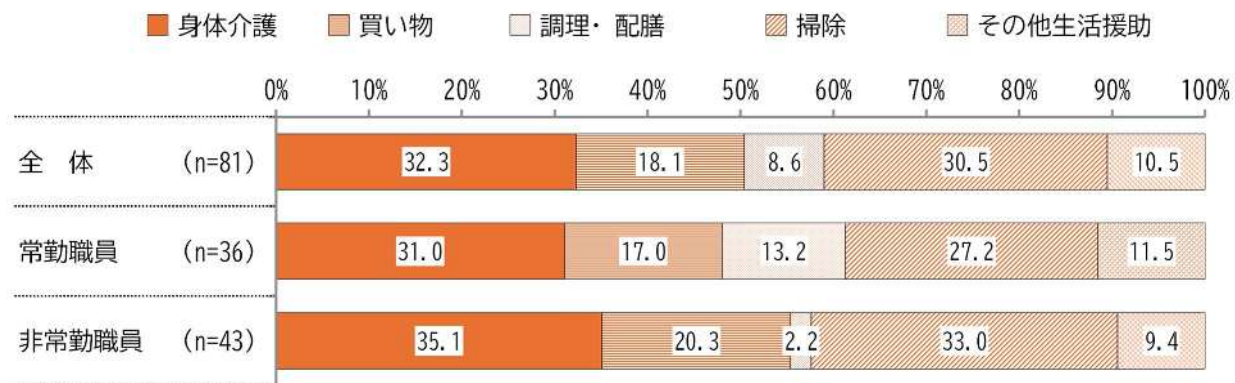
### 介護給付（平日）



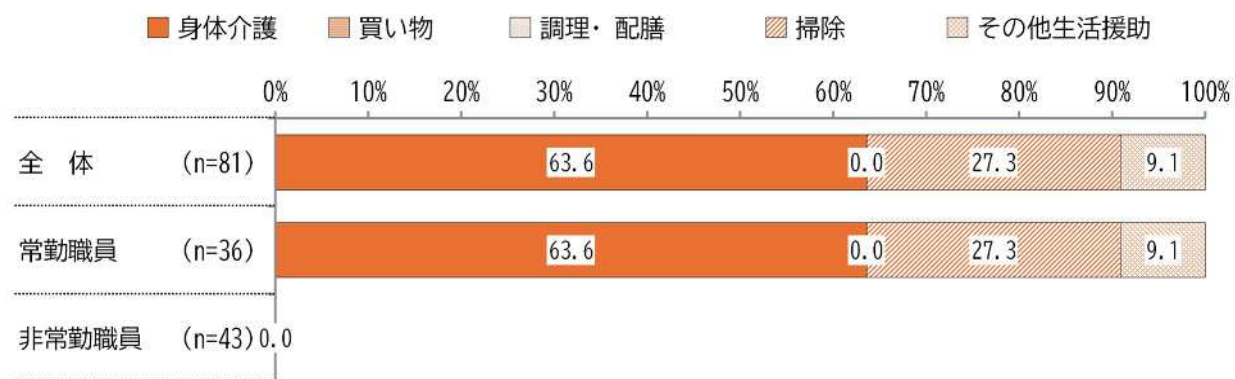
### 介護給付（土日）



### 介護予防給付・総合事業（平日）



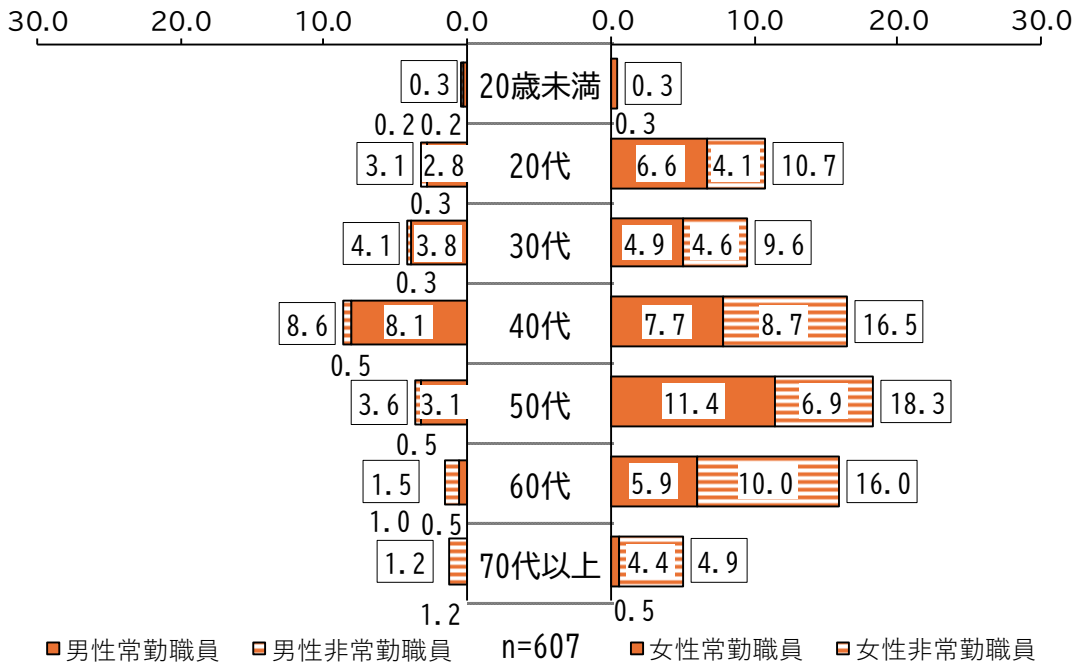
### 介護予防給付・総合事業（土日）



### 3 介護職員数

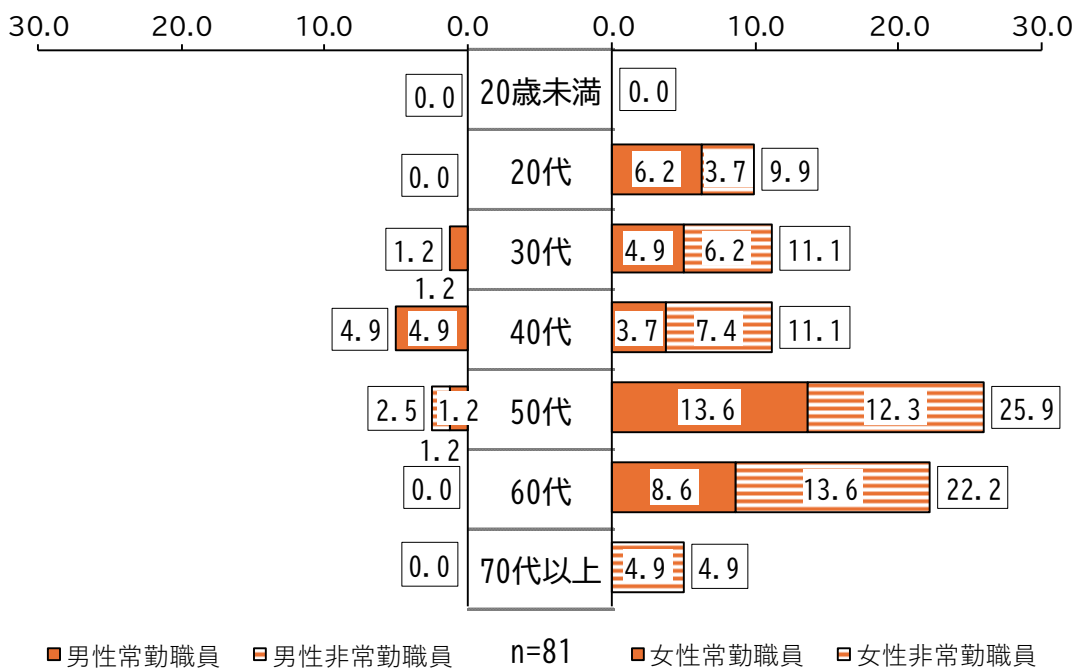
事業所票（施設・通所系）問5と職員票（訪問系）問3から職員の雇用形態を集計しました。

#### 1) 性別・年齢別の雇用形態（全サービス）

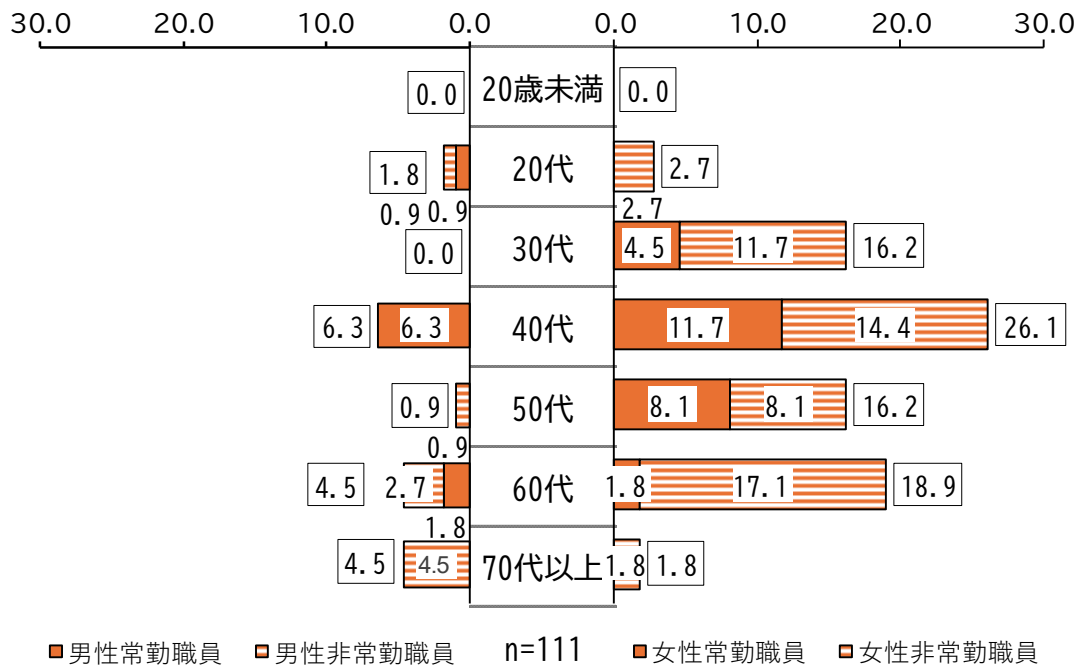


※白抜き四角の数字は常勤職員と非常勤職員の合計です。

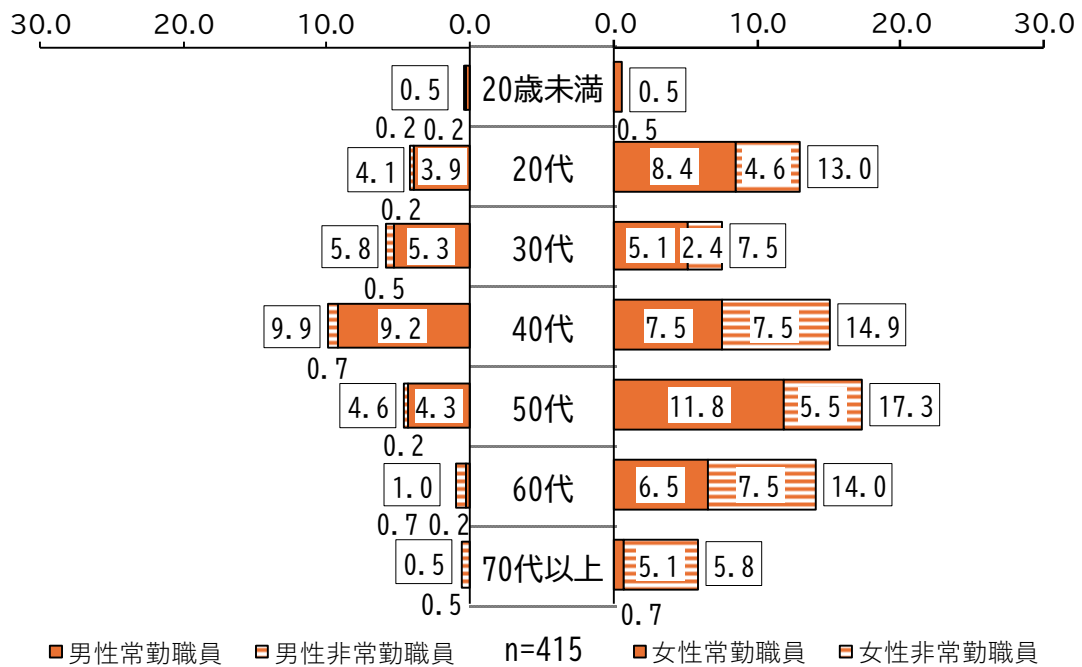
#### 2) 性別・年齢別の雇用形態（訪問系）



### 3) 性別・年齢別の雇用形態（通所系）



### 4) 性別・年齢別の雇用形態（施設・居住系）



事業所票（施設・通所系）・（訪問系）の間2-1と問2-3から介護職員数の変化を集計しました。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数			採用者数			離職者数			昨年比		
	常勤 職員	非常勤 職員	小計	常勤 職員	非常勤 職員	小計	常勤 職員	非常勤 職員	小計	常勤 職員	非常勤 職員	小計
全サービス系統 (n=40)	347人	280人	627人	27人	38人	65人	19人	43人	62人	102.4%	98.2%	100.5%
訪問系 (n=6)	35人	54人	89人	2人	8人	10人	4人	13人	17人	94.6%	91.5%	92.7%
通所系 (n=13)	44人	68人	112人	0人	8人	8人	3人	7人	10人	93.6%	101.5%	98.2%
施設・居住系 (n=21)	268人	158人	426人	25人	22人	47人	12人	23人	35人	105.1%	99.4%	102.9%

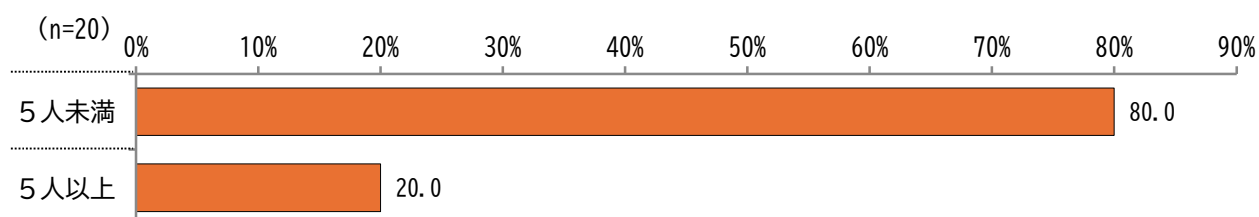
## Ⅶ 在宅生活改善調査

### 1 事業所票

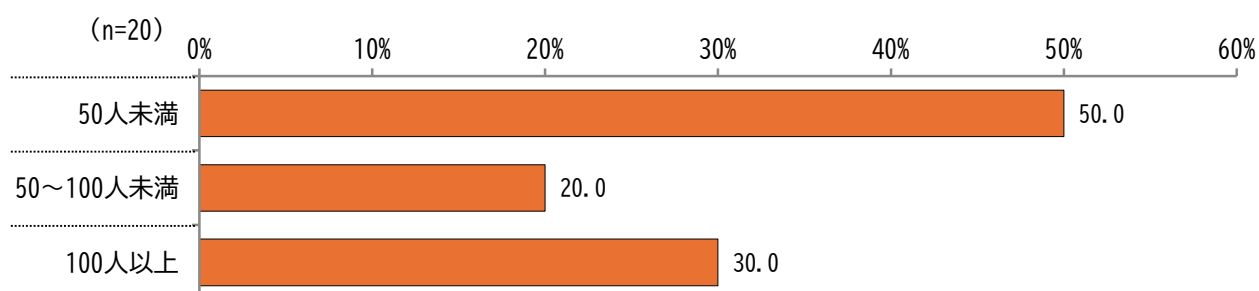
令和7年10月1日現在の状況について、

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。(数値を記入)

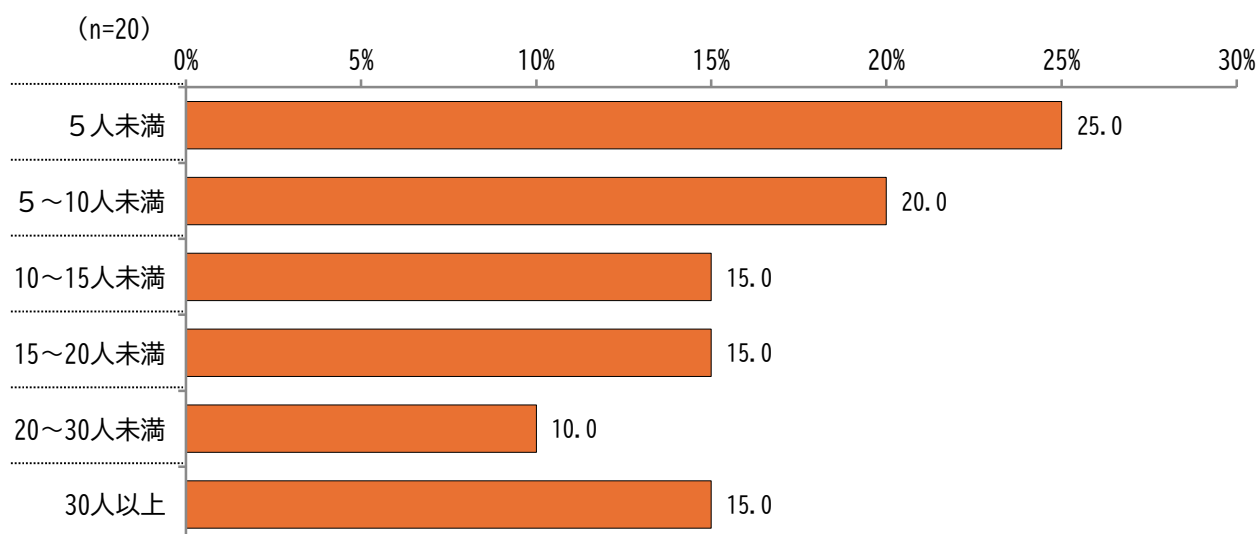
所属するケアマネジャーの人数



「自宅等（「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」）を除く）」にお住まいの利用者数



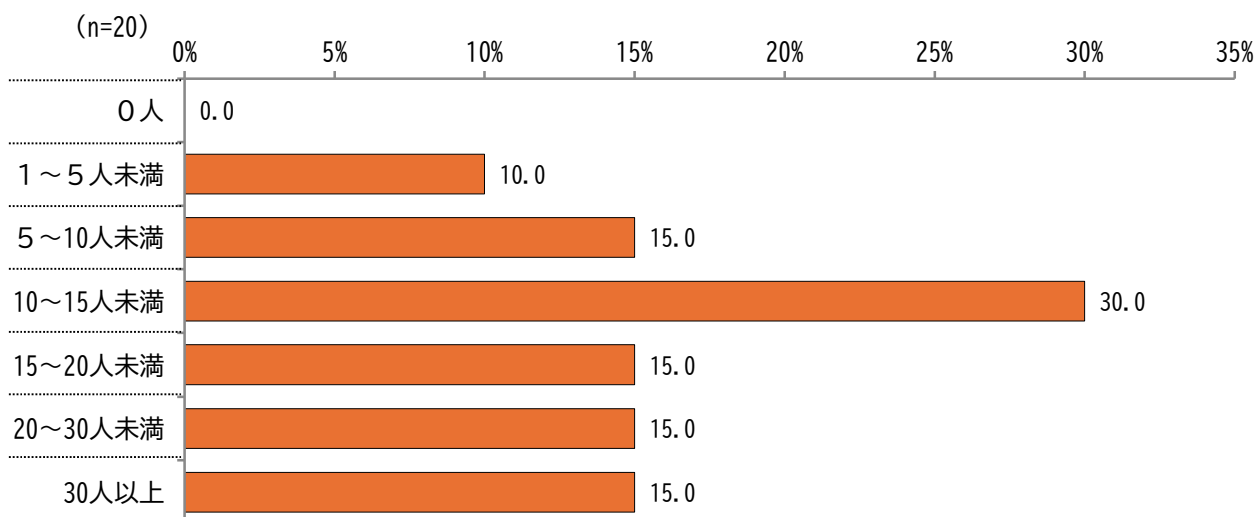
「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数



貴事業所において、過去1年の間(令和6年10月1日～令和7年9月30日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

① 自宅等から、居場所を変更した利用者



② 要介護度別の人数

	要介護度別の利用者数								自宅等での死	合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
人数	8	23	15	39	35	47	20	1	127	315
(%)	2.5	7.3	4.8	12.4	11.1	14.9	6.3	0.3	40.3	100.0

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。  
（数値を記入）

居所変更先別の人数

	兄弟・子ども・親戚等の家	住宅型有料老人ホーム	設 除 く 軽 費 老 人 ホ ー ム （ 特 定 施 ）	サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 （ 特 定 施 設 除 く ）	グ ル ー プ ホ ー ム	特 定 施 設	地 域 密 着 型 特 定 施 設	介 護 老 人 保 健 施 設	介 護 医 療 院	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	ホ ー ム 地 域 密 着 型 特 別 養 護 老 人	病 院 ・ 診 療 所 ※ 一 時 的 な 入 院 を 除 く	そ の 他	行 先 を 把 握 し て い な い	※ 自 宅 等 で の 死 亡 ※ 搬 送 先 で の 死 亡 を 含 む	合 計
市（区町村）内	0	31	0	11	6	1	1	34	1	25	1	5	2			
市（区町村）外	5	21	2	8	0	0	0	14	0	6	0	11	3	0	127	315
合計	5	52	2	19	6	1	1	48	1	31	1	16	5	0	127	315
(%)	1.6	16.5	0.6	6.0	1.9	0.3	0.3	15.2	0.3	9.8	0.3	5.1	1.6	0.0	40.3	100.0

問4 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

在宅生活の維持が難しくなるケースは、「独居生活困難」が10件、「認知症の進行」が9件、「医療的ケア増」が7件などとなっています。

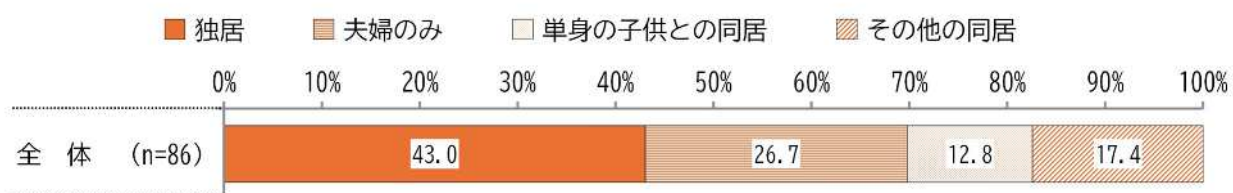
内容	自由回答
独居生活困難 (10)	独居又は日中独居の方のADLが低下し、自力移動が困難になり、介護が必要になった場合。
	独居生活が困難になる場合や高齢者世帯で認知機能の悪化で常に身体介護が必要となる場合（移動や排泄など自分でコントロール不可）。
	独居や高齢者世帯で親族が遠距離な場合。
	独居の方で認知症の症状が進行した場合。
	独居の方でガン末期になった場合。
	独居で常時介護が必要となるが、家族が全く介護に関われないケースは在宅生活の維持が難しくなることが多いです。
	独居で経済的に厳しい方は、サービスが増やせず、在宅生活も施設入所も難しい。
	家族が仕事等による不在で一人での生活が危険な場合。
	一人暮らしに対する本人の不安が強いケース。 一人暮らしでは騙されることが多かったため。
認知症の進行 (9)	認知症の進行により外出して戻って来られない。また、地域へ出られ他者や商店でのトラブル。
	認知症の進行がみられ徘徊等で命の危険がある場合など。
	認知症の進行。
	認知症のBPSDにより、昼夜とも介助が必要になった場合。
	認知症が悪化した場合。
	認知症・精神障害等による行動障害の悪化（常時見守りを要する）した場合。
	常に見守りが必要になる。認知症が進行し、夜間も家族の支援が必要になった場合。
骨折や持病の悪化、認知症の進行等で介護負担が増加し、家族による介護が困難になる。 ADLの低下や認知症の進行により家族の介護負担が増大し対応できない場合。	

内容	自由回答
医療的ケア増 (7)	介護量や医療行為が増える。
	医療的なケアが多い場合。
	医療的ケアの増加、ADL低下により在宅での生活が困難になるなどの場合。
	医療依存度が高くなった時。
	医療依存度（重度寝たきり、24時間吸引、経管栄養、中心静脈栄養）の高い方、独居、老々介護の方。
	医療依存度（胃ろう・頻回の痰吸引など）が高くなった場合。
	自宅での看取りが困難な場合。
介護力不足 (3)	老々介護で主介護者が介護できない場合。
	介護力不足。
	介護サービスにつかえるお金が無く、介護力も無い方や支給限度額いっぱい利用してもサービスが足りない方。
転倒・骨折 (3)	転倒骨折で入院し、在宅復帰が困難となった場合。
	転倒が多くなり自宅では生活できなくなった。
	腰部圧迫骨折や大腿骨頸部骨折により、日常的に車いすが必要な生活になった場合。
支援者が不在 (3)	頼れる人が誰もいないケース。
	介護者が病気、就労で自宅にいない時間が多い。
	介護サービス事業者から受け入れ困難の返答があった場合または今後の対応を断られた場合。
排泄介助支援 (2)	排泄場面での支援時間が増えた場合。
	排泄介助が必要になった場合や夜間徘徊が増えてきた場合。

## 2 利用者票

### ① 対象となる利用者の状況等について

#### 問1-1 世帯類型（1つに○）



#### 問1-2 現在の居所（1つに○）



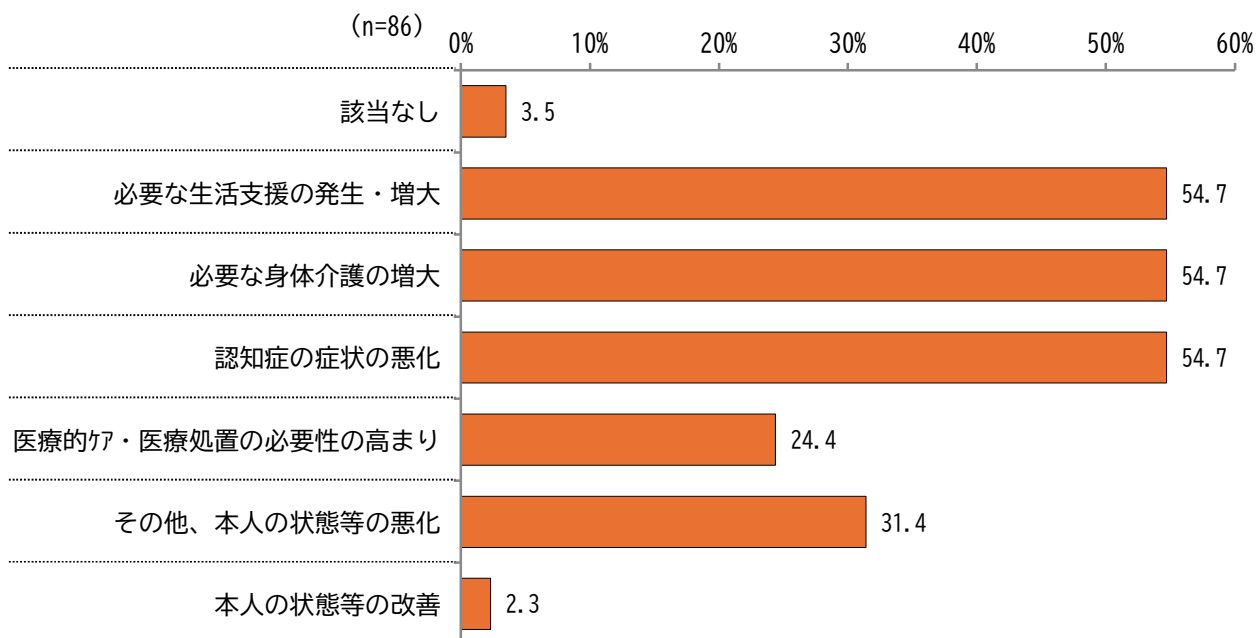
#### 問1-3 要支援・要介護度（1つに○）



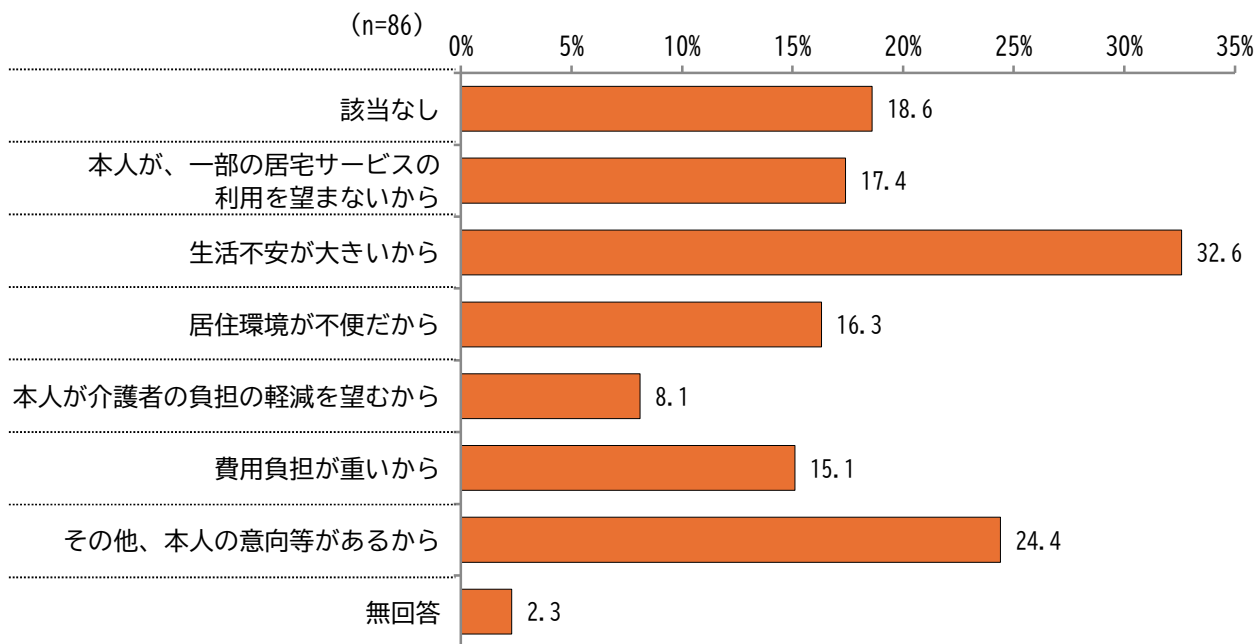
② 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。

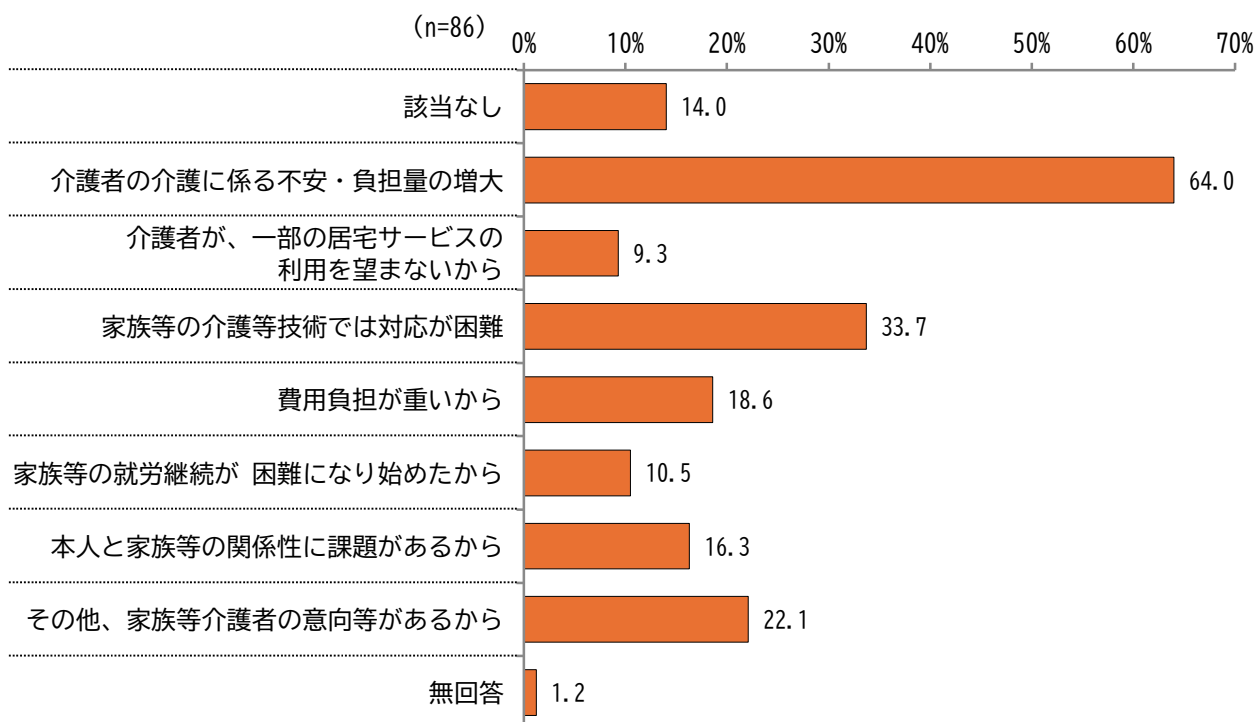
問2-1 本人の状態等に属する理由について（あてはまるものすべてに○）



問2-2 主に本人の意向等に属する理由について（あてはまるものすべてに○）

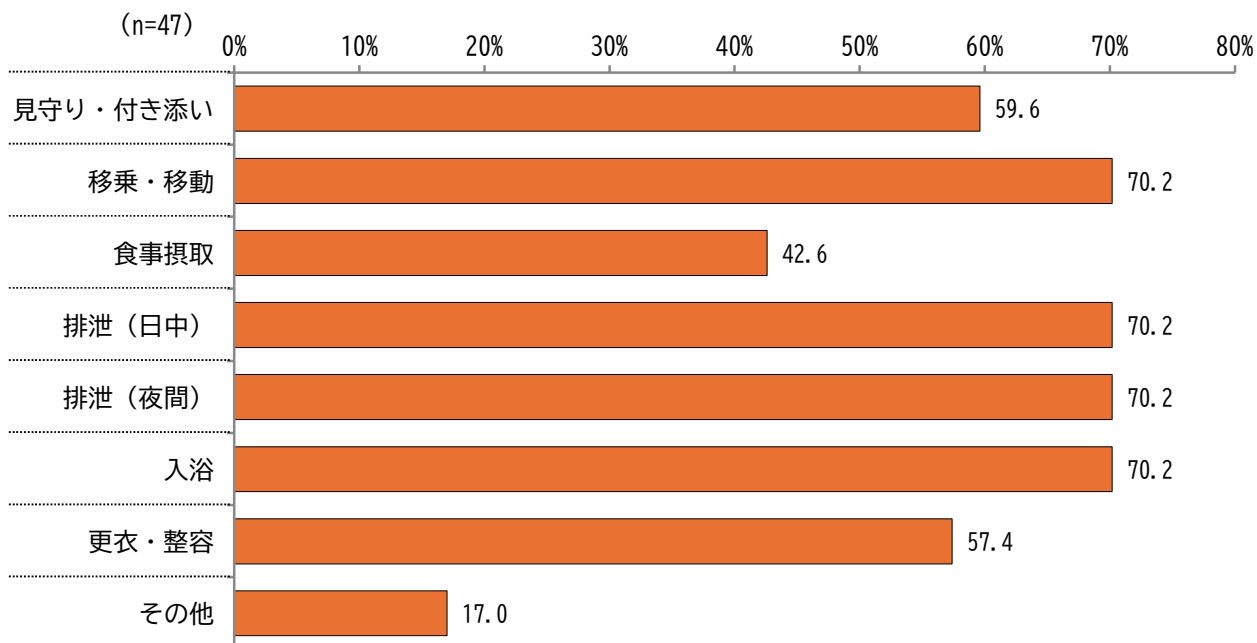


問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について  
(あてはまるものすべてに○)



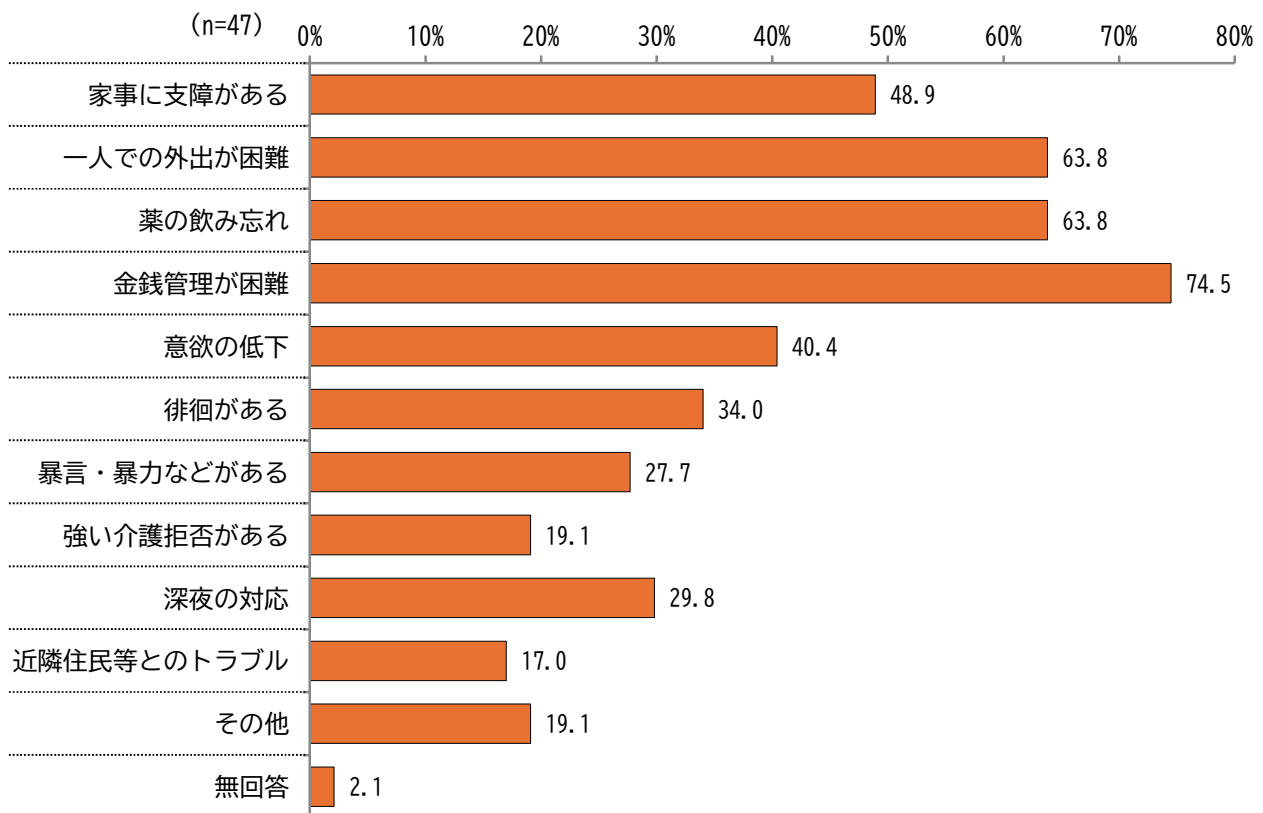
問2-1で「必要な身体介護の増大」と回答した方

問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)



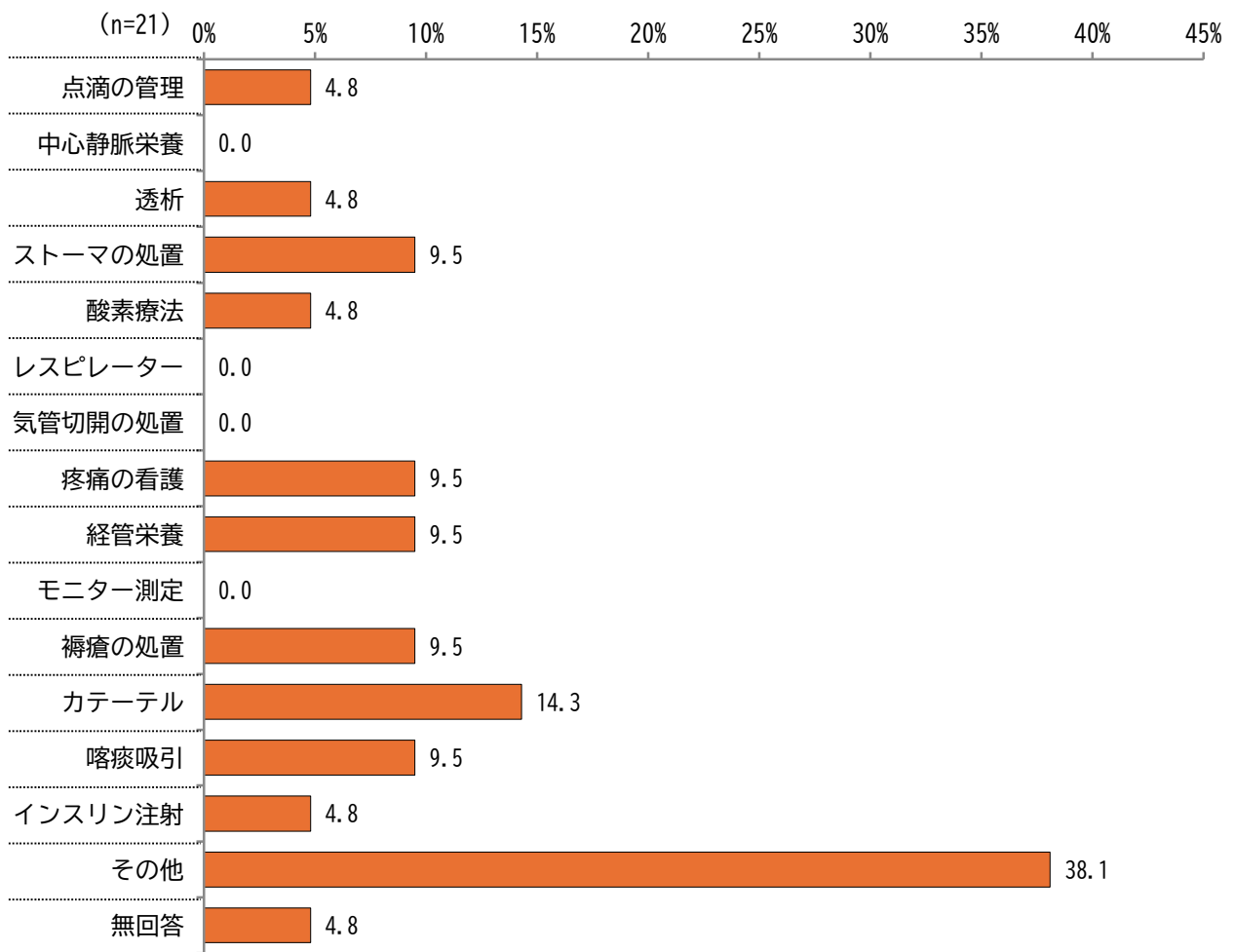
問 2-1 で「認知症の症状の悪化」と回答した方

問 2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)



問 2-1 で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した方

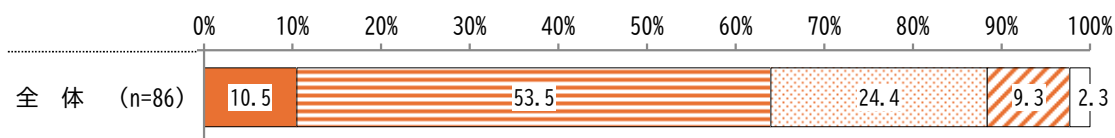
問 2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)



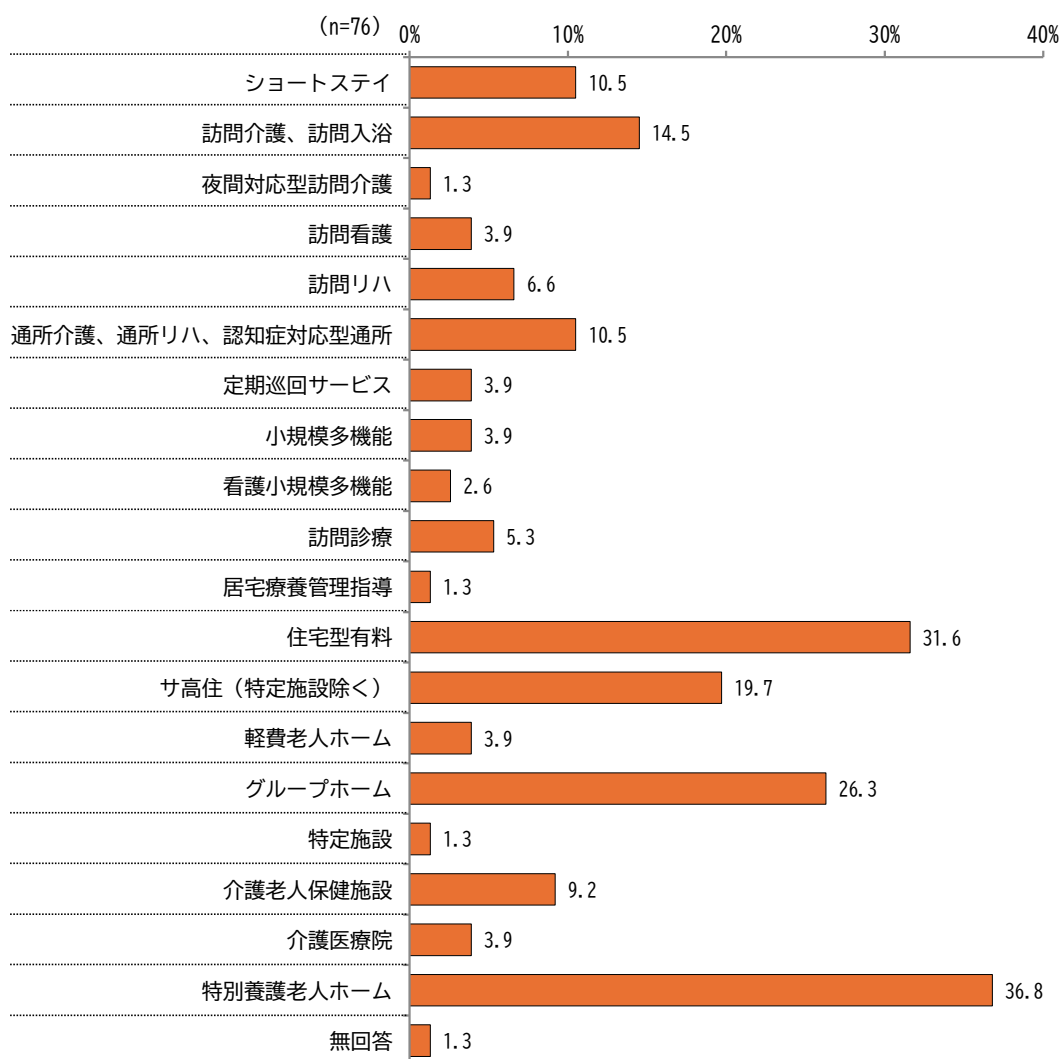
③ 現在の状況を改善するための、サービス利用の変更等について

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。(1つに○)

- より適切な「在宅サービス」に変更する (例：小多機能 等)
- より適切な「住まい・施設等」に変更する (例：サ高住への入居、特養への入所 等)
- より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する (例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等)
- 「より適切な「在宅サービス」に変更する」～「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」では、改善は難しいと思う

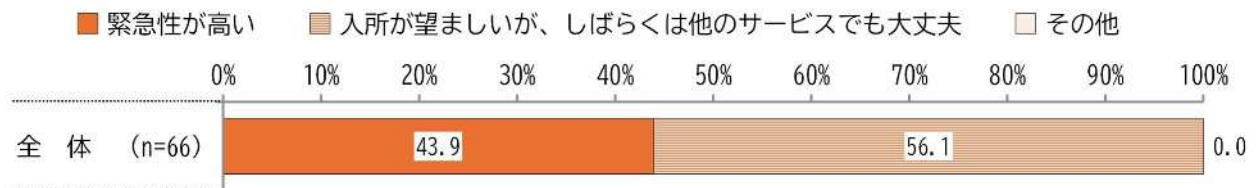


問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



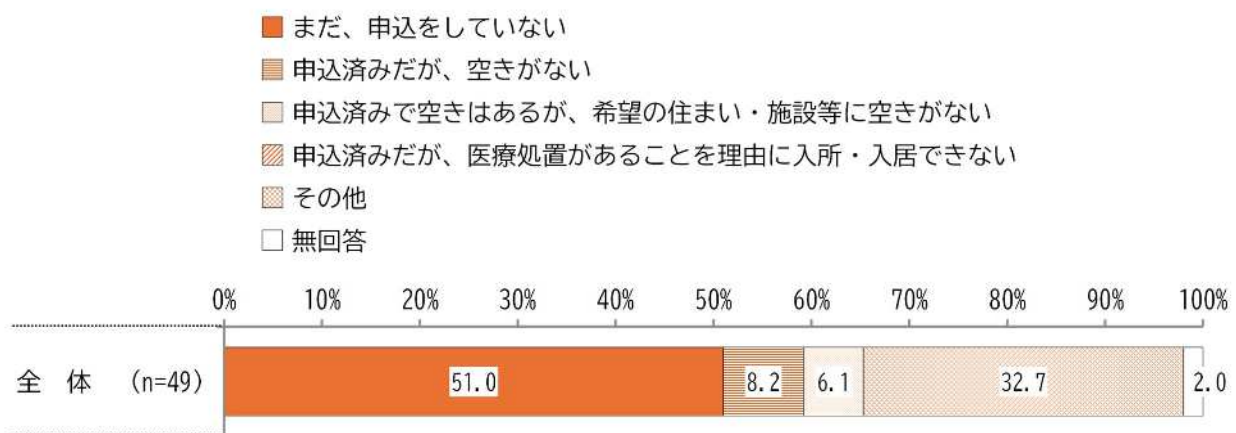
問 3-2 で「住宅型有料」～「特別養護老人ホーム」と回答した方

問 3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください。(1つに○)



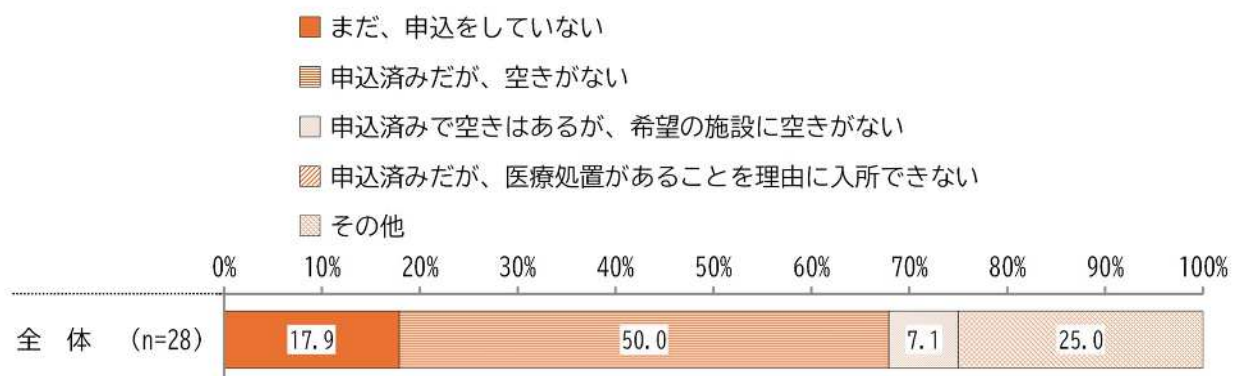
問 3-2 で「住宅型有料」～「介護医療院」と回答した方

問 3-4 入所・入居できていない理由をお答えください。(1つに○)



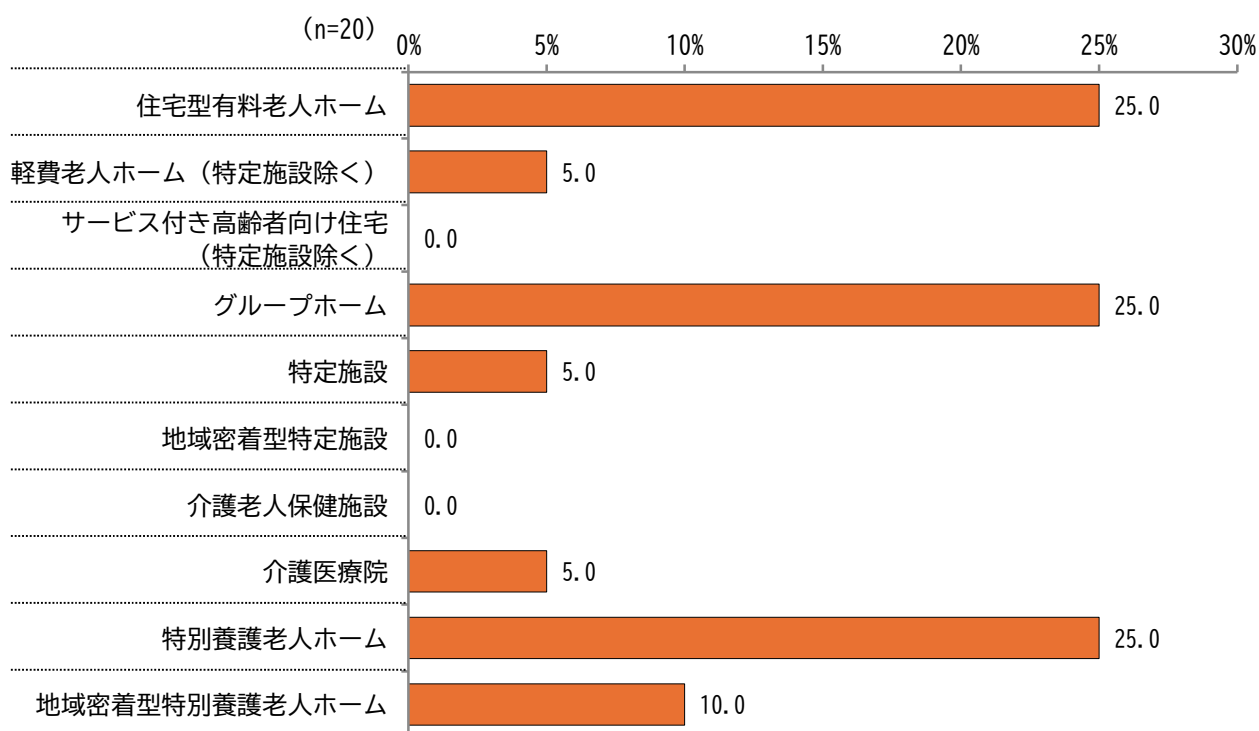
問 3-2 で「特別養護老人ホーム」と回答した方

問 3-5 特養に入所できていない理由をお答えください。(1つに○)



## Ⅷ 居所変更実態調査

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)



問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

	回答施設数 (件)	定員数合計	入所・入居者数 (人)	待機者数合計 (人)	特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数) 合計 (人)
住宅型有料老人ホーム	5	131 室	127	8	0
軽費老人ホーム (特定施設除く)	1	14 室	15	0	0
グループホーム	5	108 人	105	20	3
特定施設	1	30 人	7	0	0
介護医療院	1	12 人	12	0	0
特別養護老人ホーム	5	390 人	378	289	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	36 人	34	181	0
合計	20	721	678	498	3

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。  
(数値を記入)

	回答施設数 (件)	合計 入所・入居者数 (人)	入所・入居者数の要介護度の割合 (%)								申請中・不明
			自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
住宅型有料老人ホーム	5	127	1.6	2.4	3.9	27.6	22.0	11.8	18.1	12.6	0.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	15	66.7	0.0	13.3	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0
グループホーム	5	105	0.0	0.0	0.0	27.6	24.8	21.0	17.1	8.6	1.0
特定施設	1	7	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
介護医療院	1	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	33.3	41.7	0.0
特別養護老人ホーム	5	378	0.0	0.0	0.0	0.5	2.6	32.0	40.5	24.3	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	34	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.9	76.5	14.7	0.0
合計	20	678	1.8	0.4	1.5	10.0	9.7	24.2	33.2	19.0	0.1

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。  
(あてはまる項目全てに○)

	回答施設数 (件)	合計 入所・入居者数 (人)	医療処置が必要な利用者の受け入れが可能な割合 (%)							
			点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護
住宅型有料老人ホーム	5	127	40.0	40.0	60.0	40.0	60.0	20.0	20.0	40.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	5	105	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
特定施設	1	7	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	12	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
特別養護老人ホーム	5	378	20.0	20.0	20.0	80.0	60.0	0.0	20.0	20.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	34	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
合計	20	678	30.0	20.0	20.0	50.0	50.0	5.0	15.0	30.0

	回答施設数 (件)	合計 入所・入居者数 (人)	医療処置が必要な利用者の受け入れが可能な割合 (%)							
			経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射	医療処置に 対応は ない 可能な	無回答
住宅型有料老人ホーム	5	127	40.0	40.0	60.0	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
グループホーム	5	105	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0
特定施設	1	7	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	12	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	5	378	80.0	20.0	100.0	60.0	60.0	80.0	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	34	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
合計	20	678	50.0	20.0	70.0	40.0	50.0	45.0	20.0	5.0

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。  
(数値を記入)

医療処置を受けている入所・入居者は100人となっています。

過去1年間の新規の入所・入居者について

問6 過去1年間(令和6年10月1日~令和7年9月30日)に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。(数値を記入)

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。(数値を記入)

	回答施設数(件)	過去1年間の新規の入所・入居者数合計(人)	入所・入居する前の居場所の割合(%)						
			親戚等(※兄弟・子ども・親)	自宅(※兄弟・子ども・親)	住宅型有料老人ホーム	除く)軽費老人ホーム(特定施設)	宅サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	グループホーム	特定施設
住宅型有料老人ホーム	5	75	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	5	49	42.9	8.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設	1	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	5	151	33.8	2.6	0.0	1.3	15.9	4.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	9	55.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	20	305	38.7	3.0	0.7	0.7	7.9	2.0	0.0

	回答施設数(件)	過去1年間の新規の入所・入居者数合計(人)	入所・入居する前の居場所の割合(%)						
			介護老人保健施設	介護医療院	特別養護老人ホーム	ホーム	地域密着型特別養護老人	院を(除く)診療所(一時的な入	その他
住宅型有料老人ホーム	5	75	1.3	0.0	1.3	0.0	45.3	0.0	0.0
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	5	49	20.4	0.0	4.1	0.0	10.2	12.2	0.0
特定施設	1	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護医療院	1	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	5	151	14.6	0.0	4.0	0.0	23.8	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	9	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
合計	20	305	10.8	0.0	3.0	0.0	29.2	4.3	0.0

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

- 問8 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。
- 問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※設問内容の関係で問9は次ページに掲載しています。

	回答施設数（件）	過去1年間の退去者数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）							
			含む） 自宅 （※兄弟・子ども・親戚等の家）	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム（特定施設除く）	サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 （ 特 定 施 設 除 く）	グ ル ー プ ホ ー ム	特 定 施 設	地 域 密 着 型 特 定 施 設	介 護 老 人 保 健 施 設
住宅型有料老人ホーム	5	71	11.3	4.2	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	5	43	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
特定施設	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	5	156	0.0	1.9	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	20	298	3.0	2.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.3

	回答施設数（件）	過去1年間の退去者数合計（人）	退去者の退去先別の割合（％）						
			介護医療院	病 院 ・ 診 療 所 （ 上 記 「 介 護 医 療 院 」 を 除 く） ※一時的な入院は含みません。	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	地 域 密 着 型 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	そ の 他	行 先 を 把 握 し て い な い	死 亡 （ ※ 搬 送 先 で の 死 亡 を 含 む）
住宅型有料老人ホーム	5	71	0.0	12.7	7.0	0.0	0.0	0.0	59.2
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グループホーム	5	43	0.0	20.9	41.9	0.0	0.0	0.0	30.2
特定施設	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護医療院	1	18	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	94.4
特別養護老人ホーム	5	156	0.6	18.6	1.3	0.0	0.0	0.0	76.9
地域密着型特別養護老人ホーム	2	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5
合計	20	298	0.3	15.8	9.7	0.0	0.0	0.0	66.8

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。  
(数値を記入)

	回答施設数(件)	過去1年間の退去者数	退去者の要介護度の割合(%)									申請中・不明	※② 搬送先での死亡を含む
			自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
住宅型有料老人ホーム	5	71	0.0	1.4	1.4	2.8	9.9	14.1	7.0	4.2	0.0	59.2	
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
グループホーム	5	43	0.0	0.0	0.0	4.7	4.7	25.6	18.6	16.3	0.0	30.2	
特定施設	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護医療院	1	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	94.4	
特別養護老人ホーム	5	156	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	20.5	17.9	0.0	43.6	
地域密着型特別養護老人ホーム	2	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	
合計	20	298	0.0	0.3	0.3	1.3	3.4	16.8	15.8	12.8	0.0	49.3	

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。(3つまで○)

	全体	必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	高まったケア・医療処置の必要性が	医療的ケア・医療処置の必要性が	置かれた状態が悪化したから	「必要な生活支援が発生・増大したから」医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」以外	「必要な生活支援が発生・増大したから」入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が、提供が可能なサービス以外のサービスを希望した	費用負担が重くなったから	本人が希望したから	その他	無回答
住宅型有料老人ホーム	5	0.0	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
グループホーム	5	0.0	80.0	20.0	80.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
特定施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
地域密着型特定施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護老人保健施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護医療院	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
特別養護老人ホーム	5	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
合計	20	0.0	35.0	15.0	55.0	10.0	5.0	0.0	10.0	10.0	15.0	15.0	0.0	

問12 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。(自由回答)

退去する場合によくあるケースについては、「医療的ケア増」が5件、「看取り」が3件、「身体機能低下」が3件などとなっています。

内容	自由回答
医療的 ケア増 (5)	疾病の重度化により、主治医の指示で長期入院となった場合、看取りなど。
	疾病が重篤化し、主治医の指示で入院となった場合。
	入院され、医療行為が継続的に必要となり特養での受け入れが困難となる。
	身体介護が多くなったり、医療が必要になった時 医療機関入院後、医療的に特養での生活が難しくなり退所
看取り (3)	お看取り
	8～9割は施設で看取り(他界)となります。それ以外は、誤嚥性肺炎等で入院し、経口摂取が困難と判断され、点滴・中心静脈栄養・経管栄養を選択され退居となるケースがあります。
	看取りでのご逝去
身体機能 低下 (3)	入院後、身体機能が低下しケアハウスでの生活が困難となる。
	心身機能の状態変化に伴い、身体介護が発生・増大したから。
	ご家族同意によるADLの著しい低下による特別養護老人ホームへのサービス移行
死亡に よる (2)	死亡退所
	ご本人様が死亡の場合
その他 (1)	認知症の症状が悪化してグループホームへ行かれる方が多い。
特になし (1)	特にありません。